2016年度日本政府（文部科学省）奨学金留学生
JAPANESE GOVERNMENT (MONBUKAGAKUSHO:MEXT) SCHOLARSHIP FOR 2016

日　本　語　・　日　本　文　化　研　修　留　学　生

コ　ー　ス　ガ　イ　ド

COURSE GUIDE OF

JAPANESE STUDIES PROGRAM

日本への留学を検討されている皆さんに
To those of you considering studying in Japan

１．　日本語・日本文化研修留学生の研修プログラムは、54 校の国立大学、1 校の公立大学、18 校の私立大学で学ぶことが可能です。
In the program for “Japanese studies students”, there are 55 national universities, 1 public university, and 19 private universities from which you may choose.

２．　各大学の研修プログラムは、大学の特徴、個性、地域・文化を活かした内容となっています。コースガイドに掲載されている内容を十分に確認し、自分の学びたいこと、研究したいことが実現できる大学を選択してください。
Each university has a different program according to its characteristic or local context/culture. Please read the course guide carefully and select a university that offers a program that suits your interest.

３．　具体的な研修内容や単位認定に必要となるカリキュラムの内容など、大学を選択する上で分からないことがある場合は、必ず大学へ問い合わせてください。
If you have questions during the selection of a university, such as issues concerning the content of the program or accreditation of credits, please contact the university directly.

４．　また、日本への留学について知りたいことがありましたら、「日本留学ポータルサイト－Gateway to Study in Japan－」で様々な情報を提供していますのでご覧ください。
If you would like to know more about studying in Japan, you may find relevant information at the portal site “Gateway to Study in Japan” at http://www.g-studyinjapan.jasso.go.jp/en/

５．　皆さんに、日本でお会いできることを楽しみにしています。
We look forward to seeing you in Japan.

番号 NO.	大学名 Name	所在地 Location	掲載ページ Page
	国立大学 National University		
1	北海道大学 Hokkaido University	北海道札幌市 Sapporo-shi,Hokkaido	…… 1
2	北海道教育大学 Hokkaido University of Education	北海道札幌市 等 Sapporo-shi,Hokkaido etc.	…… 7
3	弘前大学 Hirosaki University	青森県弘前市 Hirosaki-shi,Aomori	…… 11
4	岩手大学 Iwate University	岩手県盛岡市 Morioka-shi,Iwate	…… 17
5	東北大学 Tohoku University	宮城県仙台市 Sendai-shi,Miyagi	…… 23
6	秋田大学 Akita University	秋田県秋田市 Akita-shi,Akita	…… 29
7	山形大学 Yamagata University	山形県山形市 Yamagata-shi,Yamagata	…… 35
8	宮城教育大学 Miyagi University of Education	宮城県仙台市 Sendai-shi,Miyagi	…… 41
9	茨城大学 Ibaraki University	茨城県水戸市 Mito-shi,Ibaraki	…… 47
10	宇都宮大学 Utsunomiya University	栃木県宇都宮市 Utsunomiya-shi,Tochigi	…… 51
11	群馬大学 Gunma University	群馬県前橋市 Maebashi-shi,Gunma	…… 57
12	埼玉大学 Saitama University	埼玉県さいたま市 Saitama-shi,Saitama	…… 63
13	千葉大学 Chiba University	千葉県千葉市 Chiba-shi,Chiba	…… 69
14	横浜国立大学 Yokohama National Univeristy	神奈川県横浜市 Yokohama-shi, Kanagawa	…… 75
15	信州大学 Shinshu University	長野県松本市 Matsumoto-shi,Nagano	…… 81
16	新潟大学 Niigata University	新潟県新潟市 Niigata-shi,Niigata	…… 85
17	筑波大学 University of Tsukuba	茨城県つくば市 Tsukuba-shi,Ibaraki	…… 91
18	上越教育大学 Joetsu University of Education	新潟県上越市 Joetsu-shi,Niigata	…… 97
19	お茶の水女子大学 Ochanomizu University	東京都文京区 Bunkyo-ku,Tokyo	…… 103
20	東京外国語大学 Tokyo University of Foreign Studies	東京都府中市 Fuchu-shi,Tokyo	…… 109
21	東京学芸大学 Tokyo Gakugei University	東京都小金井市 Koganei-shi,Tokyo	…… 115
22	一橋大学 Hitotsubashi University	東京都国立市 Kunitachi-shi,Tokyo	…… 121
23	富山大学 University of Toyama	富山県富山市 Toyama-shi,Toyama	…… 127
24	金沢大学 Kanazawa University	石川県金沢市 Kanazawa-shi,Ishikawa	…… 133
25	福井大学 University of Fukui	福井県福井市 Fukui-shi,Fukui	…… 139
26	岐阜大学 Gifu University	岐阜県岐阜市 Gifu-shi,Gifu	…… 145
27	静岡大学 Shizuoka University	静岡県静岡市 Shizuoka-shi,Shizuoka	…… 151
28	名古屋大学 Nagoya University	愛知県名古屋市 Nagoya-shi,Aichi	…… 157
29	三重大学 Mie University	三重県津市 Tu-shi,Mie	…… 163
30	京都大学 Kyoto University	京都府京都市 Kyoto-shi,Kyoto	…… 169
31	京都教育大学 Kyoto University of Education	京都府京都市 Kyoto-shi,Kyoto	…… 175
32	大阪大学 Osaka University	大阪府吹田市 Suita-shi,Osaka	…… 181
33	大阪教育大学 Osaka Kyoiku University	大阪府柏原市 Kashiwara-shi,Osaka	…… 187
34	神戸大学 Kobe University	兵庫県神戸市 Kobe-shi, Hyogo	…… 193
35	奈良教育大学 Nara University of Education	奈良県奈良市 Nara-shi,Nara	…… 199
36	奈良女子大学 Nara Women's University	奈良県奈良市 Nara-shi,Nara	…… 205
37	和歌山大学 Wakayama University	和歌山県和歌山市 Wakayama-shi,Wakayama	…… 209
38	兵庫教育大学 Hyogo University of Teacher Education	兵庫県加東市 Kato-shi,Hyogo	…… 215
39	鳥取大学 Tottori University	鳥取県鳥取市 Tottori-shi,Tottori	…… 221
40	島根大学 Shimane University	島根県松江市 Matsue-shi,Shimane	…… 227
41	岡山大学 Okayama University	岡山県岡山市 Okayama-shi,Okayama	…… 233

番号 NO.	大学名 Name	所在地 Location	掲載ページ Page
42	広島大学 Hiroshima University	広島県東広島市 HigashiHiroshima-shi, Hiroshima	…… 239
43	山口大学 Yamaguchi University	山口県山口市 Yamaguchi-shi,Yamaguchi	…… 245
44	香川大学 Kagawa University	香川県高松市 Takamatsu-shi,Kagawa	…… 251
45	高知大学 Kochi University	高知県高知市 Kochi-shi,Kochi	…… 257
46	九州大学 Kyushu University	福岡県福岡市 Fukuoka-shi,Fukuoka	…… 263
47	福岡教育大学 Fukuoka University of Education	福岡県宗像市 Munakata-shi,Fukuoka	…… 269
48	佐賀大学 Saga University	佐賀県佐賀市 Saga-shi,Saga	…… 273
49	長崎大学 Nagasaki University	長崎県長崎市 Nagasaki-shi,Nagasaki	…… 279
50	熊本大学 Kumamoto University	熊本県熊本市 Kumamoto-shi,Kumamoto	…… 285
51	大分大学 Oita University	大分県大分市 Oita-shi, Oita	…… 291
52	宮崎大学 University of Miyazaki	宮崎県宮崎市 Miyazaki-shi,Miyazaki	…… 297
53	鹿児島大学 Kagoshima University	鹿児島県鹿児島市 Kagoshima-shi,Kagoshima	…… 301
54	琉球大学 University of the Ryukyus	沖縄県西原町 Nishihara-cho,Okinawa	…… 307
	公立大学 Public University		
55	神戸市外国語大学 Kobe City University of Foreign Studies	兵庫県神戸市 Kobe-shi, Hyogo	…… 313
	私立大学 Private University		
56	青森中央学院大学 Aomori Chuo Gakuin University	青森県青森市 Aomori-shi,Aomori	…… 319
57	千葉科学大学 Chiba Institute of Science	千葉県銚子市 Choshi-shi,Chiba	…… 325
58	慶應義塾大学 Keio University	東京都港区 Minato-ku,Tokyo	…… 331
59	上智大学 Sophia University	東京都千代田区 Chiyoda-ku,Tokyo	…… 337
60	大東文化大学 Daito Bunka University	東京都板橋区 Itabashi-ku,Tokyo	…… 343
61	法政大学 Hosei University	東京都千代田区 Chiyoda-ku,Tokyo	…… 349
62	立正大学 Rissho University	東京都品川区 Sinagawa-ku,Tokyo	…… 355
63	早稲田大学 Waseda University	東京都新宿区 Shinjyuku-ku,Tokyo	…… 361
64	創価大学 Soka University	東京都八王子市 Hachioji-shi,Tokyo	…… 367
65	南山大学 Nanzan University	愛知県名古屋市 Nagoya-shi,Aichi	…… 373
66	北陸大学 Hokuriku University	石川県金沢市 Kanazawa-shi,Ishikawa	…… 379
67	愛知淑徳大学 Aichi Shukutoku University	愛知県長久手市 Nagakute-shi,Aichi	…… 385
68	京都外国語大学 Kyoto University of Foreign Studies	京都府京都市 Kyoto-shi,Kyoto	…… 391
69	同志社大学 Doshisha University	京都府京都市 Kyoto-shi,Kyoto	…… 397
70	立命館大学 Ritsumeikan University	京都府京都市 Kyoto-shi,Kyoto	…… 403
71	大阪樟蔭女子大学 Osaka Shoin Women's University	大阪府東大阪市 Higashiosaka-shi,Osaka	…… 409
72	神戸女子大学 Kobe Women's University	兵庫県神戸市 Kobe-shi, Hyogo	…… 415
73	山陽学園大学 Sanyo Gakuen University	岡山県岡山市 Okayama-shi,Okayama	…… 419



北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY 【北海道】

日本語・日本文化に関する研究・調査活動に役立つ日本語能力の育成と，研究に必要な基礎知識，方法論・技能等の修得・運用を通じた日本語･日本文化理解を目的とするコースであり，プログラムの中で受講生の日本語能力の向上を図り，また，日研選択科目，多文化交流科目，国際交流科目の履修や，後半においては「自主研究」を履修する学生に対して指導教員が受講生の専攻分野に応じるなど，日本文化・社会についての多様な指導を行う。

■大学紹介

①　大学の特色および概要

北海道大学は，我が国における最初の高等農事教育機関として１８７６年に開設された札幌農学校に始まります。開設当時，札幌農学校は米国マサチューセッツ農科大学長であるウィリアム･Ｓ･クラーク博士を迎え，豊かな教養と高度の知識・技術を教授されました。クラーク博士の“Boys, be ambitious”の言葉に代表されるフロンティア・スピリットは，開学以来１３０年余にわたって本学の建学精神として受け継がれています。１９１９年，医学部が設置されると同時に従来の農科大学は農学部となり，その後，工学部，理学部等が設置され理科系の総合大学へと発展しました。１９４７年，文科系の学部が設置され初めて現在の「北海道大学」という名称が誕生，２年後の１９４９年には，新制の北海道大学が発足し，７学部１教養学科が設置されました。１９５３年には新制の大学院が設置され，現在１２学部，１８の大学院及び２６の研究所・センター等を有する我が国有数の総合大学です。

学部名：
文学部・教育学部・法学部・経済学部・理学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・農学部・獣医学部・水産学部

教員数 ： 2,064名
学生数 ： 学部学生 11,727名，　大学院学生 6,141名，
　　計 17,868名



②　国際交流の実績

（２０１５年５月１日現在）
大学間交流協定数：４３カ国・地域，１６０協定・１６６機関

③　過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

留学生受入実績：　2015年　1,570名（83カ国・地域）
　　2014年　1,456名（80カ国・地域）
　　2013年　1,384名（81カ国・地域）

日本語・日本文化研修生受入実績：　2015年　52名
　　2014年　50名
　　2013年　37名

④　地域の特色

北海道大学は，日本の北部，豊かな自然に恵まれた北海道にあります。大学のメインキャンパスは札幌の市街地にあり，美しい都市において必要なもののほとんどは，徒歩圏内にあります。港町である函館市にもう一つのキャンパスを持つ北大は，まさに日本の北方圏における革新的なフロンティアです。

〇北海道大学へのアクセス：



■コースの概要

①　コースの特色

日本語・日本文化の双方に関する研究・調査活動に役立つ日本語能力の育成と，研究に必要な基礎知識，方法論・技能等の修得・運用を通じた日本語･日本文化理解を目的とするコースであり，１年間のプログラムの中で受講生の日本語能力の向上を図り，また，後半においては「自主研究」を履修する学生に対して指導教員が受講生の専攻分野に応じて，研究レポート作成及び研究発表遂行を目標とした個別の研究指導を行うことを特色としています。

②　受入定員

40名（大使館推薦 15名，大学推薦 25名）

③　受講希望者の資格，条件等

受入の資格・条件としては，以下の全ての要件を満たすこととします。

a. 身分及び専攻
外国（日本国以外）の大学に在籍し，日本語・日本文化に関する専攻課程を主専攻として履修している者。（ただし，１年生を除く）

b. 日本語能力
申込時に，中級レベル（日本語能力試験Ｎ３以上に合格している者又は同試験の合格者と同等の日本語能力）以上の日本語能力を有する者。具体的には，漢字500字以上を習得し，日常的な場面での自然に近いスピードで話される会話・平易な文章の読み書きができることが必要です。
＊日本語が初級レベルの者は出願を認めません。なお，渡日後，日本語能力が初級であると判定された者はコースを修了できないので，注意してください。

c. 学業成績
大学における学習成績が上位の者。

④　達成目標

a.　「話す・聞く・書く・読む」のそれぞれの技能において，各自が自己の目標を達成できるような日本語運用力を身につけること。
b.　各自の研究分野において，まとまった成果が発信できるような知見・日本語力を獲得すること。

⑤　研修期間

2016年9月1日～2017年8月31日
修了式は8月を予定（2015年は8月）

⑥　研修科目の概要

内容は，日本語を学習する選択必修科目群と，日本語・日本文化に関する講義や研究レポート作成を含む自主研究から成る選択科目群より構成されます。

※授業科目は，複数の講義題目により行われ，それぞれ一つの授業科目として履修することができます。

1）必須科目

区　分	授業科目	単位
選択必修科目	中級日本語	1又は2
	上級日本語	1又は2

第１期及び第２期を通して10単位以上を修得してください。

選択必修科目である日本語科目は「一般日本語コース」の中・上級科目を履修します。それぞれ，日本の大学での研究生活に必要な「やりとり」「表現」「理解」のスキルを養うことを目的とし，1週間に6～9コマ（1コマ90分）程度履修します。

選択必修科目のみ，学生が渡日前にオンラインで受験するプレースメントテストによりクラス分けがなされ，日本語能力別に中級レベル及び上級レベルのクラスを受講します。初級レベルと判断された場合は，初級レベルのクラスの受講となるため，修了証書は発行されません。

2）　見学，地域交流等の参加型科目

選択科目の「異文化研究」は，留学生と日本人学生が共に学ぶ「多文化交流科目」が主となります。「多文化交流科目」は，毎学期10科目前後開講されますが，その中には「北海道再発見」「北海道大学を歩く」など，見学を行う科目も含まれています。

選択科目ではありませんが，「ホリデーイン日高」「インターナショナルナイト」など，地域の方や日本人学生と交流するイベントも開催され，多くの日本語・日本文化研修生が参加しています。

3）　その他の講義，選択科目等

区　分	授業科目	単位
選択科目	日本語研究	2
	日本文化研究	2
	異文化研究	2
	特別講義	1，2，3又は4
	自主研究	2

選択必修科目と合わせて26単位履修することが必要です。

選択科目には，「日本語の文法」，「日本語の表記」，「日本の歴史」など日本語・日本文化研修生のためだけの講義科目（日本語研究・日本文化研究に充当），留学生と日本人が共に学ぶ「多文化交流科目」（異文化研究に充当），希望者が教員の指導のもと研究レポートを執筆する「自主研究」が含まれます。

また，選択科目については，国際交流科目，全学教育科目又は各学部で開講される専門科目の履修をもって，当該選択科目の履修に代えることができます。

※各科目の授業概要は，下記によりホームページで閲覧が可能です。

北海道大学ホームページ
＞留学生センター
＞コース・プログラム
＞日本語コース
＞一般日本語コース
＞授業概要



⑦　年間行事

（第1期：9月～2月）
９月中旬～10月初旬：
　面接，新入生オリエンテーション
10月初旬：
　入学式，第1期授業開始
12月末～1月初旬：
　冬季休業
2月中旬：
　留学生歓迎・送別懇談会

（第2期：4月～8月）
4月10日頃：
　第2期授業開始
6月第１木曜日から日曜日まで：
　大学祭
8月：
　修了式・修了祝賀会





⑧　指導体制

（１）専任教員

氏名	所属	職名	専攻
山 下 好 孝	留学生センター	教授	日本語学･スペイン語
小 林 由 子	留学生センター	教授	日本語教育･学習科学
中 村 重 穂	留学生センター	准教授	日本語教育･意味論
小河原　義 朗	留学生センター	准教授	日本語教育
鄭　恵 先	留学生センター	准教授	日本語学･社会言語学
山 田 智 久	留学生センター	准教授	日本語教育･社会教師論

（２）個別指導

a.学業面
　コース・コーディネーターが必要に応じて個別指導を行います。第２期（2017年４月～2017年8月）に「自主研究を受講する学生については各学生の指導教員が毎週１回個別指導を行います。

b.生活面
　１年間を通して，国際本部のカウンセラーが必要に応じて相談業務に当たります。

⑨　コースの修了要件

　第１期及び第２期を通して選択必修科目から10単位以上，選択科目から異文化研究科目2単位以上を含み，合わせて26単位以上を修得することを修了要件とします。この要件を満たした者には修了証書を授与します。なお，プレースメントテストにおいて初級レベルと判断された者は，初級クラスでの受講となり，修了要件を満たさないため，修了証書は発行されません。

※単位認定，単位互換等について
　各期末に学生に対して成績表を交付するとともに，コース終了後，成績証明書を交付します。

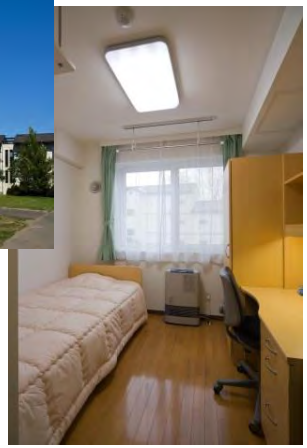


■宿　舎

　北海道大学には，恵迪寮（単身男子），霜星寮（単身女子），北大インターナショナルハウス（単身，夫婦，家族）の宿舎があり，日本語・日本文化研修生は上記のいずれかへの入居が可能となっています。

　単身用宿舎月額：4,700円～25,000円





■修了生へのフォローアップ

　修了生は，出身大学の学部に戻り，本コースにおける日本語・日本文化に関する研修成果を生かし，卒業に向けて学習を継続することになります。
　本コース修了生の中には，出身大学を卒業後，日本に戻ってくる人も多くいます。日本で就職した者や本学の大学院修士課程の学生として在籍している者も少なくありません。なかには，本学の教員として採用されている者もいます。
　大学院進学希望者に対しては，コース在学中に，コーディネーターが相談に応じます。また，日本での就職希望者に対しては，北海道大学のキャリアセンターがセミナーや情報提供を行っています。
　また，終了後もＳＮＳなどを通じて交流が続き，「人間関係ができたこと」を成果としてあげる修了生も少なくありません。

■問合せ先

大学所在地 ：
　〒060-0815
　北海道札幌市北区北１５条西８丁目

担当部署 ：
　北海道大学国際本部国際教務課

TEL ：
　+81-11-706-8056

FAX ：
　+81-11-706-8067

E-MAIL ：
　jlcsp@oia.hokudai.ac.jp

大学のホームページ ：
　http://www.hokudai.ac.jp/

日研コースのホームページ
　http://www.isc.hokudai.ac.jp/www_ISC/cms/cgi-bin/index.pl
　北海道大学留学生センターのホームページ
　＞コース・プログラム
　＞日本語・日本文化研修コース

担当教員 ：
　小　林　由　子





北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY 【Hokkaido】

The objectives of this program are:
(1) to improve students' Japanese language proficiency in order to enable them to interact with Japanese speakers and to conduct research in Japanese;
(2) to acquire basic knowledge and methodologies for Japanese studies – particularly relating to Japanese general and applied linguistics;
(3) to gain a deeper understanding of Japanese language, culture and society through various courses – In the second semester (April – August), students can study a research topic in their field of specialty and complete a final report under the guidance of a supervisor.

■University Overview

1. Outline and characteristics of Hokkaido University

Hokkaido University began as Sapporo Agricultural College, which was founded in 1876 as the first educational institution for agricultural studies in Japan.

The College was also the first institution in Japan to grant bachelor's degrees.

On its establishment the College invited Dr. William S. Clark, then president of Massachusetts Agricultural College in the United States, to be its Vice President. From its inception the College offered an education stressing cultural richness as well as advanced knowledge and skills. The frontier spirit of the time, echoed in Dr. Clark's farewell words "Boys, be ambitious", has been inherited as the spirit of foundation of the University throughout its over 130 years' history.

In 1949 Hokkaido University underwent major reforms to become a university with seven faculties and one department of general education, and it has since developed into one of the most distinguished universities in Japan.

The University currently consists of 12 faculties, 18 graduate schools, and 26 research institutes and centers, and has 2,064 academic staff, 11,727 undergraduate and 6,141 graduate students.



2. International Academic Exchange

(As of May 1, 2015)
Exchange Agreements: 160 Agreements,
166 Universities/Institutions in 43 Countries / Regions

3. Number of Overseas Students

○Total : 1,570 (from 83 countries) in 2015
1,456 (from 80 countries) in 2014
1,384 (from 81 countries) in 2013

○Japanese Language and Culture Studies Students:
52 (2015–2016)
50 (2014–2015)
37 (2013–2014)

4.Characteristics of the area

Hokkaido University is located on the island of Hokkaido, in the northern part of Japan which is rich in nature. The stunning main campus is located in downtown Sapporo, within walking distance of almost everything the beautiful city has to offer. With an additional campus in the coastal city of Hakodate, Hokudai is the frontier of real innovation in northern Japan.



■ Outline of the Program

1. Characteristic objectives of the program

The objectives of this program are:
(1) to improve students' Japanese language proficiency in order to enable them to interact with Japanese speakers and to conduct research in Japanese;
(2) to acquire basic knowledge and methodologies for Japanese studies – especially relating to Japanese general and applied linguistics;
(3) to gain a deeper understanding both of Japanese language and culture. In the second semester (April – August), students can study a research topic in their field of specialty and complete a final report under the guidance of their supervisor.

2. Number of students accepted Total 40
Embassy 15, University 25

3. Qualifications of applicants:
Applicants must meet the following conditions:
a. Status and field of specialty:
Applicants must be regular students in an undergraduate program at an overseas university. Applicants must be studying Japanese language or Japanese culture as their academic major. (First-year students are not eligible to apply.)
b. Competence in Japanese language
Applicants should have N3 (or higher) on the Japanese Language Proficiency Test or the equivalent or higher proficiency in Japanese at the time of application. In particular, applicants should know 500 or more kanji and have the skill to understand conversation spoken at natural speed and read/write simple sentences.

＊Applications from students whose proficiency in Japanese does not meet the requirements will not be accepted. Any students who are found to have inadequate language skills after arrival will not be able to complete the program.

c. Academic record:
Applicants must possess a good academic record at university level.

4. Course goals:
a. To acquire sufficient Japanese proficiency for students to achieve their own goals in the skills of "Speaking", "Listening", "Writing" and "Reading".
b. To acquire sufficient knowledge and Japanese proficiency to be able to convey their study outcome in their own field.

5. Period of program
September 1, 2016 – August 31, 2017
Graduation Ceremony will be held in August 2017.

6. Outline of courses:

The program consists of two types of courses: courses in Japanese language and courses in Japanese linguistics, culture, society and independent study in the students' field of specialty including a final report.
※The program became a credited program from September 2015.

1) Compulsory Subjects

Type	Course Name	Credit
Compulsory	Intermediate Japanese	1 or 2
	Advanced Japanese	1 or 2

Students must take at least 10 credits from elective courses during the year. Students take 6 to 9 class hours of Intermediate and/or Advanced Japanese language courses per week. The courses will help students acquire sufficient knowledge and Japanese proficiency to be able to convey their study outcome in their own field.

Students will be allocated to Intermediate and/or Advanced Japanese language courses based on the result of the online placement test which students must take prior to their arrival in Japan. Those who are allocated to Introductory level will not be able to receive the Certificate of Completion.

2) Participatory courses

"Co-learning in Multicultural Classrooms" is the main part of "Studies in Multiculture" subjects. Around 10 courses are offered every semester as "Co-learning in Multicultural Classrooms" and they include courses that are followed by short trips.
("Rediscovery Hokkaido in Museum", "Walk, Look, Think about Hokkaido University" ,etc...)
Also, there are some events such as "Holiday in Hidaka" and "International Night" that are held with the aim of interacting with Japanese students and local people, which are very popular among the students of the program.

3) Other lectures, Elective Subjects

Type	Course Name	Credit
Elective	Studies in Japanese Language	2
	Studies in Japanese Culture	2
	Studies in Multiculture	2
	Special Lectures	1, 2, 3 or 4
	Independent Study	2

Notes:
1. Students must take at least 26 credits in total throughout the year.

2. Elective subjects include courses opened to only students of the program ("Japanese Grammar", "Japanese Writing System", "Japanese History" ,etc.), to both international students and Japanese students ("Co-learning in Multicultural Classrooms") and "Independent Study" in which students can study a research topic in their field of specialty and complete a final report under the guidance of their supervisor.

3. Students may take approved subjects offered in "Arts and Sciences Courses in English", the general education program or in the faculties at Hokkaido University in place of some elective courses.

*Japanese Language course syllabus is available from our homepage. Visit the homepage of International Student Center > Course/Program > Japanese Language Courses > General Japanese Course



7. Annual schedule:

<1st semester>
From the middle week of September to the first week of October:
Interview, Orientation
Beginning of Oct:
Entrance ceremony, Starting Classes
End of December to beginning of January:
Winter break
Middle of February:
Welcome/Farewell party

<2nd semester>
Around April 10th:
Starting Classes
From the first Thursday to Sunday in June:
University Festival
August:
Graduation ceremony, Farewell party





8. Teaching and guidance:
(1) Teaching staff of International Student Center

Name	Title	Field Speciality
YAMASHITA, Yoshitaka	Professor	Japanese Linguistics Spanish Linguistics
KOBAYASHI, Yoshiko	Professor	Japanese Language Teaching Learning Science
NAKAMURA, Shigeho	Associate Professor	Japanese Language Teaching Semantics
OGAWARA, Yoshiro	Associate Professor	Japanese Language Teaching
JUNG, Hyeseon	Associate Professor	Japanese Linguistics Social Linguistics
YAMADA, Tomohisa	Associate Professor	Japanese Linguistics Teacher Education

(2) Personal guidance

a. Academic advice:
The course coordinator advises students on academic issues as the need arises. In the second semester, supervisors advise individual students who take Independent study each week.

b. General advice:
A counselor in the Office of International Affairs will give advice to students who need help throughout the year.

9. Conditions for completion of the course:

a. Students must take at least 10 credits from compulsory subjects throughout the year.

b. Students must take at least 26 credits in total including at least 2 credits from "Studies in Multiculture" subjects throughout the year .

A certificate of completion will be given to students who satisfy all the conditions stated above. Those who are allocated to Introductory level will not be able to receive the Certificate of Completion, since they fail to satisfy the requirements of the program.

○ Credit Transfer:
A list of completed courses and grades will be given to each student at the end of each semester. Students will also receive their transcripts at the end of the program.

■ Accommodation

・Keiteki-ryo (for single male students)
・Sosei-ryo (for single female students)
・Hokudai International House (for single men/women, married couples and families)

Accommodation is available for all students who join this program.

Range of rental costs for a single room: ¥4,700 – ¥25,000





■Follow-up on our Alumni

After completing the program, students go back to their own universities and continue their studies with the achievement acquired through this program for their graduation.
On occasion, some of the Alumni of this program return to Hokkaido University after graduating from their home universities. We have some examples of those who are currently working in Japan and are studying in a master's program at Hokkaido University. Also one of the Alumni is now teaching at one of our Graduate Schools.
The program coordinator will give advice to students who hope to study in a master's program at Hokkaido University and also Hokkaido University Career Center will hold seminars and provide information to those who are thinking of working in Japan after graduating from their home universities.
In addition, not a few of the Alumni keep in touch with each other through social networking systems and tell us that being able to build good relationships with other students can be one of the achievement acquired through this program.

■ Contact

Address :
Division of International Academic Programs,
Office of International Affairs
Hokkaido University
Kita 15, Nishi 8, Kita-ku, Sapporo 060- 0815JAPAN

TEL :
+81-11-706-8056

FAX :
+81-11-706-8067

E-MAIL :
jlcsp@oia.hokudai.ac.jp

Homepage of Hokkaido University :
http://www.oia.hokudai.ac.jp

Homepage of JLSC program:
http://www.oia.hokudai.ac.jp/jlcsp/

Coordinator :
KOBAYASHI, Yoshiko





北海道教育大学 (北海道)

日本語や日本の文化，教育制度，北海道の先住民であるアイヌ民族の言語や文化についてのさまざまな授業を受けることができます。

◆大学紹介

① 大学の特色と概要

北海道教育大学は，教育学部1学部が5つのキャンパス（札幌，函館，旭川，釧路，岩見沢）に分かれており，日本語・日本文化研修留学生は，札幌キャンパスで学びます。

札幌キャンパスに設置された教員養成課程では，札幌の特色を活かしながら北海道全域にわたって教育現場に密着した教員養成を行います。

また，大学院修士課程には，学校教育専攻，教科教育専攻，養護教育専攻，学校臨床心理専攻，専門職学位課程には，高度教職実践専攻が設置されています。

② 学生数（2015年10月1日現在／5キャンパス合計）

学部学生　5,112名，大学院生（修士）　216名
大学院生（専門職学位）　91名，養護教諭特別別科　21名

③ 国際交流の実績（2015年10月1日現在／5キャンパス合計）

留学生数 15カ国/地域 94名　　国際交流協定教育機関 15カ国/地域 37大学

④ 日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績（過去3年）

2013年度　大使館推薦0名，大学推薦2名
2014年度　大使館推薦3名，大学推薦2名
2015年度　大使館推薦2名，大学推薦2名



⑤ 北海道の特色

北海道は，日本の最北端に位置し，世界自然遺産の知床をはじめ雄大な自然に恵まれ，食文化も優れていることから，観光地としても有名です。

北海道の夏は，台風の影響が少ない上，日本の他の地域に比べると気温が低いため，とても過ごしやすいです。

また，冬は雪が積もり，気温がー１０℃以下になる地域もありますが，スキーや雪祭りなど，冬の楽しみも体験できます。



◆プログラムの概要

① プログラムの特色

本プログラムの特徴は，交換留学生のための日本語授業（日本語・日本事情やアカデミック日本語）と，国際理解について勉強している日本人学生とともに日本文化を学ぶ授業（日本文化・日本社会講座や国際理解基礎演習）を行っていることです。

それらの大学の授業とともに，ホームステイの体験や学生との交流を通して「生きた日本文化」を学びます。

また，北海道の地域性を生かして，北海道の大自然や先住民であるアイヌ民族文化について学ぶ研修旅行があります。

② 受入定員

5名　（大使館推薦 3名，　大学推薦 2名）

③受験希望者の資格，条件等

外国（日本以外）の大学学部に在学し，日本語・日本文化に関する分野を専攻している者。また，日本語の初級レベルの学習を終了した者。（日本語能力試験Ｎ４（３級）取得，もしくは日本語学習時間数300時間以上が望ましいです。）

④達成目標

日本語での日常会話がほぼ普通に話せるようになること。
具体的には，日本語能力試験Ｎ２以上に合格できる能力を身につけることです。

⑤プログラム期間

2016年10月～2017年8月

⑥プログラムの構成

期間の前半は，日本語の能力の獲得に重心を置き，後半は日本文化の理解に重心を置いています。

⑦授業科目の概要

日本語と日本文化の両方を学ぶプログラムで，全ての授業が日本語で行われます。Ⅰ）～Ⅴ）は必修科目，Ⅵ）は選択必修科目です。（★ただし日本語能力検定試験N1程度の留学生は，Ⅰ）及びⅡ）の授業を受講しなくてもよい場合があります。）

Ⅰ）「日本語・日本事情」（非N1:10月-2月 180時間）（★ N1:免除）
場面に応じて必要な日本語が使え，社会文化的なトピックについての簡単なディスカッションができるようにコミュニケーション･スキルを習得するとともに，大学での研究に役立つ総合的な日本語能力の習得を目指します。また，日本事情・文化について知るとともに，ディスカッションや自国文化の紹介を通じて，異なる文化を相互に理解する心を育てます。

Ⅱ）「アカデミック日本語」（非N1:10月-2月 60時間）（★ N1:免除）
聴解能力や論文作成能力の向上など，大学での学習・研究活動に必要な技能を修得します。

Ⅲ）日本の文化や社会についての留学生向け講座（非N1+N1:4月-8月 60時間）
日本の文化や社会の特色や特質について，講義・講演を聞いて学びます。内容は年度や学期によって変わります。

Ⅳ）留学生向けの体験型講座（非N1+N1:4月-8月 30時間）
日本の文化や社会について実体験を通じて学びます。内容は年度や季節によって変わります。茶道や田植え、ゆかたの着付けや日本料理などを体験します。

Ⅴ）日本語文章作成のための講座（非N1+N1:4月-8月 60時間）
各自が興味を持つテーマについて，修了時までに小論文を作成します。それに必要な日本語作文の力をつけるための講座です。

Ⅵ）一般学生向けの授業からの選択（非N1: 4月-8月 30時間×2科目以上）
（★ N1:10月-2月 30時間×7科目　4月-8月 30時間×2科目）
一般学生向けの授業の中から必要科目数以上選択して，日本人学生と一緒に受講します。



風呂敷ってすごい！



お寺で座禅体験

⑧指導体制

責任教員：国際交流・協力センター
札幌校センターセンター長　本堂　知彦　（英文学）

協力教員：開設科目担当教員
国際交流・協力センター教員　大賀　京子（日本語教育）
阿部　二郎（日本語教育）

⑨行事
- 大学近隣の日本人家庭でのホームステイ体験をします。
- 学生の国際交流サークルによる季節ごとのイベント等があります。
- ホームステイ協会が主催するイベントがあります。
- 地域の学校を訪問します。
- 札幌近郊での研修旅行があります。

⑩プログラムの修了要件，修了証書の発行

決められた日本語教育科目，日本事情・日本文化関連科目の受講，及び修了小論文の執筆を修了要件とし，プログラムを修了した者には，修了証を授与します。

⑪単位認定，単位互換等

履修科目において所定の成績をおさめた場合は単位を認定し，成績証明書を発行します。

◆宿　舎

大学周辺の民間アパートや札幌国際交流会館等を紹介します。
留学生用の寮はありません。

①過去３年間の日研生の宿舎入居状況
大学が紹介した民間アパートか札幌国際交流会館に入居しています。

②宿舎費（月額）
民間アパート　26,000円 ～ 50,000円（地域や設備によって異なります）
札幌国際交流会館　27,600円
※光熱水料費，食費及び大学までの通学費等が別途かかります。

◆修了生へのフォローアップ

①フォローアップの実績
北海道教育大学大学院への進学説明会を開催し、留学生の相談に乗っています。

②修了後のキャリアパス
帰国後に本国の大学を卒業し、日系企業への就職を果たし、日本語を使用して勤務されている方が多数います。また、本国や日本の大学院へ進学し、日本もしくは日本語に関わる研究をさらに進めている方々もいます。中には日本で就職をしている方や、札幌市の国際交流員を経験した方もいます。

◆問い合わせ先

大学所在地：　〒002-8501 札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号
担当部署：　学務部　国際課
連絡先：　TEL: 011-778-0673　FAX: 011-778-0675
E-MAIL: g-kokusai@j.hokkyodai.ac.jp
ホームページアドレス：　http://www.hokkyodai.ac.jp/



Hokkaido University of Education
(Hokkaido)

We provide Japanese Studies Students with a variety of classes on Japanese language, culture, Japanese education system, and the language and culture of *Ainu,* Hokkaido Natives.

◆ Overview of the University

(1) Overview

The Faculty of Education, the sole faculty at the Hokkaido University of Education, has five campuses (Sapporo, Hakodate, Asahikawa, Kushiro and Iwamizawa) and covers all areas of education. Japanese Studies Students will be assigned to Sapporo campus.

As a Teachers Training Department, Sapporo campus offers its unique program to afford students opportunities to learn practical teaching skills they will need in their teaching fields.



The Graduate School of Education offers the following programs;

a) M.Ed. level: School Education/Subjects Education/School Health Nursing/Clinical Psychology and School Education

b) Professional Degree level: Advanced Teacher Professional Development Programs

(2) Current enrollment (5 campuses total as of Oct. 1, 2015)

- Undergraduate: 5,112 - Postgraduate: 307
- Special Course for Nurse Teachers: 21

(3) International relations (5 campuses total as of Oct. 1, 2015)

- 94 Students from 15 countries/regions
- 37 Exchange partner universities in 15 countries/regions

(4) Number of Japanese Studies Students (past 3 years)

AY 2013	Embassy nominee: 0	University nominee: 2
AY 2014	Embassy nominee: 3	University nominee: 2
AY 2015	Embassy nominee: 2	University nominee: 2



(5) About Hokkaido

Hokkaido prefecture is located at the north end of Japan and is a popular sightseeing spot for its majestic nature including the World Nature Heritage Site, *Shiretoko*, and fascinating food culture.

Low humidity and little damage of typhoon make the summer pleasant, while in the winter, you can enjoy winter sports and snow festivals though the temperature can go down below -10 ℃ in some areas.

◆ Program Outline

(1) Features

We offer Japanese language classes such as “Japanese Language and Culture” and “Academic Japanese Language” for international exchange students and also Japanese culture classes like “Japanese Culture and Society” and “Pre-seminar in International Understanding” with Japanese undergraduate students majoring in international studies.

Along with these classes, you can learn “living Japanese culture” through real experiences such as home-stay and cultural exchange activities with Japanese students.

(2) Number of students to be accepted

5 students (Japanese Embassy nominee: 3, University nominee: 2)

(3) Minimum requirements for applicants

Applicants must be an undergraduate at a foreign (non-Japanese) university majoring in fields related to the Japanese language or Japanese culture.

In addition, applicants are expected to have studied Japanese at the elementary level or higher: Acquisition of N4 (3rd) level of the Japanese Language Proficiency Test, or approximately 300 hours of Japanese language study experience is desirable.

(4) Goal

To speak fluent Japanese in everyday conversation.

To attain to the N2 or higher level fluency of the Japanese Language Proficiency Test.

(5) Period

October 2016 to August 2017

(6) Program structure

The first semester focuses on learning Japanese language, and the second semester concentrates on understanding Japanese culture.

(7) Classes

All the classes are conducted in Japanese.
I) - V)are mandatory, VI) is mandatory elective. (Applicants who have passed the N1 level of Japanese-Language Proficiency Test may be exempted from I and II. *)

Ⅰ) Japanese Language and Culture :Open Oct.-Feb.
(Non N1 holders: 180 hrs. * N1 holders: may be exempted)
Aims to develop the student's practical skills of the Japanese language.
The students learn well-balanced language skills for academic research at the University, especially communication skills for discussion on social-cultural topics.
Students also deepen their knowledge of the Japanese culture and develop the cross-cultural understanding through discussion and presentation of their own cultures.

Ⅱ) Academic Japanese Language :Open Oct.-Feb.
(Non N1 holders: 60 hrs . * N1 holders: may be exempted)
Aims to improve the student's listening skill and academic writing skill for study and research at the University.

Ⅲ) Japanese Culture and Society Course for international students :Open April-Aug.
(Non N1 holders and * N1 holders: 60 hrs.)
Aims to study Japanese culture and society through lectures and talks.
Contents may vary every term.

Ⅳ) Experience-based Japanese Culture and Society Course for international students :Open April-Aug. (Non N1 holders and * N1 holders: 30 hrs.)
Aims to study Japanese culture and society based on field experiences including tea ceremony, rice planting, yukata dressing, Japanese cooking, and so on.
Contents may vary every term.

Ⅴ) Academic Japanese Writing Course :Open April-Aug.
(Non N1 holders and * N1 holders: 60 hrs.)
Each student is required to write a research essay in Japanese on a theme of their interest by the end of exchange. It aims to practice academic Japanese writing skills for essay writing.

Ⅵ) Elective subjects from HUE Undergraduate Course List :Open Oct.-Aug.
(Non N1 holders: 2 subjects/ 30hrs. April-Aug.)
(* N1 holders: 7 subjects / 30hrs. Oct.-Feb. ; 2 subjects / 30hrs. April-Aug.)
Students are required to register for subjects selected from HUE Undergraduate Course list and attend classes with Japanese students.


Furoshiki Wrapping is amazing!


Zen meditation at a temple!

(8) Faculty
Instructors and advisors:
・**Tomohiko HONDO**, Prof. of English Literature, Director of the Sapporo International Center
・**Kyoko OGA**, Associate Prof. of Japanese, International Center
・**Jiro ABE**, Associate Prof. of Japanese, International Center

(9) Events
・Home stay experience with a Japanese family near the campus
・International students gathering, Student club seasonal activities
・Home stay association events
・Local school visits
・Field trip around Sapporo

(10) Certificate of Completion
The Hokkaido University of Education issues a Certificate of Completion to students once they finish their courses of study including the required subjects; Japanese language, Japan studies, Japanese culture, Final project.

(11) Credits
An official academic transcript will be provided to students who successfully completed their studies.

◆ Accommodation

We will help each student to find a place in an off-campus apartment or Sapporo International House. There are not any dormitories for only international students.

(1) Housing for the Japanese Studies Students (past 3 years)
Off-campus apartment and Sapporo International House

(2) Monthly rent
Apartment: 26,000yen - 50,000 yen（depends on the area and facilities）
Sapporo International House: 27,600 yen
※Utilities, meal expenses and commuting costs are not included.

◆ We Follow Up Completing Students

(1) In Following Up.....
We hold briefing sessions for exchange students on graduate study in Japan, and provide individual consultation for those who are interested in applying to Graduate Schools of Hokkaido University of Education.

(2) Career Path after Completing the Course
After going back to their countries and graduating from their universities, many are working at Japanese-affiliated companies using Japanese. Some have gone up to graduate schools in their countries or in Japan, pursuing their studies relating to Japan or Japanese language. There are some who are working in Japan, or who has worked as Coordinator for International Relations in Sapporo.

◆ Contact Information

International Section, Hokkaido University of Education
5-3-1, Ainosato, Kita-ku, Sapporo 002-8501 Japan
Phone: +81-(0)11-778-0673 Fax: +81-(0)11-778-0675
E-mail:g-kokusai@j.hokkyodai.ac.jp Web：http://www.hokkyodai.ac.jp/



弘前大学 （青森県）

弘前大学

本州の最北端で、日本をまなぶ。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1949年に設立されてから、青森県内および近県の教員、医師、公務員等の人材育成を担ってきた、歴史のある国立大学です。５学部、７研究科で多彩な分野の研究を行っています。

設　立：1949年
学生数：合　計　：6,862人
　　学部生　：6,078人
　　大学院　：　784人
　　留学生数：　154人

〇学　部
人文学部、教育学部、理工学部、
農学生命科学部、医学部

〇大学院

（修士課程）	（博士課程）
人文社会科学研究科	地域社会研究科
教育学研究科	理工学研究科
理工学研究科	保健学研究科
農学生命科学研究科	医学研究科
保健学研究科	

②国際交流の実績
海外協定校26校（12国）、海外拠点3箇所（中国2,タイ1）

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績
2015年:留学生数154人、日研生 2人
2014年:留学生数135人、日研生 3人
2013年:留学生数111人、日研生 3人

④ 地域の特色

弘前大学がある弘前市は、人口18万の町に4つの大学がある学園都市です。もともと、津軽藩の城下町として栄えた由緒ある町ですが市の周囲は農村部で、比較的物価が安く、留学生には住みやすい町であると言えるでしょう。市はコンパクトにまとまり、大学の周囲には学生向けのアパート、食堂や居酒屋などで学生街が形成されています。市の繁華街に歩いて15分～30分程度で行くことができます。学生の主な交通手段は自転車です。

■コースの概要

① コースの特色

〇様々な分野の勉強が可能な環境

本学の日研生コースは、自分で既に学びたい分野があり、その基礎を作ったり、さらに深めたいという学生に最適のコースです。

留学生用の日本語日本文化関係科目から、学部の専門科目まで、幅広い分野の授業を受けることが出来ます。そのため、日本語日本文化関係の興味ある分野や周辺分野の基礎を作ることができます。

また、学部の教員が指導教員としてつきますから、日本語能力に応じて日本人と同じ指導を受けることができます。

弘前は地方の小都市ですが、伝統ある城下町で、伝統的な生の日本文化に容易に触れることができます。

〇学部に所属して研究室の一員に

日研生は、人文学部か、教育学部かいずれかの学部に所属し、特に日本語能力が高い学生は日本人学生と一緒にゼミナールに参加、ゼミの行事に参加しています。

（近年、日研生を受け入れた教員の専門分野は、日本文学、比較文学、日本史、思想史、国語学、言語学、言語教育学、社会学、日本美術学、民俗学、考古学、国際政治などです。）

〇充実した実地見学・体験学習
留学生向けの「国際交流科目」は実地体験、体験学習を多く取り入れております。



② 受入定員
4名（大使館推薦2名、大学推薦2名）

③　受講希望者の資格、条件等

このプログラムの受講者は、大使館から推薦された日本語・日本文化研修留学生とし、かつ、以下の要件を満たす者とします。まず、大使館推薦の要項をよく読んでください。

また専門によって以下の条件を加えます。

・日本で調査・研究活動をする予定の学生は、調査・研究活動に必要な言語能力があること

・日本で文献収集を行う予定の学生は、日本語で文献を読む能力があること。

（注意）日本に関する特定の専門分野（日本文学「古代、中世、近代、現代」、日本語学「古代、中世、近代現代」、日本史「古代、中世、近代」、日本考古学、日本美術史、日本経営、日本民族学など）を学ぶ希望のある学生は、分野名を願書に明記することが必要です。

また、文学と歴史については、時代を示すことが可能であれば望ましいです。学びたい分野として「日本語」「日本文化」「日本事情」としか書かれていないと、これらは日本の大学では専攻名としては扱われていませんので、専門が違う教員が指導教員になる場合もあります。

④　達成目標

〇日本語：より高い総合日本語力（N3～N1超）を獲得する。
〇研究対象分野：対象分野についてのプロジェクトを行ったり発表したりできるようになる。

⑤　研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は8月を予定（2015年は8月）
1：秋学期　10月1日 ～ 2月上旬
2：春学期　4月上旬 ～ 8月上旬　各16週

⑥　研修科目の概要

一般学生・短期プログラム用の授業を受講しながら個々の専門に応じた資料収集、調査等の指導を受ける。

1)　日本語科目

（科目名）	（回数）	（内容）
中級A	週2回	総合日本語
中級B/E	週2回	読解
中級C	週1回	作文
中級D	週1回	文法
中上級A	週1回	スピーチ・聴解
中上級B	週1回	読解
中上級C	週1回	作文
中上級D	週1回	文法
上級A	週1回	スピーチ・聴解
上級B	週1回	読解
上級C	週1回	作文
上級E	週1回	専門日本語基礎

2)　理論と体験を通して学ぶ日本事情科目
インターンシップ　科目

（科目名）	（回数）	（内容）
日本のスポーツ	週1回	日本の伝統スポーツの理論と実際
津軽の工芸	週1回	津軽工芸の歴史学習と体験実習
津軽近代文化史	週1回	講義と見学で学ぶ地域近代史
インターンシップ	週1回	インターンシップ
地域ツーリズム	週1回	インターンシップ

（インターンシップにはN2相当以上の総合日本語力が必要）

3)　主に日本語で開講される専門科目等

21世紀教育科目(1,2年生用の基礎･教養科目)
学部専門科目等

⑦　年間行事

10月	秋学期オリエンテーション
10月	総合文化祭
12月	桔梗野餅つき大会
2月	外国人留学生卒業懇談会
4月	春学期オリエンテーション
8月	ねぷた運行参加、桔梗野町会盆踊り

⑧　指導体制

・日本語担当教員

小山　宣子　　国際教育センター准教授
（日本語教育学）

鹿嶋　彰　　国際教育センター准教授
（日本語教育学）

・日本文化・日本事情担当教員

諏訪　淳一郎　国際教育センター准教授
（文化人類学）

サワダ・ハンナ 国際教育センター准教授
（比較文学・文化）

学業面では、主に学部の指導教員と国際教育センターの責任教員が、生活面では、指導教員および国際教育センター教員が指導、助言に当たります。

⑨　コースの修了要件

〇本プログラム修了者には、1年で20単位の修得と修了レポートの提出を条件として、研修修了証書を授与します。

〇授業科目を履修した者については、試験の上、合格した者に単位を与えます。

■宿　舎

国費外国人留学生（日研生を含む）を対象とした宿舎は現在ありません。希望により、市内のアパート（1万5千円~3万5千円程度）を紹介できます。

■修了生へのフォローアップ

〇フォローアップ実績の一例

・修了レポートを卒業論文につなげるために、弘前大学教員がサポート
・再度日本に留学し、大学院に出願している学生へ、弘前大学教員がサポート
・母国での研修分野での大学院進学のサポート

〇修了後のキャリアパスの一例

・母国で日本語教員として就職
・母国や日本の企業で専門性を生かした仕事に従事

■問合せ先

（担当部署）

弘前大学国際教育センター

住所　〒０３６－８５６０
青森県弘前市文京町１

TEL　＋８１－１７２－３９－３１０９（直通）
FAX　＋８１－１７２－３９－３１３３
E-mail　jm3109@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学国際教育センターホームページ
http://www.hirosaki-u.ac.jp/kokusai/index.html

弘前大学ホームページ
http://www.hirosaki-u.ac.jp/

日研生ホームページ
http://www.hirosaki-u.ac.jp/kokusai/page/jp/page12%20-1.html



HIROSAKI UNIVERSITY

弘前大学

Study "JAPAN" in Hirosaki.

■Introducing

① Characteristics and Overview

Hirosaki University is the only National University in Aomori Prefecture. It is now comprised of 5 faculties and 7 graduate schools.

Established : 1949

Number of students	:	6,862
Undergraduate	:	6,078
Graduate	:	784
International students	:	154

○Faculties :

Humanities, Education, School of Medicine, Science and Technology, Agriculture and Life Science

○Graduate schools

Humanities and Social Science (M&D)
Education (M)
Science and Technology (M&D)
Agriculture and Life Science (M)
Medicine (D)
Health Science (M&D)

② International Exchange

Sister Universities: 26 (12 countries)
Overseas offices: 3 (China 2, Thai 1)

③Number of Japanese Studies Students in past 3 years (including students recommended by the University)

2015:154 International students, 3 JSSs
2014:135 International students, 3 JSSs
2013:111 International students, 3 JSSs

④Characteristics of Town

Hirosaki city where Hirosaki University is located is a university town, having 4 universities with a population of 180,000. Hirosaki has been prospered originally as a castle town, used to be ruled by the Tsugaru clan, however it's surrounded by farming areas. The living cost is relatively low, and it's livable for students from abroad. Students would feel comfortable to live in, because there are many students in this area. You can find apartments, dining, and bars for students around this university area. And you can go to the downtown in about 15-30 minutes on foot. Most students use bicycles as a primary means of transportation.

■Outline

① Characteristics of Course

○ Environments making it possible for various subjects of study

This course is suited to students who have an area they wish to do research and deepen their knowledge. International Education Center staff will support students' investigations, experiments, and research.

Because they will be assigned an Academic Advisor in a faculty, it is possible for them to receive the same supervision as Japanese students, depending on their level of Japanese proficiency.

Though Hirosaki city is local and small, you can experience conventional, real Japanese culture in this traditional castle town.

○ Join faculty and become a member of a laboratory

As students who belong to Faculty of Humanities or Faculty of Education, those who have high Japanese language proficiency can attend seminars and use the facilities like the Japanese students. They can take part in events organized by seminars, such as trips.

(Specialized fields of recent accepted Japanese Studies Students are: Japanese Literature, Comparative Literature, Japanese History, History of Thought, Japanese Philology, Linguistics, Language Education, Sociology, Japanese Arts, Folklore, Archeology, International Politics)

○ Fulfilling field trips, hands-on experiences

Many of "International Exchange courses" feature field trips and hands-on experiences.



② Number of students to be accepted:
4 people (University recommendation = 2)
(Embassy recommendation = 2)

③ Conditions for eligibility

Students should be recommended by the Japanese Embassy in their country as students in our Japanese Studies Program and should meet the requirements below. Please read the guidelines for the scholarship program carefully.

・For students researching/studying in Japan:
Adequate language proficiency in order to carry out investigations and conduct research

・For students acquiring documents in Japan:
Adequate language proficiency in order to read academic papers

Please Note:

Students planning to study specific areas concerning Japan are required to define their fields of study as clearly as possible.

For example, Japanese Literature (Ancient, Middle, Modern, and Postmodern), Japanese Linguistics (Ancient, Middle, Modern, and Postmodern), Japanese History (Ancient, Middle, and Modern), Archeology, History of Art, Japanese Management, Japanese Folklore, etc.

Japanese Language, Japanese Culture, and Japanese Affairs are not considered as course names, so without further specification, students may be assigned to an Academic Advisor outside their preferred field.

④ Course Goals

〇Japanese : Should aim to improve Japanese skill (N3～N1 or above)

〇Research subjects: Should aim to be able to work on a project or make a presentation on their research field.

⑤Duration

Oct. 1, 2016 ～Sept. 30, 2017

1 : Fall semester Oct. 1 ～ Early Feb.

2 : Spring semester Early Apr. ～ Early Aug.
(16 weeks each)

Commencement will be held on Aug.

⑥Outline of trainee subject

Students are provided guidance regarding collecting materials and conducting research in their field while taking classes for regular students and the Short-Term Student Exchange Program course.

1) Japanese

Subject	Schedule	Content
Intermediate A	twice a week	General Japanese
Intermediate B/E	twice a week	Reading
Intermediate C	once a week	Writing
Intermediate D	once a week	Grammar
UpperIntermediate A	once a week	Speech Listening
UpperIntermediate B	once a week	Reading
UpperIntermediate C	once a week	Writing
UpperIntermediate D	once a week	Grammar
Advanced A	once a week	Speech Listening
Advanced B	once a week	Reading
Advanced C	once a week	Writing
Advanced E	once a week	Foundation of basic Japanese

2) Japanese Culture subjects learning by theories and experiences, and internship

Subject	Schedule	Content
Japanese sports	once a week	Traditional Japanese Sports
Tsugaru arts	once a week	Traditional Tsugaru Art study
Modern Tsugaru History	once a week	Modern history of Tsugaru
Internship	once a week	Internship
Regional tourism	once a week	Internship

3) Other Subjects

General education (for freshman and sophomore), special subjects of departments

⑦ Annual Event

Oct.	Fall term orientation
Oct	University Festival
Dec.	Kikyono Community rice cake-making party
Feb.	International student graduation and completion celebration
Apr.	Spring term orientation,
Aug.	Participation in the Neputa festival and Kikyono community bon dance

⑧ Teaching Staff

・Staff in charge of Japanese language courses:

Nobuko Oyama, Associate Professor, International Education Center, specializing in Japanese language pedagogy

Akira Kashima, Associate Professor, International Education Center, specializing in Japanese language pedagogy

・Staff in charge of Japanese cultures and affairs:

Junichiro Suwa, Associate Professor, International Education Center, specializing in Anthropology

Hannah Sawada, Associate Professor, International Education Center, specializing in Comparative literature and culture

Academic advisors and teachers in the International Education Center are in charge of providing guidance regarding study and all teachers in the center are in charge of providing advice regarding life in Japan.

⑨ Requirements for completing the program

○A certificate of completion is awarded for students completing this program with 20 credits in a year and submitting a report of completion.

○Students receive credits when they take class subjects and pass the exam.

■Housing

There are no specific accommodations for national scholarship students. The International Education Center will help the students find apartments (¥15,000-¥35,000 per month) .

■Follow-ups for completed students

○Example of the follow-up

・Support by teachers of Hirosaki University to guide the students' report of completion in their thesis

・Support by teachers of Hirosaki University for students who wish to continue their study and apply for a graduate school in Japan

○Example of career path

・Japanese language teacher in students' home countries

・ Work for companies of Japan or students' countries by utilizing their specialties

■For further information

Hirosaki University
International Education Center

Hirosaki University
Bunkyo-cho 1
036-8560 Hirosaki City
Aomori Prefecture Japan

Tel.: +81-172-39-3109
Fax: +81-172-39-3133
E-mail: jm3109@hirosaki-u.ac.jp

International Education Center Home Page Address:
http://www.hirosaki-u.ac.jp/kokusai/index.html

Hirosaki University Home Page Address:
http://www.hirosaki-u.ac.jp

Web site for Japanese Studies Students:
http://www.hirosaki-u.ac.jp/kokusai/page/jp/page12%20-1.html



岩手大学 (岩手県)

知識、体験、分析を融合させた知的発見による学びの場を提供

■大学紹介

① 大学の特色および概要

岩手大学は、宮沢賢治の母校として、また、東日本大震災以降は特に地域の復興に取り組み、地域の持続的な発展に寄与することを目的として「震災復興・地域創生」「グローバル人材育成」「イノベーション創出」の３つを柱とした持続可能な地域社会に貢献する「地域密着型」の大学である。

1949年に学芸学部、工学部、農学部からなる新制大学として発足し、2016年4月から学部として人文社会科学部、教育学部、理工学部及び農学部に改組の予定であり、大学院修士課程として人文社会科学研究科、教育学研究科、工学研究科（博士前期課程）及び農学研究科を、大学院博士課程として工学研究科（博士後期課程）と連合農学研究科を有している。

また、学内共同教育研究施設として、地域連携推進機構、教育推進機構（グローバル教育センター）、情報基盤センター、保健管理センターなどが設置されている。

岩手大学は学生数約5,500名、教職員約750名（うち教員約480名）の大学である。４つの学部がすべて同じキャンパスにあり、面積は42万㎡に及ぶ。10分以内でキャンパスのどこへでも移動でき、皆が集まれるのも大変便利である。

本学には約50万点の資料や標本等がある。これらの財産を学内で教育研究に用いるだけでなく、一般市民にも活用してもらうという目的で、大学全体を総合博物館として“岩手大学ミュージアム”の名称で一般公開されている。中には植物園、自然観察園、獣医学科標本室等の施設や重要文化財に指定されている農業教育資料館、旧門番所・旧正門があり、市民の憩いの場ともなっている。

② 国際交流の実績

近年本学でも国際交流が一段と活発化しており、海外からの研究者や留学生は年々増加している。2015年5月1日現在で、中国・ロシア・アメリカ等19カ国１地域、47の大学・研究機関等と国際交流協定を締結している。

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

	2013	2014	2015
留学生数	203	209	219
日本語･日本文化研修留学生	4	6	5

④ 地域の特色

本学の位置する盛岡市は、北東北の交通の中心地であり、豊かな自然に囲まれた人口30万の教育・文化都市である。

岩手は、宮沢賢治・石川啄木・野村胡堂・萬鉄五郎・田中館愛橘・金田一京助など、学術・文化に貢献した多くの人材や、後藤新平、新渡戸稲造ら国際的に活躍した人物を生み出した土地である。総理大臣も４人輩出している。県南部に位置する平泉はかつて奥州藤原氏が栄華を誇った土地で、2011年６月にユネスコの世界遺産に登録された。2015年７月に、ユネスコ世界文化遺産に登録された橋野鉄鉱山も釜石市にある。また、県中央部の遠野は、多くの民話や伝承が残り、民俗学者　柳田國男の『遠野物語』で有名である。

さらに、2011年3月の東日本大震災では沿岸地域に甚大な被害を被ったが、盛岡をはじめ内陸地域から被災地支援が継続的に行われ、地域一体となって復興を目指している。

こうした豊かな文化や歴史を有し、また大きな自然災害を経験した岩手の、県都盛岡の中心部に位置する岩手大学で学ぶことは、即ち日本の文化や風土を理解し、災害を含め自然と人間との共存について知るのに適した地域であると言えるだろう。世界各国の有為の若者の訪れを期待している。



■コースの概要

① コースの特色

本コースのねらいは、日本語及び日本の諸事情、即ち日本の文化・歴史・地理・政治・経済・社会・教育等について、理解を深めさせることにある。教室内の学習にとどまらず、着物の着付け、華道などの日本文化体験、地域住民との文化交流活動、ボランティアなど様々な体験学習が豊富に用意され、体験を通して「日本語」「日本文化」どちらも学べるのが本学のプログラムの特色である。

また、滞在中を通じてひとつのテーマについて修了論文をまとめる「個別研究」を通じて、実践的な研究力を高め、卒業論文の基礎研究とすることができる。

② 受入定員

５名（大使館推薦２名、大学推薦３名）

③　受講希望者の資格、条件等

このコースを受講する者は、次の1)，2) を満たしていることを要件とする。

1) 中級後半以上の日本語（漢字1,000字程度、語彙6,000語程度）を学習し、日常生活に必要な会話能力、文章の読み書き能力を有すること。

2) 日本語・日本文化に関する分野を専攻している者、または他の分野を専攻しながら日本語・日本文化に関する分野も学習している者。

④　達成目標

本コースの達成目標は以下の通りである。

1) 来日時と比較して2段階以上の上の日本語能力を習得する。
2) 日本語によるアカデミックな文章作成力、口頭発表力を習得する。
3) 日本や岩手について体験に基づく幅広い知識を獲得し、理解、解釈する能力を得る。

⑤　研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は8月を予定

⑥　研修科目の概要

本コースは、

1)　日本語・日本事情等に関する留学生向けの授業
2) 各自の研究テーマに関する専門の授業（日本人学生とともに参加）
3) 個別研究

の３つで構成される。

指導教員の助言のもとに本学の開設科目の中から各自の能力、関心に応じて選択し、履修することができる。自由度の高いカリキュラムを活用することにより、独自の日本語・日本文化の研究を深めることが可能となる。

「個別研究」では日本語・日本文化に関するテーマを選択し、文献分析、調査などにより研究を進め、その成果は口頭ならびに小論文で発表を行う。

岩手大学において開講している日本語・日本事情関係の授業科目は、以下の通り（１コマ＝90分）である。

日本語・日本事情科目	
国際交流科目	中級日本語Ⅰ文法
	中級日本語Ⅰ会話
	中級日本語Ⅰ作文
	中級日本語Ⅰ読解
	中級日本語Ⅰ漢字
	中級日本語Ⅱ文法
	中級日本語Ⅱ会話
	中級日本語Ⅱ作文
	中級日本語Ⅱ漢字
	中級日本語Ⅱアカデミック
	上級日本語アカデミック
	上級日本語ビジネス
共通教育科目	上級日本語Ａ（口頭発表）
	上級日本語Ｂ（読解１）
	上級日本語Ｃ（理系1・文系1）
	上級日本語Ｄ（論文作成１）
	上級日本語Ｅ（口頭表現）
	上級日本語Ｆ（読解２）
	上級日本語Ｇ（理系2・文系2）
	上級日本語Ｈ（論文作成２）
	多文化コミュニケーションＡ
	多文化コミュニケーションB
	日本事情Ａ
	日本事情Ｂ

日本文化・日本研究科目（国際交流科目）
岩手学（英語）
比較日本史A(英語)
比較日本史B(英語)
やさしい日本語で語る日本の古典文学
個別研究

※（英語）：英語で実施する
※　28年度から新規開設科目開講予定

1)　必修科目

①日本語科目：各学期４単位以上
②日本事情科目：各学期２単位
③日本文化・日本研究科目２単位以上
④個別研究

2)　見学、地域交流等の参加型科目

①岩手学：周辺の名所・旧跡等を訪ねたり、博物館等の文化施設で研修を行なう。
②多文化コミュニケーション：合宿研修が組み込まれた、留学生と日本人学生との交流型授業である。

その他、学内・学外のイベント、ボランティア活動等に積極的に参加して、関係者や市民との交流を深める。大学祭、さんさ踊り（地域の祭り）、スキーツアー、着物体験会など季節毎の催しが学外諸団体の協力のもとに数多く実施され、留学生がこれらを通して日本文化を実体験できる。小中高などに招かれて交流会等に参加することも多い。

3)　その他の講義、選択科目等

人文社会科学部、教育学部、理工学部、農学部で開講されている専門教育科目の中から、各自の能力、関心に応じて講義を選択することができる。

⑦　年間行事

１０月　開講式・オリエンテーション
　　不来方祭（文化祭）
１１月　北東北国立三大学合同合宿研修
１２月　生け花体験、着物体験
　　冬休み（12月23日～1月7日）
１月　フィールドスタディ（スキー）
６月　留学生と市民のガーデンパーティー
７月　個別研究発表
８月　盛岡さんさ踊り
　　プログラム修了式
　　フィールドスタディ（見学旅行）
　　夏休み（8月5日～9月30日）



フィールドスタディ（見学旅行）



フィールドスタディ（スキー）

⑧　指導体制

留学生の専門分野や興味・関心にマッチする専攻の教員が、指導教員としてあたる。また、日本語指導や生活・就学上の相談などについては、グローバル教育センターの教員が、共同で携わる。

グローバル教育センターの専任教員は、次の通りである(2016年度予定）。

職　名	氏　　名
教　授	松　岡　洋　子
准教授	尾　中　夏　美
准教授	アンデス　カールキビスト
准教授	平　井　華　代

⑨　コースの修了要件

修了判定＝必修科目を全て履修した者について、審議により判定する。

受講科目修了者については、成績等の条件を満たした場合、単位を与える。（単位修得証明書を発行する。）

着物体験





ガーデン
パーティー

■宿　舎

キャンパス内に位置する国際交流会館（単身用30室、夫婦用3室、研究員用3室）や日本人学生と混住の学生寮、あるいは大学が借り上げている民間アパートに入居が可能である。
http://iuic.iwate-u.ac.jp/01_hope/hope_05/index.html



国際交流会館

■修了生へのフォローアップ

帰国後の進路等について、継続的に連絡をとり、情報交流や必要な支援を行う。

また、日本での就職希望者について、キャリア支援課と協力し、ガイダンス等の支援を行う。

■問合せ先

（担当部署）
岩手大学学務部国際課
住所　〒020-8550
岩手県盛岡市上田三丁目18－34
ＴＥＬ　　+81－19－621－6927（直通）
ＦＡＸ　　+81－19－621－6290
E-mail　　gryugaku@iwate-u.ac.jp
ＵＲＬ
岩手大学グローバル教育センターホームページ
http://iuic.iwate-u.ac.jp/
岩手大学ホームページ
http://www.iwate-u.ac.jp/



Iwate University (Iwate prefecture)

We provide intellectual discoveries integrating knowledge, experience and analysis.

■Profile of Iwate University

① Profile of Iwate University

Iwate University is known as the alma mater of MIYAZAWA Kenji. After the Great East Japan Earthquake, it has been known as a leader for recovery of affected areas. Now its three emphases are *Disaster Recovery-Vitalization of Local Areas*, *Development of Global Human Resources*, and *Fostering Innovation*. Its mission is to be a " locally-oriented university," contributing to a sustainable local community.

Iwate University was founded in 1949 with the Faculties of Liberal Arts, Engineering, and Agriculture. Since then it has continued to grow. As of April 2016 our 4 undergraduate Faculties will be Humanities and Social Sciences, Education, Science & Engineering and Agriculture, with a master's program in each Faculty and a doctoral program in the Faculty of Engineering and the United Graduate School of Agricultural Sciences.

In addition, we have many interdisciplinary departments and affiliated institutions to support our academic activities. Some of them are the Center for Regional Collaboration in Research and Education, University Education Center(Global Education Center).,Center for Information and Media, Health Administration Center .

Enrollment at Iwate University is approximately 5,500 students, with 480 teaching faculty members and 270 administrative staff to support them. All four faculties are located in the center of Morioka, on the same campus (with an area of 420,000 square meters), so it is easy to visit all of them and takes less than 10 minutes to walk around the campus.

Iwate University is proud of its collection of about 500,000 items of valuable relics and materials provided by the hard work of its past and present faculty members.

To let the public utilize its resources, not only using them for research and education on the campus, we started "Iwate University Museum" , which enables the whole university to be one museum. Among the facilities that contain these treasures is the University Botanical Garden, the Nature Observation Park, center for agricultural education, and center for veterinary study.

② History of International Exchange

International exchange is becoming more and more active at Iwate University as visiting scholars and students from overseas are increasing. Iwate University has exchange agreements with about 47 overseas institutions in 19 countries and 1 region as of May 1st, 2015.

The university has been accepting international students on the JLC Program since 2001 and is planning to increase the number.

③ International Students (2011-2013)

	2013	2014	2015
Number of Foreign Students enrolled	203	209	219
Number of Japanese Studies Students enrolled	4	6	5



Historical Museum for Agricultural Education

④ Other Information

Morioka City serves as the center of the North Tohoku Region with a population of 300,000. It has an abundance of nature, and it is known as a city of education and culture.

There are many people from Iwate who have played important roles in the areas of scholarship, culture and politics. Among them include the philosopher MIYAZAWA Kenji, the poet ISHIKAWA Takuboku, and the author and international administrator NITOBE Inazo. Additionally, four former Prime Ministers were from Iwate.

Hiraizumi, which is located in southern Iwate, was the center of prosperity of the Fujiwara Family. It was registered as a UNESCO World Heritage site in June 2011, followed by the Hashino Iron Mining and Smelting Site in Kamaishi in 2015. Also, Tohno, well-known for folklore and folk tales, is located in the center of Iwate Prefecture. A famous folklorist, YANAGIDA Kunio wrote "Tales of Tohno".

In March 2011, Iwate's coastal areas were utterly destroyed by the Great East Japan Earthquake. Morioka as well as other inland areas of Iwate continuously provide support to the disaster affected areas, and all communities work together towards recovery. Iwate has a rich culture and history, and it also experienced the great natural disaster. Studying at Iwate University, located in Morioka, the capital of Iwate, would be most suitable for students wanting to understand Japanese culture and nature and how nature (including disasters) and human beings can coexist. We are always looking forward to seeing promising youth from around the world on our campus.

■Outline of Courses

① Profile

The program focuses on Japanese language and affairs as a whole: culture, history, geography, politics, economics, society, education, etc.

In order to encourage students to understand "Japan", students will engage in hands-on experiences outside the classroom such as a kimono workshop, tea ceremony, Japanese calligraphy, etc. In addition, students are required to write an academic report focusing on the topic of their selection related to Japanese culture.

② Maximum Enrollment: 5
(Recommendation by Embassy: 2)
(Recommendation by University: 3)

③ Qualification for Enrollment

In order to apply for this program, students must meet the following requirements.

1) An intermediate or advanced level of Japanese proficiency, mastery of approximately 1,000 basic kanji and a vocabulary of 6,000 words, and the ability to carry on daily conversation and read simple passages in Japanese.

2) A major or minor of Japanese language, Japanese culture or a Japan-related field at their home institution.

④ Goals and objectives

Goals of this course are as below.

1) Students acquire two or more higher-level Japanese language skills compared to when they just arrived in Japan.
2) Students acquire academic writing and presentation skills in Japanese.
3) Students acquire wide-ranging knowledge based on their experiences in Japan and Iwate and also skills to understand and interpret these experiences.

⑤ Period:
1 October, 2016 – 30 September, 2017
(Closing Ceremony: early August)

⑥ Outline of Courses

The course of study has two main components. In one, students take Japanese language and culture classes for international students. In the other, students take classes in their areas of study with Japanese undergraduates from the university. Students are assigned an adviser who will help them decide the number of classes to take. Usually, students can take any course that is available and meets their interests. Thus, they are able to focus on their specific area of interest.

Iwate University provides Japanese language courses from the beginning to the advanced level. In these classes, students have the unique opportunity to study Japanese with classmates from a variety of different countries. There are also courses taught in English.

Courses encompassing the study of the Japanese language and Japanese Affairs are listed on this page (one class length is 90 minutes).
(Students in the JLC Program are able to take interdisciplinary courses and supplementary courses.)

※Some courses will be started from the 2016 academic year.

Introductory Major Courses
Iwate Studies (Taught in English)
Comparative Japanese History A (Taught in English)
Comparative Japanese History B (Taught in English)
Japanese Classical Literature in easy Japanese
Independent Studies



Kimono workshop

Japanese Language & Japanese Affairs Courses	
International Courses	Intermediate Japanese I grammar
	Intermediate Japanese I Conversation
	Intermediate Japanese I Composition
	Intermediate Japanese I Reading
	Intermediate Japanese I Kanji
	Intermediate Japanese II Grammar
	Intermediate Japanese II Conversation
	Intermediate Japanese II Composition
	Intermediate Japanese Kanji
	Intermediate Japanese II for Academics
	Advanced Japanese for Business
	Advanced Japanese for Academics
	Independent Studies
Interdisciplinary Courses	Advanced Japanese A (Presentations) Advanced Japanese B (Reading 1) Advanced Japanese C (JSP for Science/Social science 1) Advanced Japanese D (Writing 1) Advanced Japanese E (Oral communication) Advanced Japanese F (Reading 2) Advanced Japanese G (JSP for Science/Social science 2) Advanced Japanese H (Writing 2)
	Multicultural Communication A
	Multicultural Communication B
	Japanese Culture & Society A
	Japanese Culture & Society B

1) Required Course

① Japanese Language:
More than 4 credits per semester

② Japanese Culture and Society
2 credits per semester

③ Japanese Culture and Research
2 Credits (Independent Studies)

2) Courses for Active Participation

① Iwate Studies
Students will visit famous spots in the area including museums and learn the history of Iwate Region.

② Multicultural Study Camp
Students study about multicultural communication through camping with junior high school students and other university students.

Also, International students are invited to participate in such annual events as Cherry-tree blossom viewing picnics (Japanese tradition), a bus tour, camping, summer festivals, Mochi pounding, skiing and a visit to a hot spring, Girl's Doll Festival, Kimono workshop etc. by local community groups. These hands-on experiences serve as a great opportunity to understand Japanese culture. Students are also invited to local schools for cultural exchanges.

3) Other Courses
Students can choose classes, depending on their own skills and interests, from various specialized subjects related to Japanese language and culture from any of the faculties: Humanities and Social Sciences, Education, Science and Engineering and Agriculture.



Field Study

⑦ Annual Events

Oct. Opening Ceremony & Orientation, University Festival
Nov. International Camp for Multicultural Communication Training
Dec. Ikebana and Kimono Workshop

Winter Vacation (23 Dec. – 7 Jan.)

Jan. Ski Trip

May. Workshop for Disaster Prevention

Jun. Garden Party

Jul. Final Presentation

Aug. Closing Ceremony, Field Study

⑧ Teaching Staff
Advisers are assigned to individual students to help them in their respective fields of study. In addition, faculty members from the Global Education Center assist students with their Japanese language study as well as academic and daily life.

The faculty members belonging to the Global Education Center are:

Professor	Yoko MATSUOKA
Associate Professor	Natsumi ONAKA
Associate Professor	Carlqvist ANDERS
Associate Professor	Hanayo HIRAI

⑨ Requirements for a Certificate of Completion
Method for certify of completion: the council screens the students who completed all required courses.

A Certificate of Completion and transcript will be issued to students who successfully complete the program. Students earn the credits if their academic scores meet the requirements.



Ski Trip

■Resident Facilities

The International House is an on-campus housing facility for international students. It has 30 single rooms, 3 rooms for couples, and 3 rooms for researchers. International students can live in the International House for up to 1 year. There are also regular dormitories or university-managed apartments near campus.
http://iuic.iwate-u.ac.jp/english/01_hope/hope_05/index.html



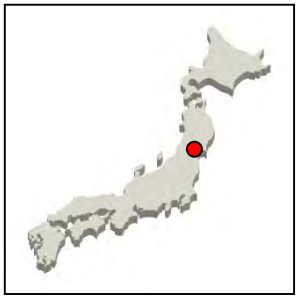
International House

■Follow-up for Graduates

Students can get continued support after they leave about their career paths, and necessary information will be provided.

■Contact Address

International Office, Iwate University
3-18-34 Ueda, Morioka, Iwate 020-8550
TEL : +81-19-621-6927 (direct line)
FAX : +81-19-621-6290
Email : gryugaku@iwate-u.ac.jp
URL :
http://www.iwate-u.ac.jp
http://iuic.iwate-u.ac.jp/



東北大学 （宮城県）

自主的な学習・研究活動を好む学生に向いたプログラムである。 多数の日本語の授業に加えて、日本思想史、日本文学関連の授業を常時開講している。また、授業での発表のしかた、報告の書き方などアカデミック・スキルの指導にも力を入れている。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1）東北大学は日本で3番目の国立大学として1907年に創設された。現在、10の学部、16の大学院研究科、3つの専門職大学院及び6つの研究所がある。伝統の「門戸開放の精神」と「研究第一主義」にもとづき、国際級の大学として、教育・研究上重要な役割を果たしている。

2）学部名、教員数、学生数は次のとおりである。
（平成27年5月）

学部：文学部、教育学部、法学部、経済学部、
理学部、医学部、歯学部、薬学部、
工学部、農学部

教員数：3，184名

学生数：学部学生11，126名
大学院生　6，705名　計17，831名

② 国際交流の実績

留学生数： １，６６３名（８６カ国）（２０１５年５月現在）
外国人研究者数： ２，３８２名（２０１４年度受入実績）

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数1,663人、日本語・日本文化研修留学生6人
2014年：留学生数1,532人、日本語・日本文化研修留学生10人
2013年：留学生数1,436人、日本語・日本文化研修留学生3人

④ 地域の特色

宮城県は東北地方に属している。東部は太平洋に面し、仙台平野をはさんで西部は山地となっており、漁業、農業等がさかんである。東北大学のある仙台市（人口約100万）は城下町として栄えた都市で、現在は東北地方の経済・文化の中心として重要な役割を果たしている。昔から「杜の都」と言われ、日本の中でも美しく住みやすい都市の一つとして知られている。首都の東京からは新幹線で１時間４０分の距離である。

■コースの概要

① コースの特色

東北大学日本語・日本文化研修プログラム

本プログラムは、多様な日本語・日本文化関係の授業の中から、当人のレベル・目的に適合した授業を選択して受講する方式になっている。自主的な学習・研究活動を好む学生に向いたプログラムである。多数の日本語の授業に加えて、日本思想史、日本文学関連の授業を常時開講している。また、授業での発表のしかた、報告の書き方などアカデミック・スキルの指導にも力を入れている。

② 受入定員
１０名（大使館推薦９名、大学推薦１名）

③　受講希望者の資格、条件等

本プログラムへの応募者は次の条件を満たすことが求められる。

１）中級以上の日本語能力を有すること。国際交流基金が実施している日本語能力試験の２級以上の能力を有することが望ましい。
２）原籍大学において、日本語・日本文化に関する分野を主専攻としていること。

④　達成目標

日本語能力の向上、および日本・日本文化に対する理解を深める。

⑤　研修期間
2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は9月を予定

⑥　研修科目の概要

留学生のために開講されている右記の授業科目を中心に受講する。授業は１回９０分である。

レベル	授業種別	学習内容	期間
中級後期	文法	中級後期の文法を学ぶ。	15週
	聴解	ニュースなどの聴解練習を行い、日本社会に関する知識を得る。	〃
	聴解	e-learning システムを利用して聴解練習を行う。	〃
	会話	ゼミ形式で会話練習を行う。報告、発表、討論などの方法を学ぶ。	〃
	読解	解説文や論説文の読解を通して、学術的な文章の表現や構造を学ぶ。	〃
	作文	学術的文章の作成の技法を身につける。学期末に小論文を書く。	〃
	応用	応用練習。日本人学生をまじえたコミュニケーションのクラス。	〃
	漢字	大学で使う基本的な語彙を重点的に学習する。	〃
	日本文化	日本の歌を素材として日本語・日本文化を学ぶ。	〃
	日本文化	日本研究ゼミ。論説文の概要を報告し、内容について討論する。	〃
	日本文化	日本の企業で働くために必要な日本語表現やマナーを学ぶ。	〃
	日本文化	経済学・経営学の分野で使われる日本語を学ぶ。	〃
上級	文法	上級前期の文法を学ぶ。	〃
	読解	日本の社会や文化についての文章の読解により学術的表現を習得する。	〃
	応用	応用練習。研究のための日本語の総合的な力をつけることをめざす。	〃
	漢字	大学での勉学・研究に必要な漢字語彙を学習する。	〃
	映像	映画やTVドラマを見て、日本語と日本文化を学ぶ。	〃
	多文化	日本人学生とともに現代日本社会について考える。	〃
	日本思想	江戸時代までの歴史を、思想を中心に学習する。	〃
	日本思想	明治時代以降の歴史を、思想を中心に学習する。	〃
	日本文化	著名な日本文化論を読み、意見交換を行う。	〃
	日本研究	日本研究ゼミ。論説文の概要を報告し、内容について討論する。	〃
	近代・現代文学	明治時代から現代までの文学作品からテキストを選んで読み、内容について話し合う。	〃

2)　見学、地域交流等の参加型科目

全学の留学生のうち、希望者を対象とする特別講義を年５回行う。特別講義は、日本の伝統文化についての実演をかねた授業である。華道、和菓子作り、茶道、和太鼓など。

3)　その他の講義、選択科目等

全学の学部学生を対象とした全学教育科目や、各部局で開講している学部学生向けの授業も、担当教員の許可を得て履修又は聴講することができる。

⑦　年間行事

オリエンテーション、開講式、インターナショナル・アワー（年8回程度：日本人学生や他の留学生との交流行事）、国際祭り　など。

⑧　指導体制

担当教員：文学研究科　高橋章則教授

（日本思想史学、文化史学）

日本語教育部門スタッフ：３６名

事務責任者：我妻建史 教育・学生支援部留学生課長

※ 研修生には指導教員がつく。

⑨　コースの修了要件

研修生は各学期６科目以上の授業を履修しなければならない。

■宿　舎

施設及び所在地

・国際交流会館三条第一会館

仙台市青葉区三条町19-1

・国際交流会館三条第二会館

仙台市青葉区三条町10-15

・国際交流会館東仙台会館

仙台市宮城野区東仙台6-14-15

・ユニバーシティ・ハウス三条

仙台市青葉区三条町19-1

・ユニバーシティ・ハウス三条Ⅱ

仙台市青葉区三条町19-1

・ユニバーシティ・ハウス片平

仙台市青葉区一番町1-14-15

【ホームページ】
http://www.insc.tohoku.ac.jp/cms/index.cgi?pg=130515141317



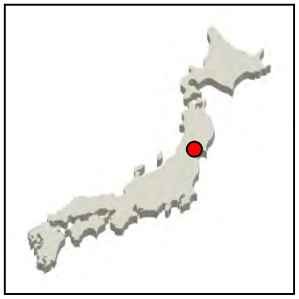






■問合せ先

東北大学教育・学生支援部留学生課国際教育係
住所　〒980―8576
宮城県仙台市青葉区川内41
TEL　＋８１－０２２－７９５－７８１７(直通)
FAX　＋８１－０２２－７９５－７８２６
E-mail　sed2@grp.tohoku.ac.jp
東北大学グローバルラーニングセンターホームページ
http://www.insc.tohoku.ac.jp/cms/index.cgi
東北大学ホームページ
http://www.tohoku.ac.jp/



TOHOKU UNIVERSITY (Miyagi Prefecture)

This program is aimed at students who have strong motivation and interest in independent research activities. In addition to a number of Japanese language courses, the program regularly offers classes in history of Japanese thoughts, Japanese literature, etc. Among the foci of the program is to train program students in academic skills in class presentation and report writing.

■ University's Overview

① University's Overview

Tohoku University was founded in 1907 as the third Imperial University in Japan. Tohoku University consists of 10 faculties for undergraduate, 16 graduate schools, 3 professional graduate schools and 6 research institutes. Based on "research-first" and "open-door" policies, we are committed to playing a vital role in international cooperative research and educational endeavors as a world-famous university.

2) Department: (as of 1 May,2015)

Arts and Letters, Education, Law, Economics, Science, Medicine, Dentistry, Pharmacy, Engineering, Agriculture

Number of students, etc.

Faculty members: 3,184

Undergraduate students: 11,126

Graduate students: 6,705 total : 17,831

② Track record of international exchange

International students: 1,663
(86 nationalities and areas) (as of 1 May,2015)
International visitors & researchers: 2,382
(April, 2014-March, 2015)

③ Students accepted in recent years

2015: International students: 1,663
Japanese and Japanese Culture Training Course students: 6

2014: International students: 1,532
Japanese and Japanese Culture Training Course students: 10

2013: International students: 1,436
Japanese and Japanese Culture Training Course students: 3

④ Characteristics of the Region

Miyagi Prefecture belongs to Tohoku (northeastern) district in Japan. The eastern part of the prefecture faces the Pacific Ocean and the western part is a mountainous region. Between them lies the Sendai Plain. Fishery and agriculture are the chief industries in the prefecture. Sendai city in which Tohoku University is located has a population of about 1,000,000. The city, once prospered as a castle town, plays an important role as the economic and cultural center of Tohoku district at present. Sendai has been called "City of Green" and widely known as one of the most beautiful and environmentally pleasant cities in Japan. It is about 1 hour and 40 minutes by Shinkansen (super express) from Tokyo.

■ Program Overview

① Feature of the course

Japanese language & Japanese culture studies program at Tohoku University Characteristics of the Program

This program is aimed at students who have strong motivation and interest in independent research activities. The students can take classes of their choice from a large variety of Japanese language and culture courses offered at Tohoku University. In addition to a number of Japanese language courses, the program regularly offers classes in history of Japanese thoughts, Japanese literature, etc. Among the foci of the program is to train program students in academic skills in class presentation and report writing.

② Number of Student to be accepted :

10 students
Embassy Recommendation: 9
University Recommendation: 1

③ Qualification and Requirements for Applicants

Applicants must satisfy the following conditions.

1) Applicants are expected to have passed level 2 (or higher) of the Japanese Language Proficiency Test provided by Japan Foundation or have equal or higher proficiency.

2) Applicants must be studying Japanese language or Japanese culture as their academic major at their home country university.

④ Goals and Objectives

Improvement of Japanese ability, and understanding of Japan and Japanese culture.

⑤ Period of the Program

October 1, 2016 – September 30, 2017

Closing ceremony is scheduled for September.

⑥ Classes

All courses meet 1.5 hours per week. The following table is a list of Japanese language and culture related classes for international students.

Level	Class type	Learning contents	Week
Intermediate	Grammar	Learning intermediate level Japanese grammar	15
	Listening	Practice listening to news on Japanese society	〃
	Listening	Practice listening comprehension using CALL	〃
	Conversation	Practice seminar-style conversation : reporting, presenting and discussion	〃
	Reading	Learning the skills in reading academic papers and articles in Japanese	〃
	Composition	Learning the skills in writing academic papers and articles in Japanese	〃
	Practice	Practice communication with Japanese students	〃
	Kanji	Learning college-level Kanji	〃
	Culture	Learning Japanese language and culture through songs	〃
	Culture	Reading and discussing in Japanese culture and society	〃
	Culture	Learning expressions and manners in Japanese business	〃
	Culture	Learning Japanese used in Economics and Management	〃
Advance	Grammar	Learning advanced-level Japanese grammar	〃
	Reading	Learning academic expressions through reading books about the Japanese society and culture	〃
	Practice	Learning the integrative Japanese skills for academic purposes	〃
	Kanji	Learning Kanji characters necessary for the college-level study	〃
	Culture	Learning the Japanese language and cultures through films and TV programs	〃
	Culture	Providing an opportunity to consider the Japanese society together with Japanese students	〃
	Culture	Learning the Japanese history up to the Edo period	〃
	Culture	Learning the Japanese history after the Meiji period	〃
	Culture	Reading famous articles on the Japanese culture and discussing them in class	〃
	Culture	Reading and discussing in Japanese language and culture	〃
	Culture	Reading the Modern Japanese literature selectively and discussing them in class	〃

2)　Workshops on Japanese Culture

To applicants, the program also offers Workshops on Japanese Culture (Flower arrangement, Japanese sweets cooking, Tea ceremony, Japanese drums, etc.)

3)　Other lectures, elective, etc.

Besides these classes for international students, the program students may, with the permission of the instructor, take or audit undergraduate classes in other departments (e.g. Faculty of Arts and Letters).

⑦　Events

Orientation, Opening Ceremony, International hours, International festival, etc.

⑧　Support System

Academic advisor:

Graduate School of Arts and Letters

TAKAHASHI, Akinori

(Professor in Japanese history of thoughts,

Cultural history), and 36 others

Administrative officer:

WAGATSUMA, Takeshi

(Director of Student Exchange Division)

※ An academic advisor will be assigned to each student.

⑨　Requirements for completion of the course, the issue of certificate

Program students are required to take a　Minimum of 6 classes per week in each semester.

■Dormitory

Accommodations and Locations

・International House Sanjo 1

19-1 Sanjomachi Aobaku Sendai 981-0935

・International House Sanjo 2

10-15 Sanjomachi Aobaku Sendai 981-0935

・International House Higashi-Sendai

6-14-15 Higashisendai Miyaginoku Sendai 983-0833

・University House Sanjo

19-1 Sanjomachi Aobaku Sendai 981-0935

・University House Sanjo Ⅱ

19-1 Sanjomachi Aobaku Sendai 981-0935

・University House Katahira

1-14-15 Ichibancho Aobaku Sendai 983-0833

Website

http://www.insc.tohoku.ac.jp/cms/index.cgi?pg=130515141317









■ Contact

International Education Section

Student Exchange Division, Tohoku Univerisity

Address :

41 Kawauchi, Aoba-ku, Sendai, 980-8576 JAPAN

Phone : +81-22-795-7817

Fax : +81-22-795-7826

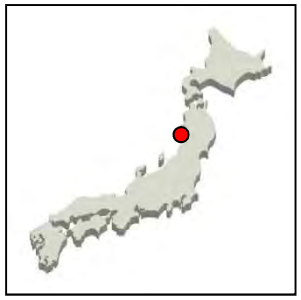
E-mail　sed2@grp.tohoku.ac.jp

Global Learning Center, Tohoku University

http://www.insc.tohoku.ac.jp/cms/index.cgi

Tohoku University Homepage

http://www.tohoku.ac.jp/



秋田大学 （秋田県）

秋田の豊かな自然と風土に立脚し，秋田独自の視点から日本文化および地域文化を十分に学ぶことができます。
日本人学生との交流，異なる文化背景を持った他留学生との交流の機会が数多くあり，体験的に日本語・日本文化を習得できるコースです。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

秋田大学は，教育文化学部，医学部，理工学部，国際資源学部の４学部（研究科を除く）からなる総合大学で，約5,000人の学生が学んでいます。

日本語・日本文化研修留学生を受け入れる教育文化学部の歴史は古く，今日まで１２０有余年にわたり教員養成と地方文化の拠点として幾多の人材を教育，学芸，文化の各方面に送り出してきました。



秋田大学外観

② 国際交流の実績

大学間協定を５７大学（２９カ国・地域），部局間協定を１７学部等（９カ国）と結び，留学生の受入れや日本人学生の派遣などを活発に行っています。(2015年10月1日実績)

③ 過去３年間の受入れ留学生数　及び
日本語・日本文化研修留学生の受入実績
（毎年度10月1日実績）

年度	留学生数	日研生
２０１３	２０８	５
２０１４	１９５	４
２０１５	２２９	５

④ 地域の特色

秋田市は秋田県の県庁所在地で，東北地方に位置し，人口は約33万人，東北地方の主要都市の一つです。

秋田県は，世界自然遺産である「白神山地」、日本一の深さを誇る湖「田沢湖」などがあり，自然の美しさに溢れた地域です。自然豊かな山に囲まれ，各シーズンを通して，登山や温泉などを楽しむことができます。



秋田駒ケ岳



田沢湖

また、「かんとう」「なまはげ」「かまくら」などの伝統的な行事が多数受け継がれているほか，小京都と呼ばれる「角館」など，史跡も数多く，そこでは人々の心のあたたかさにふれることができます。



夏：かんとう



冬：かまくら

■コースの概要

① コースの特色

秋田大学日本語・日本文化研修プログラムは，日本の大学での勉学に必要な日本語能力を習得し，秋田地域独自の視点から日本文化を理解・研究するためのプログラムです。

●「日本語」授業

講義を理解してノートをとり，試験やレポートを書ける，ゼミなどで専門的な討論に参加し自分の意見を発表できる，交友を広げるための異文化コミュニケーション能力の技能習得等をめざします。

●「日本文化」授業

最大の特長は，全て日本人学生と共に受講することができる点です。各個人の文化を深く知ることをめざした「多文化コミュニケーション入門」などの学生参加型授業だけでなく，日本語の古典の思想について古典文法の知識がなくとも学ぶことのできる「日本の古典文学」など専門的知識を学ぶこともできます。

●「課題研究」

「日本語」および「日本文化」授業で学んだ成果と，秋田・日本での生活経験から得た問題意識を研究レポートとしてまとめる「課題研究」を必修としています。「課題研究」では少人数でじっくり考えながら研究テーマを決め，それぞれの受講生にあった研究方法を教員が助言します。

② 受入定員

大学推薦：３名　　大使館推薦：２名

③　受講希望者の資格、条件等

●必要な日本語レベル

日本語能力試験Ｎ２レベル。
やや高度な文法・漢字（1,000字程度）・語彙（6,000字程度）を習得し，日常生活についての会話ができ，読み書きできる能力を求めます。

●日本語学習歴および専攻の条件

外国の大学で日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在籍し，日本語を600時間程度学習し，中級日本語コースを修了した者を対象とします。

④　達成目標

●日本語学習

日本語で学術的内容のレポートを作成し，その内容について口頭で発表でき，また質疑にも日本語で答えられる能力の習得を目指します。
これは，日本語能力試験１級（Ｎ１）合格相当にあたりますが，自分の問題意識を他者に伝えるための日本語能力習得を重視します。

●日本文化学習
一般的な日本文化理解にとどまることなく，日本人と合同の授業やさまざまな課外活動の経験，また秋田県での日常生活を通じ自らの課題を見つけ，それに基づいて，日本文化とは何か，秋田の文化とは何かを考察できるようになる地点をめざします。

⑤　研修期間

秋セメスター：2016年10月～2017年 2月
春セメスター：2017年 4月～2017年 8月
（各学期15週間＋テスト　１コマ90分）

●修了式は8月を予定（2016年は8月）

⑥研修科目の概要

1）必須科目

研究課題 （90×15回）	日本語･日本文化科目での学習，および秋田での生活を通して発見したことに基づき，論文を作成する

2）　選択必修科目

ｉ）日本語科目

日本語4－Ⅰ/Ⅱ （各90分×30回）	大学生活に必要な会話能力および漢字を身につける
日本語4－Ⅲ/Ⅳ （各90分×30回）	大学生活に必要な読解と作文能力を身につける
日本語4－Ⅴ/Ⅵ （各90分×15回）	中級レベルの文法･語彙･表現の運用能力を総合的に高める
日本語5－Ⅰ/Ⅱ （各90分×15回）	論文やレポートなどの高度な書き方を習得する
日本語5－Ⅲ/Ⅳ （各90分×15回）	プレゼンテーションスキルの向上と正しい音声での発話を目的とした講義
日本語5－Ⅴ/Ⅵ （各90分×15回）	新聞読解やニュース聴解などを通して，時事日本語を学ぶ
日本語5－Ⅶ/Ⅷ （各90分×15回）	上級レベルの文法･語彙･表現の運用能力を総合的に高める
日本語5－Ⅸ （90分×15回）	日本語でさまざまなスタイルの文章を書く
日本語5－Ⅹ （90分×15回）	論文の読解の仕方を学ぶ

ⅱ）主な日本文化科目（選択必修）
※日本人学生との合同授業
掲載されている授業以外にも，授業が用意されています。

日本社会入門Ⅰ/Ⅱ （各90分×15回）	日本や秋田の社会について学ぶ
日本の古典文学 （90分×15回）	古典文学を通し，日本文化の背景について理解を深める
日本語教授法 （90分×15回）	日本語の考え方の基礎を学ぶ
日本語教育学入Ⅰ/Ⅱ （各90分×15回）	日本語教育学の歴史的背景，日本語教育実践研究の意義と課題，言語教育観，評価観の現状に関して考察する
日本語学Ⅴ/Ⅵ （各90分×15回）	社会言語的アプローチにより日本語の現状を理解する。待遇表現など日本語表現の可能性と問題を検討する
言語コミュニケーションⅠ （90分×15回）	日本語と英語との対象言語学の基礎的知識などを学ぶ
日朝比較文化論Ⅰ （90分×15回）	日本と韓国の近代について考える

3）参加型科目　※日本人学生との合同授業

日本文化入門Ⅰ/Ⅱ （90分×15回）	日本や秋田の文化について農業体験や施設見学を通じて学ぶ
多文化交流論Ⅰ/Ⅱ （各90分×15回）	日本人学生と討論し，コミュニケーション力を向上させる
社会教育課題研究	まちづくりに関し地域での現地調査を行い，研究成果を発表する

4）実技（選択）　※日本人学生との合同授業（90分×15回）

柔道	サッカー	日本民謡

⑦年間行事（２０１５年度実績）

２月　卒業・修了パーティ
　　冬の伝統行事体験/スキー合宿
７月　夏の見学旅行（尾去沢鉱山跡）
１０月・１１月　秋田の農家民泊体験
１２月　もちつき

このほかにも、地域のボランティアの方々に協力をいただいて、着物や茶道、生け花の体験なども行っています。


もちつき


スキー合宿

⑧指導体制

国際交流センター専任教員
市嶋　典子　准教授
E-mail: ichis@gipc.akita-u.ac.jp

国際交流センター専任教員
佐々木　良造　助教
E-mail: ryozo@gipc.akita-u.ac.jp

国際交流センター専任教員
平田　未季　助教
E-mail: mihirata@gipc.akita-u.ac.jp

留学生の学習や生活上の問題解決の手助けをするため，国際交流センターの担当教員が個別指導や補講を行っています。

⑨コースの修了要件、修了証書の発行

◆修了要件：
コース期間中，日本語・日本文化科目を各セメスター７コマ以上受講し，課題研究の小論文を提出すること

◆修了証書の発行：期間修了時（2016年8月予定）

■宿　舎

日研生はほとんどの場合，④の借上アパートになります。

●留学生用宿舎等（単身用）
①留学生会館　（27室）
②国際交流会館 A棟（10室）
③国際交流会館 B棟（18室）
④大学借上アパート（16室）

※室数が限られているため，希望者全員が希望の宿舎に入居できるとは限りません。宿舎に入居できない場合は，生協を通じてアパートを探すことができます。

●過去３年間の日研生の宿舎入居状況
・2013年度　大学借上アパート５名
・2014年度　大学借上アパート４名
・2015年度　大学借上アパート５名

●宿舎費（単身用・月）
①②5,900円　③15,000円　④17,500円
（ガス・水道・電気などの光熱費は含まない）
（④はインターネット代も含まない）
●各個室の設備等
ユニットバス・トイレ，冷蔵庫，キッチン，ベッドなど。各部屋にエアコンも完備。
※ふとん，食器などは各自用意願います。

●通学時間：①徒歩15分 ②③徒歩5分 ④徒歩20分

●参照ホームページ
http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/in_guide.html


留学生会館


国際交流会館

■修了生へのフォローアップ

●研究レポートを日研生用のウェブサイトに掲載し，他の研究者から問い合わせがあった場合は，速やかに修了生に連絡して，研究の進展を支援しています。

●研究レポートを卒業論文作成へとつなげるために，帰国後も「課題研究」担当教員が卒業論文執筆援助を行います。

●キャリアパスの例
１）母国の出身大学に就職し，留学生関係の仕事に従事。
２）秋田県の企業に就職し，秋田と中国間の貿易関係の仕事に従事。
３）母国で日本語教室を開校。


忠犬ハチ公で
有名な秋田犬

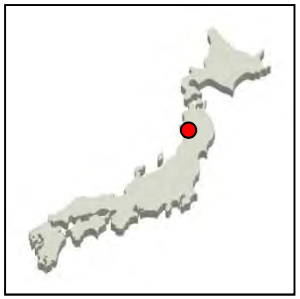
■問い合わせ先（担当部署）

秋田大学　国際課　留学生交流・支援担当
住所　〒０１０－８５０２
　　秋田県秋田市手形学園町１－１
TEL　＋８１－１８－８８９－２２５８
FAX　＋８１－１８－８８９－３０１２
E-mail　ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp

●秋田大学ホームページ
http://www.akita-u.ac.jp/honbu/index.html

●秋田大学国際交流センターホームページ
http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/index.html

●日研生ホームページ
http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/in_class.html



Akita University

Japanese Studies Students at Akita University can deepen their understanding of Japanese culture and local culture from a unique view point of Akita. They can also experience Japanese language, culture and other views through interaction with Japanese students and other international students of various cultural backgrounds.

■ University's Overview

1.History and Features

Akita University is a comprehensive university comprising four faculties, namely, Faculty of Education and Human Studies, Faculty of Medicine, Faculty of Engineering Science and Faculty of International Resource Sciences.

The Faculty of Education and Human Studies has a long history. Up to the end of the past 120 years, as a center of teacher's training and local culture it has produced a lot of talented people for the fields of education, liberal arts and culture.



2. Academic agreements

The international exchange is very brisk in Akita University. We have inter-university agreements with 57 universities in 29 countries and regions. We also have inter-faculty agreements with 17 faculties of universities in 9 countries as of October 1, 2015.

3. Number of International students

	Japanese studies program students
2013: International Students	208
Japanese studies program	5
2014: International Students	195
Japanese studies program	4
2015: International Students	229
Japanese studies program	5

※as of October 1 each year

4. Environments of Akita

Akita City is in the central part of Akita Prefecture, located on the western side of Tohoku District (the Northeastern Part of Mainland).

Akita is rich in natural beauty of the seasons. Students can enjoy hiking and hot springs through every seasons.



Mt. Komagatake



Tazawa Lake

There are also numerous places of historical interest as well as traditional festivals in and around Akita. People in this area are friendly and warmhearted, as you will find.



Kanto Festival



Kamakura Festival

■ Outline of Japanese Studies Program

◆ Contents of the Course

This program is for those students from other countries who are regular students that wish to improve their Academic Japanese skills to pursue their academic goal in university. We also accept students who have interested in starting their research about Japan from an unique view point of Akita area.

The aims of **Japanese Language course** are as follows;

(1) To be able to understand lectures in Japanese and take notes in Japanese.

(2) To be able to write papers and technical reports in Japanese.

(3) To be able to participate in discussions in Japanese in upper level seminar classes.

The aims of **Japanese Culture course** are to get basic knowledge of the latest Japanese cultural studies analyzed through local viewpoint. Students will attend Invitation to Multi-cultural Communication and Studies on Japan, and so on.

At the end of the one-year-course, all Japanese studies students are required to write short papers as final reports.

◆ Number of Students to be accepted :

- Recommendation by university: 3
- Recommendation by embassy: 2

◆Qualifications and Conditions of Applicants

Those who wish to apply for our program should at least have mastered basic grammar of the language, should be able to take part in everyday conversation and should be able to read and write nontechnical papers.

To specify, the applicants must be enrolled in the university out of Japan in a faculty or department that offers studies related to Japanese language and culture. Those who are going to apply for our program should have studied Japanese longer than 600 hours and have learned more than 6,000 words and 1,000 Kanji (Chinese characters) with a minimum level of JLPT N2.

◆Objectives

●Study Japanese

We will support those advanced international students who are going to conduct academic research in Japanese. Courses are designed to teach students how to make presentations in Japanese.
We will put much emphasis on communicative Japanese abilities to express own interests properly as well as equivalent abilities with JLPT N1.

●Study Japanese Culture

You will acquire general knowledge of Japan and specific knowledge of the local language and culture of Akita prefecture through various experience and highly specialized lectures.

◆ Period of the Course (Semester)

・Term 1：October 2016—February 2017
・Term 2：April 2017—August 2017

Each term lasts 16 weeks on which the last is the exam week. The completion ceremony will be held in August.

■ Class Descriptions (Each classes 90 minutes long)

1. Required (90min×15)

Research Paper	Writing a paper based on knowledge learned in Japanese Language classes and Japanese Culture classes, and daily life in Akita.

2. Elective Required (90min×15)

i) Japanese Language

4-Ⅰ/Ⅱ (90min×30)	Intermediate level grammar and communicative skills on campus
4-Ⅲ/Ⅳ (90min×30)	Reading and writing skills for academic life
4-Ⅴ/Ⅵ	Integrated project-work class to improve Intermediate level Japanese competence
5-Ⅰ/Ⅱ	Advanced writing skills for research papers
5-Ⅲ/Ⅳ	This course aims at improving academic presentation skills as well as correcting accents of students' mother tongues
5-Ⅴ/Ⅵ	Leaning current Japanese
5-Ⅶ/Ⅷ	Advanced level grammar and communicative skills
5-Ⅸ	Writing skills of various Japanese style
5-Ⅹ	Basic reading skills research papers

ii) Japanese Culture (Conducted with regular Japanese students)

Introduction to Japanese Society Ⅰ/Ⅱ	Ⅰ:Introducing minorities in Japan Ⅱ:Introductory Japanese Linguistics
Classical Literature in Japan	Understanding of classical literature through reading classical literatures
Methodology of TJFL	Acquiring basic skills of Japanese teaching method
Introduction to Japanese Language Education	Examine the historical context of Japanese language education, purpose and problems of practical research, and philosophy and evaluation of language education.
Japanese Language Studies Ⅴ/Ⅵ	Understanding current Japanese language from sociolinguistic point of view. Examine the capability of various Japanese expressions and problems.
Language and Communication Ⅰ	Understanding basic constructive linguistics between Japanese and English
Comparative Study of Japanese & Korean Cultures	Discussing of modern Japan and Korea

3. Participatory (Elective Required, conducted with regular Japanese Students) (90min×15)

An Introduction to Japanese Culture Ⅰ/Ⅱ	Understanding culture in Japan and Akita thorough lectures by off campus activities, firm stay, and so on.
Invitation to Multicultural Communication Ⅰ/Ⅱ	Finding micro-cultures next to you thorough discussing with Japanese students and writing a paper
Field Study for Social Education	Conducting presentation/field trip based on a regional town development

4. Practical Classes: Judo, Soccer, Japanese Classical Music

◆ Activities (Academic year 2014)

February: Farewell Party
Winter Cultural Experience Trip/Ski Trip
June: Farm Stay in Yokote
July : Summer School Trip(Osarizawa Mining)
October/November : Farm Stay in Senboku
December: Making Mochi Party

Other activities are also offered such as Kimono, tea ceremony and Japanese flower arrangement.



Mochi Party



Ski Trip

◆ Faculty members

・Associate Professor ICHISHIMA Noriko
(International Exchange Center)
E-mail : ichis@gipc.akita-u.ac.jp

・ Assistant Professor SASAKI Ryozo
(International Exchange Center)
E-mail: ryozo@gipc.akita-u.ac.jp

・Assistant Professor HIRATA Miki
(International Exchange Center)
E-mail: mihirata@gipc.akita-u.ac.jp

The International Exchange Center offers counseling services and support for various issues regarding daily life, health and study.

■Certificate

Certificates of Japanese studies are given at the end of the course when the students have satisfactorily met the requirements.

●Issuing certificates
Upon completing your research period
(to be issued in August, 2016)

■Accommodations

● Number of Single rooms
① Int'l Student House : 27 ② Int'l House Building A : 10
③ Int'l House Building B : 18 ④ Leased apartment : 16

Not all applicants will be able to get the accommodations due to the limited number of rooms available.
If the accommodations are not available, you can find the apartment through University coop.

● Actual number of availability
for Japanese studies program students
・2013 Leased apartment: 5
・2014 Leased apartment: 4
・2015 Leased apartment: 5

● Monthly rent ※Utility fees are not included
①② 5,900 JPY ③ 15,000 JPY ④17,500JPY
(④also not include Internet access fee)

● Each room is equipped with:
Bathroom, refrigerator, kitchenette, bed, desk, bookshelf.
③④ also has an air-conditioner.
*Need to prepare your own bedding and kitchen utensils

● Distance from campus on foot
①15 min. / ②③ 5 min. / ④20 min.

● Web-site
http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/in_guide.html



International Student House



International House

■ Follow-up for graduates

We upload your research paper on our website so that other researchers can access it and can contact you.

In order to develop your research paper into a graduate thesis, we will continue helping you to complete it even after you return your home country.

○Examples of career paths
1) To engage in international affairs at a partner university of Akita University
2) To engage in trade between Japan and China at a company in Akita
3) To open Japanese Language School at home country



Akita dog

■Contact

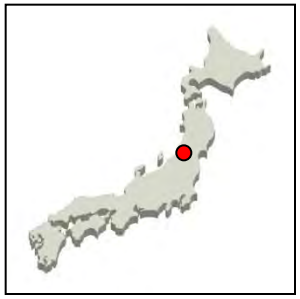
International Student Support
International Affairs Division

●Address:
Akita University , Tegata-Gakuenmachi 1-1
Akita City, 010-8502 Japan
TEL +81-18-889-2258 / FAX +81-18-89-3012
E-mail ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp

●University Web-site
http://www.akita-ac.jp/english/index.html

●International Exchange Center Web-site
http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/index.html

● Japanese studies program students
http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/in_class.html



山形大学（山形県）

言葉の世界を探検し、日常会話から古典文学作品まで学んでみませんか？

■大学紹介

①　大学の特色および概要
山形大学は1949年に創設されたが、その歴史は、19世紀、1878年の山形師範学校創立に遡る。今日の山形大学は、６学部、６研究科、１教育院から成る。教員約850人、総学生数約10,000人を有し、山形県内に設置されている主たる総合大学として、研究・教育の中心となる役割を果たしている。その教育理念は、総合大学としての特徴を活かし、自然科学、人文・社会科学が連携した専門教育と幅広い教養教育を行うとともに、地域社会に根ざし国内はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することである。また、優れた研究成果を生みだすことにより 、「自然と人間との共生」という目標を実現し、社会に貢献することを目指している。

②　国際交流の実績（2015年10月1日現在）
海外機関との交流協定数：39カ国・地域151機関

③　過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績
2015年：留学生数214人、日研生3人
2014年：留学生数202人、日研生3人
2013年：留学生数209人、日研生2人

④　地域の特色
山形県は、四季に恵まれ、自然を身近に感じることができる。県内全域にわたって温泉を楽しむことができ、温かい人々とふれあうことがでる。

■コースの概要

①　コースの特色
山形大学には、日本語・日本文化に関する幅広い領域の科目があり、充実したコースが組まれている。日本語科目は、研究に必要な基礎となる言語能力を伸ばすよう授業が構成されている。多文化交流科目と各専門科目では、言語学、文学、歴史、異文化交流、社会学、地理、経済、政治、音楽、美術、教育など様々な角度で日本文化を学ぶことができる。また、１年計画で自らの選択したテーマに沿って研究プロジェクトを行うことが本プログラムで特に力を入れている点である。口頭発表をし、修了論文を書くことのできる日本語力をつけることを達成目標としている。
②　受入定員　大使館推薦・大学推薦　各２名
③　受講希望者の資格、条件等
1）主専攻あるいは副専攻が日本語・日本文化に関する分野であること。
2）日本語能力試験２級・N2合格以上またはそれに準ずる日本語力を有することが望ましい。日本語を使って自分の考えが表現でき、日本人と話し合うことのできる日本語力を持つこと。
④　達成目標
生きた日本語が使われている環境で、山形の人々との交流を通して、地域に根ざした日本文化への理解を深める。また、専門科目を受講して日本語による学術的な内容の理解力を養い、同時に自ら行う研究プロジェクトを通して、その運用力を身につける。
⑤　研修期間　2016年10月1日～2017年9月30日
宿舎には2016年9月下旬に入居できる。修了証授与は2017年9月。
⑥　研修科目の概要
授業は前期・後期各15週開講される。授業にはⅠ、Ⅱ、Ⅲの三つの種類がある。Ⅰは留学生向け日本語科目で、Ⅱ、Ⅲは日本人学生とともに学ぶ科目である。
このプログラムを修了するには12科目以上の履修が必要である。そのうち 6科目以上は、Ⅰ、Ⅱの分野から選択するものとする。
1）必須科目：Ⅰの分野の研究プロジェクトを必修とする。
2）参加型科目：Ⅱの科目では、地域の人々と交流する。
3）選択科目：Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの各科目は、Ⅰの研究プロジェクト以外、すべて選択科目である。
※〔前期〕：4～8月開講科目、〔後期〕：10～2月開講科目

Ⅰ　日本語科目
ａ．基盤教育日本語科目
日本語中級1「総合」（北川絹代・鈴木寛子）中級前半〔前期・後期〕
日本語中級1「読む」（内海由美子）中級前半〔前期・後期〕
日本語中級1「書く」（薄井宏美）中級前半〔前期・後期〕
日本語中級2「総合」（菅原和夫・横沢由実）中級後半〔前期・後期〕
日本語中級2「読む」（薄井宏美）中級後半〔前期・後期〕
日本語中級2「書く」（内海由美子）中級後半〔前期・後期〕
漢字4（横沢由実）　中級漢字〔前期・後期〕
日本語上級1「読む」（黒沢晶子・園田博文）上級前半
一般書の抜粋や新聞記事から情報を読み取り、自国と他国との比較対照を行う。〔前期・後期〕
日本語上級1「話す」（内海由美子）上級前半〔前期・後期〕
日本語上級1「書く」（黒沢晶子）　上級前半：　日本語でレポート・論文などの学術的文章を書くのに必要な、基礎的な力を養う。〔前期・後期〕
日本語上級1「聞く」（内海由美子）上級前半〔前期・後期〕
日本語上級2「読む」　（遠藤義孝）上級後半：文法の復習や読解を行う。　〔前期・後期〕
日本語上級2「話す」　（菅原和夫）上級後半：大学生活で必要な聞いたり話したりする力を伸ばすことを目標とする。〔前期・後期〕
日本語上級2「書く」（渡辺文生・内海由美子 ）上級後半：大学の授業を受講する上で必要となる日本語力の向上を目指す。特に大学の学習・研究活動に必要とされる「書く力」の養成を目指して練習を行う。〔前期・後期〕
研究プロジェクトI　：〔後期〕
研究プロジェクトII　：　〔前期〕
本プログラムの必修科目。指導教員の個別指導を受けて選んだテーマについて、日本語で研究レポートを書く。学期の最後には、各自のテーマについて最終発表を行う。

ｂ．人文学部専門日本語科目

日本語（一）（二）　（中澤信幸・渡辺文生）
N1対策・スピーチ[前期]、読解・聴解・作文〔後期〕

日本語コース授業時間数
・日本語中級１・２：　各学期　210時間
・日本語上級１：　　各学期　120時間
・日本語上級２：　　各学期　 90時間
・研究プロジェクトⅠ・Ⅱ　各学期　 30時間
・日本語（一）（二）　各学期　 30時間

Ⅱ　日本文化・多文化交流・地域学科目

日本文化入門（尤　銘煌）
地域のリソースを活かし、茶道、こけし絵付け、平清水焼き、座禅、温泉などの日本文化を体験しながら学習する。〔前期・後期〕
多文化交流 Ⅰ（尤　銘煌）
日本の通過儀礼：日本人が妊娠、誕生、生育、成人、結婚などの折節に行う冠婚葬祭を通して日本文化･日本社会を理解することを目的とする。〔前期〕
多文化交流Ⅱ（内海由美子）
在住外国人の日本語教育：外国語として日本語を学ぶことの意味を考える。また、留学生と日本人学生のディスカッションを通して、他文化を知り、自文化を理解し、自己を再認識することも目的とする。[前期]
多文化交流 ⅠII　（尤　銘煌）
日本人の死生観：通過儀礼の中で最も重要で、伝統的であり、最も複雑な葬送儀礼を通して、日本人の死生観を探り、日本文化･日本社会を理解することを目的とする。〔後期〕
多文化交流 Ⅳ　（ラインホルト・グリンダ）
ヨーロッパと日本：　ヨーロッパと日本の文化に焦点を当てる。〔後期〕
フィールドワーク共生の森もがみ
山形県北部の最上地方で地元の達人を講師に、森と関わる暮らしや独特の祭りの山車作り等を体験する。〔前期・後期〕



山車作り

Ⅲ　人文・社会科学科目

ａ．人文学部教員担当科目　　＊　基盤教育科目
日本語学特殊講義（中澤信幸）
日本語の歴史について、特に文献研究の立場から考察を進める。〔後期〕
ことばの分析（言語学）＊(渡辺文生)
言語学の基礎的知識について解説する。〔前期〕
日本語音韻史入門（言語学）＊（中澤信幸）
日本語音韻の歴史的変遷について解説する。〔後期〕
日本語学概論（中澤信幸）
日本語と日本語教育について解説する。〔前期〕
日本語学文法講義（渡辺文生）
現代日本語の記述的文法を解説する。〔後期〕
日本語学特殊講義（渡辺文生）
現代日本語の単語や文の構造について解説する。〔前期〕
日本語学講読（中澤信幸）
日本語の歴史分野に関する文献を読み進める。〔後期〕
映像学講義（大久保清朗）
映画の分析論。日本映画の分析を含む。〔前期〕
日本古典文学講義（宮腰直人）
主に室町期から近世初期までの物語・説話などを読む。〔後期〕
日本現代文学講義（森岡卓司）
明治以降平成までの小説、詩、評論などを読む。〔後期〕
仏教入門(文化論)　＊（松尾剛次）
仏教とは何かについて日本仏教に注目しながら論じる〔前期〕
中世都市鎌倉の風景（歴史学）　＊（松尾剛次）
日本中世の武士の「首都」鎌倉の実体を語る。〔後期〕
中国文学文化演習（福山泰男）
漢文を日本語の文法にしたがって読む。（漢文訓読の学習）〔前期〕



お花見

地誌学（山田浩久）
地域で観察されるさまざまな現象と歴史的、自然的風土との関係を理解する。〔後期〕
基礎講義（文化解釈学）（人文学部教員）
文化研究の基礎概念と方法を概観し、それらを文学、映画、美術、映像芸術、マンガ等々の様々な対象の解釈、さらには、国家、共同体、諸文化の相互関係に関する諸問題の考察に適用する仕方を紹介する。〔後期〕
文化交流史（伊藤豊）
明治期の日米文化交流についてフェノロサと岡倉天心に焦点を当てて論じる。〔前期〕
日本外交史（松本邦彦）
明治以降の日本外交史を映像資料、文献資料をもとに概観し現代の視点で追体験してゆくことで、今後の日本の外交政策を考えて行く上で必要な歴史知識を得てもらう。〔前期・後期〕
日本経済史（岩田浩太郎）
鎌倉時代から明治時代の経済史を講じ、日本社会の特質をあきらかにする。〔後期〕

ｂ．地域教育文化学部教員担当科目
国語学概論Ａ（担当者未定）
音声・音韻、書記、語彙、方言を中心に日本語の概要を解説する。〔前期〕
国語学概論Ｂ（担当者未定）
文法、敬語、日本語の歴史を中心に日本語の概要を解説する。〔後期〕
日本語教育概説（園田博文）
日本語教育を行う上で必要となる基礎的な事柄について解説する。〔前期〕
日本語学概説（園田博文）
日本語学の基礎的な事柄について解説する。〔後期〕
日本語教育演習（園田博文）
日本語教育に関するさまざまな問題を取り上げ討議する。　〔前期〕

c．基盤教育院教員担当科目
日本語教育入門＊（黒沢晶子）
学習者の文法上の問題を通して日本語を分析する。[後期]

⑦　年間行事

日本の家庭訪問やホームスティ、日帰り旅行、見学旅行、地元の祭り(例:花笠祭り）などを通じて、地域の人々と知り合い、日本文化を体験することができる。そのほか、茶道、生け花、こけし絵付け、座禅、着付けなどへの参加を予定している。

10月	日帰り旅行
	奥の細道マイスター養成講座
11～12月	留学生懇談会（学部別）
12月	多文化交流コンサート
	－山形から世界へ－
2月	山形県留学生スピーチ・コンテスト
7月	実地見学旅行
8月	留学生日本語発表会
	花笠祭り

⑧　指導体制

１）プログラム実施責任教員：
黒沢晶子　　基盤教育院教授　言語学

２）協力教員：
内海由美子 基盤教育院教授　日本語教育
尤銘煌　　基盤教育院教授　社会学

３）指導教員

人文学部、地域教育文化学部、または基盤教育院の教員が研究プロジェクトのための個別指導を行う。研修生は指導教員の部局に所属する。

⑨　コースの修了要件、修了証書の発行

⑥の要件を満たし、本プログラムを修了した者には、修了証が発行される。



先輩日研生が講演に来訪



漫才（地域の国際芸能祭で）



南京玉すだれ（多文化交流コンサート）



花笠祭り

■宿　舎

山形大学国際交流会館に入居することができる。会館からは自転車などで通学できる。

１）宿舎費（１ヶ月）＋共益費（１ヶ月）＋保証積立金

- 単身室　　5,900円＋500円＋30,000円
- 夫婦室　11,900円＋600円＋36,000円
- 家族室　14,200円＋900円＋45,000円

２）宿舎設備・備品（単身室の場合）

ベッド、机と椅子、エアコン、ガスFF暖房機、冷蔵庫、食器戸棚、本棚、洋服ダンス、ミニ・キッチン、シャワー、トイレ

大学近くのアパートの場合、家具・食事付きの部屋で50,000円～65,000円，家具なし・風呂トイレ付きの部屋で30,000円～50,000円，家具なし・風呂トイレ共同で15,000円～30,000円ぐらいである。さらに、入居のときに、敷金として１～２ヵ月分の家賃程度の金額を支払う必要がある。

■修了生へのフォローアップ

これまで10年間の修了生たちと、本学で指導に当たった教員たちとの間では継続して連絡がとられている。修了生は、ほとんどが日本か母国で大学院に進学し、さまざまな分野でキャリアを積み始めている。一人は、山形大学で修士号を取得後、国際交流の仕事に携わりたいと山形大学職員に応募し、採用された。その仕事を経て、現在は、中国でトヨタ自動車に勤めている。また、別の一人は、フィンランドで修士課程在学中に自ら翻訳会社を立ち上げている。2012年には翻訳に携わった本について、本学で講演会を行った。シンガポールの大学を卒業後、日本へ戻り、JTで働き始めた修了生は、2014年、本学の留学生懇談会で後輩たちに経験を語り、交流を深めた。

■問合せ先

山形大学教育・学生支援部国際交流課国際交流室
所在地：〒990-8560　山形市小白川町1-4-12
電話　：+81-23-628-4017
FAX　：　+81-23-628-4051
E-mail: rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
大学ホームページ:
http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html
プログラム責任教員: 黒沢晶子
E-mail: akuros@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp



Yamagata University (Yamagata Prefecture)

Explore the world of language, literary classics, everyday speech, and more!

■ Yamagata University

① About Yamagata University

Yamagata University came into being in 1949 but its origin goes back to the nineteenth century with the founding of Yamagata Normal School in 1878. Today the university consists of 6 faculties and 6 graduate schools, together with 1 institute. It plays a central role in education and research in Yamagata Prefecture as a major comprehensive national institution with some 850 academic staff and approximately 10,000 students. Its idea of education is to offer specialized programs of natural sciences, humanities, and social sciences closely connected to each other as well as a wide range of liberal arts programs, and to foster global citizens who will play leading roles both in home and around the world. The university's academics aim to pursue and achieve excellence in a wide range of research activities and scholarship, and to contribute to development in the global and local communities.

② International Exchange (Oct 1, 2015)

Number of academic exchange agreements:
151 (39 territories)

③ Number of international students and Japanese Studies Program students during the past three years:

2015: 214 (Nikkensei: 3)
2014: 202 (Nikkensei: 3)
2013: 209 (Nikkensei:2)

④ Yamamgata Prefecture

Yamagata Prefecture is blessed with four distinct seasons and an abundance of nature close at hand. Hot springs can be found throughout the prefecture and you will experience the warmth and genuine hospitality of the people in Yamagata.

■ Contents of the course

① Language and culture courses

Yamagata University offers an excellent range of courses on Japanese language and culture. Japanese language courses are designed for students to develop a language competence, which lays the essential foundation for study. Multicultural studies courses and specialized courses cover a broad spectrum of Japanese culture, including such aspects as linguistics, literature, history, multicultural relations, sociology, geography, economics, politics, art and education. The program focuses on the Independent Studies Project, whose objective is to develop the ability to write an essay in Japanese and present it.

② Number of students to be accepted: two each for both Embassy recommendation and University recommendation categories.

③ Qualifications and conditions of applicants

1) Applicants are expected to have majored or minored in Japanese language and/or Japanese studies.
2) Applicants are expected to have a good command of Japanese, an equivalent of Level 2 or N2 of the Japanese Language Proficiency Test. They are expected to have the ability to express their opinions and interact with Japanese people using Japanese.

④ The aim of the course

The aim of the course is to deepen understanding of the Japanese culture rooted in the local communities through exchanges with people in Yamagata. Students are also expected to develop one's intellect by taking specialized courses and to learn how to carry out a study project in Japanese.

⑤ Period of the course: from October 1, 2016 to September 30, 2017. A certificate of completion will be awarded in September.

⑥ Outline of the courses

Courses run for 15 weeks each Spring and Fall Semester. They are divided into three categories: I, II, and III.

Category I contains Japanese language courses for international students while courses in categories II and III are open to both Japanese and international students. To complete the program, students must take twelve or more courses, with six or more from categories I and II below.

1) Independent Study Project I & II in category I are compulsory.
2) II contains participatory courses in which students have lots of opportunities to meet local people.
3) All the courses except Independent Study Project are elective.

I Japanese Language Courses

※〔Sp〕: Spring Semester, 〔Fa & Sp〕: Fall Semester

Japanese Language Courses for Undergraduates at the Institute of Arts and Sciences

The aim of Japanese courses is to help students acquire the knowledge, strategies and skills to read authentic materials, develop an argument, and effectively interact in Japanese with faculty, staff and other students in the academic environment.

INTERMEDIATE JAPANESE 1&2 [Fa & Sp] 210 credit hours per semester:
Integrated skills (grammar, speaking and listening), **Reading, Writing**, and **KANJI 4**

ADVANCED JAPANESE 1 [Fa & Sp] Lower advanced, 120 credit hours per semester
Reading, Writing, Speaking, and **Listening**

ADVANCED JAPANESE 2 [Fa & Sp] Upper advanced, 90 credit hours per semester:
Reading, Writing, & Speaking

INDEPENDENT STUDY PROJECT I & II [Fa & Sp] : 30 credit hours per semester.
Compulsory to all students of this program. Students write an essay in Japanese on a topic agreed in conjunction with the advisor. They will present a paper on their topic at the end of the course.

b. Japanese language courses at the Faculty of Literature and Social Sciences

30 credit hours.

JAPANESE FOR INTERNATIONAL STUDENTS Ⅰ&Ⅱ (NAKAZAWA Nobuyuki, WATANABE Fumio)
Prep for JLPT N1 and speech training 〔Sp〕
Advanced reading, listening and writing〔Fa〕

Ⅱ Multicultural and Regional Studies

(General Education courses)

JAPANESE CULTURE Ⅰ & **Ⅱ** (YU Ming-Hwang) This course utilizes local resources in Yamagata for international students to experience aspects of the Japanese culture such as tea ceremony, flower arrangement, Zen meditation, and hot springs. 〔Sp & Fa〕

MULTICULTURAL STUDIES Ⅰ (YU Ming-Hwang) Life events in Japan: The purpose of this course is to understand Japanese culture and society through important life events such as pregnancy, giving birth, bringing up a child, and wedding ceremonies.〔Sp〕

MULTICULTURAL STUDIES Ⅱ (UTSUMI Yumiko) Foreign residents in Japan and Japanese Language Education: The aim of this course is to promote understanding of the meaning of studying Japanese as a second language, appreciation of diverse cultures, and to develop critical consciousness through discussion.〔Sp〕

MULTICULTURAL STUDIES Ⅲ: (YU Ming-Hwang) The Japanese perspective on life and death: The purpose of this course is to understand the Japanese perspective on life & death through the most important and traditional ceremony, the funeral.〔Fa〕

MULTICULTURAL STUDIES Ⅳ (GRINDA Reinhold) Europe and Japan: This course focuses on cultures of Europe and Japan〔Fa〕

FIELDWORK IN AREA CUMPUS MOGAMI (REGIONAL STUDY)* Learns from local experts such things as a way of life by woods, to make floats for a unique festival.〔Sp &Fa〕

Ⅲ Courses in Humanities and Social Sciences

a. The following courses are taught by academic staff at the Faculty of Literature and Social Sciences.

* : Introductory courses offered as a part of general education for undergraduates

TOPICS IN JAPANESE LINGUISTICS (NAKAZAWA Nobuyuki) :Explicates philology of Japanese language.〔Fa〕

INTRODUCTION TO LINGUISTICS (LINGUISTICS)*(WATANABE Fumio): Explicates basic knowledge of linguistics.〔Sp〕

INTRODUCTION TO JAPANESE HISTORICAL PHONOLOGY* (NAKAZAWA Nobuyuki) : Explicates history of Japanese phoneme.〔Fa〕

INTRODUCTION TO JAPANESE LINGUISTICS AT AN ADVANCED LEVEL (NAKAZAWA Nobuyuki) Explicates Japanese linguistics and the education as a foreign language.〔Sp〕

TOPICS IN JAPANESE GRAMMAR (WATNABE Fumio) Explains the descriptive grammar of modern Japanese.〔Fa〕

TOPICS IN JAPANESE LINGUISTICS (WATNABE Fumio) Explains the studies on morphology and syntax in modern Japanese.〔Sp〕

DIRECTED READING IN JAPANESE LINGUISTICS (NAKAZAWA Nobuyuki): A reading of literatures of historical Japanese linguistics.〔Fa〕

STUDIES OF VISUAL IMAGES (OKUBO Kiyoaki): Analysis of Visual images (Movie, Video, Animation). Including some critical comments on Japanese Cinema.〔Sp〕

JAPANESE LITERATURE-CLASSICAL (MIYAKOSHI Naoto): A close reading of classical Japanese narrative works.〔Fa〕

JAPANESE LITERATURE-MODERN(MORIOKA Takashi): A close reading of modern Japanese novels, poems, and other narrative works.〔Fa〕



zazen

INTRODUCTION TO BUDDHISM (CULTURE)* (MATSUO Kenji): An introduction to Buddhism, focusing on Japanese Buddhism.〔Sp〕

CITYSCAPE OF KAMAKURA IN THE MIDDLE AGES (HISTORY)* (MATSUO Kenji): Discusses the real state of Kamakura as the metropolis" of Japanese samurai in the middle ages.〔Fa〕

UNDERGRADUATE SEMINAR IN CHINESE LITERATURE AND CULTURE (FUKUYAMA Yasuo): A reading of classical Chinese literature according to Japanese grammar.〔Sp〕

REGIONAL GEOGRAPHY (YAMADA Hirohisa): This course aims to clarify the relationship between various phenomena in a specific region and its historical and natural environment.〔Fa〕

FUNDAMENTALS OF CULTURAL INTERPRETATION (Staff): This course will trace and teach fundamental concepts and methods of cultural studies, applying it to the analysis of literature, cinema, picture, photograph, cartoon and so forth, and also of such problems as nation, state, community, mutual relation between cultures and so on.〔Fa〕

HISTORY OF CULTURAL EXCHANGE (ITO Yutaka): This is a course on the cultural exchange between America and Japan, focusing on Earnest. F. Fenollosa and Tenshin Okakura.〔Sp〕



snow monsters in Zao

JAPAN'S DIPLOMATIC HISTORY (MATSUMOTO Kunihiko): This course will survey the diplomatic history after the Meiji period through visual and documentary materials and helps students to acquire the knowledge necessary to consider Japan's foreign policy in the future.〔Sp & Fa〕

JAPANESE ECONOMIC HISTORY (IWATA Koutaro): This course will trace the Japanese economic history from the 13th to 19th century, clarifying the characteristics of Japanese society.〔Fa〕

b.The Faculty of Education, Art and Science

INTRODUCTION TO JAPANESE LINGUISTICS A (tba): An Introduction to Japanese linguistics, focusing on phonology, the writing system, lexicon, and dialects.〔Sp〕

INTRODUCTION TO JAPANESE LINGUISTICS B (tba): An Introduction to Japanese linguistics, focusing on grammar, the honorific system, and history.〔Fa〕

INTRODUCTION TO JAPANESE LANGUAGE PEDAGOGY（SONODA Hirofumi）: Surveys the Japanese Language Pedagogy.〔Sp〕

INTRODUCTION TO JAPANESE LINGUISTICS (SONODA Hirofumi）:An overview of Japanese linguistics.〔Fa〕

SEMINAR IN JAPANESE LANGUAGE PEDAGOGY (SONODA Hirofumi): A case study on Japanese language pedagogy.〔Sp〕

c. The Institute of Arts and Sciences

AN INTRODUCTION TO JAPANESE LANGUAGE TEACHING*

(KUROSAWA Akiko): This course analyzes the Japanese language by exploring learners' problems in grammar.〔Fa〕



kimono

⑦ Annual Events

Students will have the opportunity to meet locals by staying with or visiting a family in Yamagata, through day trips, a field trip, and local festivals (e.g. Hanagasa Matsuri). They can also participate in activities such as a tea ceremony, flower arrangement, kokeshi doll painting, Zen meditation, and kimono wearing.

Oct	Day Trip A course for training 'Meisters' of *Oku no Hosomichi* or *Backroads To Far Towns* by Matsuo Basho
Nov-Dec	Departmental round table meetings for international students
Dec	Multicultural Concert: Yamagata to the World
Feb	Yamagata Japanese Speech Contest for International Students
July	Field Trip
Aug	International students' meeting for the presentation in Japanese Hanagasa Festival (Yamagata City)

⑧ Academic advisors

1) Program coordinator (Institute of Arts and Sciences)
KUROSAWA Akiko (Professor in Linguistics)
2) Supporting academic staff (Institute of Arts and Sciences)
UTSUMI Yumiko (Professor in Japanese Language Teaching)
YU Ming Fang (Professor in Sociology)
3) Academic advisor: Each students is assigned to an academic advisor from the Faculty of Literature and Social Sciences, the Faculty of Education, Art and Science, or the Institute of Arts and Sciences, to be supervised in completion of the essay project in weekly tutorial sessions. Students will belong to the faculty/institute of his/her advisor.

⑨ Certificate

The students who fulfill the necessary requirements in ⑥ can obtain a certificate of completion at the end of the program.



speech contest

■ Accommodation

Yamagata University International Houses are located within biking distance from the main campus and available to students of this program.

1) Monthly rent with communal services fee, Security deposit
- Studio apartment: ¥5,900 + ¥500, ¥30,000
- One bedroom apartment: ¥11,900 + ¥600, ¥36,000
- Two bedroom apartment: ¥14,200 + ¥900, ¥45,000

2) Facilities (Studio apartment)
a bed, desk, chair, air conditioner, gas FF heater, refrigerator, kitchenette, kitchen shelf, bookshelf, wardrobe, shower and toilet.

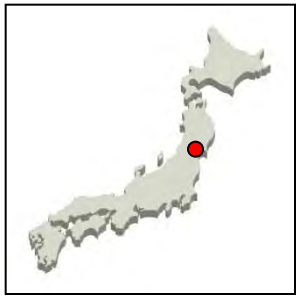
If you opt for private accommodation near the campus, the monthly rent for a furnished room with half board comes to ¥50,000 to ¥65,000; for an unfurnished room with bath and toilet ¥30,000 to ¥50,000; and for an unfurnished room with shared bath and toilet ¥15,000 to ¥30,000. On moving in, a deposit equivalent to one to two month's rent will have to be paid as guarantee money.

■ Alumni

Students who had completed the program in the past ten years keep in touch with us. Most of them have gone on to graduate schools, pursuing their career either in their home countries or Japan. One of them joined Yamagata University as an administrative staff after her master's degree, and now working for Toyota Motor Corporation in China. Another student has started a translation company while doing his master's degree in Finland. He came back to Yamagata for a talk on Finland in 2012. Another one who had started working for JT in Tokyo came to talk to current international students at Yamagata in 2014.

■ Contacts

International Exchange Department
Address: 1-4-12, Kojirakawa-machi
Yamagata-shi, Yamagata Prefecture,
990-8560 JAPAN
TEL : +81 23 628 4017
FAX : +81 23 628 4051
E-mail: rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
URL: http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html
Program coordinator: Dr. Akiko KUROSAWA
E-mail: akuros@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp



宮城教育大学 （宮城県）

地域と学校で日本語・日本文化を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色および概要：小さな総合大学

1）歴史と特色

宮城教育大学は、日本の東北地方、仙台市にある教員養成大学です。学部、大学院（修士課程）あわせて学生総数約1,600人の小規模な大学ですが、あらゆる分野の専門家を擁し、小さな総合大学ということができます。大学全体の家庭的な雰囲気と優秀な指導体制は、大規模大学にない本学の特色となっています。仙台の街は緑ゆたかで、物価も比較的安く、文化施設も豊富で暮らしやすいです。留学生は世界各地から32名が学んでいて、教育の分野を中心として、帰国後は各方面で活躍しています。また、豊かな宮城の環境の中で、持続発展教育（ＥＳＤ）とユネスコスクールの活動を推進していることで有名です。

2）教員・学生数等

教授	准教授	講師	助手
69	40	3	2
附属学校教諭	養護教諭	栄養教諭	職員
81	4	2	76

教育学部（学士課程）	1,509人
教育学研究科（修士課程）	108人

（2015年10月1日現在）

② 国際交流の実績

大学間交流協定機関：8カ国・地域10件

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数　32人、日本語・日本文化研修留学生　4人
2014年：留学生数　33人、日本語・日本文化研修留学生　5人
2013年：留学生数　28人、日本語・日本文化研修留学生　1人

④ 地域の特色

仙台市は人口100万人の、東北地方の中核都市です。大都市でありながらも自然と調和のとれた町です。多くの歴史のある大学が存在し「学都」として知られます。

2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震により津波の深刻な被害を受けた沿岸部に対し、内陸部は比較的軽微な被害にとどまっており、地震以前の暮らしを取り戻しています。

また、福島原子力発電所の事故による放射線数値にも顕著な上昇は見られず、仙台市は震災の復興の拠点としても機能しています。

■コースの概要

① コースの特色

宮城教育大学は、教員養成を目的とする大学で、その専門分野は、文科系・理科系から、芸術体育系まで幅広い分野にまたがっています。そのため、日本語・日本文化研修留学生は、日本語・日本文化関係の授業だけでなく、多様な講義を受講できます。少人数で密度の高い指導を受けることができます。留学生の諸行事を通じて、日本人学生との交流も活発です。さらに、ユネスコスクールを中心とする学校現場を訪問して、国際理解の活動をしたり、環境教育を中心とした持続発展教育（ＥＳＤ）について学ぶことができます。

② 受入定員

8人（大使館推薦4名、大学推薦4名）

③ 受講希望者の資格、条件等

日本語学習時間600時間以上相当の日本語力があることが望ましい。日本語・日本文化関係の学部・学科・専攻等に所属しているか、日本語・日本文化関係の科目を履修済みであることが必要です。なお大学1年生については対象外としています。

④ 達成目標

・日本語の高い運用能力を身に付ける
・日本、日本文化への理解を深める
・日本語や日本文化に関連したテーマを調査する能力、調査結果を発表する能力を身に付け、成果を口頭発表、論文発表する。

⑤　研修期間
2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は実施しない予定です。

⑥　研修科目の概要
「日本語」だけでなく、関連科目も指導教員、授業担当教員と相談しながら履修でき、日本に関して総合的に学習できる研修です。

1)必修科目

「日本語」-少人数で親切な指導

学習者のレベルにあわせて、上級または中級10のクラスを用意しています。他の国からの留学生とともに少人数クラスで学びます。

上級クラス（日本語学習歴900時間以上の者を対象） ・1時間：90分				
科目名	内容	単位数	履修時間	
			前期	後期
上級１Ａ	実践的読解・作文	1	15	15
上級１Ｂ	実践的聴解・発話	1	15	15
上級２Ａ	論作文	1	15	15
上級２Ｂ	実践的論作文発表	1	15	15

中級クラス（日本語学習歴300時間以上の者を対象） ・1時間：90分				
科目名	内容	単位数	履修時間	
			前期	後期
中級１Ａ、２Ａ、３Ａ	聴解・発話	1	15	15
中級１Ｂ、２Ｂ、３Ｂ	読解・作文	1	15	15

「特別研究・論文作成」-論文発表ができます

指導教員の下で学習指導と論文指導を受けます（特別研究・必修2単位）。またその研究成果を論文としてまとめて提出します（修了論文・必修2単位）。

特別研究・修了論文				
科目名	内容	単位数	履修時間	
			前期	後期
特別研究	指導教員の下での研究・論文指導	2	－	
修了論文	研究成果のまとめ	2	－	

＊研究の成果の発表の場として「日本語・日本文化研究発表会（2017年7月）」、論文発表の場として、『留学生教育報告書PHILIA』があります。

2)　見学、地域交流等の参加型科目

「国際理解教育活動」

宮城教育大学は、仙台市の宮城県の教育委員会と協力して学校現場の国際理解教育活動を支援しています。留学生は、地域や学校現場で国際理解教育活動に参加して、自国文化を紹介したり日本文化を学んだりする機会があります。

「ユネスコ・スクールと持続発展教育（ＥＳＤ）」

宮城教育大学は、ユネスコスクールネットワークの中心として、地域に30以上あるユネスコスクールと連携しています。また、宮城は国連から環境教育のモデル認定をうけた地域です（仙台広域圏ＲＣＥ）。留学生は、ユネスコスクールを訪問したり、持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）について学んだりすることができます。

3)　その他の講義、選択科目等

専門に応じて、学部開講の関連する授業を履修し、単位を取得することが可能です。（以下は選択科目として考えられる一例です。）

他選択必修科目（日本語学習歴600時間以上の者を対象）の例 ・1時間：90分				
科目名	内容	単位数	履修時間	
			前期	後期
比較日本文化論	日本文化を海外の文化と比較しながら考察	2		15
多文化理解入門	日本国内の多文化化の現状や課題について学ぶ	2		15
日本語教育概論	日本語教員としての基礎的な知識や技能を学ぶ	2		15
国語理解	国語の教科書を分析し、表現するカを身につける	2		15
日本の言語と文化	日本語のしくみについて、基本的な性質を学ぶ	2	15	
書道演習	書道の用筆方法を学ぶ	2	15	
工芸基礎	工芸の基礎的技術の収録	2	15	15
日本の芸能	日本古来の民族芸能を学ぶ	2	15	15

こうした学部開講の授業を受講する場合には、一般的に600時間以上の日本語を学習していることと、あらかじめ授業担当教員に相談することが必要です。

⑦　年間行事

本学には多くの留学生関係行事があり、参加を募っています。

行事名	内　　容
春期研修（5月）	日本の自然に触れるとともに日本文化も体験。
実地見学研修（7月）	日本国内で研修旅行に行き、日本文化を体験。
グローバル・カフェ（10月）	大学祭で、お国の飲み物・お菓子を出す喫茶店を出店。
日本語ｽﾋﾟｰﾁｺﾝﾃｽﾄ（12月）	日本語学習の成果をコンテストで披露。
留学生を囲む会（12月）	留学生を中心に教職員と日本人学生との懇談。
冬季研修（2月）	東北固有の冬の自然・文化を体験。

⑧　指導体制

1)留学生部会委員

委員の氏名	所属講座	連絡先	
		@staff.miyakyo-u.ac.jp	+81-22-214
高橋亜紀子	日本語教育	akiko12	3371
市瀬　智紀	日本語教育	ichinose	3381
田中　良英	社会科教育	y-tanaka	3384
西原　哲雄	英語教育	nisihara	3489
箱田　恵子	社会科教育	keihako	3393
本田　伊克	学校教育	y-ho	3520
リース・エイドリアン	英語教育	adrian	3488

留学生部会は、留学生の生活や学習面でのサポートをします。困ったことがあれば、何でも相談できます。

2)指導教員と日本人チューター

指導教員が、主に研究指導・論文指導を行います。また、日本人チューターから宿題や、日常会話を通じた日本語力の向上等を手伝ってもらうことができます。

⑨コースの修了要件

修了には、日本語科目を含む１０単位以上を履修した上で、指導教員の下で研究活動を行い、その研究成果を修了論文としてまとめて提出することが必要です。また、履修した科目は、単位を認定し、「成績証明書」を交付するので、それらを母国での単位認定に利用することができます。

■宿　舎

東北大学国際交流会館への入居を予定しています。

(http://www.insc.tohoku.ac.jp/cms/?pg=130515141317)

しかし、近年交流会館が満室のため、入居が難しくなっています。その場合、民間アパート（月家賃約6万）や、学生寮（2名1室/月額約2万）等に入居する必要があります。

宿舎入居状況

2015年度	東北大学国際交流会館：0名 民間アパート：4名
2014年度	東北大学国際交流会館：0名 民間アパート：5名
2013年度	東北大学国際交流会館：1名

■修了生へのフォローアップ

多くの留学生が、修了後もインターネットを通じ、指導教員、留学生部会委員から継続して日本語等の学習指導を受けています。また、さらなる日本での勉強の継続を希望する留学生には進路相談に応じます。

■問い合わせ先

宮城教育大学教務課大学院教務係（留学生担当）
住所　〒9800845
宮城仙台市青葉区荒巻字青葉149
TEL　＋81－22－214－3654
FAX　＋81－22－214－3621
E-mail　ryugaku@adm.miyakyo-u.ac.jp
大学のホームページアドレス：
http://www.miyakyo-u.ac.jp/index.html
留学生のためのホームページアドレス：
http://ryugakusei.miyakyo-u.ac.jp/index.html



Miyagi University of Education
(Miyagi Prefecture)

Study Japanese in the district and Schools

■Introduction to the university

①General Guidance of the university

(1) Characteristics and History

Miyagi University of Education(MUE) is a teachers' college in Sendai City in the Tohoku district. Sendai has an abundance of nature, and the cost of living is low. The total population of our university is about 1,600 students including undergraduate and graduate schools (master's courses). We have specialists in all fields. A homely atmosphere and excellent instruction system are special features of our university. Now 32 international students are studying in this environment. Our university is also famous for promoting UNESCO School network and Education for Sustainable Development

(2)Total number of teachers and students

Professors	Associate Professors	Lecturers	Research Associates
69	40	3	2
Teachers at Affiliated schools	School Nurses	Nutritional Health	Officials
81	4	2	76
Undergraduate Students			1,509
Graduate Students			108

(2015.10.1)

②International Exchange
Overseas Partner Instisutions : 10 institutions (8 countries / districts)

③Number of International Students
Y2015 : 32
(4 students from this program)
Y2014 : 33
(5 students from this program)
Y2013 : 28
(1 students from this program)

④ Characteristics of Sendai City

Sendai is a city with a population of one million, and is the political, economic, and academic center of Japan's Tohoku (northeast) Region. Because many established universities are located in Sendai, it is famously known as the "Gakuto-Academic City".

The Sendai coastal area was hit by a massive tsunami caused by a big earthquake on Mar.11th 2011. However, damage in the inland area, including the heart of Sendai City and MUE, were relatively small.

People's life is back on track again.

The Fukushima Nuclear Accident doesn't severely influence Sendai, which is well within the safe zone. The city works as the FOB(Forward Operation Base) for resilience from damages in the coastal Tohoku region.

■Outline of the course

①Characteristics of this course

MUE trains teachers. We have a variety of majors such as Liberal Arts, Natural Science, Gymnastics and Art. Japanese and Japanese Culture Training Course students can attend various lectures including such courses. Moreover, students can receive high quality education in small classes and attend many cultural exchange activities with Japanese students.

Since our university has a network of UNESO schools, students can acquire hands-on
experience of attending cultural exchange activities and studying through the Education for Sustainable Development(ESD) program.

②Number of students to be accepted

Eight students each year
(Four by University Recommendation, Four by Embassy Recommendation)

③Eligibility of applicants

Applicants are requested preferably to have studied Japanese for over 600 hours. Applicants must be enrolled in courses or programs for studying Japanese language or Japan. Students in the first year of university are not eligible.

④Goals

・To acquire high Japanese language proficiency

・To deepen Japan/culture understanding.

・To acquire research skills on a Japan-related theme and presentation skills on it.

⑤Period of the course

From October 1, 2016 to September 30, 2017.

There will be no Graduation Ceremony.

⑥ Overview of the classes

Students can comprehensively study Japan-related subjects. Teachers can give advice when choosing classes.

(1)Japanese language education (Compulsory)

According to the student's level, there are 10 classes from advanced to intermediate levels. The course runs for one year, and students can learn with a small number of foreign students.

Intermediate Class (For students who have studied Japanese over 300 hours.)
・1 class hour:90 minutes

Name	Contents	Credit	Total Class hours	
			1st Semester	2nd Semester
Middle-class 1A,2A,3A	Speaking and Listening	1	15	15
Middle-class 1B,2B,3B	Reading and Writing	1	15	15

Upper Class (For students who have studied Japanese over 900 hours.)
・1 class hour:90 minutes

Name	Contents	Credit	Total Class hours	
			1st Semester	2nd Semester
Upper-class1A	Practical Speaking and Listening	1	15	15
Upper-class1B	Reading and Writing	1	15	15
Upper-class2A	Composing a paper	1	15	15
Upper-class2B	Practical paper presentation	1	15	15

(2) Research activity/Final report(Compulsory)

Students research a Japan-related theme with the assistance of their Advisory Teacher for 1 year, and write a final report as a research outcome for submission.

Research Activity,Final Report

Name	Contents	Credit	Total Class hours	
			1st Semester	2nd Semester
Research Activity	Research activity with the assistance of Advisory Teacher for one year	2	-	
Final Report	Research outcome Paper	2	-	

Students will give a presentation on their research at "The Japanese Cultural Studies Exhibition (July, 2017)." They will write a "Foreign Students' Educational Report".

(3) Field Study

Our university supports international understanding educational activities. Foreign students have the opportunity to participate in international understanding educational activities.

(4)UNESCO school and ESD(Education for Sustainable Development)

MUE collaborates with more than 30 regional UNESCO schools as a center of the UNESCO school network. Miyagi Prefecture has been certified as a model by the U.N. because of its rich environmental resources. Students can access these resources and learn ESD.

(5)Special subjects (selection)

Examples of Special subjects
(Students can select subjects depending on their Japanese ability)
・1 class hour:90 minutes

Name	Contents	Credit	Total Class hours	
			1st Semester	2nd Semester
Comparative Studies in Japanese Culture	Comparing Japanese culture with foreign cultures	2		15
Introduction of Multiclturalism	Learn about the present conditions and a problem of many enculturation in Japan	2		15
Introduction of Japanese Education	Learn the basic knowledge and skill as the Japanese teacher	2		15
Reading and comprehension	Analyze a textbook of Japanese language and acquire power to express	2		15
Language and Culture in Japan	Learn a basic property About Japanese structure	2	15	
Calligraphy : Seminar	Fundamental techniques in calligraphy	2	15	
Handicrafts Basic	Foundations of Japanese folk dance and drums	2	15	15
Japanese Folk Dance and Drum	Foundations of ceramic art	2	15	15

Students can select subjects depending on their Japanese language ability if they have already studied more than 600 hours.

It is necessary to get permission in advance from the lecturer of the subject you want to choose.

⑦Events

There are many pleasant events to be offered

Name	Date	Contents
Spring training	May	Getting into nature and enjoying Japanese culture.
Practical visit training	July	Short trip to Japanese Traditional spots.
Global Cafe	October	Foreign students open one-day cafe.
Japanese speech contest	December	Foreign students speak about their experience in Japan.
Year end's party	December	Join a party for foreign students, Japanese students and the staff of the university.
Winter training	February	Snow trekking and visiting a hot spring resort.

⑧Teaching system

(1)Foreign student committee

The committee support students in every aspect.

Foreign student committee	Affiliation lecture	Contact	
		@staff.miyakyo-u.ac.jp	+81-22-214-
Akiko TAKAHASHI	Japanese Language Education	akiko12	3371
Tomonori ICHINOSE	Japanese Language Education	ichinose	3381
Yoshihide TANAKA	Social Studies Education	y-tanaka	3384
Tetsuo NISHIHARA	English Language Education	nisihara	3489
Keiko HAKODA	Social Studies Education	keihako	3393
Yoshikatsu HONDA	School Education	y-ho	3520
Adrian Leis	English Language Education	adrian	3488

(2) Supervising professor and tutor of Japanese students.

⑨Requirements for completion

The requirements for completion of this course are to obtain more than 10 credits including at least 1Japanese language credit , and submit a final research paper. Through the results certificate , the credits earned at MUE will be transferred to the students' home institution.

■Housing

Students will live in the international student house of Tohoku University. See below.

http://www.insc.tohoku.ac.jp/cms/index-e.cgi?pg=130527113858

But recently, it gets tougher to secure rooms in it.

In this case, a private apartment (¥60,000/ average rent) or Student Dorm(¥20,000/average rent will be offered. One room shared by two persons)

2015	0 (International Student House of Tohoku University) 4 (private apartment)
2014	0 (International Student House of Tohoku University) 5 (private apartment)
2013	1 (International Student House of Tohoku University)

■Caring Graduates

Many former students have been taught by the Supervisor and Foreign students committee even after finishing the course. If they want further their academic career in Japan, they can consult with the Supervisor and Foreign students committee.

■Inquiries

International Exchange Section

Address: 149 Aramaki-aza Aoba, Aoba-ku Sendai City, Miyagi Pref, Japan 9800845

Phone: +81-22-214-3654

FAX: +81-22-214-3621

E-mail: ryugaku@adm.miyakyo-u.ac.jp

Miyagi University of Education home page:

http://www.miyakyo-u.ac.jp/

Home page for foreign students:

http://ryugakusei.miyakyo-u.ac.jp/index.html



茨城大学（茨城県）

研修生は留学生のためのクラス及び日本人学生と同一のクラスで学び、更に日本社会で生活することにより、日本語・日本文化を体験的に学ぶことができる。

■大学紹介

①大学の特色および概要

(1)特色と歴史

本学は昭和２４年新制大学としてスタートし、現在は人文・教育・理・工・農の５学部と人文科学・教育学・理工学・農学研究科の４大学院を有する総合大学として発展している。教育の伝統は、少人数によるゼミナール形式授業の重視、現代的・地域的課題に取り組む実学研究の重視等である。

(2)教員及び学生数

2015年5月1日現在の教員数は、535名、学生数は、正規生のみで、学部生7,039名、大学院生は1,074名となっている。

②国際交流の実績

茨城大学は、海外15ヶ国の39大学等と交流協定を結んでおり、多数の外国人研究者と留学生を受け入れている。

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生受入実績

2015年留学生数	（学部ﾚﾍﾞﾙ）	176
	（大学院ﾚﾍﾞﾙ）	97
2014年留学生数	（学部ﾚﾍﾞﾙ）	182
	（大学院ﾚﾍﾞﾙ）	94
2013年留学生数	（学部ﾚﾍﾞﾙ）	181
	（大学院ﾚﾍﾞﾙ）	103

2015年度日本語・日本文化研修留学生４名
2014年度日本語・日本文化研修留学生３名
2013年度日本語・日本文化研修留学生１名

④水戸市の特色

東京から北東100ｋｍに位置する水戸市は、茨城県の政治・経済・文化の中心地として古くから発展してきた都市である。市の中心地には日本３名園のひとつ、徳川家ゆかりの「偕楽園」があり、春になると梅を楽しむ人々で賑わう。広大な緑地や千波湖は、市民の憩いの場として親しまれている。

■コースの概要

①コースの特色

研修生は留学生のためのクラス及び日本人学生と同一のクラスで学び、更に日本社会で生活することにより、日本語・日本文化を体験的に学ぶことができる。コース形態は下記のとおりである。

日本語・日本事情：留学生センター・教養科目で開講される主に留学生のための日本語・日本理解のための授業
日本文化：日本人学生と日本について学ぶ教養科目
日本関連科目：人文学部で開講される授業

②受入れ定員：３名（大使館推薦３名、大学推薦０名）

③受講希望者の資格、条件等

来日前に日本語の学習歴を有し、日本語で行われる授業の参加に必要な日本語能力を備えていることが望ましい。

④達成目標

日本語・日本文化を学びながら、同世代の日本人学生と積極的にコミュニケーションを図れることで、より一層日本への関心や興味を持ち、理解を深めていく事を達成目標とする。

⑤研修期間：２０１６年１０月１日～２０１７年９月３０日

⑥研修科目の概要

授業は原則として、前期(4月～8月上旬)と後期(10月～2月上旬)各16週（内1週はテスト）開講される。

1)必須科目

①日本語

日本語レベルにより、a. またはb.の授業から選択

a. 教養科目「学術日本語」「学術日本語基礎」
・日本語上級(聴解、読解、口頭発表、レポート作成、総合)

b. 留学生センター開講科目
（これらのクラスは、「単位」には関係ありません。）
・日本語中級～上級
・レベル3: 総合、口頭表現、中級漢字
レベル4: 総合、上級会話、上級漢字、日本事情

②日本人学生と学ぶ教養科目

・異文化理解
日本人と留学生が討論を通して、互いの文化や様々な文化についての理解を深める。
・異文化と日本の出会い
日本の生活文化について、日本人学生と留学生が話し合う。
・異文化としての日本
留学生と日本人学生により、日本文化の理解を深める。

２）選択科目
　人文学部で開講される日本語・日本文化に関連する科目及び日本を理解する上で役立つ他の科目の中から、留学生が指導教員と相談の上、授業科目を選択し受講する。

⑦年間行事
６月　　全学の留学生とともに、関東地方又は東北地方方面への国際交流合宿研修を実施する。
１０月　留学生支援団体及び地域住民等との懇談会・交流会を実施する。

⑧指導体制
（１）プログラム実施委員長
　古賀　純一郎（人文学部教授）
（２）指導体制
　当該の留学生の関心領域に近い専門の教員が指導教員となり、日本文化及び関連分野についての勉学が進むように指導する。
また、国際交流等に関心の高い日本人学生をチューターとして付け、勉学面のみならず、生活面に渡るまでサポート体制を取り組む。

⑨コースの修了要件
　所定の科目を履修した者に、コース期間修了後「修了証明書」を交付する。

⑩単位認定、単位互換等
　留学生センター開講の授業は、単位を出さないが、人文学部開講の授業は、単位を認定する。単位互換は、当該学生の出身大学の判断による。

■宿舎
国際交流会館
〇宿舎数
・単身用38室（A,B棟）、12室（D棟）、23室（EFGHI棟）
・夫婦用2室（C棟）　・世帯用2室（C棟）
〇家賃(月額)
・単身用　5,900円（A,B棟）、20,400円（D棟）、
　　20,400円（EFGHI棟）
・夫婦用、世帯用　14,200円(C棟)
〇宿舎周辺の生活情報、通学時間
国際交流会館から本学までは徒歩15分位で、入居期間は1年以内である。

国費留学生は大学の宿舎に優先的に入居が認められる。万一、入居希望者が多く入居できない場合は大学付近の一般アパートに入居することになる。（月額約30,000～35,000円）

■修了生へのフォローアップ
　修了後の研究に対し、要請に応じたEメール等を通じて協力助言する。

■問合せ先
茨城大学学務部留学交流課
住所:〒310-8512
　　茨城県水戸市文京２－１－１
TEL:029ー228－8056
FAX: 029－228－8594
茨城大学ホームページ
http://www.ibaraki.ac.jp

茨城大学留学生センターホームページ
http://www.isc.ibaraki.ac.jp



Ibaraki University (Ibaraki Pref.)

The program is offered to improve both the students' Japanese communicative competence and the understanding of Japanese culture and way of life through studying with Japanese students and living in Japanese society.

■University Overview

1. Characteristics and Outline

(1) Characteristics and History

Ibaraki University was established in 1949 and has been developing as an university with five colleges (Humanities, Education, Sciences, Engineering, and Agriculture) and four graduate schools (Humanities, Education, Natural Sciences and Engineering, and Agriculture). Emphasis is put on practical teaching about current and local issues.

(2) Faculty and Students (as of May 1, 2015)

Faculty members:	535
Undergraduate Students:	7,039
Graduate Students:	1,074

2. International Exchange

Ibaraki University has international exchange agreements with 39 universities and institutions of 15 countries. The university has accepted a large number of scholars and students from abroad, which include Japanese studies program students (4 in 2015, 3 in 2014, 1 in 2013).

3. Number of International Students

2015	Total:	273
	Undergraduate:	176
	Graduate:	97
2014	Total:	276
	Undergraduate:	182
	Graduate:	94
2013	Total:	284
	Undergraduate:	181
	Graduate:	103

4. General Information about Mito City

Mito City, in 100 km northeast of Tokyo, is the political, economic, and cultural center of Ibaraki Prefecture. The city has rich historical and cultural sites such as Kairakuen, a plum tree garden constructed in the Edo period.

■Outline of the Japanese Studies Program

1. Characteristics

The program is offered to improve overseas students' communicative competence in Japanese and understanding of Japanese culture and life through studying with Japanese students and living in Japanese society. The program is composed as follows:

–Japanese and Japanese Affairs (International Student Center): Especially designed for overseas students to learn Japanese language and understand Japanese society.

–Japanese Culture (Liberal Arts): Learning Japanese culture with Japanese students.

–Japan-rerated matters (the College of Humanities)

2. Number of Students Accepted: Three students

・Embassy recommendation・・・・3

・University recommendation ・・・・・・0

3. Application Requirements

It is desirable that the applicants have studied Japanese and have sufficient proficiency to understand lectures and take part in seminars as well to read materials and write reports in Japanese.

4. Program Objectives

Through the program, overseas students can not only study Japanese language and culture but also deepen their understanding and concerns on Japanese society. Positive attitude toward establishing relationship with Japanese students help them achieve the objectives easier.

5. Program Period: From October 1, 2016 to September 30, 2017

6. Program Description

Academic year has two semesters: the first semester from April to the early August, the second semester from October to the early February. Each semester has sixteen weeks, including an examination week.

1) Compulsory courses

①Japanese language

Choose (a) or (b) in the below according to the Japanese language proficiency level.

a. Academic Japanese, Basic Academic Japanese (liberal arts subjects)

–Academic Japanese(listening, reading, oral presentation, academic writing, general)

b. Courses offered at International Student Center (No credit is given for the following courses.)

–Intermediate & Advanced Japanese

Level 3(general, oral expressions, intermediate kanji)

Level 4(general, advanced conversation, advanced kanji, Japanese studies)

②Courses offered as Liberal Arts subjects

–Cross-cultural understanding

–Cross-Cultural Communication in Japanese culture and Foreign cultures

–Rediscovery of Japanese culture, from the ethnological perspective

2) Elective Courses：
Among courses of the College of Humanities, students may enroll courses useful to understand Japan as well as courses related to Japanese language and culture . Their advisors assist them to select those courses.

7. Events
Jun. A field trip to the Kanto or Tohoku area together with other overseas students.
Oct. International exchange activities with organizations supporting overseas students and the people in the local communities.

8. Academic Supporting System
(1) Program Coordinator
Prof. Junichiro Koga, Faculty of Humanities
(2) Academic Advisors
A faculty member whose specialization fits in with the area of interest of the overseas student is assigned as his/her academic advisor.
(3)Tutoring
A Japanese student who is interested in international exchange is assigned as a tutor to help a overseas student adapt to the new environment at/outside of the campus.

9. Program Completion
After completing required courses, students are given a certificate of completion.

10. Credit Certification and Credit Transfer
Except for those subjects offered at the International Student Center, credits are given upon completion of course requirements. Credit transfer depends on the policy of the student's home university.

■Accommodations
Japanese Studies Program students are given priority to live at International House.
In the past three years all Japanese Studies Program students lived in the Ibaraki University International House.

The International House
・Number of rooms
Single: 38 (Building A,B), 12 (Building D), 23(Building EFGHI)
Couple: 2 (Building C)
Family: 2 (Building C)
・Rent （per month）
Building A,B 5,900yen
Building DEFGHI 20,400yen
Building C 14,200yen
・Information for daily life and commute time
The maximum period of stay is one year
About 15-minute walk from the university
A private apartment for single costs about 30,000 - 40,000 yen
per month.

MEXT scholarship students are given priority for living in a university dormitory. In the unlikely event that no room is available, students need to rent a private apartment near the campus (monthly rents are within the range of 30,000 yen to 35,000 yen).

■Follow-up after Completion
Upon request, the teaching staff will extend advice and cooperation to the
research of the graduates after their completion of the
program by email, etc.

■Contact Office
Student Exchange Division
Address： 2-1-1 Bunkyo, Mito City, Ibaraki, 310-8512 Japan
Phone：+81-29-228-8056
Fax ：+81-29-228-8594
URL：http://www.ibaraki.ac.jp
URL: http://www.isc.ibaraki.ac.jp



宇都宮大学（栃木県）

世界遺産の日光、最先端のテクノポリス、豊かな自然が身近にある環境での研修です

■大学紹介

① 大学の特色および概要

宇都宮大学は栃木県の中央にある宇都宮市にある大学で、５つの学部と４つの研究科（大学院）からなる総合大学である。大きな大学ではないので、種々の面で学生に対してきめ細やかに対応しており、学部や研究科間を連携した教育・研究活動も行いやすい。

●教員数と学生数（2015年10月1日現在）
教員数 ： ３４７ 名
学生数 ： ４，８９２ 名
（学部生 4,132名，大学院生名 760名）

●学部と研究科
＜地域デザイン科学部＞〉
2016年4月に新たに発足の学部。地域の魅力を引き出して、より良い地域を形成するために必要な、幅広い知識と専門技術を総合的に学ぶ。

〈国際学部・国際学研究科〉
国際的な視野から社会と文化の総合的な教育研究を行い、世界で活躍できる人材の育成を行っている。海外からの留学生、海外に留学する学生がともに多い。

〈教育学部・教育学研究科〉
教員養成に長い歴史を持ち、学校教育をはじめ、多方面で活躍できる人材を養成している。

〈工学部・工学研究科〉
自然環境及び人工環境と人類の共生をめざした先端的研究を行っている。

〈農学部・農学研究科〉
宇都宮高等農林専門学校からの長い伝統を持つ一方、バイオテクノロジーや国際協力などの先端的な研究分野で大きな成果をあげている。

② 国際交流の実績

留学生の数：２７７ 名（３０ か国）
研究者の数： ５ 名（ ４ か国）
大学間等交流協定校の数： ６０大学

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数 277人 日本語・日本文化研修留学生 7人
2014年：留学生数 282人 日本語・日本文化研修留学生 9人
2013年：留学生数 297人 日本語・日本文化研修留学生 11人

④ 地域の特色

本学のある宇都宮市は東京の北１００km（新幹線で約５０分）に位置している。宇都宮市は人口約５２万人で、東には鬼怒川(ｷﾇｶﾞﾜ)、北には那須山地、西には世界遺産の観光地日光など、美しい環境に恵まれている。日本最古の大学、足利（アシカガ）学校に代表される学問的伝統や日本で１、２位を競ういちごなど農産物の開発やテクノポリスを構成する工業技術などアカデミズム・先端的科学技術の発信地となっている。



■コースの概要

① コースの特色

本コースは、宇都宮大学留学生・国際交流センターが全学の協力を得て行う研修プログラムで、以下の二つの研修を行う。

・日本の文化や社会についての研究

研究テーマを設定し、そのテーマに相応しい指導教員の下に研究を行い、その成果を研修論文としてまとめ、発表し、提出する。

・日本語能力の向上

研究と並行して、日本語の授業や日本語で行われる大学の授業を受講し、自らの日本語能力の向上を図る。

② 受入定員

１０名（大使館推薦５名、大学推薦５名）

③ 受講希望者の資格、条件等

以下の（１）、（２）を二つとも満たすことが条件である。

（１）専攻分野

母国の大学において日本語・日本文化に関する分野を主専攻としていること。

（２）日本語能力

中上級レベル（日本語能力試験Ｎ２合格程度）以上の日本語能力を持っていること。

④　達成目標

本コース研修留学生は研修修了時に自らの調査・研究の成果を日本語でまとめた研修論文を作成、提出すること、またその成果を「日研生論文発表会」で口頭発表することを目標とする。

⑤　研修期間

2016年10月　～　2017年9月

⑥　研修科目の概要

・開講部局は留学生・国際交流センター、基盤教育（全学共通の基礎科目）、各学部である。
・授業時間は９０分、全科目１５回３０時間である。
・必修科目を４科目、選択科目を８科目





1)　必須科目（留学生・国際交流センター開講科目、各２単位）

「日本語・日本文化Ⅰ」　「日本語・文化Ⅱ」
「日研生特別研究Ⅰ」　「日研生特別研究Ⅱ」

2）見学、地域交流等の参加型科目

・見学は必修科目の「日本語・日本文化Ⅰ」「同Ⅱや基盤教育科目の「日本事情」で実施する。地域交流科目には「栃木の里山に学ぶ」春夏編・秋冬編）などがあり、受講が可能である。また、留学生を対象とした地域との交流行事を実施している。（⑦を参照）





3）その他の科目、選択科目等）

（留学生・国際交流センター・基盤教育・各学部の開講科目）

・選択科目は１２科目の受講が必要である。ここに挙げてあるのは受講を推薦する科目の例であり、日本語能力と研究テーマに応じて他の授業科目を選択できる。
・本学の授業科目の2016年度の時間割とシラバスは、本学ホームページ（後述）で確認することができる。

○ 選択科目Ⅰ：上級レベル日本語科目の例（各１単位）

「日本語アカデミック・リーディングⅡ」
「日本語アカデミック・プレゼンテーション」
「科学技術系のための専門日本語」
「人文社会系のための専門日本語」

○ 選択科目Ⅱ：日本文化関連科目の例（各２単位）

「日本事情」「日本語の表記」「日本語論」
「日本語史」「対照言語学」「日本文化論」
「多言語コミュニケーション学Ａ」
「多言語コミュニケーション学Ｂ」
「異文化間コミュニケーション」
「日本文学史」「日本文学概説Ａ」

⑦　年間行事（他の留学生も参加する）

１０月	10月来日留学生歓迎パーティー
１１月	校外学習①
２月	校外学習②
３月	地域との交流会
４月	校外学習③
７月	七夕の集い（地域留学生対象）
	校外学習④
８月	ホームステイ
８月	留学生研修旅行（１泊２日）





⑧　指導体制

本コース研修留学生は本学留学生・国際交流センターに所属し、プログラム担当教員と指導教員の連携による指導を受ける。

〇プログラム担当教員：

本コースのコーディネーターとして全学的な協力の下に研修留学生が充実した研修を行えるよう指導教員等と連携をとりながら指導・助言を行う。

・鎌田　美千子（留学生・国際交流センター）
・戚　　傑（留学生・国際交流センター）

〇指導教員：

研修留学生の研修テーマに応じて専門分野の研究指導を行う。指導教員は、来学後に研テーマに基づいて全学の教員の中から決定される。

⑨　コースの修了要件

以下の（１）～（３）を全て満たすことを修了要件としコース修了者には修了証書を与える。

（１）必須科目４科目を履修すること
（２）選択科目１２科目（本プログラムに関連した内容の科目）を履修すること
（３）研修論文を作成するとともに、研修論文の内容を「日研生研修論文発表会」で発表すること

■ 宿　舎

本学には、外国人留学生用の宿舎として国際交流会館があるが、全員が入居できない状況である。

そのため、国費留学生は民間アパートに入居する可能性が高い。

〈参考〉
〇民間アパートに入居する場合、最初にかかる諸費用

・居室料（単身用・月額）　30,000円前後
・敷金(居室料の１ヶ月分)
・礼金(居室料の１ヶ月分)
・手数料(居室料の１ヶ月分)
・ガス開栓等の手数料　　15,000円前後
・保険料　　4,500円～9,000円　前後

合計　　10万円　～15万円前後

〇設備等

・エアコンが設置されたアパートは比較的多い。
・その他は来日後、各自で購入等の必要がある。

■ 修了生へのフォローアップ

研修修了後も、希望者には進路や研究内容等について、メールなどにより、随時相談・助言等を行っている。

〇過去の修了生の進路の例：

・本学大学院進学
・本学以外の日本の大学院進学
・母国での通訳
・母国での大学教員
・日系企業への就職

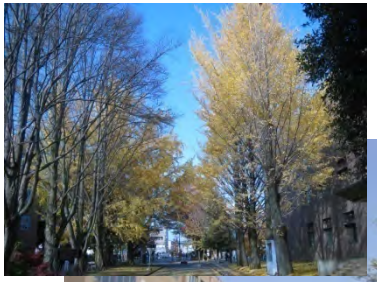


■ 問い合わせ先

（担当部署）
宇都宮大学学務部留学生・国際交流課
住所　　〒３２１－８５０５
　　栃木県宇都宮市峰町３５０
TEL　＋８１－２８－６４９－８１６６（直通）
FAX　＋８１－２８－６４９－５１１５
E-mail
ryuugak1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

宇都宮大学ホームページ
http://www.utsunomiya-u.ac.jp/

宇都宮大学留学生・国際交流センターホームページ
http://intl.utsunomiya-u.ac.jp/







Utsunomiya University (Tochigi Pref.)

Close to Nikko as a World Heritage, the most advanced Technopolis, and natural beauty. Students of the program can study a variety of topics in this ideal environment.

■ University Overview

① Outline

Utsunomiya University is comprised of 5 faculties, 4 graduate schools and 12 Institutes for education and research.
The Faculty of Regional Design, established newly in 2016, teaches practical knowledge, methods and technics for a better design of regional communities. The Faculty of International Studies, being the only faculty in all national universities in Japan, promotes comprehensive studies of international societies and cultures. The Faculty of Education has a long history of training educators and offers specialized programs that include practical skills training. The Faculty of Engineering conducts leading-edge research and serves as a core facility for the industrial center. The Faculty of Agriculture has a long tradition, but it is also producing remarkable results in new fields such as biotechnology and international cooperation.

② Number of Faculty and Students

(as of October 1, 2015)

- Faculty ····· 347
- Students
  - ・Undergraduates ····· 4,132
  - ・Graduates ····· 760

total 4,892

③ The data of International Exchange

- Number of International students: 277 (from 30 countries)
- Number of International visiting scholars: 5 (from 4 countries)
- Number of Exchange Agreements with overseas universities: 60
- Number of Students in the Japanese Studies Program in past 3 years
  - ・2013 ·····11
  - ・2014 ·····9
  - ・2015 ·····7

④ Local Environment

Utsunomiya University is located in the City of Utsunomiya (population: about 500,000), about 100 km north of Tokyo (about 50 min by Shinkansen).

Utsunomiya is surrounded by natural beauty, with the Kinugawa River to the east, the Nasu Mountain Range to the north, and world-famous Nikko to the west. With a strong academic tradition, as suggested by its proximity to the Ashikaga School, Japan's earliest-known university, Utsunomiya University has become renowned for cutting-edge technologies such as those being developed at the Technopolis Center.

■ Outline of the Program



① Program Feature

This course is offered by the Center for International Exchange of the Utsunomiya University in cooperation with the faculties, aiming to help students to improve and develop their Japanese language skills and to deepen their specialized knowledge of Japanese language, culture and society.



② Quota

10 students
- ・University recommendation ·····5
- ・Embassy recommendation ·····5

③ Requirements for Applicants

Followings are requirements for this program, and both should be satisfied by the applicants.

- Applicants should be majoring in a field related to Japanese language or culture at their home university.
- Applicants should have the intermediate or higher level of Japanese proficiency (higher than N2 level of JLPT) that will enable them to pursue the program and study with Japanese students.

④ Goal

● To improve and develop their Japanese language skills.
● To deepen their specialized knowledge of Japanese language, culture and society.
●To write an academic report and give an oral presentation on the research at the end of the program.

⑤ Course Duration

October 2016 to September 2017

⑥ Outline of Subjects

1) Required Subjects :

The following 4 subjects are those only for the Japanese Studies Course. (30 hours for each subject)

● Japanese Language and Culture Ⅰ…2 credits
● Japanese Language and Culture Ⅱ…2 credits
● Special Seminar in Japanese Language and Culture Ⅰ…2 credits
Special Seminar in Japanese Language and Culture Ⅱ…2 credits

2) Elective Subjects:

The following subjects are those given at the Liberal and General Education Center, Faculty of International Studies and the Faculty of the Education, in which the students of the Japanese Studies course are supposed to take together with regular students.

Each student may take other subjects in accordance with their research topic, if necessary. And the total number of required elective subjects is 12. (30 hours for each subject)

《 Subjects of Advanced Japanese Language 》

● Academic Japanese for Reading Ⅱ ……1 credits
● Academic Japanese for Presentation ……1 credits
● Academic Japanese for Human Science and Social Science ……1 credits
● Academic Japanese for Science and Technology ……1 credits

《 Model Subjects of Related to the Japanese studies 》

● Things Japanese ……2 credits
● The Japanese Writing System ……2 credits
● Japanese Linguistics ……2 credits
● History of the Japanese Language ……2 credits
● Japanese Culture ……2 credits
● Comparative Study of Cultures ……2 credits
● Multilingual Communication A ……2 credits
● Multilingual Communication B ……2 credits
● Cross-Cultural Communication ……2 credits
● Introductory Japanese Literature A ……2 credits
● History of Japanese Literature……2 credits

3) Participation-based study and events

"Things Japanese", "Japanese Language and Culture I and Ⅱ", "Learning at SATOYAMA in Tochigi" (active learning subjects) and some other subjects are those offering several study tours or field trips to study Japanese culture through experiences.

Besides these subjects, there are various extra-curricular intercultural activities for international students offered by the Utsunomiya University (see ⑦).





⑦ Extracurricular Activities

Students may participate in a wide range of extracurricular activities, including skiing lessons, sightseeing excursions, study trips and opportunities to interact with local residents.

⑧ Academic Guidance System

(1) Course Advisors and Coordinators

Michiko Kamada (Center for International Exchange)
Jie Qi (Center for International Exchange)

Course advisors are responsible for organizing the Japanese Studies Course, and help each student to make their study plan and/or decide their research topic. They also coordinate the course at the whole university level.

(2) Research Supervisors

Research supervisors give students academic advice according to their research topic, and are decided after their arrival.

⑨ Course Requirements

Each student is required to take both required subjects (4 credits) and elective subjects (12 subjects or more), and give an oral presentation on their academic report at the end of the course.





■ Housing

● Condition

There is an international student dormitory at Utsunomiya University. However, unfortunately it is always fully occupied, so all the MEXT scholarship students are advised to rent a room at their own expense.

● Room rent (on average)

1-bed room 30,000yen/month

● Other costs

You may have to pay triple the amount of money for cleaning deposit, reward and handling charge.

You may have to deposit 15,000yen to your gas company to use the gas.

Sign up for house insurance, which costs 4,500-9,000yen.

In total you need 100,000-150,000yen to settle down here.

● Room facilities

Many rooms are air-conditioned but you have to buy heaters, stoves, kitchenware, microwaves, washing machines etc at your own expense.

■ Follow-up for graduates

Opportunities will be offered to graduates to take advice about your going to higher school in Japan after completing.

■ For more information, please contact

International Student and Exchange Division, Student Affairs Department, Utsunomiya University

Address: 350 Mine-machi, Utsunomiya,Tochigi 321-8505 JAPAN
Tel: +81-28-649-8166
Fax: +81-28-649-5115
E-mail: ryuugak1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp
Or visit our web site at: www.utsunomiya-u.ac.jp/



群馬大学 （群馬県）

教育学、人文社会科学、情報科学を学び、地域社会の視点から日本の文化を考察する。

■大学紹介

①　大学の特色および概要

(1) 特色と歴史

群馬大学は１９４９年に設立。東京から北西に約100ｋｍに位置し、教育学部、社会情報学部、医学部、理工学部、生体調節研究所、附属図書館、医学部附属病院、国際教育・研究センター等の各部局で構成している。

教育学部は、グローバルに物事をとらえながら、未来社会を支える人間を育成するために、人間の発達と成長を主な対象として教育の目的、方法、および内容などについて理論的・実践的な教育・研究を進めている。教育学部には、教員養成を主たる目的とする課程があり、5系・13専攻に分かれながら、深い専門性と実践的な指導方法 を身に付ける。

社会情報学部では、社会と人間を「情報」という視点から捉えた「社会情報学」を学ぶ。社会情報学の目標は、人間のコミュニケーションを取り巻いている社会のシステムを分析し、今後の課題を明らかにしていくことである。そこで、情報科学と人文・社会科学を融合し、学際的、国際的な教育・研究を進めている。

国際教育・研究センターでは、留学生のための日本語・日本事情科目を開講し、学習相談を実施している。また日本研究のため「武道」「日本美術」「邦楽」という実践科目も履修でき、総合的に日本理解ができるプログラムが用意されている。

(2) 教員・学生数等（2015年5月現在）
教員数：934人
学生数：学部5,133人、大学院1,342人

②　国際交流の実績(2015年5月1日現在)
留学生在籍数　：　215人（20カ国１地域）
海外の大学との交流協定：110件(32カ国１地域)

③　過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数215人、日本語・日本文化研修留学生5人
2014年：留学生数231人、日本語・日本文化研修留学生6人
2013年：留学生数252人、日本語・日本文化研修留学生6人

④　地域の特色

関東平野の北に位置し、美しい山々に囲まれ、温泉も多く、１年を通じて四季折々の自然豊かな景色・産物が楽しめ、東京近郊から電車で約２時間ほどである。

一方、外国人が急増し、その多文化共生のため様々な活動を群馬大学が実施し重要な役割を果たしている

■コースの概要

①　コースの特色

本学では日本語・日本文化研修プログラムを通称「Ｊプログラム」と称して、日本語の能力や技能を高めながら、日本を研究対象とする諸研究を行うのに必要な知識を身につけることを目指す。プログラム期間中に行われる諸活動に参加することで、日本語や日本文化、日本社会についての理解を深めることができる。

本人の希望する専門分野により、教育学部又は社会情報学部のいずれかの研究室に所属し、更なる日本語能力の向上と並行して、専門性をより高めることを目的としている。

また、例年、当プログラムが行われる荒牧キャンパスには多数の交換留学生が在籍しており（2015年度は5協定校から14名）、日本語能力試験Ｎ１級レベルや大学院レベルの交換留学生もおり、短期留学生が多様なレベルで存在している。

そのため、交換留学生のための日本の伝統文化を学ぶプログラムも用意されており、武道（柔道）、日本画、邦楽（琴、三味線）の実技を専門家から学ぶ機会もあり、日本文化をより深く学ぶことが出来る。

②　受入定員

５名（大使館推薦３名、大学推薦２名）

③　受講希望者の資格、条件等

(1) 一般的な会話や読み書きができ、専攻する科目について日本語による授業科目の内容を理解する者。日本語能力試験Ｎ２級以上に相当が望ましい。

(2) 日本語・日本文化に関する分野を専攻する者、または他の専攻分野に在学しつつ日本語・日本文化に関する分野を学習している者。

④　達成目標

修了時に、日本語で研究論文を作成し、自分の研究について口頭発表や質疑応答ができるようになること。

⑤　研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日

⑥　コース形態

日本語及び日本事情の授業は国際教育・研究センターが中心となり提供し、専門科目については各所属研究室が指導する。

⑦　授業科目の概要

授業は原則として、前期・後期各15週開講する。日本語、日本事情、伝統文化実践科目、学部・教養科目から履修する。必修科目は以下のとおり、全体で510時間が必要となる。

(1) 修了要件

授業の種類	第１期(10-3月)	第２期(4-9月)
日本語	４クラス（120時間）	４クラス（120時間）
学部・教養教育科目	６クラス（180時間）	
J特別講義*1	1クラス（30時間）	
課題研究(個別指導）*2	1クラス（30時間）	1クラス（30時間）

*1：「日本における研究」をテーマに、学内教員によるオムニバスの特別授業（協力教員14名/半期）
*2：課題研究は指導教員による論文指導である。第２期の終わりにプレゼンテーションをして、論文を提出しなければならない。

科目名	学期	時間数	授業内容
日本語A（口頭表現）	秋・春	60	聴解・会話、発表演習
日本語B（総合）	春	30	読解、作文、プレゼンテーション
日本語C（読解）	秋	30	論説・論文の読解・要約
日本語D（総合）	春	30	時事日本語
日本語E（作文）	秋	30	レポート・論文作成
日本語F（読解）	秋・春	60	専門書読解、要約・作文練習
日本語G（読解）	秋・春	60	専門書読解、要約・作文練習
日本語H（作文）	春	30	文章表現、レポート作成
日本語I（口頭表現）	春	30	聴解・会話、発表演習
日本事情A	春	30	日本文化論講座
日本事情B	春	30	日本の科学技術
スポーツ実習	秋・春	30	柔道
邦楽器演習	秋・春	各60	三絃・琴演習
日本美術演習	秋・春	各60	日本画演習

(2) 選択科目
教育学部と社会情報学部で開設される専門科目の授業、教養科目授業から選択する。

(3) 見学
年に１回、留学生実地研修旅行がある。８月にバスによる近隣県の研修旅行（１泊２日）を予定している。その他、日本美術の一環で、東京や千葉、県内の美術館等への日帰り見学を定期的に行う。

(4) 地域交流
群馬県内の小学校や中学校から国際理解講座の授業への留学生派遣依頼があり、Ｊプログラムの学生が積極的に訪問するよう働きかけを行い、選択科目の「日本語Ｂ」と連携し、効果的なプレゼンテーションの実技指導を行っている。
また市の国際交流協会が実施するホスティングプログラムやイベントへの講師派遣にも積極的に参加・協力している。

⑧指導体制

(1) コーディネーター：　野田岳人　准教授

(2) 指導体制：
学部の指導教員が、研究指導及び修了研究のための指導を行う。その他、国際教育・研究センター教員（生活相談を含む）及びチューターの日本人学生が支援する。



邦楽器演習の様子

⑨　コースの修了要件、修了証書の発行

コースの修了にあたっては、必修科目420時間、選択科目等60時間以上を受講し、日本語による論文発表会を行い、口頭試問の上、成績優秀な者については修了証書を発行する。成績判定にあたっては、学部指導教員と国際教育・研究センター教員による修了判定委員会で総合的に判断される。

⑩　行事等

１０月	新入学留学生受入式
	オリエンテーション
	留学生相談会
	チューターオリエンテーション
	留学生特別健康診断
１２月	各学部留学生懇談会
１月	伝統文化実践科目邦楽演奏会
３月	茶道、書道、華道の伝統文化体験
４月	全学健康診断
８月	Jプログラム研究報告会
９月	インターナショナルキャンプ
	Jプログラム研究論文提出

⑪　単位認定、単位互換

必要があれば、各所属学部で成績証明書の発行可能。単位互換は、在籍大学の判断による。

■宿　舎

キャンパスから４ｋｍ離れたところに群馬大学国際交流会館（前橋）がある。単身室２２室があるが、常に学部、大学院留学生等により満室状態である。

・民間アパートの費用
大学は、原則日研生のために、キャンパスに近い民間アパートを準備する。おおよそ30,000円/月程。その他、公共料金（電気、ガス、水道、インターネット、携帯電話）が10,000～20,000円/月程必要となる。同時期に来日する交換留学生用のアパートと同様の扱いを行う。

■修了生へのフォローアップ

・Jプログラム修了生のデータベースを作成する。
・日本への大学院進学などについて、助言・相談を実施する。



茶道体験の様子

■問合せ先

（担当部署）
群馬大学学務部国際交流課
住所　〒３７１－８５１０
群馬県前橋市荒牧町四丁目２番地
TEL　＋８１－２７－２２０－７６３７（直通）
FAX　＋８１－２７－２２０－７６３０
E-mail　g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp

担当教員　国際教育・研究センター
准教授　野田岳人
E-MAIL　nodat@gunma-u.ac.jp

群馬大学ホームページ
http://www.gunma-u.ac.jp/

群馬大学国際教育・研究センターホームページ
http://www.cier.gunma-u.ac.jp/



Gunma University

Deepen understanding of local society of Japan in learning of Education and Social and Information Studies

◇ Overview of Gunma University

① Outline

(1) Outline and History

Gunma University was established in 1945 and located roughly 100 km northwest of Tokyo. It is consisted by Faculty of Education, Faculty of Social and Information Studies, Faculty of Medicine, School of Science and Technology, Institute for Molecular and Cellular Regulation, University Library, University Hospitals, Center for International Education and Research and so on.

The Faculty of Education aims to educate students who can attain professional ability as school teachers with a wealth of knowledge, technique and humanity, and who will respond to the various social demands of schools. The Faculty of Education consists of five fields and thirteen majors.

The Faculty of Social and Information Studies: The new interdisciplinary field of social and information studies, combing humanities and social sciences with information sciences has been developed in an effort to respond to the diverse demands of the advanced information society.

Through the study and the research that seeks ways to preserve humanity in the advanced information age and creates a society in which people can pursue rich and fulfilled lives, we aim to equip students with the international outlook and essentials of social scientific thinking that will enable them to pursue careers in public, business, and both at local and international sectors.

(2) Number of faculties members and students (as of May 1, 2015)

Faculty members 934
Undergraduate students 5,133
Graduate students 1,342

② International Exchange Data (as of May 1, 2015)

International students: 215
(20 countries and 1 region)
Academic Exchange agreements: 110
(32 countries and 1 region)

③ The number of students attended this program

International students / Japanese studies student

2015 yr.	215 / 5
2014 yr.	231 / 6
2013 yr.	252 / 6

④ Feature of Maebashi City

Surrounded on three sides by majestic mountain ranges, Maebashi city is located in the northeast corner of the Kanto Plain. With the beautiful landscape, there are a lot of hot springs and varied products through four seasons. It takes two hours by train from Tokyo.

Population of foreign residents has been rapidly increasing in ten years and Gunma university makes important role in maintaining the activities for the multi cultural societies.

◇ Contents of the "J Program"

① Outline

Gunma University provides "J Program" for this Japanese studies students. In the J Program, Students are assigned in the Faculty of Education or the Faculty of Social and Information Studies depends on their interests and majors.

The students have a opportunity to deepening their understanding of their research while promoting their Japanese ability.

There are diversity of exchange students, for example 14 students from five sister universities in 2015. Some students have the level N1 of JLPT while some are Graduate school level. So Gunma University provides practical classes such as martial arts (Kendo & Judo), Japanese painting, and Japanese traditional music (Koto & Shamisen) conducted by specialists.

② Enrollment quota: 5 students

(3 students from Japanese legation,
2 from Gunma Univ.)

③ Qualifications and Conditions of Applicants

(1) Students are expected to have the Japanese language ability to understand lectures and read materials. They are expected to have passed the JLPT at Level N2 (Intermediate) or Level N1 (Advanced).

(2) Students are expected to have majors related to Japanese Language and/or Japanese Culture.

④ Purpose of the achievement

At the final stage, students make a research report in Japanese and make a presentation and debate regarding to their own research.

⑤ Period

October 1, 2016－September 30, 2017

⑥ In-campus Network

Center for International Education and Research (CIER) coordinates the Japanese curriculum while each supervisor in the faculty guides their major subjects.

⑦ Outline of Classes

Classes are held for15 weeks in both 1st and 2nd term in principle. Students attend the classes of Japanese Japanology, Traditional Culture, General Education and Undergraduate Faculty. The required classes are as following, which amount to 510 hours.

(1) Required Classes

Title	1st term (October–March)	2nd term (April–September)
Japanese	4 credits（120 hours）	4 credits（120 hours）
General Education and Undergraduate Faculty	6 credits (180 hours)	
Speial Lecture Japanology*1	2 credits (30 hours)	
Research Work *2 (Individual guidance)	2 credits (30hours)	2 credits (30hours)

*1：Fourteen professors have a special lecture in the point of the view of their major and Japanese Studies.
*2：Students have to present their research and submit a final paper at the end of the second semester.

Title	Term	Number of hours	Outline
Japanese A	fall / spring	60	Listening, Communication, Presentation Practice
Japanese B	spring	30	Reading, Writing
Japanese C	fall	30	Reading
Japanese D	spring	30	Current Japanese
Japanese E	fall	30	Academic Writing
Japanese F	fall / spring	60	Academic Japanese Reading
Japanese G	fall / spring	60	Academic Japanese Reading
Japanese H	spring	30	Academic Writing
Japanese I	spring	30	Listening, Communication, Presentation Practice
Japanology A	spring	30	Japanese Culture and Society
Japanology B	spring	30	Japanese Science and Technology
Sports Science	fall / spring	30	Judo
Practical Study	fall / spring	60	Traditional Japanese instrumentals
Practical Study	fall / spring	60	Japanese Painting

(2) Selective Classes
Students must attend 2 classes at least from their majors' subjects in Faculty of Education and/or Faculty of Social and Information Studies.

(3) Visits
・August Excursion nearby Gunma which rans two days with overnight stay
・Day visit to museum in Tokyo, Chiba and within Gunma

(4) Exchange with citizens
・Lectures in school in Gunma in the class of "Japanese B", where students learn the method of effective presentation.
・Hosting program and international events by the Maebashi International Association.

⑧ Instruction System

(1) Coordinator: Prof. NODA, Takehito
(2) Supervisor: Students can be offered academic advice and individual guidance on the student's own research through seminar and lecture. Cooperated with related faculties, students organize a plan of their own research work.
In addition, teaching staff of the Faculty, Teaching staff of the Japanese language and Japanese Studies, and tutors cooperate the program and assist the students.



Traditional Japanese instrumentals

⑨ Requirement of Completing the Course

Certificate is issued after completing the 420 hours required classed, selected classes more than 60 hours, and then making excellent presentation and perfect record. Meeting of CIER totally judges the students' completion of the course.

⑩ Annual events

October	Opening ceremony, Orientation
	Coffee hours (Advising time)
	Tutor orientation
	Special health check for international students
December	Exchange party for international students
January	Japanese traditional music's concert
March	Japanese traditional Culture's Experience "Study of Japan" of tea ceremony, Calligraphy, Flower arrangement,
April	Health check
August	Presentation and closing ceremony of J Program
September	Excursion for International students
	Submission of the thesis

⑪ Credits

The students receive a academic certificate describing the subject's evaluation and credit when the Faculty approves their class attendance and examination's score meets the requirement. The students can submit the certificate to home institute for their credit transfer.

◇ Accommodation

The university might make reservation of a single room of International House of Gunma University, which locates in 4km far from the campus. But the rooms are often full of undergraduate and graduate students.

So a reasonable private rental apartment near campus will be provided same as other new exchange students. Single room costs 30,000 yen per month. Plus the students additionally consider the 10,000-20,000 yen for public charge such as electricity, gas, water, internet, and cell phone.

◇ Follow-up

We will make a database for the alumni of graduates. We will offer support for graduates who wish to continue their study and apply for a graduate school in Japan.



Practical experience of Sado (Tea ceremony)

◇ Inquiries

International Exchange Office, Gunma University
Address: 4-2 Aramaki-machi, Maebashi, Gunma, 371-8510, JAPAN
TEL: +81-(0)27-220-7637
FAX: +81-(0)27-220-7630
E-MAIL: g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp

Academic Coordinator:
Mr. NODA, Takehito, Associate Professor
Center for International Education and Research (CIER)
E-MAIL: nodat@gunma-u.ac.jp

Gunma Univ.'s website: http://www.gunma-u.ac.jp
Gunma Univ. CIER's website
http://www.cier.gunma-u.ac.jp/



埼玉大学 （埼玉県）

「多様な日本語・日本文化科目を提供します。」

■大学紹介

① 大学の特色および概要

埼玉大学は、東京圏に位置した総合大学としての使命を果たしている。本学は、旧制の浦和高等学校、埼玉師範学校ほかを母体として1949年に創設されてから60余年が経過し、教育・研究の場の整備を着実に進めており、地域の学術交流の拠点に成長しつつある。昨年度の留学生数は530人を超え、一段と国際交流が活発化している。

また、海外からの研究者の受入れや本学教員の国際的研究活動も増加している。本大学は５つの学部とさらに高度な教育・研究を推進するための３つの大学院研究科を設置しており、修士課程（博士前期課程）、博士課程（博士後期課程）が設置され、充実した大学院教育・研究が行える。特に大学院理工学研究科では国立研究開発法人理化学研究所と協力して博士後期課程を組織し、他大学に先駆けた新しい形の大学院教育を展開している。

日本語教育センターは埼玉大学の外国人留学生に教育・指導・助言を行うことを目的として、全学における国際的教育・研究交流の支援にあたっている。また、多様な文化背景をもつ留学生に日本語、日本文化を学習する機会を提供している。

教養学部は、人文と社会にわたる多様な専門分野を含み、それぞれの専門の研究を基盤としながら、同時に各分野を有機的に関連づける総合的研究並びに各分野間の境界領域を探求する学際的研究を特に重視しているのが特色である。専門性と総合・学際性の調和を図ることで、現代に相応しい教養、柔軟に思考力、総合的判断力を備えた人材を養成することが教養学部の基本方針である。

教育学部は、グローバルに物事を捉えながら、次世代の社会を生み出す教育を担う人材の育成をめざしている。学校教員及び生涯学習指導者として優れた教育実践を行うための専門的な教養・理論・技術を修得する。「教育による解決」これは一見遠回りのようであるが、最も確実な生産的方法である。教育に携わることは、日本が、また世界が直面している課題と向かい合うことでもある。

経済学部は、社会科学を複眼的思考で学べるよう、経済分析、国際ビジネスと社会発展、経営イノベーション、法と公共政策という４つのメジャーを設置し、またグローバル展開力を身につけるため英語による専門科目や「日本研究」も開設している。少人数教育を重視し、同時に社会人や留学生、高校生という多様なメンバーも参加する「開かれた場」としての学習環境を提供することで、既成の概念にとらわれず、自ら問題を発見、分析、解決することができる人材の育成を目指している。



② 国際交流の実績

2015年5月1日現在、69件の大学間学術交流協定と50件の部局間学術交流協定を締結している。

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数　527人、
　　日本語・日本文化研修留学生　５人
2014年：留学生数　532人、
　　日本語・日本文化研修留学生　６人
2013年：留学生数　539人、
　　日本語・日本文化研修留学生　６人

④ 地域の特色

埼玉県は、関東平野の中央に位置する内陸県で人口はおよそ723万人、東京に隣接し、電車で約１時間の位置にある。東日本の交通の要衝であり、首都機能の一翼を担う県として大きく躍進している。埼玉大学があるさいたま市は、東京から北方へ20km、人口123万人を擁する県都、江戸時代からの伝統を受け継ぐ、文教・文化都市として発展しており、また、住みやすい住宅都市とも言われる程交通機関がよく整備され、緑豊かな環境とあいまってスポーツの振興も盛んに行われている。



■コースの概要

① コースの特色

10月～３月(第１期)は日本語を中心に学び、４月～９月(第２期)は、日本語学習を継続しながら、学生の専門領域に当たる日本文化の知識を高め、日本と母国の架け橋になる国際人を育成するためのプログラムである。

② 受入定員

9名（大使館推薦6名、大学推薦3名）

③ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講希望する者は、次の１）及び２）を満たす者とする。

１）日本語能力を有する者

一般的な事柄について会話や読み書きができ、専攻する科目について日本語による授業科目を聞き取りながら、内容を理解する能力を有する者。
(財)日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験Ｎ２級以上に合格していることが望ましい。

２）日本語・日本文化に関する分野を専攻する者又は、他の専攻分野に在学しつつ日本語・日本文化等に関する分野を学習している者。

④ 達成目標

１）日本語と日本文化に関する技能や教養、自らの専門分野の知識を高めながら、日本語で情報収集ができ、日本語による高度な口頭発表や文章作成が行えるようになること。

２）将来、母国における日本関係のエキスパートになるための基盤を養うこと。

３）首都圏にある都市「さいたま」の文化や特色を学ぶこと。

⑤ 研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は9月を予定（2015年は9月）

⑥ 研修科目の概要

- 学生自身の日本語能力や研究領域、関心等に合わせた内容の科目が受講できる。
- 埼玉大学の各学部、日本語教育センター、教育機構等で開講している科目の内、各学期7コマ以上、年間14コマ以上を自由に履修できる。
- 学生の専門領域に当たる各学部専任教員が、指導教員として指導を行う。

1) 必須科目

学生の日本語能力や興味等に合わせて科目を履修するので、必須科目は設けない。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

年に１回、日本語・日本文化研修留学生のために日本文化を学ぶ見学会等を実施する。これまでの実施例として、岩槻での人形作り体験、沖縄伝統芸能鑑賞会、日本映画鑑賞会等がある。

3) その他の講義、選択科目等

埼玉大学日本語・日本文化研修留学生の多くが受講している科目等を以下に例示する。

a 受講できる受講科目

ⅰ）日本語科目

・集中日本語コース
（初級Ａクラス～上級Ｅクラス）
・学部「日本語」科目
（読解・作文・聴解・文章作成）

ⅱ）基盤科目として開設される
人文・社会系科目
（例）・日本史・日本語学・日本文学
・文化と教育・経済学入門

ⅲ）教養学部、教育学部、経済学部、日本語教育センターにて開設される日本語・日本文化等に関する授業科目

上記ⅰ、ⅱ、ⅲの中から各学期7コマ以上、年間14コマ以上受講する。

b 時間数

１科目は15コマ30時間
※１コマ90分で２時間

c 指導の概要

日本語・日本文化研修留学生は、プレースメントテストを受験し、その結果に基づいて指導を受ける。また、指導教員の助言により、埼玉大学に開設された科目を履修する。

⑦　年間行事

１）　埼玉大学祭「むつめ祭」　（１１月）

２）　日本文化に関する見学会　（２月頃）

３）　埼玉大学附属中学校等で留学生講師として自国文化を紹介（５月頃）

４）　ホストファミリー制度
（ホームステイ・ホームビジット）
（時期は年度によって異なる）

５）　全学留学生会（ISSSU）に加入した学生は各種イベントに参加できる。





⑧　指導体制

１）責任教員：所属学部指導教員

２）協力教員：留学生担当教員、日本語教育センター教員、開設科目担当教員

３）担当事務：所属学部事務室・国際室

⑨　コースの修了要件

受講した科目については、出席数・試験等規定を満たした場合単位を与える。

上記⑥３）ａ 受講できる授業科目 ｉ）、ii）、iii）の中から１４科目以上の修得を修了要件とし、修了者には修了証書を交付する。

■宿　舎

埼玉大学国際交流会館には、単身室98室、夫婦室55室、家族室19室が用意されており、約170名を収容できる。

日本語・日本文化研修留学生は優先的に入居することができる。

（参考）埼玉大学国際交流会館使用料
（2015年4月1日現在）

単身室　使用料月額：5,900円、
共用経費月額：6,440円、
管理費月額：1,500円、
保証金：12,000円×5か月、
退去時清掃費：25,000～30,000円
寝具レンタル月額：3,600円





■修了生へのフォローアップ

埼玉大学では、2010年から卒業生の同窓会組織が立ち上がった。

日本語・日本文化研修留学生プログラム修了生についても帰国後のフォローアップを整備していく。

また、facebookを活用した情報提供も行っている。

■問合せ先

（担当部署）

埼玉大学国際室

住所　〒338-8570
埼玉県さいたま市桜区下大久保２５５

TEL:＋８１－４８－８５８－９０６１(直通)
FAX:＋８１－４８－８５８－９６７５
E-mail: ryugaku@gr.saitama-u.ac.jp

埼玉大学ホームページ
http://www.saitama-u.ac.jp



Saitama University (Saitama Prefecture)

“We offer a wide variety of subjects to choose from.”

■University Overview

·1. Summary

Located in the Tokyo metropolitan area, Saitama University fulfills its mission as a medium-sized national university. The current academic term marks the 65th year since the university’s founding in 1949 as a mother school for Urawa High School, Saitama Teachers College and other affiliated institutions under Japan’s former educational system. The university is steadily expanding its facilities for education and research, as it continues to grow at the heart of the scientific exchange in the region. As host to over 530 international students during the prior fiscal year, the university also helps further stimulate international exchange. The number of researchers from other countries, as well as participation by the university’s instructors in international research activities are also increasing. In addition to five faculties, Saitama University has established three master’s programs to further promote advanced education and research, including master’s programs and courses leading to a Ph.D., where candidates for advanced degrees can engage in advanced graduate school education and research. The university has also organized a post-doctorate program, through cooperation between the Graduate School of Science and Engineering and RIKEN, a National Research and Development Institute, and is leading the way for other universities in developing new forms of graduate school education.

The Center for Japanese Language Education provides support to education, guidance and advice for international students and also gives opportunities with diverse cultural backgrounds to study Japanese, Japanese culture and heighten their understanding of Japan.

The Faculty of Liberal Arts, which includes diverse specialized fields in the humanities and social sciences, is characterized by an emphasis on interdisciplinary studies that probe and expand the boundaries between various fields of knowledge while simultaneously encouraging integrated research that is organically related to each field and providing the foundations for research in each respective field. The fundamental policy of the Faculty of Liberal Arts is to educate individuals who will be prepared with the education, flexible thinking and integrated decision-making capabilities suited to today’s world, by balancing special expertise with a comprehensive, interdisciplinary outlook.

The Faculty of Education aims at fostering the individuals who will be responsible for the education leading to the next-generation society while being able to understand global developments. Students can learn the specialized education, theory and techniques needed to utilize superior educational practices as school educators and life-long learning instructors.
Although “solving problems through education” may seem to be a roundabout method, it is the most certain, productive approach. Being involved in education is also one way to address the myriad issues confronting Japan and the world.



The Faculty of Economics offers 4 major courses (Economic Analysis, Global Business and Social Development, Business Innovation, and Law and Public Policy), each of which teaches some core subjects in English, as well as a study focus of ’Japanese Studies’ within Social Science.

Our degrees are designed to equip students with the skills to identify, analyse and solve problems, in a unique learning environment with student diversity and low student-to-teacher ratio.

2. International exchange program

Saitama University has international exchange agreements with 69 universities and 50 departments.

3. Number of International students and Japanese Language and Culture Studies students accepted for the past 3 fiscal years

2015: International students: 527
Japanese Language and Culture Studies: 5
2014: International students: 532
Japanese Language and Culture Studies: 6
2013: International students: 539
Japanese Language and Culture Studies: 6



・ 4. Characteristics of Saitama Prefecture and Saitama City

With a population of about 7.23 million, Saitama Prefecture is an inland prefecture located at the center of the Kanto Plain bordering Tokyo, which can be reached in one hour by Train. As a strategic transportation hub of eastern Japan, Saitama has experienced expansive progress as a prefecture supplying many of the key functions for Japan's capital.

The prefecture capital is Saitama City, located 20km north of Tokyo. With a population of about 1.23 million, Saitama has developed as a city of education and culture of inheriting the tradition from the Edo era and is frequently noted as an urban residential center offering convenient, comfortable living, with a well maintained transportation system, a lush green environment and active promotion of sports activities.

■ Outline of the Course

1. Characteristics of the Course

This course seeks to study mostly Japanese language between October and March as the first semester. And the students continue to study Japanese between April and September as the second semester, and expand knowledge of Japanese culture which is their specialized field. The course emphasizes fostering advanced specialists such as internationally-minded people who become a bridge between Japan and their home countries.

2. Number of students to be accepted: 9
(Embassy recommendation 6,
University recommendation 3)

3. Applicant qualifications and conditions

Applicants who wish to attend courses must fulfill the following requirements (1) and (2).

(1)Japanese language proficiency

Applicants must be able to discuss, read and write about general topics, and must be able to comprehend the content of the courses in which they will major while listening to class subject material in Japanese.

Applicants preferably will have passed at least the N2 level of Japanese Language Proficiency Test conducted by the Japan Educational Exchanges and Services.

(2) Individuals who will major in Japanese Studies, or individuals who will study in fields related to Japanese Studies while pursuing a major in another field.

4. Course aims

Students expand their specialized knowledge and skills related to Japanese language and culture. Moreover, they will be able to gather information in Japanese and get more advanced writing and presentation skills in Japanese.

Students seek to lay a strong foundation as a Japan-related expert in their home countries in the future.

Students learn a local character and culture of the town of SAITAMA.

5. Course term

-Fall Semester: October 2016 to March 2017-

-Spring Semester: April 2017 to September 2017-

We issue diplomas on September 2017.

6. Outline of Course subjects

(1) Students are able to take subjects which match their Japanese language skills, specialized fields and interests.
(2) Students are to take more than 7 subjects in a semester and 14 subjects in a year offered by each faculties, Japanese Education Center, Education and Student Services Bureau.
(3) A supervisor who belongs to a faculty related to student's specialized field or academic interests will give advice for your registration and course selections.

○ Required subjects

There are no particular required subjects because students can freely take subjects that match their Japanese level and interests.

○ The subjects containing educational field trips in the region

Students are given an opportunity of a field trip to study Japanese culture for Japanese language and culture studies program students once a year. For instance, making a Japanese doll in Iwatsuki, Okinawa traditional arts viewing, Japanese movie viewing etc.

○ Another subjects

The followings are the subjects which most Japanese Language and Culture Studies Students take as an example.

a) Course subjects students can attend

① Intensive Japanese Course

Japanese Education Center provides comprehensive courses on the Japanese language. Level of your proficiency will be determined based on the result of the placement test which you take during the orientation period.

② Humanities, and Social Science Subjects as General Education

(Examples) Japanese History; Japanese Language; Japanese Literature; Culture and Education; Introduction to Modern Economics

③ Subjects related to Japanese/Japanese culture offered by the Faculty of Liberal Arts, Faculty of Education, Faculty of Economics and Center for Japanese Language Education

Students must attend at least 12 subjects mainly from the courses in ①, ② and ③.

b) Total course hours

1 subject is composed of 15 classes during each semester.
※ Each class 90 minutes, two consecutive class.

c) Guidance

Japanese Language and Culture Studies Students will be required to take a placement test administered by the university, and be advised based on that results.

The students will complete courses offered at Saitama University under the guidance of their supervisors.

7. The annual events

·Saitama University Festival "Mutsume sai" in November

·Field trip related to Japanese culture in February

·Student introduces their home country and culture as a lecturer at Saitama university junior high school

·Home stay and Home visit
(the time depends on the academic year)

·Student can attend any exchange events offered by International Student Society of Saitama University (ISSSU) after enrollment.

.

8. Faculty advisor system and concerned professors

·Responsible professor: Supervisor

·Cooperating professors: Professors in charge of international students in the faculties, professors in the Japanese Education Center, and professors in charge of subjects offered.

·Administration: Office of each Faculty and the Office of International Affairs.

.

9. Course completion requirements, issue of Certificate of Completion and course credits

・ Saitama University will award course credits for subjects attended when students have satisfied all course requirements, including number of classes attended and examination results.

・ The university will also confer a Certificate of Completion to students who complete 14 or more subjects.

■ Accommodations

Saitama University's International House includes 98 rooms for single students, 55 rooms for married couples and 19 rooms for families, and can accommodate about 170 individuals.

Japanese Studies Students are given priority to live at International House.

■ A follow-up to the students who completed the program

The Alumni association of Saitama University was organized in 2010.

The university will adjust a follow-up as well as Japanese Language and Culture Studies Program students who completed and returned their home countries.

Inquiries

Office: Office of International Affairs
Saitama University
Address: 255 Shimo-Okubo, Sakura-ku,
Saitama City, Saitama
338-8570, Japan
Tel: +81-48-858-9061 (Direct)
Fax: +81-48-858-9675
E-mail: ryugaku@gr.saitama-u.ac.jp
University URL: http://www.saitama-u.ac.jp



千葉大学（千葉県）

日本人学生との協働学習、地域における実践的な体験、修了レポートの作成を通して、日本語、日本文化、日本社会に対する多様な見方・考え方を身につけることを目指しています。

■大学紹介

①千葉大学の特色と概要

1) 1949年に発足した総合大学で、規模、内容とも国立大学法人の上位にあります。文学、教育、法政経、理学、医学、薬学、看護、工学、園芸の9学部に加え、2016年4月には国立大学としては初めての国際教養学部が開設されます。また、大学院として人文社会科学、教育学、理学、工学、融合科学、園芸学、看護学の各研究科および医学薬学府、専門法務研究科が置かれています。

・学部学生定員：9,871名
・大学院学生定員：2,893名
・教授,准教授,講師,助教,助手：1,322名

2) 2014年に日本社会のグローバル化を牽引する「スーパーグローバル大学」に選ばれ、文部科学省の重点支援を受けています。留学生の受入れや派遣を積極的に行っており、2015年11月現在800名以上の留学生が学んでいます。留学生の日本での生活をサポートするインターナショナル・サポートデスクも設置されています。
http://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/index.html

3) 幅広い視野、批判的思考力、豊かな人間性を養うことを目指して行われる教養教育が充実しており、アクティブラーニング、協働学習を取り入れた授業が多数開講されています。

②国際交流の実績

千葉大学は34カ国133校と大学間交流協定を結び、活発に交流を行っています。2015年11月現在、協定校からの留学生が100名以上在籍しています。

③過去3年間に受入れた留学生数及び日本語・日本文化研修留学生数　※（　）内は、大使館推薦日研生の人数

	留学生数	日本語･日本文化研修留学生
2015年	855人	9人(6人)
2014年	856人	10人(7人)
2013年	922人	8人(6人)

④千葉県・千葉市の特色

日本語・日本文化研修留学生が学ぶ西千葉キャンパス（千葉市）は、東京から電車で約１時間、成田国際空港から車で約45分のところにあります。人口約96万人を有する千葉市は、気候が温暖で物価も比較的安く、生活しやすいところです。また、千葉県は水と緑の豊かな自然に恵まれています。地域の環境については千葉県のホームページも参照してください。http://www.pref.chiba.lg.jp/

■コースの概要

①コースの特色

1) プログラムの位置づけ

日本語・日本文化を専攻し、将来にわたって日本研究を続ける意思のある学部留学生のためのプログラムです。アカデミックな日本語能力を養いながら、日本に関する専門的な知識を習得し、研究能力を高めることを目的としています。

また、実地見学や日本人との交流を通して日本理解を深めることにも力を入れています。

2) 日本語学習

各自の日本語能力のレベルに応じた日本語コースに参加し、総合的に日本語能力の向上を図ることができます。

3) 日本文化・日本社会に関する学習

日本事情や日本語に関する様々な授業が履修できます。ほとんどが日本人学生との共同授業のため、異なる視点や認識が交わる中で理解を深めることができます。授業の中には、フィールドワークやインターンシップの活動が組み込まれたものもあります。

また、こうした学習と並行して、各自のテーマについて約10カ月かけて調査・研究を行う修了レポートが全員に課されます。

②受入れ定員

大使館推薦７名、大学推薦３名

③受講希望者の資格、条件など

1)　資格

大学において最低2年間の日本語教育を受けており、日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学していること。

2)　条件

日本語能力試験N2合格程度以上の日本語力があり、以下のような運用能力を有することが条件です。

・日本語で行われる留学生向けの基礎的な講義や演習を理解することができる。
・自分が興味のある一般的な話題で会話を続けることができる。
・漢字1000字以上を習得し、一般的な日本語の文章を、辞書を使いながら読むことができる。
・一般的な話題で1000字程度の説明文、意見文を書くことができる。

日本に関係する特定の分野について研究上の関心を持ち、帰国後も研究を継続する意思のある学生、日本に留学した経験のない学生を積極的に受入れます。

④　達成目標
　授業と実地体験を通して日本語、日本文化に対する多様なものの見方・考え方を身に付けること、基礎的な学術日本語の運用力を習得することが目標です。

⑤　研修期間
　2016年10月1日～2017年8月31日（11ヶ月）
・秋学期：2016年10月1日～2017年2月中旬
・春学期：2017年4月上旬～2017年8月上旬
（千葉大学はターム制を取っており、学年暦は4月から始まるため、秋学期は第3ターム＋第4ターム、春学期は第1ターム＋第2タームとなります）

⑥　研修科目の概要
　下記の研修科目を中心に、18単位以上履修しなければなりません。各タームは8週間の授業があります。 科目名の後の〔 〕内の数字は、授業時間数です。

1)　必須科目
特別研究（文系）A・B〔各30〕：各自の研究テーマで修了レポート（6000字以上）を作成していくための授業で、演習形式で行われます。4名の授業担当教員から指導を受けることができます。7月にはレポートの公開発表会を開催し、その成果はレポート集として刊行します。

これまでのレポートのテーマの一例
・お笑いのツボ：日本のお笑い芸人が使う、人を笑わせるテクニック
・現代のメディアにおける織田信長のイメージ
・現代日本語の謝罪表現の使い分けについて
・J-POPの作詞方法：表記のバリエーションとその効果

2)　見学、地域交流等の参加型科目
特別研究（文系） C・D〔各30〕：日本の歴史や民俗文化が表象されている博物館を、海外から訪問した人たちがどのような見方や考え方で観賞するとよいかについて考察する。その考察に基づいて展示案内（ワークシート）を企画し、それを母語で作成する。

言語文化交流演習〔30〕：千葉大学で開講される外国語の授業に母語話者として参加する。自分の言語、文化への理解を深めることができる。

3)　その他の講義、選択科目等
　以下の1)日本語科目、2)日本を学ぶ（人文科学系）、3)日本を学ぶ（社会科学系）を中心に、各自の日本語能力や専攻に合わせて履修科目を選択します。

(1)日本語科目
　中級以上の４つのレベルのいずれかに入り、各学期３科目以上受講します。通常、2学期目には一つ上のレベルに進みます。

日本語 500 中級	総合〔90〕・口頭表現1〔30〕・口頭表現2〔30〕・文章表現〔30〕・文法〔30〕・漢字〔30〕
日本語 600 中級後半	読解1〔30〕・読解2〔30〕・口頭表現1〔30〕・口頭表現2〔30〕・文章表現〔30〕・文法〔30〕・漢字〔30〕
日本語 700 上級前半	読解〔30〕・口頭表現〔30〕・文法詳解〔30〕・発表資料作成〔30〕・漢字〔30〕
	読解〔30〕・聴解〔30〕・口頭表現〔30〕・レポートの書き方〔30〕・文法詳解〔30〕・漢字〔30〕
日本語 800 上級	読解〔30〕・口頭表現〔30〕・レポートの書き方〔30〕・文法詳解〔30〕
	口頭表現1〔30〕・口頭表現2〔30〕・レポートの書き方〔30〕・発表資料作成〔30〕

※日本語500、600は各学期同じクラスが開講されます。日本語700、800は上段が１学期目、下段が２学期目のクラスです。



(2)日本を学ぶ（人文科学系）
日本人の精神・伝統文化A・B（＝日本事情1）
〔各15〕：日本の文化・社会・宗教などを題材にした講義。その題材に基づく、教員、学生とのディスカッションも行う。

現代日本人の生活様式A・B （ ＝日本事情2）
〔各15〕：日本社会において見かける（あるいは経験する）であろう社会生活上の慣習を概説し、日本人の精神的な部分を考えるきっかけをつかむ。

戦後日本の食生活A・B・C・D（ ＝日本事情5・6）〔各15〕：戦後登場した食材あるいは料理を題材に、日本の食文化を概説する。身近な食から日本における文化的・社会的背景を考察する。

日本イメージの交錯A・B（ ＝日本事情9）
〔30〕：留学生と日本人学生が、「日本」をめぐるイメージについて様々な素材・角度によって議論を行う中で、物事を相対的に考える視座を身につける。また、日本人のもつ外国へのイメージなどの検討も加味する。

日本アジア文化交流史A・B（＝日本事情10）
〔30〕：日本とアジア諸地域との文化交流を歴史的に振り返る中で、その意義・役割を検討し、今後の関係性を模索するための素材とする。

日本語の文法〔30〕：日本語の品詞における語形変化や文法的カテゴリーについて学習し、受講生の様々な疑問に答える。

日本語の諸相〔30〕：日本語を、空間的な広がり、時間的な奥行きなどから多角的に認識し、さらには近隣諸言語との関わりを考察する。

(3) 日本を学ぶ（社会科学系）
時事から日本を考えるA・B・C・D（ ＝日本事情７ ・ 8） 〔各15〕：新聞や週刊誌などに載った記事を取り上げ、記事の内容が日常生活にどう関わっているかを講義する。その後、その題材をもとに日本人学生と留学生が混ざったグループで、自由に意見交換を行う。

※以下の学部専門科目は、日本語・日本文化研修留学生を積極的に受け入れています。*を付した一般学生用の科目以外は、留学生向けまたは留学生に配慮した日本人学生との合同授業です。
※これ以外の千葉大学で開講されている一般学生向けの授業も、担当教員の許可が得られれば受講することができます。

文学部専門科目
日本研究入門C〔30〕、多言語多文化接触論演習a・b*〔各30〕

教育学部専門科目
国際理解教育演習Ⅰ・Ⅱ〔各30〕、日本の教育事情Ⅰ・Ⅱ〔各30〕、教育記事を読むⅠ・Ⅱ〔各30〕、異文化とコミュニケーション〔30〕

工学部専門科目
日本建築史*〔30〕

(2)、(3)の科目はウェブページで詳しい情報を見ることができます。
http://www.chiba-u.ac.jp/student/syllabus/

⑦　年間行事

10月	ウェルカム・パーティー
11月～1月	日本文化紹介プログラム：浴衣を着る、婚礼衣装の紹介、折り紙、茶道体験、書道体験
11月	見学旅行［房総のむら・佐原・成田山］
12月	文楽鑑賞教室
	ホーム・ビジット
1月	ホーム・ステイ（１泊２日）
6月	歌舞伎鑑賞教室
8月	修了式





※このほかにも、大学主催の「ユニバーサル・フェスティバル」（留学生による文化紹介の催し）や、小学校などで行われる国際交流活動に参加して、自分の言語や文化を紹介する機会があります。
※サークル活動や大学内で行われる留学生のための行事にも参加することもできます。

⑧　指導体制
国際教養学部に所属する以下の教員がガイダンスや個別指導を通して学業面、生活面のサポートを行います。
吉野　文　（専門：日本語教育学、 応用言語学）
西住　奏子　（専門：日本語教育、 語用論）

研究テーマがあり、専門指導を受けたい場合には、その分野の教員を紹介するなど、できる限り配慮します。

⑨　コースの修了要件、修了証書の発行
研修科目の概要に掲げた授業科目を中心に18単位以上履修し、修了レポートを提出して合格と認められた者に修了証書を授与します。学習時間は概ね480時間以上になります。
受講科目を登録し、一定の成績を修めた科目については、単位修得証明書を発行します。参加者への送付は、2017年10月中旬になります。

■宿　舎

千葉大学国際交流会館（単身用）に優先的に入居できます。過去3年間日研生は全員が入居しています。寄宿料・共益費（インターネット接続料金込）は月額19,000円（光熱水料等は除く）です。このほかに、入館の際に15,000円必要です。国際交流会館のある稲毛から西千葉キャンパスまでは電車（一駅）です。徒歩または自転車でも通学できます。

■修了生へのフォローアップ

日本語・日本文化研修留学生プログラムの修了者に対しては、個別に進路相談などに対応しています。
修了生の中には国の大学を卒業後、日本の大学院に進学する人が少なくありません。日系企業で翻訳・通訳に従事したり、以下の例のように国の大学で日本語を教えたりして活躍している修了生もいます。
◇ 2009年度研修生（ロシア）
国の大学を卒業後、ロシア国立研究大学高等経済学院の東洋学科で日本語を教えています。中世文学の研究を続けるかたわら、国際協定の責任者としても活躍しています。

■問い合わせ先

担当部署　千葉大学学務部留学生課
住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
Tel： +81-43-290-2193
Fax： +81-43-290-2198
E-mail: mext-scholarship@chiba-u.jp
https://www.facebook.com/cu.ryuugakuseika
千葉大学ホームページ
http://www.chiba-u.ac.jp/
千葉大学国際教育センターホームページ
http://www.international.chiba-u.ac.jp/
http://cire-chiba-u.jp/index-e.html
コース内容に関する照会先
吉野　文　国際教養学部准教授
E-mail: ayoshino@faculty.chiba-u.jp



Chiba University

Japanese Studies Program aims to broaden your view of Japan through studying with Japanese students and visiting local museums and schools as well as other forms of cultural exchange, and to acquire basic research skills through work towards your final essay.

■University introduction

1. Outline and characteristics of Chiba University

Chiba University, one of the largest and most vibrant national universities in Japan, was founded in 1949.

At present, Chiba University comprises nine faculties and schools (the Faculties of Letters, Education, Law, Politics and Economics, Science, Engineering, Pharmaceutical Science, and Horticulture, and the Schools of Medicine and Nursing), eight graduate schools (Humanities and Social Sciences, Education, Science, Engineering, Advanced Integration Science, Horticulture, Nursing, Medical and Pharmaceutical Sciences) and a Law school.

There are 9,871 students in the undergraduate program, 2,893 students in Master and Doctoral Programs, and 1,322 faculty members.

Chiba University has been chosen to participate in the *Top Global University project*, and will receive extra funding to promote the globalization of academic education in Japan.

Preparations are under way to establish a new College of Liberal Arts and Sciences, the first of its kind at a national university in Japan. The new college is scheduled to open in April, 2016.

Liberal Arts education at Chiba University aims at broadening perspectives, developing critical thinking ability and enriching student personality. A wide range of academic subjects which incorporate active and collaborative learning are offered in order to achieve this goal.

International Support Desk takes care of more than 800 international students studying at Chiba University, and helps them adapt to life in Japan on and outside the university campus. Further details can be found on the following website:
http://www.chibau.ac.jp/international/isd/english/index.html

2. International student exchange

Chiba University has university level student exchange agreements with 133 universities in 33 countries and host over 100 students from our partner institutions abroad (as of November, 2015).

3. Number of international students

	International Students	Students in the Japanese Studies Program
2015	855	9 (6)*
2014	856	10 (7)*
2013	922	8 (6)*

*The number of embassy-recommended students is shown in parentheses.

4. Characteristics of the area

Classes in the Japanese Studies Program are offered on the main campus at Nishi Chiba in Chiba City, and can be reached by train in less than an hour from either Narita International Airport or Tokyo. The campus very green with many trees including beautiful cherry blossoms in early spring.

Chiba City with its population of about 960,000 is the largest city and the capital of Chiba Prefecture and lies on Tokyo Bay. Its closeness to the ocean results in a mild climate throughout the year. Further details on Chiba Prefecture and its environment can be found on the following website:
http://www.pref.chiba.lg.jp/english/index.html.

■ Course summary

1. Features of the course

(1) Aims

To attain a high level of competence in Japanese, particularly for academic purposes; to acquire specialized knowledge about Japan; to master basic research skills in order to pursue future studies; and to deepen understanding of Japan through field trips and activities with Japanese students and the local community.

(2) Japanese language courses

An array of Japanese language courses commensurate with the student's level of proficiency are offered.

(3) Japanese culture and society courses

A variety of classes in Japanese culture and society designed to promote interaction between Japanese and international students and creating a unique international study environment are offered. Some of the courses provide an opportunity of fieldwork and internship

While studying Japanese students also pursue their research projects in their specialized fields. They are required to submit an essay in Japanese language at the end of spring semester.

2. Number of students to be accepted

7 students by embassy recommendation,
3 students under the interuniversity exchange agreement(s)

3. Qualifications and requirements

At the time of application and arrival in Japan, applicants must be enrolled as undergraduate students in faculties or schools which offer majors in Japanese language or Japanese culture.

At least two years of study of the Japanese at their home institutions is essential as a prerequisite: applicants should have language proficiency equivalent

to at least N2 of the Japanese Language Proficiency Test and must:
– understand basic lectures and seminars in Japanese which are designed for international students,
– be able to speak on general topics of their interest,
know approximately 1000 kanji
– be able to read texts of general interest with dictionaries,
– be able to write a short composition (explanatory text or opinion on general topics) of about 1000 characters.

Note: Priority will be given to students whose academic interest is in the field of Japanese Studies, who have the intention to continue their research after returning to their home country, and who have not studied in Japan before.

4. Achievement

The expected achievement is to learn and understand Japanese language and culture from various perspectives and to gain the practical use of basic academic Japanese.

5. Course Period

From October 1, 2016 to August 31, 2017
・Fall semester: October 1, 2016 to mid-February, 2017
・Spring semester: early April 2016 – early August, 2016
(Chiba University has introduced a term system. Because the academic year begins in April, the Fall Semester corresponds to Term 3 and Term 4, and the Spring Semester corresponds to Term 1 and Term 2.)

6. Overview of courses

Students should select from the courses listed below and accumulate more than eighteen credits. Each term has 8 teaching weeks. Numbers in square brackets [ ] show the total number of tuition hours per course.

(1) Compulsory subjects

Research Work (Humanities) A/B [30/30]

Students are required to write a research paper (at least 6,000 characters) as their final report. Four teachers with different areas of expertise will be available to give academic instruction and advice in order to complete this task. In July there is a session at which students present their research papers, which are later collected and published.

Examples of previous research paper topics:
•Sense of humor: Japanese comedian's techniques which make people laugh
•Image of *Oda Nobunaga* in the modern media
•Usage of an expression of apologizing in modern Japanese
•How J-pop lyrics are written: orthographical variation and its effect

(2) Participatory subjects

Research work (Humanities) C/D [30/30]

This course will focus on how to gain the most when visiting Japanese history and folklore museums. In their coursework students will design a museum exhibition guide in the Japanese Language, which they will later translate into their own languages.

Language and culture exchange [30]

Students will participate in foreign language courses provided by Chiba University as native speakers. This course aims to deepen their understanding and awareness of their own language, culture and language education.

(3) Elective and other subjects

Students should select courses from categories 1) to 3) listed below on the basis of their major field of study and Japanese language proficiency level.

1) Japanese courses

Students in the Japanese Studies Program will be assigned to one of the following levels (intermediate and above). They need to take more than three courses in each term at the level commensurate with their Japanese proficiency, and will normally be expected to proceed to the next level in the second semester of their study.

Japanese 500 Intermediate	Integrated Course [90] , Oral Expression 1 [30] , Oral Expression 2 [30] , Grammar [30], Composition [30], Kanji [30]
Japanese 600 Upper Intermediate	Reading Comprehension 1 [30] , Reading Comprehension 2 [30], Oral Expression 1 [30], Oral Expression 2 [30], Grammar [30], Composition [30], Kanji [30]
Japanese 700 Pre-Advanced	Reading Comprehension [30], Oral Expression [30], Preparing presentation handouts [30], Grammar [30], Kanji [30]
	Reading Comprehension [30], Listening Comprehension [30], Oral Expression [30], Grammar [30], Report Writing [30], Kanji [30]
Japanese 800 Advanced	Reading Comprehension [30], Oral Expression [30], Report Writing [30], Grammar [30]
	Oral Expression 1 [30], Oral Expression 2 [30], Report Writing [30], Preparing presentation handouts [30]

*Courses in the upper rows of Japanese 700 and 800 are provided in the fall semester and courses in the lower columns in the spring semester.

2) Japanese Studies: Humanities

Japanese Traditional Culture: The Spirit of Japan A/B [15 each]

The focus is on Japanese culture, society and religion, with frequent discussions.

Contemporary Japanese Lifestyles A/B [15 each]

The focus is on customs observed in Japanese society, which will serve as a basis for understanding the psychology of the Japanese people.

Postwar Japanese Diet A/B/C/D [15 each]

The food culture of Japan will be surveyed with the focus on foods and cuisines that have appeared in the post-war era, and the cultural and social background behind everyday foods will be investigated.

Images of Japan A/B [15 each]

Images of Japan held by both Japanese and international students will be discussed based on a variety of subjects and points of view in order to achieve a more objective perspective. Images that the Japanese have of other countries will also be considered in order to broaden the perspective and deepen cross-cultural understanding.

History of Cultural Relations between Japan and Asia A/B [15 each]

The relationship between Japan and Asian countries and with their historical background and their future implications for cultural links and exchange will be discussed.

Japanese Grammar [30]

The focus of the course is on grammatical categories and word inflection in Japanese.

The Japanese Language in Its Diversity [30]

The Japanese language will be viewed from different angles in its geographical diversity, historical background and its relationship to the neighboring Asian languages.

3) Japanese Studies: Social Sciences

Japan Seen through Current Events A/B/C/D [15 each]

Every week an article from a newspaper or weekly magazine and its relevance to daily life will be discussed.

※The following specialized courses at the Faculties of Letters, education and Engineering have been specially designed with international students in mind. The courses marked with * are primarily intended for regular degree students, but welcome international students, too.

※Students can also attend classes offered under regular curricula subject with the relevant teacher's approval.

・Faculty of Letters:
Introduction to Japan Studies c [30], Multilingual-Multicultural Contacts Seminar a/b * [30 each]

・ Faculty of Education:
Seminar on International Education I/II [30/30], Education Affairs in Japan I/II [30/30], Reading Articles on Education I/II [30/30], Cross-cultural Communication [30]

・ Faculty of Engineering:
History of Japanese Architecture * [30]

Details of the courses in 2) and 3) may be found at the following web page:
http://www.chiba-u.ac.jp/student/syllabus/

7. Year in Japan

Oct. Welcome Party
Nov. – Jan.
Programs of Introduction to Japanese Culture (wearing a *yukata*, explanation of wedding costume, *origami*, tea ceremony, calligraphy)
Nov. Field trip (*Bôsô* village, *Sawara* and *Naritasan*)
Dec. Home visits
Jan. Home stay (overnight)
Jun. *Kabuki* demonstration and performance
Aug. Completion Ceremony



International students will also be given an opportunity introduce their own countries and cultures at the Chiba University Universal Festival, and to meet Japanese children at elementary schools to learn about each other's culture. They are also welcome to participate in a variety of circle/club activities and a number of on-campus events designed for international students.

8. Academic and Personal Advice

The following teachers at the College of Liberal Arts and Sciences are program coordinators and will provide both academic and personal advice. They will also conduct guidance and homeroom regularly.
Aya YOSHINO (Japanese language education, Applied linguistics)
Kanako NISHIZUMI (Japanese language education, Pragmatics) .
Should international students already have their specific research topics, we will do our best to find academic supervisors for them.

9. Certificate of Completion

Chiba University issues Certificates of Completion to those who successfully complete their courses accumulating at least eighteen credits and write a final research essay. Total tuition time exceeds 480 contact hours on the average. Students will be given a certificate showing their acquisition of credits for classes in which they have enrolled, subject to their satisfactory performance. Certificates of Completion will be mailed to the students in mid-October 2017.



■ Accommodation

Single rooms at Chiba University International House will be provided for the students in this course. The dormitory fee is ¥19,000 per month, inclusive of common expenses and the Internet access fees, but excluding electricity, heating, water and sewage charges. Additionally, a one-time payment of ¥15,000 is required when moving in. The International House is located in Inage, one train station from the Nishi Chiba campus, or a short distance on foot or by bicycle.

■Follow-up after completion of the course

We provide individual counseling regarding future educational and career choices to students who have completed this course. Many course participants continue their study and research at graduate school, teach Japanese at universities or work as translators or interpreters in Japanese companies in or outside Japan, as in the following example:

Ms. A from the Japanese Studies Program 2009 (Russia)

After graduating from university in Russia, she now teaches Japanese at the department of East Asian Studies at National Research University 'Higher School of Economics'. She continues her research on medieval literature and is in charge of negotiating agreements with overseas universities.

■ Chiba University address

Office:
International Student Division, Department of Student Affairs , Chiba University
Address: 1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba 263-8522 Japan
Tel: 81-43-290-2193 Fax: 81-43-290-2198
E-mail: mext-scholarship@chiba-u.jp
https://www.facebook.com/cu.ryuugakuseika
Chiba University: http://www.chiba-u.ac.jp/
Center for International Research and Education:
http://www.international.chiba-u.ac.jp/
http://cire-chiba-u.jp/index-e.html
You may contact the following contact person about the contents of the course.
Aya YOSHINO, Associate Professor, College of Liberal Arts and Sciences: ayoshino@faculty.chiba-u.jp





横浜国立大学（神奈川県）YNU

緑と国際性豊かなキャンパスで日本語と日本学を学ぶ

■大学紹介

①　大学の特色および概要

横浜国立大学（YNU）は、横浜師範学校(1876年設置）、神奈川県立実業補習学校教員養成所（1920年設置）、横浜高等商業学校（1923年設置）及び横浜高等工業学校（1920年設置）を前身として1949年に誕生しました。

YNUは、現実の社会との関わりを重視する「実践性」、新しい試みを意欲的に推進する「先進性」、社会全体に大きく門戸を開く「開放性」、海外との交流を促進する「国際性」を、建学からの歴史の中で培われた精神として掲げ、21世紀における世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねています。





学部(4)：教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部

大学院(5)：教育学研究科、国際社会科学府、工学府、環境情報学府、都市イノベーション学府

学生数（2015年5月1日現在）：学部生7,433名、大学院生2,447名

常勤教職員数（2015年5月1日現在）：教員600名、職員296名

②　国際交流の実績

交流協定締結校数(2015年5月1日現在)：40カ国・地域115大学

③　過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績(2015年5月1日現在)

2015年：留学生数 830 名、日本語・日本文化研修留学生 ＊名
2014年：留学生数 843 名、日本語・日本文化研修留学生 4 名
2013年：留学生数 873 名

＊2015年は10月1日より3名を受け入れ予定です。

本学の全学生のうち、留学生が占める割合は約8.5%と大変高い比率となっています。日本語・日本文化研修留学生の受入れは2014年に開始しました。

④　神奈川県・横浜市の特色

横浜国立大学の学部・大学院はすべて横浜市にある常盤台キャンパスに集約されています。

横浜は東京から電車で30分のところに位置し、人口370万人を誇る日本第二の都市です。200年以上にわたる江戸幕府の鎖国政策が終わり、世界に開かれた港が作られたのが横浜でした。したがって日本の近代化・国際化は横浜から始まったと言えます。現在は異国情緒のあるオシャレな街として、若者を中心に人気の観光スポットになっています。また、日本初の幕府があった古都鎌倉からも近く、非常に魅力的な立地です。

■コースの概要

①　コースの特色

充実した日本語プログラムで日本語力を高め、世界各国から集まる留学生及び日本人学生とともに日本学関連科目を学び、少人数のゼミで自分の研究テーマを深めることができます。

②　受入定員

5名（大使館推薦4名、大学推薦1名）

③　受講希望者の資格、条件等

以下の全ての要件を満たしている者を対象とします。

a. 外国の大学において日本語・日本文化関連の　テーマを専攻している者。
b. 「日本語能力試験」N2以上または同等の日本語能力を有する者。
c. 在籍大学における学業成績が上位の者。

④　達成目標

･達成目標は以下のとおりです。

a. 研究分野において、質の高い成果を発信できる知見と日本語力を得ること。
b. 日本人学生及び地域コミュニティとの交流を通じて日本の理解を深めること。

⑤　研修期間

2016年10月　～　2017年8月

⑥　研修科目の概要

必修科目は、レベルに応じた日本語科目、論文作成を中心とする「日本学プロジェクト」、及び日本人学生との多言語交流イベントを中心とする「多言語コミュニケーション」から成っています。

1）必須科目

1. 日本語科目

「日本語上級」科目には、
アカデミック・ライティング
新書を1冊読む
討論・ディベート
待遇表現・日本語話者の意識調査
ビジネス日本語
メディア・リテラシー
震災・復興学
日本文学
自分史を書く

などをテーマとした科目があります。

2. 日本学プロジェクト

3. 多言語コミュニケーション



2)　見学、地域交流等の参加型科目

小学校ESL（近隣の小学校、特別支援学校等を訪問して英語教育国際理解教育に携わる）
ホームレスネス（寿町におけるホームレス支援実習）

3)　その他の講義、選択科目等

日本の就職事情
グローバル横浜学
国際交流史
日本語をめぐる国際交流史
日本の社会と文化
日本型生産管理
世界と日本の音楽
Japanese Socio-economic Context
Social, Economic, and Political Encounters with the World
Community Studies

研究テーマ及び日本語レベルによっては学部の授業及びゼミに参加できる場合があります。



⑦　年間行事（2015年の場合）

４月　　春学期開講、オリエンテーション
６月　　ホームステイ
８月　　山梨見学旅行　春学期修了
９月　　日光見学旅行



１０月　秋学期開講、オリエンテーション、観月の会
　　JAL工場見学ツアー
１１月　ホームステイ
１月　　川崎見学旅行
２月　　秋学期修了



⑧　指導体制

日本語担当教員

小川誉子美（国際戦略推進機構教授）

日本学担当教員

長谷川健治（国際戦略推進機構准教授）

その他サポート

●留学生オリエンテーション

学期のはじめに新入生に対してオリエンテーションを行っています。留学生活に必要なこと、日本語学習に関すること、留学生向けの事務手続き等について説明します。

●チューター制度

必要に応じて日本人学生（場合によっては先輩留学生）がチューターとして留学生の手助けをします。日本語や専門の勉強に関する手伝いの他、生活上の相談にも乗ります。

●ホームステイの案内

国際教育センターでは、例年6月と11月に1泊2日のホームステイプログラムを実施しています。

⑨　コースの修了要件

毎学期必須科目を含む１２単位以上取得

■宿　舎

国費外国人留学生は、250名の日本人学生と留学生が混住する大岡インターナショナルレジデンス（2010年設置）に優先的に入居することができます。

大岡インターナショナルレジデンス		所要経費	¥41,000(月額)
設備	ﾍﾞｯﾄﾞ, 机, 椅子, ｸﾛｰｾﾞｯﾄ, 洗面台, ﾄｲﾚ, ｴｱｺﾝ, 本棚, 冷蔵庫		
	(ｼｬﾜｰ, 台所は室外共用)		
所在地	横浜市営地下鉄 弘明寺駅から徒歩3分		



http://www.int-residence.jp

宿舎のある地区は、アーケード商店街に恵まれた古い町です。弘明寺駅からキャンパス至近の三ツ沢上町駅までの所要時間は18分です。

※通学定期の学割は適用されません。

■修了生へのフォローアップ

YNUでは約150名の国費外国人留学生を受け入れています。修了生が、派遣元大学卒業後に本学への正規留学（国費外国人留学生（研究留学生）を含む）を希望する場合には相談に応じます。

■問合せ先

（担当部署）
横浜国立大学学務・国際部国際課
住所　〒240－8501
神奈川県横浜市常盤台79-1
TEL　＋81－45－339－3182
FAX　＋81－45－339－3039
E-mail　international@ynu.ac.jp

横浜国立大学国際教育センターホームページ
http://www.isc.ynu.ac.jp/
横浜国立大学ホームページ
http://www.ynu.ac.jp/







YOKOHAMA NATIONAL UNIVERSITY YNU

(Kanagawa Prefecture)

Hone your Japanese skills and deepen your knowledge on Japan at our dynamic and verdant campus.

■University Overview

① Characteristics and history

Yokohama National University (YNU) was established in 1949, merged from Yokohama Normal School, Kanagawa Prefectural Training Institution for Teachers of Supplementary Vocational Education, Yokohama High School of Commerce and Yokohama Higher School of Technology.

A highly internationalized university located on a verdant campus overlooking the port of Yokohama, YNU is an ideal setting to undertake Japanese studies.





Undergraduate Colleges: Education and Human Sciences, Economics, Business Administration, and Engineering Science

Graduate Schools: Education, International Social Sciences, Engineering, Environment and Information Sciences, and Urban Innovation

Number of Students (as of May 1, 2015):
Undergraduate Students: 7,433 Graduate Students: 2,447

Number of full-time Faculty and Administrative Staff
(as of May 1, 2015):
Faculty: 600 Administrative Staff:296

② International Exchange

Number of Academic Exchange Agreement Concluded:
115 Universities/Institutions from 40 countries/regions

③ Number of International Students Enrolled in the past 3 years

(as of May 1, 2015)
2015:830 (*) 2014:843 (4) 2013: 873

( ) indicates number of Japanese studies Students which were taken since 2014. * In 2015, 3 students will arrive on Oct 1.

④ Characteristics of Yokohama and Kanagawa

All colleges and graduate schools of YNU locate in Tokiwadai campus in Yokohama.

Located only 30 minutes away from Tokyo, Yokohama is the second largest city in Japan with the population of 3.7 million. Yokohama has been Japan's gateway to the world since its port was opened in the modern period. Today, Yokohama is recognized as a fashionable city with an exotic mood and attracts many visitors. It is also easily accessible to Kamakura, the ancient samurai capital.

■ Outline of the Program

① Characteristics of the program

In this program you will be able to develop your Japanese language skills in a solid language program, study Japanese studies with a diverse group of students, and develop your research projects in a small seminar style class.

②Number of Japanese Studies Students accepted

5 students Embassy recommendation: 4,
University recommendation: 1

③ Application Requirements

Applicants must meet the following requirements:

a. Majoring in Japanese or Japanese studies related topic at an overseas university.
b. Level N2 of the Japanese Language Proficiency Test or equivalent.
c. Be in good academic standing.

④ Goals and Objectives

a. To acquire the knowledge and language skills needed to complete high-level research projects in the student's field.
b. To deepen the student's understanding of Japan through joint activities with Japanese students and local communities.

⑤ Program Period

October 2016 – August 2017

⑥ Subjects

Compulsory subjects include Japanese language courses, the writing seminar "Project in Japanese Studies," and "Multilingual Communication," centered around a weekly multilingual event with Japanese students.

1) Compulsory Subjects

1.Japanese Language

Advanced level Japanese courses include:

Academic Writing
Reading a new book
Discussion and debate
Formal Expressions in Japanese
Business Japanese
Media Literacy
Disaster and Reconstruction
Japanese Literature
Writing Self Histories

2. Project in Japanese Studies

3. Multilingual Communication



2) Participatory subjects such as field trips and regional exchanges

Primary School ESL (Teach English and assist in international education activities at local primary and special education schools)

Homelessness (Participate in homeless assistance activities in Kotobukicho)

3) Other Classes, Optional Subjects, etc (Tentative)

Urban Dynamism of Yokohama
History of International Exchange
International History of the Japanese Language
Job-hunting and the Workplace in Japan
Japanese Society and Culture
Japanese Production Management
Music of the World and Japan
Japanese Socio-economic Context
Social, Economic, and Political Encounters with the World
Community Studies

Depending on their research interests and Japanese level, students may also join in classes and seminars in one of the undergraduate colleges.



⑦ Annual Events (in case of 2015 FY)

April Start of Spring semester
June Homestay program
August Yamanashi Study Trip
September Nikko Study Trip



October Start of Fall semester, Orientation
Moonviewing Party, JAL Factory tour
November Homestay program
January Kawasaki Study Trip
February End of Fall semester



⑧ Supporting System

Yoshimi Ogawa (Professor, Japanese Language)

Kenji Hasegawa (Associate Professor, Japanese Studies)

Other Supports

Orientation for International Students

An orientation is held in April and October for new international students. Various matters such as everyday living for international students, Japanese language education, and precautions when completing official procedures will be explained.

Tutoring System

A Japanese student (or a senior international student) will help the international student as a tutor. The tutor offers consultation on aspects of everyday living as well as assistance for the studies of the Japanese language and specialized subjects.

Home-stay Information

The International Student Center conducts overnight home-stay programs in June and November.

⑨ Evaluation of Completion

Students need to complete a minimum of 12 credits including required classes.

■ Accommodation

Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship Students are entitled to stay at YNU Ooka International Residence (est. 2010)

Ooka International Residence	Rent etc.	¥41,000/month
Equipment	Bed, Desk, Swivel Chair, Closet, Sink, Toilet,bookshelf	
	Air-conditioner, refrigerator(common kitchen and shower)	
Address	3minutes on foot from Gumyoji Subway Station	



Accommodation is located in the old commercial town of Gumyoji. An 18 minute subway ride takes you through Yokohama to Mitsuzawa-Kamicho station, the nearest station to YNU.

■ Student Follow-up

Some 150 Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship Students are enrolled at YNU. The university encourages Japanese Studies Students to return to YNU for graduate studies.

■ Contact

International Office
Yokohama National University
79-1 Tokiwadai, Hodogaya-ku
Yokohama 240-8501, Japan
Tel:+81-45-339-3182
Fax:+81-45-339- 3039
Email: international@ynu.ac.jp

YNU International Student Center Website
http://www.isc.ynu.ac.jp/English/

Yokohama National University Website
http://www.ynu.ac.jp/english/







信州大学 (長野県)

きめ細やかな指導体制、充実した地域とのふれあい行事。実践に則した日本語の習得が可能です。

■大学紹介

①大学の特色および概要

信州大学は1949年に設立された総合大学で、松本・長野・上田・南箕輪の４つの地域に8学部（人文、教育、経済、理、医、工、農、繊維）、6大学院研究科（人文科学、教育学、経済・社会政策科学、総合理工学系、医学系、総合工学系）があり、学部学生9,202名、大学院生1,768名が学んでいます。その他にグローバル教育推進センター、山岳科学研究所、カーボン科学研究所などの教育・研究施設があり、教員数は1,179名となります。

本学は「信州」という日本国内で有名な山岳リゾートに位置しているため、その美しい自然と清冽なイメージに惹かれて全国から学生が集まっている大学です。キャンパスのある各地域は、豊かな自然環境と伝統ある教育環境に恵まれ、独自の発展をみせています。信州大学は、それぞれの地域の発展のために教育的にも経済的にも大きな働きをしており、日本の大学ランキングの「地域貢献度」では2012年・2013年連続日本一になりました。各キャンパスはネットワークシステムによって結ばれ、大学の一体化と研究情報の効果的な活用が図られています。



上高地（Kamikouchi）

②国際交流の実績(2015年5月1日現在)
海外の大学との学術交流協定
大学間協定：75大学(24か国)

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績
2015年：留学生数 329人、日本語・日本文化研修留学生 3人
2014年：留学生数 307人、日本語・日本文化研修留学生 2人
2013年：留学生数 308人、日本語・日本文化研修留学生 2人



国宝松本城と留学生たち

④地域の特色

長野県は日本国内でも有数の観光地で、日本のほぼ中央に位置します。日本語・日本文化研修留学生（以下、日研生）が学習する松本キャンパスから東京までは電車で2時間半、名古屋までは2時間、京都までは2時間40分と大都市への移動も簡単です。また、アルプスの山々と高原に囲まれ、四季折々の景色が美しく自然豊かな地域です。そのため、国立公園や高原、山々など、自然の中に簡単に入って楽しむことができます。歴史を感じさせる古城や神社仏閣が多くあるほか、豊富な温泉も長野県の大きな特徴の一つです。また、1998年に冬季オリンピックが開催されたように、冬はウィンタースポーツの中心地としても有名です。ぜひ信州に来て登山やスキー、スノーボードなどを楽しんだり、歴史のある街の散策を満喫してください。

■コースの概要

①コースの特色
信州大学では日本語や専門について丁寧な指導をするだけなく、日本社会、日本文化についても学習指導を行っています。特に日本人と一緒に参加するイベントが多くあり、体験を通じて日本文化への理解を深める方針です。また、日研生が自国の紹介を行うことにより、日本人学生の国際理解進展につながり、多文化に関するディスカッション等お互いに刺激しあっています。それにより日研生の出身国に留学する日本人学生が増え、また日研生は再び信州に戻るなど好影響が見られます。これからの日研生にも同様の活躍を期待しています。

②受入定員
４名（大使館推薦２名、大学推薦２名）

③受験希望者の資格、条件等
・日本人と一緒に授業が受けられる人
・辞書を引きながら日本語の資料が読める人
・自分の専門分野について日本語で説明できる人
・日本人と積極的に関わる人
・日本人に自国の文化を紹介する意志がある人

④達成目標
・自分の専門分野について日本語でのスピーチができること
・日本語で論文執筆ができること

⑤研修期間
2016年9月15日～2017年8月中旬

⑥研修科目の概要
日本語能力が十分であれば、専門の授業を受けられます。また、一般の留学生と同様に日本語や日本事情の授業も受けられます。さらに、日研生専用の授業もあります。

以下は、日本語関連科目の説明です。
1)必須科目
・作文（日本語）(16週32時間)： 専門に関する日本語論文執筆支援のための授業。論文専門の語彙、表現や日本語の論文構成などを指導。
・２学期目に教養科目、専門科目(日本人学生と一緒に受ける授業）の中から3科目以上受講。
2)見学、地域交流等の参加型科目(16週32時間)
日本社会と日本人： 日本の企業の紹介など
武道伝統文化実習： 茶道、琴、剣道、空手など
3)その他の講義・選択科目等
日本語・日本事情科目
日本語が中上級または上級レベルの学生を対象としたコース。中上級～上級レベルの日本語学習の他、日本のビジネス社会などについて学びます。
・授業科目例(16週32時間)
読解、聴解、会話、 日本語表現・文型、
ビジネスジャパニーズ、科学技術日本語他
・スピーチ及び論文指導
日研生は帰国前に、自分の専門分野について多くの日本人の前でスピーチをする修了発表会を行います。このスピーチは、構想段階から丁寧に指導され、ハイレベルの発表会が行われています。

グローバル教育推進センターが開講する授業については以下ホームページから詳しく調べることが可能です。
http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/globaleducation/global-learning/japanese-related-subjects.php

⑦年間行事
2月　後期修了発表会
2月　信州でのスキー・ツアー
4月　松本市内見学のバス・ツアー
6月　国際交流と多文化共生の祭り
6月　全学国際交流旅行（1泊）
8月　前期修了発表会
11月　国際交流同窓会



着物体験の様子

⑧指導体制
・指導教員
日研生はグローバル教育推進センターの所属となり、専任教員が学業面・生活面について　個別指導を行っています。
専任教員：　佐藤友則
・協力教員等
人文学部等、専門分野の協力教員と連携して多岐にわたる専門の学習をサポートしています。
・チューター
日本人学生をチューターとして用意しています。チューターは、来日時の煩雑な手続きや学習面、生活面の相談相手、週末に一緒に旅行するなど日研生を幅広くサポートします。

⑨コースの修了要件
通年で12科目14単位以上を取得し、２学期目の修了時に修了発表をすることが修了要件です。修了者には成績証明書を発行し、単位認定をします。



国際交流と多文化共生の祭り

■宿　舎

①宿舎状況
大学が管理するアパートを用意しており、キャンパスまで徒歩１０分程度のところにあります。エアコンが設置され、インターネット環境も整っています。
②宿舎費
32,000円/月（インターネット無料、光熱費は別）
入居時初期費用：約30,000円/年（共益費他）
＊費用は変更の可能性があります。
③設備
家具・家電製品・ガスコンロ等がついています。身の回りのものだけ持ってくれば生活ができます。自炊可能です。

■修了生へのフォローアップ

信州大学の日研生プログラム修了生とは、国際交流同窓会を通じて連絡を取り合っています。また、メールやニュースレターで情報のやり取りをし、世界各地で開催されている国際同窓会に招待しています。将来的には同窓会を東南アジアや欧州などでも実施することを検討しています。

修了生の中には大学教員になっている人もおり、その修了生の勤務する欧州の大学と信州大学の大学間交流協定締結が実現するなどの成果があがっています。

■問い合わせ先

〇コース内容について
グローバル教育推進センター　佐藤友則
E-mail: stomo@shinshu-u.ac.jp

〇宿舎等その他について
信州大学国際交流課
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
TEL +81-263-37-2198
FAX +81-263-37-2181
E-mail: abroad-go@shinshu-u.ac.jp
グローバル教育推進センターホームページ
http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/
信州大学ホームページ
http://www.shinshu-u.ac.jp/
※ホームページからの問い合わせも可



安曇野での日本人との交流会



Shinshu University (Nagano Prefecture)

Shinshu University provides individualized academic instruction for everyone, and also rich opportunities to participate in cultural events. Students can acquire practical Japanese.

■University Overview

①Outline of Shinshu University

Shinshu University was founded in 1949 as a national university. We have 5 campuses in 4 cities in Nagano Prefecture. The University consists of 8 faculties(Arts, Education, Economics, Science, Medicine, Engineering, Agriculture, Textile Science and Technology) and 6 graduate schools, as well as many educational and research institutes, including the Global Education Center, the Institute of Mountain Science, the Institute of Carbon Science and Technology. There are 9,202 undergraduate students, 1,768 graduate students, and 1,179 teaching staff.

Shinshu is known as one of the best mountain resorts in Japan, and Shinshu University attracts many students for its favorable campus environment. Each campus shows unique advancement in beautiful nature and long-established educational environment, and contributes to regional development. The University was ranked first in its regional contribution level out of nationwide universities in 2012 and 2013. Campuses are connected by a network system which facilitates effective communication and use of research information in the university as a whole.

②International Exchanges(as of May 1, 2015)
Partnership Agreement Between Universities 75 universities in 24 countries.



Kamikouchi

③Number of International Students and Program Participants for the past 3 years
[2015]International Students 329：Program Participants 3
[2014]International Students 307：Program Participants 2
[2013]International Students 308：Program Participants 2



Matsumoto Castle, a national treasure

④Nagano Prefecture (our Location)

Nagano Prefecture is one of the most well-known tourist resorts in Japan. Matsumoto Campus, where program participants study, is located in the center of Japan and is easily accessible to major cities such as Tokyo (by train 2h 30min.), Nagoya (by train 2 hours), and Kyoto (by train 2h 40min.) . Nagano is blessed with four distinct seasons, beautiful natural scenery, high mountains which are part of the famous Japanese Alps, carious plateaus, and hot springs which attract many visitors. Furthermore, one can easily sense the culture and history of this area by being able to see many small old castles, shrines and temples. Nagano Prefecture is also famous for winter sports. In fact, the Winter Olympic Games were held here in 1998. We believe students can enjoy climbing mountains, winter sports, field trips etc.

■Outline of the Program

①Features of the Program
We provide not only high quality Japanese education, but also a wide variety of opportunities to learn about Japanese Society and Culture.
Participants study with Japanese students to gain a better understanding of Japanese culture through experiences of various events. It is motivational for both Japanese students and the participants. Many students keep in touch with each other afterwards. Some participants come back to Shinshu, and some Japanese students study abroad in the participants' home country.

②Program Quota
4: 2(Embassy recommendation)
2(Shinshu University recommendation)

③Requirements for Applicants
・Being able to understand lectures in Japanese with Japanese students.
・Being able to read handouts in Japanese with the help of a dictionary.
・Being able to describe their own major in Japanese.
・Being willing to communicate with Japanese people.
・Being willing to introduce their own countries and cultures.

④Goals and Objectives
・To be able to make a speech about their own majors in Japanese.
・To be able to write a thesis in Japanese.

⑤Duration of the Program
From September 15, 2016, to mid -August, 2017

⑥Outline of Classes
Students with advanced Japanese language skills are allowed to take their own major subjects and provided research advice. Participants will attend both the classes for all international students and the ones only for this programs participants.

Japanese related subjects
1)Required Subjects
・Japanese Writing (16 weeks, 32 hrs): To prepare for writing a thesis related to their specialized theme.
・During the second semester, participants must take at least 3 subjects from general education subjects or education subjects or major subjects.
2)Participatory Classes(16 weeks, 32 hrs)
・Japanese Society and People: Introduce Japanese companies, factories, etc.
・Japanese Martial Arts and Traditional Culture: Tea Ceremony, Harp, Kendo, Karate, etc.
3)Japanese Language and Japan Studies Classes for advanced level.
Classes for upper-intermediate or advanced level Japanese learners. Students study not only Japanese but also the business society in Japan.
・Example of Classes(16 weeks, 32 hrs)
Japanese Reading, Japanese Listening, Japanese Conversation, Japanese Expression and Grammatical Structure, Business
Japanese, Scientific and Technical Japanese, etc.
・Speech and Thesis writing
Participants must make a speech about their specialized field at the end of the course. Detailed instructions are given from a planning stage, which leads to high-level performance.
〇For more details, check the syllabi on the website.
http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/globaleducation/global-learning/japanese-related-subjects.php

⑦Annual Events
Feb: Presentation for Fall semester
Feb: Ski Tour in Nagano prefecture
Apr: Sightseeing bus tour in Matsumoto city
Jun: Multi-cultural Festival
Jun: Field trip (two-day and one-night)
Aug: Presentation for Spring semester
Nov: Alumni reunion for international students


Kimono-clad students

⑧Instruction System
・Academic Advisors
Each student will have an academic advisor who is to give advice on the student's academic and daily life matters.
Dedicated teaching staff: Prof. SATO Tomonori
・Teaching and Supporting Staff
Other university staff, for example, the Faculty of Literature, also support the students depending on their needs.
・Tutor
Tutors will help the students with complicated public procedures, study, and daily life.

⑨Requirements of Course Completion and Transcript
Participants must to take at least 12 subjects and gain at least 14 credits a year, and also give a speech at the end of the second semester. The International Center issues certificate and an official transcript of credits earned with grades.


Multi-cultural Festival

■Housing

①Types of housing
Shinshu University has a University Apartment for participants. It is located within 10 minutes walk from the Matsumoto campus. A room fitted air-conditioner and wired LAN internet connection.

②Accommodation Fee
32,000yen/month (including internet fee, excluding utility charges)
Initial costs is about 30,000yen/year (common fees, room cleaning expenses and neighborhood association fee, etc.)
*Fees are subject to change.

③Furnishing
All rooms are furnished with basic electric appliances, cooking stoves and furniture so that participants can start a new life in Japan with minimum carry-in luggage.

■Follow-up for Graduates

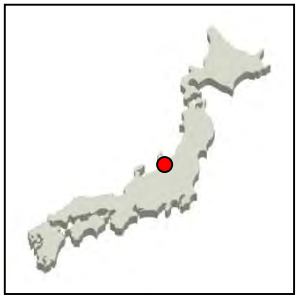
We keep in touch with each other via internet. The International center send s "News Letter" on a regular basis. We invite students who have completed this course to an alumni party held in various parts of the world. We are considering to hold it in Europe and South-East Asia in the future.

One of the students who completed this program became a teaching staff in a university in her own country. We have made a partnership agreement between Shinshu University and her university in Europe.

■Contact

〇About contents of program
SATO Tomonori(Global Education Center)
E-mail: stomo@shinshu-u.ac.jp
〇About housing and others
Division of International Exchange
Address: 3-1-1 Asahi, Matsumoto, Nagano, Japan, 390-8621
TEL ＋81-263-37-2198 / FAX ＋81-263-37-2181
E-mail: abroad-go@shinshu-u.ac.jp
Shinshu University Global Education Center
http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/english/
Shinshu Univeristy
http://www.shinshu-u.ac.jp/


Azumino



新潟大学（新潟県）

日本語力を磨いて、旬の日本を味わおう！

■大学紹介

①　大学の特色および概要

新潟大学は1949年に設立され、9学部、7大学院研究科、医歯学総合病院を有し、約12,500人の学生と約2,500人の教職員を擁しています。日本海に面している県にある大学としては、最大規模の大学です。新潟市にふたつのキャンパスがあります。市の中心部に位置する旭町キャンパスには、医学部、歯学部および教育学部附属新潟小学校、中学校、特別支援学校があり、市の西部にある五十嵐キャンパスには、7学部があります。

②　国際交流の実績

大学間交流協定：20カ国・地域 47件
学部間交流協定：29カ国・地域218件



③　過去３年間の受入れ留学生数（11月現在）及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数 476人、日本語・日本文化研修留学生 6人
2014年：留学生数 471人、日本語・日本文化研修留学生 7人
2013年：留学生数 500人、日本語・日本文化研修留学生 7人

④　地域の特色

新潟県は質の良いお米と日本酒の産地であり、また、豪雪地帯として有名です。新潟大学の所在地である新潟市は、あまり雪は降りませんし、東京と比べて物価が安く生活費が多くかかりません。ですから日本語と日本人の生活を学びたい学生にとっては、ちょうど良いところです。夏は大学の近くにある海で海水浴、また、冬はスキーやスノーボードといった雪国らしい楽しみ方もできます。

■コースの概要

①　コースの特色

本学の「日本語･日本文化研修生」コースの大きな特徴は来日直後に集中日本語という日本語学習コースの受講を義務としていることです。海外で日本語を学ぶ学生は非常に多いのですが、集中的に日本語を学ぶ機会が少なく、効率的に日本語を学べている学生が少ないことから、このような設定をしてあります。ここでは、毎日３時間の日本語の集中授業を提供しています。

もちろん単に日本語だけを学ぶのではなく、その根底にある日本の文化も合わせて履修できるような科目が用意されています。

ここでの日本の文化とは、歴史や宗教などに限らず、アニメや若者文化といった、現代日本文化についても学ぶことが可能です。さらに新潟という地域の特徴的な文化も学ぶことができます。新潟は日本でも有数の米どころ、酒どころです。また世界でも有数の豪雪地域でもあるので、独自の雪文化などを学ぶこともできます。

また、実地見学旅行、ホームステイなどに参加することも可能です。これらに積極的に参加することによって日本文化を肌で感じてもらいたいと思っています。

②　受入定員

10名（大使館推薦8名、大学推薦2名）

③　受講希望者の資格、条件等

このプログラムに参加を希望する学生は、新潟に来る前に日本語能力試験N2に合格しているか、あるいは講義内容を理解するに必要な日本語能力を有していなければなりません。また学業に専念してもらうために原則として家族と一緒に来日することはできません。

④　達成目標

日本語で調べた旬の日本について、日本語でプレゼンテーションできる力をつけることを目標とします。



⑤　研修期間

2016年10月1日　～　2017年8月31日

⑥　研修科目の概要

毎日3時間の日本語集中授業の受講を柱に、各自の興味にしたがって、日本のあらゆる文化を学びます。そして、学習成果発表会で日本語で発表し、その内容をまとめたものを論文として提出することを義務づけています。

１）必須科目

秋期には集中日本語と課題研究Ⅰが、春期には課題研究Ⅱが必須科目となります。

◆ 集中日本語

各自のレベルに合った日本語授業を毎日3時間受講し、効率的に日本語を学ぶ。

◆ 課題研究Ⅰ・課題研究Ⅱ

論文作成のため、演習形式で行われる。担当教員から論文作成や発表会に向けて指導を受けることができる。います。

２）見学、地域交流等の参加型科目

授業の一部として見学，合宿実習等を行う予定です。

◆ 日本事情人文系B

日本人学生とともにグループワークを行いながら、日本社会の状況を知る。また、日本で勉強する「私」について分析する力を養う。日本社会の中で、日本の学生たちがどのように行動しているのか、また自分はどのように動けるのかを確認する方法、力を身につける。

◆ 地域から文化を考える

◆ 新潟学-地域編-

３）その他の講義、選択科目等

コーディネーターの指導のもと、各自の興味にしたがって自由に選択し受講できます。

一般学生が受講する科目には，日本語・日本文化研修留学生も同じように受講できる科目が多くあります。授業を通じて日本人学生との交流を図ることができます。地域に根ざした文化を学べる授業もありますので、新潟をよりよく知ることができます。

◆ 日本語教育Ⅰ-A・日本語教育Ⅰ-B

◆ 日本語教育Ⅱ-A・日本語教育Ⅱ-B

日本語を母語としない人たちに外国語として日本語を教えることについて学び、考える。日本語教育の専門家としての知識および能力を検定することを目的に実施される日本語教育能力検定試験で扱われる内容について理解し身につける。

◆ 日本語A～Ｊ

日本語能力試験２級以上取得者を対象とし，より高度な日本語能力を身につけることを目標とする。

◆ 日本事情人文系A

日本の歴史を学ぶことによって、より深く、より正確に日本を理解することを科目の狙いとする。日本の歴史について、日本語できちんと説明できることを目標とする。

◆ 日本事情社会系A

日本の法、政治、行政の構造と特色を学ぶ。法・政治・行政に関する日本語能力の向上を図る。学んだ知識を日常生活にいかす。それにより日本の法、政治、行政に関する一定の知識を習得する。

◆ 日本事情自然系A・B

自然科学分野の現状を理解し，社会における自然科学の必要性を考えることができるようになる。日常的に報道される自然科学のニュースを理解できるようになり，興味をもつようになる。

● 必須・選択科目

科目名	単位	時間数	必須/選択
集中日本語	全10	300	必須科目
課題研究Ⅰ／Ⅱ	各2	30	
日本語教育I-A／B	各2	30	選択科目
日本語教育Ⅱ-A／B	各2	30	
日本語A～Ｊ	各1	30	
日本事情人文系A	2	30	
日本事情人文系B	2	30	
日本事情社会系A	2	30	
日本事情自然系A	2	30	
日本事情自然系B	2	30	

● その他の選択科目（予定）（一部抜粋）

科目名	単位	時間数
コメ産業論	2	30
新潟から考える雪の科学と分野	2	30
日本近代文学C	2	30
地域から文化を考える	2	30
新潟学-地域編-	2	30
アクティブラーニングⅠ（不思議カルチャー大国ニッポン論）	2	30
アクティブラーニングⅠ（ものづくり大国ニッポン論）	2	30
アクティブラーニングⅠ（アニメ・漫画大国ニッポン論）	2	30

⑦　年間行事（予定）

１月	もちつき大会
２月	地域住民との交流会
４月	ウエルカムパーティー / 花見
５月	留学生研修旅行
６月	松竹大歌舞伎 / ホームステイ
７月	学習成果発表会 / ホームステイ
８月	地域の祭り
10月	入講式 / ウエルカムパーティー
11月	留学生研修旅行 / ホームステイ
12月	学習成果発表会
	温泉まちあるきツアー



⑧　指導体制

本プログラムでは。毎週指導教員による個人指導を受けます。個人指導の内容は主に、論文作成に向けての学業指導ですが、必要に応じて生活指導も行います。

⑨　コースの修了要件

プログラムを修了すると、修了証書を発行します。修了要件は、年間20単位以上(最低10単位/期）の履修、修了論文の提出・合格です。

■宿舎

・新潟大学国際交流会館
設備：バス、トイレユニット、キッチンユニット、給湯設備、冷暖房用空調設備
備品：ベッド、机、椅子、書棚、洋服タンス、食器棚（テーブル付）、食卓イス、ガスコンロ、冷蔵庫、電子レンジ、消火器

外国人研究者および留学生のための宿舎としてキャンパス内に国際交流会館があります。
また、大学近くのアパートを借り上げ、「外国人留学生借上宿舎」として、国際交流会館に準じた条件で留学生に提供しています。



■修了生へのフォローアップ

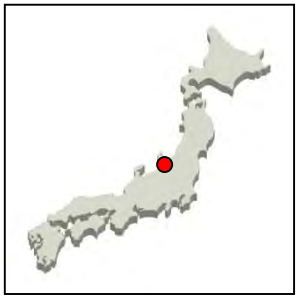
日研生担当教員が修了生とフェイスブックなどで常に連絡を取り合っています。
また、入試説明会などで当該国に行く場合には修了生に協力してもらっています。日本の大学院への進学を希望する修了生に対して相談に応じています。

■問合せ先

（担当部署）
新潟大学国際センター / 国際課
住所　〒950－2181　新潟県新潟市西区五十嵐２の町8050番地
TEL　＋81-25-262-6246（直通）
FAX　＋81-25-262-7519
E-mail　intl-scholarship@adm.niigata-u.ac.jp

新潟大学ホームページ
http://www.niigata-u.ac.jp/index.html
新潟大学国際課ホームページ
http://www.niigata-u.ac.jp/intl/





Niigata University

Let's improve your Japanese-language skills and taste real Japanese life!

■Overview of Niigata University

① About Niigata University

Niigata University was established in 1949 in Niigata City as the center for higher education and research in the areas along the Sea of Japan. The University has nine faculties – medicine, dentistry, law, agriculture, literature, economics, school education, natural sciences, engineering – six graduate schools and Medical and Dental Hospitals, where about 12,500 students receive undergraduate and graduate education and about 2,500 research staff and officers work.

② About International Exchange

Overseas Partner Institutions:
47 institutions (20 countries / districts)
Agreements on the faculty level:
218 cases (29 countries/ districts)






③ Number of International Students

Y2015: 476
(6 student from this program)
Y2014: 471
(7 student from this program)
Y2013：500
(7 student from this program)

④ About Niigata

Niigata prefecture is usually known as a place for good rice and heavy snow. Niigata city itself does not have heavy snow. In addition, the cost of living is much cheaper than that in Tokyo. The size of Niigata city (where our university is) is just right for foreign students who wish to study Japanese and people's life in Japan. You can enjoy winter sports such as skiing and snowboarding at nearby mountains and summer sports on beaches.

■Course Summary

① Features of course

Our course has 3 major features.
Firstly, students are required to take Japanese Intensive Course in their first semester as their obligation. We consider it very efficient way to improve their Japanese language skill. They must study Japanese language three hours every day intensively.
Secondly, they are offered courses to study Japanese culture which include not only history or religion, but also courses of contemporary Japanese culture such as Japanese Anime or Japanese subcultures, as well as study of local culture and life in Niigata.

Thirdly, students have opportunities to find real Japanese life by joining events such as study tours or homestay program.

② The number of students in the program will be:
maximum of 10

③ Course Requirement:

All the students applying for this program must have passed Japanese Proficiency Test N2 or have Japanese ability to understand lectures enough before coming to Niigata. In order to concentrate on their study, students are not encouraged to bring their families.

④ Goal:

The aim of this course is to gain presentation skills in Japanese.



⑤ Period of the program:

October 1, 2016 – August 31, 2017.

⑥ Out line of the Program
Students must give a presentation in Japanese at the Japanese recital and submit a report based on their personal research.

1) Compulsory Subjects
Fall Semester :
Intensive Japanese course, Individual Research and Essay Writing Ⅰ
Spring Semester :
Individual Research and Essay Writing Ⅱ

◆ Intensive Japanese course
Students study Japanese three hours per day based on their level of proficiency.
This course will help them to improve their Japanese language ability effectively.

◆ Individual Research and Essay Writing Ⅰ
◆ Individual Research and Essay Writing Ⅱ
This class aims to make out a research paper in Japanese. Classes will be held under the direction of individual advising professor.

2) Study Tours and Involvements in the local community
Field study camp is planned as a part of courses.

◆ Cross Cultural Communication B
Students work with Japanese students to discuss Japanese social issues.

◆ Studies of Culture on Niigata
◆ Niigata study

3) Other Lectures and Elective Courses
Students may take elective courses under the direction of the coordinator.
Students may take other courses offered by other faculties on campus.
It will be a good chance to interact with Japanese students.

◆ Teaching Japanese Ⅰ－A /B
◆ Teaching Japanese Ⅱ－A /B
In this course, students will study how to teach Japanese as a foreign language to non-natives.

◆ Japanese A～J
Students need to have passed higher than N2 to join these classes.
The aim of these courses is to help their language ability to be much more sophisticated.

◆ Cross Cultural Communication A
Students will deepen their understanding of Japanese history.
The aim of the class is to help students illustrate Japanese history using proper Japanese.

◆ Culture and Society in Japan A
Students improve their Japanese specific vocabulary studying Japanese law, politics and government.

◆ Science and Technology in Japan A /B
This is a lecture course on Japanese social issues from the point of view of science and technology.

● Compulsory Subjects / Elective Courses

Subject	Credit	hours	Compulsory subjects / Electives
Intensive Japanese course	10	300	Compulsory Subjects
Individual Research and Essay Writing Ⅰ/Ⅱ	2 each	30	
Teaching Japanese Ⅰ－A /B	2 each	30	Elective Courses
Teaching Japanese Ⅱ－A /B	2 each	30	
JapaneseA～J	1 each	30	
Cross Cultural Communication A	2	30	
Cross Cultural Communication B	2	30	
Culture and Society in Japan A	2	30	
Science and Technology in Japan A	2	30	
Science and Technology in Japan B	2	30	

● Other electives

Subject	Credit	hours
Rice Industry	2	30
Studies on Science and Culture of Snow in Niigata	2	30
Modern Japanese Literature C	2	30
Studies of Culture on Niigata	2	30
Niigata study	2	30
Active Learning Ⅰ(Japanese Subcultures)	2	30
Active Learning Ⅱ(Japanese traditional manufacturing 'MONOZUKURI')	2	30
Active Learning Ⅲ(Japanese Anime and Manga)	2	30

⑦ Annual Events

January Rice-cake making event

February Party with local people

April Welcome party, Hanami

May One day study trip

June KABUKI, home stay program

July Japanese recital, home stay program

August local festival

October enrollment ceremony, welcome party

November One day study trip, home stay program

December Japanese recital

Iwamuro hot spring walking tour



⑧ Organization of the program

Each students has an academic adviser. They have a time to meet with an academic supervisor every week to make out a report under his/her guidance.

⑨ Certificate of Completion

A certificate of course completion will be issued after finishing the program.

■ Accommodation

Niigata University International House (*Niigata-Daigaku Kokusai Koryu Kaikan*.).

Facilities: Bath and toilet unit, kitchen unit, hot water facilities, air-conditioning and heating equipment.

Equipment: Bed, desk, chair, bookshelf, wardrobe, cupboard with table, gas cooking unit, refrigerator, microwave oven, and fire extinguisher.

It is located in campus. Also, university has six apartments for international students outside of campus with almost the same condition of International House.



■ Follow up for Graduate

We keep in contact with students who have completed the course on Facebook.

When we have a course guidance in their home country. We ask for their help.

We give some advice and guidance to completed students who want to go to Japanese graduate school.

■ Contact

Niigata University
International Student Center (ISC),
International Affairs Division

ADDRESS 8050Ikarashi Ninocho Nishi-ward
Niigata City, 950-2181 Japan
TEL ＋81-25-262-6246
FAX ＋81-25-262-7519
E-mail intl-scholarship@adm.niigata-u.ac.jp
URL http://www.niigata-u.ac.jp/index_e.html



筑波大学 (茨城県)



◇コースの特色
(1)コースのねらい
日本語の運用能力を高める。それに加えて日本の言語と文化について幅広く学び、日本についての理解を深める。
(2)　コースの形態
①日本語・日本文化研修留学生向けの多くの授業科目を設けている。
その他の科目でも、研修留学生の興味に応じた授業を履修することができる。
②日本語と日本文化について、教室内外での実習による学習を重視している。
③修了論文（研究論文、もしくは研究ノート）の執筆を課している。
（修了論文は、毎年、日本語・日本文化研修留学生修了論文集『異文化との出会い』として刊行している。）
④複数の指導教員と研修留学生ごとのチューターによる、親身できめ細かい指導を行なう。

◇大学紹介

(1) 特色と歴史

筑波大学は、東京教育大学の移転を契機に、そのよき伝統と特色を生かしながら、今日の大学に対する内外からのいろいろな要請にこたえるため、わが国ではじめて抜本的な改革を行ない、昭和48年10月に総合大学として発足しました。本学の特色である「教育と研究の新しい仕組み」「新しい大学自治」「開かれた大学」は、各方面の注目を集め、大学改革の先導的役割を果たしています。

(2) 学生数等（2015年5月1日現在）

学部名：人文・文化学群、社会・国際学群、人間学群、生命環境学群、理工学群、情報学群、医学群、体育専門学群、芸術専門学群

教員数：教授、准教授、講師、助教、助手
計 2,095名

学生数：学群生9,795名、大学院生　6,681名
計 16,476名



(3) 国際交流の実績

留学生在籍数：2,062名/104か国　（2015年5月1日現在）

研究者等受入数：1,939名（2014年度受入）

(4) 日本語・日本文化研修留学生数（最近10年間）

年　度	留学生数
2006年	13人
2007年	10人
2008年	8人
2009年	12人
2010年	11人

年　度	留学生数
2011年	10人
2012年	13人
2013年	14人
2014年	14人
2015年	14人

(5) その他－つくば市の特色

つくば市は、東京の北東60km、新東京国際空港のある成田の北西40km、北に筑波山（標高876m）を仰ぎ、東に霞ヶ浦をのぞむ自然環境豊かな地域に位置している。この中に筑波研究学園都市がある。東京とその周辺からこの地域に移転、または新たに建設された国の試験研究機関・大学を中心とし、民間の研究・教育機関等を加え、国の施策により総合的・組織的な研究学園都市として作られている。また、筑波研究学園都市と東京都心は、つくばエクスプレスで結ばれ、最短45分で行き来できる。

◇コースの概要

受入定員：14人
（大使館推薦：12人　大学推薦：2人）

コース実施期間・授業期間：
2016年10月1日～2017年9月30日（1年間）

① 指導体制
ⅰ）責任教員のなかで担任教員と副担任教員が決められ、親切に指導する。

ⅱ）各研修留学生に日本語・日本文化学類学生が１人ずつチューターとして学業面と生活面を手助けする。

ⅲ）修了論文を執筆する時期には、各研修留学生に、担任教員とは別に専門に応じた指導教員とチューター（大学院生）が指導をする。



日本語・日本文化実験実習のひとこま

ⅳ）責任教員

氏　名	所　属	職　名	専　攻
竹沢幸一	日本語・日本文化学類	教 授 学類長	言語学
澤田浩子	日本語・日本文化学類	准教授	日本語学
清登典子	日本語・日本文化学類	教授	日本文学
小野正樹	日本語・日本文化学類	教授	日本語学

② 授業科目の概要

(a)～(c)は日本語・日本文化研修留学生カリキュラムで、本プログラムのために特別に開設されている科目である。(a)・(b)は日本語・日本文化学類教員が担当し、聴講する学生は日本語・日本文化研修留学生だけである。(c)はグローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC)のコースに参加する。

(a)必修科目

・「日本語・日本文化特別研究」Ⅰ、Ⅱ：研修留学生の専門テーマを決定し、年間を通して研究を進め、修了論文（研究論文、もしくは研究ノート）を提出する。

・「日本語・日本文化実験実習」：1泊2日の野外実習を通して、日本文化に身近に接する。

・「日本語・日本文化自由研究」：日本語・日本文化実験実習に向けて、その事前調査をし、実習後には報告書を提出する。

(b)専門科目

年度によって開講しない科目もあるが、開講されるものは原則として履修すること。

・「日本の地理」：現地の見学を行い、景観から日本の地理的特徴を考える。

・「日本の歴史」：日本現代史(敗戦直後から90年代までを中心に)を取り上げる。

・「日本の慣習」：日本の生活文化と慣習について、民俗学の立場から講義する。

・「日本の政治と社会」：日本の近現代の政治と社会について日本人学生と討議する。

・「日本の文学」：日本の文学について、日本人学生とともに調べて、発表することで理解を深める。

・「日本語による文化伝達Ⅰ」：日本の文化が感じられる言葉や表現を通して、言語から文化を考察する。

・「日本語による文化伝達Ⅱ」：日本の現代の社会問題について調べたりビデオを見て、討論を行う。

・「日本語による文化伝達Ⅲ」：日本人学生とともに、日本語・日本文化にかかわるテーマについて討論・対話・共同研究を進める。

・「日本人の言語生活」：日本語慣用句の実例を見ながら、話し言葉・書き言葉における慣用句の機能・効果を考える。

(c)「日本語」（中級～上級）

研修留学生の能力に応じ、日本語の読む、聞く、書く能力を高める。アカデミック日本語等の上級レベル日本語の授業も含む。プレースメントテストの結果に基づいて、日本語能力別のクラス分けをする。



(d) 選択科目

研修留学生は(a)～(c)の科目以外に、(d)選択科目として日本語・日本文化学類や他学類の開設する科目を、担当教員の許可を得た上で聴講することができる。ただし、日本語で授業されるもののみがコースの修了要件に含まれる。

③ コースの修了要件、修了証書の発行

(a)～(d)から合計300時間以上履修し、修了論文（研究論文、もしくは研究ノート）を提出した者には修了証明書を授与する。

【授業科目及び授業時間数】

	授　業　科　目	時間数 (秋学期)	時間数 (春学期)	計
(a)	日本語・日本文化特別研究Ⅰ	15		15
	日本語・日本文化特別研究Ⅱ		90	90
	日本語・日本文化実験実習	15		15
	日本語・日本文化自由研究	15		15
(b) **	日本の地理	15		15
	日本の歴史		15	15
	日本の慣習	15		15
	日本の政治と社会		15	15
	日本の文学	15		15
	日本語による文化伝達Ⅰ	15		15
	日本語による文化伝達Ⅱ		15	15
	日本語による文化伝達Ⅲ	15		15
	日本人の言語生活	15		15
(c)	日本語（中級～上級）			*
(d)	選択科目			*

＊　選択した科目によって時間数が異なる。
** 年度によって開講しない科目もある。

④ 実地見学、行事等

ⅰ）行事

·日本語・日本文化研修留学生オリエンテーション
　学類主催（10月）

·国費留学生全体オリエンテーション
　グローバル・コモンズ機構主催（10月）

·学長主催留学生パーティ（10月）

·日本語・日本文化研修留学生歓迎会（11月）

·修了論文テーマ発表会（12月）

·修了論文中間発表会（4月）

·修了論文発表会（7月）

·修了式（9月）

ⅱ）実地見学

「日本の地理」地域見学実習

（筑波山・土浦市11月）

⑤ 単位認定、単位互換

正規の単位は与えられないが、履修した科目名、時間数、評価及び評価基準が記載された、履修証明書を発行する。単位の互換については、帰国後、在籍大学の基準により判断される。



チューターと共に







日研生研修室の和室でのお茶会

⑥ 受講希望者の資格及び条件

日本語・日本文化研修留学生となることを希望する者は、以下の条件を満たす者とする。

ⅰ）資格

来日時点で外国(日本以外)の大学の日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在籍する者。ただし、1年生は対象外とする。

ⅱ）日本語能力

日本語による授業を理解し、日本語の参考文献を読み、日本語でレポートを書き、口頭発表を日本語で行なう能力のある者。日本語能力試験2級以上が望ましい。

◇宿舎の状況

全員が筑波大学の単身用宿舎に入ることができる。また、希望すれば、大学周辺の民間アパートを借りることもできる。

◇修了生へのフォローアップ

・日研生からの近況報告や、教員からのメッセージを載せた『日研生 E-だより』を年1回発行し、これまでの日研生全員にメール送付している。

・日本語・日本文化学類ホームページやSNSを利用し、情報発信や交流を図っている。

◆ 筑波大学の日本語・日本文化研修留学生については、下記のHPも参考にして下さい。

http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/nikkensei.html

◇　問い合わせ先

筑波大学日本語・日本文化学類長　竹沢　幸一

住所　〒305-8572　茨城県つくば市天王台 1-1-1

Tel：+81-(0)29-853-6608

Fax：+81-(0)29-853-6839

E-mail：kiyoto.noriko.fn@u.tsukuba.ac.jp

（担当教員　清登典子）

筑波大学学生部学生交流課長　柳田　なみ子

住所　〒305-8577　茨城県つくば市天王台 1-1-1

Tel：+81-(0)29-853-6090

Fax：+81-(0)29-853-6204

E-mail：isc-short-term@un.tsukuba.ac.jp

＊プログラム内容については日本語・日本文化学類、
　事務連絡については学生部学生交流課へ





University of Tsukuba (Ibaraki)



◇Program features

(1) Program aims

The aim of this program is to help students improve their Japanese language ability. In addition, this program provides students with the opportunity to deepen their understanding of Japan through the study of a broad range of subjects related to Japanese language and culture.

(2) Program structure

① This program offers many courses designed specifically for the international students in the Japanese Studies Program. Students may also take other courses, according to their individual interests.

② This program places special emphasis on learning about Japanese language and culture through practical experience, both inside and outside the classroom.

③ Students are required to write and submit a final thesis (research paper or research note). (Theses are published annually in the collection *Ibunka to no Deai* (“*Intercultural Encounters*”)

④ Students receive personal attention and individual guidance from several advisors and tutors.



◇ Overview of the University of Tsukuba

(1) History and distinctive characteristics

The University of Tsukuba was established in October of 1973, maintaining the distinctive character and traditions of its predecessor, the Tokyo University of Education, while at the same time carrying out extensive reforms—the first of their kind in Japan—in response to a variety of internal and external demands on modern Japanese universities. The distinctive characteristics of this university—“new systems for education and research,” “new autonomy,” “an open university”—have attracted widespread attention and contributed to the leading role this university has played in the reform of higher education in Japan.

(2) Academic community (as of May 1, 2015)

– **Undergraduate colleges:** School of Humanities and Culture, School of Social and International Studies, School of Human Sciences, School of Life and Environmental Sciences, School of Science and Engineering, School of Informatics, School of Medicine and Medical Sciences, School of Health and Physical Education, School of Art and Design

– **Number of faculty members:**
Professors, Associate Professors, Assistant Professors, Research Associates Total: 2,095

– **Number of students:**
undergraduate (9,795), graduate (6,681) Total: 16,476

(3) International exchange

– **Number of international students:** 2,062 from 104 countries (as of May 1, 2015)

– **Number of visiting scholars:** 1,939 (FY2014)

(4) Number of international students in the Japanese Studies Program (past 10 years)

Year	No. of students	Year	No. of students
2006	13	2011	10
2007	10	2012	13
2008	8	2013	14
2009	12	2014	14
2010	11	2015	14

(5) Other information about Tsukuba City

Tsukuba is located 60 km northeast of Tokyo and 40 km northwest of the New Tokyo International Airport (Narita). With Mount Tsukuba (876 m) to the north and Lake Kasumigaura to the east, the surrounding area is rich in natural beauty.

Tsukuba Science City was established (in Tsukuba) by the national government in the early 1970’s, in order to create a structured hub for research and education outside the Tokyo metropolitan area. At that time, many national research institutes and institutes of higher learning were relocated to or newly constructed in Tsukuba. A number of private research and educational institutions followed as well.

The Tsukuba Express train connects Tsukuba Science City to central Tokyo in 45 minutes.



Program participants and their tutors





◇ **Program content**

(1)Enrollment quota:　14 participants（12 consulate recommendations and 2 university recommendations)
(2) Length of program/period of instruction:
　October 1, 2016 to September 30, 2017（1 year)
(3) Courses

① The curriculum for the Japanese Studies Program includes the courses in (a), (b) and (c).
Courses in (a) and (b) are offered by the College of Japanese Language and Culture specifically for the Japanese Studies Program. Participation in these courses is limited to international students in the program.
The Japanese language courses in (c) are offered by the Center for Education of Global Communication (CEGLOC).

(a) Compulsory courses
–Special Studies in Japanese Language and Culture I, II: Students choose a topic in their area of interest, research it over the course of the year, and submit a final thesis (research paper or research note).
–Experimental Fieldwork in Japanese Language and Culture: Students experience Japanese culture firsthand during an overnight field trip.
–Independent Study in Japanese Language and Culture: Students do preliminary research to prepare for the Experimental Fieldwork course described above. They must also submit a report after completing the fieldwork.

(b) Specialized subjects (taught by the faculty of the College of Japanese Language and Culture)
Some of the following courses are not offered every year. As a general rule, program participants are expected to take those courses that are offered during their stay.
–Japanese Geography: Students carry out field investigations and consider the geographical characteristics of Japan from the perspective of landscape.
–Japanese History: This course covers modern Japanese history with emphasis on the post-war period up to the 1990s.
–Japanese Customs: This is a lecture course on Japanese customs and lifestyle from the point of view of folklore.
–Japanese Politics and Society: Students discuss modern Japanese politics and society with Japanese students.
–Japanese Literature: Students will deepen their understanding of Japanese poetry by considering its relationship with nature, expressions that show a sense of the seasons, etc.
– Intercultural Communication in Japanese I: This course explores culture through language by focusing on words and expressions closely linked to Japanese culture.
– Intercultural Communication in Japanese II: Students will research and discuss contemporary Japanese social issues. Video materials will also be used as a basis for discussion.
– Intercultural Communication in Japanese III: Students work with Japanese students to discuss, debate, and research topics related to Japanese language and culture.
– Language Lifestyle of the Japanese: This course explores the function and effects of Japanese idioms in spoken and written language.

(c) Japanese (Intermediate–Advanced)
The aim of these courses is to help students improve their Japanese reading, listening, and writing ability. These include advanced classes such as academic Japanese. Students will be assigned to classes based on their level of proficiency according to the results of a placement test.

(d) Electives
Students may, with the permission of the individual instructor, take other courses offered by the College of Japanese Language and Culture as well as other colleges on campus. However, only classes offered in Japanese will count towards the program-completion requirements.

② Program-completion requirements and certificates
A certificate of completion will be given to students who have satisfied the following two criteria.
・ taken a total of 300 or more credit hours from the courses in (a), (b), (c) and (d),
・ submitted a final thesis (research paper or research note).



Number of credit hours

	Course	No. of hours (Fall)	No. of hours (Spring)	TOTAL
(a)	Special Studies in Japanese and Japanese Culture I	15		15
	Special Studies in Japanese and Japanese Culture II		90	90
	Experiment Fieldwork in Japanese and Japanese Culture	15		15
	Independent Study in Japanese and Japanese Culture	15		15
(b) **	Geography of Japan	15		15
	Japanese History		15	15
	Japanese Custom	15		15
	Japanese Politics and Society		15	15
	Japanese Literature	15		15
	Japanese Language and Cultural Transmission I	15		15
	Japanese Language and Cultural Transmission II		15	15
	Japanese Language and Cultural Transmission III	15		15
	Language Lifestyle of the Japanese	15		15
(c)	Japanese (Intermediate–Advanced)			*
(d)	Electives			*

* Number of credit hours will depend on the courses chosen by each program participant.
** Some of these courses are not offered every year.

(4) Advisor system

① Faculty advisors

Name	Affiliation	Position	Area of specialisation
TAKEZAWA Koichi	Japanese Language and Culture	Professor Dean of the College	Linguistics
SAWADA Hiroko	Japanese Language and Culture	Associate Professor	Japanese Linguistics
KIYOTO Noriko	Japanese Language and Culture	Professor	Japanese Literature
ONO Masaki	Japanese Language and Culture	Professor	Japanese Linguistics

② A faculty advisor and an associate faculty advisor will be assigned to each student from the above list, to provide him/her with personalized guidance.

③ An undergraduate student from the College of Japanese Language and Culture will be assigned to each international student as a tutor, to assist with his/her studies and lifestyle needs.

④ For the final thesis, each student will be assigned an academic advisor (in addition to the faculty advisors described above), as well as a thesis tutor (a graduate student). Assignments will be based on the student's topic of interest.

(5) Field trips, special events, etc.

① Special events

- orientation for Japanese Studies international students (October)
- orientation for government-sponsored international students (October)
- party for international students, hosted by the university president (October)
- welcome party for Japanese Studies international students (November)
- final thesis topic presentations (December)
- final thesis mid-term presentations (April)
- final thesis presentations (July)
- Closing Ceremony (September)



② Field trips

Field trip/fieldwork for the course Japanese Geography (Mt.Tsukuba/Tsuchiura city; November)

(6) Credits and credit transfer

Official credits will not be granted. However, a certificate listing the courses completed, number of credit hours, final grade, and standard for evaluation will be issued. Decisions regarding the transfer of credits will be made according to the criteria of the student's home university after his/her return.

(7) Qualifications and conditions for applicants

Applicants to the Japan Studies Program must satisfy the following conditions.

① Qualifications

Applicants must, at the time of arrival in Japan, be enrolled in an overseas (non-Japanese) university in a faculty or department that offers studies related to Japanese language and culture. First-year students are not eligible to apply.

② Japanese language proficiency

Applicants must be able to understand lectures, read reference materials, write papers, and make oral presentations in Japanese. Applicants should have a level of Japanese proficiency equivalent to or higher than Level 2 of the Japanese Language Proficiency Test.

◇ Housing

All applicants are eligible to live in the student residence hall for single type rooms at the University of Tsukuba. Alternatively, students can rent privately-owned apartments off campus.

◇ Follow-up for the students who have completed the course

We publish the "Nikkensei E-Newsletter" annually and email it to all of the students who have completed the program. We also keep in contact with them via our website and Facebook account.

◇ Contact Information

For information on program content, contact the College of Japanese Language and Culture. For information on applications, contact the Division of Student Exchange, Department of Student Affairs.

・ TAKEZAWA Koichi,
Dean of the College of Japanese Language and Culture
Address: University of Tsukuba
1-1-1 Tennodai, Tsukuba, Ibaraki 305-8572
JAPAN
Phone:+81-(0)29-853-6608 Fax:+81-(0)29-853-6839
E-mail(Faculty advisor): kiyoto.noriko.fn@u.tsukuba.ac.jp
http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/
http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/nikkensei.html

・ YANAGITA Namiko,
Head, Department of Student Affairs,
Division of Student Exchange
Address: University of Tsukuba
1-1-1 Tennodai, Tsukuba, Ibaraki 305-8577
JAPAN
Phone:+81-(0)29-853-6090 Fax:+81-(0)29-853-6204
E-mail: isc-short-term@un.tsukuba.ac.jp



上越教育大学（新潟県）

JUEN Joetsu University of EducatioN

留学生一人ひとりのニーズを尊重しながら，日本語及び日本文化に関し，体験を通して理解を深める。

■大学および上越市の紹介

① 大学の特色および概要

1)特徴と歴史

上越教育大学は，1978年10月に創設された大学です。

初等中等教育教員に高度の学習と研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院修士課程と初等中等教員を養成する学部を持ちます。学校教育に関する理論的・実践的な研究と教育実践の推進にあるため，理論的専門科目はもとより，各教科の実践的な実習科目にいたるまで開講されています。

加えて，2008年（平成20年）4月1日の教職大学院制度発足に合わせ，大学院学校教育研究科に，専門職学位課程（教職大学院）を設置しました。教職に関する精深な学識を身につけ，教育現場に生起する問題や事象について即時的に判断し，対応する力量を有する教育者を育成することを目的としています。

2)教員・学生数等（2015年5月現在）

教員数：152人

学生数：

学部学生　：683人

大学院学生：603人



［雪国・上越市］

② 国際交流の実績（2015年10月現在）

外国人留学生在籍者数：34名　（4か国）

交流協定校　　：11校　（7か国）

哈爾濱師範大学，北京師範大学，内蒙古民族大学（中国）

韓国教員大学校（韓国），

国立嘉義大学，国立新竹教育大学（台湾），

アイオワ大学（アメリカ合衆国），

チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学（トルコ），

テキサス大学サンアントニオ校（アメリカ合衆国），

カレル大学（チェコ），ウエストミンスター・スクール（オーストラリア）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績（各年度10月現在）

2015年：留学生数34人，日本語・日本文化研修留学生2人

2014年：留学生数33人，日本語・日本文化研修留学生2人

2013年：留学生数30人，日本語・日本文化研修留学生3人

④ 上越市の特色

上越市は，歴史的文化財が豊富であるとともに自然環境にも恵まれ，雪国を代表する都市として有名です。

東京からは電車で2時間の距離に位置しています。

2015年の3月に北陸新幹線が開通しました。

■コースの概要

① コースの特色

・留学生一人ひとりのニーズを尊重しながら，日本語及び日本文化に関し，体験を通して理解を深める。

・留学生の興味・関心を考慮して，受入教員や関係教員の協力を得てカリキュラムを編成する。

② 受入定員

4名（大使館推薦2名，大学推薦2名）



正面から見た上越教育大学



③　受講希望者の資格，条件等

日本語・日本文化研修留学生となることを希望する者は，以下の条件を満たす者とします。

a)資格：来日時点で外国（日本以外）の大学の日本語・日本文化に関する教育を行なう学部・学科に在籍する者。ただし，1年生は対象外とする。

b)日本語能力：日本語能力試験N2，J-test実用日本語検定準B級を有する者

日本語による授業を理解し，参考文献を読み，レポートを書き，口頭発表を行う能力のある者。

④　達成目標

受入教員と日本語教員の指導のもとで進め一年間の研究成果を発表し，修了レポートを提出する。

⑤　研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日

修了式は9月を予定

⑥　研修科目の概要

・特別聴講学生として，以下の科目を一般学生とともに受講し，単位を取得することができます。

・入学後，以下の科目以外に希望する科目があれば，追加して受講することができます。

・受講科目については，受入教員との相談のもとで決定します。

世界を語ろう
オーストラリアと
クリスマス



1)　必須科目

前期・後期各期15週開講する。すべて日本語での授業である。

学校教育学部開設科目：

多文化比較研究A/多文化比較研究B/日本語・日本文化研究セミナーA/日本語・日本文化研究セミナーB/日本語・日本事情Ⅰ/日本語・日本事情Ⅱ/国際交流セミナー

日本語補講科目：

日本語レポート作成A/日本語レポート作成B/日本語研究発表A/日本語研究発表B/日本語文献講読A/日本語文献講読B

2)　見学，地域交流等の参加型科目

日本語・日本文化研究セミナー

受入教員と日本語教員の指導のもとに，各自で日本に関する研究課題を設定して，修了レポートを書き，発表する。

学校参観

本学の附属小学校・附属中学校を始めとして参観を実施する。

3)　その他の講義，選択科目等

前期・後期各期15週開講する。すべて日本語での授業である。

学校教育学部開設科目

日本事情：日本国憲法/人権・同和教育/人権と教育行政

日本文化：書の文化と表現/書写書道Ⅰ/書写書道Ⅱ

国際理解：国際交流体験演習

日本の文学：国文学講読B/国文学演習B

日本の地理・歴史：日本史研究A

日本の教育：国語学講読C/比較教育学/こどもの教育・保育概論/教科別開設科目

学校運営等：教育本質論/学校教育相談(理論)

地域との交流
伝統芸能
「春駒」



⑦　年間行事（予定）

4月　4月入学留学生オリエンテーション

留学生の花見

5月　語学教室

8月　留学生の日本文化・歴史体験及び地域交流に関する研修（1泊ﾂｱｰ）

短期外国人留学生成果発表会

9月　短期外国人留学生修了証書授与式

10月　10月入学留学生オリエンテーション

大学祭参加

11月　学長と入学留学生との懇談会

世界を語ろう

J.TEST実用日本語検定受験

留学生との意見交換会

留学生交通安全教室

2月　短期外国人留学生の附属学校授業参観

留学生スキーのつどい

3月　国際交流のつどい

留学生
の花見



⑧　指導体制

担当教員　… 留学生一人ひとりに，受入教員が研究指導・履修指導に当たります。

日本語指導 … 本学教員及び外部講師による日本語指導により，言語能力から生じる不安を取り除きます。

担当事務　… 研究連携課国際交流チームの職員が，日本での生活全般の相談に応じます。1名が個別に日常生活から専門領域の研修に関しサポートを行います。

⑨　コースの修了要件

以下の修了要件を満たした者には，修了証書を授与します。

1)　学部開講科目の中から半期12科目以上受講し，単位を取得すること

2)　受入教員と日本語教員の指導のもとで進めた一年間の研究成果を発表し，修了レポートを提出すること

短期留学生
成果発表会





■宿　舎

キャンパス内の緑に囲まれた一画に，留学生及び外国人研究者と日本人学生との混住方式による国際学生宿舎があります。

留学生用は単身用居室15室，夫婦用居室3室となっています。

設備

・単身用：ミニキッチン，トイレ，給湯設備，冷暖房用空調設備，シングルベット，片袖机，回転椅子，書棚，洋服ダンス，吊り書棚，食器棚，冷蔵庫，電気スタンド

・夫婦室：キッチン，ユニットバス，トイレ，給湯設備冷暖房用空調設備，シングルベット2，片袖机，回転椅子，書棚，応接テーブル，応接イス，食卓テーブル，食卓イス，食器棚，整理ダンス，玄関収納庫，洗濯機，乾燥機，冷蔵庫，電気スタンド，クローク



［国際学生宿舎 外観 ］



［国際学生宿舎 室内］

■修了生へのフォローアップ

○修了生へ，本学が毎月配信している「国際交流ひろば」や「留学生ネットワーク」をとおして情報提供を配信している。

雪国
スキー体験





■問い合わせ先

担当部署：上越教育大学研究連携課
国際交流チーム
住所：　〒943-8512
新潟県上越市山屋敷町１番地

TEL ： +81-25-521-3299
FAX ： +81-25-521-3621
E-mail：ryugaku@juen.ac.jp

上越教育大学ホームページ
http://www.juen.ac.jp/

日研生コースガイド
http://www.juen.ac.jp/050about/030internat/040recep/index.html



Joetsu University of Education (Niigata)

To provide overseas students with necessary training in Japanese language and culture, in accordance with each student's interests.

■Overview of the University and Joetsu City

①Outline and Overview of Joetsu University of Education

1) Characteristics and History

In order to meet contemporary needs, Joetsu University of Education was established in 1978 as a national university which aims to promote the theoretical and practical studies of school education. It consists of the Graduate School of Education, which mainly intends to provide advanced studies in school education for in-service teachers, and the College of Education, which offers undergraduate courses in teacher training.

In 2008, in accordance with the development of the Teaching Profession Graduate School System, the Professional Degree Program (Graduate School of Professional Teaching) was established in the Graduate School of Education.

This program is aim to deepen knowledge and learning relating to the teaching profession, to acquire ability to judge programs that happens teaching reality and deal with them promptly.

2) Number of Teachers and Students (as for May 2015)

Teachers:152

Students: Undergraduates: 683

Graduate: 603



[Myoko, Hiuchi, and Nanba Mountains viewed from the Sekikawa River during the winter season]

② Number of international exchange (as for October 2015)

Foreign students: 34 (4countries)

Exchange agreements with overseas universities:11(7countries)

③ Number of students in the Japanese Studies Program

year	total	Students in the Japanese Studies Program
2015	34	2
2014	33	2
2013	30	3

④ Features of Joetsu city

Joetsu city has numerous historical and cultural assets. Also,itis surrounded by impressive nature and is famous as one of Japan's snowy cities. Joetsu City is located on the west coast, 2 hours by train from Tokyo.

The Hokuriku shinkansen(bullet train)service has opened in March of 2015.

■Course Outline

①The Aim of the Program:

・To provide overseas students with necessary training in Japanese language and culture, in accordance with each student's interests.

・To provide curriculums with a cooperation of an academic advisor, considering each student's interests.

②Number of students to be accepted: 4

(students with embassy recommendation 2
students with university recommendation 2)



[The Front View of Joetsu University of Education]



③ Qualifications and conditions for applicants

a) Qualifications : Applicants must, at the time of arrival in Japan, be enrolled in a faculty or department offering studies in the Japanese language and Japanese culture.
First-year students at your university are not eligible to apply for this program.

b) Japanese language proficiency :
Applicants must be able to understand lectures, read reference materials,
write papers, and make oral presentations.
The Japanese Language Proficiency Test N2 or the Practical Japanese Test Pre-B level or above.

④ Goals and objectives :
To research with under the academic advisors and Japanese language teachers, present an academic research achievements and submit an academic report.

⑤ Period of study :
From October 1, 2016 through September 30, 2017
Completion ceremony is scheduled for September.

⑥ Contents of the Course :
・Overseas students, registered as special auditors, can attend the following classes and acquire course credits after fulfilling certain requirements.
・After enrollment, students can also take other lectures not listed below, with the professor's permission.

Let's talk about the world
Christmas in Australia



1) Required Programs :
Semesters of 15 weeks each year to be offered. Classes are all in Japanese.

Subjects of College of Education :
Multicultural comparative study A・B/Japanese and Japanese cultural studies Seminar A・B/Japanese and Japanese Society 1・2/Seminar in Basic Intercultural Communication

Japanese language Classes :
Report Writing in Japanese A・B /Japanese Research Announcement A・B/Japanese Literature Subscription A・B

2) Visit, subjects such as participatory local exchange :
Academic Research of Japanese and Japanese Culture, Multicultural comparative study
To set one's own research theme about Japanese language and culture under the guidance of research advisors and JSL advisors through the One-Year Japanese Studies Program. Students are required to write a thesis/report on their research studies and make a presentation.
School visit
Visiting the University Attached Elementary School and Attached Junior High School, and other local schools.

3) Other courses, electives, etc. :
Semesters of 15 weeks each year to be offered.
Classes are all in Japanese.
Subjects of College of Education: Japanese Society : The Constitution of Japan/Dowa education rights/Human Rights Education
Japanese Culture : Culture and Expressions of Calligraphy/transcribed calligraphy1・2
Intercultural Communication : Practical Seminar in Intercultural Communication
Japanese Literature :Japanese Literature Reading
Japanese Geography and History : Study of Japanese History A
Education in Japan : Comparative Educational Studies/Introduction to Child Education
School Subjects : Fundamental of Education, Counselling in school education



Cultural experience with community
Traditional performing arts
'Harukoma'

⑦Annual Events (Temporary)

April
Orientation for foreign students enrolled in April
Blossom viewing

May
Foreign language lessons by foreign students

August
Achievement presentation for short-term international students
Field trip for Japanese culture and history experience, cultural exchange (one-night tour)

September
Short-term foreign students Diploma Ceremony

October
Orientation for foreign students enrolled in October
University Festival

November
Lunch meeting with the President
Let's talk about "WORLD''
Taking the practical Japanese test:J.TEST
Exchanging views and ideas with foreign students
Traffic safety lessons for foreign students

February
Classroom visitations in the University attached Schools for short-term international students
Ski experience

March
International Gathering

Blossom viewing



⑧ Guidance

・**Academic advisor**:

Each international student has his/her own academic advisor who gives guidance on course selection and research instructions.

・**Japanese language instructors**:

Japanese language instructors will help your difficulty in language learning and improve your Japanese.

・**Advisors**:

The staff of the international exchange office will assist you in leading a comfortable learning and on-campus & off-campus life during your stay in Joetsu.

⑨ Completion of the Program

A student who completes the below completion requirements will be issued a completion certificate.

1)Students who complete more than 12 classes including required classes and electives will be issued with a certificate.

2)Present an academic research achievements and submit an academic report.

Student achievement short presentation





■Accommodation

The university has an international dormitory for foreign students, foreign researchers and Japanese students.
Fifteen one-bedroom rooms and three rooms for families are available for foreign students.

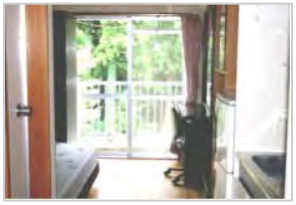
Equipment for single room :
kitchenette, toilet, hot water supply facilities, heating and cooling air conditioner, single bed, desk sleeve, swivel chair, bookcase, wardrobe, hanging bookshelf, cupboard, refrigerator and desk lamp.

Equipment for couple room :

Full kitchen, Unit bathroom, toilet, hot water supply facilities, heating and cooling air conditioner, 2 single beds, desk sleeve, swivel chair, bookcase, reception table and chair, dining table and chair, cupboard, wardrobe, entrance cabinet, washing machine, dryer, refrigerator, desk lamp and closet.



[International Dormitory outside]

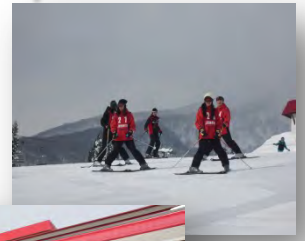


[Single room inside]

■Follow-up for graduates

We provide information to all students after completion, through a foreign student network and a monthly news letter.

Ski experience in Myoko Kogen





■ Contact

International Student Section of the Research Cooperation Division,
Joetsu University of Education
1, Yamayashiki-Machi, Joetsu-City, Niigata, Japan, 943-8512.
Phone: +81-25-521-3299
Fax: +81-25-521-3621
E-mail: ryugaku@juen.ac.jp

Joetsu University of Education Home page:
http://www.juen.ac.jp/

Japanese Students Course guide:
http://www.juen.ac.jp/050about/030internat/040recep/files/2014-0129-1500.pdf



お茶の水女子大学（東京都）

小規模大学の特性を生かし、教員１人当たりの学生数が少ない環境できめ細かな学習指導や支援を受け、日本語及び日本文化を学ぶことができます。授業以外の日本人学生との交流プログラムも充実しています。

■大学紹介

①大学の特色及び概要

1）特色と歴史

お茶の水女子大学は、1875年、国によって設立された日本最初の女性のための高等教育機関「東京女子師範学校」を前身としています。

すべての女性がその年齢・国籍等にかかわりなく、個々人の尊厳と権利を保障され、自由に己の資質能力を開発し、知的欲求の促すままに自己自身の学びを進化させることを支援することを使命としています。

日本における女性教育の先達であるお茶の水女子大学は、国際的状況の中で、政治、経済、学術、文化をはじめ各界のオピニオンリーダーとなりうる女性を育成するプログラムを世界に示しています。

本学では、小規模大学の特性を生かし、教員一人あたりの学生数が少ない環境で、きめ細やかな学習指導や支援を受けることができます。

2）学生数等（2015年5月1日現在）

学　部：文教育学部、理学部、生活科学部
大学院：人間文化創成科学研究科
教員数：192名
学生数：学部生　2,065名（ 71名）
　　大学院生　877名（146名）
（注）カッコ内は留学生数

② 国際交流の実績（2015年5月1日現在）

26か国から217名の学部生、大学院生、研究生等が在籍し、勉学に励んでいます。

大学間交流協定校数：65校

③留学生の受入数及び日本語・日本文化研修留学生（以下、日研生）の受入れ実績

2015年度：217名（ 7名）
2014年度：240名（ 9名）
2013年度：214名（13名）

（注）過去3年間、5月1日現在
（　）内は日研生で当該年度10月受入数

④東京都（文京区）の特色

文京区は、東京23区のほぼ中央に位置し、史跡や名所の多い歴史的な町であり、伝統的な大学や多くの学校のある町として知られています。一方、みどり豊かで落ちついた住環境は、都内でも屈指のものとされています。

■コースの概要

①コースの特色

母国で基本的な日本語能力を習得した学生を対象とし、将来大学院で学ぶことも視野に入れて、アカデミックな日本語力の強化を行います。日研生のみを対象としたオリエンテーション、週1回の特別クラス、及び指導教員による定期的な面談など、きめ細かい指導が特色です。また、他の学生との交流を促進するために、日本語・日本文化研修留学生だけのクラス編成を行わず、本学の外国人留学生を対象として開講する「外国人留学生特別科目」や日本人学生向けの科目も受講します。

②受け入れ定員

大使館推薦　6名
大学推薦　　6名

③受講希望者の資格・条件等

成績優秀で、原則として日本語能力試験N2以上を保持している者。

④達成目標

(1)修了レポート完成

週1回の特別クラスで、１年かけて自身が興味を持つテーマについて学び、修了レポートを作成します。アカデミックな日本語力を伸ばしながら、専門知識、論文の書き方などを学びます。

(2)日本人学生と一緒の授業の履修

「日本語」「日本文化」いずれのコース希望も受け入れますが、専門的な「日本文化」については、日本人学生向けの科目で学ぶことになります。（外国人留学生特別科目では、日本文化の基礎的な内容のみとなります。）留学生受入機関であるグローバル教育センターにおいて、留学生としての指導を受けながら、1年間の留学期間中に、日本人学生と共に学べるようになるのが目標です。留学生と日本人学生の両方を対象にした科目も開講されています。

また、日研生を受け入れる指導教員全員が、大学院日本語教育コースを担当する教員でもあり、文教育学部の専門科目も担当しています。将来、日本語教育分野での活躍を目指す学生にとっては、当該分野の専門的な指導を、指導教員から受けることも可能です。

⑤研修期間

2016年10月１日　～　2017年9月30日
※原則として9月上旬に行われる修了式以降に帰国する。

⑥研修科目の概要：前期(10月～3月）後期(4月～9月）それぞれ８科目相当の履修を義務づけています。

1）必修科目

週に一度日研生を対象としたクラスがあり、基本的なアカデミック・スタディ・スキルを学び、修了レポートの作成を目指します。

2）見学・交流などの参加型科目

留学生向けの企画として、留学生と日本人学生との交流合宿、国際交流研修旅行、国際交流のタベ、歌舞伎鑑賞教室、茶道教室、生け花教室、着付け教室などが実施されます。



国際学生宿舎

国際交流のタベ



国際交流研修旅行

３）その他の講義、選択科目

・外国人留学生特別科目

日本語ＩA/B～ⅤA/B：（各学期５科目）
1科目（2単位）当たり30時間
総合的な日本語力を養います。

日本事情ＩA/B ～ⅤA/B（各学期５科目）
1科目（2単位）当たり30時間
日本の歴史・社会・文化について学びます。

上記とは別に、特設日本語科目も開講されています。

・日本人学生対象の一般科目

前期（10月～3月）は、外国人留学生特別科目を中心に受講し、後期（4月～9月）は、各自の専門に応じて一般科目も受講することを基本とします。

⑦年間行事

＜2016年＞

10月　授業開始
日研生オリエンテーション
留学生オリエンテーション
11月　大学祭
12月　～～冬休み～～

＜2017年＞

1月　日研生修了レポート中間発表会（全員参加）
2月　後期授業終了（試験・レポート）
中間レポート提出
～～春休み～～
4月　授業開始・留学生オリエンテーション
6月　日研生修了レポート報告会（全員参加）
7月　日研生修了レポート提出
前期授業終了（試験・レポート）
8月　～～夏休み～～
9月　日研生修了式（必ず出席してください）
帰国

⑧指導体制

大学院人間文化創成科学研究科所属でグローバル教育センター員の下記教員４名が指導教員として指導に当たります。日研生の受け入れ指導教員全員が、大学院日本語教育コースを担当する教員でもあり、文教育学部の専門科目も担当しています。将来、日本語教育分野での活躍を目指す学生にとっては、当該分野の専門的な指導を、指導教員から受けることも可能です。

森山　新　教授
（日本語教育学）
西川　朋美　准教授
（第二言語習得、バイリンガリズム）
※加納　なおみ　助教
（リテラシー教育、バイリンガル教育）
本林　響子　助教
（言語政策、社会言語学）
※印が責任教員、（　）内は教員の専門分野

⑨コースの修了要件

1)毎週の日研生クラスへの出席
2)前期・後期それぞれにおける科目履修
3)修了レポートの提出

研修終了時に修了レポートを提出します。そのために指導教員による個別指導も行われます。

■宿　舎

①概要

名　　称：国際学生宿舎
所　在　地：東京都板橋区仲町
構　　造：鉄筋コンクリート５階(個室)
給　　食：なし
一ヶ月寮費：4,700円
修繕積立金：1,000円
その他光熱水料等：約8,000円
対 象 学生：学部新入生、学部在学生、
外国人留学生で単身者



国際学生宿舎

②日研生の入居状況

2015年度： 7名（全員入居）
2014年度： 9名（全員入居）
2013年度：13名（全員入居）

（注）宿舎は単身用です。家族と共に住みたい場合は、自身で民間アパート等を探していただきます。

■修了生へのフォローアップ

本学での日研生プログラム修了後、本学大学院(日本語教育、ジェンダー研究など)で学ぶために再来日する学生がほぼ毎年います。本学でさらに専門的な勉強をしようと、再来日を目指す修了生には帰国後も相談に乗るなど、積極的に支援しています。

■問い合わせ先

担当部署：お茶の水女子大学国際課
住所：112-8610　東京都文京区大塚2-1-1
TEL：＋81-3-5978-5143
FAX：＋81-3-5978-5951
E-mail：ryugai@cc.ocha.ac.jp

WEBサイト
・大学:
http://www.ocha.ac.jp/

・国際本部:
http://www.ocha.ac.jp/intl/index.html

・グローバル教育センター:
http://www.cf.ocha.ac.jp/gec/



OCHANOMIZU UNIVERSITY (TOKYO)

Welcome! Our program offers a variety of small-sized, intimate classes where international students can effectively learn the Japanese language and culture. We also have various extracurricular activities in which foreign students have the opportunity to interact with Japanese students.

■ Introduction

① Outlines

1) Characteristics and History

Since its founding in 1875, Ochanomizu University has been embracing the dual commitments of fulfilling its function as an advanced educational institution and improving the intellectual foundations of Japan.

Ochanomizu University supports all women, regardless of age or nationality, in protecting their individual dignity and rights, freely developing their unique qualities and capabilities, and pursuing personal learning so as to satisfy their intellectual appetites.

As a pioneer of women's education in Japan, Ochanomizu University offers programs that develops women capable of being opinion leaders in politics, economics, academia, culture, and other fields on the international stage.

One notable attribute of our program is small-sized intimate classes where international students can effectively learn the Japanese language and culture.

2) Number of Students and Others
(as of May 1, 2015)

・Faculties: Faculty of Letters and Education
Faculty of Science
Faculty of Human Life and Environmental Sciences

・Graduate Course: Graduate School of Humanities and Sciences
・Number of Faculty Members: 192
・Number of Students:
Undergraduate: 2,065 (*71)
Postgraduate: 877 (*146)
*Included number of international students

3) Number of Japanese Studies Program students:
AY2015: 7
AY2014: 9
AY2013: 13

4) The Bunkyo Ward is

・where Ochanomizu University is located. It is also geographically recognized as the heart of all 23 wards in Tokyo.

・well known for its historical sites, places of interest, universities with long-established traditions and many schools.

・a district that offers one of Tokyo's most peaceful environments with the beauty of nature.

②Actual Achievements for International Exchange

As of May 1, 2015, 217 international students are studying at Ochanomizu University. 7 of them are enrolled as Japanese Studies Students.

Number of partner universities: 65

■ Outline of the program

1. Name of the Program
Japanese Studies Program

2. Distinguishing Characteristics of the Program

Since Ochanomizu University is a small-sized university, we are able to provide foreign students with a friendly atmosphere that is suitable for studying the Japanese language and culture. In addition, foreign students will also have the opportunity to interact with Japanese students outside the classroom as well.

3. About the Program

① Number of students to be accepted
Students nominated by a Japanese Embassy: 6
Students nominated by Ochanomizu University: 6

②Language Requirement

Japanese Language Proficiency Test (JLPT) N2 or above.

③ Period of the Program
From October 1, 2016 to September 30, 2017*
*Students are required to attend a closing ceremony held in early September.

④ The Contents of the Program

Our program is primarily catered for students who have already mastered the basics of the Japanese language. The program begins with an orientation session and offers a weekly class, both of which are exclusive to the "Japanese Studies Students" (aka *Nikkensei*). The weekly class is called the *Nikkensei* class. Meetings with academic advisers are also offered on a regular basis, all of which are designed to help *Nikkensei* students achieve their specific learning goals within a given period. For other classes, *Nikkensei* and other foreign students together will take classes offered for the international students, which aims at providing opportunities to make new friends. Moreover, *Nikkensei* students at Ochanomizu University are, if they wish, allowed to attend regular lectures offered to Japanese students.

In the weekly *Nikkensei* classes, all *Nikkensei s*tudents will explore a topic of their own interest and will have the chance to enhance their academic Japanese skills. They will develop a better understanding of their topic of choice by writing their final papers.

Our program offers students a chance to choose between the Japanese language and Japanese culture as their main subjects. However, since our program offers only the basics of these subjects, students who are willing to learn more in-depth about Japanese culture will be allowed to take regular classes with Japanese students as well.

The Global Education Center will assist *Nikkensei* students with their special needs and also encourage them to study with Japanese students. Some courses are cross-listed for international and Japanese students. Upon completing the program, *Nikkensei* students are expected to have some experiences in studying with Japanese students in the same classroom.

All of the academic advisers in our *Nikkensei* program also teach classes at the graduate program, "Teaching Japanese as a Second Language (*Nihongo Kyoiku*)", and offer courses in the undergraduate program as well. Students who are interested in this area of expertise can receive guidance from the specialists.

⑤ Course requirements

1) Special Subjects for International Students

・Japanese Language: IA/B – VA/B
(5 courses per semester, 1 course/30 hours)
Students will develop their overall Japanese language proficiency.

・Japanese Culture: IA/B – VA/B
(5 courses per semester, 1 course/30 hours)
Students will learn the history, society and culture of Japan.

In addition, international students will also have the chance to take "Tokusetsu" or supplementary Japanese Language Courses.

As stated earlier, the weekly *Nikkensei* classes are offered to develop basic academic skills in Japanese. This class is mandatory, as it is specifically designed to help students write their final papers.

2) Regular Classes for Japanese Students

As a general rule, *Nikkensei* students are required to take subjects made exclusively for international students in the first semester (from October to March), and will be allowed to start taking classes of their own majors with Japanese students in the second semester (from April to September).

3) The Final Paper

Nikkensei students are required to submit a final paper at the end of the second semester to demonstrate their mastery of the program. Academic advisers will individually supervise each student.

⑥ Academic Advisers

Faculty members in the Graduate School of Humanities and Sciences/Global Education Center will individually guide the students through the program.

Professor, Shin MORIYAMA
(Teaching Japanese as a Second Language)
Associate Professor, Tomomi NISHIKAWA
(Second Language Acquisition, Bilingualism)
*Assistant Professor, Naomi KANO
(Literacy Studies, Bilingual Education)
Assistant Professor, Kyoko MOTOBAYASHI
(Language Policy, Sociolinguistics)

*Program Coordinator. The parentheses denote areas of specialization of each faculty member.

⑦ Trips and Events for International Students

We offer a variety of programs, such as International Night, International Exchange Study Trip, KABUKI (A traditional form of Japanese theater), SADO class (Traditional Tea Ceremony), IKEBANA class (Traditional Flower Arrangement), KITSUKE class (How to wear Kimono).



International Night



International Exchange Study Trip

⑧ Certification

Nikkensei students are required to submit their final papers and attend at least 8 classes per semester to complete this year-long program. They will receive a certificate upon completion of the program.

⑨ Credit Certification

Classes taken in this program can be certified as credits based on the evaluations of exams (including essays, theses, etc.)

■ **Housing:**

The Ochanomizu University International House in Itabashi-ku, Tokyo.

Construction: reinforced concrete, five stories (private rooms)
Meals: not provided
Rent fee: 4,700 yen a month
Public utility charges: approx 8,000 yen

Japanese undergraduate students and international students will stay here.



International Student House

(Note) Rooms are for single use. Students who wish to live with their families should find accommodations by themselves.

■ ***Nikkensei* Experiences and Beyond**

Several *Nikkensei* students have been accepted by Ochanomizu University as graduate students after completing the *Nikkensei* Program at our university. Through private consultation, the faculty and program staff will continue to support former *Nikkensei* students who wish to pursue their academic interest as graduate students at Ochanomizu University.

■ **Contact:**

International Affairs Division
Ochanomizu University
Address: 2-1-1 Otsuka, Bunkyo-ku, Tokyo 112-8610 Japan
Phone: +81-3-5978-5143
Fax: +81-3-5978-5951
E-mail: ryugai@cc.ocha.ac.jp

websites

・University:
http://www.ocha.ac.jp/

・International Affairs:
http://www.ocha.ac.jp/intl/index.html

・Global Education Center:
http://www.cf.ocha.ac.jp/gec/



東京外国語大学 (東京都)

多言語・多文化キャンパスと充実した日本語教育

■大学紹介

①大学の特色および概要

1) 特色と歴史：東京外国語大学は、世界諸地域の言語・文化・社会及び国際関係を専門とする大学として、日本の多くの大学の中で独自の地位を確立している。
　外国語学部、言語文化学部、国際社会学部、大学院総合国際学研究科（博士前期・後期課程）、留学生日本語教育センター、アジア・アフリカ言語文化研究所において、世界のほぼすべての地域にわたる言語学、語学、文学、歴史学、哲学・思想、文化人類学、社会学、政治学、経済学と幅広い分野の教育・研究が行われている。日本および日本語も、対象となる地域・言語の一つである。
　本学の直接の前身である東京外国語学校（明治32年(1899)創立）もまた、海外に活躍する多くの人材を養成し、異文化の受容と外国語教育の向上・普及に大きく貢献してきた。その源は安政年間の「蕃書調所」まで遡ることができる。
　戦後「東京外国語大学」として新たに発足して以来、本学は「世界の言語とそれを基底とする文化一般につき、理論と実際にわたり研究教授し、国際的な活動をするために必要な高い教養を与え、言語を通して世界の諸地域に関する理解を深めることを目的とする。」の理念のもとに、国際社会の第一線で活躍する多数の有能な卒業生を社会に送り出している。
2) 教職員・学生数等（2015年5月1日現在）
学生数　外国語学部　663名
　　言語文化学部　1,510名
　　国際社会学部　1,530名
　　大学院博士前期課程　300名
　　大学院博士後期課程　221名
教職員数　345名

②国際交流の実績
本学の学生を世界に送り出すとともに、世界諸地域からの留学生を積極的に受け入れている。
・交流協定締結状況（2015年9月1日現在）
　56か国・2地域／152機関

③過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績
1980年に日本で最初に日研生を受け入れた実績を持つ。
2014年：留学生数　574人、日本語・日本文化研修留学生 24人
2013年：留学生数　524人、日本語・日本文化研修留学生 23人
2012年：留学生数　517人、日本語・日本文化研修留学生 22人

④地域の特色
東京西部の緑豊かな環境。新宿・渋谷へも電車で40分程度。

■コースの概要

①コースの特色
「多言語・多文化環境における学び」および「日本語・専門科目の充実」を特色とする。各自の専門と日本語のレベルに合わせて、コース内容が組み立てられる。「日本語」と「日本文化」の両コースを提供する。「日本語」では現代日本語意味論、日本語生成文法、対照言語学、第二言語習得研究等の科目を、「日本文化」では、現代日本社会文化論、近現代日本の文学と文化的社会的背景、クールジャパンを考える、アニメーション史から見るメディア産業の歴史等の科目を履修出来る。

②受入定員　　24名（大使館推薦17名、大学推薦7名）

③受講希望者の資格、条件等
日本での1年間の勉学・研修に支障のない日本語運用力を持つこと。日本語・日本文化にかかわる興味のあるテーマを定め、1年間の研修修了時にオリジナリティの高いレポートを執筆する意欲を持つこと。

④達成目標
入学時にプレイスされた日本語レベルより1段上のレベルを修了し、質の高い修了レポートを執筆する。

⑤研修期間
2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了発表会は7月末、修了式は9月初旬を予定

⑥研修科目の概要
授業は、秋学期・春学期各13週開講される。レポート執筆の仕上げ期間として夏学期も3週設定されている。日本語レベルに応じて「全学日本語プログラム」（全8レベル）で日本語を履修する。また、日研生プログラム独自の開講科目である「専門科目」を履修し、日本語・日本文化の研修に努める。修了要件は、各自の専門に応じて、1年間の研修の成果をレポートにまとめ、修了発表会にて口頭発表を行うことである。
　詳細は以下の通り。
1) 必須科目
・日本語：400～700レベルは総合日本語（日本語レベルにより週当たりの授業数が2～5と異なる）、および文章表現。
・専門科目：
　1. 修了レポート執筆を目標とした日本語・日本文化研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを、それぞれ秋学期、春学期、夏学期に履修
　2. 日本語と日本語教育研究、日本事情(歴史)、現代日本社会文化論の中から1科目選択
2) 見学・地域交流等の参加型科目
博物館見学、公立小学校・中学校訪問等の校外実習を随時実施する。
3) その他の講義、選択科目等
・日本語：技能別日本語(次項参照)
・専門科目：日本語・日本文化(特論) 全10科目の中から各自の専門分野および日本語レベルに合わせて選択し履修できる
・日本語力が高い（全学日本語プログラム600レベル以上）日研生は学部開講の授業科目も受講可能

【授業科目及び授業時間数】　日本語　　2015年度実績

授業科目				時間数		
				秋学期	春学期	計
全学日本語プログラム	日本語中級 400	中級総合日本語		150	150	300
		技能別日本語	文法	30	30	60
			読解	30	30	60
			聴解	30	30	60
			文章	30	30	60
			口頭	30	30	60
	日本語中上級 500	中上級総合日本語		150	150	300
		技能別日本語	文法	30	30	60
			読解	30	30	60
			聴解	30	30	60
			文章	30	30	60
			口頭	30	30	60
	日本語上級1 600	上級1総合日本語		90	90	180
		技能別日本語	文法	30	30	60
			読解	30	30	60
			聴解・時事	30	30	60
			文章	30	30	60
			口頭	30	30	60
	日本語上級2 700	上級2総合日本語		60	60	120
		技能別日本語	文法	30	30	60
			読解	30	30	60
			聴解・時事	30	30	60
			文章	30	30	60
			口頭	30	30	60
	日本語超級 800	技能別日本語	ドラマ	30	30	60
			時事	30	30	60
			ビジネス	30	30	60

⑦年間行事

12月 日本文化交流会（囲碁・将棋、生け花、着物、茶道等の体験）
2月 校外実地研修（過去の例：池坊お茶の水学院で生け花実習、ジブリ美術館、国立博物館・国立科学博物館・下町風俗資料館ツアー、等）
7月 修了発表会

⑧指導体制

1）プログラム実施委員：　菅長理恵（准教授）、 鈴木美加（准教授）、宮城徹（教授）、 小林幸江(教授)、春名展生(講師)、岡葉子(特任助教)

2）指導体制：　日研生は言語文化学部所属。指導教員（コースアドバイザー）および修了レポートのテーマ別指導教員による個別指導を実施、チューター制度あり。

⑨コースの修了要件

所定の科目を履修した上で、修了レポート・エッセイを提出し、口頭発表を行うこと。修了要件を満たしたものには修了証書を授与する。単位取得可能。成績証明書に基づく単位互換については出身大学の判断による。

■宿　舎

本学敷地内に国際交流会館を設置しているが、必ずしも入居できるとは限らない。

・過去３年間の日研生の宿舎入居状況（各年度10月現在）
2015年度　本学国際交流会館24名
2014年度　本学国際交流会館24名
2013年度　本学国際交流会館23名

■修了生へのフォローアップ

修了生データベースを現在構築中である。修了生は卒業後、就職・大学院進学が主である。大学院進学のために再来日する日研生も多い。

■問合せ先

(担当部署)

東京外国語大学留学生課

住所　〒183-8534
東京都府中市朝日町3-11-1
東京外国語大学留学生課

Tel　：+81-42-330-5184(直通)
Fax　：+81-42-330-5189
E-mail：ryugakuseika@tufs.ac.jp

留学生日本語教育センターのホームページアドレス
http://www.tufs.ac.jp/common/jlc

東京外国語大学のホームページアドレス
http://www.tufs.ac.jp

日研生





校外研修(上野博物館ツアー)の様子

スキー講習会の様子





Tokyo University of Foreign Studies
(Tokyo)

東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

Multi-lingual and Multi-cultural Campus & Japanese Language Education

■University Introduction

①Features and Overview

1) History and Identity

As an established institution specializing in international relations, world languages, culture, and society, Tokyo University of Foreign Studies is unique among many universities in Japan.

The Faculty of Foreign Studies, the School of Language and Culture Studies, the School of International and Area Studies, the Graduate School of Global Studies (Master's and Doctoral Programs), the Japanese Language Center for International Students, and the Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa (ILCAA) work hand in hand to realize a vast area of research specialization in a variety of fields including linguistics, languages, literature, history, philosophy, cultural anthropology, sociology, politics, and economics covering most parts of the world.

Tokyo School of Foreign Studies (established in 1899) is the University's direct predecessor. As a school of excellence, it had contributed in the training of many professionals who played an active role abroad and at the same time were the key players in the development of cross-cultural exchange and foreign language education in Japan. The university can even trace its roots back to the Ansei Era (1854-59)'s "Bansho-Shirabesho" or the branch of the government during the Edo Period, which dealt with Western learning and translation of diplomatic documents.

Undergoing new developments after World War II, the university's main goal has been to deepen understanding of foreign cultures, to offer a high level of training for international activities, and to teach both theory and practical research based on specialized knowledge of foreign languages and cultures.

Living up to its main educational philosophy, Tokyo University of Foreign Studies continues to produce highly qualified graduates with the abilities and skills necessary to be at the frontline of activities of the global community.

2) Number of Faculty Members and Students (as of May 1, 2015):

- Students

Faculty of Foreign Studies	663
School of Language and Culture Studies	1,510
School of International and Area Studies	1,530
Master's Program	300
Doctoral Program	221
- Faculty Members	345

② International Exchange Accomplishments

TUFS sends its students to universities and institutions located all over the world, and also actively receives international students.

On-going exchange programs (as of Sep 1, 2015) counts 152 universities and institutions from 56 countries and 2 regions.

③ Number of Admission to Japanese Studies Students Program and In-bound International Students in Past Three Years

In 1980, TUFS became the first university in Japan to admit students to Japanese Studies Students Program.

-AY 2014: 24 admitted to the program among 574 in-bound int'l students
-AY 2013: 23 admitted to the program among 524 in-bound int'l students
-AY 2012: 22 admitted to the program among 517 in-bound int'l students

④Location

TUFS is located in the green western part of Tokyo and has 40-minute access to Shibuya or Shinjuku by train.

■Program Outline

①Characteristics: The program is characterized by intensive learning of the Japanese language and culture as well as by the multilingual and multicultural learning environment. Both "Japanese Language Course" and "Japanese Culture Course" are offered to students which they can modify the course curriculum based on their specialization and level of proficiency in Japanese. In the former course, students may take Modern Japanese Semantics, Japanese Generative Grammar, Contrastive Linguistics, Second Language Acquisition, and so forth. In the latter course, they may take Socio-Cultural Studies of Contemporary Japan, Modern and Current Japanese Literature and its Cultural and Social Backgrounds, Cool Japan, History of Cartoon Films and Media Industries, and so forth.

②Max Number of Acceptable Students: 24
(17 by the Japanese embassy recommendation and
7 by the university recommendation)

③Qualifications & Conditions for the Participants: Applicants must have sufficient proficiency in the Japanese language to study and do research. They are also required to have the ability and desire to write an original paper on Japanese language or culture.

④The Final Objective: Students are required to complete and pass the Japanese language course that is one rank above the originally placed level and write research papers with quality.

⑤ Course period: Oct. 1, 2016 – Sep. 30, 2017
The research paper presentation is scheduled in the end of July. The program completion ceremony is scheduled in early September.

⑥Curriculum Outline:

Classes will be given for 13 weeks each in Fall and Spring semesters. To finish the research paper, summer classes also will be given for 3 weeks. "The Japanese Language Program of TUFS" offers up to 8 levels of Japanese language classes to international students in accordance with their proficiency. Students will take "Major Subjects" which are specially prepared for Japanese Studies Students to learn Japanese language and culture. Students are required to write research papers on their major and make oral presentations to complete the program.

1) Mandatory Subjects

- Japanese Language:

Students with Japanese level 400 to 700 must take "Integrated Japanese*" and "Japanese Writing".

*Number of classes per week ranges from 2 to 5 depending on their language ability.

- Major Subjects:

1. "Research on Japanese Language and Culture" I , II , III in fall, spring, and summer respectively to complete the research paper.

2. One subject out of "Studies in Japanese Language and Japanese Language Education", "Japanese Studies (History)", or "Socio-Cultural Studies of Contemporary Japan."

2) Participatory Learning

Off-campus learning program, such as visits to museums or local elementary and middle schools, will be scheduled as needed.

3) Lectures, Optional Subjects, etc.

・Japanese Language: "Skill-Specific Japanese" (see the table on right)

・Major Subject: Any of listed 10 subjects of CURRICULAUM GUIDEBOOK in accordance with individual specialization and level of Japanese proficiency

・Students who have decent Japanese language skills (level 600 or above) are allowed to attend undergraduate.

⑦Events:

December: Japan Culture Exchange Event
(Igo/Shogi, Ikebana, Kimono, Tea ceremony, etc.)

February: Field trip (Past trips: Ikebana at Ikenobo Ochanomizu Institute, Ghibli Museum and national museums in Ueno)

July: Oral presentation

⑧Steering committee

1) Program Committee Members: SUGANAGA Rie (Associate Professor), SUZUKI Mika (Associate Professor), MIYAGI Tsutomu (Professor), KOBAYASHI Yukie (Professor), HARUNA Nobuo (Lecturer), OKA Yoko (Specially Appointed Assistant Professor)

2) Advisory System

Japanese Studies Students are affiliated to the. School of Language and Culture. They will receive individual supervising from their Course Advisors and Subject Advisors for the course-completion report. Tutoring is also available.

【Actual number of class subjects and class hours】 JLP conducted in 2015

Class Subjects				hours		
				Fall Semester	Spring Semester	Total
Japanese Language Program	Intermediate Japanese 400	Intermediate Comprehensive Japanese		150	150	300
		Skill-specific Japanese	Grammar	30	30	60
			Reading	30	30	60
			Listening	30	30	60
			Writing	30	30	60
			Oral	30	30	60
	Upper Intermediate Japanese 500	Upper Intermediate Comprehensive Japanese		150	150	300
		Skill-specific Japanese	Grammar	30	30	60
			Reading	30	30	60
			Listening	30	30	60
			Writing	30	30	60
			Oral	30	30	60
	Advanced 1 Japanese 600	Advanced 1 Comprehensive Japanese		90	90	180
		Skill-specific Japanese	Grammar	30	30	60
			Reading	30	30	60
			Listening/ Current events	30	30	60
			Writing	30	30	60
			Oral	30	30	60
	Advanced 2 Japanese 700	Advanced 2 Comprehensive Japanese		60	60	120
		Skill-specific Japanese	Grammar	30	30	60
			Reading	30	30	60
			Listening/ Current events	30	30	60
			Writing	30	30	60
			Oral	30	30	60
	Highly Advanced Japanese 800	Skill-specific Japanese	Drama	30	30	60
			Current events	30	30	60
			Business	30	30	60

⑨Requirement for program completion and issuance of completion certificate:

In addition to completing all their course requirements, students must write research papers or essay, and make oral presentations of its content. Students who have completed all of these requirements will receive a program completion certificate. Credit certification and transfers are determined by the university in which the students enroll in their home countries.

■Dormitories

Although the university has International Residence for international students on campus, not everyone may be housed there.

・Japanese Studies Student resident numbers in the past three years (as of every October):

AY2015: 24 on-campus residents
AY2014: 24 on-campus residents
AY2013: 23 on-campus residents

■ Post-Program Follow-up

A database for the alumni is now being compiled. Many students who completed the program at TUFS come back to Japan to study at the graduate school.

■ Inquiries contact:

Student Exchange Division
Tokyo University of Foreign Studies
3-11-1 Asahi-cho, Fuchu-shi, Tokyo JAPAN
Postal code: 183-8534
Tel: +81-42-330-5184
Fax: +81-42-330-5189
E-mail: ryugakuseika@tufs.ac.jp

Japanese Language Center for International Students web:
http://www.tufs.ac.jp/common/jlc

TUFS web: http://www.tufs.ac.jp

2015 Japanese Studies students





Presentation



Japanese cultural experience



東京学芸大学 （東京都）

留学生対象の授業のほか，教育学，人文･社会科学，自然科学，芸術，スポーツなどの科目が受講でき，附属学校との交流授業，伝統芸能のワークショップなどを通して，日本の社会や文化を学ぶことができます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

東京学芸大学は，新宿から電車で30分ほどの東京都小金井市に位置しています。東京でありながら，緑豊かで静かな環境です。

東京学芸大学は1949年に4つの師範学校を統合して誕生し，全国の教育界に多くの人材を送り出してきました。

1988年，教員養成課程に加えて，新たに教養課程を設置し，教育以外の分野でも社会に貢献する幅広い人材の育成に努めています。

1996年，教科教育学を中心とする教育研究者養成を目的とした大学院連合学校教育学研究科（博士課程）を設置しました。

1998年，留学生に対する予備教育を含めた日本語・日本理解教育，修学上・生活上の指導・助言，日本語・日本文化研修留学生や教員研修留学生の研修プログラムなどの業務を行うため，留学生センターを設置しました。

② 国際交流の実績

（2015年10月1日現在）
海外の大学との協定： 60校
留学生数： 286名
（うち，日本語・日本文化研修留学生20名）
海外の協定校で学んでいる本学学生数：38名

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年度：留学生数373人，日本語･日本文化研修留学生20人
2014年度：留学生数394人，日本語･日本文化研修留学生21人
2013年度：留学生数395人，日本語･日本文化研修留学生21人

④ 地域の特色

小金井市は1958年10月に，東京都で10番目の市として誕生しました。都心から25Kmという位置にあり，人口10万あまりの緑ゆたかで快適な生活のできる町です。



調布航空宇宙センターにて

■コースの概要

① コースの特色

(1) 日本語
日本語レベルに応じて必要な科目を受講し，日本語能力を高めます。

(2) 日本理解
日本理解に関する科目として「日本理解」や一般学生との協働学習をおこなう「多文化共修科目」等を受講し，日本の文化・社会に対する理解を深めます。

(3) 専門研究
研修生の希望，個人研究テーマ，日本語能力等を考慮して指導教員が認めた専門科目（一般学生対象授業）を受講します。

(4) 文化交流
本学の学生や地域住民との交流を深め，地域の文化活動など交流の場に積極的に参加します。たとえば，附属小学校との交流，伝統芸能のワークショップなどを行っています。

(5) 個人研究
指導教員のもとで自分の研究テーマについて研究し，その成果を，研修修了時までにレポートにまとめます。

② 受入定員
25名（大使館推薦15名、大学推薦10名）

③ 受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験N2相当以上の能力があることが望ましいです。

④ 達成目標

日本語を使用して、専門分野の資料を読んだり、レポートを書いたり、発表をしたりすることができるようになることが達成目標です。また、日本の文化について広く理解することも目標としています。

⑤ 研修期間

2016年10月1日　～　2017年8月31日
第１学期　10月1日～3月31日
第２学期　 4月1日～8月31日

修了式は8月を予定

⑥ 研修科目の概要

1）必須科目

日研生特別演習Ⅰ（必修）‥‥15週　30時間
日研生特別演習Ⅱ（必修）‥‥15週　30時間

2）見学、地域交流等の参加型科目

日研生特別演習Ⅰ（必修）‥‥15週　30時間

3）　その他の講義、選択科目等

・日本語科目･･･各科目15週　30時間
日本語（会話・講読・作文・文法・漢字・発音など）
日本語特別演習（マンガで学ぶ日本語・時事日本語・ビジネス日本語・小説・プロジェクトなど）

・日本理解に関する科目（選択必修）･･･各科目15週　30時間
日本理解 A～H
多文化共修科目 A～D

・専門科目



附属小学校における交流

⑦ 年間行事の例

全学留学生対象のものも含め、教室での一般授業のほかに以下のような行事があります。

第１学期（秋学期：10月～2月）
- 防災館訪問
- 江戸東京たてもの園見学
- 附属小学校との交流授業
- バス旅行
- 文楽鑑賞教室
- 大相撲観戦
- 日本文化体験
- ジャパンセミナー（1～2回）

第２学期（春学期：4月～8月）
- 伝統文化ワークショップ（1～2回）
- 工場見学（1～2回）
- ジャパンセミナー（1～2回）



⑧ 指導体制

日研生は、留学生センターの所属となります。留学生センター所属の教員が指導教員として履修や研究の指導をします。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

研修を終え，その成果を指導教員が認めた留学生については，修了証書を授与します。

■宿　舎

入居する宿舎については，本学で割り当てを行います。渡日時に入居できる宿舎はすべて単身室です。家族連れでの留学の場合は民間アパートを探してください。

〇宿舎数
国際交流会館：単身室48室
東久留米国際学生宿舎：単身室46室
一橋大学国際学生宿舎：単身室72室

〇宿舎費・設備・通学時間等
国際交流会館単身室：5,900円/月
通学時間：徒歩10分
東久留米国際学生宿舎単身室：4,700円/月
通学時間：西武線約1時間
一橋大学国際学生宿舎：5,900円/月
通学時間：西武線約30分

＊上記金額には光熱水費等は含まれません。

〇宿舎の設備・備品
ベッド，机，椅子など

■修了生へのフォローアップ

フォローアップの実績

修了生が国費研究生としての留学などを希望する場合、日研生担当教員や元指導教員など留学生センター教員が相談に応じています。2015年度も3名の元日研生が国費研究留学生として本学に入学しています。
また、中国（北京）、韓国（ソウル）、タイ（バンコク）にて、修了生同窓会を開催しました。

東京学芸大学修了留学生ネットワーク
https://www.facebook.com/GisecTokyoGakugeiUniversity



和菓子ワークショップ

■問合せ先

担当課：東京学芸大学 学務部 学生課
留学生室 留学生支援係

住　所：〒184-8501
東京都小金井市貫井北町 4-1-1
TEL：　+81-42-329-7763
FAX：　+81-42-329-7765
E-mail：ryuugaku@u-gakugei.ac.jp

教員E-mail：yabe@u-gakugei.ac.jp

東京学芸大学留学生センター(GISEC)ホームページ
http://www.u-gakugei.ac.jp/~gisec

東京学芸大学ホームページ
http://www.u-gakugei.ac.jp

東京学芸大学日研生ホームページ
http://www.u-gakugei.ac.jp/~gisec/program01/index.html



東京学芸大学 （東京都）

Tokyo Gakugei University (TGU) offers a number of subjects available for Japanese Studies Students (Nikkensei). These include courses designed for international students, as well as other specialized subjects ranging from education, humanities, social science, natural science, arts, and physical education. Students will also be able to learn Japanese society and culture through various off-campus activities such as visiting affiliated schools and attending cultural events.

■University Overview

① Characteristics and History

TGU is located in Koganei-shi, 30 minutes by train from Shinjuku. Although the university is in Tokyo, it has an environment of lush greenery.

TGU is a university of education established in 1949 unifying four normal schools. It has produced many able educators nationwide.

In 1988, in addition to the teacher training courses, liberal arts courses were established in an attempt to train a wider range of students able to contribute to society, including in fields other than education.

In 1996, the United Graduate School of Education (doctoral course) was inaugurated with the aim of producing researchers in education, focusing on school education.

The International Student Exchange Center was established in 1998 to offer Japanese language and culture education, including preparatory language program, guidance on both daily and academic life in Japan, as well as Japan Studies Program and Teacher Training Program.

② International Exchanges

(as of Oct. 1, 2015)
Number of Institutions with exchange agreement: 60
Number of International Students: 286
(including 20 Japanese Studies Students)
Number of regular students studying at sister universities abroad: 38

③ Record of the number of international students and Japanese Studies Students (Nikkensei) accepted in the past three years

2015 : International Students 373, Nikkensei 20
2014 : International Students 394, Nikkensei 21
2013 : International Students 395, Nikkensei 21

④ Surroundings of the University

Koganei-shi was founded in 1958 as the tenth city in Tokyo.

The city is located at 25-kilometer from the center of Tokyo, with a population of about 100,000. Koganei-shi is a beautiful, comfortable city to live in.



At JAXA

■Outline of the Program

① Features of the course

(1) Japanese Language
To improve Japanese language ability, students are expected to attend Japanese language classes.
(2) Japanese Culture/Society
For deeper understanding of Japanese Culture and Society, students must complete a certain number of courses entitled “Japan Studies” “Cross-Cultural Understanding” and other courses conducted primarily in Japanese.
(3) Specialized Subject
Students with highly advanced Japanese language skills are allowed to take university’s regular undergraduate classes of which contents focus on Japanese cultural and social matters.
(4) Cultural Exchange
Students are expected to participate in various cultural exchange activities at TGU and events of local communities. For this purpose, TGU organizes many events, such as cultural exchange programs at TGU-affiliated primary schools and workshops of traditional performing arts of Japan.
(5) Individual Research Paper
By the time of completing the program, the students write a report of their individual study at TGU with the guidance of their academic advisor.

② Number of Students to be Accepted: 25

Embassy recommendation 15

University recommendation 10

③ Qualifications of Applicants

The applicants are expected to be capable of passing Japanese Language Proficiently Test, N2 or higher.

④ Goal and Objectives

By the end of the program, students are expected to be able to read articles in their specialized fields, write a report, and make a presentation in Japanese.

Students are also expected to develop broad understanding of Japanese culture.

⑤ Period

From October 1, 2016 to August 31, 2017
1st Semester October 1 – March 31
2nd Semester April 1 – August 31

The Closing Ceremony is scheduled in August.

⑥ Summary of Training Subjects

1) Compulsory Subjects
Nikkensei Tokubetsu Enshū Ⅰ (Compulsory)
·····15 weeks 30 hours
Nikkensei Tokubetsu Enshū Ⅱ (Compulsory)
·····15 weeks 30 hours

2) Participatory Subject
Nikkensei Tokubetsu Enshū Ⅰ (Compulsory)
·····15 weeks 30 hours

3) Other Subjects

Japanese Language ···· 15 weeks, 30 hours for each subject
Japanese (Conversation, Reading, Composition, Grammar, Kanji, Pronunciation, etc.)
Japanese Special Subjects (Manga, Current Japanese, Novels, Business Japanese, Project, etc.)

Japanese Culture/Society (Compulsory choice)
···· 15 weeks, 30 hours for each subject
Japan Studies A–H
Coeducation for cross-cultural understanding A–D

Other specialized subjects



Cultural exchange at an affiliated primary school

⑦ Examples of Events

1st Semester (Autumn Semester: October–February)
Visiting the Life Safety Learning Center
Visiting the Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum
Cultural exchanges at affiliated primary schools
Bus trip
Visiting *bunraku* puppet theatre
Watching sumō tournament
Workshops of Japanese traditional culture
Japan seminars

2nd Semester (Spring Semester: April–August)
Workshops of Japanese traditional culture
Excursions to factories
Japan seminars



⑧ System for guidance

Japanese studies students (Nikkennsei) are affiliated with the International Student Exchange Center. An academic advisor, who is a teaching staff affiliated with the center, will offer guidance for registration and research.

⑨ Certificate of Completion and Academic Records

When the completion of all requirements for the program is approved, students will receive a completion certificate signed by University President.

■Accommodations

1) International House (48 single rooms)
2) Higashi-Kurume International Student Dormitory (46 single rooms)
3) Hitotsubashi University International Student House for four national universities in western Tokyo (72 single rooms for TGU)

● Admission to university dormitories

October 2015:
Higashi-Kurume International Dormitory (20 students)

■ Follow-up of students who have completed the courses

Results of follow-up

If students who have completed the courses wish to study as a Japanese Government Scholarship Research Student, teaching staff at the International Student Exchange Center will conduct a consultation.

In 2015, three former Nikkensei entered TGU as Japanese Government Scholarship research students.

In addition, alumni reunion was held in China (Beijing), Korea (Seoul), and Thailand (Bangkok).

Facebook page : Tokyo Gakugei University Alumni Network of International Students
https://www.facebook.com/GisecTokyoGakugeiUniversity



Furoshiki workshop

■Contact Office

International Students Unit
Address:
International Students Office
Tokyo Gakugei University
4-1-1 Nukuikita-machi, Koganei-shi, Tokyo
184-8501 JAPAN
TEL: +81-42-329-7763
FAX: +81-42-329-7765
E-mail: ryuugaku@u-gakugei.ac.jp

TGU Int'l Student Exchange Center (GISEC) Website
http://www.u-gakugei.ac.jp/~gisec

TGU Website
http://www.u-gakugei.ac.jp

TGU Nikkensei Website
http://www.u-gakugei.ac.jp/~gisec/program01/index.html



一橋大学 （東京都）

日本語・日本文化はもちろん，学部ゼミナールで専門的に学べます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

長い歴史と伝統を誇る（1875年創立）、日本で最も古い『人文社会科学の総合大学』です。
伝統的な学問領域の研究だけでなく、新しい研究領域の開拓に取り組む教授陣を擁しています。
また、自然環境に恵まれた美しいキャンパスを有しています。

学生数 （2015年５月現在）

商学部	1,274名
経済学部	1,239名
法学部	790名
社会学部	1,083名
学部生合計	4,389名

商学研究科	307名
経済学研究科	225名
法学研究科	280名
社会学研究科	389名
言語社会研究科	244名
国際企業戦略研究科	313名
国際・公共政策教育部	119名
大学院生合計	1,877名

② 国際交流の実績

大学間交流協定数： 79（学術交流協定）
58（学生交流協定）※2015年５月現在

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生 732人、日本語・日本文化研修留学生 14人
2014年：留学生 727人、日本語・日本文化研修留学生 15人
2013年：留学生 689人、日本語・日本文化研修留学生 15人

④ 地域の特色

国立市（くにたちし）はヨーロッパの学園都市をモデルにしており、本学をはじめとして多くの学園が集まる美しい町です。

■コースの概要

① コースの特色

１．希望者は、正規課程向けの学部ゼミナールに参加できます。

２．日本または日系企業に就職するための準備として、キャリア支援室のサービスを受けられます。また、インターンシップに参加する機会もあります。

３．茶道、着物などの日本文化体験授業を実施予定です。

４．鎌倉探訪旅行を含んだ授業に参加することができます。

５．単位認定
全学共通教育科目・学部教育科目・国際交流科目の場合、各科目の合格要件を満たせば単位が認定されます。
成績はＡ～Ｄ（合格）、又はＦ（不合格）で評価されます。

② 受入定員

15名（大使館推薦10名、大学推薦５名）



図書館前にて

③　受講希望者の資格、条件等

日本語力上級レベルで、大学学部３・４年次に在籍する学生を対象とします（日本語能力試験１級（Ｎ１）レベル相当以上）。
社会科学の基礎知識を持つ留学生にとって、日本語・日本文化だけでなく、幅広い知識が修得できるプログラムです。

④　達成目標

15,000字程度の修了レポートを執筆し、その内容についてプレゼンテーションを行うこと。

⑤　研修期間

2016年９月29日　～　2017年９月末
修了式は７月を予定（2015年は７月）

⑥　研修科目の概要

１．Special Seminar on Japanese Language and Culture(日研生ゼミナール)(必須)

２．日本語（選択、レベル別）

３．全学共通教育科目、学部教育科目、国際交流科目（選択）

４．学部ゼミナール（選択）

※注：

１．は主に日研生を対象とした授業。

２．３．４.は正規課程の学生とともに受講する授業。

シラバスはオンラインで公開されています。

https://mercas.hit-u.ac.jp

1)　必須科目

Special Seminar on Japanese Language and Culture（日研生ゼミナール）

2)　見学、地域交流等の参加型科目

Explore Japan Seminar、工場・企業等見学

3)　その他の講義、選択科目等

一般日本語科目：速読、学術文章表現、学術口頭表現、近代文語文講読等

専門日本語科目：経済の日本語上級、法の日本語、社会科学の日本語上級

日本事情科目：一般日本事情

全学共通教育科目：日本語研究入門、日本文化論、日本の言語文化、日本近代文学等

学部教育科目：社会と文化、日本社会史総論

国際交流科目：Japanese Corporate Management, Topics of Modern and Contemporary History, Japanese Art, etc.

⑦　年間行事

９月末　冬学期授業開始
10月　ウェルカムパーティー
２月　冬学期授業終了
４月　夏学期授業開始
７月末　夏学期授業終了
９月　修了レポート発表会



参加型授業科目



兼松講堂前にて

⑧　指導体制

国際教育センター日本語教育担当教員が責任をもって指導し、また、生活面は国際教育センター留学生相談部門教員が担当します。
なお、学部ゼミナールに所属し専門科目教員の指導を受けることができる場合もあります。
（受け入れ責任者　国際教育センター長）

⑨　コースの修了要件

必修科目合格をコースの修了要件とします。
また、留学期間終了後、受講科目についての成績評価表を、申請にもとづき本人宛てに送付します。



修了式にて

■宿　舎

日本語・日本文化研修留学生は大学宿舎に優先的に入居できます。日本人・留学生が一緒に生活しています。

国際学生宿舎

〒187-0045

東京都小平市学園西町1-29-1

（小平キャンパス内）



■修了生へのフォローアップ

日本語・日本文化研修留学生データベースに修了者の連絡先等を蓄積し、ネットワーク構築を図っています。
また、コース修了後でも、成績証明書等の発行が可能です。

■問合せ先

（担当部署）
一橋大学学務部国際課（学生交流係）
住所　〒１８６－８６０１
　　東京都国立市中２－１
TEL　＋８１－４２－５８０－８１６４（直通）
FAX　＋８１－４２－５８０－８１６７
E-mail　int-gs.g3@dm.hit-u.ac.jp

一橋大学国際教育センターホームページ
http://international.hit-u.ac.jp/index.html
一橋大学ホームページ
http://www.hit-u.ac.jp/index.html



日本探訪旅行



HITOTSUBASHI UNIVERSITY (Tokyo)

Enhanced Learning Experience with Seminar-Style Classes and Japanese Language and Culture

■Overview of the University

① Feature and History

Hitotsubashi University (founded in 1875) is the oldest university in Japan to specialize exclusively in the humanities and social sciences.
Hitotsubashi has been at the forefront of Japan's economic and social progress. It has become the country's premier institution for education and research in the social sciences and has always maintained its emphasis on practical learning.

Number of Students (as of May, 2015)

<Undergraduate>	
Commerce and Management	1,274
Economics	1,239
Law	790
Social Sciences	1,083
(Total)	4,389

<Graduate>	
Commerce and Management	307
Economics	225
Law	280
Social Sciences	389
Language and Society	244
International Corporate Strategy	313
International and Public Policy	119
(Total)	1,877

② International Exchange and Cooperation

Number of Agreements: 79(Academic Cooperation)
58(Student Exchange)

③ Number of international students and program participants in the last three years.

2015: Total 732, Program Participants 14
2014: Total 727, Program Participants 15
2013: Total 689, Program Participants 15

④ Location Information

Kunitachi is a beautiful city modeled on the academic cities of Europe, and is also home to many schools aside from Hitotsubashi University.

■Outline of the Program

① Program Feature

1. Students can participate in a seminar with degree-seeking students.

2. The Career Support Office provides services and resources to help you to prepare to work in Japan/Japanese companies. Internship opportunities might be available.

3. Students can participate in Japanese cultural experience classes which offer learning opportunities such as tea ceremony and Kimono dress-up experience.

4. Students can join a class which includes the Explore Japan Trip to Kamakura to learn Japanese culture and history.

5. Credit recognition
For general education and undergraduate faculty courses, credits will be recognized if the requirements are met.
Academic performance is graded A to D (passing) and F (failure).

② Enrollment quota

15 (Embassy Recommendation: 10, University Recommendation: 5)



In front of the library

③ Qualifications and Conditions of Applicants

We accept only 3rd and 4th year undergraduate students and applicants must have an advanced level proficiency in the Japanese language (equivalent to N1[JLPT]).
International students who already possess basic knowledge in the social sciences will find this program more useful in helping them broaden their knowledge in the fields along with the Japanese language and Japanese culture.

④ Goal

To write a study report with around 15,000 characters in Japanese and give a presentation.

⑤ Program Period

29/SEP/2016(TBD) – 30/SEP/2017

⑥ Course Overview

1. Special Seminar on Japanese Language and Culture *(Compulsory)
2. Japanese Language Courses **(Elective)
3. General Education/Undergraduate Faculty Courses/Hitotsubashi University Global Education Program **(Elective)
4. Undergraduate Student Seminar in a selected field **(Optional)

* The course specifically offered to the program participants

** Courses and Classes with other Regular Students of the University

On-line syllabi are available at;

https://mercas.hit-u.ac.jp

1) Compulsory Course
Special Seminar on Japanese Language and Culture

2) Courses for Inter-Cultural Understanding;
Explore Japan Seminar (inter-cultural experience class),
Plant and company visit

3) Other Elective Classes
-General Japanese
Speed Reading, Advanced Reading, Writing, Speaking, Grammar, etc.

-Academic Japanese
Reading in Early Modern Japanese,
Japanese in Economics, Law and Social Sciences

-Japanese Affairs
General Information of Japan

-General Education
Introduction to the Study of the Japanese Language,
Japanese Culture, Language and Culture in Japan,
Japanese Modern Literature, etc.

-Undergraduate Faculty Courses
Society and Culture, Japanese Social History

- Hitotsubashi University Global Education Program (HGP)
Japanese Corporate Management,
Topics of Modern and Contemporary History,
Japanese Art, etc.

⑦ Annual Events

September: Start of 2nd Semester

October: Welcome Party

February: End of 2nd Semester

Spring: Start of 1st Semester

July: End of 1st Semester

September: Final Report Presentation



Seminar on Inter-cultural Experience



In front of the Kanematsu Auditorium

⑧ Teaching and Supporting Staff

Japanese language teachers from the Center for Global Education will be in charge of providing this well-organized program, while teachers from the International Student Advising Office will support them in more general aspects of their life in Hitotsubashi. Members in each faculty can also assist students with enrollment of seminars for undergraduate students.
The Director of the Center for Global Education is in charge of the Program.

⑨ Requirements for Course Completion

Completion requirement is to pass the compulsory course. After the end of the program, academic transcripts will be sent to each program participant upon application.



Completion ceremony

■Accommodation

Program participants can live in the Residence Hall Ikkyo-Ryo on Kodaira campus. Japanese and International students live together.

Residence Hall Ikkyo-Ryo (Kodaira campus)

1-29-1, Gakuen-Nichi machi, Kodaira, Tokyo, 187-0045



■Follow-Up for Alumni Students

The International Affairs Office is trying to build a database of graduated students and develop the alumni network.

We can also issue academic transcripts for students who already finished the program and returned to their home countries.

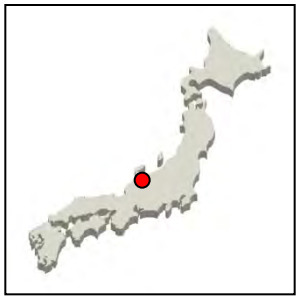
■Contact

(Prepared)
International Affairs Office,
Hitotsubashi University
Address: 2-1, Naka, Kunitachi, Tokyo, 186-8601
Phone +81 42-580-8164 (direct)
Email int-gs.g3@dm.hit-u.ac.jp

Website:
Center for Global Education
http://international.hit-u.ac.jp/en/index.html
Hitotsubashi University
http://www.hit-u.ac.jp/eng/



Explore Japan Trip



富山大学 (富山県)

一人ひとりの興味・関心を尊重しながら，日本語・日本文化に関する研修を行う。
①基礎的な日本語・日本文化学習の指導を受ける。
②日本語・日本文化に関する，より専門性の高い指導（学部の専門科目）を日本人の学生と一緒に受ける。
③各人のレベルや，①と②のバランスを考え，個別のカリキュラムを編成する。

■大学紹介

①大学の特色や概要など

本学は，2005年10月に富山大学（1949年設立），富山医科薬科大学（1975年設立）及び高岡短期大学（1983年設立）の3大学が統合された，幅広く豊かな教育・研究施設を有する国立の総合大学である。

2015年5月現在，学生数9，200人（学部生及び大学院生）である。また，学術交流協定を27か国（アメリカ合衆国，イギリス，エジプト・アラブ共和国，オーストラリア，タイ王国，大韓民国，中華人民共和国，マレイシア，ロシア連邦など）117機関と結び，積極的に留学生を迎え入れており，国際交流センターを中心に受け入れ体制の整備も進んでいる。

学　　部：人文学部，人間発達科学部，経済学部，理学部，医学部，薬学部，工学部，芸術文化学部
大学院研究科：人文科学研究科，人間発達科学研究科，経済学研究科，生命融合科学教育部，医学薬学教育部，理工学教育部，芸術文化学研究科

②国際交流の実績（2015年5月現在）

大学間交流協定数：11ヵ国・地域27機関

③過去3年間の留学生受入数及び日本語・日本文化研修留学生受入れ実績

2013年度　留学生数　336人，日研生数　3人
2014年度　留学生数　346人，日研生数　6人
2015年度　留学生数　319人，日研生数　6人

④富山県の特色

富山県は，3000m級の北アルプス連峰を望み，日本海に面する自然に恵まれたところである。地理的には日本のほぼ中央に位置し，四季の移り変わりがはっきりしており，冬の雪景色も美しい。世界遺産「五箇山」の集落，全国的に有名な民謡「越中おわら節」など興味深い文化を育む場所でもある。

富山大学のある富山市は県庁所在地であり，人口約42万人をかかえる近代的な都市である。2015年3月，北陸新幹線開業により，東京へは約2時間で移動が可能となった。また，市内には富山空港（東京まで約1時間）がある。水と空気と海産物がおいしく，文化的施設の整っている便利なところとして，全国的に住みやすい街の最上位にあげられている。



富山大学（五福キャンパス）

■コースの概要

①コースの特色

留学生を対象とした日本語・日本文化に関する授業科目と，人文学部，人間発達科学部，経済学部で開講されている幅広い日本語・日本文化に関する専門科目の中から，各自の興味とレベルにあわせて授業科目を履修する。
それと同時に，指導教員（人文学部又は人間発達科学部）からの個人指導を随時受ける。個人指導の中で各々に研究課題を定め，修了レポートにまとめる。

②受入定員

大使館推薦5人・大学推薦5人
（人文学部 5人，人間発達科学部5人）*各学部に所属する。

③受験希望者の資格、条件等

このコースを受講希望する者は，以下の要件を満たす者とする。
（学歴）
渡日及び帰国時点で外国（日本国以外）の大学の学部に在学し，日本語・日本文化に関する分野を専攻している者
（日本語能力）
国際交流基金及び日本国際教育支援協会による日本語能力試験N3以上の日本語能力を有することが望ましい。

④達成目標

・各自が立てたカリキュラムを履修し，研究計画を進め，日本語で修了レポートを完成させる。
・国際交流基金及び日本国際教育支援協会による日本語能力試験N1相当の日本語能力を身につける。

⑤研修期間

2016年10月 ～ 2017年9月*補講などにより8月に修了も可

⑥研修科目の概要

1）必須科目
本大学の日研生プログラムは，各々のレベルに沿ったカリキュラムを履修することになっているので，必須科目は設けていない。

2）見学，地域交流等の参加型科目

なし。（ただし，見学，地域交流等は後述の年間行事で体験することができる。

3）その他の講義、選択科目等

[a] 日本語・日本文化に関する授業科目

科目名	授業時間数	
	秋	春
日本語B	60	60
日本事情Ⅰ	30	－
日本事情Ⅱ	－	30
異文化理解	30	－

総合日本語コース（上級）			総合日本語コース（中級）		
科目名	授業時間数		科目名	授業時間数	
	秋	春		秋	春
読解Ca	30	30	文法・表現Ba	60	60
読解Cb	30	30	文法・表現Bb	60	60
文法C	30	30	文法・読解Ba	60	60
作文C	30	30	文法・読解Bb	60	60
聴解C	30	30	文法B	60	60
会話C	30	30	聴解B	30	30
漢字C	30	30	会話B	30	30
表現技術C	30	30	漢字B	30	30
日本文化C	30	30			

[b] 専門科目（一般学生用）

各学部で開講される幅広い専門科目より授業科目を選択する。以下に各学部の日本語・日本文化に関連する科目のある専門分野を紹介する。

＜人文学部＞

日本語・日本文化に関する分野；

人間学，言語学，日本語教育学，日本史，文化人類学，国際関係論，国際文化論，日本語学，日本文学など

（*詳しくは人文学部HP参照　富山大学HP＞人文学部）

＜人間発達科学部＞

日本語・日本文化に関する分野（学校教育が中心）；

教育心理学，教育学，福祉，スポーツ，環境科学，情報コミュニケーション学など

（*詳しくは人間発達科学部HP参照

富山大学HP＞人間発達科学部）

＜そ の 他＞

日本語・日本文化に関連のある経済学部授業（経済学，経営学，経営法学）や教養教育科目も履修できる。

＊ 専門科目及び「日本語B」「日本事情」「異文化理解」は，富山大学HP＞キャンパスライフ＞Webシラバス（授業案内）

総合日本語コースは，富山大学HP＞学部・大学院・施設＞国際交流センター

にシラバスを掲載。



日本事情I「書道」



日本事情I「華道」





実地見学旅行

⑦年間行事（一般留学生対象の行事も含む）

スタディ・エクスカーション （富山の文化施設見学）
実地見学旅行
（日本の文化や歴史を学ぶ機会。各学部主催）
日本人学生による支援交流活動
（個別学習支援・交流会・パーティーなど）
学生等による異文化交流会
（各国の研究者，留学生，国際交流関係者の集い）

この他にも地域の協力を得て，ホームステイ／ホームビジットプログラム，スキーツアー，おわら踊り・民謡・ゆかた着付・茶道体験，新春パーティー，お花見，バーベキュー大会，ボーリング大会などが実施されており，地域の人々との交流の機会も提供されている。

⑧指導体制

留学生の志望する専攻分野の指導教員と，学部の留学生担当教員及び国際交流センター教員が協力して，学業及び生活面の個別指導を行う。

⑨コースの修了要件、修了証書の発行

1） 所定の時間数（秋期・春期各240時間以上，合計480時間以上）を履修しているか，修了レポートを提出しているか等を当該組織が判定の上、修了証を交付する。
2） 受講した科目で出席・試験などの基準を満たした者には，修得した科目及び時間数を記した履修証明書を発行する。
3） 指導教員（人文学部又は人間発達科学部）による個人指導の中で各々の留学生の研究課題を定め，その結果を修了レポートにまとめ提出させ，修了論集として発行する。

（*過去の修了レポートの題目
富山大学HP＞人文学部＞国際交流＞短期留学生修了論集を参照）

■宿　舎

大学には，国際交流会館がありますが，部屋数に限りがあります。国際交流会館に入居できない場合は，大学が宿舎を紹介します。（大学の周辺にはアパートがたくさんあります。）

・ 国際交流会館（五福）の概要

部 屋 数 ： 単身室　34室
設備備品 ： 電磁調理器付キッチン，バス，トイレ，
エアコン，ベッド，机，いす，冷蔵庫など
その他設備 ： 居室でのインターネット接続が可能（有料）


春


夏

富山の四季


秋


冬

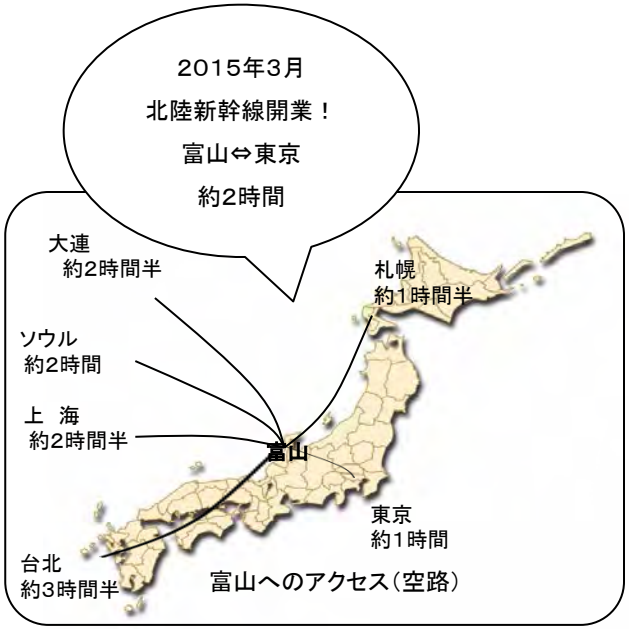
■修了生へのフォローアップ

・富山大学日研生　修了後のキャリアパス（一例）

☆母国の大学で日本語を教える。
☆JETプログラム国際交流員として日本で働く。
☆富山大学大学院やその他日本の大学院に進学する。

■問合せ先

担当部署　　富山大学学務部学生支援課
留学支援チーム
大学所在地　〒930−8555
富山県富山市五福3190
ＴＥＬ ： 076−445−6082
ＦＡＸ ： 076−445−6093
Eメール ： ryugaku@adm.u-toyama.ac.jp
ホームページ ： http://www.u-toyama.ac.jp



富山へのアクセス（空路）



UNIVERSITY OF TOYAMA （Toyama）

While respecting the interests and concerns of each individual student, this program offers an opportunity for in-country study of Japanese language and culture. After receiving instruction in basic Japanese language and culture, students progress to more advanced study of language and culture alongside their Japanese peers. The curriculum is tailored to the individual needs and level of each student as we try to strike a balance between foundation and advanced classes.

■University of Toyama Overview

①Characteristics and Outline

In October 2005, three universities (Toyama University (Established in 1949), Toyama Medical and Pharmaceutical University (Established in 1975) and Takaoka National College (Established in 1983)) were integrated into the University of Toyama, a national university with a wide range of education and research facilities.

As of May 2015, there were 9,200 students (Faculties and Graduate Schools). Academic exchange agreements have been drawn up with 117 universities and institutions in 27 countries (Australia, People's Republic of China, Arab Republic of Egypt, Republic of Korea, Malaysia, Russian Federation, Thailand, United Kingdom, USA, etc.). We are eager to welcome international students, and our Center for International Education and Research plays a key role in enabling us to do so.

Faculties: Faculty of Humanities,
Faculty of Human Development,
Faculty of Economics,
Faculty of Science,
Faculty of Medicine,
Faculty of Pharmaceutical Sciences,
Faculty of Engineering,
Faculty of Art and Design

Graduate schools: Graduate School of Humanities,
Graduate School of Human Development,
Graduate School of Economics,
Graduate School of Innovative Life Science,
Graduate School of Medicine and Pharmaceutical Sciences for Education,
Graduate School of Science and Engineering for Education
Graduate School of Art and Design

②International Exchange (as of May 2015)

University Exchange Relationships :
27 universities/institutions in 11 countries/regions

③The Number of International Students and Japanese Studies students

2013: Total 336, Program Participants 3
2014: Total 346, Program Participants 6
2015: Total 319, Program Participants 6

④Toyama Prefecture

Located near the geographic heart of Japan, Toyama prefecture is beautifully situated on the Japan Sea coast against the backdrop of the majestic Japan Alps. The prefecture has four distinct seasons, and the snow-covered Toyama winter landscape is particularly beautiful. Toyama abounds in interesting vestiges of old Japan including nearby Gokayama village with steep thatched-roof houses (designated a UNESCO World Heritage Site) and the folk song tradition of *Etchu Owara Bushi* which is known and associated with Toyama throughout Japan.

The university is located in Toyama City, the prefectural capital and a modern metropolis with a population of about 420,000. Hokuriku Shinkansen started operating from March 2015.It took about two hours between Tokyo and Toyama. Blessed with clean water and air, excellent seafood, and all manner of cultural amenities, Toyama is regarded as one of the most convenient and congenial places to live in all Japan.

■Course Outline

①Features

International students choose from basic course offerings relating to Japanese language and culture that are designed specifically for international students, and from the wide range of more specialized course offerings, pertaining to Japanese language and culture offered through the Faculty of Humanities, Human Development, and Economics according to individual interests and proficiency levels. International students are also paired with guidance counselors from the Faculty of Humanities and Human Development. These counselors give students individual instruction and help them select interesting research topics for their final reports.

②Maximum Number of Students

Ten students altogether, five by embassy recommendation and five by university recommendation. (Five students are admitted to the Faculty of Humanities and five to the Faculty of Human Development.)

③Qualifications and Requirements for Admission

Students wishing to enroll in this program must meet the following requirements.

(Academic Background)

Applicants must be an undergraduate at a foreign (non-Japanese) university majoring in a field related to the Japanese language or Japanese culture at the time of arriving in and leaving Japan.

(Japanese language proficiency)

Students possessing Japanese language proficiency equivalent to N3 of the Japanese Language Proficiency Test administered by the Japan Foundation and the Japan Student Services Organization is preferable.

④Achievement Objective

・Advance a research scheme according to personally designed curriculum, and complete a report in Japanese. ・Acquire equivalent language skill of N1of Japanese Language Proficiency Test.

⑤Term

From October 2016 to September 2017.
＊Can be completed in August by taking extra classes

⑥Outline of Subjects

① Subjects

[a] Subjects relating to Japanese language and culture

Subject	hours	
	Fall	Spring
Japanese B	60	60
Japanese Culture I	30	
Japanese Culture II		30
Intercultural Understanding	30	

General Japanese Language Course (Advanced Class)

Subject	hours	
	Fall	Spring
Reading Ca	30	30
Reading Cb	30	30
Grammar C	30	30
Composition C	30	30
Listening C	30	30
Conversation C	30	30
Kanji C	30	30
Expression Skills C	30	30
Japanese Culture C	30	30



Calligraphy

General Japanese Language Course (Intermediate Class)

Subject	hours	
	Fall	Spring
Grammar and Expression Ba	60	60
Grammar and Expression Bb	60	60
Grammar and Reading Ba	60	60
Grammar and Reading Bb	60	60
Grammar B	60	60
Listening B	30	30
Conversation B	30	30
Kanji B	30	30



Flower arranging

[b] Specialized Courses (classes for ordinary students)

Students choose from a wide range of specialized courses offered by each department. Here we provide an overview of some of the more specialized course offerings pertaining to Japanese language and culture that are available through each department.

＜Faculty of Humanities＞ Courses pertaining to Japanese language and culture include Human Sciences, Linguistics, Japanese as a Foreign Language, Japanese History, Cultural Anthropology, International Relations, International Cultural Studies, Japanese Language, and Japanese Literature. (Visit the Faculty of Humanities website for details at University of Toyama HP>Faculty of Humanities)

＜Faculty of Human Development＞ Courses pertaining to Japanese language and culture include Educational Psychology, Pedagogy, Welfare, Sports, Environmental Science, Information Communication Theory, etc (Visit the Faculty of Human Development website for details at University of Toyama HP>Faculty of Human Development).

＜Courses in Other Faculties＞ In addition, international students may also take classes pertaining to Japanese language and culture offered through the Faculty of Economics (Economics, Business Administration, and Business Law), and other liberal arts education subjects taught at the university.

＊ Syllabus for Specialized Courses, the *Japanese B*, the *Japanese Culture* and the *Intercultural Understanding* are available at

University of Toyama HP>International Students>Web syllabus (Only in Japanese)

The syllabus for the *General Japanese Language Course* is available at

University of Toyama HP>International Admissions>Center for International Education and Research

⑦Field Trips and Events

Many field trips and events are offered, including events organized and arranged especially for the international students. There are study trips to culturally significant Toyama sites, and trips providing opportunities to learn about Japanese culture and history sponsored by the relevant departments. There are many support and exchange activities organized by the Japanese students (small individual study groups, exchange get-togethers, and parties), including an always well-attended intercultural exchange party that provides an opportunity for researchers from around the globe and international students to get together .

Our students also have numerous opportunities to meet and interact with local people through home stay and home visit programs, and through the many cultural and recreational activities that are offered. These include ski tours, the famous Toyama summer *Owara* folk festival with singing and dancing and the opportunity to wear the informal summer *yukata*. Students can experience a genuine tea ceremony, New Year's parties, cherry-blossom viewing in the spring, barbecues, bowling, and many other activities.

⑧Counseling Support System

Guidance counselors in the student's area of study, in the department through which the class is offered, and in the Center for International Education and Research work together to provide
students with individual guidance regarding both academic and non-academic concerns.

⑨Certificate of Completion and Credit Transfer

1) After the judgment, students who complete the required 480 hours (240 hours each semester) and submit a final report are issued a Certificate of Completion.

2) Students who satisfy the attendance, testing, and other requirements of the University of Toyama program are issued a Certificate of Completion detailing the subjects and number of classes completed.

3) Guidance counselors with the Faculty of Humanities and Faculty of Human Development work together on a one-to-one basis with international students to help them select an interesting research topic to address in their final reports.

These final reports are compiled as a collection of final papers. The titles of former reports can be perused online at University of Toyama HP>Faculty of Humanities> International Exchange> Journals of Study by Short-term International Students

■Housing

University of Toyama has an accommodation facility for International students, International House on its campus In case the number of vacant rooms is not enough to accommodate all of prospective students, at the university Coop the list of real estate agents for the apartment houses and flats in the campus neighborhood is available, and also the university staff will assist students so that they may make a smooth transition.

The International House (Gofuku) has 34 individual rooms. The lodgings cost 5,900 yen monthly.
The room has a bathroom and a kitchen with a cooker and refrigerator. Moreover, the room has a heater/ air conditioner, bed, table, and chair. Each room also has a dedicated Internet connection. An application and monthly charge are required for the use.



Study trip



■Follow-up for the Graduates

・Examples of the Japanese Studies Program students after completion of the program

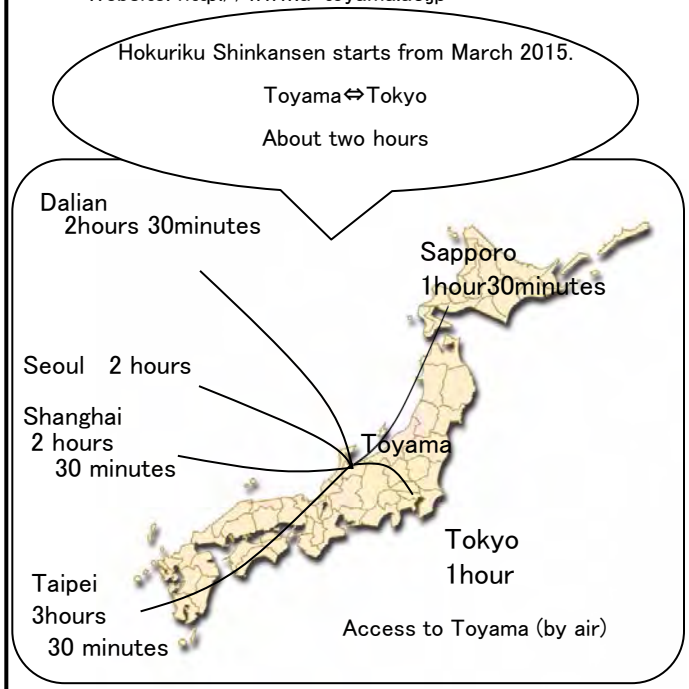
☆Teach Japanese in their country

☆Work as a coordinator for JET Program

☆Proceed study at Graduate School in University of Toyama or other Academic facility in Japan.

■For further information, please contact

Study-Abroad Support Team, Student Support Division, Student and Academic Affairs Department,
University of Toyama
3190 Gofuku, Toyama 930 – 8555, Japan
Tel: +81- 76 – 445 – 6082, Fax: +81- 76 – 445 – 6093
E-mail: ryugaku@adm.u-toyama.ac.jp
Website: http://www.u-toyama.ac.jp





金沢大学 （石川県）

日本社会･文化の研究、日本伝統文化体験、日本人学生との合同調査などの「日本探求」を通した実践的日本語力が習得できます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

金沢大学は，1862年の加賀藩種痘所を源流とし，1949年に新制の総合大学として設立されました。現在 ３学域，１６ 学類（(1) 人間社会学域：人文学類，法学類，経済学類，学校教育学類，地域創造学類，国際学類，(2) 理工学域： 数物科学類，物質化学類，機械工学類，電子情報学類，環境デザイン学類，自然システム学類，(3) 医薬保健学域： 医学類，薬学類，創薬科学類，保健学類）及び，５研究科(教育学研究科，人間社会環境研究科，自然科学研究科，医薬保健学総合研究科，法務研究科)から構成されている総合大学として，幅広い分野での教育・研究活動の拠点となっています。金沢大学は，全国の大学に先駆けて，1956年から外国の大学との交流協定を締結して，学術文化の国際交流並びに，留学生交流を推進してきました。

2) 教員・学生数等 （2015年5月1日現在）
【教員数】981名，【学生数】10,508名(学域・学部生：7,911名， 大学院生：2,329名，その他，非正規生：268名)

② 国際交流の実績 （2015年5月1日現在）
交流協定校数 ：206機関(40ヶ国，1地域)
大学間交流協定：143機関(35ヶ国，1地域)
部局間交流協定：63機関 (20ヶ国，1地域)
留学生在籍数 ：533名

日本語・日本文化研修生合計受け入れ数：279名（平成27年度受入れの21期生を含みます）

③ 過去３年間の日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

	受入れ実数
2015年度	18名（大使館推薦4名，大学推薦13名，私費1名）
2014年度	17名（大使館推薦4名，大学推薦11名，私費2名）
2013年度	19名（大使館推薦5名，大学推薦12名，私費2名）

④ 地域の特色

金沢市は古くからの城下町で，今まで大きな災害に遭わなかったため，昔の建物などが多く残っています。伝統工芸，古典芸能の盛んな，文化の香り高い日本的な雰囲気を有し，四季の移ろいを実感できる街です。

■コースの概要

① コースの特色

金沢大学日本語･日本文化研修プログラムは参加学生の日本語能力の向上，及び日本社会･文化に対する理解を促進することを目的とした全学習を日本語で行う1年間のプログラムです。

② 受入定員

15名（大使館推薦：5名、大学推薦：10名）

③ 受講希望者の資格、条件等

本プログラムの受講を出願する者は，以下の要件を満たす者とします。
日本語能力：日常生活に必要な日本語能力(日本語能力試験N2合格程度)を有し，平易な文章の読み書きができる者
所属学部・学科：海外の大学において，日本語・日本文化に関する分野を専攻している者
学年：海外の大学において3，4年次に在学中の者
学習姿勢：日本研究に対し意欲的であり，1年間積極的な姿勢で本コースの学習に専念する意志を有する者

④ 達成目標

修了時点で日本語能力検定N1レベルの日本語力，ならびに大学院進学に必要な研究能力の習得を目指します。

⑤ 研修期間

2016年10月1日～2017年8月31日
授業期間：
10月～2月(秋学期)，4月～7月(春学期)
修了研究(発表練習，レポート作成)期間：
8月1日～8月31日
修了式は8月末を予定

⑥ 研修科目の概要

本プログラムの構成は次のとおりです。なお，1科目は15回（1回90分）の講義から成ります。

必修授業科目	授業時間数		
	秋学期	春学期	合計
日本語	90	90	180
技能別日本語	30	30	60
漢字	30	30	60
日本文化演習Ⅰ	30	30	60
日本文化演習Ⅱ	30	30	60
日本文化体験実習	30	選択	30
調査実習	30	選択	30
修了研究演習	30	30	60
修了研究レポート及び研究発表	－	60	60
合計	300	300	600

＜必修科目＞

1)日本文化科目（各学期開講）
本プログラム専用の日本文化科目として日本文演習Ⅰ，Ⅱ及び日本文化体験実習の3科目を開講しています。これらの授業科目は日本社会・文化について総合的に学習しながら，直接日本文化に触れることにより，日本に対する自らの見方を形成する機会を与えることを目的としたものです。

(a) 日本文化演習Ⅰ
日本文化演習Ⅰでは，社会，生活，政治，経済，教育，ジェンダー，若者の文化等の観点から日本社会・文化について概観します。現代日本社会の有り方を考察しつつ，それを手掛かりに自国の社会や「自己」そのものの客観的な捉え方を試みます。学内外の専門家が日本文化の諸局面について講義を行う形で授業を構成しています。

(b) 日本文化演習Ⅱ
この科目は前述の日本文化演習Ⅰと連結する形で構成しています。日本文化演習Ⅰで扱った各テーマに関して，演習形式による発表・ディスカッションを行います。演習Ⅰがインプットであることに対し，演習Ⅱはアウトプットに相当することから，演習Ⅰで習得した知見をもとに，「自己」への理解，および日本社会の構造，諸問題についての理解を深めることを目的とします。

(c) 日本文化体験実習（秋学期必修科目，春学期選択科目）
金沢の豊かな伝統文化を直接体験することや実地見学を通して現代日本社会について学ぶことがこの授業の目的です。各分野の第一線で活躍している芸術家・伝統工芸職人に学びながら，その人生観や生き方に触れる貴重な機会を設けています。地域の協力の下，九谷焼体験，輪島塗・蒔絵体験，加賀友禅体験，紙漉き体験，金箔工芸体験，加賀料理体験，和菓子作り体験，茶道体験，坐禅体験，華道体験，琴弾き体験，能楽体験，俳句作り，古い町並み散策，学校訪問，工場見学等の体験を予定しています。

2)　調査実習（秋学期必修科目，春学期選択科目）
日本人学生と合同で少グループを形成し，比較文化的な観点から日本社会・文化についての合同調査・研究を行います。研究方法論を段階的に学びながら，その実践によって研究を進めていきます。実習や訓練を通して，研究方法論や日本語によるプレゼンテーションスキルの習得を目指します。また，日本人学生とのインタビュー調査や討論会なども行います。このような日本人学生との共同学習を通して，より日常的なレベルにおける日本社会に対する理解を深め，それと同時に自国文化の再確認を試みます。この授業は金沢大学の日本人学生との国際交流も主眼においた学生参加型授業です。

3) 修了研究演習（各学期開講）
この授業科目は各自の修了研究に対する個別指導を行うために開講しています。調査実習科目で学んだ研究方法論を応用して，個人の修了研究を段階的に進めながら，定期的に報告を行います。

4) 修了研究レポート及び研究発表（春学期開講）
参加学生は日本に関わるテーマについて，1年間に渡って研究を行い，プログラム終了時に15分間の口頭研究発表を行い，同テーマについてA4用紙15枚以上のレポートを作成し，提出しなければなりません。
大学院進学のステップとなるようなオリジナリティーのある卒業論文相当の研究が要求されます。なお，中間発表会を行うために4月初旬に合宿を行います。

5)　日本語科目（各学期5コマ必修）
日本語科目は，金沢大学留学生センター総合日本語プログラムで開講されている授業を履修し，それぞれのレベルに応じて，他の留学生と共に受講します。日本語・日本文化研修生はD～Fレベルのクラスを受講することが最も一般的です。メインコースに加えて，漢字及び技能別日本語の授業を履修します。
技能別日本語は読解，聴解，作文及びアカデミック・ライティング，口頭発表，日本人学生との討論等の科目が用意されており，その中で各学生のレベルに合ったものを1学期1つ，ないし2つ履修します。

＜選択科目＞

1) 正規授業科目の履修
それぞれの専攻に関連する関心のあるテーマについて，担当教員の許可を得て，日本人学生向けに開講している一般授業科目の履修が可能です。各学期の初めに一般授業科目履修ガイダンスを行います。

＜見学・地域交流等＞　（課外活動）

1) 日本文化体験及び実地見学旅行等の行事
日本文化体験実習の一環として実施する16種類の文化体験及び実地研修の他，プログラムの行事として和服体験，陶芸体験，キリコ祭り参加・能登巡り等を行います。また，他の留学生との合同企画としての研修旅行等にも参加できます。

2) 里親交流プログラム
本プログラムの一環として，１年間に渡って各学生が地域の里親家族と交流を行う「里親交流プログラム」を実施しています。このプログラムでは全体の行事として対面式，文化祭参加，日本料理教室，日帰りバス旅行，各国料理会などを行います。里親との交流を通じて，日本の家庭生活を直接体験しながら，日本人のものの見方・考え方を知ることができます。


加賀友禅体験


スキー研修



授業の様子



能登の祭り

⑦ 行事

10月　開講式
　　里親対面式
　　能登研修旅行

12月　里親とのバス旅行

2月　　修了研究構想発表会

4月　　中間発表合宿

8月　　修了研究発表会
　　能登の祭り参加
　　修了式

⑧ 指導体制

指導教員：
山本　洋　（国際機構留学生センター・准教授，
　　専門：歴史学，文学）
峯　正志　（国際機構留学生センター・教授，
　　専門：言語学）

本プログラムの参加学生は留学生センターに所属し，プログラム担当教員が指導教員として学生の学業･生活指導に当たります。研究指導，発表及びレポート作成指導を定期的に個別･全体の両レベルにおいて実施します。なお，様々な専攻の学生の受入を可能にするために，研究指導を行う際に，人間社会学域等のその専門に応じた教員の協力を得ることもあります。日本語担当教員及び日本文化科目の講義担当の学内教員の合計数は約30名にも上ります。

⑨ コースの修了要件

必修授業科目の履修・合格，並びにプログラム終了時の修了研究の口頭発表及びレポート提出が修了要件です。本研修プログラム修了者に修了証書を授与します。
また，履修した授業科目，成績評価及び単位数が記載された成績証明書を交付します。

■ 宿　舎

本プログラムの参加学生は以下のいずれかの宿舎に入居できます。
1）金沢大学国際交流会館
（キャンパス内にある金沢大学の留学生及び外国人研究者用の居住施設。単身者に限ります）
寄宿料，光熱水費：月額約３万円

2）金沢大学学生留学生宿舎「先魁」
（キャンパス内にある金沢大学の学生及び留学生及の居住施設。単身者に限ります）
寄宿料，光熱水費：月額約３万円

■修了生へのフォローアップ

本プログラムの修了生は，所属大学に戻り学位を取得後、例年半数程度が本学もしくは日本国内の他大学の大学院へ進学している。その他，母国で通訳や日系企業に就職するなど，ほとんどの修了生が日本とかかわりのある仕事に就いている。

◇ 問い合わせ先

金沢大学国際機構支援室留学生係
〒920-1192 石川県金沢市角間町
TEL：+81-76-264-5293
FAX：+81-76-234-4043
E-mail: st-exch@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学ホームページ
http://www.kanazawa-u.ac.jp/

金沢大学留学生センターホームページ
http://www-isc.ge.kanazawa-u.ac.jp/

日研ホームページ
http://www-isc.ge.kanazawa-u.ac.jp/jp/program/nikken/index.html

指導教員連絡先 E-mail:
yama@staff.kanazawa-u.ac.jp
mmine@staff.kanazawa-u.ac.jp





兼六園



KANAZAWA UNIVERSITY (ISHIKAWA PREFECTURE)

ACQUISITION OF JAPANESE LANGUAGE PROFICIENCY THROUGH INDIVIDUAL RESEARCH, JOINT STUDIES AND HANDS-ON EXPERIENCES WITH JAPANESE SOCIETY AND CULTURE

◇University Overview

① Outline of Kanazawa University

1) History and Features

Kanazawa University was founded in 1949 as one of the new national universities, by uniting and reorganizing eight of the high education institutions then in operation, including Kanazawa Medical College, which dates back to 1862.The university has continued to expand since, and now has a total of 3 colleges and 16 schools on its two campuses (Kakuma and Takaramachi) : (1) College of Human and Social Sciences consisting of the School of Humanities, School of Law, School of Economics, School of Teacher Education, School of Regional Development Studies and School of International Studies, (2) College of Science and Engineering consisting of the School of Mathematics and Physics, School of Chemistry, School of Mechanical Engineering, Scholl of Electrical and Computer Engineering, School of Environmental Design and School of Natural System, (3) College of Medical, Pharmaceutical and Human Sciences consisting of the School of Medicine, School of Pharmacy, School of Pharmaceutical Sciences and School of Health Sciences. It also has five graduate schools offering degrees in Education, Medical Science, Human and Socio-Environmental Studies, Natural Science and Technology and Law.

2) Number of Academic Staff and Students

(As of May 1, 2015)
【Number of Academic Staff】: 981
【Number of Students】: 10,508
(Undergraduate: 7,911, Graduate: 2,329, Other and Non-degree: 268)

② International Links (As of May 1, 2015)
Partner Institutions: 206 (40 countries, 1 region)
;University-Level: 143, Department-Level: 63,
Number of international students: 533

Total number of Japanese Language and Culture Program students accepted: 279 (including students of year 2015)

③ Number of Japanese Language and Culture Program students

	Accepted students
2015	18 (Embassy nominees:4、University nominees:13, Non-scholarship students:1)
2014	17 (Embassy nominees:4、University nominees:11, Non-scholarship students:2)
2013	19 (Embassy nominees:5、University nominees:12、Non-scholarship students:2)

④ Features of the city

Kanazawa is one of the largest cities on the Japan Sea coast, which still retains the calm atmosphere of an old castle town through its old architecture and rich traditional culture. It is well known for its traditional arts and crafts, classical performing arts and for the famous Japanese garden at Kenrokuen. The four seasons adorn Kanazawa, with the surrounding sea and mountains further emphasizing its natural beauty.

◇ Program Outline

Name of the Program: Japanese Language and Culture Program, Kanazawa University

① Unique aspects of the course

This program aims to provide students from overseas with an opportunity to improve their proficiency in Japanese language and to deepen their understanding of Japanese culture and society. It is a one year program conducted solely in Japanese.

② Number of Students to be accepted : 15
(Embassy nominees:5、University nominees:10)

③ Qualifications and Requirements for Application

Applicants must satisfy the following conditions:
(1) Applicants must have sufficient Japanese language ability to converse, read and write basic Japanese (a level equal to that of Japanese Language Proficiency Test Level N2).
(2) Applicants should be majoring in a field relevant to Japanese language or culture in their home university.
(3) Applicants must be a junior or a senior student at their home university.
(4) Applicants should be prepared to devote themselves to studies of this program throughout the year. Enthusiasm regarding research work and class participation is a must.

④ Aim of the Course

Students should strive to master their field of research and have an aptitude in Japanese equivalent to N1 at the completion of their stay.

⑤ Course Duration

From October 1, 2016 to August 31, 2017 (including the independent research period)
Semesters :
October – February (Autumn Semester)
April – July (Spring Semester)
Oral Presentation Practice and Report Writing Period :
August 1 – August 31

⑥ Outline of Courses Offered

(length of 1 course = 15 weeks, length of one lecture = 90minutes)

COMPULSORY COURSES	Class Hours		
	Autumn	Spring	Total
Japanese	90	90	180
Specific Skills in Japanese	30	30	60
Kanji	30	30	60
Japanese Culture Seminar I	30	30	60
Japanese Culture Seminar II	30	30	60
Workshop on Japanese Culture Seminar	30	Elective	30
Survey and Training Seminar	30	Elective	30
Completion Research Seminar	30	–	60
Completion Research Paper and Presentation	–	60	60
Total	300	300	600

[Compulsory Courses]

1) Japanese Culture Courses

(a) Japanese Culture Seminar Ⅰ (Autumn and Spring)

This course provides the students with a general view of Japanese society and culture, ranging from politics, economics, education and gender issues to the youth culture of today. Lessons take the form of lectures given by specialists from each respective field.

This course aims to not only provide students with firsthand knowledge of present day Japan, but also to have them attain an objective view of society at large which would be applicable to their own countries of origin and, also, to themselves as members of those societies.

Since each section consists of a presentation session followed by a debate, active class participation is a prerequisite.

(b) Japanese Culture Seminar Ⅱ (Autumn and Spring)

This course is linked with the Japanese Culture Seminar I. It consists of presentations and discussions centered around each of the themes presented by the previous seminars.

The goal of the course is to deepen students' understanding of the composition of Japanese society and the various social issues that affect it. Whereas the initial Culture classes are intended to impart the necessary information to the students, this second stage is geared towards solidifying this knowledge on a more personal basis. Namely, by shaping it through the own personal beliefs and cultural background of each student during discourse with other class members.

(c) Workshop in Japanese Culture
(Autumn: Compulsory, Spring: Elective)

This course provides students with 'hands-on' experiences with Japanese culture. Students will have the opportunity to learn from experts In each respective field, who have devoted their lives to the perfection of their skills, and to give the students a glimpse at the philosophy governing their lives. Through experiencing Kutani pottery, Makie art of Wajima lacquer ware, Kaga Yuzen silk-dyeing, Japanese paper craft, gold leaf, traditional Kaga cuisine and the making of Japanese rice cakes, tea ceremony, Ikebana, Zen meditation, Noh drama, Koto, Haiku poetry, visits to Japanese schools and ateliers etc. students will hopefully acquire a firsthand knowledge of the culture.

2) Survey and Training Seminar
(Autumn: Compulsory, Spring: Elective)

Students will conduct joint research relating to the Japanese language or culture, in mixed groups with Japanese students. Guidance is provided on research methodology and on improving presentation skills. Furthermore, interview surveys will be held with Japanese students leading up to discussions on current issues. Through joint surveys and research projects, this course aims to enhance the level of international exchange with the Japanese students.

3) Completion Research Seminar (Autumn and Spring)

Students will give presentations on a regular basis on their own research topics, in accordance with a set research plan enabling them to conduct their research step by step.

4) Completion Research Paper and Presentation (Spring only)

Students are required to conduct a research paper on a topic concerning Japan and to give a 15 minute-oral presentation along with submitting a 15 A-4 sized research paper on the same topic for the completion of the program. Guidance on research methodology will be given in the Survey and Training seminar in addition to individual advice given at the Completion Research seminar. The final oral presentation on students' respective topics will be held in August.

Furthermore, a two day camping trip will be held during early April where each student will give an interim report on their respective research.

5) Japanese Language Course (5 classes per week)

Students will take Japanese courses offered by the Integrated Japanese Language Program with other international students according to their levels. In most cases, students of this program are assigned to D, E or F levels and they are required to take comprehensive classes and Kanji class.

Also, they will choose one or two classes from skill-specific classes including reading, writing/academic writing, oral presentation and discussion.

[Elective Courses]

1) Courses offered by other faculties

In addition to the aforementioned compulsory courses, students are encouraged to take courses related to their field of research regularly offered by various faculties to the Japanese students. At the beginning of each semester guidance will be given on the registration procedures for these courses.



Festival in Noto



Class



KagaYuzensilk-dyeing



Skiing in Hakusan

[Field Trip and Cultural Exchange] (Extra-curricular)

1) Cultural Activities and Field Trips

In addition to cultural activities conducted as part of the Workshop in Japanese Culture, dressing up in kimono, Noh theater, calligraphy, pottery, participation in festivals, bus trips with Sato-oya families , etc. are arranged.

2) Exchange Activities with Sato-oya Families

Each Student will be introduced to a Japanese family who will serve as his/her 'Kanazawa Family' throughout the year. This program enables students to view Japanese lifestyle from an insider's perspective, and experience Japanese ways of thinking.

⑦ Events

October: Opening Ceremony
Meeting with Sato-oya,
Field Trip to Noto
December: Bus Trip with Sato-oya
February: Presentation of Research Plan
April: Interim Presentation Camp
August: Oral Presentation of Completion Research
Trip to Festivals in Noto
Closing Ceremony

⑧ Advisory System

Hiroshi Yamamoto

(Associate Professor, International Student Center, Organization of Global Affairs, specialty : History, literature)

Masashi Mine

(Professor, International Student Center, Organization of Global Affairs, specialty : Linguistics)

Supporting Academic Staff: 30 (Japanese teaching staff and members of other faculties giving lectures in Culture Seminars)

The chief coordinator of the program serves as the academic supervisor and provides the students with guidance and academic advice on carrying out their respective research, preparing for presentations and writing their reports.

Assistance of faculty members from the College of Human and Social Sciences might be obtained in giving academic advice on certain research topics. Individual guidance is also provided on selecting elective courses each semester.

The chief coordinator of the program can provide the students with advice on student life. Furthermore, they are able to use the counseling system available to all international students.

⑨ Conditions for Completion of the program, and Completion Certificates

In order to complete the program successfully, students must pass all compulsory courses, give a public oral presentation at the end of the program on their respective research topics, and submit a research paper on the same topic.
A completion certificate will be issued to those who have successfully fulfilled the aforementioned conditions. In addition to this certificate, students will be provided with an academic transcript in which their grades for Japanese Language classes and compulsory courses of the program and other courses taken will be recorded.

◇ Follow-up

Every year, after obtaining a degree at their home universities, about half of the students who have completed this program come back to Japan and enroll in a graduate school of Kanazawa University or other universities. Also, most of the other students find a job as a translator or as an employee in a Japanese company.

◇ Accommodation

Students will stay in one of the two accommodation facilities given below.

1) Kanazawa University International House
Located within the campus, accommodating international students and researchers studying at Kanazawa University (only single rooms are available).
Rent and Utility fees : Approx. ¥30,000

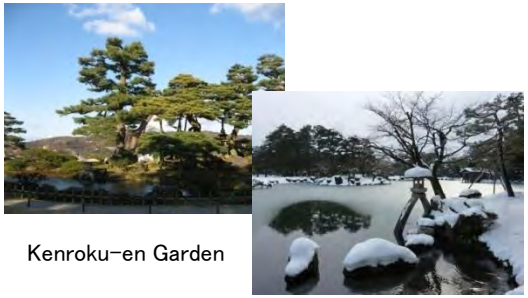
2) Kanazawa University Student/International Student Dormitory "SAKIGAKE"
Located within the campus, accommodating international students and researchers studying at Kanazawa University (only single rooms are available).
Rent and Utility fees : Approx. ¥30,000

◇ Contacts

Kanazawa University, International Student Section, Global Affairs Support Office
Address: Kakuma-machi, Kanazawa 920-1192, Japan
TEL : +81-76-264-5293
FAX : +81-76-234-4043
E-mail: st-exch@adm.kanazawa-u.ac.jp

Kanazawa University Homepage
http://www.kanazawa-u.ac.jp/e

Kanazawa University International Student Center Homepage
http://www-isc.ge.kanazawa-u.ac.jp/eg/index.html
NIKKEN Homepage
http://www-isc.ge.kanazawa-u.ac.jp/eg/program/nikken/index.html
E-mail Address of the Program Coordinators:
yama@staff.kanazawa-u.ac.jp
mmine@staff.kanazawa-u.ac.jp



Kenroku-en Garden



福井大学 （福井県）

充実した個別指導と学生のニーズに即したカリキュラムの作成

■大学紹介

① 大学の特色および概要

１）概要

福井大学は、教育学部、医学部、工学部、国際地域学部（2016年4月新設）の４学部、および大学院教育学研究科、大学院医学系研究科、大学院工学研究科の３研究科からなる。

２）教員・学生数（2015年5月時点）

学生数（正規生）：学部生　4,102名
大学院生　972名
教員数：　539名

② 国際交流の実績（2015年10月時点）

留学生在籍数　：175名（19カ国）
学術交流協定数：32（大学間）、47（部局間）



【文京キャンパス】

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年　留学生数　175人
日本語・日本文化研修留学生数　2人
2014年　留学生数　196人
日本語・日本文化研修留学生数　3人
2013年　留学生数　190人
日本語・日本文化研修留学生数　1人

④ 福井市の特色

福井市は、日本のほぼ中央に位置し、美しい自然と豊かな文化遺産に恵まれたところである。日本海に面し、古くは大陸諸国と都を結ぶ玄関口として重要な位置を占め、その長い歴史と伝統、そして四季折々の変化に富んだ美しい自然は、日本の典型的な風情を漂わせている。

■コースの概要

① コースの特色

・日本語能力を向上させ、日本文化について理解を深めることを目的とする。
・本学の他のクラスの留学生や日本人学生と同じように共通教育科目及び専門科目に出席し、単位の取得を目指す。
・各学期７科目以上受講すること。
・授業科目：日本語・日本文化研修留学生のための特別な授業科目はない。

② 受入定員

５名（大使館推薦３名、大学推薦２名）

③ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講希望するには、以下の条件を満たすことが望ましい。

１）日本語能力

・日本語能力検定試験Ｎ２以上

２）日本研究学習歴、専攻

・日本語・日本文化・教育などに関心があること。
・関心のある分野での研究学習歴があること。

④ 達成目標

コース修了時には、日本語能力検定試験N1程度の能力を有することを目指す。

⑤ 研修期間

2016年10月1日～2017年9月30日

⑥ 研修科目の概要
授業は原則として、前期・後期各15週開講する。以下の必須科目および選択科目から、各学期７科目以上受講すること。各科目の内容は変更となる場合がある。

１）必須科目

【日本事情Ａ（春期）】
（2単位/30時間）
日本社会の現状（生活、少子高齢化、等）について述べられた文章（日本語）を読み、その大意を理解し（読む力）、テーマについて意見を述べ（話す力）、かつ意見文を書く（書く力）という３つの能力の向上に努めることによって、日本社会に関する教養を深める。

【日本事情Ｂ（秋期）】
（2単位/30時間）
福井大学で学ぶ留学生が福井県に興味関心を持ち、福井県に関する知識教養を深める。そこで得た知見に基づいて、留学生の視点から福井県の魅力を発掘し、それを世界に向けて発信できるようになることを目標とする。

２）選択科目

【日本語Ａ（中級）】（1単位/30時間）
大学の専門科目の授業で要求されるレポート執筆に必要な語彙・表現を学び、論旨の明確な文章を書くことができるようになる。

【日本語Ｂ（中級）】（1単位/30時間）
日本語で十分にコミュニケーションがとれるように、日本語として自然な会話の流れを作ったり、場面に応じた適切な言い方ができたりするようにするとともに、コミュニケーションの前提にある、最低限必要な知識を得ることができる。

【日本語Ｃ（中級）】（1単位/30時間）
初級文型を習得した学習者を対象とする。初級で学んだ文型表現の様々なバリエーションを学び、具体的な状況を想定した会話練習を行うことで、場面に応じた適切な会話が出来るようになることを目標とする。

【日本語Ｄ（中級）】（1単位/30時間）
日本語で書かれたエッセイ、評論文など、内容のあるまとまった分量の読み物を読んで、読解する能力を養うことを目的とする。

【日本語Ｅ（上級）】（1単位/30時間）
日本語で書かれた著名な小説、エッセイ、評論文など、内容のあるまとまった分量の読み物を読んで、読解する能力を養うことを目的とする。

【日本語Ｆ（上級）】（1単位/30時間）
新聞記事や雑誌、ネット上の書き込み、ニュースなど、生の日本語教材の読解を行い、それについて自分の意見をまとめて書くあるいは話す訓練を行う。特に、予測して読む技術を習得し、効率よく読めるようになることを目標とする。

【日本語Ｇ（上級）】（1単位/30時間）
依頼、許可、謝罪、誘う、申し出、助言、不満、ほめるなど、それぞれの場面で、相手に応じた表現を使って目的を達成できるようになる。

【日本語Ｈ（上級）】（1単位/30時間）
講義やゼミなどで自分の意見、主張等をパワーポイントや図表を用いながら、わかりやすい日本語で論理的に示すことができる。

【応用日本語Ⅰ（上級）】（2単位/30時間）
読み物を通して、日本企業における職場のマナーやコミュニケーションを学ぶ。また、それを通して、現代日本の社会や文化を理解する視点を養う。同時に、語彙力、表現力の向上を図る。

【応用日本語Ⅱ（上級）】（2単位/30時間）
番組作成（ビデオまたは音声）を通じて、わかりやすい日本語で情報を発信したり、日本語による情報収集を行う技術を身につけたりする。また、自分の興味があることや独自の視点を掘り下げることにより、それらについて理解を深める。さらに、話し方や情報の出し方を客観視することにより、それらを改善していく。

【日本の文化】（2単位/30時間）
この授業では日本家庭にホームステイした留学生が巻き起こす出来事を描いたマンガを通して、日本人の考え方や季節感、現代日本の家族関係など、日本についての理解を深める。

【多文化コミュニケーションＡ】
【多文化コミュニケーションＢ】
【多文化コミュニケーションＣ】
（各2単位/30時間）
国境を越えて多面的な交流が進むグローバル化時代には、異なる価値観や世界観を互いに理解し、認め合い、互いが協力して諸問題を解決し、仕事を組み立てられる人材が求められる。このクラスでは、その基礎となる力を育む。

【共通教育科目・専門科目】
本人の希望により、その他の共通教育科目、および教育学部・工学部・国際地域学部の専門科目の中から適宜受講できる。

⑦ 年間行事

１月　留学生と教職員との交歓会
１～２月　留学生向けスキー旅行
８月　サマーキャンプ
１２月　京都見学旅行

その他、各種学生イベントを実施している。
また、地方自治体や民間団体主催の見学会・交流活動等も随時実施されている。



【スキー旅行】

⑧ 指導体制

１）プログラム実施機関
国際交流センター

２）指導体制
留学生一人一人に受入教員をつけ学業面の指導を行う。生活面については国際課が支援する。

⑨ コースの修了要件
必修科目２科目、選択科目８科目を含む２０単位以上を修得すること。

■宿　舎

留学生会館
〇部屋数　29室（単身用：25、夫婦用：2、家族用：2）
〇宿舎費月額
単身用：　5,900円、夫婦用：11,900円、家族用：14,200円
共益費：　3,000円
（水道光熱費、洗濯機使用料含まず）
（インターネット使用の場合別途契約）
〇宿舎設備・備品
ミニキッチン、ユニットバス、トイレ、机、イス、ベッド、冷蔵庫、本棚、スタンド、空調機等

国際交流学生宿舎
〇部屋数　209室（日本人学生との混住）
〇宿舎費月額
単身用のみ：5,700円（共益費込）
（水道・電気料、洗濯機使用料含まず）
（インターネット使用の場合別途契約）
〇宿舎設備・備品
ミニキッチン、トイレ、机、イス、ベッド、冷蔵庫、本棚、空調機等
〇共用設備
シャワー、洗濯機、乾燥機（各1回100円）

宿舎周辺の生活情報・通学時間
キャンパスまでは歩いて５分。周辺には、電車の駅や、スーパーマーケット等がある。
大学宿舎の入居期間は１年のみ。
空室が少ないため、希望者全員が入居できるとは限らない。
入居できない場合は民間アパートに入居。その費用については、各自負担。
（参考：市内のアパート家賃月額　30,000～40,000円）

■修了生へのフォローアップ

本学では、留学生同窓会をアジアを中心に現在までに１３支部を設立し、各国支部と連携している。
その活動を推進するために、国際交流センターネットワーク誌「こころねっと」を発行し、帰国留学生と情報交換を行っている。

■問合せ先

（担当部署）
福井大学学務部国際課
住所　〒９１０－８５０７
福井県福井市文京３丁目９番１号
TEL　＋81-776-27-8406　（直通）
FAX　＋81-776-27-9715
E-mail　grryugaku-k@ad.u-fukui.ac.jp

福井大学国際交流センターホームページ
http://ryugaku.isc.u-fukui.ac.jp/
福井大学ホームページ
http://www.u-fukui.ac.jp/



University of Fukui

Fruitful instruction and flexible curriculums that satisfy each student

■ Overview of University of Fukui

① Organization

University of Fukui has four faculties: the Faculty of Education, the Faculty of Medical Science, the Faculty of Engineering, and the Faculty of Global and Community Studies (launch in April 2016).
It also has three Graduate Schools: the Graduate School of Education, the Graduate School of Medical Sciences, and the Graduate School of Engineering

Number of Degree-Seeking Students and Academic Staff

(as of May 2015)

- Undergraduates: 4,102
- Graduates: 972
- Academic Staff: 539



[Bunkyo Campus]

② International Exchange (as of October 2015)

- International Students: 175 (19 countries)
- Academic Exchange Agreements: 32 (university level)
  47 (faculty level)

③ Number of International Students and Japanese Studies Students

2015	International Students	175
	Japanese Studies Students	2
2014	International Students	196
	Japanese Studies Students	3
2013	International Students	190
	Japanese Studies Students	1

④ Environmental Features

University of Fukui is located in the center of Fukui City, the biggest city in Fukui Prefecture. Fukui City is situated in the central part of Japan and is blessed with both natural beauty and rich cultural heritage. Facing the Sea of Japan, Fukui played an important role in ancient times as a gateway to and from continental Asian countries, and it still retains many relics that reflect its long history and tradition. Fukui is a beautiful place which changes its appearance in each season.

■ Outline of the Program

① Outline

・This program is designed to improve your proficiency in Japanese and to deepen your understanding of Japanese culture.
・You shall take courses in specialized and/or interdisciplinary fields on campus and gain credits.
・You shall take seven courses or more in each semester.
・We offer no course specially designed for the students of this program.

② Number of students to be accepted: 5

(3 Embassy recommended students and
2 University recommended students)

③ Qualifications of applicants for the program

It is expected that applicants meet the following conditions:

(1) Proficiency in Japanese Language
・Applicants shall have proficiency in Japanese equivalent to or above level 2 of the Japanese Language Proficiency Test.

(2) Academic Background, Majors
・Applicants shall have interests in Japanese language, culture, education, and other related fields of study.
・Applicants shall have research/study background in the fields of interest.

④ Program goal

It is expected that program participants have Japanese ability at about N1 level of the JLPT at the end of the program.

⑤ Period of the program

October 1, 2016 – September 30, 2017

⑥ Course outline
Each semester (Fall and Spring) offers 15-week courses. Program participants shall take seven courses or more from the following compulsory and elective courses in each semester. The course outlines are subject to change.

(1) Compulsory courses
Japanese Affairs A – Spring Semester
(2credits/30hours)
The course is designed to improve reading, speaking and writing skills in Japanese and to deepen students' understanding in Japanese society by reading about life in Japan, aging society, etc.

Japanese Affairs B – Fall Semester
(2credits/30hours)
The course is designed to draw students' interest in Fukui prefecture and extend their knowledge about it. By doing so, students will be able to find something attractive about Fukui from each student's point of view and send this message to the world.

(2) Elective courses
Japanese A (Intermediate) (1credits/30hours)
The objectives of this course are to acquire vocabulary and expressions necessary in writing academic reports and to be able to compose with clear points of argument.

Japanese B (Intermediate) (1credits/30hours)
The course is designed for students to be able to create smooth flow of conversation, use appropriate expression in each context, and acquire knowledge necessary in communicating in Japanese.

Japanese C (Intermediate) (1credits/30hours)
The course is designed for students who have leaned beginner level sentence patterns. The objective of the course is to learn variations of sentence patterns and apply them in conversation in different situations.

Japanese D (Intermediate) (1credits/30hours)
The focus of the course is to improve students' reading skills by reading substantial readings such essays and reviews.

Japanese E (Advanced) (1credits/30hours)
The focus of the course is to improve students' reading skills by reading substantial readings such as famous novels, essays, and reviews.

Japanese F (Advanced) (1credits/30hours)
In this course students will read materials used in the real world such as news and magazine articles, comments on the Internet, and TV news, and practice building their opinions and expressing them orally as well as in writing. At the end of the course, students are expected to acquire effective reading skills that allow them to predict what is written ahead while reading.

Japanese G (Advanced) (1credits/30hours)
The objective of the course is to be able to use appropriate expression in different situations such as requesting, giving approval, apologizing, inviting, offering, advising, complaining, and praising, depending on the person one is speaking to.

Japanese H (Advanced) (1redits/30hours)
The objectives of the course is to express students' opinion in Japanese in clear and logical manner while using PowerPoint and chart, etc.

Applied Japanese I (Advanced) (2credits/30hours)
Students will learn business manner and way of communication in Japanese companies through readings. By doing so they will not only cultivate their view point of understanding modern Japanese society and culture, but also improve their vocabulary and expression skills.

Applied Japanese II (Advanced) (2credits/30hours)
Students will learn how to gather information and send effective and clear message in Japanese through creating audio program (video or sound). Also through this activity, students will look more deeply at, and deepen their understanding of, their interest and view points.

Japanese Culture (2credits/30hours)
The teaching material for this course is a Japanese cartoon about stories of an international student who home stays in a Japanese family. Using this material, students will deepen their understanding in Japanese culture such as Japanese ways of thinking, sense of season, and relationship between family members.

Multicultural Communication A
Multicultural Communication B
Multicultural Communication C
(2credits each/30hours)
The globalized society seeks human resources who understand and respect cultural differences in values and world views, and cooperate each other to solve problems in their jobs. This course is designed to cultivate such competence and prepare students for the globalized society.

Interdisciplinary courses and specialized courses
You may take other interdisciplinary courses as well as specialized courses offered by the Faculty of Education, Faculty of Engineering, and Faculty of Global and Community Studies.

⑦ Tours, events, etc.

January　Get-together Party with University Faculty Members and Staff
January – February　Ski trip
August　Summer camp
December　Day trip to Kyoto

There are also various student-organized activities as well as other programs/events organized by the local government and volunteer groups.



[Ski trip]

⑧ Supervision

1) Program Committee
International Center

2) Supervision
A faculty member will be assigned to each student as academic advisor, while the staff in the International Affairs Division supports students in various aspects of their lives in Japan.

⑨ Completion of the Program

In order to complete the program you shall earn twenty or more credits, including the credits of two compulsory courses and eight selective courses.

■ Accommodations

Overseas Student House

○ Number of rooms: 29
(Single room: 25, Couple room: 2, Family room: 2)

○ Expense
- Monthly rent
Single room: 5,900 JPY, Couple room: 11,900 JPY,
Family room: 14,200 JPY
- Monthly administrative fee: 3,000 JPY
- Other expense: Use of washing machine, Utility, and Internet contract will be charged individually.

○ Facilities
Mini-kitchen, unit bath, toilet, desk, chair, bed, refrigerator, book shelf, air conditioner, etc.

UF Student Dormitory (for Japanese and International Students)

○ Number of rooms: 209

○ Monthly rent
Single room: 5,700 JPY (administrative fee included)
(Utility and use of washing machine excluded)
(Internet contract can be charged individually)

○ Facilities
Mini-kitchen, toilet, desk, chair, bed, refrigerator, shelf, clock air conditioner, etc.

Information for Daily Life

Overseas Student House and UF Student Dormitory are located within five-minute walk from the university campus.
There are a local train station and supermarket near the accommodation.
We cannot assure you the accommodation in the above facilities due to the limited number of rooms. The term of residence is limited to one year.
In case students are not provided with above rooms, they need to find an private apartment. Students are responsible for paying the apartment rent (approximate monthly rent is 30,000 to 40,000 JPY).

■ Follow-up for graduates

University of Fukui has established 13 Alumni Branches around the world to promote stronger alumni networks. The alumni magazine, *Kokoro-net*, is published annually to maintain and foster mutual interactions with UF graduates.

■ Contact

Address　: 3-9-1 Bunkyo, Fukui-shi
Fukui 910-8507, Japan
Department　: International Affairs Division
TEL　: +81-776-27-8406
FAX　: +81-776-27-9715
E-mail　: grryugaku-k@ad.u-fukui.ac.jp
International Center URL:
http://ryugaku.isc.u-fukui.ac.jp/
University URL: http://www.u-fukui.ac.jp



岐阜大学 （岐阜県）

岐阜大学

日本語をみがく秋学期、日本文化に親しみ論文に集中する春学期

■大学紹介

①　大学の特色および概要

●岐阜大学は、5学部、8大学院研究科、学内共同教育研究支援施設、全国共同利用施設、図書館、医学部附属病院などからなる総合大学です。本学は「大学院教育改革支援プログラム」「戦略的大学連携支援事業」に採択されるなど、広い分野にわたって質の高い教育・研究が行われています。

●岐阜大学のある岐阜市は、東京から約2時間（新幹線利用）、大阪や京都から約1時間（同）、名古屋から約20分という交通の便に恵まれた地方都市です。キャンパスのある柳戸地区は、岐阜駅からバスで約30分、自然豊かな田園地帯にあります。静かな環境に恵まれ、落ち着いた雰囲気の中で勉学に集中することができます。

●学部及び学生数等（平成27年10月現在）

〇学部＝教育学部・地域科学部・医学部・工学部・応用生物科学部

〇大学院＝教育学研究科・地域科学研究科・医学系研究科・工学研究科・応用生物科学研究科・連合農学研究科・連合獣医学研究科・連合創薬医療情報研究科

〇教員　850名

〇学生　学部生 5,695名 大学院生 1,558名
研究生・聴講生 137名 合計 7,390名

②　国際交流の実績

●現在、16か国46大学1機関と学術交流協定を結んでおり、活発な国際交流を行っています。

●留学生在籍数　350名（71%が大学院生、34か国1地域から）

●外国人研究者在籍数　24名

③　過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数 350人、日本語・日本文化研修留学生 10人
2014年：留学生数 326人、日本語・日本文化研修留学生 10人
2013年：留学生数 328人、日本語・日本文化研修留学生 10人

④　地域の特色

●岐阜県は、日本のちょうど中央にあります。北部には高い山々が連なり、南部には清らかな川が流れています。日本の美しい自然と古き良き文化が残っており、伝統と現代とが調和した生活が見られる地域です。織田信長が城を構えた地としても有名です。

●岐阜県には、高山・郡上など、全国的に有名な観光地があります。岐阜市でも、中央を流れる長良川では伝統的な鵜飼が行われ、そのほか多くの文化資源に恵まれています。

●岐阜市は、人口約40万人の中規模都市です。大都市より物価が安く、地域コミュニティー間の交流も活発なので、留学生活を送るのに適した地域です。



【浴衣体験】

■コースの概要

①　コースの特色

●日本語・日本文化について深く学ぶことを希望する、学部留学生（日本語・日本文化専攻）のための約1年間のコースです。「日本語」「日本文化」いずれの専攻も可能です。

●日本語能力のレベルに応じて、日本語クラスを受講することができます。そのため、段階的で効果的な日本語能力の向上が可能となっています。

●多彩な日本文化科目を開設しています。受講生の興味・関心に従ってこれらの科目を受講することになります。

●1年間（秋期・春期）で効果的な学習ができるよう、本コース受講生対象のクラスを設けています。

●能・狂言・歌舞伎・相撲の鑑賞、茶道実習、博物館見学などを行い、伝統文化に触れます。

●岐阜県内（郡上市・土岐市など）および近県へ数回、見学や実習の旅行に行きます。

●岐阜大学留学生対象の旅行にも参加することができます。

●日本人学生と交流するクラスも設置しています。また、日本人学生および学部留学生用の授業を履修することも可能です。

●日研生をサポートするチューターがいます。

●本コース修了後、日本の大学院に再留学する修了生も少なくありません。

●修了生の感想をぜひごらんください：
http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/voice/

②　受入定員

10名（大使館推薦5名、大学推薦5名）
※大使館推薦の学生は優先的に受け入れます。

③　受講希望者の資格、条件等

●在籍大学において日本語・日本文化を主専攻とする学部学生（2年生以上）であること。

●日本語能力試験N2合格以上、あるいはそれに相当する日本語力を有していること。



【大学全景】

④　達成目標
●日本語能力の向上を目指すとともに（日本語能力試験N1合格以上）、実体験を通して日本文化についての広い知識を学びます。
●修了論文作成を通して、研究および論文執筆の基礎を身につけます。

⑤　研修期間
2016年10月1日　～　2017年8月31日
修了式は8月末を予定（2015年は8月20日）

⑥　研修科目の概要
●授業は秋期・春期原則各15週開講されます。
●必要単位数は42単位です。
●授業科目名は変更される場合があります。

1）必須科目
●一週間あたりのコマ数(1コマ＝90分)は下記のとおりです。

【授業科目及び授業コマ数・単位数】

授業科目	秋期	春期	計
総合日本語	5 (5単位)	—	5 (5単位)
全学共通教育科目	—	2 (4単位)	2 (4単位)
日本語読解演習	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
日本語文章表現	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
日本語口頭表現	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
日本語聴解演習	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
現代日本の社会	1 (2単位)	—	1 (2単位)
近代化と日本人	1 (2単位)	—	1 (2単位)
ｸﾛｽｶﾙﾁｬｰｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	1 (2単位)	—	1 (2単位)
日本の表象文化	1 (2単位)	—	1 (2単位)
地域実見	1 (2単位)	—	1 (2単位)
岐阜の地域文化	—	1 (2単位)	1 (2単位)
論文指導	—	1 (1単位)	1 (1単位)
修了論文	—	(4単位)	(4単位)
合計	14 (23単位)	8 (19単位)	22 (42単位)

【日本語科目】
●「総合日本語」
　中上級レベルの文法・語彙・口頭表現・文章表現など、総合的な日本語能力の向上をはかります。
●「日本語読解演習」「日本語文章表現」「日本語口頭表現」「日本語聴解演習」
　個別の日本語能力の上達をめざします。

【日本文化科目】
●「現代日本の社会」「近代化と日本人」「日本の表象文化」「地域実見」「岐阜の地域文化」
　日本の社会と文化を学び、自国の社会と文化との相違を認識します。これらは本コース受講生のために設定されている科目です。
●「クロスカルチャーコミュニケーション」
　日本人学生とのディスカッションを通して、多文化社会についての理解を深めます。

【論文指導】
　問題意識を高めた上で、論文の作成に進みます。論文完成後、岐阜大学サテライトキャンパスで論文発表会を開催します。

●2015年度日本語・日本文化研修生の修了論文テーマ
・「日帝強占」期における芸術家と「親日派」の関係
・小学生に対する英語教育－スリランカと日本の比較
・ハンカチ　－中日ハンカチの使用現状を中心に－
・日本におけるベトナム留学生の現状
・日本とタイの特別支援教育
・和牛とWAGYUの行方
・日本酒から見えてくる日本文化

2）　見学、地域交流等の参加型科目
　秋期には、県内見学旅行、伝統衣装着装体験が、春期には、能楽ワークショップ、茶道実習、陶芸体験、大相撲観戦、歌舞伎鑑賞等が予定されています。「地域実見」では、岐阜城や博物館の訪問、柿狩体験や岐阜和傘製作も行います。

3）　その他の講義、選択科目等
　大学の全学共通科目を選択して、日本語・日本文化研修コースの一部として履修することも可能です。ただし、十分な日本語能力と担当教員の許可が必要です。

⑦　年間行事
10月：秋学期ガイダンス・開講式
11月：大学祭、県内見学旅行
12月：論文テーマ決定、日本の伝統衣装
4月：春学期ガイダンス・茶道実習（～7月）
5月：郡上踊りワークショップ
6～7月：和太鼓実習・陶芸体験・大相撲観戦・能及び狂言ワークショップ
7月：歌舞伎鑑賞
8月：修了論文提出・修了論文発表会・論文審査・成績判定・修了式


【岐阜県内での陶芸体験】

⑧　指導体制

●留学生センター教員が責任教員（指導教員）となり、責任をもって勉学・生活面の指導をします。

●責任教員のほかに、留学生の専門分野や興味・関心をもつ分野の関係教員が、協力教員として指導にあたります。

【責任教員】

氏名	所属	職名	専攻
森田晃一	留学生ｾﾝﾀｰ	教授	日本文化史
土谷桃子	留学生ｾﾝﾀｰ	准教授	日本文学

【協力教員】

他の留学生センター教員、地域科学部・教育学部の教員、非常勤講師など

⑨　コースの修了要件

●日本語・日本文化研修コースで規定されている講義科目を受講し、出席率を満たした上で、一定の成績を修めて必要単位を取得すること、修了論文を執筆し口頭発表することが修了要件です。

●単位認定・単位互換は、在籍大学との交渉を通じて可能です。在籍大学に確認してください。



【修了論文発表会】

■宿　舎

●岐阜大学には、大学内に外国人留学生・研究者用の宿泊施設である国際交流会館があります。

●日本語・日本文化研修コース受講生は、この宿舎が優先的に提供されます。過去の本コース受講生は、全員本宿舎に入居しています。

【国際交流会館】

鉄筋コンクリート4階建（A棟）・5階建（B棟）

部屋数　単身室69室・夫婦室14室・家族室7室

（単身室A棟5,900円/月・B棟4,700円/月）



【国際交流会館の外観とロビー】



【能楽ワークショップ】

■修了生へのフォローアップ

●岐阜大学の日研生コース修了者の特色は、再来日し日本の大学院に入る学生が多いことです。日本への再留学を希望する学生には、随時進路相談に乗っています。

●過去には、岐阜大学をはじめ、全国各地の国立大学の大学院に進学しています。

●大学院修了後、日本で就職した学生、帰国して日系企業に就職した学生がいます。

●本コース修了生がたびたび岐阜大学を訪問してくれることを、とても嬉しく思っています。Facebookでも継続的に交流しています。

■問い合わせ先

担当部署：岐阜大学学術国際部国際企画課
留学生支援係
住所：〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1
Phone：　+81-58-293-2146（直通）
Fax：　+81-58-293-2143
Email:　direcent@gifu-u.ac.jp
担当教員:
森田晃一：moritak@gifu-u.ac.jp
土谷桃子：momokot@gifu-u.ac.jp

岐阜大学留学生センターホームページ
http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/index.html
（Facebookもご覧ください）

岐阜大学ホームページ
http://www.gifu-u.ac.jp/

日本語・日本文化研修コースホームページ
http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/



【2015年度修了生】



Gifu University (Gifu)

GIFU UNIVERSITY

Polish up Your Japanese Language in Autumn,

Indulge Yourselves in Japanese Culture and Dedicate Yourselves to Theses in Spring

■ Overview of Gifu University

1. Gifu University:

●Gifu University is a national university that maintains 5 faculties (Education, Regional Studies, Medicine, Engineering, and Applied Biological Sciences) and 8 graduate schools. There are a number of search and education centers (International Student Center, Information and Multimedia Center, Library, etc.). The University offers a high quality education and research in many areas, and has been selected as one of the "Good Practice" for its teaching and research.

●Gifu City is conveniently situated only 2 hours to Tokyo and 1 hour to Osaka and Kyoto by bullet train, and 20 minutes to Nagoya. The main campus is in *Yanagido*, a suburb of Gifu City, 30 minutes from Gifu Station. Away from city bustles and noise and surrounded by rice fields and mountain forests, the campus is an ideal place to study in tranquility.

●Faculties and Student/Staff Numbers
(as of October 2015)
○Faculties (Undergraduate): Education, Regional Studies, Medicine, Engineering, Applied Biological Sciences
○Graduate Schools: Education, Regional Studies, Medicine, Engineering, Applied Biological Sciences, United Graduate School of Agricultural Science, United Graduate School of Veterinary Sciences, United Graduate School of Drug Discovery and Medical Information Sciences
●Academic Staff: 850
●Students: 5,695 undergraduates,
1,558 post-graduates,
137 non-degree seeking students; Total: 7,390

2. International Exchange:

●Gifu University promotes international exchange, and has agreements with 46 universities and 1 organization in 16 countries for academic and student exchange.
●Number of International Students: 350 (71% are postgraduates, from 34 countries and 1 region)
●Number of International Researchers: 24

3. Number of International students and this course students in the last three years:

2015: International Students 350, This Course students 10
2014: International Students 326, This Course students 10
2013: International Students 328, This Course students 10

4. Special Features of Gifu Prefecture:

●Gifu Prefecture is situated in the center of Japan, surrounded by high mountains in the north, and with many rivers and water falls in the south. It is blessed with scenic beauty and traditional culture combined with a modern lifestyle. Gifu is also known as a city where *ODA NOBUNAGA* built his castle.
●There are many famous places for tourism in the prefecture such as *Takayama*, *Gujo*. The *Nagara* River runs through Gifu City where the century-old practice of cormorant fishing is observable as another cultural attractions.
●Studying at Gifu University offers a variety of advantages to international students of Japanese language and culture: exposure to the traditional culture of Japan in a medium-sized city of 400,000 people, opportunities to mix with friendly local communities, a low cost living, and a spacious and natural environment.





■ Course Outline

1. Characteristics of the Course:

●This is a one-year course designed for undergraduate students of Japanese language and culture. You can major in either "Japanese Language" or "Japanese Culture".
●The students are placed in the most appropriate level of Japanese class according to their language ability. Therefore a progressive and effective development of their Japanese proficiency can be expected.
●A variety of culture classes are offered to suit the students' research interest.
●Classes in this course are designed for Japanese Language and Culture Studies students and to provide the most effective training/learning experience during their one-year stay at Gifu University.
●The course includes practice of Tea ceremony, field trips to see performing arts (*Noh*, *Kyogen*, *Kabuki*), sports (*Sumo*) , to museums in order to appreciate traditional culture of Japan.
●Several field trips within Gifu Prefecture (*Gujo*, *Toki*, etc.) and to nearby prefectures are included in the course to deepen students' understanding and appreciate Japanese culture.
●The university also offers a field trip for overseas students during the summer break.
●The program also includes a cross-cultural communication class that provides students opportunities to mix with Japanese students.
●Classes for Japanese students can be taken.
●Tutors (Japanese students) willingly assist your study and life.
●Not a few students who finished this course came back to Japan to study through Master course.

●Please read comments from our graduates:
http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/en/international/jp_program/messages/

2. Number of students accepted：10
(Embassy recommendation: 5, University recommendation: 5)
※Students with embassy recommendation will be given the first priority.

3. Qualifications and Conditions for Application:
●Applicants must be regular students (second year or above) in an undergraduate program at their home university.
●Applicants must be majoring or double-majoring in Japanese language and Japanese studies at their university.
●Applicants must have passed N2 Japanese Language Proficiency Test or demonstrate equivalent proficiency in Japanese.

4. Objectives:
●The objective of this course is to develop their Japanese language proficiency (JLPT N1 Level), and to provide basic knowledge about Japanese culture through real experiences.
●Students also learn a basis of research method and academic writing skills.

5. Period of the course:
October 1, 2016～ August 31, 2017
(Conferment ceremony will be given at the end of August. In 2015, it was on August 20.)



【*Nohgaku Workshop*】

6. Outline of the subjects:
●Each semester (Autumn, Spring) consists of 15 weeks.
●Required credits： 42
●Subjects' titles are subject to change.

1) Compulsory subjects:
●The following are compulsory subjects per week (one class is for 90 minutes).

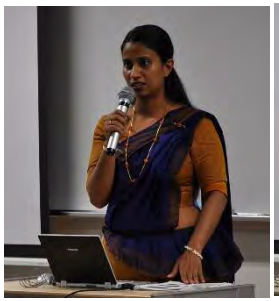
【Subjects and class number (credits)】

Subject	Autumn	Spring	Subtotal
Japanese (Regular)	5 (5)	–	5 (5)
General Subjects for Japanese Students	–	2 (4)	2 (4)
Japanese (Reading)	1 (2)	1 (2)	2 (4)
Japanese (Writing)	1 (2)	1 (2)	2 (4)
Japanese (Oral)	1 (2)	1 (2)	2 (4)
Japanese (Listening)	1 (2)	1 (2)	2 (4)
Contemporary Japanese Society	1 (2)	–	1 (2)
Modernization and the Japanese	1 (2)	–	1 (2)
Cross-Cultural Communication	1 (2)	–	1 (2)
Japanese Culture and Representation	1 (2)	–	1 (2)
Real Experience of Regional Culture	1 (2)	–	1 (2)
Culture in Gifu	–	1 (2)	1 (2)
Thesis Supervision		1 (1)	1 (1)
Thesis		(4)	(4)
Total	14 (23)	8 (19)	22 (42)

【Japanese Language Subjects】
●Regular Japanese classes: develop the student's overall proficiency in intermediate and advanced levels of Japanese including grammar, vocabulary, communication, and writing skills.
●Independent classes: focus on reading comprehension skills, academic and thesis writing skills, oral presentation skills and listening skills for discussion and seminar presentation.

【Japanese Culture Subjects】
●Culture Subjects: Contemporary Japanese Society, Modernization and the Japanese, Japanese Culture and Representation, Real Experience of Regional Culture and Culture in Gifu aim for the students to learn about various aspects of Japanese culture. The students are encouraged to compare Japanese culture with their own cultures in order to appreciate the differences and similarities between different cultures. These subjects are specially designed for this course students.
●Cross-cultural Communication: Recognition of cultural differences and similarities can be further enhanced by discussion with Japanese students in the Cross-cultural Communication class.

【Thesis Supervision】
The awareness of the importance of cultural understanding will lead to the selection of a thesis topic. Final thesis presentations will be held at Gifu University Satellite Campus.





【Theses Presentation 】

【Thesis topics in 2015】

● Relationship between Korean Artists and the Pro Japanese in the Japanese Colonial Era
● English Education for Elementary School Pupils – comparison between Sri Lanka and Japan
● Handkerchief – different ways of using handkerchief in China and Japan
● Current Status of Vietnamese Students in Japan
● Special Needs Education in Japan and Thailand
● Future of Wagyu (Japanese Cattle) and WAGYU
● Elucidate Japanese Culture through Japanese Sake

2) Excursion, Field trip

Field trip in Gifu prefecture and traditional Japanese costume experience (in the autumn semester), *Nohgaku* workshop, practice of Tea ceremony, pottery experience, watching *Sumo* and *Kabuki* (in the spring semester) are planned. You visit Gifu castle and Museum, pick Kaki fruits and make Japanese umbrella in "Real Experience" Class.

3) Elective Subjects

Apart from the above-mentioned subjects, the University offers subjects for degree-seeking overseas students, and general subjects for Japanese students can be taken in place of this program's subjects, depending on the student's Japanese proficiency and subject to the approval of the student's supervisor.

7. Events and Schedule

Oct. Guidance for autumn semester, Opening ceremony, Class start
Nov. Field trip, University Campus festival
Dec. Selection of a thesis topic, Japanese traditional Kimono
Apr. Guidance for spring semester, Practice of Tea ceremony (until July)
May. Gujo Dance Workshop
Jun.～Jul. Pottery, Sumo, Nohgaku and Wadaiko
Jul. Kabuki watching
Aug. Thesis submission, Thesis presentation, Conferment ceremony



【Excursion to Gujo, Gifu】

8. Supervision

・The following academic staff of the International Student Center (ISC) offer individual supervision on academic matters and the students' welfare at Gifu University.
・If necessary, depending on the students' research topic, other academic staff members of the Center and Faculties will support the supervision.

【Chief Supervisors】

Name	Center	Position	Expertise
MORITA Koichi	ISC	Professor	History of Japanese Culture
TSUCHIYA Momoko	ISC	Associate Professor	Japanese Literature

【Supporting Staff】

Other academic staff of the International Student Center, and the Faculties of Regional Studies and Education are included as supporting staff.

9. Requirements for Completion of the Course

●To complete the course, you must take all compulsory and some elective subjects with satisfactory attendance and results, write a thesis and make a presentation.
●Credit points for transfer can be arranged by negotiation with the students' home universities.



【Students who finished this course in August 2015】

■ Accommodation

●Gifu University International House is established to provide accommodation for international students.
●Accommodation at the International House will be provided to all students of this course.

【Gifu University International House】

4 floors (Building A), 5 floors (Building B)
Number of Rooms: 69 single rooms, 14 rooms for married couples, 7 rooms for couples with children.
(Single room Building A: ￥5,900 per month, Building B: ￥4,700 per month)

■Follow up for Graduates

●Not a few graduates of this course come back to Japan to study at graduate courses. We are happy to support the students who wish to do so.

●In the past, our graduates enters graduate courses of Gifu University and other national universities in Japan.

●After finishing graduate courses, they are employed in Japanese company in Japan and in their home countries.

●Graduates who visit us are always welcomed! We enjoy talking with them. We also constantly contact graduates through Facebook.

■Contact Address

International Student Support Section, Gifu University
Address: 1-1 Yanagido, Gifu city, 501-1193 JAPAN
Phone: +81-58-293-2146 (Direct)
Fax: +81-58-293-2143
E-mail: direcent@gifu-u.ac.jp

Course coordinators
Prof. MORITA, Koichi: moritak@gifu-u.ac.jp
Asso. Prof. TSUCHIYA, Momoko: momokot@gifu-u.ac.jp
Gifu Univ. ISC URL:
http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/index.html
(Also try our Facebook page)
Gifu Univ. URL: http://www.gifu-u.ac.jp/
Special site for this course:
http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/en/international/jp_program/



静岡大学 （静岡県）



語学教育（日本語教育）課程、一般教育（日本文化一般）課程、自由研究、見学実習からなる総合プログラム

■大学紹介

①大学の特色および概要

（１）静岡大学の歴史
静岡大学は、1949年5月31日に旧制の静岡高等学校、静岡第一師範学校、静岡第二師範学校、静岡青年師範学校、浜松工業専門学校の５校を包括して、新制度の静岡大学として発足しました。その後、県立静岡農科大学の移管、キャンパスの統合、学部の改組・拡充がなされて現在に至っています。静岡大学は、次の6つの学部から構成されています。
（静岡キャンパス）人文社会科学部、教育学部
農学部、理学部
（浜松キャンパス）工学部、情報学部

（２）学生数等（2015年5月1日現在）
教員数：861名　職員数：327名
学生数：学部生8,657名
大学院生1,531名

②国際交流の実績（2015年5月1日現在）

（１）大学間交流協定数　43
（２）部局間交流協定数　35

③過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：
留学生数327人、日本語・日本文化研修留学生6人
2014年：
留学生数307人、日本語・日本文化研修留学生7人
2013年：
留学生数297人、日本語・日本文化研修留学生6人

④地域の特色（富士山が近くにある！）

静岡県は本州の中央部で東京と大阪のほぼ中央に位置し、古くから東海道の要衝として発展してきました。
南には太平洋に面した伊豆半島から駿河湾・遠州灘と続く海岸線をもち、北には我が国最高峰富士山をはじめ3,000mを越える南アルプスの峰々がそびえています。
気候は一年中を通して温暖で過ごしやすく、丘陵地は特産のお茶とみかんにおおわれています。
富士箱根伊豆国立公園と南アルプス国立公園を有し、伊豆半島を中心に温泉が点在し、数多くの観光客が訪れます。

富士山世界文化遺産

静岡大学は富士山に近く、毎日富士山を見ながら勉強できます！！



■コースの概要





①コースの特色

【コース名】
日本語・日本文化研修プログラム

【コースの特色】
日本語授業を中心に、留学生の専門に関連した日本文化を学び、将来、日本と留学生の母国との架け橋になるような人材を育成します。
留学期間を後期（10月～3月）と前期（4月～9月）に分け、後期は語学教育（日本語教育）中心の授業を組み、様々な日本人との交流活動にも参加します。前期において、留学生の専門を中心に、自由研究、見学実習などのプログラムを設定します。
なお、留学生のプログラムについては、指導教員との話し合いで決定します。



②受入定員
8名（大使館推薦6、大学推薦2名）

受入学部	研修分野		人数
	日本語	日本文化	
人文社会科学部（静岡）	中級～上級	社会学、人間学、心理学、文化人類学、歴史学、比較文化、日本言語文化、比較文学文化、言語学、法学、政治学、経済学、経営学、異文化コミュニケーション、書写・書道、近代・現代文学、国語学、日本語教育、哲学、日中関係史	8
教育学部（静岡）			
情報学部（浜松）			

③受講希望者の資格、条件等

このコースを受講希望する者は、以下の条件を満たすこと。
⑴外国の大学学部に在学し、日本語・日本文化に関する分野を専攻する者
⑵一定の日本語能力を有する者（日本語能力試験N3程度以上）
⑶2016年10月1日から2日までの間に渡日できる者

④達成目標

◆日本語:

留学生のレベルに合わせて、中級から上級までのクラスを受講できます。最終目標は上級レベル(レベル5)であり、上級のレベルに達した学生は、全学教育科目の授業を中心に、さらに高度な日本語力を身につけます。

◆日本文化:

伝統文化や歴史、文学、法学、現代社会などに関する様々な講義が用意されています。学生は、自らの関心に応じて関連する講義を受講し、専門分野に関する基礎的な知識を身につけます。また、フィールドワークや各種イベントへの参加を通じて、日本文化への理解を深めます。

⑤研修期間

2016年10月1日 ～ 2017年9月30日
修了式は9月を予定(2015年は9月)

⑥研修科目の概要

1)必修科目

日本語レベル3の学生:日本語3(「読解文法」、「聴解語彙」、作文・話し方」)は必修、日本語4(「読解文法」、「聴解語彙」、作文・話し方」)は選択

日本語レベル4の学生:日本語4(「読解文法」、「聴解語彙」、作文・話し方」)は必修、日本語5(「日本語総合」「日本語総合」)は選択

日本語レベル5の学生:日本語5(「日本語総合」「日本語総合」)は必修、全学教育科目(日本語Ⅰ～日本語Ⅵ、日本事情)は、選択。

日本語以外の必修科目については、指導教員との相談の上、研修希望分野を学ぶために必要な基礎科目を履修します。

2)見学、地域交流等の参加型科目

国際交流センターでは、「日本研修・交流プログラム」を開講し、地域や日本人学生との交流を行っています。また、「日本の生活」という授業で静岡市内各所を訪問します。さらに、人文社会科学部、教育学部、情報学部において、それぞれの分野に関係する実習科目を開講しています。

3)その他の講義、選択科目等

留学生の専門、興味によって、自由に好きな科目を選択できます。

【授業科目及び授業時間数】

◆日本語科目(日本語教育プログラム)

日本語教育プログラムでは、すべてのレベルの日本語授業を開講しています。各レベルの詳細は以下の通りです。

日本語3(中級前半):やや高度な文法・漢字・語彙を習得し、大学生活におけるコミュニケーションができ、一般的なことがらについて、会話ができ、読み書きができる日本語能力を身につけます。

日本語4(中級後半):かなり高度な文法・漢字・語彙を習得し、大学の授業についていく日本語能力、専門に近い内容の文章を書いたり、読んだりできる日本語能力を身につけます。

日本語5(上級):社会生活、特に大学における学習・研究に役立つような総合的な日本語力を身につけます。

日本語教育プログラム		時間数		
		後期	前期	計
日本語3	読解・文法	30	30	60
	聴解・語彙	30	30	60
	作文・話し方	30	30	60
日本語4	読解・文法	30	30	60
	聴解・語彙	30	30	60
	作文・話し方	30	30	60
日本語5	日本語総合A	30	30	60
	日本語総合B	30	30	60

＊ただし、浜松キャンパスでは日本語4・5は開講されません。





◆日本語科目(全学教育科目)

学部留学生のための日本語科目で、レベルは上級です。「日本語Ⅰ～Ⅵ(上級)」は、大学における学習・研究や日常生活に役立つ総合的な日本語能力を身につけます。「日本事情」は、日本文化や異文化理解についての基礎的な知識を養います。

全学教育科目		時間数		
		後期	前期	計
日本語Ⅰ	聞く・書く		30	30
日本語Ⅱ	読む・話す		30	30
日本語Ⅲ	発表		30	30
日本語Ⅳ	聞く・書く	30		30
日本語Ⅴ	読む・話す	30		30
日本語Ⅵ	実用日本語	30		30
日本事情	異文化理解	30		30

◆文化科目

日本文化の科目例です。それぞれの科目の時間数は30時間です。これら以外にも、多くの科目が開講されています。なお、これらの科目を受講する日本語レベルは上級が望ましいです。

学部	日本文化の科目例
人文社会科学部	人間学概論、社会学概論、心理学概論、文化人類学概論、歴史学概論、日本・アジア言語文化基礎論、日本文学概論、日本語学概論、憲法総論・統治機構、法学入門、日本経済史
教育学部	日本語教育概論、哲学概論、日本史概論Ⅰ、書写基礎、国文学概論、専門基礎国語
情報学部	異文化コミュニケーション論、現代社会システム論、グローバリゼーションと文化

⑦年間行事	
10月	プレイスメントテスト、オリエンテーション、後期授業スタート、受入式、日本人学生との交流会
11月	静大祭
12月	留学生と日本人の交流イベント
12月末～1月初め	冬休み
2月初め	後期試験期間
2月中旬	研修旅行、後期授業終了
2月中旬～3月末	春休み
4月初め	プレイスメントテスト、オリエンテーション、前期授業スタート
5月	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ（静岡） マラソン大会（浜松）
8月初め	前期試験期間、授業終了
8月中旬～9月末	夏休み
9月中旬	修了式

⑧指導体制

指導教員：
受入れ留学生の日本での専攻希望分野に関係する教員が、学習面、生活面において指導します。（留学生1人に対して教員1名）

協力教員：
国際交流センター教員 4名、カウンセラー1名、留学生専門教育教員（人文社会科学部・教育学部）、国際交流センター運営委員各1名（各学部）

事務責任者：
国際交流課長

⑨コースの修了要件

修了証書：
各期7科目以上の授業（年間で14科目以上）を履修、単位を取得し、専門の研究を修了したと認められる者に修了証を授与します。





■宿　舎

留学生に宿舎を提供すると共に、国際交流の場を提供することを目的としています。入居の許可期間は原則として１年間です。なお、室数が限られているので入居を希望しても必ずしも入居できるとは限りません。

①静岡国際交流会館
②浜松国際交流会館１号館
③浜松国際交流会館２号館
④あけぼの寮

	室数	面積(㎡)	宿舎料/月額
①	95室	居室：7㎡ 共有：43㎡	20,000円
②	35室	12.42㎡	5,900円
③	95室	居室：7㎡ 共有：43㎡	20,000円
④	45室	15㎡	15,000円

■修了生へのフォローアップ

【修了生の声】

ジェシー・クラインさん（アメリカ）



帰国後、大学に戻り、学位を取得。その後、再渡日。日本人女性と結婚し、現在、通訳、翻訳、英語教育などの仕事をしている。留学中は、たくさんの日本人の友人ができ、日本語能力が向上し、日本人との国際交流を楽しめました。日研生として採用された恩返しをしたいと思っています。現在ALTとして静岡市内の学校で英語を教えています。

【静大で学んでいる日研生（2014年）】



スイス



インド



インドネシア



アメリカ



ブラジル

■問い合わせ先

（担当部署）
静岡大学国際交流センター
住所：〒422-8529　静岡県静岡市駿河区大谷836
TEL　：＋81-54-238-4260（直通）
FAX　：＋81-54-238-5041
MAIL：　ryugaku@adb.shizuoka.ac.jp
静岡大学国際交流センターホームページ
http://www.icsu.shizuoka.ac.jp/
静岡大学ホームページ
http://www.shizuoka.ac.jp

（コース担当教員）
日本語: 原沢伊都夫 kiharas@ipc.shizuoka.ac.jp
人文社会科学部(未定)
教育学部(未定)
情報学部：国際交流委員会kokusai@ml.inf.shizuoka.ac.jp





Shizuoka University



Japanese Studies Program consisting of Japanese Language Studies, Japanese Culture Studies, Individual Research and Extracurricular Activities.

■Introduction to Shizuoka University

①Characteristics and Outline

(1)History of Shizuoka University

Shizuoka University, incorporated Shizuoka High School, Shizuoka Teacher-Training Institutes Ⅰ and Ⅱ, a Young Teacher-Training Institute and Hamamatsu College of Technology was founded on May 31, 1949. Since then, Shizuoka Prefectural Agricultural College has been integrated, the number of faculties and departments has increased, and there have been many other reforms such as the unification of campuses in the Shizuoka Area. Shizuoka University consists of six faculties:Humanities and Social Sciences, Education, Science, Engineering, Agriculture, and Informatics.

(2)Number of students, etc. (As of May 1, 2015)

Teaching Staff:861, Office Staff:327

Undergraduate Students:8,657

Graduate Students:1,531

②International Exchange (As of May 1, 2015)

(1)Partner Universities 43

(2)Partner Faculties 35

③Number of "International Students" and "Japanese Language and Culture Program Students"

*(As of May 1, each year)	2015	2014	2013
International Students	327	307	297
Japanese Language & Culture Students	6	7	6

Mt. Fuji was registered as a world Heritage site in 2013. You can see a beautiful Mt. Fuji every day from our campus.



View of Mt. Fuji in Shizuoka

④Shizuoka Prefecture

Shizuoka Prefecture is situated in the center of the main island of the Japanese archipelago, between Tokyo and Osaka. It prospered as a strategic political and trading point along the Pacific Route.

It is graced with a coastline that extends from the Izu Peninsula to Suruga Bay and the Sea of Enshu along the Pacific Ocean in the south, and is bordered in the north by the Southern Alps, with peaks that often rise more than 3,000 meters above sea level. Mt. Fuji is located between Shizuoka and Yamanashi prefectures.

The climate is mild throughout the year, and you can see many hillsides covered with groves of mandarin oranges and green tea plantations, which are Shizuoka's principal agricultural products.

The prefecture is home to Hakone Fuji Izu National Park and Southern Alps National Park. There are many hot springs, especially on the Izu Peninsula, which attract tourists.

■Outline of the Course



①Characteristics

1. Name of the Course:
Japanese Language & Culture Program

2. Characteristics of the Course

The course provides students an opportunity to learn Japanese language and culture and cultivate internationally minded people who can build bridges between Japan and their home countries.

The program consists of two semesters (Second Semester from October to February and First Semester from April to August). The second semester concentrates more on Japanese language and cultural activities. Students will gain a basic knowledge of Japanese language and culture. The next semester will encourage students to have their own study and free research project. The program will be conducted with their academic advisor.

②Number of Students to be accepted: 8

・Students with embassy recommendation: 6

・Students with university recommendation: 2



City of Shizuoka



City of Hamamatsu

◆Study Areas

Department	Japanese	Japanese Culture	No. of Students
Humanities and Social Sciences (Shizuoka)	Intermediate ～ Advanced	Sociology, Philosophical, Human Being Study, Psychology, Comparative Culture, Comparative Literature, Linguistics, Cross Cultural Communication, Anthropology, History, Law, Politics, Economy, Management, Calligraphy, Modern and Recent Literature, Japanese Linguistics, Japanese Education, Philosophy, Japan-China Relation	8
Education (Shizuoka)			
Informatics (Hamamatsu)			

③Qualifications and Conditions of Applicants

(1) Applicants must be undergraduate students from outside Japan with a major related to Japanese and culture.

(2) Japanese ability : Applicants must have a certain degree of knowledge of Japanese language and be able to communicate in Japanese. The level may be N3 ～ N1 of the Japanese Language Proficiency Test.

(3) Applicants must be able to come to Japan between the 1st or 2nd of October, 2016.

④Purpose of the Achievement
1)Japanese: Students will be allocated into different classes in accordance with their level of Japanese. The final goal is to reach to the advanced level. If students reach this level, they can select the subjects in General Education which are the highest classes of Japanese Language study.
2)Japanese Culture: A wide range of lectures are available. Students will take lectures to suit their interests and will achieve the target in their own project. (See the chart "Study Areas").

⑤Period of the Course
From October 1st 2016 to September 30th 2017.
A closing ceremony will be held in the middle of September.

⑥Outline of Classes
1)Japanese Classes (Required)
Japanese Language Program(Level 3-5) is conducted by the International Center. The details of each level are as follows.
Japanese 3 (Lower-intermediate): Mastering grammar, Kanji and vocabulary at a relatively high level, becoming able to communicate in a campus life and developing the ability to converse, read, and write about matters of a general nature.
Japanese 4 (Upper-intermediate): Mastering grammar, Kanji and vocabulary at a high level, have developing integrated language ability sufficient for university classes, becoming able to write and read material.
Japanese 5 (Advanced): Developing an integrated command of the language appropriate for studying in the University.

◆Student of Level 3: Japanese 3 (reading & grammar, listening & vocabulary, writing & speaking) is compulsory; Japanese 4 (reading & grammar, listening & vocabulary, writing & speaking) is an elective.
◆Student of Level 4: Japanese 4 (reading & grammar, listening & vocabulary, writing & speaking) is compulsory; Japanese 5 (Integrated Japanese A, Integrated Japanese B) is an elective.
◆Student of Level 5: Japanese 5 (Integrated Japanese A, Integrated Japanese B) is compulsory. Japanese I through Japanese VI and Japanese Culture in General Education are elective.

2)Japanese Culture Classes(Selective)
If your Japanese level is enough to take regular classes with Japanese students, you can take any subject related to Japanese culture. You may consult your academic supervisor about specialized subjects, and will be assigned subjects necessary for you to knowledge in your desired fields of study.

3)Others
The International Center opens "Study & Exchange Program in Japan", promoting study of Japanese cultures and exchange activities with local people. In "Orientation to Japan", you will visit various locations in Shizuoka City. The class is conducted in English. There is a Japanese Literature Class conducted in English, too. Also, the International Center holds interaction forums upon request from local elementary and middle schools for visits by foreign students.

【Number of Class Hours】

Each subject (2 hours×15 weeks=30 contact hours)

Japanese Language Program (Intermediate ～ Advanced)		Number of hours		
		Second Semester	First Semester	Total
JP 3	Reading & Grammar	30	30	60
	Listening & Vocabulary	30	30	60
	Writing & Speaking	30	30	60
JP 4	Reading & Grammar	30	30	60
	Listening & Vocabulary	30	30	60
	Writing & Speaking	30	30	60
JP 5	Integrated Japanese A	30	30	60
	Integrated Japanese B	30	30	60

*Placement tests will be given in order to judge the level of the students.
*JP4 & JP5 are not offered in the Hamamatsu campus.

Japanese in General Education (Advanced)		Number of hours		
		Second Semester	First Semester	Total
JP Ⅰ	Listening & Writing		30	30
JP Ⅱ	Reading & Speaking		30	30
JP Ⅲ	Presentation		30	30
JP Ⅳ	Listening & Writing	30		30
JP Ⅴ	Reading & Speaking	30		30
JP Ⅵ	Practical Japanese	30		30
Japanese Culture		30		30


Toro ruins in Shizuoka


Ski (Snowboarding) trip to Nagano


Museum of Traditional Art


Japanese calligraphy class

Example of Cultural Subjects	
Humanities and Social Sciences (Shizuoka Campus)	Introduction to Human Being Study, Sociology, Psychology, Philosophical Anthropology, History, Japanese and Asian Languages and Culture, Japanese Literature, Japanese Linguistics, Japanese Law・Juristic Study, History of Japanese Economy Cultural Anthropology, History and Culture, Introduction to Japanese Teaching, Introduction to Philosophy, Introduction to Japanese History, Japanese Calligraphy, Introduction to Japanese Literature, Basic of Japanese Linguistics Cross-cultural Communication, Theory of Modern Social System, Globalization and Culture
Education (Shizuoka Campus)	
Informatics (Hamamatsu Campus)	

*An advanced level of Japanese ability is recommended to take the above subjects.

⑦ANNUAL CALENDER	
Early October	Second semester starts Placement Test, Orientation, Welcome Ceremony, Exchange activity with Japanese
November	University Festival
Late December to Early January	Winter Break
Early February	Examination Week, Second Semester ends
Mid-February	Field Trip
Mid-February to late March	Spring Break
Early April	First Semester starts Placement Test, Orientation,
Mid May	Spring Festival(Shizuoka) Marathon Event(Hamamatsu)
Early August	Examination Week, First Semester ends
Mid August to late September	Summer Break
Mid September	Completion Ceremony

⑧Guidance System
Responsible academic staff：A professor who has the same major field with an applicant will guide him/her for his/her study. (One academic advisor for each student)
Supporting academic staff：4 Japanese teachers of the International Center, a counselor and foreign student advisors of the Faculty of Humanities and Social Sciences, and Education.
Responsible office staff： Manager of International Affairs Section

⑨Requirements for Completion： You need to take and pass at least 14 subjects in the Japanese & Culture study. Students are also requested to attended more than 80% of Japanese classes and to pass the final examination. A certificate of Completion will be conferred to students who have successfully completed the program.







■Housing

The University provides housing for overseas students, and promotes international exchange among many nationalities. The maximum period of residence is one year.
Due to capacity restrictions, not all applicants can be accepted.
①Shizuoka International Residence
②Hamamatsu International Residence1
③Hamamatsu International Residence2
④Akebono-ryo

International Residence

Type	Rooms	Area（㎡）	Rent/month
①	95	Room:7㎡ Shared Space:43㎡	￥20,000
②	35	12.42㎡	￥5,900
③	95	Room:7㎡ Shared Space:43㎡	￥20,000
④	45	15㎡	￥15,000

■In the words of 6 participants in 2014



The very helpful teachers, friendly students and the beautiful scenery on campus.
(Christine, USA)



Beautiful Mt. Fuji and friendly people here!
(Catlea & Muthia, Indonesia)



I'm so happy joining many circles such as skate board, snow board and so on.
(Akemi, Brazil)



I'm happy I was able to join Japanese Drumming Circle. I'm taking pictures of Mt. Fuji.
(Annina, Switzland)



I'm glad to have met Shizuoka University in my life.
(Sharmilee, India)

■ Contact

International Center
Address: 836 Ohya, Suruga-ku, Shizuoka-shi, 422-8529 JAPAN
TEL: +81-54-238-4260 FAX: +81-54-238-5041
ryugaku@adb.shizuoka.ac.jp
Shizuoka University Website:
http://www.shizuoka.ac.jp
http://www.icsu.shizuoka.ac.jp



Beaches in Shizuoka

Course Coordinator
◇Japanese Coordinator
Professor Harasawa Itsuo
kiharas@ipc.shizuoka.ac.jp
◆ Faculty of Humanities and Social Sciences
(Undecided)
◆ Faculty of Education
Professor Sugiyama Koji
sugiyama.koji@shizuoka.ac.jp
◆ Faculty of Informatics
International Communication Committee
kokusai@ml.inf.shizuoka.ac.jp





名古屋大学 （愛知県）

実践的な日本語力の向上と大学院につながる研究方法の習得

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1)特色と歴史

名古屋大学は日本の高等教育研究機関として、主要な国立大学の一つです。本学は、中部地方の政治・産業・文化の中心である名古屋市にあります。本学の歴史は医学部と病院が発足した1871年にさかのぼります。長年の変遷を経て、1949年には新制大学になり、現在９学部・１４大学院研究科・３附置研究所・図書館・１９共同教育研究施設等が設置されています。また、外国人留学生の宿舎として留学生会館、インターナショナルレジデンス及び国際嚶鳴館が設置されています。

2)教員・学生数等（平成27年5月1日現在）

学部：文学部、教育学部、法学部、経済学部、
情報文化学部、理学部、医学部、
工学部、農学部

大学院：文学研究科、教育発達科学研究科、
法学研究科、 経済学研究科、
理学研究科、医学系研究科、
工学研究科、生命農学研究科、
国際開発研究科、多元数理科学研究科、国際言語文化研究科、
環境学研究科、情報科学研究科
創薬科学研究科

教職員数： 3,806名
学生数： 学部 10,187名 大学院 6,252名
計 16,439名

② 国際交流の実績

1) 留学生在籍数: 2,079名（97カ国）
（平成26年度）
2) 研究者受入数: 1,026名（77カ国）
（平成26年度）

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績（各年度5月1日現在）

2015年：留学生数 1,613人、日本語・日本文化研修留学生 19人
2014年：留学生数 1,668人、日本語・日本文化研修留学生 19人
2013年：留学生数 1,649人、日本語・日本文化研修留学生 19人

④ 地域の特色

名古屋市は東京と大阪の中間に位置する、中部地方の政治・経済・文化の中枢です。日本の中心に在るため国外や日本各地への交通の便に恵まれて、地下鉄などの市内交通は英語等での案内も充実しています。歴史や伝統と日本を代表する近代産業やポップ・カルチャーが共存し、約２２８万人の人口を擁する日本の３大都市の一つでありながら、物価は比較的安く静かな街並みで、留学生活を送るのに暮らしやすい地域です。

■コースの概要

① コースの特色

１．コースの基本方針

体系的な学習プログラムを提供するとともに、日研生一人一人に対するきめ細かい指導を行い、以下の目標を達成する。

・四技能のすべてにわたって上級レベルの日本語力（Ｎ１レベル）を習得する。
・日本、日本文化、日本事情に対する的確な理解を得る。
・各自の専門分野の基礎的な研究方法を習得し、実践する。

２．日本語の学習

・日研生専用のクラス・プログラム（上級日本語特別プログラム）によって、効果的な日本語学習を行う。

・教室内・外での学習を通して、実践的な日本語力を身に付けることができる。

３．日本文化の学習

・日本文化の最善の学習方法として、日本に関する何らかのテーマに取り組み、レポートを作成する。具体的には以下のとおりである。

・レポートの書き方の基礎を体系的に学んだうえで、各自が研究テーマを決め、十分な個人指導を受けながら、レポートを作成する。研究発表の方法も身に付けることができる。なお、毎年、『日本語・日本文化研修生・レポート集』を発行している。

４．研究者志向の留学生への対応

・入門講義（「言語学」「日本語学」「日本文化論」「国際関係論」など）の授業をとおして、各分野の基礎知識・研究方法が学べる。

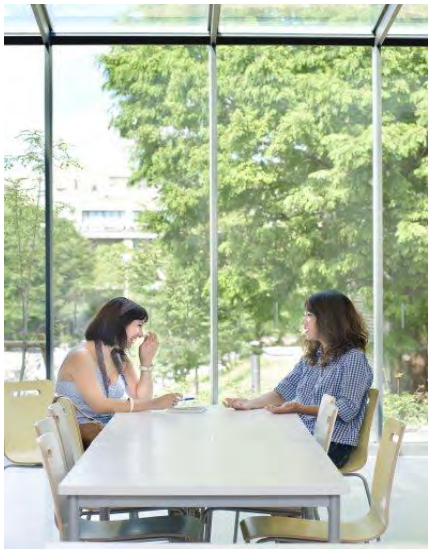
② 受入定員

２０名（大使館推薦16名、大学推薦4名）

③　受講希望者の資格、条件等
１．中級レベル以上の日本語力を有する者。（最低限「日本語能力試験」Ｎ２（旧２級）程度の能力のある者）。
２．日本語・日本語学・日本語教育学・日本文学・日本学（日本研究）を主専攻とする者。
３．勤勉で学習熱心な者。

④　達成目標
１．上級レベルの日本語力（Ｎ１レベル）の習得（四技能のすべてにわたって）。
２．日本、日本文化、日本事情に対する的確な理解。
３．各自の専門分野の基礎的な研究方法の習得と実践。

⑤　研修期間
2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は9月を予定（2015年は9月）



⑥　研修科目の概要
1）必須科目
１．中・上級日本語（上級日本語特別プログラム）：日研生のみのクラス／年間490時間
２．レポート作成／年間72時間

2）　見学、地域交流等の参加型科目

プロジェクトワーク（上級日本語特別プログラム）：日研生のみのクラス／年間80時間
　愛知県の特産物などについての見学・調査。
　成果は、『日本語・日本文化研修生・レポート集』に掲載。

3）　その他の講義、選択科目等
入門講義
１．言語学Ⅰ（前期／年間２８時間）
　　言語学Ⅱ（後期／２８時間）
２．日本語学・日本語教育学Ⅰ（前期／２８時間）
　　日本語学・日本語教育学Ⅱ（後期／２８時間）
３．日本文化論Ⅰ　（前期／２８時間）
　　日本文化論Ⅱ　（後期／２８時間）
４．国際関係論Ⅰ　（前期／２８時間）
　　国際関係論Ⅱ　（後期／２８時間）
５．日本文学Ⅰ　（前期／２８時間）
　　日本文学Ⅱ　（後期／２８時間）

教養科目
　留学生と日本（前期３０時間）



⑦　年間行事
10月　バス旅行（伊勢・高山など）
11月　秋季新入留学生歓迎懇談会
11月　和食講習会
２月　梅見の会
３月　一日研修旅行
５月　春季新入留学生歓迎懇談会
随時　ホームステイ・ホームビジット

⑧　指導体制
専任教員一人が学業面の指導教員として、また、別の専任教員一人が生活面の指導教員として、きめ細かな指導・助言を行っている。

⑨　コースの修了要件
プログラムの必須科目をすべて受講すること。



■宿　舎

１．留学生会館（地下鉄で35分）

所在地： 名古屋市昭和区陶生町2丁目23番地の1

(Tel: +81-(0)52-853-2901)

施　設： 鉄筋コンクリート3階建、単身室（12.5㎡）49室、夫婦室(35㎡)5室、家族室(50㎡)2室、図書館、 娯楽室、補食室、洗濯室、和室、事務室等があり、各室にはベッド 、洋服ダンス、机、椅子、本棚、エアコン、冷蔵庫、靴箱等が備え付けられています。

２．インターナショナルレジデンス東山

（大学構内）

所在地： 名古屋市千種区不老町１番地

(Tel： +81-(0)52-789-2197)

施　設： 鉄筋コンクリート居住棟6･7･8階建、管理棟2階建

留学生用･･･単身室(16㎡)95室、夫婦室(34㎡)25室

研究者用･･･夫婦室(34㎡)15室、家族室(51㎡)2室

談話室、図書室、会議室、和室、洗濯室、多目的室、事務室等があり、各室には、台所、バス、トイレ、ベッド、洋服ダンス、収納庫、机、椅子、エアコン、冷蔵庫、靴箱等が備え付けられています。

３．インターナショナルレジデンス山手ノース

（徒歩10分）

所在地：名古屋市昭和区高峯町１６５

(Tel:+81-(0)52-835-5575)

施　設：鉄筋コンクリート3階建

留学生用･･･単身室（15㎡）104室

多目的ルーム、コインランドリー等があり、各室には台所、バス、トイレ、ベッド、オープンクローゼット、収納棚、机、卓上電気スタンド、椅子、エアコン、冷蔵庫、電子レンジ、カーテン、網戸等が備え付けられています。

４．国際嚶鳴館（徒歩10分）

所在地：名古屋市昭和区高峯町１６５

(Tel:+81-(0)52-832-2736)

施　設：鉄筋コンクリート９階建

留学生用･･･単身室（13㎡）60室

ロビー、多目的ホール、洗濯機、キッチン、リビング等があり、各室には机、椅子、ベッド、ワードローブ、下足箱、戸棚、多機能台、網戸、カーテン、ユニットバス・トイレ、エアコン等が備え付けられています。

５．石田記念インターナショナルレジデンス

妙見（徒歩10分）

所在地：名古屋市昭和区妙見町４０

(Tel:+81-(0)52-835-3332)

施　設：鉄筋コンクリート5階建

留学生用･･･単身室（15㎡）93室

台所、バス、トイレ、ベッド、カーテン、収納庫、机、卓上電気スタンド、椅子、エアコン、冷蔵庫、電子レンジ、コインランドリー等が備え付けられています。

■修了生へのフォローアップ

本コース修了後、名古屋大学の大学院に進み、名古屋大学の専任教員（准教授など／日本語・日本語学など）になったものが複数いる。

■問合せ先

（担当部署）

名古屋大学教育推進部学生交流課

住所　〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL　+81-52-789-2198（直通）

FAX　+81-52-789-5100

E-mail　iess@adm.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学ホームページ

http://www.nagoya-u.ac.jp/

国際言語センターホームページ

http://jp.ilc.iee.nagoya-u.ac.jp/ja/

責任教員メールアドレス

籾山　洋介　j46083a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

浮葉　正親　j46084a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp



Nagoya Univ.(Aichi)

Remarkable improvement in Japanese and acquisition of research tools useful for graduate studies

■ The University

① Characteristics and Overview

Nagoya University is one of the leading national universities for higher education and research in Japan. It is located in Nagoya, the political, industrial and cultural center of central Japan, as well as the capital of Aichi Prefecture. The university's history dates back to 1871 when a medical school and a hospital were founded. In 1949, after passing through various transitions, the university re-emerged in the reformed post-war education system as Nagoya University. Today, it consists of nine schools, fourteen graduate schools, three research institutes, nineteen centers for specialized study and research, and the University Library. As of May 2015, 16,439 students are enrolled at the University. They are supported by 3,806 faculty and administrative staff. With regard to accommodation, international students are housed in International Residence, Foreign Students House and International Ohmeikan.

② International Exchange

International students: 2,079, representing 97 nationalities and regions
(April 2014 – March 2015)
International visitors & researchers: 1,026, representing 77 nationalities and regions
(April 2014 – March 2015)

③ Number of Japanese Studies Program Students in the past three years (as of May 1st)

2015: 19 (1,613 international students in total)
2014: 19 (1,668 international students in total)
2013: 19 (1,649 international students in total)

④ Characteristics of the Region

Nagoya, situated between Tokyo and Osaka, comprises the political, economic, and cultural hub of the Chubu region. Located in the center of Japan, this cosmopolitan city is served by a convenient international and domestic transport network, as well as multi-lingual signposts.
History and tradition co-exist alongside modern industry and pop culture and, with a population of 2.28 million, Nagoya is ranked as one of Japan's three major metropolises. Despite its size, comparatively reasonable prices and a quiet townscape make Nagoya a comfortable city and leading destination for international students.

■ Course Outline

① Features of the Course

1. Principles and Aims of the Course

This course provides Japanese Studies Program Students (NIKKENSEI) with a well-organized and systematic program. Each student, who is assigned an academic advisor, is able to achieve the following goals.

[1] Acquisition of an advanced level of Japanese language ability (Japanese-Language Proficiency Test: N1)
[2] Accurate understanding of Japan and Japanese culture
[3] Acquisition and practice of basic research methods in each student's major field

2. Learning Japanese Language

NIKKENSEI are able to improve their Japanese in a course specially devised for NIKKENSEI.

NIKKENSEI have a great variety of chances to learn practical Japanese, for instance, through project work

3. Learning Japanese Culture

Each student is required to write a research paper in Japanese on a topic related to Japan. This is one of the best ways to learn Japanese culture. Concrete procedures are as follows:

After learning the fundamentals of writing a paper systematically, each student embarks upon a research paper in Japanese under the careful supervision of the course's academic advisors.

Presentation techniques in Japanese can be learned through presenting one's paper.

Students' papers are collected and published each year.

4. For Students Aiming for Graduate Studies

Those students aiming for graduate school are able to learn basic research methodology in their major fields through the following introductory lectures — Linguistics, Japanese Linguistics, Japanese Culture, International Relations.

② Number of Students Admitted

20 students
(Recommended by embassy: 16
Recommended by the university: 4)

③ Eligibility/Prerequisites for Application

1. Those who have an intermediate or advanced level of Japanese language ability (Japanese-Language Proficiency Test: N2)
2. Those majoring in Japanese language, Japanese linguistics, Japanese literature, or Japanology (Japanese Studies)

④ Goals of Achievement

1. Advanced level of Japanese language ability (N1)
2. Accurate understanding of Japan and Japanese culture
3. Acquisition and practice of basic research methods in each student's major field

⑤ Course Duration

From October 1, 2016 to September 30, 2017 (Completion Ceremony is held in September)



⑥ Outline of Course Subjects

1) Required Subjects
1. Intermediate and Advanced Japanese: Language courses specially devised for NIKKENSEI / 490hrs a year

2. Research Paper / 72hrs a year

2) Subject for Intercultural Exchange
Project work: Field trip for the study of principal products of Aichi

3) Optional Subjects
Introductory Lectures
[1]Linguistics Ⅰ(autumn semester / 28hrs)
Linguistics Ⅱ(spring semester / 28hrs)
[2]Japanese Linguistics Ⅰ(autumn semester / 28hrs)
Japanese Linguistics Ⅱ(spring semester / 28hrs)
[3]Japanese Culture Ⅰ(autumn semester / 28hrs)
Japanese Culture Ⅱ(spring semester / 28hrs)
[4]International Relations Ⅰ(autumn semester / 28hrs)
International Relations Ⅱ(spring semester / 28hrs)
[5]Japanese Literature Ⅰ(autumn semester / 28hrs)
Japanese Literature Ⅱ(spring semester / 28hrs)

General Education Subject
International Students and Japan (autumn semester / 30hrs)



⑦ Special Events

October	Bus Excursion (Ise & Takayama)
November	Autumn Welcome Party for New International Students
November	Cooking & Tasting Japanese Foods
February	Enjoying *ume* flowers
March	One-day Study Tour
May	Spring Welcome Party for New International Students
All Year	Home Stay/Home Visit

⑧ Academic Guidance

1) Academic Advice

A course coordinator advises students on academic issues as the need arises.

2) General Advice

An international student advisor advises students on issues regarding life in Japan as the need arises.

⑨ Conditions for Completion of the Course

A certificate of completion of the program is awarded to students who have completed all of the required subjects.



■ Housing

(1)Foreign Students House (35 min. by subway)

Address: 2-23-1 Tosei-cho, Showa-ku, Nagoya 466-0026
Tel: +81-(0)52-853-2901

Concrete-reinforced 3-storey residence:
49 rooms for single persons (12.5㎡)
5 rooms for couples (35㎡)
2 rooms for families (50㎡)
Each room is furnished with a bed, wardrobe, desk, chair, bookshelf, air-conditioner, refrigerator, shoe box.

Facilities: Reading room, lounge, kitchens, bath and toilet, laundry room, Japanese-style room, office.

(2)International Residence Higashiyama (on campus)

Address: 1 Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-0814
Tel: +81-(0)52-789-2197

Concrete-reinforced 6, 7 and 8-storey building and 2-story administration building:
95 rooms for single persons (16㎡)
25 rooms for couples (34㎡)
Each room is furnished with a kitchenette, unit bath, bed, wardrobe, closet, desk, chair, air-conditioner, refrigerator and shoe box.

Facilities: Lounge, Reading room, meeting room, Japanese-style room, laundry room, multi-purpose room, office.

(3)International Residence Yamate North (10min. on foot)

Address: 165 Takamine-cho Showa-ku, Nagoya 466-0811
Tel: +81-(0)52-835-5575

Concrete-reinforced 3-storey residence:
104 rooms(15㎡)
Each room is furnished with a kitchenette, unit bath, bed, wardrobe, desk, student lamp, chair, air- conditioner, refrigerator, microwave, curtains and window screens.

Facilities: Multi-purpose room, laundry room, office, etc.

(4)International Ohmeikan (10min. on foot)

Address: 165 Takamine-cho Showa-ku, Nagoya 466-0811
Tel: +81-(0)52-832-2736

Concrete-reinforced 9-storey residence:
60 rooms (13㎡)
Each room is furnished with desk, chair, air-conditioner, bed, wardrobe, cabinet, multi-purpose table, bath and toilet, curtains and window screens.

Facilities: Multi-purpose room, laundry room, kitchen, living room, etc.

(5)Ishida Memorial International Residence Myoken (10 min. on foot)

Address: 40 Myoken-cho Showa-ku, Nagoya 466-0814
Tel: +81-(0)52-835-3332

Concrete-reinforced 5-storey residence:
93 rooms (15㎡)
Each room is furnished with a kitchenette, unit bath, bed, wardrobe, desk, student lamp, chair, air-conditioner, refrigerator, microwave, curtains and window screens.

Facilities: Multi-purpose room, laundry room, office, etc.

■ Alumni Follow-up

After completing the course, some alumni entered graduate schools of Nagoya university and have become professors of this university.

■ Contact Information

Student Exchange Division, Education and International Affairs Department,
Nagoya University

Address:
Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601JAPAN

Tel: +81-(0)52-789-2198
Fax: +81-(0)52-789-5100
E-Mail: iess@adm.nagoya-u.ac.jp

Home Page:
Nagoya University
http://en.nagoya-u.ac.jp/

International Language Center
http://jp.ilc.iee.nagoya-u.ac.jp/en/

Academic advisors' e-mail addresses:

Momiyama Yosuke
j46083a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

Ukiba Masachika
j46084a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp



三重大学 (三重県)

コースの特色
＊将来、日本や日本語に関係する研究や仕事を目指している人のためのコースです。
＊自分のレベルに合わせて、中級後半から上級レベルの日本語を集中的に学習します。
＊自分の専門分野の研究を進めるために、それぞれ指導教員を決めて個別指導を受けて、基礎的な研究方法を学ぶことができます。
＊日本人および在日外国人・留学生との相互交流を通して、日本文化や異文化への理解を深めることができます。

◇大学紹介

◆三重大学は総合大学で、人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部の５学部があります。また、大学院は地域イノベーション学研究科を加えた６研究科があります。キャンパスは、津市にあります。自然環境に恵まれ、キャンパスのすぐ東側には海岸の波が打ち寄せ、北西には鈴鹿の山が連なります。

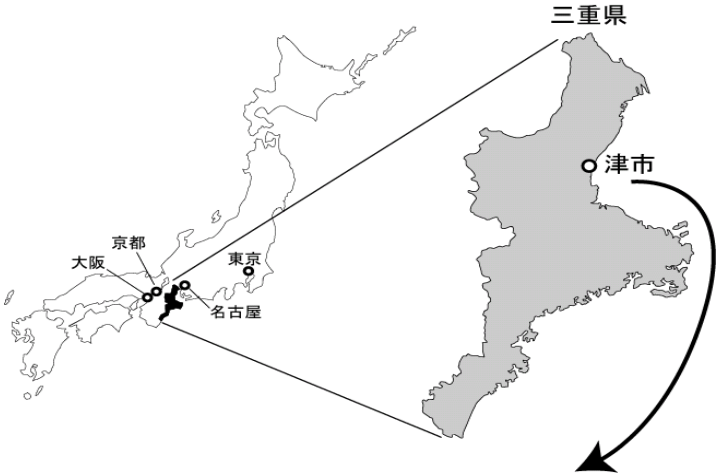
◆学生数・教員数：
学部学生数：６，１３４名
大学院生数：１，１６３名
教員数：７７４名
外国人留学生数：　３１２名（３０カ国）
〈２０１５年５月１日現在〉

◆国際交流の実績：
三重大学は、外国の１０８大学・機関と、大学間または学部間の学術交流協定を結んでいます。これらの大学とは、教員・学生の交流、学術情報の交換などを行っています。
〈２０１５年１０月２９日現在〉

◆環境先進大学：
三重大学は世界一の環境先進大学を目指しています。

◆留学生及び日本語・日本文化研修留学生の受け入れ実績　（大学間協定に基づく受入れを含む）：

	留学生	日文生
２０１３年度	２７８名	６名
２０１４年度	２８６名	５名
２０１５年度	３１２名	５名





国際交流センター（総合研究棟Ⅱ）

◇地域の紹介

◆津市は、三重県の県庁所在地です。人口は約２９万人、温暖な気候で暮らしやすいところです。交通も便利で、大阪へのアクセスは約１時間半、京都へは約２時間、東京へも約３時間です。

◆三重県は、歴史や文学・国学の豊かなところです。すでに８世紀には『万葉集』の詩歌にうたわれ、多くの小説の舞台となってきました。三島由紀夫が小説『潮騒』に描いた神島も、ここ三重県にあります。俳句を詠んだ松尾芭蕉は現在の三重県の地に生まれ、「文学の神様」と呼ばれる横光利一も中学時代を三重県で過ごしました。

◆県内には多くの史跡や名勝があり、観光客もたくさん訪れます。伊勢神宮を中心とした歴史的建造物、古い宿場町や歴史街道も残っています。また、熊野古道は、２００４年７月に世界遺産に登録されました。

◆他方、県内にある鈴鹿サーキットは、「日本のモータースポーツの聖地」と言われてきました。Ｆ１日本グランプリが開かれることにより、世界各国から多くのファンが集まります。

◇コースの概要

◆*コース名*

三重大学国際交流センター
日本語・日本文化研修コース

◆*コースの内容*

受け入れ定員：５名（大使館推薦、大学推薦）

コース期間：２０１６年１０月１日～
２０１７年９月３０日

コース前半（１０月～３月）
＜日本語・日本文化研修期間＞
・習得レベルに応じて、日本語を集中的に学習します。
・授業や見学・研修旅行を通して、日本の社会や文化、三重地域の歴史や伝統文化を学びます。

コース後半（４月～９月）
＜専門研究期間＞
・上のレベルの日本語・日本文化の学習を続けます。
・自分の専門分野について、指導教員による個人指導を受けながら、基礎的な研究方法を学びます。そして、研究レポートをまとめます。

◆*行事*

１０月　開講式
１２月　国際交流イベント
５月　研究の中間発表
８月　研究の最終発表
９月　研究レポートの提出
（上旬）修了式



授業科目の概要：
このコースに入ったら、まず日本語レベル判定試験を受けます。その結果により中級Ⅱレベルと上級レベルにわかれます。

各レベルの目標
＜中級Ⅱ＞
大学教育を受けるための高度な読解力、聴解力、文章表現力等をつけます。
語彙数：　約６，０００～８，０００語
漢字数：　約１，０００～１，５００字
＜上級＞
専門分野で研究を行うために必要な、高度な日本語力をつけます。
語彙数：　約８，０００～１０，０００語
漢字数：　約１，５００～　２，０００字

中級Ⅱの必修科目
《文法・読解》
主な目標：中・上級レベルの表現文型を体系的に学び、運用する力を身につける。

《読解・作文》
主な目標：大学の専門分野の学習への橋渡しとして、高度な文章を総合的に読解できる力をつける。

《聴解・会話》
主な目標：映画・アニメーション・ドラマ等の視聴を通して、生の日本語を聞き取り、意見交換を通して聴解・会話力を高める。

《日本語・日本文化演習》　※
主な目標：自分の専門分野に関する研究を進め、研究レポートをまとめるための指導を受ける。

《三重の社会と文化》
主な目標：　日本と三重県の社会文化環境を学外研修などを通して理解し、楽しむ。

上級の必修科目
《上級総合日本語１》
主な目標：論文の読解を通して学術的な文章の基礎を学ぶ。また、実際の調査活動を通して小論文の作成方法を学ぶ。

《上級総合日本語２》
主な目標：敬語、ビジネス日本語等を通して、より実践的な日本語運用力を高める。

《日本事情》
主な目標：日本の社会や文化について、さまざまなトピックを選び、資料を読み、日本人学生と共に討論する。

《日本語・日本文化演習》　※
主な目標：自分の専門分野に関する研究を進め、研究レポートをまとめるための指導を受ける。

《三重の社会と文化》
主な目標：日本と三重県の社会文化環境を学外研修などを通して理解し、楽しむ。

※日本語・日本文化演習は日研生のみを対象とする授業科目です。日本語で授業を行います。

選択科目

《文字・語彙》
主な目標：漢字の学習を通して、読解・作文など総合的な応用力を高める。

＊上級レベルの人は中級Ⅱの授業科目を、中級Ⅱレベルの人は中級Ⅰの授業科目を、選択して受講することもできます。合計７科目を履修します。

＊これらの国際交流センターの科目の他に、５学部の科目を選択し受講することもできます。

◆*受講希望者の資格および条件*

次の（１）と（２）の両方の条件を満たすこと。
（１）本国の４年制大学において、日本語・日本語教育・日本文化関係を専攻している人（２年生以上）。
（２）日本語能力試験２級以上か、それに相当する日本語力がある人（語彙を約４，０００～６，０００語、漢字を約６００～８００字以上、既に習得している人）。

◆*指導体制*

指導教員：国際交流センター専任教員　３名
協力教員：国際交流センター非常勤講師６名
協力学部：全学部（５学部）

指導教員の主な専門分野

福　岡　昌　子(教　授）：
日本語教育、日本語学(音声)、第二言語習得論
松　岡　知津子(准教授）：
日本語教育、日本語学(文法)
栗　田　聡　子(准教授)
メディア心理学

http://www.cie.mie-u.ac.jp/about/staff/index.html



◆*学習支援体制*

教員のオフィス・アワー
センター専任教員は、それぞれ週２時間半のオフィス・アワーを設けています。その時間に各教員研究室を訪れれば、日本語の学習に関するわからないことや、いろいろな悩みなど、自由に相談することができます。別の時間を予約することもできます。

日本語学習サポート・プログラム(てらこやサークル)
日本語を勉強している留学生に、日本人学生のボランティアを紹介しています。お互いに都合のよい時間を選んで会い、授業で習った日本語を使って会話の練習をしたり、日本語のまちがいを見てもらったりします。

コンピューター室の利用
国際交流センターのコンピューター室には、最新のパソコンを備え、CALLシステムが導入されています。留学生には、ユーザー・アカウントが発行され、授業以外でも、インターネットやレポート作成などに利用することができます。

e-ラーニングブース
この部屋は、日本語・日本文化研修生を含む国際交流センター所属の留学生が使用できる部屋です。コンピューターが７台設置され、学生たちは自由な時間に自習したり、自分の研究を進めたりしています。

セカンド・ホーム（ホストファミリー）プログラム
留学生は、週末や休日を一緒に楽しく過ごすためのホスト・ファミリーをもつことができます。

留学生と日本人学生との交流サークル活動（てらこやサークル）
パーティやスポーツや買い物、外食、その他、さまざまな活動を共にし、友情を育んでいます。

◆*取得単位の取り扱い・修了証書の発行*

＊コースの修了にあたっては、各レベルの必修科目を受講し、日本語による口頭試問、論文発表会を行い、優秀な成績を修めた者については修了証書を発行します。
成績判定にあたっては、国際交流センター教員による成績会議で統合的に判断されます。
＊母国の大学で単位の認められる人には、成績証明書を発行します。

◇ 宿舎の状況

大学の近くには、各種設備の完備した「外国人留学生会館」（単身室：３０室月額￥５，９００、夫婦室：５室、月額￥１１，９００）「外国人留学生寄宿舎」（単身室：５２室月額￥１３，０００、２９室月額¥２９，０００、４人部屋・女子のみ：８室月額￥６，５００、シェアルーム：１４室月額¥１８，０００）、「国際女子学生寄宿舎」（留学生用単身室：２５室月額￥５，９００があります。日本語・日本文化研修留学生は、このいずれかで入居しています。
※日本語・日本文化研修留学生の宿舎利用実績
　２０１３年度　６名
　２０１４年度　５名
　２０１５年度　５名

◇ 問合せ先

担当係：三重大学学術情報部国際交流チーム
所在地：
〒514-8507　三重県津市栗真町屋町１５７７
TEL：＋８１－５９－２３１－９７２１
FAX：＋８１－５９－２３１－５６９２
E-mail：koryu@ab.mie-u.ac.jp
http://www.cie.mie-u.ac.jp/



▲三重大学キャンパスマップ



Mie University (Mie)

Aims and Features of the Course

* This course is for international students who intend to do research work on Japan or on the Japanese language in the future.
* The intensive study of upper intermediate and advanced levels of Japanese in appropriate classes
* To acquire basic research methods in one's major field of study with the assistance of academic advisors
* To gain cross-cultural understanding through various experiences with Japanese and international students/ residents in the local community

◇University Overview

◆Mie University consists of five undergraduate faculties (Humanities, Law and Economics/ Education/ Medicine/ Engineering/ Bioresources) and six graduate schools including the Graduate School of Regional Innovation studies. The campus is located in Tsu city, which is blessed with an excellent natural environment facing the beach on the east and the Suzuka Mountains to the north-west.

◆Number of Students and Staff

Number of Undergraduates	6,134
Number of Graduate Students	1,163
Number of Teaching Staff	774
Number of International Students	312

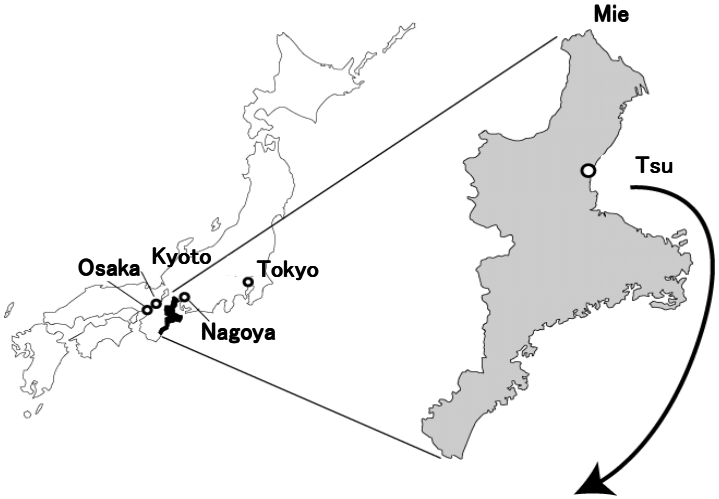
(from 30 countries, as of May 1, 2015)

◆Mie University has partner-university or partner-faculty academic exchange agreements with 108 Institutions for the advancement of the exchange of students, researchers, and academic information (as of October 29, 2015).

◆ The already environmentally advanced Mie University seeks to establish itself as the most environmentally advanced university in the world.

◆Number of (1) International Students and (2) Students in The Japanese Language and Culture Studies Course (including students from overseas institutions with exchange agreements)

Year 2013: (1) 278 (2) 6 Students
Year 2014: (1) 286 (2) 5 Students
Year 2015: (1) 312 (2) 5 Students





Center for International Education and Research
(University Research Hall II)

◇Around University

◆Tsu city is the prefectural capital of Mie prefecture with a population of 290,000. It is comfortable to live in with a mild climate throughout the year. It is convenient as well, taking one and a half hours to Osaka, two hours to Kyoto and three hours to Tokyo.

◆Mie prefecture is known for its rich history and culture. Even a poem from *Manyoshu*, an anthology of poetry, compiled as early as the 8th century referred to Mie. *Shiosai*, a novel written by Yukio Mishima, is set in Kamijima Island of Mie. Matsuo Basho, a great haiku poet, was born in this district and Riichi Yokomitsu, known as the "God of Literature," spent his junior high school days here.

◆Mie is also known for its rich historical spots and resort areas. Historical architectures such as the Ise Shrine, old towns, and streets have been well preserved. *Kumano-kodo* (the ancient road) was registered as a World Heritage Site in July, 2004.

◆The Suzuka Circuit is referred to as the "Holy place of Japanese motorsports" and the site of the Japanese Formula 1 Grand Prix. This event attracts fans from all over the world.

◇Course Overview

◆ *Name of the Course*

Japanese Language and Culture Studies Course (JLCS) at the Center for International Education and Research (CIER), Mie University

◆*Contents of the Course*

Number of students to be accepted: 5
Embassy Recommended Student
University Recommended Student

Duration: From October 1, 2016 to September 30, 2017

The first half of the course (October – March)
<Study Japanese Language and Culture>
・Students study the Japanese language in appropriate classes.
・Students participate in field trips to the local historical/ cultural spots and other places of interest.

The latter half of the course (April – September)
<Studies in Major Fields>
・Students study an upper level of Japanese language and culture.
・Students work with academic advisors and write a research report in Japanese.

◆ **CIER Events**



Oct: Opening Ceremony Activities
Dec: International Exchange Month
May: Review of the first six months
Aug: Final Presentation Report
Sep: Submit Final Report
(Early Sep.) Closing Ceremony

Enrollment in CIER Classes

First of all, new students in this program take a placement test. Students are then placed either in an advanced course or an upper intermediate course.

Goals of Each Course

＜Upper Intermediate Course＞
Acquire a high level of reading/ listening comprehension and writing ability necessary for university education.
Vocabulary: Approx. 6,000 – 8,000 words
Kanji: Approx. 1,000 – 1,500 characters

＜Advanced Course＞
Acquire a high level of Japanese language ability necessary for studies in major fields.
Vocabulary: Approx. 8,000 —10,000 words
Kanji: Approx. 1,500 — 2,000 characters

Compulsory Classes in the Upper Intermediate Course

Grammar and Reading
Goals: Study intermediate and advanced levels of expression patterns systematically and acquire the ability to use them properly.

Reading and Writing
Goals: Acquire the ability to read advanced academic writing as preparation for study in one's major field.

Listening and Conversation
Goals: Improve the listening and conversational ability by learning real Japanese through movies, animation and drama, and through active conversation exchanges with classmates.

Japanese & Culture Seminar*
Goals: Take tutorials from academic advisors to study in one's major field and to write a research report in Japanese.

The Society and Culture of Mie
Goals: Learn and enjoy the social/ cultural environment of Japan and Mie prefecture through field studies.

Compulsory Classes in the Advanced Course

Advanced Total Japanese 1
Goals: Read journal articles to study the basis of academic writing. Study how to write a research paper.

Advanced Total Japanese 2
Goals: Enhance practical Japanese proficiency by learning polite expression, business Japanese and so on.

Japanese Culture & Society
Goals: Read materials about various topics related to Japanese society and culture followed by discussion with Japanese students.

Japanese & Culture Seminar*
Goals: Take tutorials from academic advisors for studying in one's major field and for writing a research report in Japanese.

The Society and Culture of Mie
Goals: Learn and enjoy the social/ cultural environment of Japan and Mie prefecture through field studies.

*Japanese & Culture Seminar in both Advanced Course and Upper Intermediate Course are for the students in the Japanese Studies Program. The classes are held in Japanese.

Electives for Upper Intermediate and Advanced Courses

Character/ Vocabulary
Goals: Comprehensive improvement of reading and writing through learning Kanji.

*Students who are assessed as advanced level can take upper intermediate classes and intermediate classes are available for those in at upper intermediate level as needed (Course requirement: 7 classes per semester).

*In addition to these CIER courses, you may also enroll in classes offered at the five faculties (Humanities, Law and Economics/ Education/ Medicine/ Engineering/ Bioresources).

◆ *Qualifications and Conditions for Application*

Should meet both of the following conditions:
(1) Undergraduate students (in the second year or above) at a home institution who major in Japanese language, education and culture.
(2) Students who have passed the Japanese Language Proficiency Test Level 2 or have the ability equivalent to it (Those who have mastered 4,000 to 6,000 words, 600 to 800 Kanji or more.).

◆ *Teaching Staff*

Teaching Staff:
Three full-time CIER faculty members
Supporting Teaching Staff:
Six CIER part-time instructors
Supporting Faculties:
Five undergraduate faculties (Humanities, Education, Medicine, Engineering and Bioresources)

Full-time CIER Faculty Members and their Research Fields

Dr. Masako Fukuoka (Professor):
TJFL, Japanese Linguistics (Phonetics), second language acquisition
Dr. Chizuko Matsuoka (Associate Prof.):
TJFL, Japanese Linguistics (Grammar)
Dr. Satoko Kurita (Associate Prof.):
Media Psychology
*TJFL= Teaching Japanese as a Foreign Language

For further information:
http://www.cie.mie-u.ac.jp/en/cier/about/staff/



◆ *Study Support Programs*

Office Hours of Teaching Staff
The four CIER faculty members have 2.5 office hours a week. Anyone who has questions on Japanese classes or has problems is encouraged to visit. You can also call for an appointment to meet at another time.

Japanese Language Study Support Program (Terakoya)
CIER introduces Japanese student volunteers to international students who are taking Japanese language courses at CIER. Volunteers help international students practice what they have learned in classes. An international student pairs with a Japanese student.

Computers
Latest model computers with CALL system are available in the computer room of CIER for all students. Besides using in classes, all students can use computers for the internet and to write papers with a provided user account.

E-Learning Booths
There are 7 computers for CIER and JLC students where one can spend time freely for study or research.

Second Home (host family) Program
International students may apply to have a host family to visit and to have fun with on weekends and holidays.

Multi-cultural Association For Fun (Terakoya)
International and Japanese students share time on/ off campus partying, sporting, shopping, eating out, studying and more.

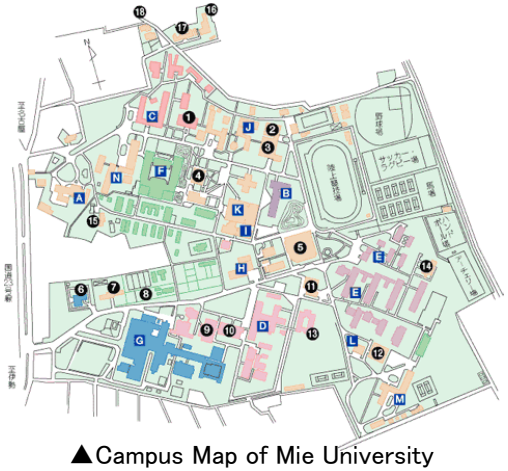
◆ *Certificate of Completion and Credit Transfer*

*Certificates of completion will be issued for those who have successfully completed the course requirements including both oral interview and paper presentation with excellent result. Judgment will be made in the evaluation meeting by the teaching members.
*Academic transcripts will be issued for those who can transfer credits to their home universities.

◇Accommodation
University Foreign Student's House (gender-mixed, 30 single rooms: 5,900 JPY per month, and 5 rooms for married couples: 11,900 JPY per month), *Foreign Student's Dormitory* (gender-mixed, 52 single rooms: 13,000 JPY per month, 29 single rooms 29,000 JPY per month, 8 rooms for 4 persons: 6,500 JPY per month per person and 14 sharing rooms for 4 persons: 18,000 per month per person) and *Women's Dormitory for International Students* (25 single rooms: approx. 5,900 JPY allocated for international students) offer adequate housing for students in this program.

*Students lived in the dormitories in this program
Year 2013- 6 Students
Year 2014- 5 Students
Year 2015- 5 Students

◇For Further Inquiry
International Relations Office, Mie University
Address: 1577 Kurimamachiya-cho,Tsu city, Mie, 514-8507 JAPAN
Phone: +81-59-231-9721
Fax: +81-59-231-5692
E-mail: koryu@ab.mie-u.ac.jp
http://www.cie.mie-u.ac.jp/en/cier/
http://www.mie-u.ac.jp/en/



▲Campus Map of Mie University



京都大学 （京都府）

京都大学日本語・日本文化研修プログラムは、日本の伝統的文化や現代社会について理解を深め、
京都の地域性を生かした実地体験を交えながら、多様な側面から日本を考える機会を提供します。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1)京都大学は1897年の開学以来個性的でアカデミックな学風を打ちたて、現在もその精神は健在である。今日では、10学部、18大学院研究科、15附置研究所・研究拠点、17の教育研究施設等および図書館、病院を有する日本有数の総合大学として、学術・文化の発展に貢献している。

2)京都大学の教員数は、2015年5月1日現在2,792名であり、13,569名の学部学生、9,216名の大学院生が、吉田、宇治、桂の3キャンパスに分かれて勉学、研究に励んでいる。

教授	准教授	講師	助教
1,032人	769人	157人	831人

（2015年5月1日現在）

② 国際交流の実績

京都大学では2015年5月1日現在、100ヶ国・地域からの、1,881名の留学生が学んでいる。国際交流センターはこれらの学生の勉学・研究を、教育・生活の面から支援している。
京都大学は、国際交流の拠点大学として46ヶ国・地域の131大学4大学群5機関と大学間協定を提携しながら、学術国際交流を推進している（2015年5月1日現在）。部局間学術交流協定を締結している機関数も710に上り、日常的に学術国際交流が可能な環境が整備されている。これらの機関からの交換留学生の受入れや日本人学生の海外留学を推進しつつ、世界的な視野で考え、行動できる学生の養成に大学全体として力を入れている。

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数 1,881人、日本語・日本文化研修留学生 19人
2014年：留学生数 1,779人、日本語・日本文化研修留学生 19人
2013年：留学生数 1,733人、日本語・日本文化研修留学生 21人

④ 地域の特色

京都は美しい自然に恵まれ、千年有余の歴史と豊かな伝統を誇る古都として世界的に有名であるが、自由闊達な精神を育くんできた学術の街としても知られる。

■コースの概要

① コースの特色

本プログラムは、将来日本をフィールドにしながら、教育・研究分野、外交分野、国際機関、多国籍企業等での人的交流のかなめとなる役割を担うことが期待される人材を養成する京都大学のプログラムである。

自国で日本語や日本文化を学んでいる学生が、1年間京都大学に留学することによって、日本語だけでなく、多様な日本の文化や現代社会に接し、理解を深めるプログラムを提供する（総提供時間・822時間）。

更に、世界各国からの学友との共学や、課題研究への取り組みを通して、世界を視野に入れた幅広い思考力と実践力を育成する。



↑ 百周年記念時計台（吉田キャンパス本部構内）

② 受入定員

22名（大使館推薦19名、大学推薦 3名）

③ 受講希望者の資格、条件等

1)資格

3年程度の日本語学習歴があり、在籍大学で日本語・日本文化を専攻している学生であること。

2)条件

京都大学の研修プログラムでは日本人学生とほぼ同等の内容の講義が、ナチュラルスピードの日本語で行われる。また修了論文作成の一環として文献を読み、フィールドワークを行ない、発表することになっており、最終的に論文を執筆する。
受入れ学生にはこれらを受講し、修了論文作成を行うことのできる日本語運用能力が求められる。具体的には、日本語能力試験 N2 レベル 合格以上の日本語能力を有することが条件となる。更に、研修プログラムを受講するための基礎的知識・学力を備えていることが望ましい。

④ 達成目標

このプログラムでは、日本社会・文化に対する知見を深め、同時に学術レベルの高度な日本語力の修得を到達目標とする。

⑤ 研修期間

2016年10月1日 ～ 2017年9月30日
修了式は9月を予定（2015年は9月）
Ⅰ期：10月～3月、Ⅱ期：4月～9月

⑥ 研修科目の概要

（年間総学習時間数 618時間）
日本語・日本文化研修プログラム受講が必修であるが、Ⅱ期には学生の専門に合わせて、全学の講義を一部受講できる。各科目の概要は次項の通りである。

1)　必須科目

a) 日本社会・文化に関するフィールドワーク
（30時間・必修）

この授業は、日本語・日本文化研修留学生を研究テーマ毎に分けたフィールドワークのクラスである。

このクラスでは自分の研究テーマに沿って、計画、調査、発表、報告書作成を行う。研究テーマは現代日本社会に関わる多彩な内容が盛り込まれている。

b) 日本語日本文化論文作成Ａ・Ｂ
（各60時間・必修）

1年間の日本語・日本文化研修プログラムを通して各自が自分のテーマを持ち、テーマに沿った文献調査やフィールドワークを行い、修了論文として提出する。

c) 日本事情Ａ[社会科学分野]
（72時間・必修・選択必修を含む）

日本事情Ａは現代日本社会を、政治・経済・社会・法律・国際関係などの観点から理解することを目的に開講される。講義は主として京都大学の各専門分野の教員が入門と専門的な内容を交えて行う。講義内容の分類と総時間数は次の通りである。



↑　国際交流センター（吉田キャンパス本部構内）

ⅰ）日本社会に関する概説(30時間・必修)
上記フィールドワークのための社会学調査入門講義を行う。

ⅱ）日本の法と政治に関する概説(8時間)

ⅲ）日本の経済に関する概説(4時間)

ⅳ）各分野の諸問題(30時間)
上記各分野の現代における重要な問題を取り上げ、専門家による講義を行なう。

d)日本事情Ｂ［人文科学分野](118時間・必修、選択必修を含む)

ⅰ）日本文学(60時間・必修)
古典から現代までの文学作品を紹介し、作品を読むことによって日本文学の基礎的な知識や多様な文学表現・思想を学ぶ。一方で、ある程度高度な日本文の読解をしながら、意見を発表し、文章を書く能力を高めることを目的とする。

ⅱ）日本文化・歴史(風土)(58時間)
・近代以前：
日本文化の特質と歴史的変遷を理解することを目的に、古代・中世・近世の文化諸相とそれらの基盤となった政治・社会・歴史・風土について学ぶ。また京都は1000年の間日本の都であったため、能、茶道、華道、絵画、寺院、建築、庭園など至る所に伝統文化の粋を見ることができる。このような土地柄を生かして、実際の文化遺産に接し、理解を深めることを目的とする。

・近代以後：
世界の中で日本がどのように近代化を進めていったか、 また近代以降の文化の特質について学ぶ。なお個別の重要な問題は特別講義で取り扱う。

e)特別教育(132時間・選択必修)
現代日本社会や伝統的日本文化をより深く理解するため、実施研修を行う。その他各講義で取り上げなかった重要な問題を特別講義として12回開講する。

ⅰ）現代産業及び現代文化に関する見学・研修等(40時間)

ⅱ）伝統産業及び伝統文化に関する見学・研修等(46時間)

ⅲ）特別講義(46時間)

f)日本語
(350時間・必修)

本研修プログラムの日本語教育は、1)日本語に対する知識を深めるための日本語概説Ａ・Ｂ及び日本語教育演習、2)個々の受講生の日本語運用能力を高める日本語強化コースの二部構成となっている。

ⅰ）日本語概説Ａ(第Ⅰ期 30時間)
外的事象の把握・表現の仕組みとしての日本語の文法体系を考察する。

ⅱ）日本語概説Ｂ(各期 30時間)
日本語の歴史的な変遷を概観し、現代日本語がどのようにして現在の姿になったかを考える。

ⅲ）日本語教育演習（第Ⅱ期30時間）
言語を専攻にする京都大学の学生と共にグープを形成し、誤用が起きやすいとされている日本語学習項目を選択・分析しながら、それらの教授方法について学ぶ。

ⅳ）日本語強化コース(230時間)

・日本事情の講義を理解し、講義で討論し、報告書・論文をまとめる日本語能力を養うため、本コースは、読解・発表・論文作成の3技能を集中的に伸ばす内容となっている。

・本コースは、第Ⅰ期開講時にプレースメントテストを行い、日本語到達度によってクラスを2つに分ける。

・本コースでは「聴く・話す・読む・書く」の基本技能の運用能力を強化し、クラス別に出される様々な課題をこなしながら、学術分野への応用力を養成する。

・日本語は以上の授業の成績及び出席態度によって評価するほか、学期終了時に全員に対してテストを行い、総合的な日本語能力の到達度を判定する。

2)　見学、地域交流等の参加型科目

①日本の法律と裁判所、日本建築・庭園、日本の美術のように、日本社会、日本文化を理論的・体験的に理解することができるよう、講義と実地見学を組み合わせた授業を多く開講している。

②現代日本社会の諸相を理解できるよう、人権問題や地域との交流、企業見学、学校訪問など多様なプログラムを用意している。

③和菓子作りなど日本独自の文化体験や京都の土地柄を生かした祭・能楽・歌舞伎鑑賞等は日本事情B・ 特別教育の中で行われる。

④その他計２日程度の研修旅行を実施する。

3)　その他の講義、選択科目等

1)日本語・日本文化研修プログラムの受講を原則とするが、正規生向けの講義が聴講できるレベルに達した学生は、Ⅱ期に自分の専門に合わせて専門講義を聴講することもできる。

2)上述した授業は原則的に日本語・日本文化研修留学生専用に開講しているが、日本事情 A・Bの諸講義は全学の留学生が聴講できるオープンシステムとなっている。

3)日本語強化コースは、個々の学生の日本語運用能力を伸ばすため、能力別に2クラスに分けて行う。本授業は日本語・日本文化研修留学生だけの集中クラスとして開講される。

⑦　年間行事・学年暦

2015－2016の実施例の一部（2016-2017の学年暦も上記とほぼ同様）。

10月 7日　開講式・歓迎会
10月 8日～ 2月 5日　第Ⅰ期授業
11月20日 和菓子作り
11月25日 奈良見学
12月 9日 能楽鑑賞会
12月24日 新聞社見学
2月15日～16日 実地見学旅行
4月 6日～ 7月26日　第Ⅱ期授業
8月 3日～ 9月上旬　修了論文仕上げ期間
9月上旬　修了式・歓送会

（その他、特別教育の一環として文楽鑑賞、歌舞伎鑑賞、美術館見学などの多数の行事を予定している。）

⑧　指導体制

1)京都大学日本語・日本文化研修委員会

日本語・日本文化研修留学生受入れ、年間授業計画、成績判定、修了認定のために、全学からの委員による委員会が組織されている。受入れ・授業に関する方針は委員会が決定する。

2)日本語・日本文化研修留学生の指導は国際交流センターの教員・学内外の講師陣が担当する。学生の自国大学の専門分野に関する課題についても教員数名が個別指導にあたり、修了レポートを作成し、帰国後も継続してその分野の研究を進めることのできる体制を組んでいる。

在籍部局：国際交流センター

プログラム責任者： ルチラ　パリハワダナ

(国際交流センター教授・専門：日本語学・日本語教育学)

湯川　志貴子

(国際交流センター准教授・専門：日本古典文学)

その他国際交流センター専任教員数名が主として指導にあたる。



↑　五山送り火（京都、夏の行事のひとつ）

⑨　コースの修了要件

本プログラム研修課程で定めてある必修科目（総合科目、日本語科目、日本事情科目：合計8科目中7科目）の合格、選択必修科目（日本事情科目、特別教育科目：合計232時間中175時間以上）の履修及び修了研究論文の提出を修了要件とする。上記の成績を記載した履修証明書を発行し、修了要件を満たした学生には修了証明書を授与する。

■宿　舎

すべての日本語・日本文化研修留学生は、京都大学国際交流会館おうばく分館(京都府宇治市)、みささぎ分館（京都府京都市山科区)等の留学生・外国人研究者用の寮に入居することができる。家賃は単身室で月11,900円（2015年9月現在）で、入居日は10月1日以降の平日、退去日は9月末から一週間前頃となっている。また、民間アパートを希望する学生は、京都市内のアパートを自分で探すこともできる。家賃は月平均4万円程度であるが、入居の際には敷金・礼金を支払う制度があり、家賃１～3カ月分程度の費用が別に必要となることが多い。民間アパートに入居する場合は京都大学留学生住宅保証制度を利用することができる。
2013年10月～2016年9月までの3年間における日本語・日本文化研修留学生の宿舎入居実績は59名中58名である.



↑　おうばく分館（京都府宇治市）

■修了生へのフォローアップ

修了生に対し、日本の大学院への進学のサポート、必要に応じて就職・大学院進学等のための推薦を行っている。また、修了日研生との日常的な交流を絶やさないように努めており、メーリングリストの整備、同窓会結成の準備などを進めている。

■問合せ先

京都大学国際交流センター
住所：〒606－8501京都市左京区吉田本町
担当事務：教育推進・学生支援部国際教育交流課
Email:intlstudent@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
Tel:+81－(0)75－753－5407
Fax:+81－(0)75－753－2562
URL: http://www.ryugaku.kyoto-u.ac.jp/
大学ホームページ:http://www.kyoto-u.ac.jp



KYOTO UNIVERSITY (KYOTO)

Kyoto University's 'Japanese Language and Cultural Studies Program' offers students the opportunity to deepen their understandings on traditional culture and current social issues of Japan from various viewpoints, while offering opportunities to experience the rich culture of Kyoto.

■ University's Overview

① Characteristics and Overview of Kyoto University

1) Since its foundation in 1897, Kyoto University has built an academic atmosphere and spirit of individuality, and these ethos are kept alive until the present day. Currently, Kyoto University consists of 10 faculties, 18 graduate schools, 15 research institutes and more than 17 educational and research centers and facilities like libraries and a hospital, making it one of the largest-scale universities in Japan which has continuously contributed to the development of science and culture.

2) Number of Teaching Staff and Students

As of May 1, 2015, 2,792 teaching staff as well as 13,569 under graduate students and 9,216 graduate school students are engaged in academic pursuits at Yoshida, Uji and Katsura Campuses.

Professors	Associate Professors	Senior Lectures	Assistant Professors
1,032	769	157	831

② International Exchange

Presently (as of May 1 2015), 1,881 international students from 100 countries and regions are studying at Kyoto University. International students funded by the Japanese government or other scholarships as well as privately-financed students spend fruitful campus lives pursing their respective goals. The International Center supports studies and research of these students from the aspects of both education and lifestyle.

Kyoto University promotes international academic exchange, affiliating with 131 universities, 4 university clusters and 5 institutes from 46 countries and regions. In addition, it has 710 partner faculties scattered all over the world. Through student exchange with these global partners, Kyoto University hopes to foster global minded young talent.

③ Number of International Students and MEXT Japanese Studies Students (JSS) for the past 3 years

2015 International Students: 1,881, JSS: 19
2014 International Students: 1,779, JSS: 19
2013 International Students: 1,733, JSS: 21

④ Characteristics of the Region

Kyoto is famous throughout the world as a city blessed with beautiful nature and as the former capital of Japan with a history longer than one millennium. Serving as the center of traditional culture in Japan, it has nourished a spirit of openness and broad-mindedness integrating innovation with its rich tradition.



↑ Clock Tower Centennial Hall (Yoshida Main Campus)

■ Course Outline

① Characteristics of Japanese Language and Cultural Studies Program

This one year program at Kyoto University offers students majoring in Japanese language and culture in their countries the opportunity not only to study Japanese but also to get exposed to various aspects of its culture and contemporary society, and thereby deepen their understanding of Japan (a total of 822 hours of lectures provided).

This program fosters young talent, who after returning to their respective countries, will carry out research, cultural exchange and social activities in fields concerning Japan, with global scale visions.

② Number of Students to be Accepted : 22

(Embassy Recommended Students: 19, University Recommended Students: 3)

③ Conditions and Qualifications for the Acceptance of Students

1) Qualifications

Those who have studied Japanese language for more than three years and are majoring in Japanese language or culture at their home university.

2) Conditions

·The lectures given in this program, are generally of the same level as the ones given for regular Japanese students, and are held in natural speed Japanese. Students will read research materials, carry out fieldwork, conduct presentations and write academic research paper using Japanese language. Therefore, they are required to have sufficient Japanese ability to understand lectures and complete the research paper.

A level equivalent to that of Japanese Language Proficiency Test N2 level is a prerequisite. In addition, it is desirable for those who participate in this course to have basic academic ability along with practical Japanese language ability.

④ Objective of the Program

This program sets its objective on
1) acquiring a specialized knowledge on Japanology, in addition to 2) an academically applicable advanced Japanese language ability.

⑤ Duration of Program: 2016.10.1 – 2017.9.30
Completion Ceremony will be held in November.
(similar to 2015)

⑥ Outline of the Program

(total of 618 hours of auditing required)

Student are required to participate in Japanese Language and Cultural Studies Program specially designed to fit their needs.

1) Compulsory Courses

a) Field Work in Japanese Society and Culture
(30 hours/ compulsory)

In this field work class, Japanese Studies Students form field research groups according to their research theme. They will design a research plan, carry out field work, present the results of their research orally as well as in written report form.

b) Report Writing in Japanese Studies A・B
(60 hours each/compulsory)

As part of this yearly course, each student decides his/her theme, conducts bibliographic survey and fieldwork, and submits an academic research report.

c) Japanese Affairs A [Sociological Aspects]
(72 hours/ including compulsory and semi-compulsory courses)

These classes are aimed at deepening the understanding of contemporary Japanese society from viewpoints of politics, economics, sociology, law and international relations. The lectures are given mainly by professors at Kyoto University on each area of his/her expertise, combining introductory and specialized topics.

Details of contents and number of hours is as follows:
ⅰ) Overview of Japanese Society (30 hours/ compulsory)
This class is an introductory course on social investigation which provides basic knowledge necessary to conduct the above-mentioned field work.
ⅱ) Overview of Japanese Law and Government (8 hours)
ⅲ) Overview of Japanese Economy (4 hours)
ⅳ) Present Day Issues (30 hours)
Specialists of respective fields will give lectures on a variety of current issues.

d) Japanese Affairs B [Humanity Aspects]
(118 hours / including compulsory and semi-compulsory courses)

ⅰ) Japanese Literature (60 hours/ compulsory)
Students will read literary works from classical times to the present day, so that they can acquire basic knowledge of Japanese literature and understand the underlying methods of expression and ways of thinking. It is also intended that they improve their writing ability through comprehending Japanese literature and presenting their opinions on them.

ⅱ) Japanese Culture and History (58 hours)
・Pre-modern:
To understand unique features of Japanese culture and its historical transitions, students will learn various aspects of ancient, medieval and early modern Japanese culture as well as their foundations, namely government and politics, society, history and environment.
Furthermore, since Kyoto was the capital of Japan for 1,000 years, students will have chances to capture Japanese traditional culture through all the surroundings such as Noh, tea ceremony, flower arrangement, paintings, temples, architecture and gardens. These features of Kyoto, will provide students with access to cultural legacies and deepen their understanding of the Japanese culture.
・Modern-present:
Students will learn the process of Japan's modernization and the characteristics of Japanese culture since then. Furthermore, important issues will be addressed in special lectures described below.

e) Special Education (132 hours/ semi-compulsory)

For the better understanding of contemporary society and traditional culture of Japan students will carry out, on-site studies. In addition, important issues unaddressed in lectures above will be incorporated into 12 special lectures.

ⅰ) Observation and study of contemporary industry and contemporary culture (40hours)
ⅱ) Observation and study of traditional industry and traditional culture (46 hours)
ⅲ) Special Lectures (46 hours)

f) Japanese Language (360 hours/ compulsory)

This class consists of two sections:

Comprehensive Studies on Japanese I and II aims to deepen students' knowledge of the Japanese language. Academic Japanese aims to reinforce each student's command of Japanese.

ⅰ) Comprehensive Studies on Japanese A (30 hours)

Topics such as the relationship between the speaker's viewpoint and the grammatical system will be discussed.

ⅱ) Comprehensive Studies on Japanese BI (60 hours)

Historical changes in the Japanese language will be outlined, and the process by which contemporary Japanese language was formed will be discussed.

ⅲ) Seminar on Japanese Education

Together with Kyoto University Students who specialize in linguistics, students will analyze various Japanese structures frequently misused by Japanese language learners, thereby deepening their understandings of socio-cultural factors underlying their usages.

ⅳ) Academic Japanese (230 hours)

This course aims to reinforce Japanese ability with a focus on improving academically applicable skills such as reading comprehension, oral and written expression necessary for participation in lectures at the university. Class activities include assignments, presentations, discussions, comprehensive reading and report writing.

The Academic Japanese Course will be conducted as two classes, divided according to the results of a placement test held at the beginning of the term.

2) On-site Studies, Events, etc.

a) For the better understanding of Japanese society and culture through theoretical study and real experiences, many classes are combined with on-site studies, such as Japanese law and courts, Japanese architecture and gardens, and Japanese art.

b) In order to comprehend many aspects of the contemporary Japanese society, various programs will be offered such as human rights issues, interaction with local communities, visiting schools and companies etc.

c) Cultural experiences unique to Japan such as festivals, Noh and Kabuki theater performances, making Japanese rice cakes etc., that offer the opportunity to directly experience the local aspects of Kyoto, will be included in Japanese Affairs B and Special Education courses.

d) In addition, a study tour of approximately two days will be held.

3) Elective Courses

Students are allowed to join some regular courses related to their major during the second semester.

⑦ Annual Events and the Academic Calendar

The following is an example of some of the annual events held in the year 2015－2016.

7 October Opening Ceremony and Welcome Party
8 October～ 5 February First Semester
20 November Hands-on experience in making rice cakes
11 November Field Trip to Nara
9 December Noh Drama
24 December A Visit to a Newspaper Company
15～16 February Study Tour
6 April～ 26 July Second Semester
3 August～ Beginning of November Period for completing the Academic Research Paper
Beginning of September Closing Ceremony and Farewell Party

(In addition, as part of the special education course students will participate in cultural activities such as seeing Bunraku, Kabuki and visiting museums.)

⑧ Guidance System

1) Committee for Japanese Language and Cultural Studies Program, Kyoto University

This committee consists of number of professors selected from various different faculties. Permitting enrollment as Japanese Studies Students, evaluation of achievements and approval of completion at the end of the program are some of the matters authorized by this committee. Policies for acceptance and the contents of the annual curriculum are also decided by this committee.

2) Teaching staff of the International Center and lecturers both in and out of Kyoto University will be responsible for the majority of guidance. Also several instructors will offer individual guidance so that students can write their thesis and continue their research even after they go back to their home university.

Chief adviser: Professor Ruchira Palihawadana
(The International Center, Specialization: Japanese linguistics and Japanese language teaching)

Sub adviser: Associate Professor Shikiko Yukawa
(The International Center, Specialization: Classical Japanese Literature)

4 International Seminar House (j-Pod),

In addition, few other full-time teaching staff at the International Center, where students will be affiliated will be in charge of guidance.

⑨ Requirements for Completion and Issuing Certificates of Completion

Certificates of Completion will be issued to students who complete this program successfully by passing the compulsory courses (not less than 7 of the 8 compulsory courses: integrated courses, Japanese language courses and Japanese affairs courses), audit a total of not less than 175 hours of Japanese Affairs and Special Education lectures out of a total of 232 hours and submit an academic research paper. The judgment of completion will be decided by the committee. An academic transcript will be issued to each student in addition.



International Seminar House (j-Pod)→

■ Accommodation

The Japanese Studies Students are able to reside in Kyoto University Ohbaku (Uji city, Kyoto) or Misasagi (Yamashina-ku, Kyoto) International Houses. Rent for a single room is 11,900 yen per month (As of 2015.12). Those residing can move-in on any week day after the 1st of October and must leave around one week before the end of September. In the past three years (Oct. 2013 – Sep. 2016), 58 out of 59 Japanese Studies Students resided in the above mentioned International House.

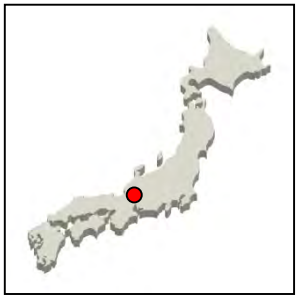
・Those who wish to move into a private accommodation in Kyoto city will need to find a room by themselves. Rent is on average around 40,000 yen, in addition to which, key money and a deposit will be required. These additional fees paid at the time of contract amounts to approximately 1-3 months' extra rent. Joint Guarantor service is available when renting private accommodation.

■ Follow-up Services

We provide students with necessary support in enrolling in graduate programs in Japan. Recommendation letters will be provided at request for employment and further education purposes. We take utmost care to be in contact with all students after completion and are planning to make such contact more regular by inaugurating an alumni association and by setting up a mailing list.

■ Further Contacts:

The International Center, Kyoto University
Contacts:, International Education and Student Mobility Division, Education Promotion and Student Support Department
Address: Yoshida-honmachi, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8501, JAPAN
General Inquiries:
intlstudent@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
Tel: +81-(0)75-753-5407
Fax: +81-(0)75-753-2562
URL: http://www.ryugaku.kyoto-u.ac.jp/
Kyoto University home page: http://www.kyoto-u.ac.jp



京都教育大学（京都府）

「体験しよう！京都」Experiencing Kyoto Program at Kyoto University of Education（EKYP at KUE）

■大学紹介

① 大学の特色および概要

京都教育大学は，1876年（明治9）年に創設された京都府師範学校以来，138年の歴史と伝統をする大学です。

教員養成単科大学ですが，学部には，教育学，国語，社会，理科，美術，音楽，体育をはじめ，13の専攻がある「教育の総合大学」です。大学院には修士課程の教育学研究科と専門職学位課程の連合教職実践研究科という2つの研究科があります。

キャンパスの面積は14万㎡で，緑が多く自然に恵まれています。附属施設として，7つの附属学校，図書館，教育支援センター，教育資料館などがあります。



緑の美しいキャンパス
大学内の桜並木は3月末に満開になります

② 国際交流の実績

大学間交流協定締結数　8（中国，韓国，ｱﾒﾘｶ，ｶﾅﾀﾞ，ﾄﾞｲﾂ等）
コンソーシアム交流協定締結数　1（タイ）

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数47人　日本語・日本文化研修留学生7人
2014年：留学生数54人　日本語・日本文化研修留学生8人
2013年：留学生数64人　日本語・日本文化研修留学生8人

④ 地域の特色

京都は日本を代表する古都で，世界遺産に選ばれた多くの文化財，豊かな精神文化を有する街です。また，現代的な京都駅ビルの建築やマンガミュージアムも有名です。古い歴史と新しい文化がともに体験できる街だと言えます。

大学のある伏見区は京都市の南部に位置しています。伏見は数々の歴史ドラマの舞台となった街です。とくに酒の産地として有名で，いまも古い酒蔵が残っています。

大学のすぐ近くには，5月5日の端午の節句の発祥の地である藤森神社や，赤い鳥居が美しい伏見稲荷大社があります。

大学から京都の街の中心部までは電車で15分程度で，交通も大変便利です。

■コースの概要

① コースの特色「日本文化」

教育は文化であり，文化は教育によって継承されます。「体験しよう！京都」は，教育を切り口に日本を体験的に理解することを目的としたプログラムです。

大学での授業を受ける以外に，コミュニティ・ラーニングなどを通じて地域の人々と交流する機会をたくさん準備してします。日本語の実践力を向上させるとともに，教科書の中の日本とはちがう，自分なりの視点から日本に対する理解を深めることができます。

② コースの定員　12名（大使館推薦　10名，大学推薦等　2名）

③　受講希望者の資格、条件等

・原則として，日本語・日本研究などを専攻する者
・日本留学試験「日本語」科目250点，日本語能力試験3級またはN3，もしくは同程度以上

④　達成目標

＜日本語＞
終了時にCEFRまたはJFスタンダードB2に相当するレベル (CEFR: Common European Framework for Reference，JF: Japan Foundation)
＜日本文化＞
日本文化を理解するための，幅広く，ユニークな観点を獲得する

⑤　研修期間

2016年10月1日～ 2017年9月30日
※授業開始に間に合うよう，2016年9月末日までに来日してください。
※修了式は2017年9月下旬を予定しています。



修了式では学長から直接修了証を授与されます。

⑥　研修科目の概要

授業はすべて日本語で行われます。

1）必須科目
・世界の教育Ａ　30時間
・世界の教育Ｂ　30時間
・日本語（3つのレベルから選択）　120時間
・本学学部生向けに開講されている科目のうち「文化・芸術」「日本語学・日本語教育学」「開発教育・国際教育」の各分野から選択した授業の履修

分野毎に60時間以上，合計180時間以上
シラバス http://kyoumu.kyokyo-.ac.jp/jikanwari/index.html

2）　見学、地域交流等の参加型科目
・コミュニティ・ラーニング
ボランティア活動やサークル活動に参加し，レポートを作成します。日本社会にゲストとしてではなく社会の一員として参加する体験を通じて，日本社会についての理解を深めることが目的です。

活動時間　30時間以上

3）　その他の講義、選択科目等
授業科目以外に，地域との交流プログラムや京都市国際交流協会主催の国際理解プログラムPICNICに参加し，地域の学校の訪問や自分の国の紹介をすることができます。また，京都市内の公立学校で，外国から来て日本語がわからない子どもたちを支援する，「学校通訳ボランティア事業」への登録の紹介も行っています。

⑦　主な年間行事

11月　藤陵祭（留学生が屋台などを出店）
1月　附属学校国際理解教育への参加
2月　研修旅行
9月　個別研究発表会
　　修了式

この他にも，伝統文化体験や留学生会主催パーティー（年5回）があります。



研修旅行（淡路島）にて。

⑧　指導体制

プログラム実施委員：浜田 麻里・中俣 尚己（国際交流委員会専門委員）

指導体制：研修生は教育学部に所属し，教育学部教員の指導を受けます。プログラム実施委員がプログラム履修全般の相談に対応します。

⑨　コースの修了要件，修了証書の発行

以下の修了要件を満たした者には修了証書を授与します。

（i）　必須科目（世界の教育60時間，日本語120時間，一般科目180時間以上）の単位修得

（ii）コミュニティ・ラーニング（活動参加とレポート作成）

（iii）個別研究（発表とレポート作成）

■宿　舎

来日当初は原則として向島学生センターに入居します。

※空きがある場合は，本学の宿舎（大学まで徒歩15分）に入居することができます。

〇宿舎数及び家賃

・単身用　10室　（22,000円/月）

・世帯用　1室　（60,500円/月）

入居時に保証金として家賃の１ヶ月分が必要です。これは原則、帰国時に返金されます。また、契約には日本国内に在住している保証人が必要です。住宅総合保障保険への加入により大学が保証人になることも出来ます。

〇宿舎設備・備品

各居室に冷暖房設備，給湯設備，バス・トイレ，カーテン，家具類が備え付けられています。寝具は必要に応じてレンタル出来ます（約15,000円/年）

〇宿舎周辺の生活情報，通学時間

近くにショッピング街，病院，公園，図書館等，があります。大学まで電車で約30分,京都の中心まで約１時間です。

■修了生へのフォローアップ

修了生は帰国後もFacebook（非公式）を使って連絡を取り合っています。また，指導教員はメールでさまざまな相談に応じています。

これまでの修了生のおよそ半分は，研究留学生として再来日しています。日本の大学院で学位を修得した後，母国の大学で教員として後輩を育てています。

残りの半分は，企業などに就職し，学んだ日本語を使って日本と母国の架け橋として活躍しています。

■問合せ先

〇 大学所在地

〒612-8522　京都市伏見区深草藤森町1番地

〇 担当部署

学生課学生支援グループ

〇 連絡先

TEL： +81-75-644-8159

FAX： +81-75-644-8169

E-mail: intel<AT>kyokyo-u.ac.jp

（<AT>を@に置き換えてください）

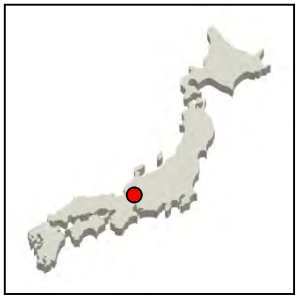
ホームページアドレス：

http://gakusei.kyokyo-u.ac.jp/ehp/to-this/ekyp/



マスコットキャラクター　そったくん

そったくんは，京都教育大学が「自分でカラをやぶろうとする子どもたち」を育てる教育者を養成する大学であることをシンボル化しています。



Kyoto University of Education (KYOTO)

The Experiencing Kyoto Program at Kyoto University of Education (EKYP at KUE)

■ About Kyoto University of Education

1. University Features and History

Beginning in 1876 as Kyoto Prefectural Normal School, the Kyoto University of Education has been endowed with 138 years of history and tradition.

Although a college for teacher training, it is a comprehensive educational university with thirteen undergraduate departments, including Educational Science, Japanese Language, Social Studies, Science Education, Art Education, Music Education, and Physical Education. Our Graduate Schools offer two courses : the Graduate School's for master's degrees and the United Graduate School of Professional Teacher Education's course for special educational academic degrees.

The 140,000 square meters of campus is blessed with abundant natural greenery. The university has seven affiliated schools, a university library, the Educational Support Center, as well as the Museum of Education.



Beautiful campus of greenery
At the end of March, campus cherry trees are in full bloom.

2. International Exchange Record

Number of Inter-university exchange agreements: 8 (China, Korea, America, Canada, German, etc.).
Number of Consortium Exchange agreements: 1 (Thailand)

3. Number of Foreign Students (last three years)

Year	2013	2014	2015
International Students	64	54	54
Japanese Studies Students	8	8	8

4. Area Features

Kyoto City not only represents, as the old capital, Japanese traditional culture with its many World Heritage sites, cultural assets and rich spiritual culture, but also Japanese modern culture, with its famous Kyoto Station and Manga Museum. It is a city in which one can experience both historical and contemporary Japanese culture.

Just 15 minutes by train from the city center, the Kyoto University of Education campus is located in Fushimi Ward, the south of Kyoto City, the stage upon which many dramatic historical events took place. Particularly famous as an area of Japanese Sake production, old breweries still remain. Close to the campus are Fuji-no-Mori Shrine—birthplace of the season Boy's Day festival in May, and Fushimi Inari Shrine—for it's many red gateways.

■Program Outline

1. Course Features (Japanese Culture)

Education is culture, and culture is inherited through education. The Experiencing Kyoto Program at Kyoto University of Education aims to provide an understanding of Japan through experience. Besides attending lectures, it provides many opportunities to experience communication with the people of the area through community learning and school visits. Along with improving one's Japanese language abilities, deepen your understanding of a Japan from a personal point of view, different than the one in a textbook.

2. Enrollment availability

12 students (10 Japanese Government (MEXT) Scholarship students and 2 students recommended by the universities)

3. Applicants Eligibility Qualifications and Conditions

-As a general rule, must be majoring in Japanese Language or Japanese studies
-Must have JLPT Level 3/N3 or above; OR and EJU score for Japanese language 250 or above.

4. Expected Japanese language level at the end of the program

Japanese Language: Level comparable to CEFR or JF standard B2 level (CEFR: Common European Framework for Reference, JF: Japan Foundation)
Japanese Culture: To acquire a unique, broad viewpoint towards understanding of Japanese culture.

5. Course Period

October 1st, 2016 to September 30th, 2017.

-In order to make commencement of classes, arrival in Japan must be by the last day of September, 2016.

-Closing ceremonies are scheduled for September, 2017.



University President conferring certificates at Closing ceremonies

6. Course Outline:

All classes are conducted in Japanese.

1) Compulsory Subjects

-Education Around the World A 30 hours
-Education Around the World B 30 hours
-Japanese Language (selection from 3 levels) 120 hours
-Selection from classes for undergraduate students: Culture & Arts; Japanese Language Studies & Japanese Language Education; Development Education & international education
(60 hours, or more, for each area, for a total of 180 hours or more)

Syllabi http://kyoumu.kyokyo-u.ac.jp/jikanwari/index.html

2) Participatory study tour and regional exchanges

-Community Learning

Participate in volunteer and club activities and write reports. Through participatory experience, not as a guest, but as a member, the aim is to deepen understanding of Japanese society.

(30 hours , or more of participation in activity)

3) Other Lectures and Electives

Foreign research students may also participate in community exchange programs or international understanding programs sponsored by the Kyoto City International Foundation in which area school visits and introductions of one's home country take place. Registration is also promoted for the School Interpreter Program, in which the students serves as an interpreter between Japanese school teachers and newly arrived non-Japanese speaking children and their parents at public schools in Kyoto, on a voluntary basis .

7. Year's Main Extra-Curricular Activities:

November Toryo Festival (International Students cook and sell foods at food-stands)
December year-end party provided by International Student's Community
January School visit to the Affiliatied School.
February Over-night Study Tour
September Individual research presentation workshop Closing Ceremony

In addition, there is a *Kabuki* and *Noh* appreciation class (once a year), traditional cultural experiences, and parties sponsored by the foreign students group (five per year), etc..



・Study tour

(Awaji Island—Hyogo Prefecture)

8. Academic advising system:

Program Coordinating Committee: HAMADA Mari and NAKAMATA Naoki (Expert Panel of International Exchange Committee)

Academic advisors: Students are registered as a special research student of the Faculty of Education and each student has an academic advisor of that faculty. The Program Coordinating Committee deals with consultation of overall program completion.

9. Conditions for Course Completion and Issuance of Certificates:

(i) Compulsory Subject Credits (Education around the World – 60 hours, Japanese Language – 120 hours, General Subjects – 180 hours or more)

(ii) Community Learning (Activity Participation and Reports)

(iii) Individual Research (presentations and submission of research paper)

■Accommodations

Upon first arriving in Japan, as a general rule, students are accommodated at the Mukaijima Student Center.

※ It is possible to live in the university's lodgings, which are about 15 minutes on foot.

○ Number of rooms and monthly rent

10 single rooms (22,000 JPY/month)
1 family room (60,500 JPY/month)

1-months rent is required when moving in this center as a deposit. The deposit is refunded in principle when moving out. Guarantor is also required when you moving in. Kyoto University of Education could be a guarantor if you buy Comprehensive Renter's Insurance.

○ Facilities: Each room is equipped withairconditioner/ heater unit, a hot water system, a bath and toilet, curtains and basic furnishings. Bedding can be rented as needed. (Approx. ¥15,000/year)

○ Information for Daily Life: A shopping mall, a hospital, a park and a library are close to the accomodations.

It takes about 30 minutes by train to the Kyoto University of Education campus, and about one hour to the center of the city. Upon completing Japan Language courses, if room is available,

■Follow-up for graduates

Students keep in touch with each other on the informal KUE International Facebook page. Consultation with one's advisor after completing one's research is by mail.

About one half of the students that complete their studies, return to Japan as research students. Following attainment of an academic degree, they return to their home countries and as educators countries to nurture others.

The remaining half, gain employment in business enterprises and using the Japanese language they have learned and are actively building bridges between Japan and their countries.

■Contact

Address: 1 Fukakusa Fujinomori-cho, Fushimi, Kyoto 6128522

Office: International Student Exchange Section

Phone: +81-75-644-8159

Fax: +81-75-644-8169

E-mail: intel<AT>kyokyo-u.ac.jp

Please replace <AT> with @

URL: http://gakusei.kyokyo-u.ac.jp/ehp/to-this/ekyp/



Mascot *Sotta-kun*

Sotta-kun embodies the idea of Kyoto University of Education as an institution that cultivates teachers who nurture *children who will emerge from their shells under their own power.* 。



大阪大学 （大阪府）

目的に応じて選択できるコースと豊富な選択科目　学生一人一人へのきめ細かな個人指導

１．大学紹介

（１）大阪大学の特色と概要

大阪大学は，1931年に帝国大学として創設された大学で，自由で先進的な発想と新規性・先見性を尊び，学術・研究を重んじる学風を持つ優れた伝統ある大学である。本学は，地域に立脚し，産学官の連携を図りながら，卓越した教育研究拠点として世界的に高い評価を得ている。このような研究型大学として，本学では，学生の教育においては，あらゆる分野での高度な研究水準を背景に，21世紀の高度情報化社会における真のリーダーシップを発揮しうる有為の人材を育成することに力を注いでいる。学問・研究の場においては，ただ一つの専門分野の探求にとどまることなく，高度の専門性とともに，幅広い学際的視野を身につけることが必要であると考えている。総合大学である本学は，このような意味でも優れた環境を備えている。

2007年10月，本学は大阪外国語大学と統合を果たし，新生大阪大学となった。それにともない学部は11学部となり，そのほか16研究科，５附置研究所，附属図書館，附属病院，30を超える教育研究施設などが置かれている。学生数は約24,400名，教職員数は約6,300名である。

（２）国際交流の実績

大学間交流協定数：１０５

（2015年5月1日現在）

留学生数：２０９４名

（2015年5月1日現在）



大阪大学には，吹田，豊中，箕面（みのお）の三つのキャンパスがある。日研生プログラムは，箕面キャンパスにある日本語日本文化教育センター（CJLC）を母体として実施される。

（３）過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年度：留学生数　２０９４人、日本語・日本文化研修留学生　６２人

2014年度：留学生数　２０１２人、日本語・日本文化研修留学生　６５人

2013年度：留学生数　１９８５人、日本語・日本文化研修留学生　５７人

（４）箕面キャンパスの位置する箕面市の特色

箕面市は大阪府の北摂と呼ばれる地域にあり，箕面の滝を中心とする観光都市であると同時に住宅都市でもある。「国際化モデル都市」に指定されており，留学生を暖かく迎え入れ，「ホスト・ファミリー制度」などで交流も一層発展しつつある。



箕面の滝

２．プログラムの概要

（１）プログラムの特色

①総合大学としての利点を生かして全学的な教育研究指導体制が整備されている。

②日本語力向上と日本研究両方の目的に対応できるプログラム体制をとり、学生の目的別に選択できる２つのコースを設けている。

・「研修コース」：様々な学内外活動に参加することを通じて，日本語能力を高め，日本語・日本文化の知識を身につけることを主たる目的とする

・「研究コース」：

日本語研究コース：日本語，日本語教育についての研究を主たる目的とする

日本文化研究コース：日本文化，日本社会についての研究を主たる目的とする

③学生の目的と希望に沿って，日研生用の週約100以上の授業科目の中から自由に選択できることに加え、日本語力に応じてその他の共通授業も受講できる。

④専門演習の時間を設けて，指導教員による個別指導を重視している。

⑤地理的な特色を生かして，地域の日本人との活発な交流を実施している。

（２）受入定員　６０名（大使館推薦４０名　大学推薦２０名）

（３）学生の資格・条件

このコースの受講を希望する者は，以下の条件を満たす者とする。

①渡日及び帰国時点で外国（日本国以外）の大学の学部に在学し，日本語・日本文化に関する分野を専攻していること。

②日本語学習歴が２年以上あること。

③基本的な日本事情の知識を有すること。

（４）達成目標

①研究・研修の成果に関して日本語の論文・レポートを作成し，口頭発表できるようにすること。

②日本語・日本文化に関する研究科目を履修し，様々な専門分野に関する幅広い知識と方法論を習得すること。

③日本語能力別に開講される研修科目を履修し，大学での研究や社会生活に必要な日本語能力を身につけること。

※日研生の多くは本プログラム修了時に日本語能力試験Ｎ１合格以上の日本語運用能力に到達する。

（５）研修期間　2016年10月～2017年9月

※2016年9月下旬にオリエンテーションが始まるので，それ以前に渡日すること。

（６）研修科目の概要

授業は秋学期・春学期各15週開講する。授業はすべて日本語で行われる。

１）必修科目：専門演習（日研生専用科目　１年で２コマ＝60時間）

専門演習は，一対一の個別指導，または少人数グループでの指導により，個々の学生の興味や関心，研修目的に応じた，きめ細かな学習指導を行う。あわせて，研修，研究の成果としてレポートや研究論文を作成するための指導を行う。

２）選択科目：選択科目は，「日本語実習科目」と「研究科目」からなり，それぞれ所属するコースごとに定められた科目数（19コマ＝570時間以上、21コマ＝630時間以上）を履修しなければならない。提供科目数は各学期とも週約100コマ。

①日本語実習科目：「読む・書く・聞く・話す」の４技能にわたって日本語能力を向上させる。

［主な開講科目］日本語実習 中級・中上級・上級（文法・語彙／文法・漢字／読解／文章表現／聴解／口頭表現）

②研究科目：

【日本語研究科目】：言語学的観点から日本語の様々な特徴を考察する。将来，日本語教育に従事する者に有用な実際的知識を身につけることもできる。

［主な開講科目］講義（日本語学入門／日本語教育学入門），演習（日本語学演習），研究（音声学・音韻論／形態論・統語論／語用論／意味論／類型論／方言学／日本語史／日本語教育学）

【日本文化研究科目】：

〈人文科学〉日本における思想・民俗・芸術，日本の歴史，および日本文学に関するトピックを取り上げ，日本の文化的側面についての包括的な理解を深める。

［主な開講科目］講義（日本文学入門／日本文化入門／日本史入門），演習（日本の伝統芸能／日本文化と茶道／時代別日本史／日本服装史／日本古典文学研究／近現代文学研究／日本美術研究／宗教文化研究／比較文化研究）

〈社会科学〉日本の政治・経済についての問題点や日本的経営の特徴について考察する。同時に，経済用語や法律用語の運用能力を高める。

［主な開講科目］講義（日本経済学入門／社会学入門），演習（日本経済学／経営学／社会学／女性学／国際関係論）

※個々の授業についてはウェブサイトの「授業案内」を参照。

※上記科目以外にも，学部開設科目を研究科目として履修することができる。

３）実地見学：各コース，授業で様々な実地見学を実施している（例：酒蔵見学，マンガミュージアム見学，町屋見学，美術館見学，寺社見学，能楽鑑賞，歌舞伎鑑賞，文楽鑑賞）

（７）年間行事

研究発表会：研修コース・研究コースとも専門演習に関する発表会を秋学期・春学期に各１回行っている。

見学旅行：他の留学生と合同の見学旅行や社会見学も含めて，年間３～４回の機会を提供している。

芸能鑑賞会：日本文化理解への一助として，歌舞伎，文楽，宝塚歌劇の鑑賞会を行っている。

その他にも，ホストファミリー・プログラムに参加することができる。

日研生の年間行事はウェブサイトの「日研生プログラムの１年」を参照。



こんぴら歌舞伎鑑賞会



見学旅行

（８）指導体制

①プログラム担当教員：

柴田芳成（准教授，日本古典文学），五之治昌比呂（准教授，比較文学）

佐野方郁（准教授，日本近現代史），蔦　清行（准教授，国語学）

②指導体制・学生の所属等：

学生はCJLCに所属する。上記教員を含めたCJLC教員17名が指導教員となる。上記以外の教員の専門分野は次のとおり：日本語学・言語学，日本語教育学，日本文化史，仏教学，日本近現代文学。

※必要な場合，CJLC以外の部局の教員と連携して研究指導を行う。

※希望者は日本人チューターによる学習補助を利用することができる。

（９）コースの修了要件

①コースごとに設定された授業科目数（１年で21～23科目＝630～690時間。詳細はウェブサイトの「プログラム詳細」を参照）を修得すること。

②研究・研修の成果をまとめた日本語の論文・レポートを提出すること。

上記要件を満たした学生について、CJLC教授会が修了判定を行う。

備考：単位認定，単位互換

単位認定については，学生の出身大学の判断に委ねる。

出身大学での単位認定が必要な場合は，具体的なカリキュラムの内容について，申請を行う前にメール等で問い合わせること。

３．宿舎の状況

日研生が入居する寮として，箕面（みのお）キャンパス内に箕面留学生会館（単身者用117室，寮費：月額22,000円[注]）がある。寮に入居できない場合は，民間アパート（家賃：月額３～５万円程度）を紹介する。

［注］2015年現在の金額です。2016年に寮費の改定が行われた場合には、改定後の金額が適用されます。

４．修了生へのフォローアップ

「日研生修了生追跡調査プロジェクト」を立ち上げ，毎年修了生の近況の把握に努め，情報を蓄積している。修了後の主な進路は，大学院生，大学教員，大使館職員，日本企業などである。また，毎年「修了生講演会」を開催し，本学で大学院生として学んでいる修了生と日本の企業や地方自治体などで働いている修了生を招いて，在校生に修了後の進路についての情報を提供している。

〇問い合わせ先

大阪大学教育推進部学生交流推進課日本語日本文化教育センター第二係

所在地　〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東８－１－１

ＴＥＬ：+81-72-730-5075　ＦＡＸ：+81-72-730-5074

Ｅ-mail：kouryu@cjlc.osaka-u.ac.jp

大阪大学のウェブサイト：http://www.osaka-u.ac.jp/

大阪大学日本語日本文化教育センター（CJLC）のウェブサイト：

http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/

日研生プログラムのウェブサイト：

http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/program/j/



Osaka University (Osaka)

Two types of study courses and a variety of electives for students' different purposes
Careful attention to and individualized academic instruction for each student

1. Introduction to the University

(1) Profile of Osaka University

Osaka University, founded in 1931 as an Imperial University, has traditionally valued liberal ways of thinking, novelty, insight, and advanced academic research. Working in close cooperation with industry, government, and academic institutions, it upholds an outstanding reputation both locally and internationally. Osaka University, through its education based on high-quality research in diverse fields, seeks to produce skilled graduates whose leadership will be required in the highly advanced information society of the 21st century. Society demands from the academic and research fields professionals who are not only dedicated to maintaining expertise in their specific disciplines, but who also have broad and interdisciplinary perspectives. The University prides itself in fostering a distinguished academic environment where such professionals and researchers thrive.

As of October 2007, Osaka University merged with the Osaka University of Foreign Studies (OUFS), forming the new Osaka University. As a result, it now boasts 11 schools and faculties, 16 graduate schools, five research institutes, four libraries, two hospitals, and over 30 research facilities. It has an enrollment of over 24,400 students and some 6,300 staff members.



The University has three campuses: Suita, Toyonaka, and Minoh. The Japanese Studies Program is conducted by the Center for Japanese Language and Culture (CJLC) located on Minoh campus.

(2) International Exchange

Number of inter-university exchange agreements: 105 (as of May 1, 2015)

Number of international students: 2094 (as of May 1, 2015)

(3) Number of International Students in the Last Three Years

year	total	students in the Japanese studies program
2015	2094	62
2014	2012	65
2013	1985	57

(4) Minoh City, where Minoh Campus is situated

Minoh city is located in the northernmost part of Osaka prefecture and is famous for its water fall and hot springs. The city's breath-taking autumn leaves and exquisite spring cherry blossoms are highly admired. Designated as a model internationalized city, Minoh city has been playing an active role in accepting international students with open hearts and hands.



Minoh Water Fall

2. Contents of the Program

(1) Characteristics

① Collaborative academic advising is conducted, taking full advantage of the university's various schools, faculties and facilities.

② The program is organized in order to fulfill students' needs of both improving Japanese proficiency and conducting a research on Japan.

*Practical Japanese Course: For students whose main aim is to improve their Japanese proficiency and acquire knowledge of the Japanese language and culture through activities on and off campus.

*Research Course (with the following two sub-courses)

Japanese Language Research Sub-course: For students whose main aim is to conduct research on the Japanese language or pedagogy.

Japanese Cultural Studies Sub-course: For students whose main aim is to conduct research on the Japanese culture or society.

③ According to their academic aim and need, students may select required subjects from among 100 different subjects offered per week.

④ Individual guidance, or DR (Directed Reading and Research by appointed instructor) is strongly emphasized.
⑤ Interaction and exchange with members of the local community is arranged for students to gain practical experience outside the campus.

(2) Total Number of Students: 60 (40 students with embassy recommendation, 20 students with university recommendation)

(3) Qualifications and Conditions of Applicants :
① Applicants must be an undergraduate at a foreign (non-Japanese) university majoring in fields related to Japanese language or Japanese culture at the time of arriving in and leaving Japan.
② Applicants are expected to have studied Japanese for over two years.
③ Applicants are expected to have fundamental cultural background knowledge of Japan.

(4) Program Goals
① Write a research paper or a report in Japanese as well as make an oral presentation based on the result of the research and study during the program.
② Acquire broad knowledge and methodologies of various fields of Japanese studies by taking Research Subjects on Japanese language and culture.
③ Acquire proficiency in Japanese necessary for academic research as well as for community life by taking Consolidation Subjects.
※ Most students reach a degree of proficiency in Japanese equivalent to level N1 of JLPT or more at the time of completion of the program.

(5) Period of Program : From October 2016 to September 2017
※ The orientations will start at the end of September, therefore you need to arrive to Japan before that.

(6) General Outline of Subjects Offered
Classes are held once a week for 15 weeks during spring and fall semester. Japanese is used in all classes.

1) Required Subjects: Directed Reading and Research (DR): for Japanese Studies Program students only, 2 credit hours = 60 hours a year
The aim of DR is to give individual guidance to students according to their interests and objectives. DR is conducted on a one-to-one or one-to-2～3 (one teacher to 2-3 students) basis. DR also offers guidance to students in preparation of reports and research papers resulting from their training and studies.

2) Elective Subjects: Elective Subjects include Japanese Language Subjects and Research Subjects. Students must complete the credit hours required by their courses. Approximately 100 elective subjects are offered per week for each semester.

① Japanese Language Subjects:
【Recitation Subjects in Japanese】Designed to improve skills in listening, speaking, reading and writing
[Subject Title] Intermediate Japanese, Upper-Intermediate Japanese, Advanced Japanese (Listening/ Speaking/ Reading/ Writing/ Grammar and Vocabulary/ Kanji and Vocabulary)

② Research Subjects:
【Research Subjects on the Japanese Language】Analysis of various characteristics of the Japanese language from a linguistic point of view. Development of sufficient practical knowledge that will be particularly useful for students who might teach Japanese in the future.
[Subject Title] Japanese Linguistics (Phonetics, Morphology, Pragmatics, Semantics, Linguistic Typology, Dialectology/ Japanese Language History/ Japanese Pedagogy)

【Research Subjects on Japanese Culture】
〈Humanities〉 Designed to deepen students' comprehensive understanding of the cultural aspects of Japan, through an in-depth look at one of several topics in such fields as ideology, folklore and art in Japan, Japanese history and Japanese literature.
[Subject Title] Japanese Literature/ Japanese History/ Japanese Religion & Culture / Japanese Traditional Performance Arts / Japanese Local Culture/ Japanese Arts / Cross-Cultural studies / The way of Tea and Japanese Culture / Japanese clothing History

〈Social Sciences〉 Study of issues in Japanese politics and economy and characteristics of Japanese-style business management, while focusing on increasing the knowledge and understanding of business and legal terminology. Development of sufficient practical knowledge designed to be useful for students who might take up jobs relating to Japan in the future.
[Subject Title] Japanese Economy/ Japanese Business Administration/ Sociology of Japan/ Woman's Studies / International Relations

※ Subject titles are excerpts. See the Japanese Studies Program's website for full information about the subjects and courses offered.
※ Besides the research subjects referred to above, subjects of other schools and faculties may be taken as Research Subjects.

3) Off Campus Activities: Some classes offer a variety of off campus activities, such as field trips to a sake brewery, a Manga museum, Japanese traditional houses, art museums, temples and shrines, *Noh*, *Kabuki*, and *Bunraku* theatre performances.

(7)　Annual events and school activities

Presentation sessions: Students will give presentations based on their research topics once in each semester.

Field trip: Field trips are held three to four times a year.

Theater visits: The students will have opportunities to watch *Kabuki*, *Bunraku* and *Takarazuka revue performances* to deepen their understanding of Japanese culture.

The university has a host family program.

See the 'Event Schedule' page of the Japanese Studies Program's website for more details.



Field Trip to Kotohira



Field Trip to Hiroshima

(8) Academic Advising

① Persons in charge of the program

Yoshinari Shibata (Assoc. Prof., Japanese Classical Literature),
Masahiro Gonoji (Assoc. Prof., Comparative Literature),
Masafumi Sano (Assoc. Prof., Japanese Modern and Contemporary History),
Kiyoyuki Tsuta (Assoc. Prof., Japanese Linguistics)

② Academic advisors

Japanese Studies Program students belong to the CJLC. Seventeen CJLC teaching staff, including the aforementioned persons, serve as academic advisors for Japanese Studies Program students. Their majors are as follows (excluding those described above): Japanese Linguistics, Linguistics, Teaching Japanese as a Foreign Language, Japanese Cultural History, Buddhist Studies, Japanese Modern Literature.

※ Academic advising will be provided in cooperation with the teaching staff from other faculties if necessary.

※ Academic assistance by Japanese tutors will be available to students who need it.

(9) Requirements for Program Completion:

① Complete the prescribed number of credit hours. (21 to 23 credit hours = 630 to 690 hours a year. See the Japanese Studies Program's website for details.)

② Submit a research paper or a report in Japanese based on the result of the research and study during the program.

※ The judgment of the approval of completion is made by the meeting of the CJLC professors.

※ Credit Transfer: Transfer of credit will be subject to the regulations and procedures of students' home universities. Students who need credit transfer should make inquiries about details of the curriculum prior to application.

3. Accommodation

There are several dormitories on campus (Minoh Foreign Students Dormitory, 117 single rooms total; fee: 22,000 yen per month [*]) available for Japanese Studies Program students. In cases where they are not available, the university will help students to find a room in a private apartment house near the campus (rent: 30,000～50,000 yen per month).

* This is the fee as of 2015. In case the dormitory fee is revised in 2016, the revised fee is applied.

4. Follow-up of Graduates

Every year the CJLC Alumni Survey Project strives to obtain information about the progress of students post-graduation, many of whom go on to become graduate students, university professors, embassy personnel, and figures in Japanese industry. Alumni living and working in Japan are also invited to participate in the annual 'Graduates Lecture' event, providing current students with an opportunity to learn about the various possibilities after graduation.

Contact

International Student Affairs Division (CJLC Section 2)
Osaka University (Minoh Campus)
Address: 8-1-1 Aomatani-higashi, Minoh-shi, Osaka 562-8558 JAPAN
Phone: +81-72-730-5075　Fax: +81-72-730-5074
E-mail: kouryu@cjlc.osaka-u.ac.jp
URL: http://www.osaka-u.ac.jp/
(CJLC) http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/
(Japanese Studies Program) http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/program/j



大阪教育大学 （大阪府）

個性豊かな大阪の人々と文化に触れながら、日本語を勉強してみませんか。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

大阪教育大学は約140年の歴史と伝統を有する、日本で有数の教育大学です。教員養成課程と教養学科があり、すぐれた指導力を持つ教員や、社会の発展に貢献し得る人材の育成を行っています。

柏原キャンパスと天王寺キャンパスがあり、大阪府内に9の附属学校園があります。大学院（修士課程）は18専攻からなります。

メインキャンパスである柏原キャンパスは、大阪府東部・柏原市内の金剛生駒国定公園の中にあります。柏原市は緑豊かな山並みと美しい自然環境、そして古い歴史を持つ町です。柏原キャンパスから大阪市の中心部までは、電車で約30分です。

② 国際交流の実績

2015年5月1日現在、本学には156名の留学生が在学しています。また、現在中国、韓国、台湾、タイ、ベトナム、アメリカ、オーストラリア、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、フランスの29大学と学生交流協定を結んでおり、毎年、交換留学生の受け入れ・派遣を活発に行っています。

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数156人、日本語・日本文化研修留学生16人
2014年：留学生数147人、日本語・日本文化研修留学生17人
2013年：留学生数154人、日本語・日本文化研修留学生15人



④ 地域の特色

大阪の文化力

西日本は独特の文化を発展させてきましたが、大阪はその中心都市と言うことができます。大阪は日本の伝統文化を守り育ててきましたし、現在も日本文化のメインストリームに強力な影響を与え続けています。大阪教育大学をベースキャンプに、大阪の文化力に触れてみませんか？

大阪弁

大阪で話される方言は大阪弁と呼ばれ、力強く、しかしとても温かく心に響きます。また、マンガやテレビドラマの中で、エネルギッシュでユーモラスな大阪人の特徴として使用されることも少なくありません。そのため、大阪弁は日本人だけでなく留学生にもとても人気があります。大阪教育大学の留学生はもちろん標準的な日本語を勉強しますが、キャンパスの内外で大阪弁を聞く機会がたくさんありますので、大阪弁の特徴も学ぶことができます。

■コースの概要

① コースの特色

大阪の活発な雰囲気の中、大学の内外で様々な人たちとの交流を通して日本語と日本文化を体験的に学びます。

② 受入定員

20名（大使館推薦16名、大学推薦4名）

③ 受講希望者の資格、条件等

このコースの受講を希望する学生は、以下の要件を満たしているものとします。
1. 日本語･日本文化に関連している分野を専攻していること。
2. 授業を理解するのに十分な日本語能力を有すること。日本語能力試験N3級以上を取得していることが望ましい。

④ 達成目標

・日本語で議論やレポート作成をし、学術的な内容を的確に表現できるようになる。
・西日本を中心に日本の文化を深く理解する。



⑤　研修期間
2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は9月を予定

⑥　研修科目の概要

1科目は15回の90分授業からなります。1科目履修することにより2単位が与えられます。

1)　日本語科目（必須：8単位以上）

科　目　名	単位数	
	秋	春
日本語Ⅰa，Ⅰb（作文）	2	2
日本語Ⅱa，Ⅱb（演習）	2	2
日本語上級漢字Ⅰ，Ⅱ	2	2
日本語中上級読解Ⅰ，Ⅱ	2	2
日本語中上級聴解Ⅰ，Ⅱ	2	2
時事日本語Ⅰ，Ⅱ	2	2
日本語中級会話Ⅰ，Ⅱ	2	2
日本語中級文法Ⅰ，Ⅱ	2	2

2) 日本文化に関する科目（必須：8単位以上）

科　目　名	単位数	
	秋	春
日本の社会と文化 Ⅰ，Ⅱ	2	2
日本の言語と文化 Ⅰ，Ⅱ	2	2
日本文化史 Ⅰ，Ⅱ	2	2
日本現代史	2	－
日本文化研究	－	2
大阪の文化 Ⅰ，Ⅱ	2	2
日本の伝統文化 Ⅰ，Ⅱ	2	2
文化交流実践研究	－	2

「日本文化研究」は必修科目で、指導教員の指導のもとに各自テーマを決めて、レポートを書いて発表します。

3) 見学、地域交流等の参加型科目

「大阪の文化Ⅰ，Ⅱ」は講義と学外見学を通して、大阪の歴史・文化の特徴を学びます。大阪や関西の重要な史跡を訪問したり、伝統芸能の演者を講師としてお招きし、体験的に学びます。「日本の伝統文化Ⅰ，Ⅱ」は、学内の専門分野の教員が担当し、剣道、陶芸、伝統音楽、伝統舞踊、書道などを学びます。「文化交流実践研究」は、フィールドワークや国際交流活動を行うことによって、日本の社会や文化について理解を深めます。



4) その他の講義、選択科目等

日本語・日本文化研修留学生は指導教員と相談した上で、様々な学部の授業を受けることができます。本学には以下のような専攻・コースがあり、日研生の専門にあった授業が数多く開講されています。

・日本文学・日本語学を学びたい方
　日本アジア言語文化コース／国語教育専攻
・日本の歴史・地理・社会を学びたい方
　社会文化コース／社会科教育専攻
・日本の教育について学びたい方
　教員養成課程
・美術・音楽が好きな方
　美術・書道コース／音楽コース

その他、本学には教育大学ならではの特色ある専攻があります。詳しくは本学ホームページをご覧ください。
大阪教育大学　シラバス検索（大教UNIPA）
https://shrike.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp

⑦　年間行事

10月、5月　関西文化体験バスツアー
（京都・奈良・兵庫 など）
関西は日本の歴史や伝統が息づいている地域です。この関西文化を体験し、理解を深めるために、年2回程度、1日バスツアーを実施しています。

11月、5月　ホームビジット
地域のボランティアグループによるホームビジットプログラムに参加できます。また、その他にもボランティアグループとの様々な交流ができます。

2月　文化体験研修
留学生が日本文化に実際に触れ、体験できるように関西以外の地域で1泊の文化体験研修を実施しています。

3月、6月、8月　日本文化を楽しむ会など
相撲観戦や文楽観賞など、日本の文化を楽しむ行事があります。また地域のボランティアグループが提供する行事を通して、着物や茶道、門松作りなどの日本文化体験をすることができます。

8月　修了レポート発表会
日本文化研究を通して作成したレポートの内容を、これまで学んできた日本語を駆使して本学教職員や日本人学生の前で発表します。

随時　国際交流行事
留学生が自国の文化を紹介したり、大学周辺地域の歴史や文化を学びながら、本学学生や地域住民と交流します。日研生の皆さんも積極的に参加して、交流の輪を広げてください。







⑧　指導体制

国際センター教員

国際センター教員が主に日本語・日本文化研修生プログラムの運営を担当します。また、日本語の授業の担当、日本での生活についての助言をします。

指導教員

指導教員が授業の履修やファイナルレポートについて指導します。指導教員は教員養成課程、教養学科、国際センターなどの本学教員から選定されます。

チューター制度

日本人学生がチューターとして留学生を一対一で支援します。学習や日常生活での助言を行い、留学中の生活をサポートします。

⑨　コースの修了要件

「研修科目の概要」にあげた講義のうち、「1.日本語科目」は国際センター教員の指導にしたがって必要な科目を履修すること。その上で「2.日本文化に関する科目」から「日本文化研究」(必修)を含む8単位以上を履修することにより、本学から修了証書が授与されます。または、「2.日本文化に関する科目」は指導教員が適当と認める「4.その他の講義、選択科目等」に置き換えることができます。

■宿　舎

柏原キャンパス内と近隣地区の大阪府八尾市、奈良県香芝市に外国人留学生宿舎があります。日本語・日本文化研修留学生には、大阪府八尾市の留学生山本宿舎の部屋が優先的に割り当てられます。

＜留学生山本宿舎＞

＊３ＤＫの部屋を３人でルームシェアし、個室を１人で占有します。

〇設備・備品：

（居室）机・椅子・ベッド・エアコン・本棚
インターネット・寝具

（共用）キッチン・バス・トイレ・冷蔵庫・テレビ
洗濯機・洗面台

〇宿舎費：　Ａ…7,300円（光熱水費を含まない）
Ｂ…6,300円（光熱水費を含まない）
Ｃ…5,300円（光熱水費を含まない）
＊部屋タイプにより異なります。

〇退去時積立金：30,000円（入居時に必要）

〇収容定員：24名（8戸室）

所在地：

〒５８１－００１３

大阪府八尾市山本町南７－９大阪教育大学山本宿舎

近鉄大阪線「高安」駅徒歩約５分

■修了生へのフォローアップ

修了後の進路

本学で日本語・日本文化研修生として学んだ留学生は、帰国して母国の大学を卒業した後、国費留学生として再び日本で留学したり、優秀な日本語力を活用して企業等に就職したりしています。

修了後の情報提供

本学国際センターではホームページ等を通して修了生に情報を発信し、コミュニケーションを行っています。

■問合せ先

担当者: 学術部学術連携課国際係
住　所: 〒582-8582
大阪府柏原市旭ケ丘4-698-1
Phone: +81-(0)72-978-3300
FAX:　+81-(0)72-978-3348
E-mail: isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
大学Website:
http://www.osaka-kyoiku.ac.jp
国際センターWebsite:
http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/
日研生ホームページ
http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/jp/prospective_student/special.html#ni
国際係Facebook
https://www.facebook.com/okuinternationaloffice





Osaka Kyoiku University
(Osaka Pref.)

Let's study Japanese at OKU with friendly people and unique culture in Osaka!

■University Overview

① About Osaka Kyoiku University

Osaka Kyoiku University is one of the few educational universities of our nation to possess a history and tradition spanning over 140 years. The University has two departments, the Teacher Training Course and the Department of Arts and Sciences.

Tennoji campus has an Evening Program for Elementary School Teacher Training, which is the only national program of its kind in Japan for working students and in-service teachers. The Graduate School of Education offers 18 courses for master's degrees. Osaka Kyoiku University aims at being a composite educational university in collaboration with 9 affiliated schools and kindergartens.

The main campus (Kashiwara Campus) is located inside the Kongo-Ikoma Quasi-National Park in Kashiwara City, Osaka Prefecture.

Kashiwara City is about 20 kilometers east of the central part of Osaka City, and has a long history with beautiful surroundings commanding verdant mountains. Tennoji Campus is situated in Osaka City.



② International Exchange

The number of international students at OKU as of May 1, 2015 is 156. OKU has 26 overseas sister universities and is exchanging many students between them.

OKU has been accepting Japanese Studies Students (JSS) for many years and offering them intriguing programs. Table in ③ shows the numbers of Japanese Studies Students studied at OKU.

③ Number of International Students and Japanese Studies Students Studied at OKU in the Past 3 Years

2015 : International Students 156 , JSS 16
2014 : International Students 147 , JSS 17
2013 : International Students 154 , JSS 15

④ Regional Characteristics – Beauty of Osaka

-Cultural Power of Osaka

Western Japan has long been developing its unique culture; especially, the city of Osaka, we believe, played a central role in building the Western Japanese culture. Besides cultures of Western Japan, the energetic city has also brought up then preserved the traditional Japanese culture. Today, Osaka remains to have strong influences on the main stream of the contemporary Japanese culture.

-Beauty of Osaka-dialect

'Osaka-ben', a local dialect spoken in Osaka, is very popular among not only Japanese people but also international students. It sounds very powerful but warm, and it is often used as an icon of energetic and humorous Osaka people in Japanese manga and TV dramas. Although international students at OKU learn the standard Japanese in classes, they also can hear people speak Osaka-ben inside or outside the campus and easily learn its characteristics.

■Outline of the Program

① Feature

Under the friendly atmosphere in Osaka, Japanese Studies Student will learn Japanese language and culture through various experiences and interactions with Japanese people in and outside of the university.

② Number of Japanese Studies Students to be Admitted

Total: 20 students
University recommendation 16
Embassy recommendation 4,

③ Qualification and Conditions

JSS applicants must fulfill the following conditions.
1) To be majoring in fields related to the Japanese language or Japanese culture.
2) To be proficient enough in Japanese to understand lectures. Students who have obtained N3 level or above in the Japanese Language Proficiency Test are preferred.

④ Goal

-To learn to debate and write reports in Japanese, and to learn to present academic topics in precise expression
-To deeply understand the Japanese culture with a focus on western Japan.



⑤ Term of the Course

October 01, 2016 to September 30, 2017

Completion Ceremony is scheduled in September.

⑥ Course Descriptions

Generally one subject consists of 15 classes of 90 minutes and students obtain 2 credits when they finish it.

1. Japanese course

(Requirement: 8 credits or more)

Subject	Credits	
	FALL	SPRING
Japanese Ⅰa, Ⅰb(Writing)	2	2
Japanese Ⅱa, Ⅱb(Seminar)	2	2
Advanced Kanji and Writing Ⅰ,Ⅱ	2	2
Pre Advanced Japanese Reading Ⅰ,Ⅱ	2	2
Pre Advanced Japanese Listening Ⅰ,Ⅱ	2	2
Japanese for Current Topics Ⅰ,Ⅱ	2	2
Intermediate Japanese Grammar Ⅰ,Ⅱ	2	2
Intermediate Japanese Conversation Ⅰ,Ⅱ	2	2

2. Subjects on Japanese Language and Culture

(Requirement: 8 credits or more)

Subject	Credits	
	FALL	SPRING
Japanese Society and Culture Ⅰ,Ⅱ	2	2
Japanese Language and Culture Ⅰ,Ⅱ	2	2
History of Japanese Culture Ⅰ,Ⅱ	2	2
Modern History of Japan	2	–
Japanese Studies	–	2
Culture of Osaka Ⅰ,Ⅱ	2	2
Traditional Culture in Japan Ⅰ,Ⅱ	2	2
Cultural Exchange Workshop	2	–

(–"Japanese Studies" is a required course and aims to write a report on the topic of one's interest under the guidance of his/her academic advisor and make a presentation.)

3. Students Participatory Subject

"Culture of Osaka Ⅰ, Ⅱ" aims to learn characteristics of history and culture of Osaka through lectures and field trips. It is a hands-on learning course that includes visiting various historical sites in Osaka and Kansai area and attending special lectures by traditional performing arts artists. "Traditional Culture in Japan Ⅰ, Ⅱ" is taught by OKU faculty members specialized in specific areas. Subjects are Kendo, ceramics, traditional music, traditional dance, calligraphy, and etc. "Cultural Exchange Workshop" aims to deepen understanding of Japanese society and culture by participating in field trips and various cultural exchange activities.



4. Other Subjects

Following is the list of academic majors and courses recommended for Japanese Studies Students.

Japanese culture, literature and linguistics

– Japanese and Asian Languages and Cultures Course / Japanese Language Education Major

Japanese history, geography, and society

– Society and Culture Course / Social Studies Education Major

Those who want to learn education in Japan

– Course for School Teachers

Fine Arts and Music

– Fine Arts and Calligraphy Course / Music Course

OKU also prepares various and characteristic majors/courses as a university of education. Please refer to our website for further information.

Osaka Kyoiku University syllabus search (OKU-UNIPA)

https://shrike.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp

⑦ Annual Event

October, May Cultural Bus-Tour in Kansai (Kyoto, Nara, Hyogo, etc)

Twice a year in the Spring and Fall, one-day bus trips are arranged. Students visit many historical places in Kyoto, Nara, Hyogo, etc.

November, May Home-visit Program

Local volunteer groups host the 'Home Visit' program and varieties of international exchange activities.

February Cultural Field Trip

A field trip for international students is arranged once a year. Students visit areas outside Kansai and study Japanese history, traditional cultures, and etc. Destinations vary every year.



March, June, August Japanese Cultural Event

International Students can join and enjoy cultural events such as going to Sumo , Bunraku, etc. Also, they can experience kimono, tea-ceremony, and new year decoration with the cooperation of regional volunteer groups.

August Final Report Presentation

Japanese Studies Students will make presentations in front of the OKU faculties and students about their report that they wrote for their Japanese Studies class.

Occasional Cultural Exchange Event

It gives international students an opportunity to interact with other students and local community members through introducing their cultures and learning history and culture of local area around OKU. Japanese Studies Students are strongly encouraged to participate and socialize.





⑧ Student Advising System

International Center Faculty

International Center faculties are in charge of the operation of the JSS program. Also, they offer Japanese language classes and give advise to international students about their life in Japan.

Faculty Advisor

Faculty advisors instruct the class registration for Japanese Studies Students and also supervise their final report. Faculty advisors are selected among OKU faculties from the Course for School Teachers, Department of Arts and Sciences, International Center, and so on.

Student Tutor Program

Each Japanese Studies Students will be introduced a Japanese student as their tutor. Tutors will give support for their study and life in Japan while the JSS are in OKU.

⑨ Certificate and Academic Record

Among classes listed in '⑥ Course Descriptions', Japanese Studies Students (JSS) will follow the International Center advisor's guidance and register for the recommended class in 'a. Japanese course'. Then, by obtaining 8 credits or more, including 'Japanese Studies I, II' (requirement), from 'b. Subjects on Japanese Language and Culture', JSS will be issued the certificate of completion from Osaka Kyoiku University.

Also, 'b. Subjects on Japanese Language and Culture' classes may be replaced with '3. Other subjects' classes when admitted by their academic advisors.

■Accommodation

OKU has dormitories for international students on Kashiwara campus and in neighboring areas of Yao-city, Osaka and Kashiba-city, Nara. Japanese Studies Students will be given rooms at Yamamoto International Student Dormitory with priority.

＜Yamamoto International Student Dormitory＞

＊ Three students will share a 3 bedroom apartment and each will have his/her own bedroom.

○Facilities/Equipment:

(Private Room) Desk, Chair, Air conditioner,
Bookshelf, Internet access, Beddings

(Shared area) Kitchen, Bathroom, Refrigerator, TV,
Washer, Washstand

○Dormitory fees:

Type A…7,300 yen (Excludes utilities)

Type B…6,300 yen (Excludes utilities)

Type C…5,300 yen (Excludes utilities)

＊Rent varies depending on the room types.

○Deposit: 30,000 yen (Required up front)

○Maximum occupancy: 24 persons (8 apartments)

Address: 7-9 Yamamoto-cho Minami, Yao-city, Osaka 581-0013

5 min. walk from Takayasu station on the Kintetsu Osaka Line.

■ Follow-up for OKU Alumni

After Completing the JSS Program

Many Japanese Studies Students, after completing the program at Osaka Kyoiku University, will go home to graduate from their home institution. Then, some will return to study in Japan as a government scholarship student, or some will find careers in companies to utilize their excellent Japanese language ability.

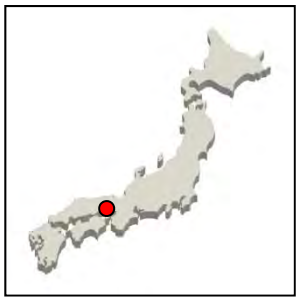
Information Service for Alumni

OKU International Center will provide information for international students alumni through medias like homepage.

■ Contact Information

International Office
Address: 4-698-1 Asahigaoka,
Kashiwara-shi, Osaka, 582-8582 Japan
Phone: +81-72-978-3300
Fax: +81-72-978-3348
E-mail: isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
University Website:
http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/index_e.html
International Center Website:
http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/en/
Japanese Studies Student Website:
http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/jp/prospective_student/special.html#ni
International Office Facebook:
https://www.facebook.com/okuinternationaloffice





神戸大学 （兵庫県）

高度な日本語習得と研修旅行等による日本文化の理解を深めるコース

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 歴史と特色

神戸大学は、1902(明治35)年に高等教育機関として設置された神戸高等商業学校を創立の起点としており、100年をこえる歴史をもっています。

現在、国立大学法人として、開放的で国際性に富む固有の文化の下、「真摯・自由・協同」の精神を発揮し、人類社会に貢献するため、普遍的価値を有する「知」を想像するとともに、人間性豊かな指導的人材を育成することを本学の使命として、11学部・15研究科を開設、1研究環・1研究所と多数のセンターを持つ総合大学です。

神戸大学では、国際都市である神戸という環境を反映して「異文化との交流」を重視し、多様な個性と専門性をもつ異分野の学生や教員との交流の中で学ぶことができる教育・研究環境を備えています。

2) 教職員・学生数等（2015年5月現在）

・教 員 数： 1,318名
・事務員数： 1,142名
・学 生 数： 学部学生 11,696名
大学院学生 4,695名
計 16,391名
〈内留学生数 1,152名 (85ヵ国･地域)〉

② 国際交流の実績

海外の基幹大学との学術交流や留学生の交換を積極的に進めており、世界85ヵ国･地域の著名な大学や研究所など、延べ321機関と学術交流協定を結んでいます。

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数 1,152人、日本語・日本文化研修留学生 7人
2014年：留学生数 1,096人、日本語・日本文化研修留学生 7人
2013年：留学生数 1,123人、日本語・日本文化研修留学生 9人



④ 地域の特色

神戸大学の所在地である神戸市は、1868年に兵庫港として開港以来、国際貿易の拠点として栄え、海外から多くの人や文化を受入れ、海と山に囲まれた国際都市として発展してきました。

また、神戸市は兵庫県の県庁所在地として、地方行政、経済、文化、教育の中心的役割を担い、国内でも有数の大都市です。

■コースの概要

① コースの特色

高度な「日本語」を学ぶ中で、研修旅行や地域の教育機関や文化施設への見学、文化行事への参加などを体験し、様々なアプローチで日本を学ぶことが可能です。また、日本人学生と共に行う交流事業等において相互の国際感覚を養うことができます。

留学生センターに在籍し、日本語を中心に次の科目を学びます。

a. 必修科目「課題研究」では

各研修生が指導教員と相談のうえ研究課題を設定し、指導教員より助言を受けながら研究をします。

b. 日本語科目では

入学後に実施するプレースメントテストにより、日本語能力別にクラス配置を行い、「日本語」「日本事情」(上級ﾚﾍﾞﾙ対象)と「日本語会話」「日本語聴解」「日本語読解」「日本語作文」「日本語漢字・語彙」「日本語特別演習」「日本文化演習」「異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」(中上級ﾚﾍﾞﾙ対象)を学習します。

上級者レベル

学術的なトピックを中心とした日本語学習を通して、大学での勉学・研究を円滑に進めることのできる日本語運用能力を養成することとし、技能別に能力が磨けるように、作文、文法、会話、聴解、読解の授業内容となっています。また、日本の社会・文化・歴史等について、幅広い知識を学ぶとともに、専門分野の学習・研究への適応能力の養成を図ります。

中上級者レベル

日本語運用能力を補強することを目的として、文法、会話表現、読解、作文表現、漢字語彙と技能別に学習するとともに、日本文化についても学習します。

c. 選択科目では

研修生各自の問題意識・関心に応じて、本学の学部において開講されている関連分野の専門教育科目を履修させ、日本文化に関する知識を深めさせるとともに、日本語・日本文化の修得に必要な方法論・技能等を習得させ、日本語・日本文化研究のための基礎を養成します。

② 受入定員

１０名（大使館推薦５名、大学推薦５名）

③　受講希望者の資格、条件等

受講の資格・条件として、以下の全ての要件を満たす必要があります。

・身分及び専攻
　外国（日本国以外）の大学に在籍し、日本語・日本文化を主専攻として履修している学部学生。（ただし、１年次生を除く）
・日本語能力及び学業成績
　すでに基礎的な日本語の学習を修了し、本学において日本語で行われる日本語・日本文化等に関する授業を受講できる日本語能力（日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験１級」（新基準「N1」以上）を有する者で、在籍する大学における学業成績が上位の者。
・その他
　大学推薦による受入れは、本学と学術交流協定締結大学からの受入を優先します。

④　達成目標

日本語の教育研究者、日本語通訳者・翻訳者あるいは日本文化に関する教育研究者・専門家を目指す留学生に対して、高度な日本語能力と日本文化についての深い知識と理解が得られる教育環境を提供し、習得させることを目的としています。

⑤　研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は9月を予定（前年度：2015年9月1日）

⑥　研修科目の概要

授業は、原則としてクォーター毎に開講し、日本語・日本文化に関する研究を行う「課題研究」を必修科目、レベルにより選べる日本語の選択科目、日本文化を学習する選択科目の三形態の授業区分から構成されています。

授業期間：第3ｸｫｰﾀｰ　2016月10月 1日～ 2016月12月 5日
　　第4ｸｫｰﾀｰ　2016月12月 6日～ 2017月 2月10日
　　第1ｸｫｰﾀｰ　2017月 4月 1日～ 2017月 6月 9日
　　第2ｸｫｰﾀｰ　2017月 6月10日～ 2017月 8月 9日

1）留学生センター開設科目

授業科目区分	授業科目	後期（第3・4Q）	前期（第1・2Q）
必修科目 セメスター開講	課題研究	30時間	30時間
選択科目 クォーター開講	日本語ＩA～ⅧB	各15時間	各15時間
	日本事情ＩA～ⅡB	各15時間	各15時間
	日本語会話中級A～上級B	各15時間	各15時間
	日本語聴解中級A～上級B	各15時間	各15時間
	日本語読解中級A～上級B	各15時間	各15時間
	日本作文中級A～上級B	各15時間	各15時間
	日本語漢字・語彙初級A～上級B	各15時間	各15時間
	日本語特別演習ＩA～ⅢB	各15時間	各15時間
	日本語特別演習ＶA～ＶB	各15時間	各15時間
	日本文化演習ⅡA～ⅡB	各15時間	各15時間
	異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝA・B	各15時間	各15時間

2）学部開講専門科目

文学部、国際文化学部、発達科学部の専門科目のうち履修可能な科目。（2016年4月よりクォーター制移行のため科目名は未定。）

各科目１５時間～３０時間／クォーターまたはセメスター開講

履修要件：
各クォーターにおいて，必修科目を含めて５科目以上履修しなければならない。

⑦　年間行事

10月 入学式・オリエンテーション
　・学生生活及び日本での生活指導
　・日研生ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開講式・歓迎会
　・日本語ﾌﾟﾚｰｽﾒﾝﾄの実施
11月 日本文化体験旅行（丹波の焼物体験他）
12月 国際学生交流シンポジウム他
　・日本人学生との交流ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ
2月 日本文化体験旅行（自由参加）
　・日本の冬を体験するイベント
6月 研修旅行
　・日本の文化に触れる研修旅行
7月 課題研究の発表会
　・作成した課題研究の発表
9月 日本語・日本文化研修修了
　・日研生ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修了式・送別会

6月研修旅行
（沖縄）





11月
日本文化体験旅行

⑧　指導体制

ハリソン教授を当プログラムの全体総括として、留学生センターの各部門の先生が指導します。

1) プログラム実施委員

留学生センター専任教員

河合 成雄	教授（センター長）
高梨 信乃	教授（副センター長）
實平 雅夫	教授
朴　鍾祐	教授
ﾘﾁｬｰﾄﾞ ﾊﾘｿﾝ	教授
黒田 千晴	准教授
齋藤 美穂	准教授
川上 尚恵	講師
朴　秀娟	講師

2) 指導方法

学生は留学生センターに所属し、センターの教員から指導を受けます。

a. 学業面

１年間を通して「課題研究」の指導を行います。

b. 生活面

１年間を通して、上記の指導教員及び留学生センター相談指導部門の専任教員２名が必要に応じて相談業務にあたります。

⑨　コースの修了要件、修了証書の発行

秋学期・春学期を通じて、必修科目(60時間)、選択科目(300時間以上)を合わせて360時間以上を修得すること及び研究課題の発表を修了要件としており、この要件を満たした者に修了証書を授与します。

修了判定にあたっては、留学生センター教員による留学生センター教員会議で総合的に判定されます。

なお、単位の付与はできませんが、各学期末に成績証明書を交付します。また、留学生の在籍する大学から照会があった場合には、授業内容や成績に関する資料の提供には応じます。

■宿　舎

神戸大学では、留学生数の増加にともない、希望者全員が大学の運営する留学生用宿舎へ入居できるとは限りません。やむを得ず民間アパートに入居しなければならない場合もあります。

なお、大学では夫婦･家族室については用意できません。

(1)神戸大学(ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ・ﾚｼﾞﾃﾞﾝｽ宿舎 他3ヶ所)

・入居期間は１年です
・寄宿料　月額　4,700円～21,000円(平成28年度)
　宿舎によっては、共益費等が必要な場合があります。
・通学時間は、電車を利用して30～50分
・その他（光熱水費等は各自で負担となります。）

(2)民間アパートの場合

民間のアパートでは、家賃月額 50,000円程度となります。(光熱水費別)

＊民間のアパート等では、日本独特の制度で敷金、礼金が別途必要になります。

■修了生へのフォローアップ

修了生には、本学の海外同窓会ネットワークへの加入（登録）を呼びかけ、本学の各種情報をお知らせすると共に進学や就職に関する相談などキャリアサポートも行っています。更に、同窓生間の情報交換に役立てています。

日研生プログラムを修了した留学生が、在学する大学を卒業後に日本の大学院への進学を促進ことになります。

本学を修了した過去の修了生86名のうち10名以上が、本学又は他大学の大学院に進学しています。

また、半分以上の修了生が日本企業や日本関連の仕事に就いています。

Facebook:
Kobe University International Alumni Association
https://www.facebook.com/KobeUniversityInternationalAlumni

■問い合わせ先

(担当部署)

神戸大学

住所　　〒657-8501
　　兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

事務担当
国際部国際交流課
TEL　＋81-78-803-5263（直通）
FAX　＋81-78-803-5289
E-mail　intl-suishin@office.kobe-u.ac.jp

実施担当
留学生センター（留学生交流推進部門）
TEL　＋81-78-803-5275（直通）

ソーシャルメディア
神戸大学HP
http://www.kobe-u.ac.jp

神戸大学留学生センターＨＰ
http://www.kisc.kobe-u.ac.jp/

Facebook:
Kobe University International Student Center
https://www.facebook.com/KobeUniversityInternationalStudentCenter



Kobe University (Hyogo)

Understanding Japanese culture through a high-level Japanese language program and study tours

■Kobe University

① Outline of Kobe University

1) History and Background

Kobe University has more than 100 years of history, having started as Kobe Commercial High School in 1902.

Currently, there are 11 faculties, 15 research schools, 1 research office, and 1 research institute with several university wide centers, working in a spirit of integrity, freedom, and cooperation in keeping with its open and cosmopolitan culture and environs, aims to contribute to the global community through the creation of knowledge founded on universal values and the fostering of rich understanding and strong leadership skills.

Being situated in the city of Kobe that prides itself on cross-cultural exchange, it is an ideal location for learning in an environment where exchange with scholars from many different backgrounds and disciplines is encouraged.

2) Staff・Students (as of May 2015)

- Staff : 1,318
- Admin : 1,142
- Students : Undergraduates 11,696
  Postgraduates 4,695
  Total 16,391
  <International Students 1,152 (from 85 regions)>

② International Exchange

Kobe University has academic exchange agreements with 321 universities and research institutions in 85 countries worldwide.

③ Statistics on number of International Students and Nikkensei at Kobe University over the last 3 years

2015 :	International Students 1,152	Nikkensei	7
2014 :	International Students 1,096	Nikkensei	7
2013 :	International Students 1,123	Nikkensei	9



④ Kobe Area

Kobe University is located in the city of Kobe, which is a cosmopolitan port city surrounded by the sea and mountains. Kobe has developed into a major international trading center in Japan since opening the port in 1868.

Kobe is the major city in Hyogo prefecture and is the regional center of government, economy, culture and education in the region.

■Course Outline

① Course

In this course it is possible to learn Japanese to a high level though several methods, including study tours, trips to educational and culture facilities and participate in various cultural events, in the local community in Kobe. Furthermore, you will be able to develop your inter-cultural communication skills by participating in many exchange activities with Japanese students.

You will be affiliated to Kobe University International Student Center (KISC) and take the following classes.

a. Compulsory Research Project

You will choose a research topic and receive supervision from the KISC staff at different stages in the research.

b. Japanese Languages

You will take a placement test at the beginning of the course and this will determine which Japanese classes you take. These include Advanced Classes in Japanese and Japanese Culture, Listening, Speaking, Reading, Writing, Kanji, Special Japanese, Japanese Culture and intercultural communication.

Advanced Level

These classes include composition, grammar, conversation, listening, reading, and are aimed at improving your Japanese competence to be able to use Japanese for academic purposes for attending classes and conducting research in a university environment. Also, as well as learning about Japanese society, culture, history etc. you will acquire a wide knowledge of specialist subjects.

Upper Intermediate Level

These classes are aimed at strengthening your competence in different skills in Japanese such as writing, reading, conversation and listening as well as learning about Japanese culture.

c. Elective classes

You will be able to register the subjects from some faculties according to your interests in Japanese language and culture. These classes will allow you to develop a richer understanding of these areas.

② Number of Students

10 (5 Embassy applicants、5 university applicants)

③ Conditions for Application

Applicants must fulfill all the conditions below.

・Status and Field of Study

You must be registered at an overseas university and taking classes in Japanese language and culture as an undergraduate student(1st year students are excluded)

・Japanese language proficiency and grades

You must have completed a basic course in Japanese language and have competence in Japanese to take undergraduate classes offered in Japanese at Kobe University

(This is equivalent to attaining N1 level in the JLPT, and having excellent grades in other subjects at your university)

・Other

For students applying through their universities, we give preference to students applying from universities that have a formal exchange agreement with Kobe University.

④ Aims of the Course

The aim of this course is to provide an environment in which you can improve your competence in Japanese to a high level as well as deepening your understanding of Japanese culture, suitable to students aiming to be experts in Japanese studies looking to go on to be researchers on Japanese studies, translators/interpreters, or teachers.

⑤ Period of Study

1st October 2016～ 30th September 2017

Completion ceremony is held in September

(Ceremony of the previous year: 1 Sept 2015)

⑥ Outline of classes available

Classes are available in the 1 to 4 quarters. The one-year research project is compulsory.
Japanese classes offered by KISC. Classes and other subjects offered by the Faculties are elective.

Term: Third Quarter 1/10/2016 - 5/12/2016
Fourth Quarter 6/12/2016 - 10/ 2/2017
First Quarter 1/ 4/2017 - 9/ 6/2017
Second Quarter 10/ 6/2017 - 9/ 8/2017

1) KISC subjects

Class Type	Class	Fall semester(3/4 Q)	Spring Semester(1/2 Q)
Compulsory (Semester class)	Research Project	30 hours	30 hours
Elective (Quarter class)	JapaneseIA～ⅧB	15 hours each	15 hours each
	Japanese StudiesIA～ⅡB	15 hours each	15 hours each
	Japanese Listening A/B (Intermediate to Advanced)	15 hours each	15 hours each
	Japanese Speaking A/B (Intermediate to Advanced)	15 hours each	15 hours each
	Japanese Reading A/B (Intermediate to Advanced)	15 hours each	15 hours each
	Japanese Writing A/B (Intermediate to Advanced)	15 hours each	15 hours each
	Japanese Kanji and Vocabulary A/B (Intermediate to Advanced)	15 hours each	15 hours each
	Japanese for Specific Purposes IA～ⅢB	15 hours each	15 hours each
	Japanese for Specific Purposes ⅤA～ⅤB	15 hours each	15 hours each
	Japanese CultureⅡA～ⅡB	15 hours each	15 hours each
	Cross-cultural CommunicationA/B	15 hours each	15 hours each

2) Major subjects in other Faculties

Subjects which offer to Nikkensei in the Faculty of Humanities, Intercultural Studies, and Human Development.

Registration: You should register more than five subjects including Research Project in each quarter.

⑦ Events Program

October: Entrance Ceremony, Orientation
- Advising on student life in Japan
- Nikkensei Program Opening Ceremony, Welcome Party
- Japanese Language Placement Test

November: Japanese Culture Study Tour
- Pottery at Tamba Region etc.

December: Kobe University International Student Symposium (KISS)
- Exchange symposium with Japanese students

January: Japanese Culture Study Tour
- Experience Japanese winter

June: Nikkensei Study Tour
- Study tour on Japanese culture

July: Presentation of Research Project
- Presentation of research project results

September: Ceremony for completion of the course
- Ceremony and Farewell Party

Okinawa Culture Trip





Japanese Culture Study Tour

⑧ Supervision

Professor Richard Harrison is in overall charge of the program.

1)Program Members (Full-time Staff at KISC)
Prof. Naruo Kawai (Director)
Prof. Shino Takanashi (Vice Director)
Prof. Masao Sanehira
Prof. Jong Woo Park
Prof. Richard Harrison
Assoc. Prof. Chiharu Kuroda
Assoc. Prof. Miho Saito
Assist. Prof. Naoe Kawakami
Assist. Prof. Soo Yun Park

2) Supervision
Students are affiliated to KISC and receive supervision from KISC staff.

a. Study
KISC provides supervision for 1-year research projects

b. Living
KISC has two advisors to provide counseling on living in Japan.

⑨ Completion of the course

You should pass the subjects more than 360 hours to complete the course (including 60 hours compulsory, more than 300 hours elective) . After which, you will receive the certificate of completion. KISC members determine the course completion.

We are unable to give credits, but we will give you the official transcript with subject names, hours and grades. You can also get syllabi from our web site.

■Accomodation

Kobe University can only provide limited accommodation in university dormitories due to a sharp increase in the number of international students.
If dormitory accommodation is not available you will be offered public housing.

Kobe University is not able to provide accommodation for couples.

1. Kobe University International Student Dormitory
International Residence Other: 3 sites
- Period of stay is 1 year
- Rent is ¥4,700～21,000 per month (2016year)
  ＊May be required: common service charge, etc
- Commuting time to university 30-50 minutes by train
- Additional costs (utility costs are borne by the individual)

2. Public apartments.
Monthly rent is around ¥50,000 per month
＊ Deposits (Shikikin and Reikin) are necessary as part of the Japanese system for renting apartments.

■Follow-up support for ex-Nikkensei

Students who have completed this course are included in our Alumni database, which we use to send information to students about further study opportunities and career advice. It is also used for information exchange between alumni groups.

We also help students who have completed the course to go on to further postgraduate studies in Japan.

Since this program started here at Kobe University, of the total of 86 students who took this course, more than 10 students have gone on to conduct postgraduate research in Japan. Also, more than half of the total number have found employment with Japanese or Japan-related companies.

Facebook:
Kobe University International Alumni Association
https://www.facebook.com/KobeUniversityInternationalAlumni

■Enquiries

Kobe University

Address

〒657-8501
1-1 Rokkodai, Nada-ku,Kobe,Hyogo

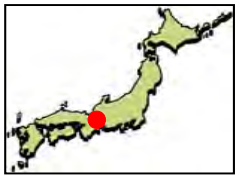
Office
International Exchange Division
TEL ＋81-78-803-5263 (direct line)
FAX ＋81-78-803-5289
E-mail intl-suishin@office.kobe-u.ac.jp

Assoc. Professor Richard Harrison
Kobe University, International Student Center (KISC)
(Section for Promotion of Exchanges)
TEL ＋81-78-803-5275 (Direct)

Social Media
Kobe University
http://www.kobe-u.ac.jp

Kobe University International Student Center
http://www.kisc.kobe-u.ac.jp/

Facebook:
Kobe University International Student Center
https://www.facebook.com/KobeUniversityInternationalStudentCenter



奈良教育大学 (奈良県)



・日本語・日本文化実地検証プログラム---や　ま　と---

◇大学紹介

①大学の特色及び概要

1)特色と歴史

本学は1888年奈良県尋常師範学校として創設され、2008年11月に120周年を迎えた。この間女子師範学校、青年師範学校と合併、名実ともに教員養成機関として面目を一新、1949年5月に奈良学芸大学、1966年に奈良教育大学と改称し、現在に至っている。

本学は高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としている。

また、教員実践の経験をふまえた教育理論の見直し、再編成の場として教職大学院、大学院教育学研究科修士課程を設置している。

2)教員・学生数等:　教員数　108人　　学生数　1,382人

②国際交流の実績

留学生教育に関しては、小規模大学としては充実しており、教員養成大学の特性(多岐に渡る専門領域の教育が実施されている)を生かし、所在地である古都・奈良の特色も生かした教育で高く評価されている。現在7か国11大学と国際交流協定を結んでおり、17か国から45名の留学生が在籍している。全学に占める留学生の割合は約3%である。

とりわけ日本語・日本文化研修留学生(以下、「日研生」という。)の受け入れに関しては実績があり、1987年に初めて1名を受け入れて以来、現在までに約40か国から約180名の受け入れ実績がある。日研生にとって、本学は日本の伝統文化と現代文化を同時に実地検証できる絶好の場であると言えよう。(④奈良市の特色参照)

③過去3年間の留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

年	留学生数	日研生
2015年	45名	8名
2014年	57名	15名
2013年	75名	16名

④奈良市の特色

本学が位置する奈良市は、人口約37万人で大阪、京都にそれぞれ電車で1時間以内で行くことができる利便性があり、かつ8世紀には都であったことから、古都としての伝統が色濃く残る、いわば過去と現在が交差する希有な都市である。

また、2010年に平城遷都1300年を迎えた奈良は、益々国際交流に力を入れており、留学生に対しては地域からの期待も大きく、またよくサポートを受けている。

◇コースの概要

①コースの特色

本学は世界遺産「古都奈良の文化財」に登録された社寺まで徒歩圏であるばかりでなく、本学の構内で8世紀の寺の遺構が発掘されるなど、他にはない特色を備えている大学である。このような立地条件で提供するプログラム「やまと」の特色は以下のとおり。

1)　日本文化の原点とも言える地にあるという利点を生かし、日研生ができる限り日本文化を実地で検証できる研修内容である。

2)　大阪・京都まで1時間以内で行けるという利便性を生かし、伝統文化が現代文化とどのように共存しているか、またその背景にある日本人の価値観とは何かが理解できるように、講義と実地研修の両面で指導する。

3)　日本語教育に関して、既存の留学生用授業を組み合わせることによって、日研生の日本語力に応じたレベルの日本語教育が受けられるようにする。

4)　日研生対象の日本語・日本文化関連の授業では、言語・文化に関する深い知識を座学で学ぶと同時に、プロジェクトワーク等を取り入れた実践的な日本語使用および文化理解の機会を提供する。

5)　日本文化関連の授業、実地検証などにおいて、日研生独自の年間カリキュラムを提供する。

6)　教育大学であることの特色を生かし、附属校等の授業に参加したり、子ども達と交流することで、日本の教育の実状も体験できる。

7)　留学期間後半では修了レポートの作成に伴い、日研生各自の興味の対象に沿う指導を行う。

②受入定員

大学推薦　2名、大使館推薦　15名

③受験資格等

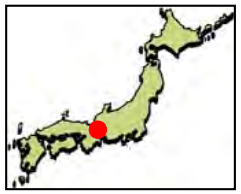
規則を守り、真摯に日本語・日本文化を学習する意欲のある者
日本語能力試験N3以上の日本語能力が望ましい。
また、少なくとも2年以上の日本語学習歴、専攻は日本語学、日本文学、日本語教育、日本学、比較文化学であることが望ましい。

④達成目標

1)日本語・日本文化をテーマとした研究・研修の成果に関する日本語の論文・レポートを作成できる
2)大学での研究や社会生活に必要な日本語運用力を身につけること。　※日研生の多くはJLPT-N1またはN2レベルに到達している

⑤研修期間

2016年10月～2017年8月



奈良教育大学 (奈良県)



⑥コース形態　日研生用コース。(ただし、下のとおり一部の日本語授業は他の学生と合同。)

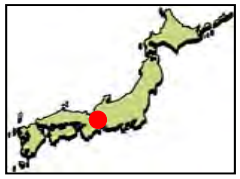
⑦授業科目および授業時間数、⑧授業科目の概要

	授業科目	時間数		
		秋学期	春学期	計
日本語	日本語Ⅰ上級（聴解・論文執筆技術）	30	30	60
	日本語Ⅱ上級（アカデミック読解）	30	30	60
	日本語コミュニケーション（体験型日本語学習）	30		30
	日本語演習Ⅱ（中上級アカデミック読解）	30		30
	日本語演習Ⅱ（中上級小論文執筆技術）	30		30
	日本語演習Ⅰ（中上級文学読解）		30	30
	日本語演習Ⅰ（中上級小論文執筆）		30	30
	日本語文献講読（日本語）		30	30
	・日本語能力に応じて指導教員が指定した科目を履修 ・上記日本語科目は一般留学生との合同授業 ・上記日本語科目の履修が困難な者は「日本語中級Ａ」「日本語中級Ｂ」の履修が可能			
日本文化	★※日本文化史	30		30
	★※比較文化論		30	30
	国際文化論		30	30
	比較言語文化論Ⅰ		30	30
	比較言語文化論Ⅱ	30		30
	日本人の宗教観	30		30
	日本語文献講読（文化）		30	30
	★※現代日本論		30	30
その他	※日本語教育論	30		30
	※日本語教授法特講		30	30
	書道	30	30	60
	★修了レポート指導	―	―	―
	日本文化科目、その他の科目のうち、 ★は必修科目、※は日本人学生との合同授業			

上記の表に記載された留学生用授業が開講されていない時間は、その他の日本人向け授業を受けることができます。ただし指導教員および担当教員の許可が必要です。

履修可能な日本人向け授業例

日本文学概説Ⅰ
日本文学概説Ⅱ
アジアの中の日本美術史
日本史概説Ⅰ
日本史概説Ⅱ
日本語学概説Ⅰ
日本語学概説Ⅱ
など



奈良教育大学 (奈良県)



⑨指導体制

学業面では以下の教員が個別指導を行う。
(　)内は専門分野
＊頓宮　勝　(インド学、比較文化) tonguu@nara-edu.ac.jp
＊和泉元　千春　(日本語教育学) izumimotoc@nare-edu.ac.jp

⑩コースの修了要件、修了証書の発行

以下の要件を満した場合、国際交流推進室がコース修了を認定し、修了証書を発行する。
・秋学期、春学期で指定された科目を含む合計360時間以上を履修し合格すること
・コースで定められた実地研修に参加すること
・本コースの成果をまとめたレポートを日本語で作成すること

⑪単位の認定及び単位互換

コースにおいて履修し合格した授業については単位を認定し、大学推薦の学生にあっては、取得単位は協定に基づき互換される。



⑫年間行事等 (2015年度実施(予定含む))

10月　秋季留学生懇談会(歓迎会)
11月　学習旅行 (滋賀県近江八幡市)
　　大学祭
1月　伝統芸能鑑賞会
3月　大相撲見学
4月　春季留学生懇談会(歓迎会)
5月　学習旅行(三重県答志島)
7月　伝統芸能鑑賞会

◇宿舎

日研生は、特に事情がない限り、大学の学生宿舎に入居する。
寮費　約17,200円／月　(但し、居室光熱費別途)
Wi-fi設備あり。

◇その他

来日後に、全員、国民健康保険(月額約2,500円)、個人損害賠償責任保険(年額約5,040円)に加入する必要があります。
また、胸部レントゲン検査を受けてもらいます。



学習旅行(答志島)

◇修了生へのフォローアップ

①指導体制

帰国後の学生が研究留学生として再日を希望する場合には、比較文化及び日本語教育を専門とする留学生担当教員が主として e-mail により助言し、専門領域 に応じて、本学で受け入れたり、他大学を紹介している。

②キャリアパス(一例)

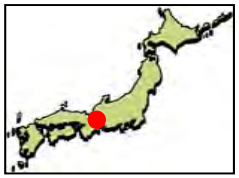
日本やその他の国の日本語教育機関において教職、研究職に従事。日本語能力、日本理解を必要とする日本国内外の企業への就職。



学習旅行(近江八幡)

◇問い合わせ先

大学所在地：〒630-8528　奈良市高畑町
担 当 部 署：　学生支援課留学生担当
TEL：　0742－27－9148
FAX：　0742－27－9146
E-MAIL：　ryugaku@nara-edu.ac.jp
WEB：　http://www.nara-edu.ac.jp



NARA UNIVERSITY OF EDUCATION (Nara)



▪Program for On-the-spot Experience of Japanese Language and Culture

--- YAMATO ---

◇Introduction of our University

①Outline and Characteristics of the university

1) History and Characteristics

The history of our university started with the foundation of Ordinary Normal School in 1888 and celebrated the 120th anniversary in November 2008. The school itself has been developing into Nara University of Education with the historical background of being in association with Women's Normal School and Youth Normal School to assume a new aspect as teacher training school in reality and in name, or changing its name into University of Liberal Arts in May 1949 and the present title in 1966.

The university aims at developing cultivated human resources of high intelligence, especially competent educationists, as well as contributing to the advancement of the characteristic culture in Nara.

The Graduate School (Master's Course) and School of Professional Development in Education are affiliated as the place for higher level of research in education and the practical place for reviewing and reorganizing educational theory after having experience of teaching in schools.

2) Number of Teaching Staffs and Students: Number of Teaching Staffs : 108　Number of Students: 1,382

②International Exchange

Though our university is small in size, educational circumstances and facilities satisfy foreign students' request. Especially characteristics as teacher's training college, that is, the variety of professors' research fields in addition to the education based on the university's location as the ancient capital of Japan has ever been highly evaluated. Our university has ties with 11 partner universities in 7 countries through international exchange agreements and 45 foreign students from 17 countries are studying at the university now and its number accounts for 3 percent of the total number of our students.

In particular, we are experienced in accepting Japanese Studies Students (hereafter referred to as "Nikkensei"), and we have ever offered the special program, reviewed and improved every year, to around 180 students from about 40 countries in total since one student started to study under the program in 1987. The university is an excellent location for the practical study of Japanese traditional culture as well as modern culture.

③The number of Nikkensei for the past three years

Year	International Student	Nikkensei
2015	45	8
2014	57	15
2013	75	16

④Characteristics of Nara Prefecture

Nara city with a population of 370,000 is conveniently located within 1 hour distance by train from both Osaka and Kyoto. Moreover, the city was the capital of Japan for about 80 years in 8th century, and the tradition as the old city still remains strong. The place, as it were, is one of rare cities where the past atmosphere intersects with modern environment.

Nara, which celebrated the 1300 anniversary of the transfer of national capital in 2010, focuses on the international exchanges, and expects to welcome and support students from abroad.

◇Outline of the Course

①The features of the Course

Our university is not only located in the area accessible to those famous temples and shrines on foot but also has excavated ruins of a temple constructed in the 8th century on campus.

1)Nikkensei students can study Japanese language and culture in such a place regarded as the original place of Japanese culture by attending classes offered in this program.

2) Students are guided and instructed on and off campus to understand the coexistence of traditional and modern culture in addition to Japanese concept of values behind its history and culture within easy access of Osaka.

3) As for Japanese language, students can attend those classes corresponding to their proficiency from among various Japanese-related classes offered to other types of foreign students studying at our university.

4) Students can enrich their understanding of Japanese language and culture in respective classes. Also the opportunity of practical Japanese usages introduced in the project work, and cultural understanding is offered.

5) We offer the unique annual curriculum for Nikkensei not only in classes related to Japanese culture but in study excursion to historic sites and ruins.

6) Students may get to know actualities of education in Japan with the experience of participating the classes as invited speakers and interacting with pupils in our attached schools etc, which is a characteristic of our university as a college of education.

7) When students draw up final composition to complete this program during the latter part of the course, they are guided under the appropriate instruction for their respective interests.

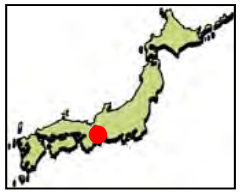
②Number of students to be accepted

2 students who recommended by University

15 students who recommended by Embassy

③Requirements for Completion of the Course and its Certificates

The applicants for this Course are required to be a person who are motivated to learn Japanese culture and customs sincerely and have the ability in Japanese language equivalent to or above the level N3 of the Japanese Language Proficiency Test, and also have at least two years' experience in studying Japanese, The desirable major fields of study are Japanese Linguistics, Japanese Literature, Japanese Education, Japanology (Study on Japan in general) and Comparative Culture.



NARA UNIVERSITY OF EDUCATION (Nara)



④Aim of the Course

The program goals are as follows:

1) To be able to write a report on Japanese language and culture based on the result achieved during the program.

2) To acquire the Japanese language proficiency and communicative competence necessary for academic research activities and social life.

※ Most students reach a degree of proficiency in Japanese equivalent to N1 or N2 of JLPT at the time of completion of the program.

⑤Period of the Course

October in 2016 ～August in 2017

⑥Type of the Course

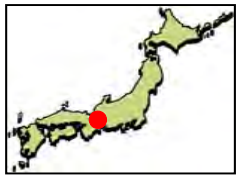
The Nikkensei Course (A part of Japanese classes is conducted with other types of International students.)

⑦Subjects and Hours of Classes, ⑧ Outlines of Classes

	Subjects	Hours		
		Fall	Spring	Total
Japanese Language	Japanese Ⅰ (Academic listening & discussion)	30	30	60
	Japanese Ⅱ (Academic reading & writing)	30	30	60
	Practical Japanese Communication (Pre-advanced level)	30		30
	Seminar of Japanese Language Ⅱ (Academic reading, Pre-advanced level)	30		30
	Seminar of Japanese Language Ⅱ (Academic writing, Pre advanced level)	30		30
	Seminar of Japanese Language Ⅰ (Reading of literature, Pre-advanced level)		30	30
	Seminar of Japanese Language Ⅰ (Academic writing, Pre advanced level)		30	30
	Academic Reading Japanese		30	30
	・Students attend classes of 180 credit hours suitable to one's ability. ・All Japanese classes are open to other types of international students. ・Those students who find it difficult to attend the above classes may take Intermediate Japanese A and B with other foreign students.			
Japanese Culture	★※History of Japanese Culture	30		30
	★※Comparative Culture		30	30
	Intercultural Understanding		30	30
	Comparison of Cultural Linguistics Ⅰ		30	30
	Comparison of Cultural Linguistics Ⅱ	30		30
	Japanese view on Religion	30		30
	Reading of Japanese Theses (Culture)		30	30
	★※A view of Modern Japanese		30	30
Others	※Introduction to Teaching Japanese	30		30
	※Methods of Teaching Japanese as a Second Language		30	30
	Japanese Calligraphy	30	30	60
	★Report Writing	—	—	—
★Compulsory class, ※Class open to Japanese students				

The students can attend the classes for Japanese students only when they do not have classes for Nikkensei, under the permission of a supervisor and a instructor.

- Outline of Japanese Literature Ⅰ
- Outline of Japanese Literature Ⅱ
- History of Japanese Art in Asian Context
- General History of Japan Ⅰ
- General History of Japan Ⅱ
- Outline of Japanese Linguistics Ⅰ (Spoken Expressions Included)
- Outline of Japanese Linguistics Ⅱ, etc.



NARA UNIVERSITY OF EDUCATION (Nara)



⑨Leadership in Instruction

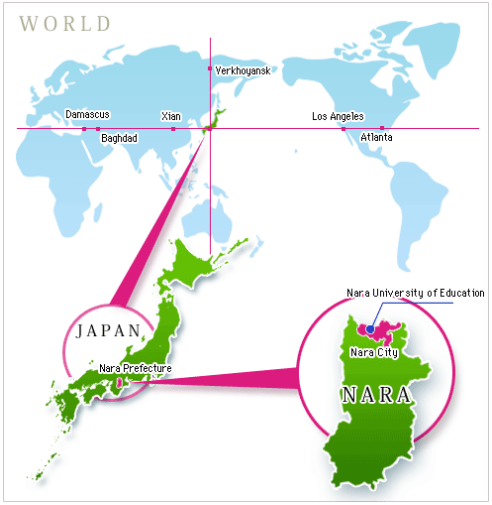
＊TONGUU Masaru
(Indology, Comparative Culture) tonguu@nara-edu.ac.jp
＊IZUMIMOTO Chiharu (Teaching Japanese as a Foreign Language) izumimotoc@nara-edu.ac.jp

⑩Requirements for Completion of the Course and its Certificates

Those students who meet the following requirements are given the certificate of this course with approval of Promotion Office of International Relations.
To complete the prescribed 360 credit hours a year.
To participate in compulsory study excursions.
To submit a research paper or report in Japanese based on the result achieved during this program.

⑪Acquirement of credit and its transfer system

Students can acquire credits of those classes which they attended and passed , and credits acquired by students of our partner universities are transferable.



⑫Program Events (in 2015(including plans))

October : International party (Welcome party)
November: Friield Study trip. (in Oumihachiman Ctiy)
University Festival
January :Appreciation of traditional Japanese entertainment
March : Appreciation of Grand Sumo Tournament
May : Friield Study trip. (in Toushi Island)
April : International party (Welcome party)
July : Appreciation of traditional performing arts

◇Dormitory

Nikkensei can settle in our student residences unless they have special reason.
The room rent per one month is approximately 17,200 yen. (The electricity expense in your private room is not included in a room rent)
There is Wi-Fi inside the Dormitory.

◇ Others

Nikkensei have to buy National Health Insurance (about 2,500yen/m) and personal liability insurance (about 5,040yen/y) in Japan.
Also Nikkensei have to take a chest X-ray in Japan, too.



Field Study Trip(in Toushi Island)

◇Follow-up for graduates

①Support

Two instructors in charge of foreign students' education advise students about their return to Japan as research students mainly through e-mail communication. Some students came back to us, or some students were introduced to other suitable institutions in accordance with their majors.

②Track

Professional occupations at educational departments of domestic and international institutions. Employment at miscellaneous corporations or companies in Japan or students' countries which require Japanese language proficiency.



Field Study Trip (in Oumihachiman)

◇Contact Information

Address: Takabatake-cho, Nara 630-8528
Contacti: Student Affairs Section
TEL: 0742-27-9148
FAX: 0742-27-9146
E-mail: ryugaku@nara-edu.ac.jp
WEB: http://www.nara-edu.ac.jp



奈良女子大学 （奈良県）

日本の原点「まほろば」の地で日本のことばと文化を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色および概要

本学は、1908年（明治41年）に創設された奈良女子高等師範学校を前身としており、2016年（平成26年）で創立107年を迎えます。この間日本における女性の最高教育機関としての役割を担ってきました。

文学部、理学部、生活環境学部の３学部、大学院人間文化研究科を擁し、小規模ながらも幅広い分野の研究教育を実施しています。

教員数は約200名、学生数は約2,600名でありきめ細やかな少人数教育が特徴です。



② 国際交流の実績

39大学（アジア25大学、欧米等14大学）と国際交流協定を締結しています。

本学を卒業・修了した留学生には、母国の大学で教員をしている方も多数います。

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

※日本語・日本文化研修留学生の受け入れは、2014年に開始しました。

2015年：留学生数　144人、日本語・日本文化研修留学生　5人

2014年：留学生数　143人、日本語・日本文化研修留学生　3人

④ 地域の特色

奈良は、日本の古い都（710年平城京遷都）で、多くの世界遺産に恵まれた日本有数の観光地です。都市部に比べて物価も安く、大阪・京都へも約40分で行けることから、留学生が「日本語・日本文化」を勉強するには最適の場所です。大学は、世界遺産に指定されている寺社や鹿で有名な奈良公園に隣接しています。



■コースの概要

① コースの特色

伝統文化の息づく古都・奈良で、日本語、日本文化について体験的に学ぶことが出来ます。留学生1人1人にはチューターを配置し、生活面、学習面でも細やかなサポートを行います。

② 受入定員

５名（大使館推薦４名、大学推薦１名）

③ 受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験N2程度の日本語力を有し、２年以上の日本語学習歴がある女子学生。

④ 達成目標

日本や日本文化について学際的に学び、その理解を深める
日本語で論文・レポートを執筆できる
日本語能力試験N1相当の日本語力を身に付ける

⑤ 研修期間

2016年10月1日　～　2017年8月31日
修了式は8月を予定

⑥ 研修科目の概要

必修科目11科目、選択科目6科目以上を受講します。選択科目のうち、「ビジネス日本語」「日本語プレゼンテーション」以外は日本人学生と同じ授業を受講します。また、＊の科目は日研生専用です。

1）必須科目

科目名	秋	春	時間数
日本語ＩA（文法）		○	30
日本語ＩB（文法）	○		30
日本語ＩC（読解・漢字）		○	30
日本語ＩD（読解・漢字）	○		30
日本語ⅡA（聴解）		○	30
日本語ⅡB（聴解）	○		30
日本語ⅡC（作文）		○	30
日本語ⅡD（作文）	○		30
＊日本語学基礎購読Ⅰ	○		30
＊日本語学基礎購読Ⅱ		○	30
☆＊修了レポート		○	30
計			330

☆修了レポートには、4,000字程度のレポート提出が課せられます。

2）参加型科目（選択科目）

科目名	秋	春	時間数
スポーツ実習C4 （武道：剣道、なぎなた）		○	30
奈良の食を知る		○	30
奈良の食をさぐる	○		30

3）講義（選択科目）

科目名	秋	春	時間数
ビジネス日本語Ⅰ		○	30
ビジネス日本語Ⅱ	○		30
なら学		○	30
＊日本語プレゼンテーション		○	30
国語学概論Ⅰ	○		30
国語史概論Ⅰ		○	30
文化社会学概論	○		30
日本の美と芸術	○		30
文化と民族	○		30
文化人類学概論		○	30
シルクロードと古代日本	○		30
なら学概論B	○		30
ジェンダー論入門		○	30
女性生活史	○		30
文化人類学特殊研究		○	30
日本事情A		○	30
日本事情B	○		30
国際グループワークⅠ		○	30
国際グループワークⅡ	○		30

4）その他の科目

指導教員が認めた場合、上記以外の科目を選択科目として受講することも出来ます

⑦　年間行事（主なもの）

10月　生け花教室
11月　茶道体験教室、大学祭
5月　生け花教室、茶道体験教室
6月　文楽鑑賞教室、日本語スピーチ大会
8月　修了式

※その他「留学生と日本人学生の交流事業」、「留学生実地見学旅行」、奈良のお祭への参加や参観も含めた多数のイベントがあります。また「弓道」「競技かるた」「書道」「古美術研究」「箏曲」「能楽」「華道」「茶道」等のサークルに所属できる他、大学が提供する様々な企画に参加することが出来ます。





⑧　指導体制

コースの運営は、国際交流センターが文学部言語文化学科日本アジア言語文化学コースと連携して行います。担当指導教員は、各留学生の興味の分野に応じて全学より選任します。担当指導教員は修了レポート指導を行います。

⑨　コースの修了要件

指定された必修11科目、選択6科目以上を受講し、15科目以上の合格をもって修了証明書（日本語・英語）を発行します。合格科目については成績評価書が発行され、国際交流協定校の学生は、協定に基づいて本籍大学で単位認定を受けることができます。

■宿　舎　【国際交流会館、国際学生宿舎】

①　宿舎数

・単身用　国際交流会館36室、国際学生宿舎32室
・夫婦用・世帯用　国際交流会館各1室

②　宿舎費

国際交流会館(単身室)：
保証金10,000円（入居時）、清掃費10,000円（入居時）、家賃5,900円/月
国際学生宿舎：
家賃4,700円/月、共益費1,200円/月
両宿舎とも光熱水費が別途必要

③　宿舎設備・備品

両宿舎ともベッド、机、イス、本棚、クローゼット、トイレ、バス完備。キッチン、洗濯室は共用。

④　宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際学生宿舎・国際交流会館は大学から徒歩５分以内にあり、通学に便利です。
最寄り駅からも徒歩５分程度で、駅周辺には店も多く、生活にも便利なところです。





■修了生へのフォローアップ

・メールによる個別相談
・本学大学院への進学相談

■問合せ先

奈良女子大学国際課留学生係
住所　〒630-8506　奈良市北魚屋東町
TEL：＋81-742-20-3240（直通）
FAX：＋81-742-20-3309
E-mail：　ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp



Nara Women's University (Nara Pref.)

"MAHOROBA" Program –Study Japanese Language and Culture in historic Nara Japan's oldest capital

■ University Overview

① About Nara Women's University

Nara Women's University traces its origins back to the foundation of the Nara Women's Higher Normal School in 1908 and has been providing the highest level of education to women in Japan for over 100 years.

As a close-knit community with approximately 2,600 students and 200 teaching staff spread across the three faculties of Letters, Science, Human Life and Environment, and the Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University is proud to provide an individualized approach to education and research.



② International Exchange

NWU has 39 overseas partner universities (25 universities in Asia and 14 universities in other areas around the globe).

③ Number of International Students and Japanese Studies Students at NWU in the Past 3 Years

※ NWU started to accept Japanese Studies Students in 2014.

2015：International students144, Japanese Studies Students 5
2014：International students 143, Japanese Studies Students 3

④ Nara – Japan's oldest capital "MAHOROBA"

Japan's first true capital, Nara, is one of the most famous sightseeing locations in Japan with several areas designated by UNESCO as World Heritage sites. Nara is easily accessible to Osaka and Kyoto and attractive for its affordable cost of living. It is the ideal place to study the Japanese language and culture. NWU is close to such World Heritage sites and Nara Park which is famous for Japanese deer.



■ Outline of the Program

① Feature

Study and experience the Japanese language and culture in Nara, Japan's historic capital. At NWU, students will be able to witness traditional and modern Japanese culture firsthand while learning Japanese under the direction of a one-to-one tutor.

② Number of Japanese Studies Students to be Admitted

5 students (4 Embassy recommended students and 1 University recommended)

③ Qualification and Conditions

Eligible female students have taken Japanese for more than 2 years and have passed the N2 level in JLPT or its equivalent.

④ Goals

・To learn Japanese language and culture at a deeper level
・To obtain the N1 level in JLPT or its equivalent.

⑤ Term of the Course

October 01, 2016 to August 31, 2017
Closing Ceremony will be held in August.

⑥ Course Descriptions

Students will enroll in 11 compulsory subjects and more than 6 optional subjects. The subjects marked with * are designed for Japanese Studies Students.

1) Compulsory Subject

Subject	Fall	Spring	Hours
Japanese1A (Grammar)		○	30
Japanese1B (Grammar)	○		30
Japanese1C (Reading & Kanji)		○	30
Japanese1D (Reading & Kanji)	○		30
Japanese2A (Listening)		○	30
Japanese2B (Listening)	○		30
Japanese2C (Composition)		○	30
Japanese2D (Composition)	○		30
Introduction to Japanese Linguistics Ⅰ*	○		30
Introduction to Japanese Linguistics Ⅱ*		○	30
Seminar for Completion * (Final report included)		○	30
計			330

2) Participatory Subjects (Optional)

Subject	Fall	Spring	Hours
Practice of Sports Skills (*'Kendo' & 'Naginata'*)		○	30
Introduction to Nara's food		○	30
Study of Nara's food	○		30

3) Lecture subjects (Optional)

Subject	Fall	Spring	Hours
Business Japanese Ⅰ		○	30
Business Japanese Ⅱ	○		30
NARA Studies		○	30
Japanese Presentation *		○	30
Japanese Linguistics Ⅰ **	○		30
History of the Japanese language Ⅰ **		○	30
Cultural Sociology **	○		30
Cultural Anthropology **	○		30
Cultural Anthropology	○		30
Japanese Culture &Theory		○	30
Interaction between Japan and Asia in the Ancient Times **	○		30
NARA Studies B **	○		30
Gender Studies **		○	30
History of Women	○		30
Special Studies in Cultural Anthropology		○	30
Topics on Japan A		○	30
Topics on Japan B	○		30
International Seminar Ⅰ		○	30
International Seminar Ⅱ	○		30

(**=Introductory subject)
Optional subjects except for 'Business Japanese' and 'Japanese Presentation' 'Topics on Japan' are open to both Japanese students and Japanese Studies Students.

4) Other Subjects

Japanese Studies Students may enroll in other courses as optional subjects with supervisor's consent.

⑦ Annual Events

October Ikebana lesson
November Tea ceremony lesson, University festival,
May Ikebana lesson, Tea ceremony lesson
June Bunraku lesson, Speech contest
August Closing Ceremony

※ Students will also be able to participate in exchange events with Japanese students, travel programs, Nara festivals and club activities such as Japanese art of archery, etc.





⑧ Supervision

This program is organized by the International Exchange Center in cooperation with the Japanese and Asian Literature course, Faculty of Letters. Supervising professors will be assigned to each exchange student according to her interests. Supervising professors will supervise each student's Seminar for Completion course.

⑨ Course Requirements

Japanese Studies Students will be required to attend 11 compulsory subjects (a 4000 character final report is included) and 6 or more optional subjects. Upon successful completion of at least 15, students will be issued a certificate of completion in both Japanese and English. Students can acquire academic transcripts of those subjects which they attended and passed , and credits acquired by students of our partner universities are transferable based on Academic Exchange Agreements.

■ Accommodations

International House and International Student House are both available subject to vacancy.

① Number of rooms

- Single room: 36 in International House
  32 in International Student House
- Couple room: 1 in International House
- Family room: 1 in International House

② Monthly rent

International House (for single) : Deposit ¥10,000−, Cleaning fee ¥10,000− (payable when moving−in), Rent ¥5,900/month
International Student House : Rent ¥4,700/month, Communal fee ¥1,200/month
Fees for light, water and gas are not included in the rent.

③ Facilities

Bed, desk, chair, bookshelf, closet, toilet and bath. Kitchen and washing machine room are shared.

④ General Information

Both are located within 5 minutes' walk from the campus. A train station is also within 5 minutes walk. Supermarkets and other shops are also located around the station area.





■ Follow−up for NWU Alumni

- Students will receive emails with updates relevant to alumni
- Students will be informed of opportunities to advance

■ Contact

Kitauoya Higashimachi, Nara 630−8506
International Students Section,
International Division
- Tel: +81−742−20−3240 Fax: +81−742−20−3309
- E−mail: ryugakusei@cc.nara−wu.ac.jp
- HP : http://www.nara−wu.ac.jp



和歌山大学 （和歌山県）

～地域とともに学ぶ～　地域に根ざした和歌山大学で学びませんか?

■大学紹介

①　大学の特色および概要

和歌山大学は，1949年（昭和24年）に新制大学として設置されました。本学は，学芸学部（現・教育学部）・経済学部の2学部をもって発足し，1995年（平成７年）10月にシステム工学部を，2008年（平成20年度）4月に観光学部を開設し，4学部からなる和歌山県下唯一の国立大学法人として順調な発展を遂げています。

本プログラムは全学体制で実施されます。主に教養科目と教育学部開設科目を履修しますが，その他の学部の開設科目を履修することもできます。

和歌山大学では，留学生ひとりひとりに対して，きめ細やかな指導・支援をしています。





上：キャンパスの様子　下：那智の滝と青岸渡寺

②　国際交流の実績

大学間の交流協定数　26校

③　過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績（いずれも10月1日現在）

2015年：留学生数186人，日本語・日本文化研修留学生7人
2014年：留学生数206人，日本語・日本文化研修留学生8人
2013年：留学生数201人，日本語・日本文化研修留学生10人

④　地域の特色

和歌山大学のある和歌山市は大阪市内から約１時間，関西国際空港から約30分のところに位置する人口約37万人の都市です。和歌山県北部に位置するため大阪，京都，奈良にも近く，県南部には世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」もある恵まれた自然・文化的環境にあります。気温差も少なく温暖で暮らしやすい環境であり，勉強するには最適な静かな環境です。

また，万葉集に歌われた和歌の浦や和歌山城などの史跡や名所に恵まれた伝統の町でもあります。

地域の方々による日本語ボランティア，NPO支援団体，学生支援サークル等全面的な留学生支援を活発に行っています。生きた日本語を学ぶ機会に恵まれています。

■コースの概要

①コースの特色

プログラム担当教員のアドバイスに従って日本語・日本文学・日本文化に関する授業に出席し，また研究を行う。

②　受入定員

10名（大使館推薦5名，大学推薦5名）

③　受講希望者の資格，条件等

・専攻が日本語あるいは日本文化等に関する専攻で学習歴2年以上
・「日本語能力試験N1」程度の学力

④　達成目標

日本文化を自国の文化と比較することによって，深く理解できるようになる。アカデミックジャパニーズを習得し，論文を書く力をつける。

研修留学生は、各自1年かけて論文を書き上げます。それを研修成果報告会で発表します。

⑤　研修期間

2016年10月1日～2017年9月30日
修了式は9月を予定(2015年は9月)

⑥　研修科目の概要

1)必須科目

日本語ＩA～ＩD　各60時間，日本語ⅡA～ⅡD　各60時間

外国語としての日本語を学ぶ　30時間

日本文化と入門ビジネスジャパニーズ1･2　各30時間

現代文化論　30時間

2)見学，地域交流等の参加型科目

日本事情　30時間

JAPAN STUDY　30時間

わかやまを学ぶ　30時間

熊野古道と世界遺産　30時間

3)その他の講義・選択科目等

異文化間コミュニケーション　30時間

日本語あるいは日本文化等に関する各科目

その他，留学生の興味・関心に応じて多様な科目の履修ができます。

⑦　年間行事

10月　　第2学期授業開始

10月　　秋季留学生歓迎交流会

11月　　大学祭

11月　　留学生日帰り研修旅行

12月　　日本語スピーチコンテスト

2月　　日本文化体験講座（冬期）

2月　　第2学期定期試験

4月　　第1学期授業開始

5月　　春季留学生歓迎交流会

6月　　作文コンクール

8月　　日本文化体験講座（夏期）

8月　　第1学期定期試験





⑧　指導体制

1)プログラム指導教員

長友文子教授（日本語教育）

留学生の勉学上の関心に応じて適宜副指導教員が指導します。

2)指導体制

日本語・日本文学などに関わる国際教育研究センターおよびその他の学部の教員が指導にあたります。個々の日本語能力に基づいた細やかな指導を行っています。生活面については，国際教育研究センターが指導・助言をします。

⑨　コースの修了要件

取得単位数と修了レポートを総合的に判断して修了を認定します。研修を修了した学生には，修了証書（和文・英文）を交付します。

■宿　舎

和歌山大学では国費外国人留学生の皆さんに2種類の宿舎を用意していますが，日本語・日本文化研修留学生の皆さんには日本語と日本文化により多く触れることができる方法として《宿舎その２》に入居して，日本人学生と1年間ルームシェアすることを是非お勧めします。

《宿舎その1》

名称:**国際交流会館**（大学の施設です）



和歌山市の中心地に留学生用の宿舎である国際交流会館(単身者用）があります。

室数:

・単身者用： 24室

・夫婦・世帯用： なし

宿舎費：月額9,500円

【賃料5,900円+共益費3,600円（水道料含）】

（変更となる場合があります）

宿舎設備・備品：

ベッド，テーブル，机，ロッカー，靴箱，ミニキッチン，ユニットバス・トイレ，空調器，インターネット

各階：洗濯機・乾燥機2台ずつ設置

２階：集会室あり

宿舎周辺の生活情報，通学時間：

所在地：和歌山市西高松

（和歌山市の中心地付近）

大学までバスで約30分～40分

《宿舎その２》

（大学キャンパスのすぐ西側に隣接した民間の会社が経営する寮です）



和歌山大学と隣接しています。大学まで徒歩5分。

部屋のタイプ等：

①日本人学生2人と留学生1人で世帯用1室をルームシェアします。

②他の留学生と2名で世帯用1室をルームシェアします。

①，②のいずれも，ルームシェアは人数の都合により希望に添えないことがあります。

設備：
テレビ，テレビ台，エアコン（上記部屋のタイプ①の場合は共用１台のみ），カーテン，ダイニングセット，ガスコンロ，洗濯機，冷蔵庫など

宿舎費：
家賃22,000円（上記部屋のタイプ①は朝夕食事込、上記部屋のタイプ②は食事なし）
保証金・入居費なし
光熱水費・通信費・電球代等自己負担
（変更となる場合があります）
自転車置き場無料　バイク置き場月額500円
駐車場月額3,000円
退去時の住居のクリーニング費用
17,500円（上記部屋のタイプ①の場合）
35,000円（上記部屋のタイプ②の場合）

《宿舎その２》は留学生住宅総合補償（年額4,000円）に必ず加入しなければなりません。



和歌山城



左：加太海水浴場　右：片男波海水浴場

■修了生へのフォローアップ

留学生のための進路指導，就職支援を行っています。日本語・日本文化研修留学生には，帰国後も修了者同士が連絡を取り合えるように国際教育研究センターがお手伝いします。



留学生日帰り研修旅行

■問合せ先

（担当部署）
和歌山大学国際教育研究センター　国際交流室
住所：〒640-8510　和歌山県和歌山市栄谷930
TEL：+81-73-457-7524（直通）
FAX：+81-73-457-7520
E-mail：kokusai@center.wakayama-u.ac.jp

和歌山大学国際教育研究センターホームページ
http://www.wakayama-u.ac.jp/ier/

和歌山大学ホームページ
http://www.wakayama-u.ac.jp/

日研生ホームページ
http://www.wakayama-u.ac.jp/ier/

担当（指導）教員
長友文子　国際教育研究センター　教授
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：nagatomo@center.wakayama-u.ac.jp





Wakayama University(Wakayama Pref.)

Wakayama University: our community-based institution welcomes all of you to study with us!

■About Wakayama University

① University's Overview

Wakayama University was established in May 1949 as a new style of university. In the beginning, there were two faculties – the Faculty of Liberal Arts (currently the Faculty of Education), and the Faculty of Economics. October 1995 saw the Faculty of Systems Engineering being established, and April 2008 witnessed the foundation of the Faculty of Tourism. The addition of the field of Tourism to our offerings marks an important milestone in the university's healthy development.

This program is carried out by all of the faculties. Students will primarily take special subjects offered by the Faculty of Education and liberal arts courses, however, they can also take special subjects offered by the other faculties.

We take pride in our ability to provide all the necessary support our international students need in order to help them achieve a successful international education experience.



② Current situation of International exchange

Number of partner universities : 26

③ Number of International students and Japanese Studies Students accepted in the past three years

2015:International students 186,
Japanese Studies Students 7
2014:International students 206,
Japanese Studies Students 8
2013:International students 201,
Japanese Studies Students 10

④ Local Environment

The University is located in Wakayama City, which has about 370,000 population. It takes about one hour from Osaka City to Wakayama City and about half an hour from KANSAI International Airport. Wakayama City is a comfortable place to learn and live in, surrounded by beautiful hills and the sea. Moreover, our university is able to count on the support of the entire community residing in Wakayama in order to assist our international students while they study with us. We receive assistance from the local volunteer Japanese instructors, NPOs and students, so that our young foreign scholars may have plenty of different opportunities to learn the most current Japanese language and culture trends.

■Program Outline

① Program description

Students intensively attend the classes related to Japanese language, Japanese literature and Japanese culture and research these subjects recommended by their academic advisor.

② Number of Students to be accepted

Approximately 10(Embassy Recommendation: 5
University Recommendation: 5)

③ Qualifications of Applicants

1) To have studied Japanese for more than 2 years and majoring in fields related to the Japanese language or Japanese culture

2) Applicants are required to have passed Level N1 of "Japanese-Language Proficiency Test" or to have equivalent proficiency in Japanese.

④ Goals and objectives

Japanese studies students gain a deeper understanding of Japanese culture by comparing it to their own culture. Japanese studies students acquire their writing skills by learning academic Japanese.

Each Japanese studies student will write their thesis in Japanese for one year and present those thesis at the presentation meeting.

⑤ Duration of the Program

October 2016 – September 2017

⑥ Contents of subjects

1)Required subject

Japanese ⅠA～ⅠD , Japanese ⅡA～ⅡD 60
Teaching Japanese as a Foreign Language 30
Japanese Culture and Business Japanese 1/2 30
Contemporary Culture 30

2) Participatory subjects such as field trips and regional exchanges

Japanese Culture and Affairs 30
JAPAN STUDY 30
Lectures on Wakayama 30
Kumano Pilgrimage Routes and World Heritage 30

3)Others

Cross-cultural Communication 30

Subject related to the Japanese language or Japanese culture etc.

Students can take other subjects, including humanities, social studies, sports, arts, in accordance with their interest.

⑦ Events

October　First Day of Second Semester

October　Welcome party for new students (from Autumn)

November　University Festival

November　One day study tour

December　Japanese Speech Competition

February　The experienced –based courses of Japanese culture

February　Second Semester Exam Week

April　First Day of First Semester

May　Welcome party for new students (from Spring)

June　Composition contest

August　The experienced –based courses of Japanese culture

August　First Semester Exam Week





⑧ Academic counseling & advice

1)Academic Advisor
Ayako Nagatomo（Japanese Education）
Depending on each student's interests, proper associate academic advisors will teach them.

2)Collaborating Advisor
Instructors in Japanese language and culture at the Center for International Education and Research (IER Center) and the other faculties will teach students.
We teach Japanese on the basis of each student's Japanese ability.
The staff of IER Center will advise students on an ad-hoc basis throughout the year.

⑨ Certificate and Academic Record

A result of a final examination and a report are comprehensively evaluated.
Certificate of Completion of the Program will be issued at the end of the course, if all the requirements are fulfilled. Academic record will be issued for the subjects completed in each semester

■ Accommodations

We prepare two kinds of dormitories for Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship Students. We recommend students on the Japanese Studies program to choose the share house accommodation option so that they may stay longer with Japanese students in order to be more exposed to Japanese people, language & culture.



《Type A》
International House

There is a dormitory "International House" available for foreign students (24 single rooms).

○ Number of rooms
- Single room　24
- Couple・Family room　0

○ Monthly rent
¥9,500/mo.[rent fee¥5,900+common service fee ¥3,600(including water)]
The common service fee is subject to change.

○ Facilities
bed, table, desk, locker, shoe box, mini kitchen, prefabricated bathroom and toilet, air circulation system, the internet
Each floor : laundry facility
There is a meeting room on the second floor

○ Information for Daily Life
Location: Nishitakamatsu, Wakayama-shi
(It is located in the center of Wakayama city. . It takes about 30-40 minutes from International House to the campus by bus.)



《Type B》
the option to share an apartment with Japanese students is available at the dormitory which a private company runs immediately adjacent to the west of our university campus.

Type①: a (3 bedroom) apartment in which the international student shall share his/her accommodations with two Japanese students.
Type②:there is also the option in which two international students may share the accommodation if they wish to do so.
We may not be able to comply with all your requests, since rooms are subject to availability.

Amenities:
TV, TV stand, air-conditioner (only for common use for Type ①), curtain, dining set, gas ring, washing machine, refrigerator

Costs:
Monthly rent: 22,000 yen (Meals in morning and evening are included for Type① / No meals included for Type ②)
No deposit, nor entering fees required
Rent does not include: electricity, gas and water costs, telephone and internet access fees and other personal expenses (Subject to change)
Bicycle parking: free of charge
Motorcycle parking: available for 500 yen a month
Parking lot: available for 3,000 yen a month
Cleaning expense at the time of the withdrawal
17,500 yen (for Type ①)
35,000 yen (for Type ②)

For《Type B》, Comprehensive Renters' Insurance for Foreign Students Studying in Japan (annual sum 4,000 yen) is mandatory.





■Follow-up for graduates

We also assist our graduates with career path-finding and job acquisition upon graduation. The Center for International Education & Research helps the graduates to keep the communication among their international colleagues after returning home.



■Contact

Wakayama University
Center for International Education & Research
International Exchange Office
Address: 930 Sakaedani, Wakayama-shi, Wakayama 640-8510

TEL: 81-73-457-7524 FAX 73-457-7520
E-mail: kokusai@center.wakayama-u.ac.jp

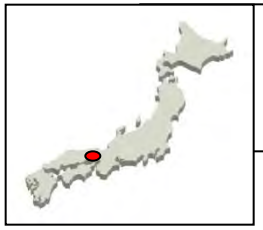
IER Center: http://www.wakayama-u.ac.jp/ier/
http://wakayama-ier-en.wix.com/ier-global

Homepage of University
http://www.wakayama-u.ac.jp/

Japanese Studies Program
http://www.wakayama-u.ac.jp/ier/

Academic Advisor
Ayako Nagatomo
E-mail: nagatomo@center.wakayama-u.ac.jp





兵庫教育大学 (兵庫県)

自然・文化・人が融和する大学で日本の心にふれることができます！

◇大学紹介

(1) 大学の特色および概要

兵庫教育大学は、主として現職教員の学校教育に関する高度の研究、研鑽の機会を確保する大学院修士課程、初等教育教員を養成する学部を有する教員養成大学として1978年10月に設置された大学です。

さらに、1995年4月には、わが国初の教員養成系博士課程として、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科博士課程）が設置されました。

在籍学生は、大学院、学部生あわせて1,600名であり、教員は、あらゆる分野の専門家を擁しています。

学習環境

雄大な播磨平野の一角に位置し、自然豊かな学習環境にあり，40万㎡の広大なキャンパスには，附属図書館、教育研究棟等が機能的に配置され、最新の教育研究設備、機器が整備されています。学生宿舎等も充実し、快適なキャンパスライフが送れるようになっています。

国際的な視野に立つ教員・事務スタッフも充実し、加東市との連携したフレンドシップファミリーのサポート体制も整えています。また、国籍の異なる学生も在籍することから、国際交流の機会も増え、幅広い学習が期待できるようになっています。



(2) 国際交流の実績（H27.10,1現在）

大学間交流協定校：（25大学）

欧米地域：ヴァンダービルト大学ピーボディ教育学部、ウィスコンシン大学オークレア校、ロンドン大学、ハイデルベルク教育大学、ルツェルン教育大学、ヘルシンキ大学，ユバスキュラ大学、リガ教員養成大学

韓国：ソウル教育大学校、大邱教育大学校、京仁教育大学校、全州教育大学校

中国：華南師範大学、海南師範大学、湖南理工学院、浙江師範大学、寧波大学、東北師範大学

（台湾）：屏東大学、台中教育大学、台北教育大学

タイ：チュラロンコン大学、ピブンソンクラム地域総合大学

モンゴル：モンゴル国立教育大学

ベトナム：バリアブンタウ教員養成大学

(3)過去3年間の留学生の受入実績及び日本語・日本文化研修留学生の受入実績

年度	留学生数	日本語・日本文化研修留学生数					
		中国	ポーランド	ウクライナ	ブラジル	イタリア	モンゴル
2013	77	2			1		
2014	83	2	1	1	1		
2015	66	1			1	1	1
計	226	5	1	1	2	1	1

(4) 地域の特色



加東市は豊かな風土に育まれ、時代を越えて受け継がれてきた有形・無形の文化財が数多くあります。朝光寺（国宝）をはじめ、国史ゆかりの神社仏閣が多数あり、歴史探訪を誘ってくれます。また、加古川水系に見られる滝など自然に恵まれ、四季折々の変化が楽しめフィールド散策等の体験学習もできます。

秋祭りなど地域密着型の行事から、地域の方々とふれあうことができ、日本人の心のふるさとを感じさせる伝統文化が学べます。

◇コースの概要

(1)コースの特色

本コースは、半年間で、日本の原風景に出会い、日本人の心に接することができる「日本の心探訪」コースと言えます。日本語をマスターし、日本文化に対する見識を高めるために各科目の講義、演習をはじめ、奈良、京都等の研修旅行などが用意されるほか、国際交流のための講演会、地域の文化財や季節にちなんだ行事（お花見会や夏祭り、秋祭り、お正月行事）にも参加できるプログラムとなっています。

(2)入学定員：　10名（大使館推薦：4名、大学推薦：6名）

(3)受講希望者の資格、条件等

受講希望者は次の条件を満たすものとします。

〇外国（日本国以外）の大学に在籍し、日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学する者で、帰国時点にその大学に在籍している 者(1年生を除く)。

〇日本語能力試験2級の日本語能力を有する者。

(4)達成目標

日本語能力の向上を目指すとともに（日本語能力試験N1合格）,実体験を通して日本文化を学びます。

(5)コース期間：

2016年10月1日～2017年9月30日　修了式は9月を予定

(6)研修科目の概要：

本コースは、日本語、日本文化実習・演習、日本文化講義及び特別研究の4つの授業科目からなります。

① 日本語

日本語会話、日本語読解、日本語学、日本語教育などに関する講義科目

② 日本文化実習・演習

日本の生活と言語、衣食住、生活と自然、生活と美術、生活と音楽に関する実習あるいは演習科目

③ 日本文化講義

日本事情、日本の文学、歴史と社会、自然、生活文化に関する講義科目

④ 特別研究

本プログラムのための特別科目（「日本語・日本文化研究」,「修了論文」）（必修）は1年を通じて課されます。

① 授業科目と単位数(時間数)(必修科目、選択科目等)

授業科目 区分(修了要件単位数)	授業科目名		単位数(時間数) 第1期	単位数(時間数) 第2期	必修	選択
日本語(2単位以上)	上級日本語コミュニケーション(開講期未定)			1(30)	○	
	日本語リーディング			1(30)		○
	国語学Ⅰ		2(30)			○
	国語学Ⅱ(音声言語及び文章表現を含む)			2(30)		○
	国語・国字論		2(30)			○
	日本語教育			2(30)		○
日本文化実習・演習(2単位以上)	(日本の生活と言語)	書写・書道演習		2(30)		○
	(日本の衣食住)	調理学実習		2(60)		○
	(日本の生活と自然)	フィールドワーク技法Ⅰ		2(30)	○	
	(日本の生活と美術)	工芸実技		2(60)		○
		工芸演習	2(30)			○
	(日本の生活と音楽)	器楽演習Ⅰ	2(30)			○
		合奏演習	2(30)			○
日本文化講義(2単位以上)	(日本事情)	日本事情		2(30)	○	
	(日本の文学)	文学と読解		2(30)		○
		児童文学論		2(30)		○
	(日本の歴史と社会)	初等社会Ⅰ		2(30)		○
		暮らしのなかの憲法	2(30)			○
	(日本の自然)	植物学		2(30)		○
		地学	2(30)			○
		地史学		2(30)		○
	(日本の生活文化)	食物学Ⅰ(食品及び栄養学を含む)	2(30)			○
		食物学Ⅱ		2(30)		○
		住居学(製図を含む)	2(30)			○
		初等家庭	2(30)			○
		体育・スポーツ文化論Ⅰ	2(30)			○
特別研究(4単位)	日本語・日本文化研究				○	
	修了論文				○	
修了要件単位数 計			20以上			

注1. 2016年4月1日現在の授業科目であり、変更の可能性があります。
注2. 第1期は、2016年10月～2017年3月、第2期は、2017年4月～2017年9月を示します。
注3. その他の学校教育学部開設授業科目についても、授業担当教員の許可を得て、履修することが可能であり、修了要件の修得単位に含むことができます。
注4. 大学院の日本文化理解教育プログラムの授業科目(講義科目のみ)を、授業担当教員の許可を得て、聴講(単位修得は不可)できます。

②見学、地域交流等の参加型科目

1) 教育現場体験研修

近隣小・中・高学校での授業参観及び授業参加を行い日本の教育現場、教育事情の体験研修を実施しています。

2) 日本文化体験研修

留学生が日本文化に実際に触れ、体験できるよう1泊2日の日本文化体験研修を実施しています。

3) 日本文化実習

地元加東市を中心に、日本の生活習慣を体験するフレンドシップファミリーとの交流行事や、茶道，華道体験を実施しています。



近隣の学校で教育実習体験



華道体験

(7) 主な年間行事

10月 秋学期開始
フレンドシップファミリーとの対面式
11月 加東市秋のフェステバルに参加
日本文化研修旅行(日帰り)
学祭への参加(留学生ブース出店)
12月 日本文化研修旅行(1泊2日),
1月 留学生による国際シンポジウム
2月 近隣学校への国際交流授業に参加
4月 地域住民とのお花見交流会
6月 留学生歓迎パーティー
7月 茶華道体験
8月 学習成果発表会，加東市夏のまつりに参加
9月 日本語・日本文化研修留学生修了式



(8)　指導体制

1）指導教員
　大学教員が指導教員となり、責任を持って留学生の関心に合致した個別指導を行います。

2）学業面の個別指導
　指導教員が一年間を通して履修指導や修了論文（レポート）指導を行います。

3）チューター制度
　チューターは、留学生を一対一で支援する日本人の学生のことで、専門分野の学習や日常生活での助言を行います。また良き相談相手、よき友人として留学生活をサポートします。

4）相談体制
　国際交流会館の外国人留学生相談室で国際交流会館相談主事が留学生からの相談に応じています。

(9) コースの修了要件、修了証書の発行

①コースの修了要件

下記の授業科目区分のとおり、20単位以上の単位　を取得し、特定の課題についての修了論文（レポート）を作成のうえ、研究発表を 行うこと。
また、見学、地域交流型参加科目の参加も行うこと。

日本語	日本文化実習・演習	日本文化講義	特別研究	総修得単位数
2単位以上	2単位以上	2単位以上	4単位	20単位以上

②　修了証書の発行

第1期・第2期を通じて、上記の修了要件を満たした 者に対し、修了証書　（英文・和文）　を発行します。



③　修了時に求められる日本語能力のレベル

日本語により修了論文（レポート）を作成し、日本語での研究発表・質疑応答が出来る日本語能力が求められます。

◇修了生へのフォローアップ

本学を修了後にはメール及びSNS等により連絡を取り、進路の確認などを随時行っています。また、本学の大学院への進学等についての相談等を行っています。

＜2015コース学生の体験談＞

（大使館推薦　ベトナム）



時間が経つのは本当に早いものです。兵庫教育大学で一ヶ月をあっという間に過ごしました。初めのうちはわからない事がたくさんありましたが、学生支援課の方がいつも優しく，丁寧に教えてくれて、温かく、安心を感じました。日本人と一緒に授業を受け、わたしにとっては、まるで夢のようです。日本の友達に誘ってもらって、部活の見学に行って、みんなの熱心に練習に取り組む姿を見たら「さすが日本人ですね」と心の中で感動しました。自分もやる気をもらいました。学生支援課と日本の学生さんたちも留学生のためにパーテイーしたり、交流イベントを行ったり、祭りに連れて行ってもらったり、多くの体験させてくれました。さらにフレンドシップファミリーというプログラムのおかげで、自分の家族みたいに一緒に楽しく遊んで、食事しながらお互いに文化、習慣を話すことができてとてもうれしいです。私は日本で自分の目で見たこと、耳で聞いたこと、すべてをベトナムの学校の後輩たちに伝えたいです。そのため、これからもチャンスを逃さずに、無我夢中で日本のことをもっともっと理解したいと思います。一日一日を大切にすごしていきます。

◇宿　舎

大学キャンパス内の国際交流会館にはバスルーム・バルコニー・家具付の単身室が設けられています。



国際交流会館



単身室

◇問い合わせ先

担当部署　兵庫教育大学　教育研究支援部学生支援課　国際交流チーム
住　　所　〒673-1494　兵庫県加東市下久米942-1
Tel +81-795-44-2043　Fax +81-795-44-2049
E-mail　office-kokusai-t@hyogo-u.ac.jp
大学ホームページ　http://www.hyogo-u.ac.jp/





HYOGO UNIVERSITY OF TEACHER EDUCATION (HYOGO)

Special Features of the Course

Meet the Soul of Japan at our university harmonize nature, culture and people!

◇Introduction to Hyogo University of Teacher Education

(1) Outline and Characteristics of the University

Hyogo University of Teacher Education was founded in October 1978, and mainly in both our graduate School of Education (master's course),which conserves opportunities for advanced research and study in depth of school education by in-service teachers, and the School of Education, which fosters elementary school educators.

Furthermore in April 1995, the Joint Graduate Schools in School Education at Hyogo University of Teacher Education established the first doctoral program in the field of teacher training in Japan.

We, Hyogo University of Teacher Education are the university with approximately 1,600 students study in our undergraduate and graduate programs and with teaching staff experts in a wide range of fields.

Learning Environment

The university located in a part of great Harima plains, with nature-rich environment for study. In our great campus area of 400,000 square meters, the university functionally establishes university library, research and education building with modern research facilities and equipment. The student dormitories are fully equipped in order to provide comfortable campus life.

Many of the teachers and the staff with global and international mind are posted and the connecting Friendship Family System with Kato City is well prepared as our supporting organization.

Since the students who have different nationalities are on the university register, the opportunities of international exchange are on the increase and highly extensive studies are expected.

(2) International ExchangeUniversities with Agreements on Academic Exchange(25 universities):

Western.: Peabody College of Vanderbilt University, University of Wisconsin, Eau Claire, London University, Heidelberg University of Education, University of Teacher Education Lucerne, University of Helsinki, University of Jyuvaskyla , Riga Teacher Training and Education Management Academy

Korea: Seoul National University of Education, Daegu National University of Education, Geongin National University of Education Jengju National University of Education

China: South China Normal University, Hainan Normal University, Hunan Institute of Science and Technology, Zhejiang Normal University, Ningbo University, Northeast Normal University

(Taiwan): National PingTung University , National Taichung University of Education, National Taipei University of Education

Thailand: Chulalongkorn University, Pibulsongkram Rajabhat University

Mongolia: Mongolian State University of Education

Viet Nam: Baria-Vungtau Teacher Training College

(3) Number of International Students(past 3 years) and Students of Japanese Studies Program

Year	Number of Oversea Students	Number of JSP Students					
		China	Poland	Ukraine	Brazil	Italy	Mongolia
2013	77	2			1		
2014	83	2	1	1	1		
2015	66	1				1	1
Total	226	5	1	1	2	1	1

(4) Characteristics of the Area



You are able to learn not only from the practicum of Japanese language and culture course in our campus, but also so many things from the surrounding area.

There are both material and non-material of many cultural assets under the fascinating environment such as the national treasure of Choko Temple.

With the rich nature environment, you are able to enjoy the variety of four seasons and actual studies experiencing with fishing and field trip and so on.

Also you are able to study traditional culture which people of Japan feel it as their home of soul , spending so many times with local people in our local events of Shinjimai, Onioi Dance, Autumn festivals and so on.

◇Course Description

(1)Characteristics of the course

This course is designed to learn genuine Japanese environment and Japanese people exploring the soul of Japan in 6 month. The subject of lectures and exercises for learning the Japanese language to enrich the consideration towards Japanese culture, and the field trip to Kyoto and Nara are arranged. Also this program includes the participation of lecture meeting for international exchange, and the other local cultural events of the season such as flower, summer, autumn, new years festivals.

(2) Students Accepted: 10

(Embassy Recommended 4, University Recommended 6)

(3)Applicant Qualifications and Conditions

Applicants must meet following conditions

○Currently studying at a foreign university (outside of Japan) in department or faculty with education related to Japanese language /culture and will be a student of university when returning from studies in Japan(excluding first year students)

○Students with Japanese language skills approximately equivalent to JLPT 2

(4) Target of Achievement

To improve the Japanese language capability (to pass JLPT 1) and learn Japanese culture through the real experiences.

(5) Period of Course: October 1, 2016-September 30, 2017

Completion ceremony is scheduled on September.

(6) Outline of Subjects Offered:

The program consists of four subject areas: Japanese Language Studies, Japanese Life and Cultural Practices, Japanese Cultural Studies, and Student Research Studies

① Japanese Language Studies: Japanese conversation, reading, linguistics, teaching Japanese as a second/foreign language, etc.

② Japanese Life and Cultural Practices: Practical experience with Japanese daily life and language, clothing, food and housing, life with nature, art, and music.

③ Japanese Cultural Studies: Lectures related to modern Japan, Japanese literature, history and society, nature, and lifestyle.

④ Student Research Studies: Required student research for this program(Japanese language/culture, final thesis) is assigned throughout the year. Students learn basic concepts, techniques, and methodology for teaching and doing research on the Japanese language and culture under guidance from their supervisors. At the completion of the course they create and present a final thesis(report) on the subject of their choice.

① Subjects and Unit-Hours （ hours ）(Compulsory subject, Elective subject , etc.)

	Name of Subject		Credit (hours) 1st Semester	Credit (hours) 2nd Semester	Compulsory	Elective
Japanese Language Studies (more than 2 credit)	Japanese for Communication Ⅱ			1 (30)	○	
	Japanese for Reading			1 (30)		○
	Japanese Linguistics Ⅰ		2 (30)			○
	Japanese Linguistics Ⅱ (Including Spoken and Written Expression)			2 (30)		○
	Japanese Language and its Orthography		2 (30)			○
	Teaching Japanese as a Second or Foreign Language			2 (30)		○
Japanese Life and Culture Practices (more than 2 credit)	(Japanese Lifestyle and Language)	Penmanship and Calligraphy Practicum		2 (30)		○
	(Japanese Food, Clothing and Housing)	Practicum in Cooking		2 (60)		○
	(Japanese Life with Nature)	Practical Methods for Field Work Studies Ⅰ		2 (30)	○	
	(Art in Japanese Life)	Crafts in Practice		2 (60)		○
		Introduction to Crafts	2 (30)			○
	(Music in Japanese Life)	Instrumental Music Ⅰ	2 (30)			○
		Instrumental Ensembles	2 (30)			○
Japanese Culture Studies (more than 2 credit)	(Modern Japan)	Modern Japan		2 (30)	○	
	(Japanese Literature)	Literature Reading and Interpretation		2 (30)		○
		Children's Literature or Seminar on Children's Literature		2 (30)		○
	(Japanese Society and History)	Study of Elementary School Subjects (Social Studies Ⅰ)		2 (30)		○
		The Constitution of Japan	2 (30)			○
	(Nature in Japan)	Plant Biology		2 (30)		○
		Principles of Geology	2 (30)			○
		Geo-history		2 (30)		○
	(Life Science in Japan)	Food Science Ⅰ (including sitology and nutrition)	2 (30)			○
		Food Science Ⅱ		2 (30)		○
		Housing and Interior Design (including drawing)	2 (30)			○
		Elementary domestic science	2 (30)			○
		Cultural Theory of Physical Education and Sport Ⅰ	2 (30)			○
Student Research Studies	Japanese Language and Culture				○	
	Final Thesis				○	
Completion Requirement Units			More than 20 Credit			

Note 1. Subjects listed are correct as on April 1, 2016 and are subject to change.
Note 2. The first semester is from October 2016 to March 2017, and the second semester is from April 2017 to September 2017.
Note 3. Students may enroll in other subjects offered by the Department of School Education with the permission of the professors to gain credits towards the completion requirements.
Note 4 . With the permission of the professors, students may attend to lectures (without gaining credit) for other subjects from the Graduate School Japanese Cultural Studies Program (lectures only) .

②Subject as Visits, Associate with local community, Practicum

1） Practicum on Educational Scene

Participate and observe the school class in our local community, junior high, High school and elementary school, Experience the Japanese Educational Scene

2） Program for Japanese Cultural Experience

Over night practicum program for international student to learn Japanese culture.

3） Practicum on Japanese Culture

Practice Japanese traditional experiences as Japanese custom with local people such as Kato Friendship Families around the Kato city.



Teaching Practicum at Local School



Traditional Flower Arrangement

(7) Annual Events

Oct. 2nd Semester, Meet Friendship families
Nov. Kato city Festival, Cultural Excursion, School Festival
Dec. Japanese Cultural Over night Trip
Jan. International Symposium
Feb. Visit Local schools
Apr. Flower Festival
Jun. Welcome Party, Kato International Salon
Jul. Tea ceremony and Flower arrangement
Aug. Research Presentation, Summer Festival
Sep. Completion Ceremony of JSP



(8) Program Guidance

① Academic Supervisor

A university's teaching staff will serve as an academic supervisor and provide individual guidance in meeting the student's academic interests.

② Academic Guidance

Academic supervisors meet weekly throughout the year with the student to give advice regarding Japanese language and the final thesis.

③ Student Tutor

Each JSP student will have a student tutor, who is a Japanese student and support you in your daily life and academic research. Also, they'll be one of your good friends and adviser during your stay in HUTE.

④ Consultation System

Students can have counseling from the staff at the Student Support Department service counter or by the International House Counselor at the International House Foreign Student Consultation Office.

(9) Course Completion Requirements, Issuance of Completion Certificate

① Course Completion Requirements

Completion of units per subject category as below, and a total of at least 20 units, writing a final thesis (report) on a chosen topic, presentation of research, and performance of the above Japanese Culture Practicum.

Japanese Language	Japanese Life and Cultural Practices	Japanese Cultural Studies	Student Research Studies	Total Completed Units
More than 2	More than 2	More than 2	4	More than 20

②Issuance of Completion Certificate

A student who completes the above completion requirements in the first and second semester will be issued a Completion Certificate (in English and Japanese).



③Japanese Proficiency at Completion

Must have sufficient Japanese ability to create the final thesis (report), present research, and respond to a question and answer session in Japanese.

◇ Follow-up for graduates

After graduation, we keep in touch through Social Network Service and so on, pursuing your careers. Also providing the counseling for father course to take in our graduate school.

＜Comments from predecessor＞



The time passed so fast. Soon one month has passed since the day I arrived at Hyogo university of Teacher Education. In the beginning there was so much surprise, but everyone in the Student Support Division was very hospitable and meticulous towards everything, I felt very safe and warm. To me, study with Japanese is like a dream. And the Japanese invite me to see the club activity. When saw the Japanese students practiced so hard, I sincerely felt that "the Japanese is really great." I also get motivated from their enthusiasm. Some Japanese students and Student Support Division staffs supported us exchange students and organized parties, and other events, leading us to the festival, giving us a lot of chance to gain experience. Moreover thanks to my friendship family, that we may eat together, and talk about culture, about each other's country like the members in my family. I hope that everything I've heard with my ears, have seen with my eyes, if possible I can recount and convey my experience to the students in Vietnam. So I'm not going to miss any opportunities, to learn more passionatly about Japan. I will cherish every day I spend here.

◇ Accommodations

Furnished private rooms are available with bathroom and balcony in the International House on campus.



International House



Private Room

◇Inquiries:

Staff: International Exchange Team of the Student Support Division
Address: 942-1, Shimokume, Kato City, Hyogo 673-1494 JAPAN
Phone: +81-795-44-2043 Fax: +81-795-44-2049
E-mail: office-kokusai-t@hyogo-u.ac.jp
Website: http://www.hyogo-u.ac.jp/





鳥取大学 （鳥取県）

学内外での交流を通して，実践的な日本語力を身につけ，日本文化・地域文化について幅広く学びます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

鳥取大学は「知と実践の融合」を教育理念とし，地域社会との連携を重視する実学に秀でた大学です。構成学部は，地域学部，医学部，工学部，農学部であり，いずれの学部においても知識と共に実践的な能力を養うことに力を注いでいます。研究面でもCOEの採択もあり，その活動は高く評価されています。また，地域学部は，地域学を前面に出した数少ない学部であり，東アジアを中心とする地域研究も進めています。

2012年度から文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に採択され，大学教育のグローバル化及びグローバル人材の育成に力を入れています。

＊学生数・教員数（2015年5月1日現在）
学部学生数：5,287名
大学院生数： 998名
教員数：865名

② 国際交流の実績（2015年7月1日現在）
学術交流協定校・機関数：91（31の国・地域）

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数180人
日本語・日本文化研修留学生５人
2014年：留学生数188人，
日本語・日本文化研修留学生３人
2013年：留学生数151人，
日本語・日本文化研修留学生５人

④ 地域の特色

鳥取は，自然が豊かで静かな所です。地元の人は皆，親切で温かいので，地域での交流にも参加しやすいです。ふだんは静かに勉学に打ち込むのにとてもよい環境ですし，大阪，京都などの有名な大都市には３時間程度で行けます。



鳥取砂丘



■コースの概要

① コースの特色

科目選択の自由度が高く，研修生の希望により，「日本語」に重点を置いて学ぶことも「日本文化」に重点を置いて学ぶこともできます。地域の行事に参加できる機会が多く，地域社会をより深く理解することができます。

② 受入定員
８名（大使館推薦６名，大学推薦２名）

③ 受講希望者の資格，条件等
・本国において，日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学する者
・積極的に日本の文化・社会を理解し，自らの文化を発信しようとする姿勢を持つ者

④ 達成目標
・実践的な日本語力を習得すること
・興味のあるテーマについて，研究計画を進めその成果を発信できるようになること

⑤ 研修期間
2016年10月1日 ～ 2017年9月30日
閉講式は9月下旬を予定

⑥ 研修科目の概要

全学共通科目や学部専門科目，国際交流センターで開設する科目の中から，研修生の興味に合わせて，自由に科目を選択することができます。（国際交流センターの科目については，単位が認定されません。）

1）必須科目
・専門日本語

様々なテーマについて，自分の意見を口頭や文章で発表します。後半は，各自が設定したテーマで研究を進め，修了レポートを作成します。

・日本の地域文化と地域産業

企業や文化施設等の見学をおこない，そこで学んだことを互いにディスカッションします。

＊共に，国際交流センターで実施する，日研生専用の科目です。（単位認定はありません。）

2)　見学，地域交流等の参加型科目
・日本の地域文化と地域産業（上記に同じ）
・日本文化事情（全学共通科目）
・日本社会事情（全学共通科目）
　いずれも，講義・ディスカッションと，見学や交流を，有機的に結びつけて授業をおこないます。

3)　その他の講義、選択科目等
＜全学共通科目＞
・日本語実践
　大学生活で必要となるアカデミックスキルを，実践を通して身につけます。

・日本語の表現技法
　学習者同士で話し合いながら，伝えたいことを口頭や文章でより適切に表現する方法を学びます。

・日本のＩＴ事情
　コンピュータの基本的操作と入力を日本語でおこない，研究活動に役立てられるようにします。

＜総合日本語コース＞
　プレースメントテストによってクラスを判定します。各自のレベルに応じたクラスで，四技能の向上を図ります。

＜その他＞
　その他の全学共通科目や，地域学部の専門科目の中から，指導教員とも相談の上，受講する科目を選択します。

⑦　年間行事（予定）

10月　開講式
　　新規留学生オリエンテーション
11月　留学生を囲む集い（学長主催）
１月　修了課題テーマ決定

２月　大山スキー研修
３月　京都研修旅行




５月　留学生と日本人学生との交流会

７月　留学生のためのゆかた着付け教室



８月　修了発表会
　　鳥取しゃんしゃん祭「一斉傘踊り」参加



９月　閉講式

＊その他
・農作業体験（年に数回）



・小・中・高校での交流会（随時）
・地域の国際交流団体や学内の国際交流サークルのイベント（随時）

⑧　指導体制

　学生の興味のある分野に合わせて，地域学部の教員が指導教員になります。

　また，国際交流センターでも，研修生それぞれに担当教員がつき，必要に応じて生活・教育支援を行います。

⑨　コースの修了要件

　10科目以上を履修し，かつ日本語・日本文化研修留学生修了課題（レポート）を完成した学生に対し，修了証を授与します。

　単位を付与する授業については，成績証明書を発行します。（大学推薦の学生は単位互換が可能です。）





■宿　舎

名　称：　鳥取大学国際交流会館
所在地：　〒680-0947　鳥取市湖山町西4-110
電　話：　0857-28-4808
ホームページ：http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/students-housing-dormitory
構　造：　鉄筋コンクリート５階建て
部屋数：　１人部屋50室，２人部屋６室，３人部屋３室
その他：
　室内には，ベッド，机，椅子，エアコン，書棚，洋服ダンス，シューズボックス，電気スタンド，電気ポットがあります。共同設備として，キッチン，シャワー室，洗濯室，ラウンジ，和室があります。
　コンビニエンスストア，スーパーマーケットまで徒歩15分です。





■修了生へのフォローアップ

　修了後は，メールやSNSなどを活用し，その後のキャリアパス（進学・就職）について等，相談に応じます。

■問合せ先

（担当部署）
鳥取大学　研究・国際協力部国際交流課
　住所：〒680-8550
　　鳥取市湖山町南４丁目101
　TEL：+81-857-31-5056（直通）
　FAX：+81-857-31-6065
　E-mail：kokuko-gaku@adm.tottori-u.ac.jp

鳥取大学　地域学部教務係
　住所：〒680-8551
　　鳥取市湖山町南４丁目101
　TEL：＋81-857-31-5077（直通）
　FAX：＋81-857-31-5076
　E-mail：reg-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

鳥取大学国際交流センターホームページ
http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/ciatu
（留学生向けホームページ）
http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/study-tottori

鳥取大学ホームページ
http://www.tottori-u.ac.jp/





Tottori University

鳥取大学 Tottori University

Students can acquire practical Japanese language skills and learn Japanese culture as well as regional culture through a wide variety of activities done on-campus and off-campus.

■University's overview

① Outline

Tottori University has the idea 'Fusion of Knowledge and Practice,' and makes much of cooperation with regional societies. There are the Faculties of Regional Sciences, Medicine, Engineering, and Agriculture. Several big research programs are adopted, which shows its activities are evaluated highly. The Faculty of Regional Sciences is a unique faculty that promotes researches of Eastern Asia.

Tottori University has chosen for "Global Human Resources Development Project" by MEXT and makes an effort on globalizing of university education and developing global human resources.

***Number of Students and Academic Staff**

Undergraduates : 5, 287
Graduates : 998
Faculty members : 865

② International Exchange

Number of sister schools and organizations: 91 (31 countries and regions)

③ Number of International Students and Japanese Studies Students as of November 1.

2015: 180 International Students
5 Japanese Studies Students
2014: 188 International Students
3 Japanese Studies Students
2013: 151 International Students
5 Japanese Studies Students

④ Features of Tottori

Rich in natural scenery, the population is small and it is quiet. It is easy to participate in local events and interact with local people, kind and warm-hearted. It is a good environment to focus on studying, and convenient to go to big cities like Osaka and Kyoto which are about three hours away using public transportation.



Tottori Sand Dune



■Course Outline

① Course Features

As flexibility of choosing subjects is high, students can study not only "Japanese Language" mainly but also "Japanese Culture" mainly. A lot of opportunities to attend events in a region are provided makes them understand the regional society more deeply.

② Number of Students to be Accepted

8 (Embassy Recommended 6, University Recommended 2)

③ Admission Requirements

・Those who are in major of Japanese language or Japanese culture in home universities.
・Those who would like to understand Japanese culture and society, and promote their cultures in Japan.

④ Goals and Objectives

・Acquire practical Japanese language skill
・Proceed their research plan about their interests and can transmit the results.

⑤ Duration of Course

October 1, 2016 through September 30, 2017
Completion ceremony is scheduled around the end of September.

⑥ Course Descriptions

Take any Common Course Subjects, specialized subjects provided by the Faculty, ones provided by Center for International Affairs suit to the students' interest. (No credits are given by subjects provided by Center for International Affairs)

1) Required Subjects

・Specialist Japanese

Give presentations and write essays in various topics. Proceed own research and make a final report in the second semester.

・Regional Cultures and Industries of Japan

Visit companies, organizations or facilities and have a discussion about what we learn there.

＊The above these subjects are provided especially for Japanese Studies Students by Center for International Affairs. (No credits)

2) Hands-on Learning in the Community
・Regional Cultures and Industries of Japan
(same as the above)
・Japanese Culture (Common Course Subjects)
・Japanese Society (Common Course Subjects)
These courses includes lectures, discussions, and visits to facilities in order to interact with local people.

3) Elective Courses and other Coursework
<Common Course Subjects>
・Japanese in Practice
Learn academic skills for college-life through practice.

・Expressing Technique of Japanese
Learn how to express more properly orally or in writing by discussions among the students.

・Computer Skills in Japanese
Learn how to use PC for research by practicing basic operation and inputting sentences in Japanese.

<General Japanese Language Course>
Judge the level by placement test. Four different level classes are provided. Students can acquire comprehensive language abilities.

<Other Subjects>
Choose other subjects from Common Course Subjects or specialized subjects provided by the Faulty of Regional Sciences, consulting with supervisors.

⑦ Event Calendar (tentative)

October Opening Ceremony
Orientation
November Annual Party for International Students
January Decide the theme for final presentation

February Ski training tour
March Trip to Kyoto





May International Party with Japanese Students

July Dressing of Yukata



August Final Presentation
Tottori "Shan-Shan" Festival



September Completion Ceremony

＊Others
・Farm Work Experience (several times a year)



・International meeting at elementary, junior high , or high schools (occasionally)
・International events given by local institutions or students' club (occasionally)

⑧ Supervisors

Supervised by professors from the Faculty of Regional Sciences related to the field that students are interested in.

In addition, the professors from Center for International Affairs give supports socially and academically when necessary.

⑨ Completion Requirements

Certificate will be given for those who take 10 or more subjects and complete the final report.

Transcript will be given for subjects that the students will obtain credits.(Transferring the academic credits is possible for those students will come to the University under University Recommendation.)





■Accommodations

Name: Tottori University International House (Tottori Daigaku Kokusai Koryuu Kaikan)
Address: 4-110 Koyamacho-Nishi, Tottori-city, 690-0947
Tel: +81-857-28-4808
Web Site:
http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/en/students-housing-dormitory
Type: Reinforced concrete five-story building
50 single rooms, 6 double-occupancy rooms, 3 triple-occupancy rooms are available.
Others:
a bed, a desk, a chair, an air-conditioner, a bookshelf, a locker, a shoes box, a desk lamp, an electric pot in each room.
shower rooms, kitchen, laundry, lounge, a Japanese style room for common use.
Stores or supermarkets are located within 15 minute walk.





■Follow-up to Completion Students

Consulting future carrier path such as further education or job hunting by using e-mail or SNS.

■Contact

(Sections in charge)
International Affairs Division, Research and International Cooperation Department,
Tottori University
Address: 4-101 Koyamacho-Minami, Tottori-city, Tottori, Japan 680-8550
TEL: +81-857-31-5056, FAX: +81-857-31-6065
E-mail: kokuko-gaku@adm.tottori-u.ac.jp

Educational Affairs Section, the Faculty of Regional Sciences, Tottori University
Address: 4-101 Koyamacho-Minami, Tottori-city, Tottori, Japan 680-8551
TEL: +81-857-31-5077, FAX: +81-857-31-5076
E-mail: reg-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

Website of Center for International Affairs, Tottori University
http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/en
(Website for International students)
http://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/en/study-tottori

Website of Tottori University
http://www.tottori-u.ac.jp/





島根大学（島根県）

四季折々の美しい自然。地域に根づいた伝統文化や行事の数々。島根だからこそ学べる日本があります。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

島根大学は法文学部、教育学部、総合理工学部、医学部、生物資源科学部で構成される中規模総合大学です（教員数774名、学生数5999名）。

温かく人情豊かな雰囲気の中で行われる少人数教育が大学の特色の一つで、教員からは授業内外できめ細かい指導を受けることができます。そして、世界各国からの留学生や日本人学生とは、活発な交流が行えます。

② 国際交流の実績（2015年10月1日現在）

21カ国55大学・機関と交流協定を結び、学生交流及び研究者交流を行っています。

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

年	留学生数	日本語・日本文化研修生数
2015年	174人	６人
2014年	148人	５人
2013年	161人	４人

④ 地域の特色

松江市は、宍道湖、日本海、中国山地に囲まれた自然豊かな美しい地方都市であり、国際文化観光都市にも指定されています。城下町として知られ、古くから茶道や和菓子の文化が栄え周辺には神社や仏閣、史跡、温泉が点在しています。

他県と比べ、在住する外国人が少ないことも、留学生が島根で学ぶ利点となるでしょう。そのため、地域の人々との交流の機会も多く、日本語、日本文化を学びたい人にとっては絶好の場所です。治安もよく、冬には時々雪が降りますが、年間を通して気候は穏やかで住みやすいといえます。



【宍道湖の夕日】

■コースの概要

① コースの特色

少人数で行う必須の日本語・日本文化研修生向けの授業により、受講生のレベルやニーズに応じて柔軟に指導内容を検討し、きめ細かい指導を行います。
「日本語」コースを選ぶ人は、⑥2)の日本語科目を中心に、「日本文化」コースを選ぶ人は、⑥2)の日本事情、異文化理解入門、その他専門に応じた科目を中心に履修します。

② 受入定員

９名（大使館推薦５名、大学推薦４名）

③ 受講希望者の資格、条件等

「日本語」コースを選ぶ人は、日本語能力試験Ｎ3レベル以上、「日本文化」コースを選ぶ人は日本語能力試験Ｎ2レベル以上の日本語能力があり、日本語あるいは日本に関係する分野を専攻していることが望ましいです。

④ 達成目標

１）日本語能力試験Ｎ2またはＮ1に合格できるレベルの日本語力を身につけること（来日中の受験を推奨、支援します）。
２）自分自身の研究テーマを設定し、研究内容についてディスカッションでき、最終的に小論文を書き上げること。

⑤ 研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日

修了式は９月を予定（2015年は９月）

⑥ 研修科目の概要

１）必須科目
（※日本語・日本文化研修生用の授業）

日本語総合Ａ

日本文化論、日本人論に関する評論を軸に、関連する多様な文章（エッセー、新聞記事、講演録など）を目的に応じて読む。さらに、読みとったことを表現活動に結びつけ、内容理解を深める。

日本語総合Ｂ

日本の歴史を通史的に学び、各時代の社会的、文化的背景について理解する。合わせて、各時代の主要な文学作品に目を通し、日本語の変遷を知る。

日本語総合Ｃ（特別演習）　★

地域に密着した伝統文化や神話、芸能、祭事、歴史的文化財などに関連する資料を生教材として、日本語および日本文化を学ぶ。

日本語総合Ｄ（特別研究）

各自がテーマを設定して個人研究を行う。ゼミ形式で指導を受け、討論の仕方、図書館の使い方や資料収集の方法、小論文の書き方を学び、成果を発表する。

（★･･･見学を伴う参加型科目）

2）選択科目
（※一般留学生、日本人学生と合同の授業）

日本語ＩＡ
作文クラス。論理的な文章を書くための表現、語彙を増やしながら、文章の構成や展開パターンを学ぶ。

日本語ＩＢ
読解クラス。語彙力、文法力を高めながら、速読や精読を通じて目的に応じた読み方ができるよう訓練を行う。

日本語ⅡＡ
口頭表現クラス。発表のための調査、考察のスキルを養う。生の情報に接し、日本の社会に対する理解や知識も深める。

日本語ⅡＢ
語彙、文法クラス。トピック別の重要語彙やコロケーションを集中的に学ぶ。また、学習者が誤りやすい文法や表現を復習しながら、正確に使えるようになるまで文法力を磨く。

日本事情Ａ　★
日常生活の中に見る日本の文化について知識を深め、その背景にある日本人の考え方、価値観について理解を深める。また、日常的に見る日本文化の中に自分でテーマを見つけ、発表を行ったり、ビデオ制作を行ったりする。

日本事情Ｂ　★
自然科学の視点から日本、島根県に対する理解を深める。テーマによって野外見学も実施する。

異文化理解入門
日本人学生との合同クラス。異文化理解に関する様々なトピックにもとづいて小グループでディスカッションを行ったり、課題制作を行ったりする。

その他、学生の専門に応じた科目
例）日本語のしくみ　日本語学概論　日本文学講義　日本社会のしくみ　日本人の宗教と死生観　　日本人の意識構造　等

授業名		時間数【単位数】		○必須　△選択	
		後期〈10月−3月〉	前期（4月−9月）	日本語コース	日本文化コース
必須※	日本語総合A	30【1】	30【1】	○	○
	日本語総合B	30【1】	30【1】	○	○
	日本語総合C	30【1】	−	○	○
	日本語総合D	−	60【2】	○	○
選択	日本語ＩＡ	30【1】	30【1】	○	△
	日本語ＩＢ	30【1】	30【1】	○	△
	日本語ⅡＡ	30【1】	30【1】	○	△
	日本語ⅡＢ	30【1】	30【1】	○	△
	日本事情A	30【2】	30【2】	△	○
	日本事情B	30【2】	30【2】	△	△
	異文化理解入門	30【2】	−	△	○
	その他専門に応じた科目	各30	各30	△	○
コース修了要件：		必須授業を含む600時間以上の履修			

※日本語・日本文化研修生用の授業にも単位が付与される（2013年より）。

⑦ 年間行事・見学（※年度によって異なります）

10月　松江祭どう行列[A]
　　足立美術館
11月　出雲大社[B]
　　石見神楽
12月　諸手船神事
　　そば打ち
１月　どんど焼き
　　松江歴史館
２月　抹茶工場[C]
３月　醤油蔵
　　和菓子作り[D]
４月　青柴垣神事
　　安来のひな祭り
５月　蛍狩り
　　由志園
　　（日本庭園）
６月　月照寺[E]
９月　留学生見学旅行











⑧ 指導体制

日本語・日本事情担当教員ほか、学生の専門に応じて指導教員が、学業面の指導、生活面の支援を行います。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

必須授業を含む、600時間以上を履修すること。修了者に対し修了証明書を発行します。



【修了証書授与】

■宿　舎

大学から徒歩５分のところに留学生用宿舎「国際交流会館」があります（単身用26室、夫婦用１室／単身用　月額5,900円　夫婦用　月額9,500円）。宿舎には、優しく時に厳しい「お母さん」のような管理人が勤務し、日本人チューターも住んでいます。研修生は、各国からの留学生との１年間の生活を通して、友情を深めると同時に、異文化コミュニケーション能力も身につけることができます。

■修了生のキャリア例

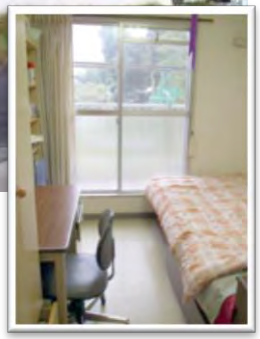
・JETプログラムの国際交流員として県庁に勤務
・修了生母国の日本大使館に勤務

■問い合わせ先

島根大学国際交流課留学生交流担当
〒690-8504　島根県松江市西川津町1060
Tel：+81-(0)852-32-6106
Fax：+81-(0)852-32-6481
E-mail: ied-ryugaku@joffice.shimane-u.ac.jp
大学H.P：http://www.shimane-u.ac.jp/
ブログ「留学日記～神話の国で～」：
http://ryuugakunikki.sblo.jp/
日本語・日本事情担当教員：中園博美
nakasono@soc.shimane-u.ac.jp



【国際交流会館】



【居室】

【留学生見学旅行＆行事】



〈熊野大社〉



〈スキー体験〉



〈田植え体験〉



Shimane University (Shimane Prefecture)

Through wealth of traditional culture that finds roots in beautiful place Shimane, students learn Japan and Japanese language.

■Introduction to Shimane University

① University Overview

Since Shimane University is a mid-sized university with 5999 students and 774 teaching staff, students have the opportunity to learn in a warm and friendly environment more typically associated with smaller colleges. Professors provide kind support and guidance to all students, and are readily available to foster enduring professional relationships through seminars, laboratory work and field work. This is but one of the many positive characteristics of Shimane University.

② International Exchange (As of October 1, 2015)
Universities with exchange agreements:
55 universities in 21 countries

③ The Number of international students and Japanese Studies Program students

Year	International students	Japanese Studies Program students
2015	174	6
2014	148	5
2013	161	4

④ Characteristics of Shimane Prefecture

Since there are not many foreign residents living in Shimane, studying at Shimane University provides an excellent opportunity for applicants to immerse themselves in the Japanese language and culture. Also, students are able to enjoy a wide variety of activities and international events with Japanese students both on and off campus. Matsue is also a very safe city, especially when compared to other major cities. Climate-wise, Matsue is very temperate. While it may snow occasionally during the winter, the weather is quite comfortable throughout the year.



【Sunset over Lake Shinji】

■Outline of the Course

① Characteristics of the Course

Applicants take compulsory subjects designed for only Japanese studies program students (see ⑥1)). The class size is very small and organized flexibly considering the needs of students to develop their ability in Japanese in the best possible way. Also, applicants take other elective subjects depending on their majors and purpose of study in Japan.

"Japanese course" students will take mainly Japanese classes, and "Japanese culture course" students will take mainly Japanese studies classes, intercultural understanding class and other classes related their major. The explanation of the classes are in ⑥2).

② Number of students to be accepted: 9 students
-Nomination by the Japanese Embassy 5
-Nomination by University 4

③ Qualification for the Course

"Japanese course" applicants are required to have Japanese ability equivalent to or above level N3 of Japanese Language Proficiency Test (JLPT), and "Japanese culture course" applicants are required level N2 ability. Applicants majoring in Japanese Linguistics or subjects related to Japan in general are preferred.

④ Aim of the Course
1) To acquire Japanese ability to pass N2 or N1 level of JLPT (We support students to take and pass JLPT) .
2) To acquire research ability in Japanese to discuss on students' own research theme and write short thesis.

⑤ Period of the course:
October 1, 2016 to September 30, 2017
(Completion ceremony will be held on September.)

⑥ Outline of classes

1) Compulsory classes
(※Classes for Japanese Studies Program students)

Integrated Japanese A

Read essays on Japanese culture and people and a variety of texts for example, newspaper articles and lecture texts.

Integrated Japanese B

Learn about general Japanese history and understand social and cultural features of each era.

Integrated Japanese C ★

Using materials concerning traditional arts, cultural and historical property, learn Japanese and about Japanese culture.

Integrated Japanese D

Learn how to find materials, how to use library services, and complete a research paper on a topic of one's choice.
(★・・・A class offered Trips for field studies)

2) Elective classes
（※Classes with other foreign students and Japanese students）

Japanese IA
Writing class. Practice writing logical sentences for a composition. Learn new vocabulary, grammar, sentence structures, and understand composition development.

Japanese IB
Reading comprehension class. Practice reading rapidly and carefully for content.

Japanese IIA
Oral expression class. Practice giving presentations. Deepen understanding of Japanese culture and society through observation.

Japanese IIB
Vocabulary and Grammar class. Acquire important vocabulary and collocation based on various topics. Review grammar and expressions that are easy to mistake, and increase one's own grammar ability.

Japanese Studies A ★
Learn about Japanese culture and society. Get an understanding in Japanese thought and values. Students are required to give a presentation or make a short-video on a subject of their own.

Japanese Studies B ★
Learn about the environment of Japan and Shimane from a natural science viewpoint.

Intercultural understanding class
Learn from other cultures and have an experience of seeing things from a different cultural viewpoint through small group discussion and group activity with Japanese students and other foreign students.

Other Classes
Ex.) System of Japanese Japanese Study Japanese literature
System of Japanese society Japanese Japanese view of life and death
etc.

Name of Class		Number of Hours【Credits】		○Compulsory △Elective	
		1st semester	2nd semester	Japanese Course	Japanese Culture Course
※Compulsory classes	Integrated Japanese A	30【1】	30【1】	○	○
	Integrated Japanese B	30【1】	30【1】	○	○
	Integrated Japanese C	30【1】	—	○	○
	Integrated Japanese D	—	60【2】	○	○
Elective classes	Japanese IA	30【1】	30【1】	○	△
	Japanese IB	30【1】	30【1】	○	△
	Japanese IIA	30【1】	30【1】	○	△
	Japanese IIB	30【1】	30【1】	○	△
	Japanese Studies A	30【2】	30【2】	△	○
	Japanese Studies B	30【2】	30【2】	△	△
	Intercultural understanding	30【2】	—	△	○
	Other classes	30/class	30/class	△	○
Requirements:		completed 600 hours including Compulsory classes			

※ Credits will be given to the classes of Japanese Studies Program as well as general classes since 2013.

⑦ Field Trips / Activities （※varies from year to year)

Oct. Matsue festival Doo Gyooretsu[A]
Adachi Museum (Japanese garden)
Nov. Izumo Shrine[B]
Iwami Kagura
Dec. Morotabune
Shinto ritual
Soba making
Jan. Matsue History Museum
Feb. Green Tea factory [C]
Mar. Soy sauce store-house
Wagashi making [D]
Apr. Aofushigaki Shinto ritual
May Doll Festival in Yasugi
hunting for fireflies
Yuushien (Japanese garden)
Jun. Gessyo temple [E]
(hydrangea temple)
Sep. Field trip for inter-national students











⑧ Guidance System

An instructor for Japanese Studies Course and other advisors will give personal tutorials to the students concerning their research topic and offer support for daily living.

⑨ Requirements for Completion of the Course and Certificate of Completion

Those students who have completed 600 hours including compulsory classes are given certificates of completion for the Course.



【Students with certificate】

■Housing

International House is located 5 minutes on foot from the University campus（Single room: 5,900 yen/month, Double room: 9,500 yen/month）. The resident assistant, who is very kind but sometimes strict like a mother and a friendly Japanese tutor will always help students. Students can cultivate friendship with international students and cross-cultural understanding throughout a year.

■Career Paths for Students

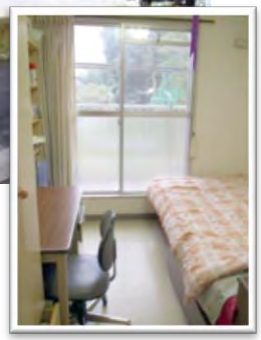
One student who completed our course returned to Japan to work as a coordinator for International Relations of the JET program, and another student is working as a staff member of Japanese Embassy in her country.

■Contact Address

International Student Section
International Exchange Division
1060 Nishikawatsu, Matsue, Shimane 690-8504
Tel：+81-（0）852-32-6106
Fax：+81-（0）852-32-6481
E-mail: ied-ryugaku@office.shimane-u.ac.jp
H.P: http: http://www.shimane-u.ac.jp/
BLOG : http://ryuugakunikki.sblo.jp/
Instructor for Japanese Studies Course: Hiromi Nakasono
E-mail: nakasono@soc.shimane-u.ac.jp



【International House】



【Private room】

【Field trip and events for international students】



〈Kumano Taisha, a shrine with a long history〉



〈Ski experience〉



〈Rice - planting【TAUE】 experience〉



岡山大学 (岡山県)

日本語能力の向上及び日本の文化，社会，経済，法律，教育などに対する理解を深めることを目的とする。本コースは次の３種類の授業からなる。①さまざまなレベルやトピックを扱う日本語クラス，②日本の文化，経済，法律，教育に関する授業，③文学部，法学部，経済学部，教育学部の各学部の日本人学生対象の講義

■大学紹介

①　大学の特色および概要

1）特色と歴史

岡山大学は1949年に設立された国立大学ですが，その前身は1922年設立の岡山医科大学，1900年設立の第六高等学校などで，長い伝統があります。設立後発展を重ね，現在では文学部，教育学部，法学部，経済学部，理学部，医学部，歯学部，薬学部，工学部，環境理工学部，農学部の11学部と，教育学研究科，社会文化科学研究科，保健学研究科，医歯薬学総合研究科，自然科学研究科，環境生命科学研究科，法務研究科の７大学院を擁する全国で有数の総合大学です。

国際交流に力を入れているのが本学の特色のひとつです。本学に在籍している外国人留学生に対しての日本語教育は，言語教育センターが担当し，生活面のサポートはグローバル・パートナーズが行っています。

２）教員・学生数等（2015年5月1日現在）

教員数：1,629名
学部学生：10,240名
大学院生：2,949名

②　国際交流の実績(2015年5月1日現在)

大学間交流協定数　107件
部局間交流協定数　125件

③　過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績　（各年5月1日現在）

2015年:留学生数520名/日研生5名(大使館推薦４/大学推薦１)
2014年:留学生数461名/日研生5名(大使館推薦４/大学推薦１)
2013年:留学生数465名/日研生5名(大使館推薦４/大学推薦１)

④　岡山市の特色

岡山県は日本の西部にある中国地方に位置し，瀬戸内海に面しています。水島工業地帯を抱え工業が盛んであるとともに，農産物や水産物が豊かな県です。岡山大学のある岡山市は岡山県の県庁所在地で，この地方の政治，経済，教育，文化の中心地のひとつです。

岡山市の人口は約70万人で，2009年4月から政令指定都市になりました。岡山市へは交通が大変便利です。新幹線を利用すれば，東京から3時間30分，新大阪から45分で岡山市に着きます。

■コースの概要

①　コースの特色

日研生は，文学部，教育学部，経済学部，法学部のいずれかに所属し，指導教員の指導を受けます。日本語の能力が特に高い学生は，所属学部で開講されている日本人学生対象の講義に出席することができます。また，各自の研究テーマに合った演習にも参加できます。

②　受入定員

5名（大使館推薦4名，大学推薦1名）

③　受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験のN2レベルの日本語（語彙6,000語，基本漢字1,000字程度）を習得している者。

④　達成目標

アカデミックな日本語能力を養い，日本に関する専門的な知識を深めること。

⑤　研修期間

2016年10月1日～2017年9月30日
（自主研修期間を含む）

⑥　研修科目の概要

授業は原則として，第1・第2・第3・第4学期各8週間開講されます。学生は指導教員と相談の上自分のレベルや興味に合った科目を履修できます。必須科目は設けていません。履修可能科目は次頁の通りです。

◆日本語科目

プレースメントテストの結果に基づいて，日本語のクラスを決めます。日本語５は日本語能力試験N2程度，日本語６は日本語能力試験N1程度を目指す学生のためのコースです。日本語７，あるいは文学部で開講されている上級コースは，既に日本語能力試験N1レベルに達している学生を対象としています。



◇中級コース（言語教育センター）

授業科目名	概要	時間
日本語４ （第1-4学期）	中級中期の総合的なクラス	60
日本語５ （第1-4学期）	中級後期の総合的なクラス	60
映像で学ぶ日本語１ （第1-2学期）	ドラマや映画を通して日本語を学ぶクラス	15
新聞で学ぶ日本語 （第3-4学期）	新聞，雑誌を読みながら日本語を学ぶクラス	15
中級文法１ （第1-4学期）	中級の文法を学ぶクラス	15
中級漢字・語彙 （第1-4学期）	中級の漢字・語彙を学ぶクラス	15

◇中／上級コース（言語教育センター）

授業科目名	概要	時間
多読で学ぶ日本語 （第1-4学期）	多量の日本語を読むクラス	15
映像で学ぶ日本語２ （第1-2学期）	ドラマや映画を通して日本語を学ぶクラス	15
中級文法２ （第1-4学期）	中級後半の文法を学ぶクラス	15
日本を知ろう （第1-2学期）	日本の文化や社会について学ぶクラス	15
岡山を知ろう （第3-4学期）	岡山について調べながら日本語を学ぶクラス	15
メディア・リテラシー （第3-4学期）	情報を批判的に読み取るクラス	15

◇上級コース（言語教育センター）

授業科目名	概要	時間
日本語６ （第1-4学期）	上級前期の総合的なクラス	60
日本語７ （書くA/B） （第1-4学期）	上級の書く力を高めるクラス	15
日本語７ （読むA/B） （第1-4学期）	上級の読む力を高めるクラス	15
日本語７ （聞くA/B） （第1-4学期）	上級の聞く力を高めるクラス	15
日本語７ （話すA/B） （第1-4学期）	上級の話す力を高めるクラス	15

◇上級コース（文学部）

授業科目名	概要	時間
日本語1a/b （第1-4学期）	上級の読解クラス	15
日本語2a/b （第1-4学期）	上級の文法を学ぶクラス	15





◆日本語以外の科目

授業科目名	概要	時間
日本事情1/2 （第1-4学期）	茶道，備前焼などの日本文化を体験しながら学ぶクラス	15
ホームスティ （第2-3学期）	ホームスティ体験を通して、日本の家族や習慣について学ぶ	15
日本文化学a/b （第1-4学期）	日本文化に関わるテーマについて討論するクラス	15
日本経済事情IA/IIA （第1-4学期）	日本の戦後経済史を学ぶクラス	15
日本経済事情IB/IIB （第1-4学期）	日本の経済・社会について学ぶクラス	15
日本法政事情 （第3-4学期）	日本の法律や政治について学ぶクラス	15

*時間数は、学期毎の時間数です。
*日本語の能力が特に高い学生は，上記以外に，所属学部で開講されている日本人学生対象の講義の受講が可能です。

⑦　年間行事

<u>第3-4学期（10月ー2月）</u>

10月　新入生オリエンテーション
　　授業開始
　　新入生歓迎パーティー
11月　大学祭
2月　授業終了

<u>第1-2学期（4月ー7月）</u>

4月　授業開始
7月　授業終了
9月　修了レポート提出
　　お別れパーティー



⑧　指導体制

日本語・日本文化研修留学生を受け入れる学部において指導教員を決め，学業面の指導，生活面の支援を行います。

コーディネーター
末繁美和（言語教育センター）
堤　良一（文学部）
平田仁胤（教育学部）
廣田陽子（経済学部）

⑨　コースの修了要件

各学期，週10コマ以上履修し，修了レポートを作成すること。修了時に修了証書を授与します。また，必要がある場合は，成績証明書も発行します。

■宿　舎

下記の岡山大学外国人留学生・研究者宿泊施設のいずれかに入居できます。各宿泊施設は大学の中心キャンパスである津島キャンパスから徒歩5～10分程度のところに位置しており，通学に大変便利です。

日本語・日本文化研修留学生は，研修期間中優先して入居することができます。

寄宿料および光熱水料は次のとおりです。

●桑の木留学生宿舎　寄宿料　北棟月額15,000円
南棟月額12,000円
●福居留学生宿舎　　寄宿料　月額18,000円
●国際交流会館　　寄宿料　月額20,000円

※その他，電気，ガス，水道料金を負担していただきます。

※寄宿料は改定する場合があります。

桑の木留学生宿舎





福居留学生宿舎





国際交流会館





■修了生へのフォローアップ

2014年に岡山大学国際同窓会が設立され、毎年総会が開催されています。今後，更に海外での活動を充実させ，日研生を含め，本学修了生へのフォローアップに務めていく予定です。

また，日研生修了生のうち，より深く専門分野を本学で学びたい学生が本学に戻ってくるケースも増えています。



■問合せ先
（担当部署）
岡山大学グローバル・パートナーズ
住所　　〒７００－８５３０
岡山県岡山市北区津島中２丁目１番１号
TEL ＋８１－（０）８６－２５１－７０５１
（直通）
FAX ＋８１－（０）８６－２５２－５０２２
E-mail　dde7046@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学ホームページ
http://www.okayama-u.ac.jp
岡山大学グローバル・パートナーズ
ホームページ
http://ouic.okayama-u.ac.jp/







Okayama University

(Okayama Prefecture)

OKAYAMA UNIV.

This program aims at deepening your comprehension of Japanese language, culture, economy, law, and education.
The program offers the following classes;
(1) Japanese language classes with various levels and topics, (2) Special courses on Japanese culture, economy, law, and education, (3)Courses at the Faculties of Letters, Law, Economics and Education

① University Overview

・Characteristics and Overview of Okayama University

1) Characteristics and History

Okayama University was founded in 1949 on the basis of its predecessors Okayama Medical College and Sixth High School, which were founded in 1922 and 1900 respectively. Now, it has 11 faculties and 7 graduate schools and is one of the biggest national universities in Japan.

One of its characteristics lies in its emphasis on international exchanges.

The Language Education Center provides Japanese language courses to International Students and the Center for Global Partnerships and Education supports their living in Japan.



2) Number of Students (as of May1, 2015)

Academic Staff 1,629
Undergraduate Students 10,240
Graduate Students 2,949

・International Exchanges (as of May1, 2015)

International Exchange Agreement (University Level) 107
International Exchange Agreement (Faculty Level) 125

・International Students & Japanese Studies Students

2015:International Students 520, Japanese Studies Students 5
2014:International Students 461, Japanese Studies Students 5
2013:International Students 465, Japanese Studies Students 5

・Characteristics of Okayama Prefecture

Okayama Prefecture is in the Chugoku region, which is located at the western part of the Japanese Islands, and faces the Seto Inland Sea. The Mizushima Industrial District and manufacturing industry are prosperous. It is also famous for farm products and marine products. Okayama city, where Okayama University is located, is the capital of Okayama Prefecture and one of major political, economic, commercial, educational and cultural centers of the Chugoku region. Okayama city's population is approximately 700,000.

It is a convenient key city in the transportation network. By using Super Express (Shinkansen), it is about 3.5 hours from Tokyo and 45 minutes from Shin-Osaka.

②Overview of the Courses

・Characteristics

Students will belong to the Faculty of Letters, Education, Economics, or Law, and will be supervised by academic advisors. They can attend classes offered for Japanese students in their faculty if their language proficiency is sufficient. They also can attend the seminars related to their research interest.

・ Number of Students to be Accepted: 5

(4 recommended by Embassy and 1 recommended by University)

・Qualifications and Requirements:

Candidates are expected to have Japanese language ability equivalent to the N2 Level or above of the Japanese Proficiency Test (6,000 words, 1,000 kanji) .

・Course Objectives

The aims of the courses are to aid students in improving their academic Japanese language skills as well as to deepen their specialized knowledge of Japan.

・Period of the Course:

From October 2016 to September 2017 (including self-study period)

・ Course Outlines:

There are four terms in a year: The 1st term (April 1 to June 2), the 2nd term (June 3 to July 31), the 3rd term (October 1 to December 1) and the 4th term (December 2 to February 10) . Each Term consists of 8 weeks.

Students can take classes that suit their interests and Japanese language levels upon the consultation with their academic advisors. There are no required classes. The classes offered are as follows;

◆Japanese Language Classes

Students will be assigned to Japanese language classes based on the result of the placement test. Japanese 5 is designed for students aiming for level N2 of the Japanese Language Proficiency Test (JLPT), and Japanese 6 is for those aiming for level N1. Japanese 7 and Advanced Japanese Courses offered in the Faculty of Letters are for those who have reached the level of JLPT N1.

◇ Intermediate Course (in the Language Education Center)

Title	Contents	Credit Hours
Japanese 4 (The 1st – 4th Term)	Integrated class for intermediate students	60 hrs
Japanese 5 (The 1st – 4th Term)	Integrated class for upper-intermediate students	60 hrs
Japanese through Films 1 (The 1st – 2nd Term)	Learn Japanese through dramas and movies	15 hrs
Japanese through News and Magazine Articles (The 3rd – 4th Term)	Learn Japanese through newspaper and magazine articles	15 hrs
Intermediate Grammar 1 (The 1st – 4th Term)	Reinforce grammar	15 hrs
Intermediate Kanji and Vocabulary (The 1st – 4th Term)	Reinforce Kanji and Vocabulary	15 hrs

◇ Intermediate / Advanced Course (in the Language Education Center)

Extensive Reading (The 1st – 4th Term)	Training for extensive reading	15 hrs
Japanese through Films 2 (The 1st – 2nd Term)	Learn Japanese through dramas and movies	15 hrs
Intermediate Grammar 2 (The 1st – 4th Term)	Reinforce grammar	15 hrs
Japanese Culture and Society (The 1st – 2nd Term)	Learn about Japanese culture and society	15 hrs
Study of Okayama (The 3rd – 4th Term)	Learn about Okayama through project works	15 hrs
Media Literacy (The 3rd – 4th Term)	Learn media literacy in Japanese	15 hrs

◇ Advanced Course (in the Language Education Center)

Japanese 6 (The 1st – 4th Term)	Integrated class for advanced Japanese students	60 hrs
Japanese 7 (Writing A/B (The 1st – 4th Term)	Reinforce language skills in writing	15 hrs
Japanese 7 (Reading A/B(The 1st – 4th Term)	Reinforce language skills in reading	15 hrs
Japanese 7 (Listening A/B) (The 1st – 4th Term)	Reinforce language skills in listening	15 hrs
Japanese 7 (Speaking A/B)(The 1st – 4th Term)	Reinforce language skills in speaking	15 hrs

◇ Advanced Course (in the Faculty of Letters)

Japanese 1a/b (The 1st – 4th Term)	Advanced reading	15 hrs
Japanese 2a/b (The 1st – 4th Term)	Advanced grammar	15 hrs

◆ Classes Other than the Japanese Language Classes

Study of Japan 1/2 (The 1st – 4th Term)	Learn Japanese culture through hands on experience such as the tea ceremony and Bizen pottery.	15 hrs
Homestay (The 2nd – 3rd Term)	Learn Japanese customs and values though a homestay or home-visit.	15 hrs
Japanese Studies a/b (The 1st – 4th Term)	Discuss topics concerning the Japanese culture	15 hrs
Japanese Economic Affairs IA/IIA (The 1st – 4th Term)	Study Japanese economic history after World War II	15 hrs
Japanese Economic Affairs IB/IIB (The 1st – 4th Term)	Study Japanese economic affairs	15 hrs
General Guidance on Japanese Law and Politics (The 3rd – 4th Term)	Introductory class on Japanese law and politics	15 hrs

＊Others
Hours listed above represent the total hours one would receive upon completion of each course.
Students can attend classes offered for Japanese students in their faculty if their language proficiency is sufficient.

・Academic Calendar and Events:

The 3rd – 4th Term (October 1 – February 10)
October: Orientation for New Students, Welcome Party, Classes begin
November: University Festival
February: Classes end

The 1st – 2nd Term (April 1 – July 31)
April: Classes begin
July: Classes end
September: Submission of Research Paper, Farewell Party

・Academic Guidance:

Academic advisors will be assigned to each student. They will provide an academic guidance and an everyday life support.
Coordinators:
Miwa SUESHIGE (Language Education Center), Ryoichi TSUTSUMI (Faculty of Letters), Yoshitsugu HIRATA(Faculty of Education), Yoko HIROTA (Faculty of Economics)

・Requirements for Completion of the Course and Certificate:

Students must take 10 classes or more per week each term and submit a final research paper.
A certificate of completion will be given upon the completion of the course.
An academic transcript will be also issued.

③ Accommodations

Okayama University has three dormitories for International students (Kuwanoki Dormitory, Fukui Dormitory and International House). They are conveniently located within a five or ten minute walk from Tsushima Campus, the main campus of the University.

Students enrolled in the Japanese studies course have priority in residing in one of these dormitories during their studies.

＜Rent and Utility Bills＞

●Kuwanoki Dormitory :Rent North Wing 15,000 yen per month
South Wing 12,000yen per month
●Fukui Dormitory :Rent 18,000 yen per month
●International House :Rent 20,000 yen per month
＊Electricity, water and gas will be charged.
＊Rent is subject to change.

Kuwanoki Dormitory





Fukui Dormitory





International House





④Follow-up

Okayama University organized the Okayama University International Alumni Association in 2011 and the general meeting is held once a year. The Okayama University International Alumni Association will serve as a way to disseminate information between alumni association members and students of Japanese Studies at Okayama University in addition to providing alumni who do not belong to the association a way to stay connected with Okayama University.

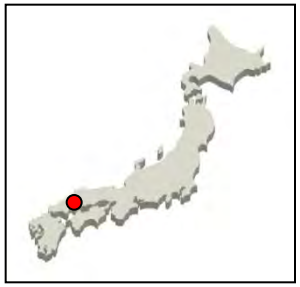
After studying Japanese Studies at Okayama University, some students have returned to continue their research.



⑤ Contact

Center for Global Partnerships and Education, Okayama University
Address: 2-1-1 Tsushima-Naka, Kita-ku, Okayama, 700-8530
Phone: +81－(0)86－251 －7051 Fax: +81－(0)86 －252 －5022
E-mail: dde7046@adm.okayama-u.ac.jp
URL:Okayama University:
http://www.okayama-u.ac.jp/index_e.html
Center for Global Partnerships and Education:
http://ouic.okayama-u.ac.jp/english/index.html





広島大学（広島県）

・充実した日本語日本事情教育　　・豊富な実地見学

■大学紹介

①大学の特色および概要

1）特色と歴史

1949年広島文理科大学、広島高等師範学校などを包括して設置された。西日本の教育系大学の代表格としての伝統を持ち、国立大学としては、全国有数の規模と学生数を誇る。11の学部と11の大学院があり、情報化、国際化、生涯学習及び国際協力へのニーズに対応した教育・研究が行われている。学部・研究科（大学院）以外にも、高等教育研究開発センター、平和科学研究センター、国際センター、原爆放射線医科学研究所などのユニークなセンター・研究所群を持つ。

さらに、教育学部は日本語教育系コースを持ち、日本語教師や日本語教育学の専門家を目指す日本人学生、留学生が勉学に励んでいる。

医学部、歯学部等を除く東広島市への統合移転が1995年度に完了し、市街地を離れた広大な東広島キャンパスは、自然に恵まれ、静かに落ち着いて勉学に打ち込める環境にある。

2）教員・学生数等　［2015.11.1 現在］

教員	1,719名
学生数	学部学生・研究生等　11,406名 大学院学生・研究生等　4,333名

②国際交流の実績

大学間交流協定数：　158協定

（ 38ヵ国・地域　148機関）

留学生在籍数	1,284名（70カ国）　［2015.11.1 現在］	
うち，日本語・日本文化研修プログラム	国際センター	8名
	文学部	1名
	教育学部	1名

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修学生の受入実績

	留学生数	日本語・日本文化研修留学生
2015年	1,284人	10人
2014年	1,158人	13人
2013年	1,110人	15人

④広島県、広島市、東広島市の特色

広島市、東広島市が位置する県南部は、瀬戸内海に面し、気候は温暖で、四季に恵まれ、海苔やカキの養殖が盛んである。また、北部の中国山地は、神楽などの伝統芸能が盛んで、「たたら（現在の製鉄所）」の遺跡も多い。

広島市は世界最初の被爆都市であるが、政令指定都市となった現在は、国際平和都市として市民グループの活動も活発で、平和や国際協力に関する留学生との国際交流活動に参加できる機会にも恵まれている。

東広島市は、広島市の東約３０キロの盆地の中にあり、古くから、酒都として有名であるが、現在は、広島大学、他の私立大学、また国や多くの企業の研究施設も移転してきており、研究学園都市として急速に発展している。また、半導体、電気・電子機器等製造業の進出が近年盛んで、人口も急速に増えている。

■コースの概要

①コースの特色

本プログラムは、本プログラムの研修生のみを対象として開講する必修の「日本語・日本文化特別研究」、指導教員のもとで行われる「課題研究」、およびそのレポートの作成、そして全学向けの「日本語・日本事情科目」から選択して履修する授業を３つの柱としている。

必修科目である「日本語・日本文化特別研究」では、国際センター、また学内の教員の協力を得て１回完結の講義の中で日本語と日本文化、日本社会、広島から考える平和について学ぶとともに、広島市を始め、広島県内および中国地方、瀬戸内海周辺で実施する多くの見学を通じて、直接日本文化に接しながら日本の歴史、文化、風俗および平和の尊さについて学ぶ。

「日本語・日本事情科目」は、全学の留学生に開講されているものだが、そのうち、中上級レベルであるレベル４、上級レベルであるレベル５のクラスから、自身の日本語能力と興味・関心に応じて授業を選択する。

「課題研究」では、日本語学、日本語教育学、日本文化学などの専門家である指導教員の個別指導のもと、日本語･日本文化の分野で専門水準の研究を行う。また、自身の興味、専門に応じ、指導教員と相談したうえで、総合科学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部等で開講されている日本人学生向けの授業を聴講することも可能である。

研修生には日本人学生のボランティアチューターを１人つけ、生活面、勉学面でサポートしている。さらに、要望に応じて日本語会話パートナーと会話練習をしたり、多様な国際交流活動に参加できる。

また、国際センターでは、コンピューター室の開放、研修生全員に専用の研修ツールとして

ノートブック型コンピューターの貸出などを行っている。
　さらに、国際センターには数多くの日本映画とアニメのDVDソフトが用意されており、これらを活用した授業が行われているだけでなく、授業の一環として視聴を奨励している。
　また、国際センターでは、各留学生が指導教員の個別指導のもとに行った「課題研究」をまとめ毎年、研修レポート集として発行している。

②受入定員

20名（大使館推薦 16名、大学推薦　4名）

③受講希望者の資格、条件等

　このコースを受講できる者は、文部科学省の規定に基づく大使館推薦による者の他、大学間協定、ないし部局間協定に基づく大学推薦の学生とし、以下の要件を満たす者とする。

1）日本語能力：日本語能力検定試験2級以上の高い日本語能力を有する者、あるいは有すると見なせる者。

2）日本研究学習歴／専攻：日本語を2年以上学び、日本語・日本文化を主専攻とする者。大学１年生は対象としない。

④達成目標

　日本語・日本文化の分野で1年間、指導教員の個別指導のもと、卒業論文の水準の「課題研究」を行い、研修修了時に日本語レポートとしてまとめる。これにより、テーマの設定、研究構想、原稿作成、口頭発表に必要な日本語能力を獲得する。

⑤研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は9月初旬を予定（2015年は9月7日）

⑥研修科目の概要

授業は原則として前期・後期各15週開講される。

1)　必須科目

「日本語・日本文化特別研究I・II」：前後期週2コマ（4時間）

国際センター、また学内の教員による日本語・日本文化・日本事情に関する講義、および文化施設・文化財・建築等の見学。また、「課題研究」の構想発表・中間発表もこの時間に行われる。以下の講義・見学は2015年度のものので、2016年度は多少変更の可能性がある。

2)　見学、地域交流等の参加型科目

広島見学１（広島城・平和公園）
広島見学２（ひろしま美術館・広島市現代美術館）
サタケ（精米器メーカー）見学
宮島見学
亀齢酒造見学
マツダ見学
福山見学
瀬戸内海しまなみ研修旅行（愛媛県松山市１泊２日）
尾道見学
下蒲刈島・呉市見学
古事記・風土記の旅（島根県松江市１泊２日）

3)　その他の講義、選択科目等

･講義

日本語音声学・音韻論
日本語と文体１
俳句入門
比較言語文化論の視点
古事記と日本神話
日本社会とジェンダー
現代日本語の語彙
世界の平和教育
日本語と文体２
沖縄のことば
日本の高等教育の国際化と市場化

･選択科目

レベルIV：
（前期）総合日本語中級IIA(長文読解)、B(日本語作文)、C(聴解)、日本の教育と文化A ：各１コマ（90分）／週
（後期）総合日本語中級IID(長文読解)、E(日本語作文)、F(聴解)、日本の教育と文化B ：各１コマ（90分）／週
レベルV：
・日本語聴解特別演習A・B　・日本語語彙特別演習A・B
・日本語分析特別演習A・B　・日本語表現特別演習A・B
・映像日本語特別演習A・B　・論文作成法A・B
・日本の社会・文化A・B　：各１コマ（90分）／週

日本語【授業科目及び授業時間数】

授業科目		前期	後期
必須科目	日本語・日本文化特別演習	60	60
選択科目：日本語・日本事情科目	総合日本語中級II A・D	30	30
	総合日本語中級II B・E	30	30
	総合日本語中級II C・F	30	30
	日本の教育と文化 A・B	30	30
	日本語聴解特別演習 A・B	30	30
	日本語語彙特別演習 A・B	30	30
	日本語表現特別演習 A・B	30	30
	日本語分析特別演習 A・B	30	30
	日本の社会・文化 A・B	30	30
	論文作成法 A・B	30	30

⑦年間行事

・日帰り見学
　１年間に５～６回
・研修旅行（１泊２日）
　前期、後期それぞれ１回
・研修成果発表会
　修了式当日





⑧指導体制

1）プログラム実施委員

氏名	所属･職名	専攻
中川正弘（委員長）	国際センター教授	文体論、日本語教育
田村泰男	国際センター准教授	言語学、日本語教育
石原淳也	国際センター准教授	日本語音声学･音韻論、言語学
中矢礼美	国際センター准教授	比較教育学

2）指導体制

センターに所属する全ての教員および一部の教育学部教員が指導教員として本プログラムに参加し、学生の学業、生活両面にわたり指導･助言を行っている。

3）助言･カウンセリング

留学生に対する助言・カウンセリング等は、以下の場所で協力して行われている。

・保健管理センター
・所属学部の留学生専門教育教員（教育学部配置学生のみ）

⑨コースの修了要件

修了時に各指導教員の下で行った「課題研究の成果をまとめたレポートの提出も求められる。修了式において学長の署名が入った「修了証書」が授与される。

■宿　舎

広島大学の留学生数の増加にともない、全ての者が広島大学内の留学生用宿舎、東広島市内の公的宿舎へ入居できるとは限らない。やむを得ず民間アパートに入居しなければならない場合もある。

・過去３年間の日研生の宿舎入居状況（各年度１０月現在）

	国際交流会館	サンスクエア東広島	民間アパート	計
2015年度	10	0	0	10
2014年度	13	0	0	13
2013年度	14	0	1	15

･広島大学の留学生用宿舎
「国際交流会館」：広さ　13.3㎡、家賃　5,900円／月、共通経費　2,500円／月、国際センターまで徒歩20分･自転車7分
「広島大学留学生用借上宿舎」：広さ　15㎡～17㎡
家賃　8,000～18,000円／月、敷金　20,000円
･その他
「サンスクエア東広島」：広さ　17.46㎡、家賃　20,000円／月、共益費　3,500円／月、シーツ代　6,000円、敷金40,000円、国際センターまでバス15分･自転車25分、留学生用の公的宿舎
「民間アパート」（平均的相場）：広さ　15㎡～17㎡、家賃25,000円～45,000円／月、共益費　1,000円～3,000円、敷金　家賃の1～3ヶ月分、礼金　家賃の約１ヶ月分、斡旋料　家賃の約１ヶ月分

奨学金支給までの生活費、宿舎入居のための資金として、少なくとも10万円程度を用意しておくことが望ましい。



■修了生へのフォローアップ

・日本語･日本文化研修プログラム研修レポート集を修了生本人と所属（出身）大学へ送付
・修了生のレポートPDFを国際センターホームページにリポジトリ登録し、閲覧可能
・修了した研修プログラムの記録を国際センターホームページに保存し、閲覧可能
・研修プログラムの最新の動向を知らせるため修了生をメーリングリストに登録

■問い合わせ先

（担当部署）
広島大学国際センター国際交流グループ
住所：〒７３９－８５１４　広島県東広島市鏡山１丁目７番１号　広島大学学生プラザ
TEL：＋８１－８２－４２４－６１８２（直通）
FAX：＋８１－８２－４２４－４５４５
E-mail：kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

○ 広島大学国際センターホームページ（日本語日本文化研修コースガイド）
http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/kokusai/mext/p_y5g3z1.html
○ 広島大学での生活
http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/kokusai/nyugakuannai/hirodailife/





Hiroshima University (Hiroshima)

HIROSHIMA UNIVERSITY

***Quality Japanese Language and Culture Education *Lectures Held by Specialists *Engaging Study Tours**

■About Hiroshima University

①Features of the University

1) Characteristics and History

In 1949, the Hiroshima College of Literature and Science and the Hiroshima Higher Education Teaching College were merged, and Hiroshima University was born. Hiroshima University has a reputation as a leading university among education universities in Western Japan, as well as being prominent among Japanese universities for its high number of students. With 11 undergraduate faculties and 11 graduate departments, Hiroshima University is the home to education and research which meet the needs of today's world, including those of the Information Age, internationalization, and lifetime learning. Aside from the undergraduate and graduate faculties, Hiroshima University holds a variety of unique research centers including the Research Institute for Higher Education, Institute for Peace Science, International Center, and the Research Institute for Radiation Biology and Medicine. Furthermore, the education department offers a special Japanese Language education course for students studying to become Japanese Language teachers or Japanese Language specialists. In 1995, Hiroshima University was moved from Hiroshima City to Higashi-Hiroshima (apart from the Medicine and Dentistry Departments, which remain in Hiroshima City). Separated from the bustling city and surrounded by an abundance of nature, the vast Higashi-Hiroshima Campus provides the perfect study environment.

2) Staff/Student Numbers *as of 1 November, 2015

Teaching Staff	1,719	
Students	Undergraduate students	11,406
	Graduate and research students	4,333

The number of University Level Bilateral Agreements: 158
(148 institutes , 38 countries/areas)

②International Exchange Numbers *as of 1 November, 2015

Total Number of Int'l Students	1, 284 (70 countries)	
Japanese Language and Culture Study Program	International Center	8
	Faculty of Letters	1
	Faculty of Education	1

③Total Numbers of Accepted International Students and numbers of Students for Japanese Language and Culture Study Program for the past 3 years *as of 1 November, 2015

	Total Number of Int'l Students	Total Numbers of Students for Japanese Language and Culture Study Program
2015	1,284	10
2014	1,158	13
2013	1,110	15

④Features of Hiroshima Prefecture, Hiroshima City, and Higashi-Hiroshima City

Hiroshima City and Higashi-Hiroshima City are located in the Southern region of Hiroshima Prefecture. Both have direct access to the Seto Inland Sea, a mild climate, and are famous for their seaweed and oysters. The mountain area of northern Hiroshima Prefecture is famous for the traditional entertainment known as Kagura. One can also find many ruins of 'Tatara (ironworks)' in this area.

Hiroshima City was the first city to fall victim to the atomic bomb, but now, as an official designated city dedicated to the quest for international peace, it is the home of many groups involved in peace-promoting activities, in which our program's students have opportunities for participating. Higashi-Hiroshima City is located in a basin approximately 30 kilometers east of Hiroshima City. It has a long history as a town famous for its sake (Japanese rice wine). Recently, with the move of Hiroshima University and the establishment of several other private universities, as well as a great number of enterprise research centers, the city is rapidly developing into a center for academics and research. Furthermore, the recent prosperity of semiconductor, electricity and electronics production has led to a rapid increase in the population of Higashi-Hiroshima.

■Course Contents

①Features of Course

This course is comprised of three major components: a compulsory Special Japanese Language and Culture Study Program conducted solely for the students of this program; a research component consisting of topical research conducted under the guidance of a personal supervisor and the presentation of a research report; and participation in general Japanese and Japanese Affairs classes of the student's choice.

The Specialized Japanese Language and Culture Study Program involves the cooperation of professors both in and out of the International Center, and offers students the chance to not only deepen their knowledge of Japanese language, culture, society, and the peace contemplated from Hiroshima through special lectures, but also allows them to experience Japanese history, culture and customs first-hand, and the preciousness of peace through several study tours within Hiroshima Prefecture, the Chugoku region, and in the Seto Inland Sea and surrounding areas. The general Japanese Language and Culture classes are conducted for all foreign students of Hiroshima University, and students of this course may take any of the upper intermediate Level 4 and the advanced Level 5 classes, according to their personal ability and interests. For topical research, each of the students undertakes specialized research in a topic of their choice relating to Japanese language or culture. The students' personal supervisors, including specialists in the study of the Japanese language, Japanese language education, and Japanese culture, oversee the research. If desired, students are also able to audit regular classes from other faculties along with other Japanese students.

Every student is assigned a personal tutor, a Japanese student who can offer advice or assistance with study or everyday matters, and conditioned to have Japanese conversation practice with Japanese students and join in different international activities on demand.

The International Center offers access to a computer room in the department, as well as the loan of a personal laptop computer. Wireless internet access is available in the International Center, the International House and certain other areas of the university.

The International Center also holds a large collection of Japanese movies and animation DVDs available for loan, along with portable DVD players. It is hoped that students will make use of these to further their study by watching them in their free time.

Every year, the International Center publishes the collection of the research reports written by the students.

②Maximum Capacity: 20 students

Embassy recommendation: 16, University recommendation : 4

③Requirements for Acceptance

Those eligible to enter this course include those recommended by their embassies based on the regulations set by the Ministry of Education, or those recommended by universities or departments that have an agreement with Hiroshima University (Oxford University, Beijing Teachers' College, etc). In addition, the following requirements must be met:

1) Japanese Language Proficiency: Applicants must have a high level of Japanese ability. At the minimum, they must either hold or be able to pass Level 2 of the Japanese Language Proficiency Test.

2) Educational Background/ Field of Study: Applicants must have studied Japanese for a minimum of two years and be majoring in Japanese Language and/or culture. First year students are ineligible for this program.

④Goal of Achievement

Every program student completes specialized personal research and writes a research paper under the direction of his or her individual advising professor. This research process grows ability in focusing on subject, planning study, word processing in Japanese and public presentation.

⑤Course Length:

October 01, 2016 – September 30, 2017

Course Completion Ceremony is held in early September.

⑥Course Outline

In principle, classes usually run for 15 weeks during both semesters.

1) Compulsory Subjects

Special Japanese Language and Culture Study program I & II: Two periods (4 hours) per week during both semesters. It consists of special lectures on the Japanese language, culture and affairs, given by lecturers from the International Center and other Faculties, and study visits to cultural institutions and treasures. The research proposal presentation and mid-term presentation of each student's personal research also takes place during this time. The following is the description of the contents of this course for 2015. The 2016 program may be subject to change.

2) Study Tours and Involvements in the local community

・Hiroshima City Tour 1 , 2
・Miyajima Study Tour
・Shimanami Study Trip (Seto Inland Sea)

3) Other Lectures and Elective Courses

☆Lectures

・Japanese Phonetics and Phonology
・Modern Japanese Lexicology
・Japanese Stylistics 1
・Let's enjoy HAIKU
・Peace Education in the world
・A view point of contrastive analysis on languages and cultures
・Japanese Stylistics 2
・KOJIKI and Japanese Mythology
・Language of Okinawa
・Japanese Society and Gender
・Internationalization and marketization of Higher Education in Japan

☆Elective Courses

Japanese Language【Subjects and hours】

Subject		Spring	Fall
Compulsory		60	60
Elective Courses: Japanese Language and Japanese Affairs	Integrated Intermediate J.IIA	30	30
	Integrated Intermediate J.IIB	30	30
	Integrated Intermediate J.IIC	30	30
	Listening	30	30
	Lexical	30	30
	Analysis	30	30
	Cinema	30	30
	Culture and Society	30	30

⑦Annual Events

An opening and closing ceremony, as well as the Research Presentation, where students give a brief presentation on the contents of their individual research report.

⑧Guidance

1)Program Coordinators

Name	DEP	Position	Major
Masahiro Nakagawa	I.C	Prof.	Literature, Stylistics,
Yasuo Tamura	I.C	Assoc. Prof.	Linguistics, Japanese education
Junya Ishihara	I.C	Assoc. Prof.	Phonetics&Phonology; Linguistics
Ayami Nakaya	I.C	Assoc. Prof.	Comparative Education

2) Guidance

All professors from the International Center and some from the Education Department oversee the running of this program, and offer advice and support to students.

3) Advice and counseling are available for international students at the following locations:

・Health Service Center

・International Student Advisor (Education department only)

⑨Course Completion Requirements

There is no set of fixed course completion requirements, but instead students, in consultation with their personal supervisor, must decide the number and types of classes to be taken. They must also submit a report based on their personal research. A certificate of completion, signed by the president of the university, will be awarded at the closing ceremony.

■Housing

The increase in the number of International students at Hiroshima University means that it is no longer always possible to find a place in one of the university's international student dormitories. There are cases when students have to rent a private apartment. The lodging situation for students of the Japanese Language and Culture Program for the last three years is as follows:

	Int'l House	Sun-square	Private Apartment	Total
2015	10	0	0	10
2014	13	0	0	13
2013	14	0	1	15

Hiroshima University International House:

Room size 13.3㎡, Rent ¥5,900/month; Common House Expenses ¥ 2,500/month; Walking Time to the International Student Center: 20 mins, Cycling time: 7 mins

Leased Accomodations by University:

Room size 15-17㎡, Rent ¥ 8,000- 18,000/month, Deposit ¥ 20,000

Sunsquare Higashi-Hiroshima:

Room size 17.46 ㎡, Rent ¥ 20,000/month, Common expense charge ¥ 3,500/month, Sheets ¥ 6,000, Deposit ¥ 40,000 , Time to the International Center: Bus - 15 mins, Bicycle - 25mins

Private Apartments:

Room Size 15-17㎡, Rent ¥ 25,000 - 45,000/month, Common expenses charge ¥ 1,000-3,000/month, Deposit 1-3 months rent, Move-in fee 1 month rent, Agent fee 1 month rent

＊In order to cover living expenses and set-up costs until the time of the first scholarship payment, it is suggested that students bring a minimum of ¥ 100,000 with them to Japan.

■Follow-up for Course Completion Students

Printed Research Reports Books are delivered to completed students and their home university.

Research Reports' files are registered for general use at International Center HP repository.

Past program activity records are accessible to completed students.

All completed students are booked on our program's mailing list and informed about present program activities.

■Inquiries

International Exchange Group, International Center, Hiroshima University

Address: Student Plaza, 1-7-1 Kagamiyama Higashi-Hiroshima City, Hiroshima 739-8514

Phone: +81-82-424-6182(Direct)

Fax: +81-82-424-4545

Email: kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

〇Hiroshima University International Center MEXT Scholarship (Japanese Studies Students):

http://www.hiroshima-u.ac.jp/en/top/kokusai/mext/p_u59dwl.html

〇Living at Hiroshima University:

http://www.hiroshima-u.ac.jp/en/top/kokusai/nyugakuannai/hirodailife/



山口大学 （山口県）

歴史のある美しい街、山口へ留学してみませんか

■大学紹介

① 大学の特色および概要

１）特色と歴史

山口大学は1815年、長州藩士・上田鳳陽によって創設された私塾・山口講堂を前身とし、明治・大正期の学制を経て、1949年に地域における高等教育および学問研究の中核たる新制大学として創設された。

メイン・キャンパスは山口市（人口は194,107人）に位置している。 山口市は自然環境に恵まれた落ちついた都市で、多くの歴史的名勝・文化的景観が残されている。

２）教員・学生数等

・教員数：2,518 名（2015年5月現在）

・学生数：学部生 8,727 名

大学院生 1,587 名

（2015年5月現在）

② 国際交流の実績

・大学間交流協定校数：60校

・学部間交流協定校数：5校

釜山大学校

復旦大学

淡江大学

イヴァン・フランコ記念リヴィウ国立大学

キャンベラ大学

（2015年5月現在）

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数 313人、日本語・日本文化研修留学生 2人
2014年：留学生数 313人、日本語・日本文化研修留学生 2人
2013年：留学生数 315人、日本語・日本文化研修留学生 2人

（2015年5月現在）

④ 地域の特色

山口県は、本州の西の端にあり、山口大学吉田キャンパスのある山口市は「西の京」とも呼ばれ、歴史と文化の薫り漂う県庁所在地です。吉田キャンパス近くにある「湯田温泉」は、約800年の歴史と山陽路随一の規模を持つ温泉街で、一日2000tという豊かな湧出量を誇り、地元客や観光客に人気です。このほか、県内には優れた温泉地がたくさんあります。

また、広島県、福岡県の間に位置し、どちらの都市にも新幹線で約40分で行くことができます。

■コースの概要

① コースの特色

・スピーキング、リーディング、ライティング能力を伸ばしながら、日本語の基礎を学ぶことを主な目的とする。

・コースには日本語能力の中級話者を対象にした日本語及び日本事情の授業科目が含まれる。

② 受入定員

2名 （大使館推薦１名、大学推薦１名）

③ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講する者は、日本国以外の大学学部（来日時点で主として第2学年次以上）に在籍する学生で、日本語・日本文化研修生として、以下の要件を満たす者とする。

（１）日本語能力

日本語能力試験の3級ないしそれ以上の級に合格している者、または同等の日本語能力を有する者。一般的な事柄について会話ができ、基本的な文章を読み書きできること。

（２）日本研究学習歴、専攻

日本語・日本文化に関する分野を専攻する者。

④　達成目標

・日常的に使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。

・日本社会、日本文化に関する研究に活用できる知識を身につける。

⑤　研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は2017年9月を予定

ただし、オリエンテーションの日程によっては、10月1日以前に来日するように求める場合がある。

⑥　研修科目の概要

1)　必須科目

【日本語演習Ａ】（前期30時間／後期30時間）

演習形式、使用言語：日本語

単語や文法の知識を基に、特に「聞く」「話す」能力を育成し、日常生活におけるより一層のコミュニケーション能力の向上を目指す。また、学習内容のトピックに関連した簡単な新聞記事も読めるようにする。

【日本語演習Ｂ】（前期30時間／後期30時間）

演習形式、使用言語：日本語

表現文型・文法を学び、日本語の運用能力を高める。特に助詞が正しく使えるようになることを目指す。また、その日のテーマに関連したディスカッションから書く練習へと発展させ、文章作成能力のレベルアップを図る。

【日本語演習Ｃ】（前期60時間／後期60時間）

演習形式、使用言語：日本語

いろいろなジャンルの新聞記事、エッセイ、小説などを読み、日本語の様々な文体に慣れる。楽しく読むことができ、かつ読めたという体験を持たせ、長文の速読速解能力の向上を目指す。

【日本事情】（前期30時間）

講義形式、使用言語：日本語

日本の文化、習慣、教育、政治、経済など日本についての基本的な事項を各種のメディア　（新聞、雑誌、テレビ、インターネット等）から取り上げ、講義し、その日のテーマについてディスカッションを行う。

【異文化を学ぶ】（後期30時間）

講義形式、使用言語：日本語

日本文化に関する様々なテーマについて学習する（例：日本の漫画、アニメ、音楽、遊び、芸術、社会）。フィールドワーク作業、ビデオ教材等を含めることで、言葉では説明しにくいものを感覚的に理解出来るように配慮する。

2)　見学、地域交流等の参加型科目

日本文化と歴史を体験から学びとるため、毎年冬に留学生を対象とした見学旅行を実施している。神社や武家屋敷を訪れたり、温泉に宿泊したりする。

見学先：愛媛・広島（2012）
福岡・熊本（2013）
愛媛・広島（2014）
※2015年は実施していない。
なお、2016年以降の実施は未定。

3)　その他の講義、選択科目等

さらなる勉学・研究のために、日本語の仕組み、日英語の違い、日本の音楽、日本の歴史、日本の工芸等の教育学部開講の授業に参加することができる。

留学生の日本語能力の向上の程度を勘案して、日本語のドリル及び日本文化に関する補講を行うことがある。

教育学部が開設する授業に加え、本学には共通教育科目として、すべての学部に在籍する留学生を対象にした日本語・日本事情関係の授業が開講されている。日本語能力テストの結果に応じてこれらの授業を履修することも可能である。

⑦　年間行事

１１月　　留学生歓迎会、懇談会

１２月　　留学生見学旅行（１泊２日）

※留学生見学旅行については、2015年は実施していない。なお、2016年以降の実施は未定。

⑧　指導体制

・責任教員　高橋　俊章

（学生国際交流作業部会長）

・学生の所属：教育学部

・指導教員：希望に合わせて専門分野の教員又は、国際交流に関わる教員が指導を担当する。

⑨　コースの修了要件、修了証書の発行

・各自の課題（日本語・日本文化に関するもの）の研究を押し進め、最終的には論文を提出する。

・本コースの科目を全て履修した者には、修了証書を発行する。

■宿　舎

原則として、山口大学の敷地内の留学生用宿舎「国際交流会館」に入居可能である。

※過去3年間の入居実績：　2名（2013年）

2名（2014年）

2名（2015年）

※留学生用宿舎の詳細については以下のＵＲＬを参照

http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/ryugaku/ryu_05.html





■修了生へのフォローアップ

修了生へのフォローアップについては、研修期間の指導状況に合わせ、指導教員が行う。

■問合せ先

（担当部署）

・山口大学教育学部学務係

住所：〒753-8513

山口県山口市吉田１６７７－１

TEL：083-933-5307

FAX：083-933-5468

E-mail：info-g@yamaguchi-u.ac.jp

担当教員：高橋　俊章

（教授・学生国際交流作業部会長）

E-mail：bld10@yamaguchi-u.ac.jp

URL：http://abroad.edu.yamaguchi-u.ac.jp/

【山口大学ホームページ】

http://www.yamaguchi-u.ac.jp/

【山口大学留学生センターホームページ】

http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/



Yamaguchi University (Yamaguchi)

Study abroad in Yamaguchi, a beautiful city with historical interest

■ Yamaguchi University: A brief description

① Outlines of Yamaguchi University

1) Features and location of Yamaguchi University

Yamaguchi University was originally established in 1815 as a private school ("Yamaguchi Kodo") by a member of the Choshu clan ("Ueda Hoyo"). It was reorganized under the educational system reforms in the Meiji and Taisho eras. Then Yamaguchi University was established as a national university in 1949. The University is now a large institution with seven Faculties, nine Graduate Schools.

The main campus in Yamaguchi (population, 194,107) is located in a city noted for its natural beauty, its many historical sites and cultural facilities.

2) Number of staff and students

Yamaguchi University has a teaching staff of 2,518. We currently have 8,727 undergraduate students and 1,587 postgraduate students (as of May 2015).

② Outlines of Student Exchange

- Number of exchange agreements signed
  University Level Agreement:
  60 universities (as of May 2015)
  Faculty Level Agreement:
  5 universities (as of May 2015)
- The list of the Partner Universities (Faculty Level Agreement):
  Pusan National University(Korea), Fudan University (China), Tamkang University(Taiwan), Lviv University (Ukraine), University of Canberra (Australia)
  (as of May 2015)

③ Number of international students at Yamaguchi University and number of students in the "Japanese Studies" Program at Yamaguchi University in the past three years

2015:	international students	313students
	Japanese Studies Students	2 student
2014:	international students	313 students
	Japanese Studies Students	2 student
2013:	international students	315 students
	Japanese Studies Students	2 student

(as of May 2015)

④ Regional Characteristics

Yamaguchi Prefecture is located in the west end of the main Japanese island. Yamaguchi City is the capital city of the prefecture and is called "Kyoto in the West", with many historical and cultural places of interest. Yuda Onsen (a hot spring bath) near Yamaguchi Campus was discovered about 800 years ago and the hot spring resort is one of the largest in western Japan, where more than 2000 tons of hot water gushes out every day. Yuda Onsen is very popular among locals and tourists alike. There are many other hot spring resorts in Yamaguchi Prefecture.

Yamaguchi is conveniently located midway between Hiroshima and Fukuoka and is about 40 minutes by Shinkansen train (bullet train) from either city.

■ Japanese Studies Program

1. feature of Japanese Studies Program

The course aims primarily at giving the students' a firm grasp of basic Japanese and giving their speaking, listening, reading, and writing capabilities.

The Course includes intermediate Japanese language and culture classes.

2. Number of Students to be accepted

Elementary and Intermediate Japanese classes: 2"(Embassy recommended students: 1, University recommended students: 1)

3. Qualifications of Applicants

The applicant should be enrolled at a university overseas and meet the following conditions:

(1) The applicant should have the third grade or above of "the Japanese Language Proficiency Test" or other equivalent Japanese language proficiency qualification.

(2) The applicant should be majoring in Japanese or Japanese Studies.

4. Attainment Target

-To understand Japanese spoken in a wide range of social and academic contexts

-To acquire knowledge about life in Japan and Japanese culture

5. Period of the Course

From 1 October, 2016 to 30 September, 2017 (1 year)

The course completion ceremony will be held in September, 2017.

It should be noted that students may be asked to arrive earlier than October 1 for the orientation program.

6. Subjects Offered to the Japanese Studies Program students

1) The first three classes are seminars given in Japanese and the last two are lecture given in Japanese

・Japanese Seminar A (1st Semester 30 hrs / 2nd Semester 30 hrs)

The main focus is on listening and speaking. The student reads newspaper articles written in simple Japanese.

・Japanese Seminar B (1st Semester 30 hrs / 2nd Semester 30 hrs)

The main focus is on syntax. After discussion, the student will write on the topic discussed.

・Japanese Seminar C (1st Semester 60 hrs / 2nd Semester 60 hrs)

The main focus is on extensive as well as speed reading. The student will read newspaper articles, essays, novels, etc.

・Japanese Studies (1st Semester 30 hrs)

After a lecture on a topic (such as Japanese culture, customs, educational system, political system, Japanese economy, etc.), the student will engage in some discussion about it.

・Cross-cultural Studies (2nd Semester 30 hrs)

Students will learn about Japanese culture, such as Japanese anime, Japanese pop music, arts, etc.) Practical work will often be involved.

2) Study Tour (Field Trip)

The study tour, which is offered every winter, provides an opportunity for international students to experience Japanese culture and history. During the tour, students visit cultural and historical places such as shrines and old samurai residences and enjoy a hot spring bath, etc.

Places Visited: Ehime & Hiroshima (2012), Fukuoka & Kumamoto (2013), Ehime & Hiroshima (2014)

※The 2015 tour was not implemented. The 2016 tour has not been planned so far.

3) For Further Studies and Research

For further studies and research, various classes at the Faculty of Education are open to the "Japanese Studies" students (e.g. Japanese Linguistics, Japanese-English Contrastive Linguistics, Comparative History of Music, Japanese History, Japanese Pottery, etc.).

Supplementary lessons may be provided, depending on the level of the student's Japanese language proficiency.

As part of General Education in the University, the courses in Japanese and Japanese culture are offered for foreign students in all Faculties. If resources permit, students may have the opportunity to attend to appropriate courses based on their results of the Japanese Language Proficiency Test.

7. Tours and Events

November

・Welcome party for international students

・A round-table with international students

December

・A day trip to a famous place

※The 2015 tour was not implemented. The 2016 tour has not been planned so far.

8. Staff Responsible for the Program

・The student(s) studying under this program belongs to the Faculty of Education.

・Course Director:

Toshiaki Takahashi (Professor) , Chairman of the Committee for International Student Exchange

・Student Supervisor: the appointment of the supervisor is made by taking into consideration the area of interest of the student, etc.

9. Course Requirement

Students learn about the Japanese language and culture. They are required to write papers on them at the end of the course.

■ Accommodation

Yamaguchi University agrees to assist the student in his / her search for living accommodation.

University-owned accommodations are available on campus (in most cases)

(http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/ryugaku/ryu_05.html)

The number of the Japanese Studies Students who have lived in the university residences for the past three years

2 student (2013)

2 student (2014)

2 student (2015)





■ Follow up for the international student in the past

Supervisors are encouraged to keep contact with the international students who have studied in Yamaguchi University and offer them advice and support, where necessary, based on request from the students.

■ Enquiries

・The Course Director: Toshiaki Takahashi

Chairman, Committee for International Student Exchange, The Faculty of Education, Yamaguchi University, 1677-1 Yoshida, Yamaguchi-shi, 753-8513 Japan

TEL：083-933-5307

FAX：083-933-5468

E-mail：bld10@yamaguchi-u.ac.jp

info-g@yamaguchi-u.ac.jp

URL：http://abroad.edu.yamaguchi-u.ac.jp/

Yamaguchi University

http://www.yamaguchi-u.ac.jp/

International Center

http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/



香川大学（香川県）

香川大学

地域に根ざした学生中心の大学

■大学紹介

① 大学の特色および概要

香川大学は1949年に設置されました。2003年10月にそれまでの香川大学と香川医科大学が統合して新しい香川大学となりました。教育学部、法学部、経済学部、医学部、工学部および農学部の6つの学部を持つ総合大学です。

それぞれの学部に大学院（修士課程）が設置されています。また、博士課程は、医学系研究科、工学研究科、連合農学研究科に設置されており、地域マネジメント研究科、香川大学・愛媛大学連合法務研究科という2つの専門職大学院も有しています。

●学部および学科
○教育学部
学校教育教員養成課程・人間発達環境課程
○法学部
法学科
○経済学部
経済学科、経営システム学科、
地域社会システム学科
○医学部
医学科、看護学科
○工学部
安全システム建設工学科、電子・情報工学科、
知能機械システム工学科、材料創造工学科
○農学部
応用生物科学科



② 国際交流の実績

2015年11月の時点で、54の大学間協定、27の部局間協定を締結して、世界中の大学と学術交流や学生交流を実施しています。加えて、4件の連携協力協定も締結して、複数大学間での国際的な協力体制を築いています。







国際シンポジウム（タイ）





学生交流プログラム（インドネシア）

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績
2015年10月時点：留学生数240人
日本語・日本文化研修留学生2人
2014年：留学生数250人、日本語・日本文化研修留学生2人
2013年：留学生数243人、日本語・日本文化研修留学生0人

④ 地域の特色

香川

香川県は、四国の北東部に位置します。瀬戸内海に面しており、四季を通じて降水量が少なく、温暖な気候です。
香川県で最も有名なのは、おそらくうどんですが、オリーブやうちわなども有名です。
皆さんが住む予定の高松市は、コンパクトシティーと言われています。日本一長い商店街のなかにたくさんの商店があり、自転車で行くことができる範囲でなんでも揃います。



うちわ



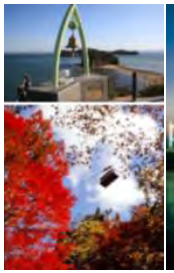
うどん



オリーブ









■コースの概要

①　コースの特色

本コースは、日本語の語学レベル向上および日本文化に関する知識の習得、そしてそれらの知見を実践的に活用する能力の向上を目的としています。

指導教員によるきめ細かい指導を受けられるだけではなく、留学生との交流を楽しみにしている日本人学生と一緒に学ぶことができる科目が豊富に用意されています。

②　受入定員

5名（大使館推薦3名、大学推薦2名）

③　受講希望者の資格、条件等

·日本語能力試験N2以上、または同等の日本語能力を有すること。
·国費留学生として、各種交流活動に積極的に参加すること。

④　達成目標

·日本語能力試験N1または同等以上の日本語能力を習得する。
·各種プレゼンテーションを含む、日本語の実践的能力を向上させる。
·香川県に関するトピックを自ら選定し、レポートとしてまとめることができる。

⑤　研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は9月を予定（2015年は9月）

⑥　研修科目の概要

1）必須科目

必修科目はとくに設定しませんが、最終レポートは必修です。

ただし、最低限の単位数を設定しています。また、本コースの学生としてふさわしい科目を選択する必要がありますので、実際の科目選択については、指導教員とよく相談してください。

2）　見学、地域交流等の参加型科目

行事予定表の中で、交流行事に関しては、国費留学生としての積極的な参加を期待しています。

我々は交流することも学習と考えています。特に、本コースの学生は日本語による交流を期待しています。

3）　その他の講義、選択科目等

●日本語・日本事情科目

学生は複数の科目の中から、自分のレベルや興味に応じて選択します。

●全学共通科目

所属している学部に関係なく受講できる科目で、日本人学生と一緒に、多様な授業を受講することができます。自分の興味に基づいて選択することができます。

●各学部専門科目

日本語力に余裕のある学生は、これらの科目を選択することもできます。





⑦　年間行事

10月　秋期新入留学生ガイダンス、歓迎会
11月　大学祭
　　課外教育行事
12月　学長主催外国人留学生交歓会
　　ホームビジット
2月　日本のビジネスマナー講座
　　さよならパーティー(春期卒業生)
4月　春期新入留学生ガイダンス、歓迎会
7月　日帰り島旅行
9月　課外教育行事
　　さよならパーティー(秋期卒業生)

時期は年度により変わります。上記の他、随時交流や学習のためのイベントが行われます。



学長主催外国人留学生交歓会の様子



島の小学生と交流（課外教育行事）

⑧　指導体制

学術的な指導は、指導教員により行われます。

生活面での指導や支援は、インターナショナルオフィスが担当します。

また、学生によるサポート体制も整っており、サポーター、チューターがそれぞれ生活面と学習面で支援します。

⑨　コースの修了要件

本コースの修了要件は、最終レポートおよび上記授業の履修です。最終レポートは、日本（特に香川）や日本文化に関するテーマを選び、指導教員とよく相談しながら、論文の形に仕上げます。

これらの条件を満たした修了生には、修了証書を発行します。個々の授業に関しては成績証明書が発行されます。





■宿　舎

香川大学には、現在４つの留学生宿舎があります。本コースの学生はこれらの宿舎に申請することができます。

これらの１か月の室料は5,900円、10,000円など、数種類あります。

詳しくは本コースの申請時にお尋ねください。


留学生宿舎（屋島地区）


屋島山上からの景色


宿舎のご近所の方と流しそうめん


餃子パーティー

■修了生へのフォローアップ

本コースは1年で帰国することを前提としていますが、さらに本学の大学院進学等のため、各部局に問い合わせることが可能です。

また、いくつかの国や地域に関しては、すでに帰国留学生ネットワークが形成されています。

その他、SNSを通した交流も行われておりますので、右記のFacebook等をご参照ください。

■問合せ先

香川大学国際グループ
住所　〒760-8521
香川県高松市幸町1-1
TEL　＋81-87-832-1149（直通）
FAX　＋81-87-832-1192
E-mail　kokusai@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

香川大学インターナショナルオフィス
http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/
日研生ホームページ
http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/jss/



香川大学ホームページ
http://www.kagawa-u.ac.jp/



香川大学留学生センターFacebook
https://www.facebook.com/KUISC





KAGAWA UNIVERSITY

香川大学

Each course offers students the opportunity to pursue their interests individually

■ Introduction of university

① Characteristic and history

Kagawa University (hereafter, KU) was established in 1949 as a national university.
In October 2003, KU merged with Kagawa Medical University to form the new comprehensive 'Kagawa University'. Currently, the university has six faculties (Education, Law, Economics, Medicine, Engineering, and Agriculture).
All the six faculties have their respective master programs. In addition, the university also offers the professional MBA master program. Doctoral programs are offered in the Medicine, Engineering and Agriculture faculties.



② International Exchange

As of November 2015, KU has 54 international exchange agreements with overseas universities signed at the university level, and 27 similar agreements signed at the faculty level. In addition, KU has concluded international agreements with 4 institutions other than universities.







Joint Symposium (Thailand)





Student Exchange Program & International Seminar (Indonesia)

③ The number of international students in recent years are as follows:

2015.10: 240 students; Jpn. Lang. & Culture Program: 2 students
2014: 250 students; Jpn. Lang. & Culture Program: 2 students
2013 :243 students; Jpn. Lang. & Culture Program: 0

④ Geographical characteristic

香川

Kagawa Prefecture is situated on the north east of Shikoku. It faces the Seto Inland Sea, has four seasons with little rain and comparatively warm winters. The most famous product of Kagawa is probably 'udon', a thick noodle made from wheat, but she is also well known for olives and fans.

Takamatsu city, where KU is located, is a compact, mid-sized city that is bicycle-friendly. The city is reputed to have the longest shopping (pedestrian) arcade in Japan. This arcade is lined with many shops of interest to both the young and the old.The climate of Kagawa is not harsh and international students find it 'easy' to adapt to.



Fans



Udon



Olives









■ Course Outline

① The characteristic of the course

This course combines classroom language classes and practical field work, aiming to equip international students with the knowledge required to operate independently and contribute to society upon completion.

In addition to careful and dedicated supervision, international students have ample opportunities to interact with Japanese students both inside and outside the classroom.

② Number of students accepted

5 (3 by the embassy recommendation and 2 by the university recommendation)

③ Eligibility and conditions

Candidates must possess Japanese Language Proficiency Test Level N2 or above.
Students coming in as 'Monbukagakusho' scholars should actively take part in activities organized by KU.

④ Target to achieve

Japanese Language Proficiency Test Level N1 or above.
Practical presentation skills in the Japanese Language Compile a report on any aspect of interest in relation with Kagawa.

⑤ Program period

1st October 2016 – 30th September 2017.

A 'Completion Ceremony' shall be held in September

⑥ Description of courses

1) Mandatory courses
This program does not have any mandatory courses but students are required to take a minimum number of credits/classes. Students are to consult with the supervisors as to what courses to take. At the end of the program, students are required to submit a final report.

2) Field trips, events with local community
Students who successfully applied to be 'Monbukagakusho' scholars are required to participate in the events as listed in the calendar.
These events are part and parcel of the program and offers excellent opportunities for international students to enhance on the language ability.

3) Elective course

* Japanese Language classes / Japanese Culture classes
Students choose classes that suit their language ability and interest
* General education classes
These classes are offered to all students regardless of faculty affiliation and are conducted in Japanese. International students undergo these classes together with Japanese students.
* Major courses in the respective faculties
Depending on the Japanese Language ability, students may opt to take these classes in faculties related to their major.





⑦ Annual calendar

October Guidance, Welcome Party
November KU festival
One-day trip
December Reception Party for International Students
Japanese home visit
December Lecture on Japanese Business Manners
January Sanuki New Year event
February Visit to Japanese company
February Farewell Party for graduating students
April Guidance, Welcome Party
July One-day trip to island in Seto Inland Sea
September Farewell Party
(for students graduating in September)

The above information is tentative and is subjected to changes.



Welcome Party



One day trip

⑧ Supervision

Matters related to major studies shall be supervised by members from the appropriate faculty. Matters related to daily living are supervised by staff members from the International Office. In addition, student-supporters and student-tutors assist international students in the daily living and their studies.

⑨ Requirement for completion

To successfully finish the program, students must submit a final report and complete the classes taken. Students must also make a presentation in Japanese(particularly kagawa) based on the final report.
Student shall then receive a Certificate of Completion, as well as a transcript on their grades for classes taken.





■Accommodation

KU currently manages four dormitories and apartments for international students. Students registering for this program are eligible to apply for this housing.
Depending on the accommodation type, the monthly rental ranges from 5900 yen to 10000 yen, excluding utilities.
Students may inquire on this during the application process.



KU dormitory（Yashima area）



Around Yashima



Somen-noodles party



Pan-fried dumpling party

■Follow-up for graduates

This program is designed for one year. Students who wish to continue their studies at the graduate level should consult the supervisor at the faculty concerned.
For students returning to their home countries, KU has Alumni Associations in some countries.
Furthermore, returning students can log into the SNS to keep abreast with the happenings at KU.

■Contact

KU International Office Administrative Group
Address: 1-1 Saiwai-cho, Takamatsu,
Kagawa, 760-8521, Japan.
Phone: +81-87-832-1149
Fax: +81-87-832-1192
E-mail: kokusai@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

Kagawa University International Office web
http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/
http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/jss/



Kagawa University web
http://www.kagawa-u.ac.jp/



Kagawa University International
Student Center Facebook
https://www.facebook.com/KUISC





高知大学 （高知県）

高知大学は、地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成と学問、研究の充実・発展を推進します。

■大学紹介



① 大学の特色および概要

高知大学は、1949年新制大学として設立されました。2015年4月に、地域に根ざした教育を目指す「地域協働学部」が新設され、学士課程に6学部（人文学部、教育学部、理学部、医学部、農学部、地域協働学部）と土佐さきがけプログラム、及び大学院を備えた総合大学です。（学部学生数：4,973人）

高知大学は、太平洋を南に臨み、四国山脈を背に四季の変化に富んだ高知県の中央、高知市に位置し、自由と寛容な気質を背景に、より高等な教育、研究活動を行っています。
高知大学には、高知市の朝倉キャンパスと南国市の物部キャンパス及び岡豊キャンパスの３つのキャンパスがあり、日本語日本文化研修生は、朝倉キャンパスに通います。

②国際交流の実績（2015年7月1日現在）

大学間協定校－58機関　（18ヶ国・地域）

部局間協定校－22機関　（14ヶ国・地域）

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績 （2015年5月1日現在）

2015年：留学生数　154人、日本語・日本文化研修留学生　3人
2014年：留学生数　149人、日本語・日本文化研修留学生　3人
2013年：留学生数　149人、日本語・日本文化研修留学生　3人

④ 地域の特色

高知県は、西日本に位置する四国の南部にあり、北は四国山脈がつらなり、南は太平洋に面しています。年間を通じて暮らしやすい温暖な気候で、四季折々の豊かな自然を楽しむことができます。また、地方文化にも恵まれています。自由民権発祥の地として、近代日本の形成に大きな役割を果たした土地でもあります。高知市街には美しい鏡川が流れ、市内随所に歴史的な観光名所があります。

日本の主要都市からの所要時間は、空路を利用すれば大阪空港まで45分、東京（羽田）空港まで1時間20分です。そのほか、福岡、名古屋へも国内便があります。空路のほかにも、長距離バス、鉄道などが利用できます。

■コースの概要

① コースの特色

コース：日本語・日本文化

特色：高知大学国際連携推進センターでは、日本語の自由な運用能力を習得するとともに、日本人学生との専門授業を通した多文化共生力の習得を目指しています。

留学生科目として、共通教育科目に「日本語・日本事情」科目を開設し、また帰国後日本語教師を希望する留学生には、「日本語教員養成コース」の授業も開放しています。
基礎的な日本語力や日本文化などを広く学びたい留学生のためには、国際連携推進センターが開講している各種基礎講座受講も可能です。

② 受入定員

３名（大使館推薦１名、大学推薦２名）

③ 受講希望者の資格、条件等

a) 日本語能力
日本語能力が日本国際教育協会が実施する「日本語能力試験」１級（Ｎ１）以上またはこれと同等の日本語能力を有する者

b) 日本研究学習歴・専攻
日本語・日本文化に関する分野の専攻者

④ 達成目標

日本語による討論と論文作成能力の育成。
母国では実施できない研究の遂行。
なお、修了時には、「修了レポート」を提出し、指導教員の合格判定を得なければならない。

⑤　研修期間
　2016年10月1日　～　2017年9月30日

⑥　研修科目の概要
1)　必須科目
高知大学では、必須科目は設けていません。留学生は、個人の学習・研究テーマに合わせて共通教育科目や学部専門科目から授業を選択します。例えば次のような授業科目があります。

授業科目
（1コマ＝2時間×15週＋テスト2時間＝32Ｈ）

・共通教育で開講される科目
　日本語・日本事情科目（計９コマ）
・異文化理解・多文化共生関連科目（計６コマ）
・必要と認められるその他の科目（上限無し）
詳細は以下の通りです。

共通教育科目：
　日本語Ⅰ（60h）
　日本語Ⅱ（60h）
　日本語Ⅲ（60h）
　日本語Ⅳ（60h）
　日本事情Ⅰ（30h）
　日本事情Ⅱ（30h）
　日本事情Ⅲ（30h）
　日本事情Ⅳ（30h）
　日本事情Ⅴ（30h
･学部開講科目：
　日本社会論　(30h)
　日本文化論　(30h)
　基礎ゼミナール　(30h)
　日本語オーラルコミュニケーション論（30h）
　日本語メディア論(30h)
　日本語メディア論演習（30h）
　日本語テクスト構成研究(30h)
　日本語テクスト構成研究中級（30h）

2)　見学、地域交流等の参加型科目
・「異文化理解」授業での歴史文化施設見学
・高知県国際交流協会との懇親行事に参加
・外国人留学生課外活動



地域の祭りに参加
（高知県内）

3)　その他の講義、選択科目等
国際連携推進センター開講科目
国際連携推進センターでは、「日本語能力試験」N2程度の者に対する日本語補講授業(単位不認定科目)を開講しています。日本語・日本文化研修留学生のうち、日本語能力が不十分で、日本語補講科目の受講を必要とする者は受講することができます。

国際連携推進センターによる日本語総合コース(日本語補講)で開講している科目は以下の通りです。
・日本語補講授業科目
　中級聴解Ⅰ(30h)
　中級聴解Ⅱ(30h)
　中級会話Ⅰ(30h)
　中級会話Ⅱ(30h)
　中級漢字Ⅰ(30h)
　中級漢字Ⅱ(30h)
　中級読解(30h)
　中級作文(30h)
　アカデミック日本語Ⅰ(30h)
　アカデミック日本語Ⅱ(30h)

⑦　年間行事
１月　地域との交流活動
４月　新入留学生オリエンテーション
５月　学長を囲む会
６月　日本語講演会
７月　留学生と日本人学生の合同講習会
１０月　新入留学生オリエンテーション
１１月　外国人留学生課外研修
１２月　外国人留学生等交流懇談会

その他：
月1回のペースで、各国の留学生が自国の文化や歴史を紹介するカルチャーカフェを実施しています。また、地域の国際交流団体等が主催する留学生向け各種イベントを紹介します（ホームステイ、着物着付け体験、紙すき体験等）。
地域住民と交流できるイベントにも参加できます。



研修旅行
（四国カルスト）

⑧　指導体制
責任教員:人文学部長
　　副学長(国際連携担当)
担当教員:人文学部教員
　　国際連携推進センター教員

※個別指導:必要に応じて指導教員が行います。

⑨　コースの修了要件

研究報告書作成並びに研究発表会
単位認定…学期（2学期制）毎に単位認定を行っています。
単位互換…交流協定を結んでいる大学の在籍者は、特別聴講学生として受け入れ、単位互換を行っています。

■宿　舎

朝倉キャンパス

女子寮　　月額約7,500円

キャンパスから寮まで自転車で１０分。

〇宿舎設備・備品

※寮：机・椅子・ベッド・ロッカー・本棚・共同自炊設備・共同バス・トイレ

※そのほか、多くの学生が、大学周辺の民間アパートに入居しています。（家賃月額2万円～5万円）

■修了生へのフォローアップ

修了後もメールなどで連絡を取り合い、可能であれば窓口教員が協定校を訪問し、留学後の学習状況についての懇談を計画しています。

■問合せ先

（担当部署）
高知大学国際交流課国際連携係
住所　〒７８０－８５２０
　　高知県高知市曙町２－５－１
TEL　＋８１－８８－８４４－８１４５（直通）
FAX　＋８１－８８－８４４－８７１８
E-mail　kr03@kochi-u.ac.jp

高知大学国際交流ホームページ
http://www.kochi-u.ac.jp/international/
高知大学ホームページ
http://www.kochi-u.ac.jp/



Kochi University (Kochi pref.)

高知大学
Kochi University

Kochi University shall promote the development of opportunities for learning and research and the production of human resources.

■ University Overview



① Characteristics and history:

·Kochi University was founded in 1949 as a new authorized national institution. In April 2015, our new faculty "Faculty of Regional Collaboration", which aims to produce leaders with management skills in regional collaboration was launched. The university now consists of six faculties (Humanities and Economics, Education, Science, Agriculture, Regional Collaboration, and Medical School) and TOSA Innovative Human Development Programs at undergraduate level and one graduate school.

·(the number of undergraduate students: 4, 973)

·Kochi University has three campuses, Asakura Campus in Kochi City and Monobe and Oko Campuses in Nankoku City. Japanese studies students will study at Asakura Campus.

·Kochi University aims at providing higher education with Kochi's free and generous spirit as its background.

② International exchanges: (as of July 1, 2015)

Agreements between Universities:

58 Institution (18Countries and Regions)

Agreements between Faculties:

22 Institution (14 Countries and Regions)

③ Number of International students and Japanese Studies students admitted.(2013-2015)

a) International students:

2015 -154 students (22 Countries and Regions)

2014 -149 students (25 Countries and Regions)

2013 -149 students (23 Countries and Regions)

b) Japanese Studies students admitted:

2015 - 3 students (2 countries)

2013 - 3 students (2 countries)

2013 - 3 students (3 countries)

④ Characteristics of the area

Facing the vast Pacific Ocean to the south and surrounded by the Shikoku Mountains to the north, Kochi Prefecture, with its beautiful yet wild natural environment, ever nurtures freedom of thought and independence of mind. Kochi Prefecture is characterized by a climate of four distinct seasons. The Kagami River runs through the city. Kochi City is blessed with a variety of historical sites.

Distance from largest cities in Japan

From Tokyo: 1 hour and 20 minutes by air / 7 hours by train

From Osaka: 45 minutes by air / 4 hours by train

Kochi is also linked by airline connections to Nagoya and Fukuoka.

■Outline of the Course in Brief

①Characteristics and Aims of the Course

Course for Japanese and Japanese Culture

"Japanese Studies" students will be accepted mainly at the Faculty of Humanities and Economics.

This faculty has 3 departments (Human Culture, International Studies, Economics and Social Sciences).

The Faculty of Humanities and Economics offers "Japanese" and "Japanese Studies" as General Education Subjects. Students who hopes to become a Japanese teacher will be also take classes of "Teaching Japanese for Overseas Students Course".

If students hope to learn a wider range of Japanese and Japanese culture, it is possible to take Japanese Supplementary Classes offered by the Center for International Collaboration.

The courses aim to give students a chance to gain an understanding of Japanese culture while at the same time learning about different peoples and different cultures.

Students will also be able to acquire knowledge in their major fields and to improve their Japanese language abilities in speaking, listening, reading and writing.

②Number of students to be accepted:

3 students

(1 from Embassy Recommendation

2 from University Recommendation)

③Qualifications and Conditions for Application:

a) Japanese Ability:

Applicants must have sufficient fluency to understand lectures in Japanese.

Those who have passed level 2(or higher) of the Japanese Language Proficiency Test or have equal or higher proficiency.

b) Study of Japanese:

Applicants must be those who major in a field related to the Japanese language and to Japanese culture.

④Expected Japanese language level at the end of the program

・Enhancement of Japanese language skills for discussion and writing theses
・Conducting research that cannot be carried out in one's own country
・Submission of report at the end of the course

⑤Period of the course:

October 1, 2016 – September 30, 2017

⑥Contents of the course:

Subjects: (1 unit= 2h.×15weeks + Test 2h = 32h)

・Japanese and Japanese Studies in General Education (18 units)
・Subjects related to inter and cross-cultural communication (12units)
・Other subjects offered in our faculty (not limited)

1)Compulsory subjects
Japanese Society(30h),
Japanese Culture(30h),
Basic Seminar(30h)

2)Elective subjects

〇Subjects of General Education:
Japanese Ⅰ
(Pronunciation & Listening Comprehension)(60h)
Japanese Ⅱ
(Listening Comprehension & Speech) (60h)
Japanese Ⅲ (Writing) (60h)
Japanese Ⅳ (Reading) (60h)
Japanese Studies Ⅰ (Japanese History) (30h)
Japanese Studies Ⅱ
(Industries in Kochi Prefecture) (30h)
Japanese Studies Ⅲ (Great Men of Kochi) (30h)
Japanese Studies Ⅳ (Japanese Economy) (30h)
Japanese Studies Ⅴ (30h)

〇Subjects offered by
the Faculty of Humanities and Economics
＊Subjects for International students:
Japanese Oral Communication
(Intermediate, Advanced) (30h)
Modern Japanese Reading (30h)
Modern Japanese Reading (Intermediate) (30h)
Japanese Writing (Beginner) (30h)
Japanese Writing (Intermediate) (30h)
Japanese Language Laboratory (30h)
Japanese Language Laboratory Seminar (30h)
Japanese Laboratory Practice (30h)

＊Subjects studying with Japanese students:
Special Lecture of Japanese Culture(30h)
Japanese as a Foreign Language (30h)
Japanese as a Foreign Language (Seminar) (30h)

3)Participatory subjects such as field trips and regional exchanges
・Field trips to historical sites and cultural facilities
・Participation in an exchange event with Kochi Prefecture International Exchange Association
・Study Tour



Take part in "MATSURI" traditional festival

〇 Subjects offered by Center for International Collaboration

The Center for International Collaboration offers Japanese Supplementary Classes (non-credit subjects) for students qualified JLPT N2. Japanese Studies students may take Japanese Supplementary Classes if necessary.

The titles of the above courses are as follows;
・Intermediate Japanese Listening Comprehension Ⅰ (30h)
・Intermediate Japanese Listening Comprehension Ⅱ (30h)
・Intermediate Japanese Conversation Ⅰ (30h)
・Intermediate Japanese Conversation Ⅱ (30h)
・Intermediate Kanji・Vocabulary Ⅰ (30h)
・Intermediate Kanji・Vocabulary Ⅱ (30h)
・Intermediate Japanese Reading Comprehension (30h)
・Intermediate Japanese Composition (30h)
・Academic Japanese Ⅰ(30h)
・Academic Japanese Ⅱ(30h)



Study Tour

⑦Events
January: Exchange event with local people
April: The orientation for new international students
May: International students meet the President
June: Japanese language seminar
July: Joint Seminar of International and Japanese Students
October: The orientation for new international students
November: Study Tour
December: International Students Friendship Party

Others: Various events are offered by international exchange associations.(Home Stay, Kimono trying-on event, Tosawashi papermaking experience event and so on)
There are also some opportunities to interact with local residents.

⑧Guidance System
Responsible Person:
Dean, Faculty of Humanities and Economics
Vice President of International Collaboration
Teaching Staff:
Professors belong the Faculty of Humanities and Economics
Professors belong to the Center for International Collaboration
*Tutorials will be provided by academic advisors as necessary.

⑨Requirements for Completion
Report and Presentation of Research
Credits will be given each semester (Spring/ Fall)
Credit Transfer: Students from affiliated universities will be accepted as Special students and be able to transfer credits back to their home universities.

■Accommodations

[Asakura Campus]
Female Dormitory Rent approx. ¥7,500/month
10 minutes from campus to the dormitory by bike.
*Furnishing: Table/ chair/ bed/locker/ bookshelf/ common bathroom& kitchen

Most international students rent the apartments near the campus.
(Rent about ¥20,000～50,000)

■Follow-up for former International students

Faculty members will keep in touch with students by e-mail after completion of the course.
If possible, they will visit partner universities and discuss the former International students' current situation concerning studies.

■Contact:

International Exchange Division, Kochi University
Address: 2-5-1 Akebono-cho, Kochi 780-8520, Japan
Tel: +81-88-844-8145
Fax: +81-88-844-8718
E-mail: kr03@kochi-u.ac.jp
URL: http://www.kochi-u.ac.jp/
English: http://www.kochi-u.ac.jp/international/english/



九州大学 （福岡県）

きめ細やかなサポート体制のもと，充実した日本語クラスと各学部の授業を“自由に”選択できます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

九州大学は，1911年に九州帝国大学として誕生して以来，約1世紀にわたって，多くの人材を世に送り出し，顕著な研究成果を社会に発信し続けている。現在，学生約19,000名，教員約2,100名，職員約2,200名が在籍し，11学部，18大学院，4附置研究所，病院などを擁する我が国有数の総合大学である。

2011年には創立百周年を迎え，「自律的に改革を続け，教育の質を国際的に保証するとともに，常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となる」ことを基本理念とし，「九大百年，躍進百大」，すなわち，すべての分野において世界のトップ百大学に躍進することを行動計画として掲げている。

また，九州大学は，九州の玄関口，福岡に位置することから，地理的・歴史的にアジアに近く，開学当初から「アジアに開かれた大学」を標榜している。

2005年10月には福岡市西部に九州大学の新たな中心となる新キャンパス（伊都キャンパス）が開校し，工学系から順次移転を行っており，本コースも2015年10月から伊都キャンパスで実施している。

【学部】文学部，教育学部，法学部，経済学部，理学部，医学部，歯学部，薬学部，工学部，芸術工学部，農学部
【大学院】人文科学府，地球社会統合科学府，人間環境学府，法学府，法務学府（法科大学院），経済学府，理学府，数理学府，システム生命科学府，医学系学府，歯学府，薬学府，工学府，芸術工学府，システム情報科学府，総合理工学府，生物資源環境科学府，統合新領域学府

② 国際交流の実績

【交流協定締結数】（2015.11.1現在）
〈学術交流協定〉
大学間：121機関（27ヶ国・地域）
部局間：240機関（47ヶ国・地域）
〈学生交流協定（覚書）〉
大学間：112機関（25ヶ国・地域）
部局間：139機関（34ヶ国・地域）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績（毎年11.1時点）

2015年：留学生数2,231人
　日本語・日本文化研修留学生27人（内，私費留学生15人）
2014年：留学生数2,171人
　日本語・日本文化研修留学生21人（内，私費留学生14人）
2013年：留学生数2,108人
　日本語・日本文化研修留学生26人（内，私費留学生16人）

④ 地域の特色

九州大学がある福岡市は，九州の北部に位置し，人口約150万人の商業・貿易都市であり，地理的・歴史的に日本とアジア地域を結ぶ窓口としての機能を果たしている。

福岡空港には，アジアの主要都市からの航空機が飛来し，また，東京便も豊富（羽田発着は1日108便，成田発着は1日24便）であるため，世界各都市から福岡までのアクセスもよい。
（国際路線　9カ国･地域，21都市･21路線，550便/週）

ちなみに，東京ー福岡は約90分のフライトであるのに対し，例えばソウルー福岡は約80分，釜山ー福岡は約50分である。

■コースの概要

① コースの特色

九州大学日本語・日本文化研修コースは，留学生センターが開設するもので，日本語・日本文化研修留学生が，今後の日本研究に必要となる日本語能力の向上を図るとともに，日本の社会や文化に関する理解を深めることを目的としている。

日本語・日本文化研修留学生は留学生センターに所属し，留学生センターで開講する「日本語論」，「日本社会文化論」及び「自主研究」の必修科目と，各自の日本研究に関する専攻分野と日本語能力に応じて，文学部，経済学部，法学部などで開講される日本の社会や文化に関する学部学生向けの授業を選択科目として受講することができる。

さらに，留学生センターで開講する技能別の日本語の授業（総合，漢字，会話，読解，作文）も受講することができる。

② 受入定員

40名（内，大使館推薦10名程度，大学推薦2名程度，他私費留学生）



③　受講希望者の資格、条件等

本コースは，日本国以外の大学に在籍し，日本研究を主専攻としている学部学生（1年次生を除く。）で，既に基礎的な日本語の学習を終え，本学において日本語で行われる日本の社会や文化に関する授業を受講できる日本語能力（日本語能力試験N1合格程度が望ましい）を有する者を対象とする。

④　達成目標

本コースでは，上記③の資格，条件を満たす学生を1年間受け入れ，彼らの今後の日本研究に必要となる日本語能力の向上を図るとともに，日本の社会や文化に関する理解を深めることにより，諸外国の将来を担う世代に日本への興味・関心を伝播し，日本の事情に通じた指導者となる人材を育成することを目的としている。

⑤　研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日
閉講式は8月を予定（2015年は8月）

⑥　研修科目の概要

1）必修科目と選択必修科目

10月から翌年9月までの1年間に，次表に掲げる必修科目（2単位），選択必修科目（24単位）と選択科目（4単位以上）を修得する。

	授業科目	第1期（10-3月）	第2期（4-9月）
必修科目	自主研究		2単位（30時間）
選択必修科目	日本語論	12単位（180時間）	
	日本社会文化論	12単位（180時間）	
選択科目	日本の社会や文化に関する学部学生向け授業（注）	4単位（60時間）以上	

（注）選択科目は本学の学部学生を対象に基幹教育科目として開講されている授業科目及び文学部，法学部，経済学部などにおいて専門教育科目として開講されている授業科目の中から，本コースのコーディネーターの指導のもとに，各自の日本研究に関する専攻分野と日本語能力に応じて選択の上，受講する。

さらに，留学生センターで開講する以下の技能別・レベル別の日本語クラスを受講することができる。

	総合	漢字	会話	読解	作文	ビジネスマナー
入門	Ｊ１ 週３回	Ｋ２ 週２回				
初級１	Ｊ２ 週３回		Ｓ２ 週２回			
初級２	Ｊ３ 週３回	Ｋ３ 週２回	Ｓ３ 週２回			
中級入門	Ｊ４ 週３回	Ｋ４ 週２回	Ｓ４ 週２回			
中級１	Ｊ５ 週２回	Ｋ５ 週２回	Ｓ５ 週２回			
中級２	Ｊ６ 週２回	Ｋ６ 週２回	Ｓ６ 週２回	Ｒ６ 週２回		
上級入門	Ｊ７ 週２回	Ｋ７ 週２回	Ｓ７ 週２回	Ｒ７ 週２回	Ｗ７ 週２回	
上級			Ｓ８ 週２回		Ｗ８ 週２回	集中講義

2）　見学、地域交流等の参加型科目

大学の教育活動の一環として，コース期間中に数回，福岡近郊や九州地域などを巡る見学旅行を実施し，日本の文化や歴史，自然に触れる機会を提供する。

また，自治体や学校，国際交流団体などが実施する様々なイベントに参加することにより，地域との交流を促進するとともに，研修の効果を上げる。

3）　その他の講義、選択科目等

学生たちの多様なニーズに応えるため，カリキュラムの一環として，報道関係者，日本文化研究者をゲストティーチャーに招き，講演会を行っている。今後は、企業経営者等福岡県内にて活躍するさまざまな方へ依頼することも計画している。

⑦　年間行事

１０月	開講式・秋学期開始
	見学旅行
１２月	地域住民との交流会
１月	福岡市内中学校等との交流会
２月	秋学期終了
４月	春学期開始・見学旅行
８月	春学期終了・閉講式
９月	自主研修期間（※選択科目にて集中講義を受講可能）



＜オリエンテーション旅行　熊本・大分＞



＜地域住民との交流会＞

⑧　指導体制

日本語・日本文化研修留学生には，留学生センターの教員がコース・コーディネーターとして各自の学業面等について個別指導にあたる。

さらに，生活面や異文化適応に関しては，留学生指導に関する専門の教員が適宜対応する。

加えて，学生レベルでのサポート体制として，日本人学生によるチューターを1名ずつ配置し，日常生活や修学上のサポートを行うとともに，日本人学生との交流が図れるような環境を整えている。

⑨　コースの修了要件、修了証書の発行

履修した科目は，履修認定が行われ，所定の要件を満たした日本語・日本文化研修留学生には，修了証書を授与する。



＜日本語・日本文化研修コース閉講式＞

■宿　舎

日本語・日本文化研修留学生は，コース期間中，留学生用宿舎に入居できる。

宿舎は，バス・トイレのほか，机，書棚，ベッド，衣料タンス，冷蔵庫，エアコンなどを備えている。



※写真は伊都キャンパスの留学生・日本人混住宿舎である伊都協奏館。

■修了生へのフォローアップ

九州大学日本語・日本文化研修コースは，本学の英語による短期留学プログラムであるJTW（Japan in Today‘s World）とともに，日本語による短期留学プログラムとして国内外で高い評価を得ている。また，本コース修了者の満足度は高く，その多くが在籍大学卒業後，再び本学や日本の大学院に進学したり，日本企業に就職する等している。

■問合せ先

（コース・コーディネーター）

留学生センター・教授　郭　俊海

E-mail: guo.junhai.841@m.kyushu-u.ac.jp

（担当部署）

九州大学国際部留学生課

住所　　〒819-0395

福岡県福岡市西区元岡744

TEL　　＋81-92-802-2228（直通）

FAX　　＋81-92-802-2287

E-mail: intlrkoryu@jimu.kyushu-u.ac.jp

日研生ホームページ

http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/jlcc/

九州大学留学生センターホームページ

http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/center/home.htm

九州大学ホームページ

http://www.kyushu-u.ac.jp/



Kyushu University (Fukuoka)

You will have many free choices among Japanese Language Courses and various Faculty Courses with our well-kept support.

◇ University Overview

Kyushu University was founded in 1911 and has grown to be one of the most prestigious universities in Japan. At present, there are 11 undergraduate schools, 18 graduate schools, 4 research institutes, and a hospital. Approximately 19,000 students and 2,100 faculty members are engaged in study and/or research at the University. Kyushu University is located in Fukuoka, gateway of Kyushu. Geographically and historically, the city is close to other parts of Asia, so we have been aiming to be the "University opened to Asia" from the beginning. Also, a new main campus, in Ito opened in 2005, where some departments have begun its activities.

【Undergraduate Schools 】Letters, Education, Law, Economics, Sciences, Medicine, Dentistry, Pharmaceutical Sciences, Engineering, Design and Agriculture

【Graduate Schools】Humanities, Integrated Sciences for Global Society, Human-Environment Studies, Law, Law School (Professional Graduate School), Economics, Sciences, Mathematics, Systems Life Sciences, Medical Sciences, Dental Science, Pharmaceutical Sciences, Engineering, Design, Information Science and Electrical Engineering, Interdisciplinary Graduate School of Engineering, Sciences, Bioresource and Eioenvironmental Sciences, Integrated Frontier Sciences

【International Exchange】(As of Nov. 1, 2015)

・International Academic Cooperation

121 universities (27 countries / areas)

240 faculties (47 countries / areas)

・Student Exchange Program

112 universities (25 countries/areas)

139 faculties (34 countries/areas)

【Number of International Students】

2015: Kyushu University 2, 231

Japanese Language and Culture Course 27

(includes, 15 privately-funded students)

2014: Kyushu University 2,171

Japanese Language and Culture Course 21

(includes, 14 privately-funded students)

2013: Kyushu University 2,108

Japanese Language and Culture Course 26

(includes, 16 privately-funded students)

【Location】

Kyushu University is located in Fukuoka city, the northern part of Kyushu, which has a population of 1.5 million.

Geographically and historically, the city has been played an important role as Japan's gateway in connecting with continental Asia, especially East Asian and Southeast Asian countries. There are many flights to the Fukuoka International Airport from the principal cities of Asia and by plane it only takes 80 minutes from Seoul and 50 minutes from Pusan.

◇ Contents of the Course

Japanese Language and Culture Course(JLCC) is provided by the International Student Center at Kyushu University and it is organized for those who wish to gain a deeper understanding of Japanese society and culture with further opportunities to improve Japanese language skills for conducting research in the area of Japanese studies.

【Student enrollment 】

Student enrollment : 40 (includes, about 30 privately-funded students)

【 Eligibility criteria 】

Applicants must fulfill both of the following conditions:

・be registered as undergraduates and majoring in Japanese studies at their home institution. (first year students may not participate.)

・have completed basic Japanese language courses and be ready to take classes offered in Japanese at Kyushu University.

Candidates preferably will have passed Level N1 of the Japanese Language Proficiency Test or possess the equivalent proficiency in Japanese language.

【Achievement Objective】

We accept students who fulfill the above conditions. JLCC is organized for those who wish to gain a deeper understanding of Japanese society and culture with further opportunities to improve Japanese language skills for conducting research in the area of Japanese studies.

【 Program period】

From October 1, 2015 to September 30, 2016
(Closing Ceremony will be held in August)

【Overview of Curriculum】

・Class Requirement

JLCC students are required to complete the following requirements:

1. Compulsory subjects: Independent Study Project (ISP, 2 credits)
2. Elective compulsory subjects: Japanese Language & Linguistics (12 credits), Japanese Culture & Society (12 credits),
3. Elective subjects: at least 4 credits

	Classes	1st Semester Oct. – Mar.	2nd Semester Apr. – Sep.
Compulsory subjects	Independent Study Project (ISP)		2 credits (30 hrs)
Elective compulsory subjects	Japanese Language & Linguistics	12 credits（180 hrs ）	
	Japanese Culture & Society	12 credits（180 hrs ）	
Elective subjects	Subjects regarding Japanese Society and Culture offered for Undergraduate Student by various departments at Kyushu University*	4 credits (60 hrs) or more	

(Notes) *Elective subjects include the subjects offered by the department of liberal arts and the specialized subjects offered by the undergraduate schools of Literature, Economics and Law. Students need to select at least two subjects (four credits) related to their major and Japanese level with their coordinator's advice.

Moreover, students can take different level's Japanese courses offered by the International Student Centre.

・Study trips and other activities

Study trips and other activities are provided to visit Japanese cultural sites and to have close contact with Japanese culture, history and nature.

・Guest Lectures

To better meet the student's needs, we also inviter scholars, journalists to come to campus to give a series of guest-lectures on selected topics. We are planning to invite business administrators and those who are actively involved in various fields in Fukuoka in the future.

	Integrated Classes	Kanji	Speaking	Reading	Writing	Business Manner
Beginners	J1 3 times /week	K2 2 times /week				
Elementary 1	J2 3 times /week		S2 2 times /week			
Elementary 2	J3 3 times /week	K3 2 times /week	S3 2 times /week			
Pre-Intermediate	J4 3 times /week	K4 2 times /week	S4 2 times /week			
Intermediate 1	J5 2 times /week	K5 2 times /week	S5 2 times /week			
Intermediate 2	J6 2 times /week	K6 2 times /week	S6 2 times /week	R6 2 times /week		
Pre-Advanced	J7 2 times /week	K7 2 times /week	S7 2 times /week	R7 2 times /week	W7 2 times /week	
Advanced			S8 2 times /week		W8 2 times /week	Intensive course

【Schedule】

October: Opening Ceremony, Study Trips,
Fall Semester Starts
December: Events with local people, Study Trips
January: Event with local high school students
April: Study Trip
August: Closing Ceremony
September: Independent Study Term



＜ Event with Local People ＞

【Support System for Students】

As the JLCC coordinator, a teaching staff from the International Student Center will be assigned to JLCC students for their overall support. In addition, teaching staff from the International Student Center and Japanese students (tutors) are also assigned to course students so that he/she can discuss matters concerning their daily life or study and communicate



＜Orientation Trip to Kumamoto, Oita＞

【Grade Transcript, Certificate】

Grade Transcript with all registered credits will be issued. The students who have completed all necessary classes will be granted a certificate.



＜Closing Ceremony for Japanese Language and Culture Course＞

◇ Housing

Kyushu University International House is available for those participating in the Japanese Language Culture Course while they are enrolled. Kyushu University International Student House offers about 300 fully furnished rooms equipped with a bathroom, a toilet, a desk, a bookshelf, a bed, a closet, a refrigerator, internet connectivity and air-conditioning.



＜ Ito Harmony House – a dormitory for Japanese and International Students at Ito Campus.＞

◇ Follow-up for Alumni

Japanese Language and Culture Course (JLCC) at Kyushu University has been highly-praised as a short-term program taught in Japanese both at home and abroad as well as another short-term program, Japan in Today's World (JTW), which offers courses in English. JLCC has enjoyed high satisfaction rates from participants and as a result, many of them have chosen to further their studies at Kyushu University graduate schools and/or at other academic institutions in Japan. Also, some have obtained jobs at Japanese companies.

◇ Contact

【Program Coordinator】

International Student Center:
Professor GUO Junhai
E-mail: guo.junhai.841@m.kyushu-u.ac.jp

【International Student Center】

Kyushu University
744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka 819-0395,
JAPAN
Tel: +81-92-802-2228 / Fax : +81-92-802-2287
E-mail: intlrkoryu@jimu.kyushu-u.ac.jp

Webpage for JLCC (in English):
http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/jlcc/en/

Webpage for Kyushu University:
http://www.kyushu-u.ac.jp/english/index.php

Webpage for International Student Center:
http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/center/home.htm



福岡教育大学 (福岡県)

「日本語」「日本事情」などの留学生対象科目を履修しながら、各自の専門領域を学修し、さらに留学生対象の多様なプログラムによって、日本に関する総合的な理解を深める。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

本学は、九州で唯一の教員養成単科大学で、教育学・心理学・t特別支援教育学・各教科教育学のほか、人文・社会・自然・芸術・スポーツ科学・家政学等、教科内容に関する多様な専門学術分野の教員を擁する大学である。

・ 学生・教員現員 （2015年5月1日現在）

学生	
学部レベル	2，792人
大学院レベル	125人
教員	180人

② 国際交流の実績

・外国人留学生数	74人（10カ国）
・国際交流協定校	8校

③ 過去3年間の日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

２０１５年：
留学生数７４人、日本語・日本文化研修留学生４人

２０１４年：
留学生数７１人、日本語・日本文化研修留学生３人

２０１３年：
留学生数８６人、日本語・日本文化研修留学生８人

■コースの概要

① コースの特色

本コース生は、留学生対象の授業を履修し、さらに各指導教員のもとでの専門分野の学修を通じて、日本語と日本文化に関する総合的な研修を行う。

日本語教育レベルは、JEES（日本国際教育支援協会）の日本語能力試験「N2レベル」程度である。学期始めの日本語プレテストにより、留学生担当教員において各人の能力に応じたクラス（初級Ⅰ、初級Ⅱ、初中級と漢字クラス、中級（聴く・話す）、中級（読む・書く）、上級、個別指導）を判定し、「推奨授業一覧」として通知する。

② 受入定員

10名（大使館推薦5名、大学推薦5名）

国語教育	社会科教育
英語教育	福祉社会教育
国際共生教育	数学教育
理科教育	技術教育
音楽教育	美術教育
保健体育	家政教育
学校教育	教育心理学
幼児教育	生活総合教育
特別支援教育	

③受講希望者の資格、条件等

・原籍大学で、日本語や日本文化に関する領域を専攻して いること。
・日本語能力は、一般的事柄について会話ができ、文章が正確に読み書きできること。

④ 研修期間

2016年10月～2017年9月

○ 研修科目の概要

1）必修科目
・「ホームルーム」
・コース修了時の研究発表

2）見学、地域交流等の参加型科目
・「日本理解特別プログラム」
本学教員、学外講師等が各専門分野から、日本理解に期する講義を行う日本理解のための講義・見学プログラム

研修旅行を中心に据え、見学地ごとにテーマを設定し、旅行参加者自身が事前に調査などの準備を重ねて、自律的な体験を計画する。見学後はレポートや発表が課され、体験を共有する。



3）その他の講義、選択科目等

・「日本事情A・B」

日本の文化、社会についてのテーマを掘り下げていくために、見学、インタビュー等様々な方法で周囲の意見を取り入れ、日本についての認識を深め、それによって自分自身の持つ文化的特徴をも把握していくことを目標とする。

・「日本の教育制度A・B」

B（後期開講）では、日本の歴史を踏まえながら、古代から現代までの教育の歴史を国際教育交流史の視点から概観する。

A（前期開講）では、現代の日本の教育制度に関わるキーワードをひとつずつ学習しながら、日本の教育制度の特色を理解する。

・「比較教育文化論A・B」

文化、習慣の違いからくるトラブル事例（留学学生や日本人の体験した）を学び、カルチャーショックを予防する。

日本の教育の背景にある、文化的特性を考察することで、日本人や日本社会及び教育文化の特色について理解する。

・「異文化交流の心理学」

・「異文化間心理学」

後期・前期ともに、日本学生との合同授業である、毎回あるテーマ（食べ物、自分の将来など）やトラブル事例（割り勘とか弁当など）をめぐって留学生と日本人学生とが小グループディスカッションを行い、出会い体験をする。また、留学生自らも母国についてのレクチャーを行う。留学や移民などの異文化接触に伴う心理的過程や育児文化等についても学ぶ。

・「日本語」

学部留学生レベルの「話す・聴く」「読む・書く」能力それぞれを高めるためのトレーニングを行う。

・「日本語補講（※単位認定は行わない）」

初級Ⅰ、初級Ⅱ、初中級、漢字、個別指導（初級の理解を助ける／上級の理解を伸ばす）

なお留学生対象授業等に関するより具体的な内容については、

福岡教育大学ホームページ http://www.fukuoka-edu.ac.jp

掲載の、留学生ガイドブック等を参照して下さい。

〇指導体制

・指導教員

：専門分野に関わる指導、研究発表および最終レポート作成の指導、学修や日本生活に関わる相談

・留学生担当教員

：留学生対象必修科目・選択科目の授業担当、授業分野に関わる指導、「日本理解特別プログラム」の実施・運営、「ホームルーム」の実施・運営、学修や日本生活に関わる相談

〇コースの修了要件、修了証の発行

指導教員、留学生担当教員の指導のもと、専門的観点から独自に研究テーマを設定し、 コース修了時に最終レポートを提出、研究発表を行う。このレポート及び履修科目、ホームルーム出席状況等についての、指導教員、留学生担当教員による総合的評価をもとに、コース修了証の授与を受けることができる。

〇単位認定，単位互換

・授業における単位認定（「日本語補講」を除く）については、当該授業の成績評価による。取得単位は原籍大学に持ち帰り、単位互換の認定審査を受けることができる。

〇単位習得証明書

・履修する全科目（「日本語補講」を除く）について発行可能。

「日本語補講」については単位認定は行わないが、受講証明書を発行する。

■宿舎

・福岡教育大学学生寮

・大学近辺の民間アパート等に入居可能

■修了生へのフォローアップ

・修了後、留学生から相談のある際は、個別に対応している。

〇その他

以上の他、地域の学校やコミュニティとの交流行事など、外国人留学生のための様々な行事がある。

■問い合わせ先

〒811-4192
福岡県宗像市赤間文教町１番１号
福岡教育大学連携推進課
TEL:＋81-904-35-1247
FAX ＋81-940-35-1700
E-mail: ryugak01@fukuoka-edu.ac.jp
http://www.fukuoka-edu.ac.jp



Fukuoka University of Education
(FUKUOKA)

Japanese Studies Program

Overview of the university

Characteristics and history

Fukuoka University of Education (FUE) stands in a unique position in that it is the only national education university in the Kyushu district. Further, the teaching staff at FUE teach across a wide range of subject areas.

・Number of students studying at Fukuoka University of Education: （1 May 2015）

Undergraduates	2,792
Graduates	125
Teaching staff	180

International Exchange

Year	Number of International students	Students enrolled in the Japanese Studies Program
2015	74	4
2014	67	3
2013	85	8

・Overseas Affiliated Universities - 8 universities

Overview of the Japanese Studies Program

Students in the Japanese Studies program attend 2 different types of classes, namely, classes specially designed for international students as well as classes focused around the students' chosen field of major study.

Available fields of study include: Education, Psychology, Philosophy, Literature, History, Geography, Sociology, Law, Economics, Language, Natural Sciences, Industry, Agriculture, Fine Arts, *Shodo* (Japanese Calligraphy), Music, Physical Education, Home Economics.

Throughout this program, students will obtain an intergraded knowledge of both Japan and the Japanese language.

The work level of the Japanese Studies Program assumes a Japanese language ability equivalent to that of the JEES N2 Japanese Language Proficiency Test.

Placement test will be administered at the beginning of each semester to decide which courses are suitable for students in accordance with their individual language proficiency.

Number of students able to be accepted ：

Nomination by the Japanese embassy ：5
Nomination by University ：5

Japanese Language Education
Social Studies Education
English Language Education
Welfare and Society Education
Intercultural Education
Mathematics Education
Science Education
Technology Education
Music Education
Fine Art Education
Health and Physical Education
Home Economics Education
School Education
Educational Psychology
Pre-school Education
Living Environment Studies and Integrated Studies Education,
Special Education

Program entrance requirements

・Applicants should be major in Japanese language and/or culture in their home university.
・Students are also expected to have basic Japanese language skills capable of reading, writing and conversation in daily life.

Program dates

・The program starts in October 2016 and concludes in September 2017.

Required Units

・Homeroom
・The research presentation

Elective Units

・Japanese Culture and Society Part A; Part B
In order to investigate the theme about Japanese culture and society, a surrounding opinion is taken in by various methods, such as visit and interview, the recognition about Japan is deepened and it aims at grasping their own cultural feature by it.



・Education System of Japan A,B

A：Key words of today's Japanese education are given and explained in each class.

B：Students will study Japanese Education history (from ancient times to present). In both classes some study tours to elementary schools or high schools are held.

・Comparative Studies about Educational Cultures A, B

：We learn Japanese culture matters from the view point of Educational science. We also learn some case-studies of troubles experience by international students or Japanese, which is caused by differences of cultures and habits. Studying these cases, we prevent your forthcoming cultural shock.

・Cross Cultural and Psychological Encounter Cross Cultural Psychology

：Both are joint classes with Japanese students. International and Japanese students discuss every time in small encounter groups about some theme on foods or future etc. and some trouble cases bout for example splitting the costs, packed lunch etc. International students give small lecture about their home country. We also study about psychological process of cross-cultural contacts experienced by international students or immigrants, and study cultural differences on child rearing in the world.

・Japanese Language classes

The aim of these classes is to improve students' Japanese language speaking, listening, writing and reading skills in accordance with their current ability.

・Supplementary Japanese (Non-credit)

：beginning class（Ⅰ-1, Ⅰ-2 each 2classes）, introduction classes, first step & middle level drill, Kanji characters classes（each 1class）

・Special Program for Understanding Japan

：Lecturers and observation program conducted by university faculty and guest speakers. Studies focus on a study trip, Students choose a theme and autonomously plan learning experiences, including the method of inquiry and outcomes. After the program, participants present a report and share their experiences with each other.

Information is fully explained in the exchange students' guide book in Web. http://www.fukuoka-edu.ac.jp

Teaching staff

・Academic advisor:

in charge of

Major study education
Major research guidance
Assistance with any living troubles

・Teachers in charge of international students education:

in charge of

International students classes education
Special Program for Understanding Japan
International Students Home Room
Assistance with any living troubles

Program succession requirements

Students are required to attend the International Students Home Room (biweekly held) ,submit a final research report and read the report at the final presentation. And academic advisors and 3 teachers in charge of international students education approve their completion of the course.

Unit certification

Course credit can be issued for all classes, except for supplementary Japanese language classes. Supplementary Japanese do not carry course credit for completion, though a certification of attendance may be issued.

Accommodation

There are two different types of living arrangements available to international students studying at FUE. These are at:

FUE Student Dormitory

Off-campus Apartment

Follow-up for graduates

When graduates need help, we advise individually.

Additional information

In addition to normal classes, other activities are organized for international students.

Contact Details

Fukuoka University of Education
Promoting Cooperation Department

Tel: +81-940-35-1247
Fax: +81-940-35-1700
Email: ryugak01@fukuoka-edu.ac.jp
Web: http://www.fukuoka-edu.ac.jp



佐賀大学 （佐賀県）

アジアの中の日本、世界の中の日本、地域から見える日本を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色および概要

佐賀大学(さがだいがく)は、自然(しぜん)と共生(きょうせい)するための人類(じんるい)の「知」の創造(そうぞう)と継承(けいしょう)に努めて(つとめて)います。佐賀地域(ちいき)独自(どくじ)の研究(けんきゅう)を世界(せかい)へ発信(はっしん)しようとしています。そして、アジアの知的拠点(ちてききょてん)を目指し(めざし)、国際社会(こくさいしゃかい)に貢献(こうけん)しています。

（学 部）教育(きょういく)学部、
芸術地域(げいじゅつちいき)デザイン学部、
経済(けいざい)学部、
医学(いがく)部、
理工(りこう)学部、
農学(のうがく)部
学部生数 6,092名
（大学院）学校教育学(がっこうきょういくがく)研究科、地域(ちいき)デザイン研究科、医学系(いがくけい)研究科、工学系(こうがくけい)研究科、農学研究科(のうがくけんきゅうか)
大学院生 872名



② 国際交流の実績

世界各国・地域の160大学と交流協定を締結しています。現在、本学には217名の留学生が在籍しています。2009年度から2015年度までに大使館推薦の日本語・日本文化研修生をベトナム3名、リトアニア、スウェーデン、アルメニア、ベルギー、インド、ブラジル、セルビア共和国、トルクメニスタン各1名、大学推薦の日本語・日本文化研修生カンボジア1名を受け入れています。

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績（11月１日現在）

2015年度：留学生数 217人、日本語・日本文化研修留学生４人
2014年度：留学生数 240人、日本語・日本文化研修留学生２人
2013年度：留学生数 257人、日本語・日本文化研修留学生３人

④ 地域の特色



佐賀(さが)大学のある佐賀県(さがけん)は、九州(きゅうしゅう)の北西部(ほくせいぶ)に位置(いち)し、自然(しぜん)が美しく(うつくしく)、歴史(れきし)が豊(ゆたか)かなところです。メインキャンパスは佐賀市(さがし)にあります。 佐賀市は、物価(ぶっか)が安く、住みやすい町です。気候(きこう)は温暖(おんだん)で、年間(ねんかん)の平均(へいきん)気温(きおん)は17度です。

春(はる)には、満開(まんかい)の桜(さくら)、夏(なつ)には、鮮やか(あざやか)な緑(みどり)と花火(はなび)を見ることができます。また、秋(あき)には、黄金色(こがねいろ)の水田(すいでん)と 、カラフルなバルーンが青い(あおい)空(そら)を舞う(まう)姿(すがた)があります。冬(ふゆ)には、ときどき、雪(ゆき)がふります。

佐賀の人々は国際(こくさい)交流(こうりゅう)に大変(たいへん)熱心(ねっしん)で、インターナショナルバルーンフェスタやいろいろな交流(こうりゅう)イベントに参加(さんか)できます。

また、佐賀(さが)は陶磁器(とうじき)でも非常に有名(ゆうめい)で、有田(ありた)、唐津(からつ)などの焼き物(やきもの)の産地(さんち)があります。



■コースの概要

① コースの特色

佐賀大学は、学生と先生がよくコミュニケーションできる大学です。本コースは、佐賀の美しい自然（しぜん）や心温かい人々といっしょに、日本社会や文化への理解を深め、日本語の能力（のうりょく）を伸ばす（のばす）ことができるコースです。

日本語＞
本コースでは、研修生（けんしゅうせい）のレベルに合った日本語科目を履修（りしゅう）できます。また、日本語コースの中に、日本人学生ボランティアとの活動（かつどう）や地域（ちいき）での活動（かつどう）が組み込まれて（くみこまれて）いるので、実践的な（じっせんてき）日本語能力が身（み）につきます。

静かで歴史豊かな
佐賀の生活は
体験してみんしゃい



日本文化＋専門科目＞
必修(ひっしゅう)の日本事情研修(にほんじじょうけんしゅう)では、日本文化の講義(こうぎ)の他(ほか)、柔道(じゅどう)や茶道(さどう)を体験したり、日本文化(にほんぶんか)の見学旅行(けんがくりょこう)をします。
インターフェース科目では、日本人の学生といっしょに、議論(ぎろん)をしたり、見学(けんがく)に行ったり、パンフレットを作ったりといった活動(かつどう)をします。
これらの授業によって、研修生は、より深い日本理解や日本語の実践的(じっせんてき)な能力(のうりょく)を身(み)につけることができます。
また、研修生の興味(きょうみ)や専門(せんもん)に応じた(おうじた)科目を受講(じゅこう)することができます。

学生生活＞
大学主催（しゅさい）留学生と日本人学生のための催し（もよおし）や、学生主催のパーティーが多く行われています。佐賀大学の学生と交流（こうりゅう）する機会が数多く設け（もうけ）られています。また、地域（ちいき）の学校や文化教室（ぶんかきょうしつ）の講師（こうし）などをしている学生もいます。



② 受入定員
7名(大使館推薦)
7名(大学推薦)

③ 受講希望者の資格、条件等

1) 主(しゅ)専攻(せんこう)あるいは副専攻(ふくせんこう)が日本語、日本文化など日本に関する分野(ぶんや)である学部(がくぶ)学生。

2)中級以上(ちゅうきゅういじょう)の日本語能力(にほんごのうりょく)を持っていること。(N2合格程度)

④ 達成目標
・日本語や日本文化について幅広い(はばひろい)知識(ちしき)を身につけること。
・日本社会に親しむ(したしむ)こと。
・自国で専門研究(せんもんけんきゅう)するための基礎能力(きそのうりょく)を養う(やしなう)こと。
・研修生の帰国後のキャリア選択(せんたく)に役立つ(やくだつ)実践的(じっせんてき)な日本語運用能力(にほんごうんようのうりょく)を身につけること。

⑤ 研修期間
2016年10月1日～2017年8月31日
Ⅰ期：2016年10月１日～2017年3月31日
Ⅱ期：2017年 4月１日～2017年8月31日
修了式は8月を予定

⑥ 研修科目の概要

本コースで研修を受ける研修生は、全学教育機構および佐賀大学の各学部が開講する授業の中で、定められた「選択必修科目」「選択科目」を履修しなければなりません。

１）選択必修科目（せんたくひっしゅうかもく）

	科目名	単位数と時間数
選択必修科目	日本事情研修(にほんじじょうけんしゅう)AまたはC	２単位（30時間）
	日本事情研修BまたはD	２単位（30時間）
	日本語コース	２単位（30時間）
	インターフェース科目	２単位（30時間）
	研修生が興味がある科目	10単位（150時間）

・受講科目(じゅこうかもく)を決めるときは、指導教員(しどうきょういん)やコーディネーターと相談(そうだん)してください。
・今までの研修生は、日本語や日本文学、言語学、日本の建築(けんちく)等に関する授業を受講しました。
＊「日本語コース」のレベルは、プレースメントテストの結果で決めます。
＊科目の名前などは変わることがあります。

なお、日本語の授業は全学教育機構から提供されています。
佐賀大学が提供（ていきょう）する授業について、詳しく（くわしく）知りたい人は、オンラインシラバスを参考にしてください。
http://lc2.sc.admin.saga-u.ac.jp/syllabus2/syllabusSearchDirect.do?nologin=on

２）見学、地域交流等の参加型科目

短期留学生（たんきりゅうがくせい）といっしょに受講する日本事情研修（にほんじじょうけんしゅう）では、地域（ちいき）の歴史（れきし）・文化・産業（さんぎょう）を知るための学外見学（がくがいけんがく）をしたり、地域の日本人と交流したりできます。
また、インターフェース科目（異文化理解いぶんかりかい）では、日本人学生との交流や地域への貢献（こうけん）を授業の中心的（ちゅうしんてき）な活動に設定（せってい）しています。

３）その他

上記の科目のほか、指導教員(しどうきょういん)や全学教育機構(ぜんがくきょういくきこう)の教員(きょういん)の指導(しどう)のもと、レポート作成を行うことができます。



⑦　年間行事予定

10月　開講式
　　オリエンテーション
　　新入留学生ウェルカムパーティー
11月　バルーンフェスティバル
　　日本文化体験研修旅行
12月　イヤーエンドパーティー
２月中旬～　春休み
４月　春学期開始
　　日本文化体験研修旅行
５月　ガタリンピック
６月　日本文化体験研修
８月　夏休み
　　栄の国祭り
　　修了式
　　フェアウェルパーティー

⑧　指導体制

１）コースコーディネーター

全学教育機構日本語教育部会
国際交流推進センター併任教員
准教授　中　山　亜　紀　子
(E-mail: anakayam@cc.saga-u.ac.jp)

２）研修生(けんしゅうせい)の日本での生活面(せいかつめん)に関して(かんして)は、本学(ほんがく)の保健(ほけん)管理(かんり)センターとの連携(れんけい)体制(たいせい)をとりながら、国際(こくさい)交流(こうりゅう)推進(すいしん)センターの専任(せんにん)および併任(へいにん)教員(きょういん)が対応(たいおう)しています。

３）研修生(けんしゅうせい)には、学生チューターが１名ずつつきます。学生チューターは、日常(にちじょう)生活(せいかつ)、勉強上(べんきょうじょう)のお手伝いや、日本人(にほんじん)学生(がくせい)と交流(こうりゅう)をするお手伝いをしてくれます。

⑨　コースの修了要件、修了証書の発行

日本事情(じじょう)研修(けんしゅう)を各（かく）学期２単位(たんい)、日本語コースから春学期・秋学期合(あ)わせて２単位以上、インターフェース科目（かもく）から２単位以上、佐賀大学の授業（じゅぎょう）の中から１０単位以上が修了(しゅうりょう)のために必要です。コースの修了者に対し修了(しゅうりょう)証明書(しょうめいしょ)及び(および)成績(せいせき)証明書(しょうめいしょ)を発行(はっこう)します。

■宿　舎

大学(だいがく)の敷地内(しきちない)に留学生用(りゅうがくせいよう)の宿舎(しゅくしゃ)、国際交流(こうりゅう)会館(かいかん)があります。
（単身室(たんしんしつ)　8,100円/月、夫婦室(ふうふしつ)　12,200円/月、家族室(かぞくしつ)　14,900円/月）
この他に、大学周辺に留学生(りゅうがくせい)のための良質(りょうしつ)で家賃(やちん)の安いＮＰＯ法人国際下(こくさいげ)宿屋(しゅくや)（月額2万円程度）や民間(みんかん)のアパートがあります。
（ちなみに、今までの研修生(けんしゅうせい)は、15,000～30,000円の冷蔵庫(れいぞうこ)、洗濯機(せんたくき)などのついた民間(みんかん)のアパートに入居(にゅうきょ)しました。



■修了生へのフォローアップ

佐賀大学に留学した研修生(けんしゅうせい)は、佐賀大学で学んだことを生かして(いかして)、母国(ぼこく)の日系(にっけい)企業(きぎょう)で働いたり、日本の大学院(だいがくいん)に進学(しんがく)したりしています。
修了（しゅうりょう）した研修生は、インターネットで佐賀大学やコーディネーターといつでも連絡(れんらく）することができます。
佐賀大学の学部(がくぶ)を卒業(そつぎょう)した留学生(りゅうがくせい)は、県内外(けんないがい)の企業(きぎょう）に就職(しゅうしょく)したり、母国(ぼこく)で就職(しゅうしょく)したり、また、佐賀大学や他大学の大学院(だいがくいん)に進学(しんがく)しています。有名な企業（きぎょう）で働いている卒業生もいます。



■問合せ先

（担当部署）
佐賀大学学術研究協力部国際課
住所　〒840-8502
佐賀県佐賀市本庄町１番地
TEL　＋81-952-28-8169（直通）
FAX　＋81-952-28-8819
E-mail　ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp

佐賀大学国際交流推進センター
http://www.irdc.saga-u.ac.jp/
佐賀大学ホームページ
http://www.saga-u.ac.jp/
日研生ホームページ　http://www.irdc.saga-u.ac.jp/ja/interest/jresearch.html



SAGA University

Understand Japan from local perspective and rich experience.

◇About Saga University

① University overview

Saga University commits itself to the creation and inheritance of human wisdom so that people can live together with nature. Saga University is continually raising its academic level to convey its original achievements to the world, and contribute to the development of the international society as a major intellectual organization in Asia.

Saga University consists of six faculties: Education, Art and Regional Design, Economics, Medicine, Science and Engineering, and Agriculture.

5 graduate schools: Teacher Education, Regional design, Medical Science, Science and Engineering, Agriculture

Number of students:
6,092 undergraduate students
872 graduate students



② International Exchange



Saga University executes academic exchange agreements with more than 160 universities throughout the world. We have 217 International students are enrolled.

One student each from Lithuania, Sweden, Belgium, Armenia, India, Brazil, Serbia, Turkmenistan, Cambodia and three Vietnamese students have entered Saga University via the Language and Culture Japanese Studies Program from 2009 to 2015.

③ Number of International Students last 3 years of record

2015: International Students ,217, JLCP 4
2014: International Students ,240, JLCP 2
2013: International Students ,257, JLCP 3
(JLCP: Japanese Language and Culture Program)

④ The location

Saga Prefecture (population 850,000) is in north-western Kyushu. Saga City, the capital of Saga Prefecture, has a population of 230,000. It is located in the central part of the Saga Plain spread between Mt.Tenzan and Mt. Sefuri in the north and the Inlet of the Ariake Sea in the south. The Saga plain is one of the largest plains in Japan and is favored with plenty of water.



Saga is blessed with a rich natural environment and is a comfortable place to live. The climate is not severe at all with an average year-round temperature of 17℃. Each of the four seasons offers various natural beauties: a cascade of falling cherry blossoms in spring; fresh greenery of camphor trees and fireworks in summer; colorful balloons flying over golden fields of rice in autumn; and harvests of seaweed in winter of which Saga is Japan's leading producer.

As Saga is graced with agriculture, you can enjoy the freshest food at very reasonable prices. Also you can live here at a low cost compared to big cities elsewhere in Japan.

The people of Saga are eager to share with others through international exchanges and, likewise, have organized many international cooperative ventures including the annual International Balloon Festival. Saga is also famous for its porcelain and ceramics. Imari-ware has been traded all over the world for over two hundred years since the Edo-period.

Wouldn't you like to experience the joys and challenges of campus life at Saga University, in the midst of Saga's tranquil environment and rich history?



◇Outline of This Program

① Characteristics of this Program

This program, offered by the Center for Promotion of International Exchange at Saga University, is designed for undergraduate students studying Japanese language and culture. Its aim is to develop students' Japanese language proficiency and to deepen their understanding of Japanese society and culture, as well as to widen their world view.

We provide six levels of Japanese courses so that every student is able to study at their appropriate level under experienced Japanese teachers. Students will learn practical Japanese through activities with Japanese students and by interacting with the local community.

A distinctive feature of our program is that we systematically incorporate these essential community interactions into the academic courses the students study in. Through the interface subjects and the "study of Japanese affairs", students will be exposed to real Japanese culture. These experiences deepen students' understanding of Japan and teach them true practical Japanese skills.

We offer field trips and cultural activities such as the Japanese tea ceremony to deepen understanding of Japanese culture. In addition, we provide opportunities to make friends with Japanese students. For instance, we invite Japanese students to Japanese language classes, making these experiences more practical and meaningful. Students can take part in events and activities such as Language Lounge or Halloween Party organized by the Japanese students here at Saga University.

② The number of students accepted is 14
(Embassy recommendation: = 7
University recommendation: = 7)



③ Eligibility

1)Applicants must be full-time undergraduate students who have completed their first year of studies at a university in a country other than Japan. Also, all students must be majoring in Japanese language and studies in their home university either as a major or a double-major.

2)Applicants should have an intermediate level of language proficiency in order to enroll. (preferably JLPT N-2 level)

④ Achievement Goals of This Program

・To obtain wide knowledge of Japanese language and culture;
・To become familiar with Japanese society;
・To develop basic research skills and abilities for students to conduct academic research in their home country after this program is completed;
・To enhance their practical Japanese competency well enough to help students choose their future careers.

⑤ Period of the Program

October 1st 2016～ August 31st 2017
1st semester : October 1st 2016 ～March 31st 2017
2nd semester : April 1st 2017 ～ August 31st 2017
Closing ceremony is scheduled in August 2017

⑥ Academic Program
Students must obtain a certain number of credits in subjects provided by each faculty and the Organization for General Education at Saga University in order to complete the program.

1) Selective Compulsory subjects

	Subject	Credits (Hour)
Selective Compulsory	Field Work on Japanese Affairs A or C	2 Credits (30hr)
	Field Work on Japanese Affairs B or D	2 Credits (30hr)
	Japanese Courses	2 Credits (30hr)
	Interface Courses	2 Credits (30hr)
	Subject Offered by the Organization for General Education	10 Credits (150hr)
	Subjects Offered by the Faculties	

* Students are placed in the most appropriate level of Japanese language classes according to their language proficiency based on the results of a placement test.
*Japanese courses are provided by the Organization for General Education.
* Please note that the names of these courses may change.

-Two or more credits in Japanese language courses for the year at one's appropriate level.
-Two or more credits in the interface courses which students take with Japanese students for the year.
-Two credits in the "Field Work on Japanese Affairs" courses per semester.
-Ten or more credits for the year in elective courses regularly offered for Japanese students.
Students who participate in our program will select courses connected with his/her major or interest under guidance and supervision of course coordinators or academic supervisors. Past participants have taken courses such as Japanese Language, Japanese Literature, and Japanese Architecture.

Students who wish to see details of the classes Saga University provides should check our online syllabi at:
http://lc2.sc.admin.saga-u.ac.jp/syllabus2/syllabusSearchDirect.do?nologin=on

2) Participatory Subjects
Saga University also offers subjects in which students can experience Japanese culture and interact with local people. In the "Field Work on Japanese Affairs" class, students can join field trips to become better acquainted with the local and regional history, culture, industry of Kyushu. They will also get the opportunity to converse with local people and learn more about Saga's unique place in Japan. Students can also participate in selected classes of the interface program of intercultural interaction. The main focus of each class is intercultural interaction between Japanese students and foreign students.



4) Others

Students can conduct research related to their specialty or interest areas under the guidance of an academic supervisor or under the guidance of an academic staff in the Organization for General Education.

⑦ A Timetable of Events

October : Opening Ceremony
Orientation
Welcome Party
November : Balloon Festival
Field Trip
December : Year End Party
Med-February : Spring Vacation
April : Second Semester Start
Field trip
May : Gatalympic
June : Culture hours
August : Summer Vacation
Sakae no Kuni Matsuri
Closing Ceremony
Farewell Party



⑧ Supervision

1) Course Coordinator
NAKAYAMA, Akiko
Associate Professor, Ph. D.
e-mail: anakayam@cc.saga-u.ac.jp
Associate Professor of Organization for General Education & Concurrently Appointed Professor to Section of Student Exchange at CPIE

2) Staff of the Center for Promotion of International Exchange, in cooperation with the Health Care Center, provide guidance in regards to student welfare at Saga University.

3) The student tutor will help students taking the course with their daily life in Saga, studies and communication in Japanese. Each student tutor will be assigned to one student.

⑨ Requirements for Completion of the Program, and Certificate of Completion

A certificate of completion is awarded and issued to the students who meet the following stipulations:
1) Two credits in Field Work on Japanese Affairs in each semester.
2) Two or more credits in Japanese language courses for the year.
3) Two or more credits in interface program courses
4) Ten or more credits in elective courses offered by each faculty.

Students are credited in each course of the Program. They may receive recognition in their home universities for credits obtained during the Program based on the academic transcript issued by Saga University.

◇Accommodations

Foreign students usually live in: 1) International House (one-year lodging, 8,100 yen/month for single use) ; 2) Lodging House supported by the NPO corporation (more less 20,000 yen/month) ; or 3) a local apartment.

Students in the past have rented local apartments with basic electrical home appliances such as a refrigerator and/or a washing machine in 15,000～30,000yen/month range.

◇Follow-up for program graduates

We are proud of our former international students: a past student is now working for a Japanese company in her home country using the skills and knowledge which she gained at Saga University.

Quite a number of our students who studied at Saga University as short-term international student came back to Saga University or have attended other top ranking Japanese Universities to study in graduate school.

Some past international students who studied here as undergraduate students have returned to their home countries where they have found jobs at Japanese companies such as Yamato Transport CO. or Suzuki. Others have found work where their Japanese skills and knowledge are needed. And some come back for graduate studies at Saga University.

◇Contact

Center for Promotion of International Exchange
International Affairs Division,
Academic Research Cooperation Department, Saga University
1Honjo-machi, Saga City, Saga Pref. 840-8502 Japan
TEL 81-952-28-8169 FAX 81-952-28-8819
Email: ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp

Center for Promotion of International Exchange
http://www.irdc.saga-u.ac.jp/ja/index.html
Saga University Homepage:
http://www.saga-u.ac.jp
Saga University Japanese Language and Culture Program Homepage:
http://www.irdc.saga-u.ac.jp/ja/interest/jresearch.html/





長崎大学（長崎県）

研修生の専攻に合った分野の科目を受講できるとともに、日本語能力に応じた
国際教育リエゾン機構の日本語・日本事情の科目を受講することもできる。

■大学紹介

①大学の特色および概要

長崎大学は、多文化社会学部、教育学部、経済学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、環境科学部、水産学部を持つ総合大学であり、6つの大学院（教育学研究科、経済学研究科、工学研究科、水産・環境科学総合研究科、医歯薬学総合研究科、熱帯医学・グローバルヘルス研究科）と2つの研究所（熱帯医学研究所・原爆後障害医療研究所）を有する教員数約3,100人、学生数約9,500人の国立大学である。
長崎大学は、長崎に根づく伝統的な文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献することを理念としている。



②国際交流の実績

長崎大学は海外の196の交流協定校と締結をしており、2015年10月1日現在、429名の留学生が所属する学部、研究科、国際教育リエゾン機構等の組織の中で勉学、研究に励んでいる。

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

（10月1日現在）

2015年：留学生数 429人
　　日本語・日本文化研修留学生 4人
2014年：留学生数 423人
　　日本語・日本文化研修留学生 4人
2013年：留学生数 429人
　　日本語・日本文化研修留学生 3人

④地域の特色

本学がある長崎市は九州の西端に位置し、青く澄んだ海と緑豊かな山々に囲まれ、気候も温暖な都市である。長崎港は、200年間に及ぶ日本の鎖国時代にあってもアジア、西欧との交易のために日本で唯一開かれていた。長崎市民はこのような国際交流の伝統を受け継いで開放的で人情味豊かであり、留学生にも非常に好意的である。

■コースの概要

①コースの特色

日本語・日本文化研修生という１年間の留学目的や身分に配慮し、本学の3つの学部（多文化社会学部、教育学部、経済学部）のうちから研修生の母国における専攻分野の学業目標達成を最も効率的に支援できる学部に所属してもらい、当該分野の指導教員の履修指導に基づいて研修生の希望に沿った科目等を履修するとともに、研修生の日本語能力に応じた国際教育リエゾン機構の日本語・日本事情科目も履修できる教育カリキュラム体制を準備している。

②受入定員

8名（大使館推薦 6名、大学推薦 2名）

③受講希望者の資格、条件等

（1）日本語能力試験のN2以上に合格しているか、それと同等以上の日本語能力のある者。（１年次在籍者を除く。）
（2）日本語・日本文化に関する分野を専攻している者。

④達成目標

（1）日本語能力試験N1に合格、あるいは、合格相当以上の日本語能力を修得する。

（2）講義や演習を通して日本文化の理解を深めるとともに、興味のあるテーマについて日本語で研究できる力をつける。

⑤研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は8月を予定

⑥研修科目の概要

(A) 日本語科目（中級～上級）－選択

中級Ⅱ会話	前期及び後期	90分授業15回
中級Ⅱ読解	前期及び後期	90分授業30回
中級Ⅱ作文	前期及び後期	90分授業15回
中級Ⅱ聴解	前期及び後期	90分授業15回
中級Ⅱ漢字	前期及び後期	90分授業15回
上級Ⅰ会話	前期及び後期	90分授業15回
上級Ⅰ読解	前期及び後期	90分授業30回
上級Ⅰ総合	前期及び後期	90分授業15回
上級Ⅱ総合A	後期	90分授業30回
上級Ⅱ総合B	後期	90分授業30回
上級Ⅱ総合C	前期	90分授業30回
上級Ⅱ総合D	前期	90分授業30回
日本語上級Ⅱb	後期	90分授業30回
日本語上級Ⅱa	前期	90分授業30回
日本事情	後期	90分授業15回

（注）授業は、他の留学生とともに受講する。

(B) 専門科目－選択

それぞれの専門に応じて、選択受講する。

・学部開講の科目

（例）日本を知る、アジア理解への扉、国語学概論
国語学史、国文学概論、近代文学、国文学史
古典文学、日本史通説、日本書道史、
日本語からたどる文化、比較文化論、
国際関係論、アジア経済論、国際経済学
国際金融関係論、日本企業論

（注）学部学生（日本人学生及び留学生）とともに受講する。

・国際教育リエゾン機構開講の科目

日本研究Ⅰ：人間と文化
日本研究Ⅰ：言語と社会
日本研究Ⅱ：人間と文化
日本研究Ⅱ：言語と社会

1)必須科目

専門科目については、所属学部の指導教員による履修オリエンテーションに基づき、履修を決定する。
日本語科目については、国際教育リエゾン機構の担当教員が履修ガイダンスを行う。
日本語科目は、全科目が選択科目である。

2)見学、地域交流等の参加型科目

・雲仙・島原見学旅行
・平和学習バスハイク

3)その他の講義、選択科目等

・教養教育自由選択科目

希望に応じて、教養教育の自由選択科目を受講することができる。

・日本語・日本事情等の科目については、国際教育リエゾン機構においてプレースメントテストを受け、その結果に基づいて履修科目を決定する。

⑦年間行事

10月　後期履修オリエンテーション・後期授業開始
　　雲仙・島原見学旅行
11月　平和学習バスハイク
　　長崎大学学園祭
12月　外国人留学生の集い
2月　後期授業終了
4月　前期履修オリエンテーション・前期授業開始
8月　前期授業終了



⑧指導体制

各人の専門分野により、担当教員を定める。担当教員は各人の専門分野について適宜、個別指導を行う。
日本語の学習については、国際教育リエゾン機構の教員（永井智香子准教授・松本久美子准教授・夛田美有紀准教授・古本裕美准教授）が指導・援助する。

⑨コースの修了要件、修了証書の発行

前・後期合わせて14コマ以上を履修し、合格した者には修了証書を発行する。

【文教キャンパス】



■宿　舎

長崎大学には、国際交流会館（西町本館・A棟・B棟）、坂本分館、国際学寮ホルテンシア（A棟・B棟）の留学生用宿舎が設置されている。
但し、数に限りがあるため、希望者全員が入居できないこともある。
その場合は、民間アパートを借りる。
留学生向けの居室数等は、以下のとおりである。
（2015年10月1日現在）

宿舎数

・単身室	64室
・２人シェア	12室
・４人シェア	118室

宿舎費

・単身室	￥8,177
	￥11,384
	￥20,589
・２人シェア	￥12,560／人
	￥12,516／人
・４人シェア	￥19,275／人
	￥22,000／人

■修了生へのフォローアップ

学術研究等の相談があった時は、メールやSNS等でいつでも応じる体制を取っている。

■問合せ先

長崎大学国際教育リエゾン機構事務室
〒852-8521
長崎県長崎市文教町1-14
TEL：095-819-2237（直通）
FAX：095-819-2125
Email：ryugaku@ml.nagasaki-u.ac.jp
長崎大学ホームページ
http://www.nagasaki-u.ac.jp
長崎大学国際教育リエゾン機構ホームページ
http://www.nagasaki-u.ac.jp/ryugaku/

【国際交流会館　（西町本館）】





Nagasaki University

Students can take subjects corresponding to their major field of study at home university as well as the Japanese language and Japanese culture related classes offered by the Liaison Center for International Education.

■ Introduction to Nagasaki University

①Characteristics and Outline of Nagasaki University

Nagasaki University consists of nine faculties (Global Humanities and Social Sciences, Education, Economics, Medicine, Dentistry, Pharmaceutical Sciences, Engineering, Environmental Sciences, and Fisheries) and six graduate schools (Education, Economics, Engineering, Fisheries and Environmental Sciences, Biomedical Sciences, and Tropical Medicine and Global Health), and two research institutes (Institute of Tropical Medicine and Atomic Bomb Disease Institute).

It is a national university with about 3,100 faculty members and about 9,500 students.

Nagasaki University aims at devoting itself to the development of harmonious society by inheriting the tradition of culture rooted in Nagasaki, fostering rich mind among the students, and creating new sciences to sustain global peace.

②Nagasaki University has 196 partner universities abroad. As of October 1, 2015, 429 international students are pursuing their research goals in various departments and the Liaison Center for International Education.

③Achievements in the past three years

(As of October 1)

2015 International Students: 429
Japanese Studies Student: 4

2014 International Students: 423
Japanese Studies Student: 4

2013 International Students: 429
Japanese Studies Student : 3

④Local Characteristics

The city of Nagasaki, where Nagasaki University is located, is situated at the western end of the Kyushu Island.

The city is surrounded by the clear-blue sea and rich green mountains, and the climate is very mild.

The port of Nagasaki was the only port that opened its window for trading with Asian and European countries when the Japanese government closed its doors to the world for approximately 200 years.

People of Nagasaki have inherited the tradition of international exchanges.

They are open-minded, warmhearted, and friendly to international students.

■Outline of the Course

①Characteristics of the Course

Considering the characteristics of this established program and its short study period of one year, students are to belong to any of the three faculties, Global Humanities and Social Sciences, Education, or Economics, whichever is closest to their major at their home university.

Supervisor helps his/her student to choose the most suitable subjects according to a study plan. Students are also given classes related to Japanese language and Japanese affairs depending on their Japanese comprehension.

②Maximum Enrollment: 8

Embassy recommended student: 6

University recommended student: 2



③Qualification for Enrollment

(1) Applicants must pass level N1 or level N2 of the Japanese Language Proficiency Test, or equivalent.
(Except for 1st year students)

(2) Applicants must major in a field related to Japanese language and Japanese culture.

④Goals and Objectives

(1) Applicants must pass Japanese language proficiency Test level N1 or acquire language skills equivalent to level N1.

(2) Applicants must gain a better understanding of Japanese culture through lectures and exercises as well as acquire an ability to research their own interest in Japanese.

⑤Training Period

October 1, 2016 – September 30, 2017
Graduation ceremony is held in August.

⑥Outline of Subjects

(A)Japanese Language
(Intermediate – Advanced) – Elective
Intermediate Japanese Ⅱ Conversation
First and Second Semester, 15 classes (90 min.)
Intermediate Japanese Ⅱ Reading
First and Second Semester, 30 classes (90 min.)
Intermediate Japanese Ⅱ Composition
First and Second Semester, 15 class (90 min.)
Intermediate Japanese Ⅱ Listening
First and Second Semester, 15 classes (90 min.)
Intermediate Japanese Ⅱ Kanji
First and Second Semester, 15 classes (90 min.)
Advanced Japanese I Conversation
First and Second Semester, 15 classes (90 min.)
Advanced Japanese I Reading
First and Second Semester, 30 classes (90 min.)
Advanced Japanese I Integrated Skills
First and Second Semester, 15 classes (90 min.)
Advanced Japanese Ⅱ Integrated Skills A
Second Semester, 30 classes (90 min.)
Advanced Japanese Ⅱ Integrated Skills B
Second Semester, 30 class (90 min.)
Advanced Japanese Ⅱ Integrated Skills C
First Semester, 30 class sessions (90 min.)
Advanced Japanese Ⅱ Integrated Skills D
First Semester, 30 class sessions (90 min.)
Advanced Japanese Ⅱ b
Second Semester, 30 classes (90 min.)
Advanced Japanese Ⅱ a
First Semester, 30 classes (90 min.)
Japanese Affairs
Second Semester, 15 classes (90 min.)
Note: Lectures are open for other international students as well.

(B) Specialized Subjects – Elective

According to student's major, he/she may select subjects from various options including following:

Subjects offered by the faculties (e.g.)
Learning about Japan, A Door to Understand Asia, Outline of the Japanese Language, History of Japanese Language, Outline of Japanese Literature, Modern Literature, History of Japanese Literature, Japanese Classical Literature, Common Belief of Japanese History, History of Japanese Calligraphy, Culture tracing from Japanese Language, Comparative Culture, International Relations, Asian Economics, International Economics, International Financial Relations, Japanese Business Theory
Note: Lectures are open for all regular under-graduate students.

Subjects offered by the Liaison Center for International Education
Japanese Studies I: Human and Culture
Japanese Studies I: Language and Society
Japanese Studies II: Human and Culture
Japanese Studies II: Language and Society

1) Compulsory Subject

Specialized subjects are to be selected under the guidance of supervisors.
As for Japanese subjects, the Liaison Center for International Education will give assistance.
Japanese courses are all elective.

2) Participatory subjects (Field trips and community exchanges)

・Field Trip to Unzen and Shimabara
・Peace Study (Learning peace-related issues on a field trip)

3) Other lectures and elective subjects

Students are free to select subjects from the elective subjects in general education.
Subjects on Japanese language and Japanese affairs are to be determined according to the placement test results conducted by the Liaison Center for International Education.



⑦Annual Event

October	Orientation for the Second Semester
	Beginning of the Second Semester
	Field Trip to Unzen and Shimabara
November	Peace Study
	School Festival
December	International Student Party
February	End of the Second Semester
April	Orientation for the First Semester
	Beginning of the First Semester
August	End of the First Semester

⑧Instructive System

Supervisor will be assigned according to a student's area of expertise. The supervisor will give individual guidance to the student.

【Bunkyo Campus】



Professors (Chikako Nagai, Kumiko Matsumoto, Miyuki Tada, and Yumi Furumoto) of the Liaison Center for International Education will help to select Japanese classes.

⑨Prerequisite for Course Completion and Certificate

A certificate will be given to those who have successfully completed a total of 14 subjects or more.

■Accommodations

Nagasaki University has dormitories prepared exclusively for international students, Nishimachi International Student House (Main Bldg., Bldg. A & Bldg. B), Sakamoto International Student House, and International Dormitory HORTENSIA (Bldg. A & Bldg. B).

When vacancies are not available, students must rent private apartment.

The number of rooms available for international students are as follows (As of October 1, 2015):

Number of Rooms:

-Single room	64 rooms
-Two-bed room	12 rooms
-Four-bed room	118 rooms

Rent:

-Single room	¥8,177	¥11,384	¥20,589
-Two-bed room	¥12,560/person	¥12,516/person	
-Four-bed room	¥19,275/person	¥22,000/person	

■Follow-up for Graduates

Supervisors are always ready to provide academic assistance to the former students through emails, SNS, etc.

■Contact

Liaison Center for International Education
Nagasaki University
1-14 Bunkyo
Nagasaki 852-8521
Japan
TEL: +81-95-819-2237 (Direct Number)
FAX: +81-95-819-2125
E-mail: ryugaku@ml.nagasaki-u.ac.jp

Nagasaki University:
http://www.nagasaki-u.ac.jp
Liaison Center for International Education:
http://www.nagasaki-u.ac.jp/ryugaku/

【Nishimachi International Student House】





熊本大学 （熊本県）

熊本大学 Kumamoto University　TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN

豊かな自然と歴史のある熊本で、日本語や日本文化を学んでみませんか。日本文化に関するさまざまな分野の授業を日本人と一緒に受けて、日本への理解を深め、将来の研究に向けた基礎を作りましょう。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

熊本大学は、夏目漱石やラフカディオ・ハーン（小泉八雲）も教えたことのある旧制第五高等学校を母体とする、伝統ある国立の総合大学です。現在、7学部・8大学院があり、約10,000人の学生及び約2,600人の教職員がいます。また、2014年には、文部科学省から、スーパーグローバル大学創成支援事業の対象校に選ばれました。

② 国際交流の実績

2015年11月10日現在、38か国1地域の189大学・機関と国際交流協定を結び、学生交流及び研究者交流を行っています。

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2015年：留学生数 532人
日研生＜国費＞ 11人（カンボジア、タイ、ラオス、ベトナム、ブラジル、スペイン、フランス、トルコ、ポーランド、インドネシア）
2014年：留学生数 470人
日研生＜国費＞ 8人（インドネシア、シンガポール、ラオス、ブラジル、オーストリア、ポーランド、タイ）
2013年：留学生数 445人
日研生＜国費＞ 8人（オランダ、クロアチア、ポーランド、ブラジル、タイ、ラオス、インドネシア）
＜私費＞ 1人（中国）



④ 地域の特色

自然豊かな熊本は、東には、2014年に世界ジオパークに認定された阿蘇山があります。熊本市の中心には日本三大名城の一つである熊本城があります。西には、豊かな海に囲まれた美しい天草諸島があります。

■コースの概要

① コースの特色

各学生の目的に合わせ、2つのコースを準備しています。

(1) 日本語能力向上コース

科目群	取得単位数	備考
日本語科目	12単位以上	1年間で合計26単位以上を取得すること。
日本事情科目	2単位以上	
研究科目 ①日本語研究科目 ②日本文化研究科目 ③日本文学研究科目 ④日本社会研究科目	①～④から4単位以上	
自由選択科目	日本語科目、日本事情科目、研究科目の科目群から8単位以上	

＊指導教員が認めた日本語による学習成果物を提出すること。

(2) 日本事情・日本文化研究コース

科目群	取得単位数	備考
日本語科目	6単位以上	1年間で合計26単位以上を取得すること。
日本事情科目	2単位以上	
研究科目 ①日本語研究科目 ②日本文化研究科目 ③日本文学研究科目 ④日本社会研究科目	①～④から8単位以上	
自由選択科目	日本語科目、日本事情科目、研究科目の科目群から10単位以上	

＊修了レポートを提出し、口頭試問に合格すること。

② 受入定員

15名（大使館推薦 10名、大学推薦 5名）

③ 受講希望者の資格、条件等

日本語・日本文化を専攻し、自国の大学で少なくとも２年間日本語を学習していること。本学のレベル４（日本語能力試験N3-N2レベル相当）以上が望ましい。

④ 達成目標

さまざまな体験を通じて、日本の社会や文化に対する知見を深め、特に「(1)日本語能力向上コース」では、日本語能力を高め、社会で役立つ日本語・日本文化の知識を身につけることを目指します。一方、「(2)日本事情・日本文化研究コース」では日本を対象とした研究を行う上で必要となるスキルを身につけます。

⑤ 研修期間

2016年10月1日 ～ 2017年9月30日
閉講式は2017年9月予定



夏目漱石像とH27年10月入学日研生

⑥ 研修科目の概要

日本語科目、日本事情科目、研究科目（日本語研究科目、日本文学研究科目、日本文化研究科目、日本社会研究科目）があります。

※研修科目は追加・変更になる場合があり、本コースガイドに記載のない科目についても修了要件として認められることもあります。

1)必須科目

＜日本語科目＞
・日本語能力向上コース　　12単位、360時間以上
・日本事情・日本文化研究コース　6単位、180時間以上

「聞く・話す・読む･書く」の4技能について、日本語能力の向上を目指します。1～6レベルのクラスが技能別に開講されています。学期はじめのプレースメントテストの結果や学生の希望に基づいて、受講するクラスを決めます。

[主な科目]

中級会話

依頼する、誘う、断るなどコミュニケーションに必要な表現や言葉を、ロールプレイを通して学びます。

中上級読解

日本社会や文化について書かれた文章を正確に読み取るための読解のストラテジーを学びます。

上級レポート作成法

研究レポートのテーマ探しから作成・発表まで、実際に書きながら段階を踏んだ学習ができます。

＜日本事情科目＞・各コース　2単位 30時間以上
日本の歴史、教育、言語、民俗、政治、法律や建築、機械、エネルギー、環境問題といった日本の社会と文化、科学技術について基本的な知識を得ます。

[主な科目]

日本の社会と文化 ※

教育、近代日本の歩み、法律、熊本の民族文化、日本語と方言、政治風土をテーマに各学部の教員が授業を行います。

日本の科学技術 ※

日本の先端技術、建築文化、機械技術、環境問題などをテーマに各学部の教員が授業を行います。

※ 施設見学も実施予定

2)選択科目、その他
・日本語能力向上コース　　4単位　60時間以上
・日本事情・日本文化研究コース　8単位 120時間以上

＜日本語研究科目＞
日本語の文法･音声･音韻･語彙などを通時的･共時的に分析･考察します。

[主な科目]

日本語学概論Ⅰ

大学で初めて出会う「日本語学」の講義として，現代日本語の全体像を理解できるよう、日本語学の基本的な事項について学びます。

国語学概説Ⅱ

日本語文法の理論と文章表現を学びます。

※その他、日本語学概論Ⅱ、日本語文章作成など

＜日本文学研究科目＞
日本文学に関する諸問題の考察を通じ、研究における様々な視点や方法を学びます。

[主な科目]

日本文学概論Ⅱ

日本文学の流れをたどりながらその特質について概観するとともに、日本文学をいかに研究するか、その基本的な知識、姿勢、方法について学びます。

日本語日本文学入門

日本語あるいは日本文学を研究することの意義と方法について概観します。共通語と方言、書き言葉と話し言葉、古典文学と絵画、物語と和歌などをとりあげます。

日本語文章読解

日本の小説や随筆文、論説文をいくつか抜粋して取り上げ、それらを語彙や文体に注意しながら読みます。学んだことをもとに自分の考えを日本語で表現します。

※その他、日本文学概論Ⅰなど



＜日本文化研究科目＞
日本の歴史や文化をテーマとした基礎的な知識や専門的な研究のための視点を学びます。

[主な科目]

日本史概説Ⅱ

日本の近世から近代にかけての政治と社会の動きを具体的に探り、日本近世・近代史の基礎を理解すると共に現代社会の基盤に対する理解を深めます。

民俗学概論Ⅰ

日常生活の中の様々な習慣が、いつ、どのように作り出されたのか、近代国家成立によってどう変化したのか理解し、伝統的習慣をどう考えるべきかを学びます。

文化史概説Ⅰ

明治維新から敗戦までの日本近代思想史を学ぶことによって、日本近代思想史の基礎知識を習得すると共に、歴史認識を再考する手がかりを学びます。

日本の文化と社会

日本の社会、文化、歴史などについて基礎的な知識を習得します。授業で扱うテーマや素材は、参加者同士で話し合って随時決めます。

※その他、日本史概説、社会学特講など

＜日本社会研究科目＞
現代日本の諸問題を、政治、教育をはじめとする様々な視点から分析･考察します。

[主な科目]

地域社会学概論Ⅰ

社会の基本構造である家族と地域社会の構造と機能について、また地域社会の「原型」について学びます。明治以降の近代化・産業化についても触れます。

地域社会学概論Ⅱ

戦後大きく変動してきている日本の地域社会の諸問題の課題や解決策などについて、現実的対応に焦点をおいて、具体的な事例を用いて考察します。

憲法Ⅰ（基本的人権）

日本国憲法における人権について理解します。

憲法Ⅱ （統治機構）

日本の統治機構について理解します。

人文地理学特講

熊本市内の地理学巡検

※その他：社会学概説、教育社会学、民法入門、教育学概論、教育史など

⑦ 年間行事

＜秋学期　10月～3月＞

9月末	開講式
10月	ウェルカムパーティ 熊本市内文化探訪
12月	文楽鑑賞（清和村） 留学生交流パーティ 冬期休暇
1月～2月	定期試験
2月	研修旅行
2月～3月	春期休暇

＜春学期　4月～9月＞

7月～8月	定期試験
8月	日本語による学習成果物提出/ 修了レポート提出＆口頭試問 水前寺公園で能鑑賞
9月	閉講式





＜＜熊本大学の宝＞＞



小泉八雲（Lafcadio Hearn）翻訳
ちりめん本

明治時代に出版された「ちりめん本」と呼ばれる昔話の絵本です。日本文化を伝える品として英語や、ドイツ語、フランス語やスペイン語に翻訳されました。

写真は、小泉八雲が翻訳したちりめん本です。ヘボン式ローマ字の創始者J.C.ヘボンや、日本古典文学研究者B.H.チェンバレンなどが翻訳したちりめん本とともに熊本大学の図書館に収蔵されています。

⑧ 指導体制

学生は、専門に合わせて各学部（文学部、法学部、教育学部等）に所属します。

学生1名に対し所属する学部の指導教員1名と日本語担当教員1名の2名体制で共同指導を行います。

○指導教員

氏名	職名	専門分野
堀畑　正臣	教授	日本語学（日本漢語研究）
伊藤　洋典	教授	日本政治思想
福澤　清	教授	言語の比較対照研究、ハーンと漱石に関する比較文化論的研究
坂口　至	教授	日本語史・九州方言
児玉　望	教授	言語学・音声学
松浦　雄介	教授	社会学
稲葉　継陽	教授	日本中世史･近世史
木下　尚子	教授	考古学
三澤　純	准教授	日本近現代史
坂元　昌樹	准教授	日本近現代文学
ﾊﾞｳｱｰ ﾄﾋﾞｱｽ （1998-1999年日研生）	准教授	日本の宗教・哲学、比較思想史
茂木　俊伸	准教授	日本語学（現代日本語文法）
鈴木　寛之	准教授	民俗学

＊その他、教員が学生の専門に合わせて指導にあたります。

○プログラム実施委員

日本語・日本文化研修留学生の受け入れ、年間授業計画、成績判定、修了認定のために、全学からの委員による委員会が組織されています。

⑨ コースの修了要件、修了証書の発行

1年間に26単位以上を取得し、指導教員が認めた日本語による学習成果物を提出、または修了レポートを提出し、かつ口頭試問に合格した学生には修了証書を与えます。

■宿　舎

キャンパスから東に1.5kmほどのところに、留学生のための寮「熊本大学国際交流会館」があります。200人以上の留学生や研究者が住んでいます。宿舎から大学までは自転車で10分くらいです。

＜部屋タイプ＞　単身室
＜設備＞　キッチン・シャワー・トイレ・クローゼット・エアコン・ベッド・冷蔵庫・IHクッキングヒーター・机・いす・電話機（受信専用）等
＜寄宿料＞　月額 17,000円(水道・光熱費を含まない)
＊料金は、変更になる場合があります。
＊その他、入居時に預託金、退去時に清掃費・鍵交換費が必要です。
ふとんリース：約10,000円／年
インターネット：別契約





国際交流会館の外観と室内

■修了生へのフォローアップ

SNS等を活用して、修了者との交流を継続しています。

＜修了後の進路例＞
・大学院（母国・日本）進学
・日本企業勤務・日本語翻訳者
・大学教員

■問い合わせ先

熊本大学　国際戦略ユニット
住所　〒860-8555　熊本県熊本市中央区黒髪2-40-1
電話　+81-96-342-2103/2133（直通）
FAX　+81-96-342-2130
E-mail　gji-ryugaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学グローバル教育カレッジホームページ
http://www.c3.kumamoto-u.ac.jp/
熊本大学ホームページ
http://www.kumamoto-u.ac.jp/
日研生ホームページ
http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu/gaikokujinryuugakusei/kyouikuprogram/japanese_studies_program



Kumamoto University (Kumamoto)

熊本大学 Kumamoto University

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN

Kumamoto is rich in natural beauty and historical heritage.

Study with Japanese students and acquire fundamental knowledge for your research.

■Introduction

① Characteristics and overview

Kumamoto University is a national university established in May 1949 from several institutions, including the Fifth High School where Lafcadio Hearn and Soseki Natsume had taught. Now, we have 7 undergraduate departments and 8 graduate schools with about 10,000 students and about 2,600 staff. In 2014, we were selected for the MEXT Top Global University Project.



② International Exchanges

As of November 10, 2015, Kumamoto University has international exchange agreements with 189 colleges, universities and institutions in 38 countries and 1 region.

③ The Number of International Students and MEXT Japanese Studies Students

In 2015: 532 International Students,
11 MEXT Japanese Studies Students
(Cambodia, Thailand, Laos, Vietnam, Brazil, Spain, France, Turkey, Poland, Indonesia)

In 2014: 470 International Students,
8 MEXT Japanese Studies Students
(Indonesia, Singapore, Laos, Brazil, Austria, Poland, Thailand)

In 2013: 445 International Students
8 MEXT Japanese Studies Students
(Netherlands, Croatia, Poland, Brazil, Thailand, Laos, Indonesia)
and 1 privately funded student from China

④ Kumamoto Overview

Kumamoto has Mt. Aso in the east which was selected as a global geo park in 2014. Kumamoto Castle is located in Kumamoto City. In the west, there is a beautiful national park of Amakusa Islands.

＊From website of National Diet Library

■Program Outline

① The two programs:

(1) Japanese Language Intensive Program

Subjects	Number of Credits	Note
Japanese Language	12 or more credits	In total 26 credits or more in a year
Japanese Studies	2 or more credits	
Research Subjects ①Japanese Language Research ②Japanese Culture Research ③Japanese Literature Research ④Japanese Society Research	4 or more credits from ① to ④	
Elective Subjects	8 or more credits*	
An essay in Japanese which is approved by a supervisor is required.		

(2) Japanese Studies and Japanese Culture Program

Subjects	Number of Credits	Note
Japanese Language	6 or more credits	In total 26 credits or more in a year
Japanese Studies	2or more credits	
Research Subjects ①Japanese Language Research ②Japanese Culture Research ③Japanese Literature Research ④Japanese Society Research	8 or more credits from ① to ④	
Elective Subjects	10 or more credits*	
A course completion report and an oral examination are required.		

＊Elective subjects may be chosen from Japanese Language, Japanese Studies, and Research Subjects.

② The Number of Students to be Accepted: 15

・By Embassy Recommendation: 10
・By University Recommendation: 5

③ Qualifications and Requirements

・The students must be majoring in Japanese language or Japanese culture and have completed at least two years of Japanese language studies at their home university.
・450 or more hours of Japanese language study or JLPT N3–N2 or above is preferred.

④ Program Goals

・To improve one's proficiency in Japanese language necessary for academic research as well as community life (equivalent to N1 of JLPT).
・To acquire knowledge and methodologies necessary for various fields of Japanese studies.
・To deepen understanding of various aspects of Japanese society and culture through various experiences in Japan.

⑤ Duration of the Program

October 1, 2016 – September 30, 2017
Closing ceremony will be held in September, 2017.



⑥ Program Outline

Each program consists of Japanese Language, Japanese Studies and Research Subjects (Japanese Language, Japanese Literature, Japanese Culture and Japanese Society).

*Note that the classes are subject to change, and that classes not shown on this course guide may be able to be approved as a program completion requirement.

1) Required Subjects

＜Japanese Language＞

・Japanese Language Intensive Program:
12 credits, 360 hours or more

・Japanese Studies and Japanese Culture Program :
6 credits, 180 hours or more

The aim of the classes is to improve your Japanese language proficiency. Various types of classes to improve your skills in listening, reading, speaking, and writing are offered. You will choose appropriate classes based on your interests and the result of the initial placement test in each semester.

[Subject example]

Intermediate Conversation
Through role playing, students will learn useful expressions in various situations such as requesting and apologizing.

Upper Intermediate Reading
The class will help students to gain reading strategies so that they can read authentic texts on their own.

Academic Writing
Students will learn how to write an academic paper step by step. They will write their papers and make an oral presentations.

＜Japanese Studies＞

・In both programs more than 2 credits / 30 hours of classes are designed to acquire fundamental knowledge of Japanese history, education, language, folklore, politics, law, leading-edge technology, architecture, machine technology and environmental issues in Japan.

[Subject example]

Japanese Society and Culture*
Students will learn Japanese education, modernization, law, politics, Kumamoto folklore and Japanese dialects.

Science and Technology in Japan*
Students will learn Japan's leading-edge technology, architecture, machine technology and environmental issues.
*A field trip is included.

2) Elective Subjects, and Other subjects

・Japanese Language Intensive Program: 4 credits, 60hours or more

・Japanese Studies and Japanese Culture Program:
8 credits, 120 hours or more

＜Japanese Language Research＞

Synchronic and diachronic analysis of various characteristics such as phonemes, grammar, meaning and vocabulary of the Japanese language from a linguistic point of view.

[Subject example]

Introduction to the Japanese Language I
Students will learn the fundamentals needed for studying modern Japanese language; discussing it from phonological, grammatical and lexical viewpoints.

Introduction to the Japanese Language II
Students will learn the theory of Japanese grammar.

Other subjects: Composition in Japanese, etc.

＜Japanese Literature Research＞

Through studies of several topics in Japanese literature, students will acquire points of view and methodologies necessary for literature.

[Subject example]

Introduction to Japanese Literature II
Lectures will be given on the nature of Japanese literature, based on its history. They will help students learn basic knowledge and advanced academic approaches for studying Japanese literature.

Introduction to Japanese Language and Literature
Lectures will focus on the significance and methodology of studying Japanese language and literature. They will deal with standard Japanese and dialects, written and spoken languages, storytelling, literature and '*waka*'–poems.

Other subjects: Reading of essays, novels, article ,etc.

＜Japanese Culture Research＞

Students will acquire fundamental points of view and methodologies necessary to gain further knowledge about Japanese history and culture.

[Subject example]

Introduction to the History of Japan II
Students will learn the fundamentals of early modern Japan, up to the present day, through exploring the social and political movements of the times.

Introduction to Japanese Folklore I
You will see the change of various customs by way of the formation of modern society. Also you will learn how to interrelate those traditional customs with the modern society.

Introduction to the History of Culture I
Students will learn the history of modern Japanese from the Meiji Restoration to the end of World War II to criticize commonly accepted theory.

Japanese Culture and Society
Students will learn the basics of Japanese society, culture and history. The subjects and materials for discussion will be decided by the students.

Other subjects : Introduction to Japanese History, Sociology, etc.



＜Japanese Society Research＞

Classes are designed to analyze current social issues of politics and education in Japan.

[Subject example]

Introduction to Regional Sociology I
Lectures will be given on the structure and function of families and regional societies – the basic structural factors of society in Japan, and further on the 'prototype' of regional society.

Introduction to Regional Sociology II
Lectures will be given on the problems in Japanese regional societies after World War II and their solutions. Case studies will be used for discussions.

Constitution I (Fundamental Human Rights)
Lectures will be given on the history of Japanese Democracy.

Constitution II (Government Mechanism)
Lectures will be given on the Japanese Government system.

Selected Topics in Human Geography
Students will study the geography of Kumamoto through city excursions.

Other subjects: Introduction to Sociology, Sociology of Education, Introduction to the Civil Law, Introduction to Education, History of Education, etc.

⑦ Annual Events

<Fall Term　Oct.– Mar. >

End of Sep.	Opening Ceremony
Oct.	Welcome Party
	Kumamoto City Cultural Excursion
Dec.	Watch *Bunraku* in Seiwa
	International Student Party
	Winter Vacation
Jan.–Feb.	Final Examinations
Feb.	Field Trip
Mar.	Spring Vacation

<Spring Term　Apr. – Sep. >

Jul.–Aug.	Final Examinations
Aug.	Submission of an Essay in Japanese/ Submission of a Program Completion Report & Oral Examination
	Watch *Noh* in Suizenji
Sep.	Closing Ceremony





<<KU TREASURE >>



translated
***Chirimen* books (crape book)**

These are picture-book of the fairy tales called "*Chirimen* book" published in the Meiji Era.
It was translated into English, German, French, or Spanish to explain Japanese culture.
Kumamoto University Library has the collection of these *Chirimen* books, some of were translated by Koizumi Yakumo, J.C. Hepburn, the founder of a Hepburn system Roman alphabet, and B.H. Chamberlain, a Japanese classical literature researcher.

⑧ Support

Students will be assigned to a faculty (Literature, Law, Education, etc). A faculty teacher and a Japanese language instructor will co-teach and act as your supervisors.

○Academic Advisors from Faculties

Name	Position	Major
HORIHATA, M.	Professor	Japanese Linguistics (Japanese Kango Research)
ITO,　H.	Professor	Japanese Political Thought
FUKUZAWA, K.	Professor	Contrastive Linguistics, Comparative Cultural Studies on Lafcadio Hearn & Natsume Soseki
SAKAGUCHI,　I.	Professor	Japanese Language History, Kyusyu area Dialect word
KODAMA, N.	Professor	Linguistics, Phonetics
MATSUURA, Y.	Professor	Sociology
INABA, T.	Professor	Japanese Medieval & Early Modern History
KINOSHITA, N.	Professor	Archaeology
MISAWA, J.	Associate Professor	Japanese Modern History, Contemporary　History
SAKAMOTO, M.	Associate Professor	Japanese Modern Literature
BAUER, T. *MEXT student of 1998–1999	Associate Professor	Japanese Religion and Philosophy, Comparative History of Ideas
MOGI, T.	Associate Professor	Japanese Linguistics (Modern Japanese Grammar)
SUZUKI, H.	Associate Professor	Folklore-Studies

＊Other teachers will support students according to their specialized fields.

○ Program Committee

Committee members are selected from professors of various faculties. They are in charge of accepting Japanese Studies students, evaluating students' achievement and certificating their completion.

⑨ Certificate of Program Completion

Students who have earned 26 credits during the academic year, have submitted an essay in Japanese which is approved by a supervisor is required or a program completion report and have passed an oral examination will receive a certificate.

■Accommodation (International House)

The dormitories for 200 international students are located about 1.5 km east of the main campus.
<Room Type>　Single Room
<Facilities and Equipment>
Kitchen, shower and toilet, closet, air conditioner, bed, refrigerator, IH cooking heater, desk, chair etc.
<Rent>　¥17,000/month (excluding utilities)*
　　*The rent will be subject to change.
Other Expenses: Move-in deposit, room cleaning and key change fee (moving-out), *Futon* Lease (about 10,000yen/year) and internet (optional)



International House



■Follow-Up (Career Path)

We continue to interact with former students through the internet.

After graduation:
・Going to graduate school in Japan
・Working in Japanese company
・Japanese translators
・University teachers

■For Further Information

International Student Office, Kumamoto University
2-40-1 Kurokami, Chuo-ku, Kumamoto-city
860-8555 Japan
TEL: +81-96-342-2103/2133;　FAX: +81-96-342-2130
E-mail: gji-ryugaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp
College of Cross-Cultural and Multidisciplinary Studies URL
http://www.c3.kumamoto-u.ac.jp/en/
Kumamoto University URL
http://www.kumamoto-u.ac.jp/
Japanese Studies Program URL
http://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu/gaikokujinryuugakusei/kyouikuprogram/japanese_studies_program



大分大学 （大分県）

歴史豊かな大分の地で、日本語・日本文化の知識を高め、日本研究の進歩に貢献しよう！

■大学紹介

① 大学の特色および概要

大分大学（以下「本学」）は、５学部（教育学部、経済学部、医学部、工学部、福祉健康科学部）、５大学院（教育学、経済学、医学系、工学、福祉社会科学研究科）からなり、2015年度現在、学部5013人、大学院生669人が学ぶ国立大学法人です。

その緑に囲まれたキャンパスでは、「創造性や人間性に富む人材の育成」、「国際社会の平和と発展への貢献」、「人類の福祉と文化の創造」を理念とした教育が実践されており、少人数制の教育の下、教員やスタッフと親密な関係が築け、日本人学生との交流も活発に行うことができます。

② 国際交流の実績

本学は、現在21の国と地域の64大学と学生交流協定を結んでおり、144人の留学生が学んでいます。

本学の日研生プログラムは2004年から始まり、毎年日研生を受け入れてきました。このプログラム以外にも、協定校からの短期留学生を対象とした交換プログラムがあり、**アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、中国、韓国などから、毎学期約60人の交換留学生が本学で学んでいます**

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数144人、日本語・日本文化研修留学生5人（大使館推薦2人、大学推薦3人）

2014年：留学生数152人、日本語・日本文化研修留学生4人（大使館推薦1人、大学推薦3人）

2013年：留学生数156人、日本語・日本文化研修留学生5人（大使館推薦2人、大学推薦3人）

④ 地域の特色

そして、知っていましたか？ 大分県の人口10万人当たりに占める**留学生の数は2014年度現在、日本で２番目なんです**。**大分県は留学生にとても好かれている県**であるわけなんです。

大分県は九州東部にあり、県庁所在地は大分市。人口約４７万人の地方都市ですが、 **大都市に比べて物価が安く**、人々も親切で、留学生には生活しやすいところです。県内には、別府や湯布院など、全国的にも名高い温泉地があり、近年はアジアからの観光客にも人気を博しています。年間平均気温は約17℃と、温暖で過ごしやすく、**四季おりおりの海や山の美しさを堪能することができます**。

大分の歴史も魅力的です。かつて大友宗麟が大分地方をおさめていた時、**今の大分市は日本を代表する国際都市であった**のです。そして、更に大分の歴史は11世紀から12世紀にかけて彫られた臼杵の石仏（国宝）、8世紀に建立された宇佐神社へとさかのぼることができます。

■コースの概要

① コースの特色

日本語・日本文化研修留学生（以下「日研生」）コースは、

1) 日本語・日本文化に関する高度な知識の習得を目指し、
2) 日本語・日本文化研究の進歩に貢献し、
3) あなたの国と日本との相互理解の促進に貢献する意思のある

外国人留学生のためのコースです。

本学日研生コースにおける日研生の最も重要なタスクは、日本語・日本文化に関わるテーマを一つ選び、指導教員の指導の下、調査・研究の仕方、日本語での論文の書き方を学びながら、**1年かけて論文を書き上げる**ことです。**指導教員、チューター、日研生がチームを組んで論文指導は行われますので、安心して論文を書き上げることができます**。

また、この論文作成と並行して、中級（レベル4）から最上級までの日本語科目、ならびに、国際理解教育科目「表現技術」の中から自らのレベル・目的に合った科目を選択し、**日本語のさらなる習得**も行います。日本語上級の日研生は、**本学日本人学生が学ぶ教養・専門課程科目の受講も可能**です。また、将来日本研究の論文を英語で発表してみようと考えている日研生は、**英語で講義が行われるIPOU科目の選択も可能**です。最後に、**地域の祭りや研修旅行などに参加**し見聞を広められることも本学日研生コースの魅力です。

② 受入定員

５名（大使館推薦２名、大学推薦３名）

③ 受講希望者の資格、条件等

1) 外国（日本以外）の大学で、日本語・日本文化に関する分野を主専攻あるいは副専攻としており、来日時点で日本語を300時間程度学習していること。ただし、日本語が母語でないこと。
2) 日本語で日常会話ができること。
3) 自分の得意な研究分野の日本語論文を辞書を使って読む能力を有していること。
4) 400字の長さの日本語エッセイを辞書を使って30分程度で書ける能力を有していること。
5) 日本語・日本文化をテーマに調査・研究を自主的に行う意欲があること。

④ 達成目標

1) 学術的目標

・論文の書き方を習得し、自ら専門の分野の論文を実際に執筆する。
・学術論文の書き方では、具体的には下記を学ぶ
- 序論・本論・結論の論理的繋がりの理解
- 理論構築とデータ収集のバランスのとり方
- 参考文献の提示の仕方
- テクスト内引用の方法

2) 日本語運用上の目標

・対人関係・場に配慮した、大人の日本語が理解でき、話せるようになる。

・大学の教養課程レベルで要求される日本語能力（レポート作成および発表）が身につく。具体的には、授業内容がわかり、レポートが書け、授業での発表ができるようになる。

・地域交流に必要な日本語が理解でき、話せるようになる。

⑤　研修期間
2016年10月1日　～　2017年8月31日
修了式は8月を予定（2015年は8月）

⑥　研修科目の概要
次に説明する必須・選択科目の中から、１週間に７科目以上受講する必要があります。それぞれの科目は、１週間に１コマ(90分)の開講で、日研生はコース修了時までに**少なくとも315時間の日本語・日本文化の研修**を受けることになります。

1）必須科目
・日本研究Ⅰ、II
「日本研究I」と「日本研究II」があります。どちらも必ず取らなければなりません。指導教員の指導の下、日本語・日本文化に関するテーマを一つ選び、調査・研究を行い、その成果を論文として「日本研究II」で提出します。

・日本語科目
プレースメントテストで受講するレベルが判定されます。日本語科目にはコンテント・ベースの特講（表１参照）と言語ベースの日本語４から日本語６（表２参照）の４レベルがあり、これらの日本語科目から原則として毎学期最低３科目は受講しなければなりません。

2)　見学、地域交流等の参加型科目
「学習ボランティア入門」では大分の地域ボランティア活動に参加できます。「大分の水I, II」では大野川水系を中心とした大分県内の水辺の環境

・地域づくりの実態を体験学習などを通じて学びます。（これらの科目は「教養科目」です。詳細は次項参照。）

3)　その他の講義、選択科目等
・国際理解教育科目「表現技術」など
「表現技術」は、日本人学生も受講する科目で、口頭発表の技術を学びます。(表1参照。)

・教養・専門科目（各学部開設科目）
指導教員の助言のもと、各学部の日本人学生のための教養教育科目や専門科目の中から、受講することができます。

・IPOU科目
英語を通じて日本社会・文化を学ぶコースで、授業はディスカッション中心。受講に当たってはIPOUコーディネーターの承認が必要です。

表１．特講（最上級日本語）および国際理解教育の科目名

科目名	内容	レベル
日本語特講4	日本のポピュラーカルチャー	上級-上（OPIレベル）
日本語特講5	レポート作成	上級-上（OPIレベル）
大分事情	大分県の特色	上級-上（OPIレベル）
言語と社会	日本語待遇表現他	上級-上（OPIレベル）
表現技術	コミュニケーション力増強	上級-上（OPIレベル）
日本語学I	日本語学概論	上級-上（OPIレベル）
日本語文法分析	認知言語学的視点で日本語分析	上級-上（OPIレベル）
ソーシャルネットワークと大分からの発信 Ⅰ、II	大分地域の自然と街並み観察	上級-上（OPIレベル）

表２．中級から上級までの日本語科目名

科目名	JLPTレベル
日本語4文法Ⅰ	N2
日本語4文法Ⅱ	N2
日本語4スピーキング	N2
日本語4読解Ⅰ	N2
日本語4読解Ⅱ	N2
日本語4作文Ⅰ	N2
日本語4作文Ⅱ	N2
日本語4応用	N2
日本語5文法Ⅰ	N1
日本語5文法Ⅱ	N1
日本語5スピーキング	N1
日本語5読解・作文Ⅰ	N1
日本語5読解・作文Ⅱ	N1
日本語6読解・作文Ⅱ	N1
日本語6スピーキング	N1

⑦　年間行事

10月　開講式、ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、ﾌﾟﾚｲｽﾒﾝﾄﾃｽﾄ
　　新留学生歓迎会
　　チューターとの研修旅行
　　CIERセミナー
11月　大学祭・地域開放イベント
　　日本語スピーチコンテスト・留学生フォーラム
12月　国際文化祭
　　ホストファミリーとの交流会
1月　ホームステイ
　　研修旅行（自衛隊訪問）
2月～3月　春休み
4月　チューターとの研修旅行
　　健康診断
5月　消防訓練
7月　大分大学七夕祭
　　ななせほむら祭り
　　留学生送別会
8月　大分市七夕祭り
　　修了式

⑧　指導体制

プログラムの責任教員は、国際教育研究センターの南里敬三、坂井美恵子です。個別研究指導はセンター教員が行いますが、それに並行して、指導教員から指導をうけたチューター（本学正規生）による学習支援も受けることができます。

個別指導の専門分野は、「日本語教育」、「日本語教授法」、「外国語教育論」、「応用言語学（CALL・動機・第2言語習得研究）」、「大分学（歴史・言語）」、「ジェンダー・スタディーズ」、「中間言語語用論」、「社会言語学（発話行為、ポライトネス）」、「日本文学（主に、近代・現代）」、「大衆文化研究」、「比較文化・文学理論研究」、「イデオロギーと談話構造の研究」、「システミック言語学」などです。

⑨　コースの修了要件

履修した科目に合格すると単位が認定されます。また、コースの修了者には、修了証書および成績証明書を発行します。

■宿　舎

日本人学生と一緒の学生寮に入居しますので日本語漬けの生活ができます。詳細は表３をご覧ください。

表３．学生寮の部屋代・設備など

部屋代（月額）	27,000円または22,000円　（全室一人部屋）
設備	机、椅子、ベッド（寝具なし）、クローゼット、ユニットバストイレ、ミニキッチン（冷蔵庫、ＩＨクッキングヒータ）、エアコン
部屋代以外の費用	・維持管理一時金　40,000円（入居時） ・光熱水費　約9,000円/月 ・インターネット料　2,000円/月（全員加入）

■修了生へのフォローアップ

日研生プログラム修了生は、ブログ、フェイスブック、スカイプ等のソーシャルメディア・プラットフォーム、及び、電子メールなどを通じて、修了後の更なる学術的指導、及び、進路相談が受けられます。また、フェイスブックを通して他の修了生との情報交換も行え、大分大学及び大分地域の最新情報も入手できるようになります。

■問い合わせ先

大分大学研究・社会連携部国際交流課
住所：〒870-1192　大分市旦野原700
TEL　：+81-97-554-7444
FAX　：+81-97-554-7437
E-mail：ryugaku@oita-u.ac.jp

国際教育研究センターホームページ
http://www.cier.oita-u.ac.jp

大学大学ホームページ
http://www.oita-u.ac.jp

日研生ホームページ
http://www.cier.oita-u.ac.jp/j/academic/kokuhi.html



平和市民公園能楽堂での狂言ワークショップ



Oita University(Oita)

Attain a High Level of Knowledge about Japanese Language and Culture, and Make a Academic Contribution to the Advancement of Japanese Studies, in the Historic Oita Region!

◇UNIVERSITY OVERVIEW

① About Oita University

Oita University's mission is to 'foster people rich in creativity and humanity, contribute to peace and development in the world, and promote human welfare and creating new culture.'

Oita University (hereafter "the university") has Faculties: Education , Economics, Medicine, Engineering; and Welfare and Health Science and it also has five graduate schools: Education, Economics, Medicine, Engineering, and Social Service Administration. As of 2015, the University has 5013 undergraduate students, 669 graduate students, and 580 friendly faculty members; classes are conducted with a small number of students, so international students enjoy a close relationship with the faculty and staff and have many opportunities to develop friendships with Japanese students.

② An International Atmosphere at Oita University

The University has concluded 64 agreements for student exchange with universities from 21 countries and regions. At present there are 144 international students studying at the University. The Japanese studies program began in 2004 and has accepted students to the program each year since. The University also has short-term exchange programs for students from our partner universities **from such places as the United States, Europe, Australia, China, and Korea. About 60 short-term exchange students participate in this program each semester**.

③ Numbers of exchange students and Japanese studies students accepted to the University during the last three years

2015: 144 exchange students, and 5 Japanese Studies Program student (2 by embassy recommendation, 3 by university recommendations)
2014: 152 exchange students, and 4 Japanese Studies Program student (1 by embassy recommendation, 3 by university recommendation)
2013: 156 exchange students, and 5 Japanese Studies Program student (2 by embassy recommendation, 3 by university recommendation)

④ About Oita Prefecture

Did you know that **Oita prefecture has the second highest ratio of international students to population in all Japan in 2014**? Oita prefecture is quite popular among international students.

Oita prefecture is in eastern Kyushu. The prefectural capital is located in Oita city, whose population is 470,000. With a low cost of living for a city of this size, and with kind people, Oita city provides international students with a high quality of life. The prefecture is nationally famous for its hot springs, found in such places as Beppu and Yufuin. Oita enjoys a moderate climate with an average yearly temperature of 17 degrees Celsius.

Oita's history is also fascinating. The city of Oita was once one of the largest international cities in Japan during the reign of Otomo Sorin. The history can further be traced back through the stone Buddha statues carved in Usuki (a designated National Treasure) carved from 11th to 12th centuries, and to Usa shrine constructed in the eighth century, and beyond.

◇ PROGRAM DETAILS

①The Japanese Studies program is designed for international students. These students (Japanese research students) should have the following objectives.

1) To attain a high level of knowledge about Japanese language and culture
2) To contribute to the advancement of research into Japanese language and culture
3) The desire to contribute to promoting mutual understanding between Japan and the student's own country

The most important task for Japanese research students is to produce a research paper over the course of a year of study. The student will select a theme related to Japanese language and/or culture, and will work under the guidance of an advising professor while also learning how to conduct research and investigations. **The advising professor, and an individual tutor, will form a team with the student to provide guidance and support throughout the researching and writing process.** The student will also learn how to write research papers in Japanese. In addition, while working on their research papers, Students will further advance their knowledge of Japanese by choosing and taking Japanese language courses and Education for International Understanding courses (Techniques of Expression) appropriate to their level and objectives. Students with a high level of Japanese proficiency can take university general education and specialized subject courses with Japanese university students. In addition, students who are considering presenting research papers in English can take IPOU courses that are conducted in English. Finally, the Japanese studies program uniquely offers many opportunities to broaden your horizons by participating in regional festivals and field trips.

②We accept up to 5 students to the Program. (Three students recommended by universities and two students recommenced by embassies)

③ Qualifications for Admission

・You must be studying at a university outside of Japan, and be majoring or minoring in fields related to Japanese or Japanese culture.
・You must have completed 300 hours of Japanese study at the time of your arrival in Japan.
・Your native language must be other than Japanese.
・You must be able speak Japanese at a level sufficient for ordinary conversation.
・You must have the ability to read articles in Japanese in your chosen area of research, with the use of a dictionary.
・You must be able to write a short essay in Japanese of about 400 characters in approximately 30 minutes, with the use of a dictionary.

・You must have the motivation to carry out independent research into your chosen research topics concerning Japanese language or culture.

④ Achievement Objectives

1) Scholarly Objectives

・To learn who to write research papers, and to be able to write research papers in ones chosen field of specialization

・To learn the following specific aspects of writing scholarly papers

–Understanding the logical connections between introduction, body, and conclusion

–How to balance a logical structure with data collection

–How to present reference materials

–The proper way of quoting text

2) Japanese Language Usage Objectives

・To be able to speak and understand standard adult Japanese that is appropriate to the situation and the relationships between people

・To enable you to acquire the Japanese ability required to take university level course work at a Japanese university. This ability would include being able to understand the contents of the course, to write reports, and to give presentations in class.

・To be able to speak and understand the Japanese necessary for interacting with the people of the region

⑤ Period of study

October 1, 2016– August 31, 2017

The completion ceremony is planned for August. (The 2015 ceremony was held in August.)

⑥ Course Content

You must take a minimum of seven courses per week, to be selected from among the required and elective courses explained below. (You will thus have **a minimum of 315 face-to-face contact hours to learn Japanese language and culture** over the year.) Please note that the "Japanese studies" course described in category one is a requirement. All of these courses meet once a week for 90 minutes.

1) Required Subjects

Japanese Studies: "Japanese Studies I" (fall semester) and "Japanese Studies II" (spring semester) are both required courses. Under the guidance of a faculty member you will select a theme related to Japanese language or culture, and will carry out investigation and research concerning this chosen topic. You will submit a research paper with the results of you research in "Japanese Studies II" in the spring semester.

Japanese Courses: Your Japanese language ability will be assessed in a placement test. Based on the results of this test, you will be placed in Japanese courses at an appropriate level. There are four levels of Japanese courses, including advanced level special courses. In principle Japanese studies students must take at least three courses Japanese language courses each semester.

2) Courses based on experiential learning and fieldwork in the local area

Students can participate in volunteer activities in Oita Prefecture through "Introduction to Volunteer Learning". "The Waters of Oita I, II" gives students the opportunity to learn through experiential learning about the circumstances of the environment surrounding the Oono river basin and the role that the river and the water it provides plays in regional development. (These courses are general education courses. For more details, see the following references.)

List 1. Advanced Level Special Courses and Education for International Understanding Courses

Classes	Content	OPI Level
Special Japanese 4	Contemporary Society and Popular Culture	Advanced
Special Japanese 5	Writing Academic Papers	Advanced
Discover Oita (Oita Jijō)	What Oita Prefecture is like	Advanced
Language and Society	How interpersonal relationships are encoded in the Japanese language	Advanced
Oral Presentation Skills	Effective ways of communication	Advanced
Japanese Linguistics I	An introduction to Japanese linguistics	Advanced
Analysis of Japanese Grammar	Analyzing Japanese language from a point of view of cognitive linguistics	Advanced
Social Networks and Introduction of Oita to the World I, II	Getting to know the nature and streets in Oita Prefecture	Advanced

3) Elective and Other Courses

・Education for International Understanding "Oral Presentation Skills": "Oral presentation skills" is a class where you will learn how to make oral presentations. Regular university students are also able to take this course. (See list 1.)

・General Education and Specialized Courses offered by Each University Department: You can take general education and specialized courses throughout the university, in accordance with the advice of your supervisor.

List 2. Japanese Language Courses

Classes	JLPT Level
Japanese 4 Grammar I	N2
Japanese 4 Grammar II	N2
Japanese 4 Speaking	N2
Japanese 4 Reading I	N2
Japanese 4 Reading II	N2
Japanese 4 Writing I	N2
Japanese 4 Writing II	N2
Japanese 4 Contextual	N2
Japanese 5 Grammar I	N1
Japanese 5 Grammar II	N1
Japanese 5 Speaking	N1
Japanese 5 Reading & Writing I	N1
Japanese 5 Reading & Writing II	N1
Japanese 6 Reading & Writing II	N1
Japanese 6 Speaking	N1

・IPOU Courses: With the approval of the IPOU coordinator, you can take IPOU courses in Japanese society and culture taught in English. These courses are discussion-centered. will improve your discussion skills in English.

⑦ Yearly Schedule of Events

October	Opening ceremony, orientation, and placement test Welcome ceremony for new exchange students Field trip with tutors CIER seminar
November	University festival Japanese speech contest Exchange student forum
December	International Culture Festival Meeting and party with host families
January	Homestay Field trip (visit self-defense force)
February-March	Spring break
April	Field trip with tutors Health examination
May	Fire prevention drill
July	Oita University Tanabata festival Nanase homura festival Exchange student farewell party
August	Oita City Tanabata Festival Closing Ceremony

⑧ Advising System

Associate Professors Keizo Nanri and Mieko Sakai from the Center for International Education and Research are in charge of the program. Other Center faculty also serve as academic advisors. In addition, Oita University undergraduate students are available to act as individual tutors, under the guidance of the academic advisor, and provide further academic support. The Center is available to advise you in the following specialized areas: Japanese language education theory of foreign language education, applied linguistics, Oita studies (history, language), gender studies, inter-language pragmatics, sociolinguistics (speech acts, politeness), Japanese culture studies (primarily current and modern), popular culture research, comparative culture and literary studies, Internet and discourse construction studies, systemic linguistics and so forth.

⑨ Recognition of Units

You will receive a certificate of completion of the program and a certification of grades for the courses that you have taken. You will also receive credit for the courses that you have completed and passed.

◇ HOUSING

Students will reside in a dormitory on campus together with Japanese students, so they **will be able to immerse themselves in a Japanese-speaking environment**. See List 3 for details.

List 3. Student Dormitory Room and Facilities Charges

Room Charge	27,000 or 22,000 yen /month (All rooms are single rooms.)
Facilities	desk, chair, bed (bedding not provided), closet, unit bath/toilet, mini kitchen (refrigerator, IH burner), heater/air conditioner
Additional Charges	maintenance fee one-time charge of 40,000 yen (due upon moving in); utilities approximately 9,000 yen/month; Internet 2,000 yen/month (required of all residents).

◇ Program Post-Completion Follow Up

Students who complete the Japan studies program will continue to receive advice about their research and further pursuing their academic careers through email and social media such as blogs, Facebook, and Skype. In addition, students can continue to exchange information with other students who have completed the program through Facebook, and stay up to date about Oita University and the Oita region.

◇ FOR FURTHER INFORMATION

International Office, Oita University
700 Dannoharu, Oita-shi, Oita-ken, 870-1192, Japan

TEL :+81-97-554-7444 FAX :+81-97-554-7437
E-mail ryugaku@oita-u.ac.jp

Center for International Education and Research Homepage:
http://www.cier.oita-u.ac.jp

Oita University's Homepage:
http://www.oita-u.ac.jp

Japanese Studies Students Homepage:
http://www.cier.oita-u.ac.jp/j/academic/kokuhi.html



Kyogen Workshop at Oita Noh Theatre



宮崎大学 (宮崎県)

「日本語」と「日本事情」のクラスを中心に講義を受けるとともに、指導教員が担当する専門分野の科目も受講し、直に日本人学生のものの考え方等に触れる機会をもつ。

◇大学紹介

宮崎大学は、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部の５つの学部と教育学研究科、看護学研究科、工学研究科、農学研究科、医学獣医学総合研究科、農学工学総合研究科の６つの大学院研究科で構成されている国立大学法人です。本学の概要は次のとおりです。

（１）課程･学科

◇教育学部:

学校教育課程

◇医　学　部:

医学科、看護学科

◇工　学　部:

環境応用化学科、社会環境システム工学科、
環境ロボティクス学科、
機械設計システム工学科、電子物理工学科、
電気システム工学科、情報システム工学科

◇農　学　部:植物生産環境科学科、森林緑地環境科学科、応用生物科学科、海洋生物環境学科、畜産草地科学科、獣医学科

◇地域資源創成学部:

地域資源創成学科



（２）学内共同教育研究施設

◇産学･地域連携センター
◇教育･学生支援センター
◇フロンティア科学実験総合センター
◇国際連携センター
◇産業動物防疫リサーチセンター
◇語学教育センター
◇IR推進センター

（３）学生入学定員及び職員数

◇学部生:4,739名　◇大学院生: 719名
◇教員:736名　◇事務職員:1,125名

（４）留学生

◇留学生数：188名（28カ国）
（平成27年10月1日現在）

◇日研生受入れ実績

2015年度　3名（大学推薦1・大使館推薦2）
2014年度　2名（大学推薦1・大使館推薦1）
2013年度　1名（大学推薦）
2012年度　1名（大使館推薦）
2011年度　1名（大使館推薦）

◇コースの概要

(1) 受入定員：５名（大使館推薦2名、大学推薦3名）

(2)　コース期間

(a) 実施期間：2016年10月1日－2017年9月30日

(b) 学　　期：
後期　2016年10月1日－2017年3月31日
前期　2017年　4月1日－2017年9月30日

(c) 休業期間：冬期　12月25日－1月7日
春期　　3月25日－3月31日
夏期　　8月　8日－9月30日





(3) 授業科目の概要（一般学生向け授業を受講）
(a) 必修科目　なし
(b) 選択科目
中級日本語 I－VI / 上級日本語 I－IV / 日本事情 I－VI
(c) 形態：研修生のニーズに応じて日本語科目等の中から
選択。専門科目については指導教員と相談の上、決定。
(d) 研修生は，日本語、日本事情の授業を研修生の日本語能
力に応じて受講するほか，各自の専門領域に関連する
科目を受講できる。その際，指導教員が専門内容につい
ての個別指導を行う。
(e) 授業時間数：各授業半期15回（30時間）

(4) 指導体制
(a) 教員：責任教員２名　　協力教員３名
(b) 個別指導：　日本語個別指導、専門の課外補講

(5) コースの修了要件、修了証書の発行
＊受講生の必要に応じて修了証を発行

(6) 受講条件：日本語初級修了程度

(7) 単位認定、単位互換等
*交流協定を締結している大学の学生は特別聴講生として受け
入れ単位互換を認めている。

◇宿　舎

＜学生寮＞

男 子 寮 100室、　女 子 寮 100室

＜国際交流宿舎＞

単 身 室　　167室
夫婦・家族室　8室

*過去3年間、日研生は全員国際交流宿舎（単身室）へ入居。宿舎に限りがあるため、応募者多数（特に家族連れでの留学）の場合は、抽選により決定する。

＜宿舎費(月額)＞

単身室　4,700円
夫婦室　9,500円　　家族室 14,200円

＜宿舎設備・備品＞

各部屋にベッド，机，椅子，クローゼット付



国際学生寮



＜周辺環境・通学時間＞

近隣にスーパー、コンビニ、レストラン
キャンパス内に宿舎有り。

◇問い合わせ先

大学所在地：

〒889-2192　宮崎県宮崎市学園木花台西１-1

担当部署：研究国際部国際連携課国際連携係

連絡先：TEL：0985-58-7134/FAX: 0985-58-7782
E-mail：　ryugaku@of.miyazaki-u.ac.jp

ホームページアドレス:

http://www.miyazaki-u.ac.jp

シラバス掲載アドレス:

http://www.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/



University of Miyazaki

(Miyazaki Prefecture)

The trainees mainly take the classes of 'Japanese language' and 'Japanese Culture.' In addition, they may take some classes of their major and have a chance to understand the way of thinking of Japanese students by exchanging opinions with them.

◇ University Overview

The University of Miyazaki is a national university consisting of four faculties (Education, Medicine, Engineering, Agriculture and Regional Innovation) and six graduate schools respectively attached to each faculty.

(1) Divisions and Departments

Divisions and Departments

◇ Education (Divisions):
Teacher Training

◇ Medicine (Schools):
Medicine, Nursing.

◇ Engineering (Departments):
Applied Chemistry
Civil and Environmental Engineering
Environmental Robotics, Mechanical
Design Systems Engineering
Applied Physics and Electronic Engineering
Electrical and Systems Engineering,
Computer Science and Systems Engineering

◇ Agriculture (Departments):
Agricultural and Environmental Sciences
Forest and environmental Sciences
Biochemistry and Applied Biosciences,
Marine Biological and Environmental Science
Animal and Grassland Sciences
Veterinary Science

◇ Regional Innovation (Departments):
Regional Innovation



(2) University Facilities:

◇ Center for Collaborative Research & Community
◇ Center for Education and Student Support
◇ Frontier Science Research Center
◇ Center for International Relations
◇ Center for Animal Disease Control
◇ Language Education Center
◇ Center for the Promotion of Institutional Research

(3) Number of teachers and students

◇ undergrads: 4,739 ◇ graduates: 719
◇ teachers: 736 ◇ officials: 1,125

(4) International students: 188 (from 28 countries)
(* as of1st October, 2015)

(5) Number of Japanese Studies Students

2015: 3 students((University Recommendation 1 & Embassy Recommendation 2)
2014: 2 students((University Recommendation & Embassy Recommendation)
2013: 1 student (University Recommendation)
2012: 1 student (Embassy Recommendation)
2011: 1 student (Embassy Recommendation)

◇ Course Contents

(1) Number of students accepted: up to 5.2 by Embassy Recommendation, 3 by University Recommendation

(2) Timetable

(a) Period: October 1, 2016 – September 15, 2017 (350days)

(b) Semesters: Fall: October 1, 2016 – February 15, 2017
Spring: April 1, 2017 – July 30, 2017

(c) Holidays: Winter: December 25 – January 7
Spring: March 1 – March 31
Summer: August 1 – September 30





(3) Contents (Classes for All UOM Students)
(a) No required subjects
(b) Elective subjects:
*Intermediate Japanese I-VI *Advanced Japanese I-IV
*Japanese Culture I-VI *Tutoring may be provided if necessary
(c) Type of Courses:
* Students choose language classes according to their abilities.
* Major subject classes are chosen under the guidance of the advisors.
(d) The trainees mainly take classes in 'Japanese language' and 'Japanese Culture.' In addition, they may take some regular classes in their major in order to enhance their academic Japanese experience.
(e) Class hours: 15 classes per semester (30 hours)
(4) Course Overview
(a) Teachers: 2 permanent teachers + 3 Adjunct teachers
(b) Individual guidance: Japanese language, Major subjects
(5) Certificate * Issued on student request
(6) Application Qualifications: Complete beginner course
(7) Field Trips and Events: Observation tour, etc.

◇ Accommodation
<Dormitory>
Men's dorm 100 rooms, Women's dorm 100 rooms
<International House>
Singles = 167 rooms
Couple & Families = 8 rooms

<Boarding fee/month>
Single=4700yen,
Couple= 9500yen, Families= 14200yen

<Equipment>

Each room has a bed, a desk, a chair and a closet.

*All Japanese Studies Students have so far been able to occupy single rooms. In some cases, room allocation will be decided by lottery due to shortage. Family groups need to be aware that special accommodation is limited.

<Vicinity of the dorm>

Supermarket, Convenience store, Restaurant, etc.
The dorms are on *Kibana* Campus.



Dormitory House

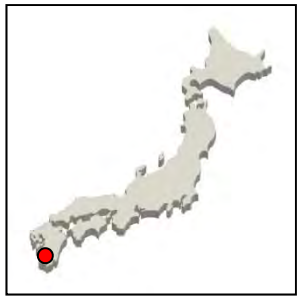


<Vicinity of the dorm>

Supermarket, Convenience store, Restaurant, etc.
The dorms are on *Kibana* Campus.

◇ For further Information, contact:

Global Support Office, University of Miyazaki
1-1 Gakuen Kibana-dai Nishi,Miyazaki,
889-2192 JAPAN
TEL: 81-985-58-7134(from outside Japan)
FAX: 81-985-58-7782(from outside Japan)
E-mail: ryugaku@of.miyazaki-u.ac.jp
URL: http://www.miyazaki-u.ac.jp
Syllabus:
http://www.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/



鹿児島大学（鹿児島県）

九州の南端で<日本>を学ぶ・<日本>を研究する基礎作りをしませんか！

■大学紹介

① 大学の特色および概要

１）特色と歴史

鹿児島大学は、九州最南端に位置する9学部、10研究科および留学生センターや国際島嶼教育研究センターなどの教育・研究施設を有する国立の総合大学です。鹿児島大学が新制国立大学として発足したのは昭和24年です。はじめは文理、教育、農、水産の4学部からスタートしましたが、その後、医学部、工学部、歯学部、共同獣医学部、各種大学院等を整備して今日に至っています。

文系学部は法文学部と教育学部があり、さまざまな分野の教員が在籍しています。教員の専門分野については、本学のURLを参考にして下さい。



２）教員・学生数等

学部生　（留学生）	8,953名　（119名）
大学院生　（留学生）	1,545名　（163名）
教員	1,037名
職員	1,504名

② 国際交流の実績

現在、学部学生8,953名のうち留学生119名、大学院生1,545名のうち留学生163名が在籍しています。

過去10年間の日本語・日本文化研修留学生の出身と専攻分野は以下の通りです。この中の何名かは研究生・大学院生などとして再来日し、学位を取得しています。

出身…アメリカ合衆国、インドネシア、オーストラリア、シンガポール、韓国、中国、ドイツ、ベトナム、ポーランド、モンゴル、ロシア、ウクライナ、ラトビア、スペイン、キルギス、コスタリカ、トルコなど。

専攻分野…日本語学、日本史、日本文学、政治学、経済学、社会言語学、日本文化論など。

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数　282人、日本語・日本文化研修留学生　4人
2014年：留学生数　277人、日本語・日本文化研修留学生　4人
2013年：留学生数　283人、日本語・日本文化研修留学生　4人

④ 地域の特色

鹿児島市は人口約60万人を有し、地域の特性を生かして古くから海外との交流により発展してきた都市です。古くはフランシスコ・ザビエルの来航、また藩政時代から海外貿易に力を注ぎ、幕末には国禁を犯して英国に留学生を送るなど海外交流の歴史は古くから続いています。

桜島を目の前に眺望できる鹿児島市は、東洋のナポリとうたわれイタリアのナポリ市を始め、オーストラリアのパース市、中国の長沙市、アメリカのマイアミ市と姉妹都市盟約を結んでいます。

気候も温暖で、年間を通して過ごしやすく、生活環境、勉学環境も整い、快適な留学生活を送ることができます。

■コースの概要

① コースの特色

１）次のような研修留学生を募集します。

ⅰ日本語能力（聞く・話す・読む・書く）をさらに伸ばしたい人。
ⅱ日本文化や日本文学、日本社会、異文化コミュニケーションを中心に総合的に学びたい人。
ⅲ鹿児島地域の文化、歴史に興味を持ち、研究テーマとして発展させたいと考えている人。
ⅳ自分の卒業論文作成のために、テーマを探し、資料の収集を行い、論文指導を受けたい人。

２）本学のコースは、このような研修留学生を対象に、その留学生の日本語能力に応じたきめ細かい指導を行っています。また、留学生の専門分野に応じて、指導教員が論文作成のための指導を行います。選択科目が豊富に用意されているので、留学生は自分の希望に沿った講義を受講することが可能です。

② 受入定員

6名（大使館推薦3名、大学推薦3名）

③ 受講希望者の資格、条件等

次の(a)及び(b)の条件を満たしている者が、このコースを受講できます。

(a) 外国の大学に1年以上在籍し、日本語または日本の文化、文学、社会等に関する分野を主として学習している者。
(b) 日本語能力試験のN2以上に合格または同等の能力を有する者。



④　達成目標
日本語能力試験N1合格を目標とします。また、日本語によるポスター発表、最終レポートの作成を達成目標としています。

⑤　研修期間
2016年10月1日　～　2017年9月30日
修了式は9月を予定(2016年は9月)

⑥　研修科目の概要
授業は原則として、Ⅰ期・Ⅱ期各15週間開講されます。
留学生の日本語力、留学目的に合わせて**〈日本語研修コース〉**と**〈日本語・日本文化研究コース〉**のどちらかを受講します。コースの選択については、プレースメントテストの結果をもとに、留学生センターの教員と相談して決めます。

〈日本語研修コース〉
日本語力に応じて留学生センターの日本語科目や文化の科目を中心に受講します。

科目群	科目数	単位･時間数
日本語科目	6科目	10単位 300時間
文化学修科目	2科目	4単位 60時間
修了レポート ポスター発表	2科目	4単位 120時間
自由選択科目	2科目以上	2単位以上 60時間以上
参加型科目	1科目	単位なし 30時間
コース修了に 必要な単位と時間	14科目以上	21単位以上 570時間以上

〈日本語・日本文化研究コース〉
留学生センターの日本語科目の他に、学部の専門科目、共通教育の文化学修科目を受講します。

科目群	科目数	単位数	時間数
日本語科目	2科目	2単位	60時間
文化学修科目	3科目	6単位	90時間
修了レポート ポスター発表	2科目	4単位	120時間
自由選択科目 専門科目	6科目以上	12単位以上	180時間以上
参加型科目	1科目	単位なし	30時間
コース修了に 必要な単位と時間	14科目	24単位以上	480時間以上

1）必須科目
日本語科目、文化学修科目には次のような科目があります。プレースメントテストの結果に基づいて指定されたレベルの科目を受講してください。授業は全て日本語で行われます。

留学生センター開講科目
日本語科目
[会話]場面や相手に応じた会話のスタイルを学ぶ。
[読解]語彙・文法だけでなく読解に必要な技術を学ぶ。
[作文]レポート、論文作成の基礎を学ぶ。また先生や目上の人に送るような、やや改まったメールの書き方を学ぶ。
文化学修科目
日本文化入門　異文化理解

共通教育科目（日本人学生が学ぶクラス）
日本語科目：日本語Ⅰ　日本語Ⅱ　日本語Ⅲ　日本語Ⅳ
大学生活に必要なアカデミックジャパニーズを学ぶ。
文化学修科目：日本事情Ａ、Ｂ
文化の定義、慣習とマナー、鹿児島の歴史、時代と文学、異文化サバイバル、留学論、地理、教育、政治、伝統、宗教、昔話、現代文学、人間関係論などを扱う。

専門科目
自分の専門分野に関する学習・研究のために、共通教育や所属する学部及び他の学部で開講されている授業科目について指導教員と相談の上、受講する科目を決めます。

2)　見学、地域交流等の参加型科目
地域交流等の参加型科目

国際理解教育調査研究Ⅱ　2単位（Ⅰ期30時間）「日本人学生と学ぶ鹿児島」というテーマのもと日本人学生と留学生の合同グループで鹿児島について見学調査しその結果を発表します。
週1回の授業で事前準備を行い、見学には1日を使います。

地域行事への参加　（単位なし）
地域の国際交流行事に参加し、参加レポートを作成します。



3)　その他の講義、選択科目等
選択科目等（科目例）

Ⅰ期開講　＊全て2単位（30時間）
言語行動論Ⅱ　異文化理解論
国語学概論　狂言の世界
日本史学　暮らしから試みるニュース
Ⅱ期開講　＊全て2単位（30時間）
日本語教授法概論
音声学概論　ことばと社会
異文化理解　鹿児島探訪―文化
※この他にも学部で開講されている専門科目を受講することができます

⑦　年間行事
10月：　秋期オリエンテーション
11月：　大学祭
インターナショナル・ナイト
2月：　２泊研修旅行（京都・奈良）
4月：　春期オリエンテーション
8月：　ポスターセッション
屋久島ホームスティ

⑧　指導体制

１）プログラム実施委員

氏名(職名)	所属	専攻
和田　礼子 （教授）	留学生 センター	日本語教育 日本語文法
中島　祥子 （准教授）	教育学部	日本語教育 異文化理解教育
梅崎　光 （准教授）	教育学部	国語学 日本語の歴史
市島佑起子 （講師）	留学生 センター	日本語教育 社会言語学

２）指導体制

研修留学生の専門分野に応じて、教育学部・法文学部の教員の中から指導教員を１名定め、学習・研究上のアドバイスを行っています。また、調査、文献検索などの小論文作成指導等を継続的に行い、随時個別指導も行います。生活面の指導については留学生センターと連携しながら行います。

⑨　コースの修了要件

規定の単位を取得し、日本語ポスター発表及び小レポートを提出することが条件です。コース修了時には修了証を発行するとともに、受講した科目については成績証明書を発行します。



■宿　舎

・鹿児島大学内の留学生用の宿舎

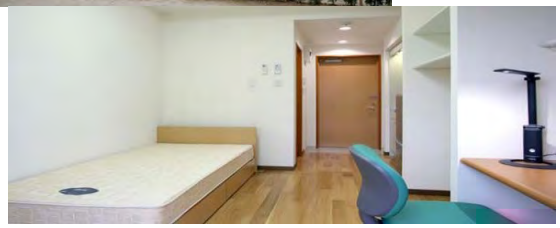
国際交流会館（郡元キャンパスから徒歩20分）

単身室　122室　4,700～25,000/月
夫婦室　7室　9,500～11,900/月
家族室　4室　14,200/月
※光熱水費が別に必要です。
※部屋の割り当てについては希望に添えない場合があります。

・過去３年間の日研生の宿舎入居状況（各年度１０月現在）

年度	人数	宿舎入居状況
2015年度	４名	国際交流会館へ入居
2014年度	４名	国際交流会館へ入居
2015年度	４名	国際交流会館へ入居





■修了生へのフォローアップ

個別対応としては、プログラム実施委員が適宜必要に応じてメール送受信を行っています。また、鹿児島大学　Newsletter　の送付及び鹿児島大学の広報活動を担う元日研生には「鹿児島大学友好大使」の任命を行います。

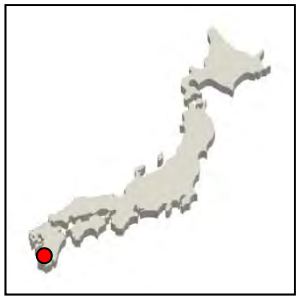
■問合せ先

（担当部署）
鹿児島大学研究国際部国際事業課
住所：〒890-8580　鹿児島県鹿児島市郡元1-21-24
TEL: ＋81-99-285-3015（直通）
FAX: ＋81-99-285-7035
E-mail: ryugaku2@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学留学生センターホームページ
URL： http://www.isc.kagoshima-u.ac.jp/

鹿児島大学ホームページ
URL： http://www.kagoshima-u.ac.jp





Kagoshima University (Kagoshima)

At the southern tip of Kyushu island, join our fundamental program for future Japanese Studies.

■ University Overview

① Characteristics and outline of the University

1) Characteristics and history

Kagoshima University is a national university, consisting of nine faculties, ten graduate schools and Education & Research Institutions such as International Student Center and Research Center for the Pacific Islands.
Established in 1949 with four faculties of Liberal Arts, Education, Agriculture and Fisheries, it developed to with the foundation of faculties of Medicine, Engineering, Dentistry, Joint Faculty of Veterinary Medicine, Graduate schools, etc. Literary studies are conducted in the Faculty of Law, Economics, and Humanities and the Faculty of Education in which there are professors of many different research fields. Please refer to the URL page of each faculty for details.



2) Number of Students and Staffs

Undergraduate Students (International Students)	8,953 (119)
Graduate Students (International Students)	1,545 (163)
Teaching Staff	1,037
Administration Staff	1,504

② International Exchange

Among 8,953 undergraduate students, 119 students are international students, and 163 students out of 1,545 graduate students. Among these students, some returned to the university as a research student or a graduate student and received Master's degree.

Past Nationality: U.S.A, Indonesia, Australia, Singapore, Korea, China, Germany, Vietnam, Poland, Mongol, Russia, Ukraine, Latvia, Spain, Kirghiz, Costa Rica and Turkey etc.

Field of Studies: Japanese Linguistics, Japanese History, Japanese Literature, Politics, Sociolinguistics, Japanese Culture, etc.

③ The number of trainee students in the past three years

	International students	Trainee students
2015 FY	282	4
2014 FY	277	4
2013 FY	283	4

④ Kagoshima City

Kagoshima City has a population of about 600,000 and has a long history of international exchange and trade, such as Francis Xavier's arrival in 1549. Students were sent to Britain in 1865 to learn, even though the government had banned foreign travel in that period.
Kagoshima City with a view of Mt. Sakurajima has sister city relationships with Naples, Perth, Changsha, Miami.
The climate of Kagoshima is mild and comfortable throughout the year, guaranteeing a pleasant environment for student life.



■ Outline of Program

① Characteristics of the Program

1) This program is intended for the students
- who want to improve their Japanese language abilities (listening, speaking, reading and writing).
- who want to conduct comprehensive studies covering Japanese culture, literature, society and intercultural communication.
- who plan to develop their interest in regional culture and history of Kagoshima as a research theme.
- who want to be guided for data collecting and thesis writing based on a specific theme for their graduation paper.

2) This program offers students a helpful assistance in accordance with their language abilities. Supervisors will assist thesis writing according to their proposed areas. There are plenty of elective subjects which students can register according to their research planning.

② Number of Trainee Students to be accepted:
up to 6 (Embassy Recommendation 3,
University Recommendation 3)

③ Qualification

(a) Candidates should be a senior or higher grade student of overseas universities majoring in Japanese culture, literature or society.
(b) Candidates should have N 2 or higher level in Japanese language proficiency test.

④ Goals and Objectives

Expected objectives: Passing N1 in JLPT; writing a short paper and giving a presentation focusing on a specific theme of Japanese culture.

⑤ Length of the Program

October 1, 2016 to September 30, 2017
Graduation Ceremony will be held in September.

⑥ Outline of the Subjects
(Semester, Content, Credit, Hours.)

In principle, the lectures are provided for 15 weeks in each semester.

Students will either enter **Japanese Training Course** or **The Japanese Language & Culture Research Course**. The choice of which course to enter will be made after taking a placement test as well as consultations with the International Student Center's teachers.

Japanese Training Course
Study of Japanese language and culture within the International Student Center

Subjects	Classes	Credits	Time
Japanese Lang.	6	10 CP	300hrs
Cultural Studies	2	4 CP	60hrs
Final Report Poster Session	2	4 CP	120hrs
Electives	2 +	2 CP +	60hrs +
Activities	1	N/A	30hrs
Requirements for Completion	14 +	21 CP +	570hrs +



Japanese Language & Culture Research Course
International Student Center Japanese language classes, specialized subjects within other departments and culture classes within the General Education Department.

Subjects	Classes	Credits	Time
Japanese Lang.	2	2 CP	60hrs
Cultural Studies	3	6 CP	90hrs
Final Report Poster Session	2	4 CP	120hrs
Electives Specialized Subjects	6 +	12 +	180hrs +
Activities	1	N/A	30hrs
Requirements for Completion	14	24 +	480hrs +

1) Required Subjects
The following outlines the subjects in the Japanese language and cultural studies courses. Students must first sit a placement, all classes are conducted in Japanese.

International Student Center
Japanese Language Studies
Speaking: Conversation and partner activities
Reading: Grammar, vocabulary and reading skills
Writing: Foundation skills and report writing.
Plus emails and writing letters using polite speech.
Cultural Studies
Introduction to Japanese culture. Cultural understanding

General Education
Japanese Language: Levels 1 – 4
(Academic Japanese necessary for University life)
Cultural Studies: Current Japan A, B
Definition of culture, manners and customs, Kagoshima history, periods in time, cross-cultural survival, study abroad, geography, education, politics, traditions and folk tales, contemporary literature, religion and human relations.

Specialized Subjects
Students can take subjects relating to their own major or field of study/research in the relevant department. Subjects will be chosen after consultation with their academic advisor.

2) Outside Activities and Local Exchange Events.

Practical Course in Intercultural Studies (2CP 30hrs)
'Learn About Kagoshima with Japanese Students' is the theme of this course, as both foreign and Japanese students form study groups to research and present about Kagoshima. (a weekly class with one field trip)

Local Activities (no CP)
Students participate in local international exchange events and produce a report on their experiences.



3) Other Lectures and Electives
Example 1: Each 2 CP, 30hrs
Sociolinguistics II , Understanding Foreign Cultures Introduction to Japanese Linguistics, The World of Kyougen, Japanese History, Finding News in Daily Life.
Example 2: Each 2 CP, 30hrs
Introduction to Teaching Japanese as a Foreign Language, Introduction to Japanese Phonetics, Language and Society, Understanding Intercultural and Cross-Cultural Communication, Touring Kagoshima Culture.

- Students can also take electives in other departments relating to their major.

⑦ Yearly Activities
Oct.: Autumn Orientation
Nov.: School Festival, International Night
Feb.: 2 night trip to Kyoto
Apr.: Spring Orientation
Aug.: Poster Session, Yakushima Homestay

⑧ Supervision

1)Professors responsible for the program

Name (Title)	Faculty	Major field
Prof Reiko Wada	International Student Center	Japanese Language
INST Yukiko Ichishima	International Student Center	Japanese Language
AP Hikaru Umezaki	Faculty of Education	Japanese Linguistics Historical Studies of Japanese
AP Sachiko Nakajima	Faculty of Education	Japanese Language, Intercultural Communication

2) Supervisor

A supervisor from the Faculty of Education and the Faculty of Law, Economics and Humanities will be selected in accordance with each student's research field, and will give regular study guidance

⑨ Completion requirements and the issue of certificate

Final report and poster presentation. We will issue a certificate of completion and grade report if requested. Credits will be acknowledged based on the results of grading. The transfer of credits to be decided by the home university.



■ Accommodation

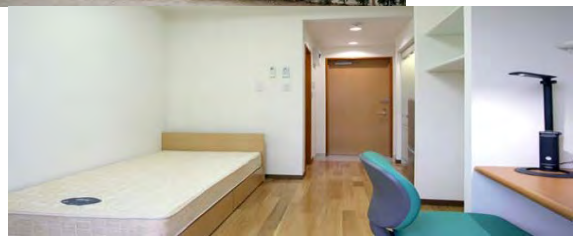
・International Residence Hall (of Kagoshima University)
It takes 20 minutes to the main campus on foot.
- ・122 Single rooms　122　(Monthly rent: 4,700 ～ 25,000yen)
- ・7 Couple rooms　7　(Monthly rent: 9,500 ～ 11,900yen)
- ・4 Family rooms　(Monthly rent: 14,200yen)

＊Energy and utility bills will be charged separately.
＊Request on room assignment may not be accommodated.

・Accommodation for Japanese Studies Students

Year	Number of Students	Accommodation
2015	4	International Residence Hall
2014	4	International Residence Hall
2013	4	International Residence Hall





■ Follow-up for graduates

The university has keeps in touch with alumni by sending newsletters and e-mails. The university is due to delegate Kagoshima University ambassador to them to enhance the international exchange and public relation activities.

■ Reference to

International Cooperation Division
Kagoshima University
1-21-24, Korimoto, Kagoshima,
890-8580, Japan
Tel: 099-285-3015
Fax: 099-285-7328
E-mail: ryugaku2@kuas.kagoshima-u.ac.jp

Website Address
Kagoshima University:
http://kokusai.kuas.kagoshima-u.ac.jp/kucip/
International Student Center:
http://www.isc.kagoshima-u.ac.jp/





琉球大学（沖縄県）

青い空・青い海,色彩豊かな自然に囲まれた学習環境

■大学紹介

①　大学の特色および概要

1)特色と歴史

琉球大学は沖縄が米軍統治下にあった1950年に創設,1972年の日本への施政権返還に伴って国立大学となりました。日本唯一の亜熱帯島嶼地域という特性を活かし,熱帯地域の海洋,島の自然と文化,言語等の研究・調査が盛んな大学です。総合大学で,以下の7学部,8研究科があります。

学部	大学院
法文学部	人文社会科学研究科
観光産業科学部	観光科学研究科
教育学部	教育学研究科
理学部	理工学研究科
工学部	
農学部	農学研究科
医学部	医学研究科
	保健学研究科
	法務研究科

広大なキャンパス内には池や農学部付属の農場などもあり自然が身近に感じられます。

2)教員・学生数（2015年5月現在）

教育研究職員数：847名

学部学生数：7,318名

大学院生数：904名



②　国際交流の実績（2015年3月31日現在）

国際交流協定締結大学・機関数：77大学・機関(32ヶ国・地域)

③　過去3年間の受入れ留学生数（2015年5月現在）
及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数279人（43ヶ国・地域）
日本語・日本文化研修留学生8人（7ヶ国）

2014年：留学生数268人（42ヶ国・地域）
日本語・日本文化研修留学生7人（7ヶ国）

2013年：留学生数283人（47ヶ国・地域）
日本語・日本文化研修留学生7人（6ヶ国）

④　地域の特色

日本の最も南に位置する沖縄は，1429年から1879年までの約450年の間,琉球王国という一つの国でした。また,第二次世界大戦後は1972年まではアメリカ軍の施政権下に置かれました。このように,日本本土と異なる歴史的背景を持つ沖縄は,歌や踊りなどの芸能,言語,食文化をはじめさまざまな文化が息づいている地域です。また,温暖な気候と美しい自然に恵まれ,国内有数のリゾート地となっています。空手の発祥地としても有名です。そんな沖縄で学べば,「日本」全体を一つの文化圏ととらえる型にはまった視点からではなく,多角的に日本をとらえることができるようになるでしょう。

ぜひ沖縄の文化に触れてみてください。



■コースの概要

①　コースの特色

1)社会や文化の「比較」に重点を置いた研修を行う中で,日本の社会や文化全般と沖縄独特の地域の社会や文化について理解を深めることができます。

2)研究に必要な日本語の高度な運用力,正確な読解力と文章構成力の養成を行い,日本語学や日本の社会,文化の研究手法や知識を身につけることができます。

3)専門の教員に指導を受けつつ,興味のある分野について知識を深めることができます。同時に,様々な関連科目も学べます。

4)地域の教育機関や文化施設への見学,文化行事への参加など,様々なアプローチで日本および沖縄を学ぶことが可能です。

5)日本人学生と積極的な交流も図り,授業だけでなく大学生活の中で日本を学ぶことができます。

②　受入定員

14名（大使館推薦6名,大学推薦8名）

③　受講希望者の資格,条件等
　日本国以外の大学の学部に在籍（主に3年次以上）している者。また日本語・日本文化に関する分野を主専攻にしている者。日本語力は日本語能力試験N2以上の能力があることが望ましい。

④　達成目標
1)日本語母語話者の大学生並みの文章が書け,口頭発表ができるようになること。
2)日本語を用いて日本語や日本文化に関する研究ができる能力を身につけること。



⑤　研修期間
2016年10月1日～
　2017年9月30日
修了式は9月を予定
(2015年は9月)

⑥　研修科目の概要
　授業は原則として,前期・後期各16週開講する予定。1学期につき,235.5時間(157コマ)以上履修しなければならない。

1）必須科目

授業科目名	内　　容
基礎演習Ⅰ・Ⅱ	図書館の利用法,資料の検索方法を学び,研究レポートを作成する。また研究発表のプレゼンテーション技能の養成を行う。
日本文化Ⅰ・Ⅱ	教員が一方的に講義するのではなく,受講生が自発的に日本文化について調べたりして学ぶことを目標とする。
日本語文章表現 (1学期のみ)	文章構成,パラグラフ分析,要約文,レポートの書き方など高度な作文力の養成をし,さらに資料を提示しながら行う発表の仕方を学ぶ。

※選択必修科目（各学期2科目履修しなければなりません）

授業科目名	内　　容
日本語演習Ⅰ・Ⅱ	実際の日本語の現象を注意深く観察し,日本語学の基礎知識の習得を目指す。
琉球文化特別研究Ⅰ・Ⅱ	琉球舞踊や琉球方言など,代表的な沖縄文化の講義と体験を 通 して沖縄とは,沖縄人とは,沖縄文化とは何かを考える。
日本語作品講読Ⅰ・Ⅱ	代表的な現代文学作品（詩・短歌・俳句・小説等）を鑑賞し,日本文化一般について学ぶ。
ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ	ビジネス場面において必要な日本語を学び,ビジネスマナーについて知る。

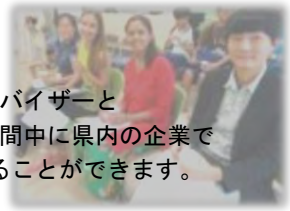
2)　見学,地域交流等の参加型科目

授業科目名	内　　容
沖縄事情Ⅰ・Ⅱ	沖縄の社会と文化
日本事情Ⅰ・Ⅱ	日本の社会と文化



【見学】
　本プログラムの学生には,近畿又は金沢方面への研修旅行や沖縄県内の社会見学の機会を年間4～5回提供しています。さらに,伝統文化理解の一助として,組踊の鑑賞会,和室での茶道体験もしています。地域の日本人との交流の一環として週末ホームステイ,ホームビジットの機会も設けています。

日本人との交流の機会も数多くあります。
　主な見学先：首里城,平和祈念公園・資料館,
　新聞社,沖縄県議会議会棟,牧志公設市場,酒工場,
　テレビ局,埋蔵文化財センター,県立博物館



【インターンシップ】
　希望すれば,担当アドバイザーと調整のうえ,長期休暇期間中に県内の企業でインターンシップをすることができます。

【地域交流】
　学内でのスピーチ大会、沖縄県主催の外国人による日本語弁論大会、全国の弁論大会などに積極的に参加すること、留学生まつり、高校訪問などの機会を通して国際交流をはかっています。

3)その他の講義,選択科目等
　本学では,以下のような科目も開講されており,日研生も受講可能です。

【日本語教育プログラム】

授業科目名	内　　容
日本語ⅢA・ⅣA	聴解・語彙
日本語ⅢB・ⅣB	読解・文法
日本語ⅢC・ⅣC	作文・発表



【琉大特色科目】
※相談のうえ,以下の日本人向け提供科目も受講可能。

授業科目名	内　　容
三線と島唄	三線に関する基礎知識を学び,沖縄民謡の実技を行う。
うちなーぐち あしび	うちなーぐち(沖縄語)に関する基礎知識を学び,文型練習を通して話したりしながら,沖縄語に親しむ。
琉球の自然と人	奄美・沖縄の「亜熱帯」「サンゴ礁」「島」に焦点を当てて,自然と人のローカルな関わりについて考える。

(他多数)



⑦　年間行事

10月　オリエンテーション
　　首里城・玉陵等見学
11月　沖縄地域留学生交流会（パーティー）
　　組踊鑑賞会,
　　実地見学旅行（近畿又は金沢方面予定）
12月　書道体験,新聞社見学
1月　泡盛工場見学,
　　学内日本語弁論大会
2月　沖縄県日本語弁論大会
3月　茶道体験
4月　研究レポート中間発表
5月　放送局見学
6月　平和学習,
　　戦跡および平和祈念公園見学
7月　留学生祭り,
　　日本語劇上演
8月　研究発表
9月　レポートの完成
　　修了式



⑧　指導体制

研修生は法文学部に所属し,下記の指導教員がつき,学業,生活両面にわたって必要に応じて個別に指導にあたります。下記の教員以外にも留学生センターと法文学部の適切な専門分野の教員にも研究指導に関して協力をお願いしています。

また,日本人学生がチューターとして,一人ずつ付き,学習や生活のサポートをします。

【プログラム実施委員】

金城尚美 留学生センター 教授(日本語教育・教育工学)
knao ＠ ll.u-ryukyu.ac.jp
金城克哉 法文学部 教授(言語学・日本語教育)
kinkats ＠ ll.u-ryukyu.ac.jp
渡真利聖子 留学生センター 講師(日本語学・日本語教育)
seikot ＠ lab.u-ryukyu.ac.jp
新城直樹　留学生センター 講師(日本語学・日本語教育)
arashiro ＠ lab.u-ryukyu.ac.jp



⑨　コースの修了要件

所定の課程（年間471時間以上)の研修を終え,研究レポートもしくはレポートを提出し,指導教員がその成果を認めた者。

【単位認定・単位互換等】

受講した科目については単位を出します。研修期間内に履修した科目については,成績証明書と履修内容等を記した文書・シラバスを出します。

■宿　舎



【室内設備】ベッド,机,椅子,ロッカー
【共同設備】Wi-Fiアクセスポイント,
シャワー室,洗濯室,
ラウンジ,売店,自動販売機



○キャンパス内の学生寮(日本人学生と共用)に入寮するのが普通ですが,やむを得ず民間アパートに入居しなければならない場合もあります。
○沖縄は,物価が安く生活しやすいです。

【留学生宿舎,民間アパートの費用（月額）】

		寄宿料	維持費	光熱費
学生寮	一般寮	￥4,300	￥4,400	使用実績額
	混住棟	￥4,700	￥8,400	
	新混住棟	￥15,000	￥4,000	
民間アパート		￥35,000程度		





■修了生へのフォローアップ

①日本語・日本文化研修留学修了生の主な進路
1)就職：日系企業(日本国内または母国),
母国での通訳やガイド,翻訳者,JETプログラムの国際交流員・外国語教師,大学の教員・研究員,日本でのタレント活動
2)進学：琉球大学または日本国内の他大学の大学院（研究留学生(国費)として）

②フォローアップの実績
1)Facebook等で連絡を取りあっています。
2)ホームページで留学生の活動が見られます。

■問合せ先

（担当部署）
琉球大学総合企画戦略部国際連携推進課
住所：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
TEL　：＋81-98-895-8103（直通）
FAX　：＋81-98-895-8102
E-mail：koshogak@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

○琉球大学HP：　http://www.u-ryukyu.ac.jp/
○留学生センターHP：　http://www.r-center.u-ryukyu.ac.jp/



University of the Ryukyus （Okinawa）

If you would like to have distinctive experiences, this is the right place for you ！

Studying in Okinawa surely gives you unique perspectives on Japan and Japanese culture.

■Introduction

1. University of the Ryukyus

The University of the Ryukyus was founded in 1950 under the U.S. Administration. The university acquired a status as a national institution upon the reversion of Okinawa to Japan in 1972. The university is comprised of the Faculties of Law and Letters, Tourism Sciences and Industrial Management, Education, Science, Medicine, Engineering and Agriculture. In addition to the undergraduate programs, all the faculties have postgraduate programs. Locating in the subtropical region enables the various and fruitful studies on the surrounding ocean, nature, culture, and languages. In the vast campus, there are a pond and farm field and students can enjoy natural atmosphere around the year.

Faculty members: 874
Undergraduate students: 7,318
Graduate students: 904 （as of May., 2015）

2. International Exchange （as of March., 2015）

Number of inter-university agreement: 77
(32 countries and one area)

3. Number of international students （as of May., 2015） and students of Japanese Studies Program

2015: International Student 279 (43countries and area)
Students of JSS 8 (7 countries)

2014: International Student 268 (42countries and area)
Students of JSS 7 (7 countries)

2013: International Student 283 (47countries and area)
Students of JSS 7 (6 countries)



4. Characteristics of Okinawa

Okinawa Prefecture is located in east of Asia, at the southwest terminus of the great arc of the Japanese archipelago. Japan's only island Prefecture, Okinawa used to be the Ryukyu Kingdom, which cultivated relations and interactions with other countries. Geographically destined to be a corner-stone of international exchange, Okinawa has been and will continue to be a Prefecture open to the world.

■Course description

1. Characteristics of the course

This program is offered to achieve the following three goals: a) to train students to have a higher-level command of Japanese, which enables them to study Japan, b) to educate them to acquire techniques and knowledge of Japan study, and c) to help them to gain a deep insight into Japanese culture in general and Okinawan local culture.

We offer students to study with other international students with various background, which leads the students of this program to discover similarities and differences of Japan and other cultures. Besides, those courses such as Linguistics , Teaching Japanese as a second language, Japanese linguistics, Dialectology (Okinawan dialects). Japanese literature, Okinawan literature, History (Japanese and Okinawan), Cultural Anthropology, Folklore are offered. Students can take these courses with a permission from their supervisors.

Students are required to study their own field(s) of interest in Japan (or Okinawa); the results are presented orally and in written form. In the presentation session, students of this program are to discuss their own topics with Japanese students. Their studies presented in written form are compiled in a book, named "Study Reports", and the copies are published and distributed to other universities.

2. Number of students accepted

Total：14

（Embassy Recommendation : 6,

University Recommendation : 8）



3. Qualifications and conditions of applicants

Those wishing to enrol in this course must be 3rd year undergraduate students or above enrolled in a university outside of Japan and must meet the following criteria.

(a) It is preferred that the applicant should have passed the Japanese Proficiency Test Level 2 or have equivalent ability.

(b) The applicant should be majoring in Japanese Studies with a good academic standing.

4. Course outline

There are compulsory courses and elective courses. These courses, Japanese language program of General Education and courses aimed at regular Japanese students of the department of International Languages and Cultures in the Faculty of Law and Letters will also be available for international students. The elective courses are not limited to those listed below.

5. Period of the course:

Oct. 1. 2016 – Sep. 30. 2017

(Closing Ceremony will be held in September)

6. Subject outline

In principle, classes usually run for 16 weeks during both fall and spring semesters. For each semester, the students have to study 235.5 hours (157 class periods).



1) Compulsory courses

Subject title	Description
Basic Seminar I, II	Learning report writing and presentation.
Japanese culture I, II	Experiencing Okinawan and Japanese culture through pottery, dyeing, and textile. Also visiting historical sites in Okinawa.
Japanese sentence structures and expressions (only 1 semester)	Development of composition writing and sentence structure skills including Questionnaire making, report compilation and presentation on a specific topic.

Elective courses

＊ Students are required to take at least two subjects from below in each semester.

Subject title	Description
Japanese grammar seminar I, II	This course will introduce a number of grammatical issues of Japanese. Students will be required to observe real data and find regularities through integrating their previous knowledge on Japanese.
Special study of Ryukyuan Culture I, II	This course will introduce various (controversial) issues on Okinawa, such as culture and people in Okinawa through an experience of Ryukyu dancing and lectures about Ryukyu dialect.
Japanese Literature I, II	Reading of modern Japanese literature (poetry and novels).
Business Japanese I, II	Learning manners and Japanese used in business situations

2) Field trips and exchange with the local community

Subject title	Description
Okinawan Culture I, II	Okinawan Society & Culture
Japanese Culture I, II	Japanese Society & Culture





Local research trips to museums, historical sites, and old battlefields will also be taken, and once each year students will participate in a study trip farther afield (expenses inclusive).

Additionally, an international students get-together, local festivals, the university festival, and social exchanges within Okinawa will also be held. For those who would like to stay with/ visit a Japanese family for weekends, we will help to find a host family.

Students who would like to apply for internship could have an opportunity to work at companies located in Okinawa. Also, advice will be given to those who wish to have a job in Okinawa.

Study tours: Shurijo Castle & Tamaudun, Peace Memorial Park & Museum, Newspaper Company, Okinawa prefectural Police HQ, Makishi Public Market, Awamori Company, Television Broadcasting Company, Okinawa Archaeological Center, Okinawa Prefectural Museum

3) Other subjects (Optional)

Japanese language program

Subject title	Description
Japanese IIIA/ IVA	Listening & Vocabulary
Japanese IIIB/ IVB	Reading & Grammar
Japanese IIIC/ IVC	Writing & Presentation



Special subjects of UOR
*There are more subjects available.

Subject title	Description
Sanshin and Shimauta	Learning how to play the Okinawan traditional musical instrument (sanshin) and sing songs
Introduction of Okinawan language	Learning basic knowledge about Okinawan language and practice basic sentence patterns through conversation.
Nature and people in Ryukyu	Through the key words such as “tropical”, “coral reef”, and “islands”, discussion will be held focusing on nature and people

7. Study tour, events and so on

Oct. Orientation,
Field trip to *Shurijo* Castle & Tamaudun
Nov. Party for international students in Okinawa
Appreciation of *Kumiodori,*
Field trip to Kinki region or Kanazawa
Dec. Calligraphy experience,
Visit a newspaper company
Jan. Visit a *Awamori* company,
Speech contest of UOR
Feb. Okinawa prefectural Speech contest
Mar. Tea ceremony
Apr. Mid-term presentation
May Study tour of Broadcasting company
Jun. Peace study Field trip to old battlefields & Peace Memorial Park
Jul. International Student Festival,
Drama playing in Japanese language
Aug. Paper submission, Final presentation
Sep. Closing ceremony





8. System of instruction

Besides the below three instructors, five instructors of International Student Center (Japanese language and language education major) and other instructors of Faculty of Law and Letters can be the students’ advisors. If needed, individual instruction will be given over and above regular classes. Additionally research plans, surveys, and research will be conducted under the supervision of your instructor. Individual studies should be presented orally and in written form.

Program Coordinators

Naomi Kinjo
Professor of International Student Center
Major: Teaching Japanese as a second language
knao@ll.u-ryukyu.ac.jp
Katsuya Kinjo
Professor of Faculty of Law and Letters
Major: Linguistics
kinkats @ ll.u-ryukyu.ac.jp
Seiko Tomari
Assistant Professor of International Student Center
Major: Japanese Linguistics
seikot @ lab.u-ryukyu.ac.jp
Naoki Arashiro
Assistant Professor of International Student Center
Major: Japanese Linguistics
arashiro @ lab.u-ryukyu.ac.jp



9. Guidance system

After completion of the designated classes (471 hours or more throughout the year), also those who write academic report or equivalent level report(s) will be issued with an academic transcript and a certificate of completion.

Credit acknowledgement and transfer
Acknowledgement of credits is at the discretion of the students’ home university.

■Housing

The students of this program are usually assigned rooms in the dormitory with Japanese students. A bed, a desk, a chair, and a locker are installed in each room.



They share a shower room, a laundry, a lounge, a dormitory shop, and a vending machine.
【Cost of accommodation (per month)】

Type of accommodations		Room rent	Water&Gas Charges	Electric Charges
dormitory	“Ippan-to”	¥4,300	¥4,400	According to quantity Consumed
	“Konju-to”	¥4,700	¥8,400	
	“Shin konju-to”	¥15,000	¥4,000	
Private apartment house		Approx. ¥35,000		







■Follow-up for graduates

1. Those who finished our program are now…

Working at Japanese corporations (abroad), graduate students at University of the Ryukyus or other Japanese universities, employed as a member of JET program, working as translators

2. Follow-up activities:

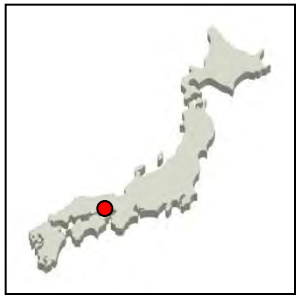
1) Each of the students keep in touch with each other via SNS (e.g. Facebook)

2) The web site of the university has the record of the past students’ activities

■Contact

International Collaboration Section, General Strategic Planning Division, University of the Ryukyus
Address: 1 Senbaru, Nishihara, Okinawa 903-0213
Tel: +81-98-895-8103
Fax:+81-98-895-8102
E-mail: koshogak@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

University of the Ryukyus web site: http://www.u-ryukyu.ac.jp/
International Student Center web site: http://www.r-center.u-ryukyu.ac.jp/
(available both in Japanese and English)



神戸市外国語大学（兵庫県）

国際都市神戸から。人と文化と世界をつなぐ

■大学紹介

①　大学の特色および概要

神戸市外国語大学では外国語及び国際文化を学び、研究しています。学部には英米学科、ロシア学科、中国学科、イスパニア学科、国際関係学科の５つの学科を擁しています。学生は、教養科目と外国語及び国際文化学を学びます。授業では、国際的視野を広げるとともに、複数の言語で自らの意見を効果的に伝える方法や現代社会で必要とされる実践的なスキルを身につけます。また、修士課程及び博士課程で研究を続けることも可能です。公立大学として、文化・教育の面で、地域社会・産業の発展に貢献することも、大きな役割です。

自らの成長と学びを求めるすべての学生に、神戸市外国語大学の門戸は開かれています。

教員数及び学生数（2015年5月時点）		
学生数	学部生	2,184
	院生	101
教員数		89



②　国際交流の実績

交流協定数：38

協定相手国（地域）数：12

③　過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

年度	全体数	日本語・日本文化研修留学生数
2015	82	1
2014	75	1
2013	76	1

④　地域の特色

神戸は人口154万人ほどの日本有数の大都市です。

外国人住民が多いことや外国人コミュニティよって形作られてきた文化によって、国際色豊かな都市としてよく知られています。

山と海に囲まれ自然が豊かです。また同時に、京都や大阪、奈良などの有名な都市へのアクセスも良好です。これら多くの歴史的名所に、日帰りで訪れることができます。

■コースの概要

①　コースの特色

日本語を集中的に学びたい学生を歓迎しています。本学では学生一人一人の能力を最大限発揮できるよう、きめ細やかな指導で学習しやすい環境づくりに尽力しています。

日本語の授業は、初級後期、中級前期、中級後期の3コース編成で、基本的に日本語によって行います。聴解、読解、作文、会話の４技能のクラスのほかに漢字や日本事情のクラスがあります。

日本事情の授業は、日本社会や文化についての講義、書道や茶道などを含む日本文化の体験、学生によるプレゼンテーションなどで構成されています。

日本人学生が留学生パートナーとして、留学生の日常生活やキャンパスライフのサポートを行います。

②　受入定員

２名（大使館推薦２名、大学推薦０名）



③　受講希望者の資格、条件等

- 海外の正規学部生であること
- 英語能力がCEFR B1, IELTS 4.5, TOEFL iBT 60 と同等以上であること
- 日本語能力が、日本語能力試験のN4からN2を目指すレベルであること。

＜初級後期コース＞

- 日本語をおおむね150時間以上学習し、基本的な初級前期の文法や語彙を習得していること
- 「みんなの日本語初級I」や「げんきI」などの初級前期の教科書での学習を終えていること

＜中級前期コース＞

- 日本語を少なくともおおむね300時間以上学習し、初級後期の文法や語彙を習得していること
- 「みんなの日本語初級II」や「げんきII」などの初級後期の教科書での学習を終えていること

＜中級後期コース＞

- 日本語を少なくともおおむね500時間以上学習し、中級前期の文法や語彙を習得していること
- 「みんなの日本語中級I」などの中級前期の教科書での学習を終えていること

④　達成目標

＜初級後期コース＞
日本語能力試験（JLPT）N4レベル
＜中級前期コース＞
日本語能力試験（JLPT）N3レベル
＜中級後期コース＞
日本語能力試験（JLPT）N2レベル

⑤　研修期間

2016年9月15日　～　2017年8月1週目
修了式は8月を予定（2016年は8月）

⑥　研修科目の概要

受講する科目は来日後に行うプレイスメントテストの結果で決定します。聴解、読解、作文、会話の４技能のクラスのほかに漢字や日本事情のクラスがあります。

授業は90分で、基本的には8科目の日本語の授業を受講することになっています。

1）必須科目（日本語・日本事情科目）（180時間 / 学期）

＜初級後期コース＞
日本語初級「第1」～「第3」、日本語演習「第１」～「第6」、日本語漢字、日本語特殊演習、日本事情から8科目
＜中級前期及び後期コース＞
日本語中級「第1」～「第10」、日本語上級「第1」、「第2」、日本語演習「第１」～「第6」、日本語漢字、日本語特殊演習、日本事情から8科目

2）　見学、地域交流等の参加型科目

日本の文化・歴史についての理解を深めるために、おもに周辺の名所などへのフィールドトリップを学期に数回実施しています。

3）　その他の講義、選択科目等（22.5時間×履修科目数/学期）

留学生は、正規学部生向け科目を受講可能です。英米学科、ロシア学科、中国学科、国際関係学科の5学科の授業を、日本人学生と一緒に履修することができます。分野は諸地域の言語、言語学、文学、文化、史学、法学、商業、経済学、教育、心理学など幅広い分野に渡ります。





⑦　年間行事

９月 秋学期開講式
　　オリエンテーション
　　日本語プレイスメントテスト
１０月～１月　フィールドトリップ
２月　期末テスト
　　秋学期閉講式
　　春休み開始
４月　春学期開講式
４月～７月　フィールドトリップ
７月　期末テスト
８月　春学期閉講式





⑧　指導体制

日本語プログラムを運営するコーディネーター兼日本語講師１名と日本語非常勤講師３名の計４名の教員で日本語の授業を担当しています。

留学生教育プログラム部会長：

中井幸比古教授

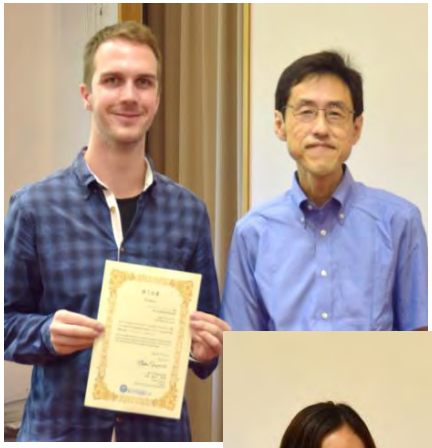
（国際交流センター副センター長、専門：日本語学）

留学生受入れプログラムコーディネーター兼講師：

勝田千絵

⑨　コースの修了要件

各科目の成績は、小テスト、課題、期末テスト、授業への参加度等により、決定します。





■宿　舎

＜アパート＞

大学からバスで約６分のところに、家具・インターネット付きのアパートがあります。賃料月額は、¥39,000～です。





＜神戸留学生会館＞

大学より徒歩約15分のところに、神戸市の外郭団体が管理・運営する神戸留学生会館があり、賃料月額は単身者用（77戸）が¥30,000、夫婦用（15戸）をシングルユースで¥40,000となっています。

■修了生へのフォローアップ

・各科目の内容説明文書、授業時間数に関する文書、成績証明書を発行し、本学での履修科目が、留学生の在籍大学における適当な科目の単位として認定されるよう支援します。

·修了生にはFacebookやメール、ホームページを通じて情報を発信することにより、日本や神戸市外国語大学への再留学を支援します。



■問合せ先

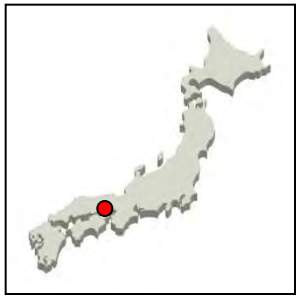
（担当部署）
神戸市外国語大学国際交流センター
住所　〒651－2187
兵庫県神戸市西区学園東町9丁目1
TEL　＋81－78－794－8171（直通）
FAX　＋81－78－794－8178
E-mail
international-office@office.kobe-cufs.ac.jp

神戸市外国語大学国際交流センターホームページ
http://www.kobe-cufs.ac.jp/international/index.html

神戸市外国語大学ホームページ
http://www.kobe-cufs.ac.jp/index.html

日研生ホームページ対象プログラムホームページ
http://www.kobe-cufs.ac.jp/international/center/japanese_language_program.html





Kobe City University of Foreign Studies (Hyogo)

The International City of Kobe Connects People, Cultures and the World.

■Introduction to the University

1. Outline

Kobe City University of Foreign Studies is devoted to the studies of foreign languages and cultures. KCUFS offers five undergraduate-degree programs: English Studies, Russian Studies, Chinese Studies, Spanish Studies, and International Relations. The students study foreign languages and cultures as well as other liberal arts. They learn to express their opinions effectively in several foreign languages, and also acquire the practical skills needed in modern society, in addition to broadening their perspectives on global issues. Furthermore, KCUFS has a graduate program in which students can continue their areas of research. As a municipal university corporation, KCUFS strives to contribute to the academic and cultural development of the local community, and its doors are open to all students who seek to grow and learn for themselves.

Number of Faculty Members and Students (as of May 1, 2015)		
Students	Undergraduates	2, 184
	Postgraduates	101
Faculty Members		89



2. International Exchange

- The Number of Inter-institution Exchange Agreements : 38
- The Number of Partner Institutions' Countries : 12

3. The Numbers of International Students & Japanese Studies Students in the Past Three Years

Year	Total	Students in the Japanese Studies Program
2015	82	1
2014	75	1
2013	76	1

4. Characteristics of Kobe

Kobe is one of the largest cities in Japan with a population of about 1,540,000.

With a diverse population of foreign residents and cultures established by foreign communities, Kobe is well known throughout Japan as an international city.

Surrounded by beautiful nature with the mountains on one side and the ocean on the other, Kobe is also easily accessible from famous cities such as Kyoto, Osaka, and Nara. You can easily make a day trip from Kobe to these historic sites.

■Program Outline

1. Characteristics of the Program

We welcome international students who want to study Japanese intensively. We are committed to creating a positive and supportive learning environment in which students can realize to their full potentials.

The courses in our JLP are targeted to upper elementary, lower intermediate, and upper intermediate level students. Classes are designed to promote improvement in the four skills of speaking, listening, reading and writing in Japanese. In addition, other classes, such as Kanji Class and Japanese Affairs, are offered.

Japanese Affairs Class consists of lectures focusing on Japanese culture and society, including tea ceremony and calligraphy. Students presentations are also required.

There are field trips a few times per semester, and students have opportunities to go and see famous and historical places in the Kansai region.

In addition, Japanese students at our university become JLP partners and support JLP students in daily and campus life. This helps new JLP students successfully adjust to the new culture and environment in Japan.

2. The Number of Students Accepted: 2

Embassy Recommendation: 2

University Recommendation: 0



3. Requirements for Application

Applicants are required to meet all of the following requirements:

- Be enrolled in an overseas full-time undergraduate program.
- Have an English proficiency of CEFR B1, IELTS 4.5, TOEFL iBT 60 or equivalent.
- Aim at JLPT N4-N2 level. (There is neither a lower elementary level course nor an advanced level course.)

<Upper Elementary Course>

Applicants are required to:

- Have acquired lower elementary level grammar and vocabulary through more than approximately 150 learning hours.
- Have finished studying with lower elementary textbooks such as *Minna-no Nihongo Shokyu I* and *Genki I*.

<Lower Intermediate Course>

Applicants are required to:

- Have acquired upper elementary grammar and vocabulary through more than approximately 300 learning hours.
- Have finished studying with upper elementary textbooks such as *Minna-no Nihongo Shokyu II* and *Genki II* .

<Upper Intermediate Course>

Applicants are required to:

- Have acquired lower intermediate grammar and vocabulary through more than approximately 500 learning hours.
- Have finished studying with lower intermediate textbooks such as *Minna-no Nihongo Chukyu I*

4. Goals

<Upper Elementary Course>

Acquisition of Japanese language proficiency corresponding to Japanese Language Proficiency Test (JLPT) N4

<Lower Intermediate Course>

Acquisition of Japanese language proficiency corresponding to JLPT N3

<Upper Intermediate Course>

Acquisition of Japanese language proficiency corresponding to JLPT N2

5. Program Period

September 15, 2016 – The first week of August, 2017

The closing ceremony for the spring semester will be held in August. (That of the spring semester 2016 will be held in August.)

6. Class Outlines

Students are required to take a placement test after coming to Japan and are then divided into groups based on their Japanese proficiency. All classes are basically offered in Japanese and are designed to promote improvement in the four skills of speaking, listening, reading and writing. In addition, other classes, such as Kanji Class and Japanese Affairs, are offered. Each class takes 90 minutes.

In principle, students are allowed to take eight classes per week.

① Required Courses (Japanese Language & Japanese Affairs) (180 hours / semester)

Upper Elementary Course:

Eight courses in total from among Upper Elementary Japanese 1 – 3, Practice in Japanese 1 – 6, Japanese: Chinese Characters, Special Practice in Japanese and Japanese Affairs

Upper and lower Intermediate Course:

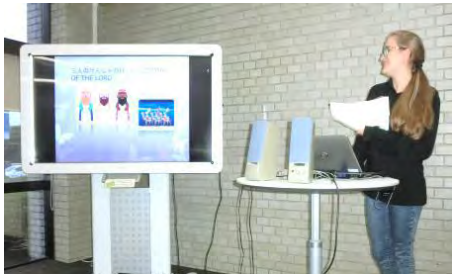
Eight courses in total from among Intermediate Japanese 1 – 10, Advanced Japanese 1– 2, Practice in Japanese 1 – 6, Japanese: Chinese Characters, Special Practice in Japanese and Japanese Affairs

② Participatory Courses Such as Visitation and Community Exchange

In order to deepen students' understanding of the Japanese culture and history, field trips are conducted for a few times per semester.

③ Other Courses including Elective Courses (22.5 hours /course in a semester)

Students can take regular undergraduate course classes in the five departments (English Studies, Russian Studies, Chinese Studies, Spanish Studies, and International Relations) and study with Japanese students. The courses cover Languages, Linguistics, Literature, Culture, History, Law, Commerce, Economy, Education, and Psychology.





7. Academic Calendar for JLP

September:

Opening Ceremony for the Fall Semester

Orientation

Placement Test

October – January

Field Trips will be held.

December 23 – January 5 :

Winter Vacation

February:

Term Exams

Closing Ceremony for the Fall Semester

Spring Vacation

April:

Opening Ceremony for the Spring Semester,

April – July: Field Trips will be held.

The end of July:

Term Exams

August:

Closing Ceremony for the Spring Semester





8. Teaching System

JLP classes are taught and managed by a coordinator-lecturer and other part-time Japanese lecturers.

The Head of the International Students' Education Program Committee:

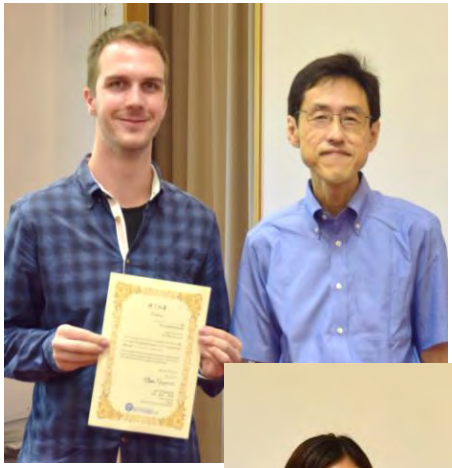
Prof. Yukihiko Nakai, Vice Director of the International Office (Specialty :Japanese Linguistics)

Japanese Language Program Coordinator and Lecturer:

Chie Katsuda

9. Requirements for Program Completion and Certificate Issuance

Grades are based upon quizzes, assignments, term examinations, attendance and so forth.





■Housing

Apartment:

- Furnished and free Internet access
- 6 minutes' bus ride from university
- from 39,000 yen for one month's rent





International Student Center Housing (KISCH):

- Run by Kobe-City-affiliated organizations
- 15 minutes' walk from the university
- There are 77 single rooms. One month's rent is 30,000 yen.
- There are 15 double rooms. One month's rent is 40,000 yen for single use.

■Follow-up for Students Who Complete This Program

- KCUFS issues course descriptions, contact hour certificates and transcripts in English and Japanese so that students can be credited with the courses taken at KCUFS by their home universities.
- Via Facebook, emails and website, information with regard to further study in Japan or at KCUFS is offered to students who have completed this program so as to encourage it.



■Contact Information

(The Section in Charge)

International Office, Kobe City University of Foreign Studies

Address:

9-1, Gakuen-higashi-machi, Nishi-ku,
Kobe 651-2187, Japan

TEL: ＋81－78－794－8171(direct line)

FAX: ＋81－78－794－8178

E-mail:

international-office@office.kobe-cufs.ac.jp

The Web Page of International Office KCUFS:

http://www.kobe-cufs.ac.jp/english/international/index.html

The Home Page of KCUFS:

http://www.kobe-cufs.ac.jp/english/index.html

The Web Page of JLP (for Japanese Studies Students):

http://www.kobe-cufs.ac.jp/english/international/japanese_language_program.html





青森中央学院大学　（青森県）

日本語学習と日本文化･地域交流が体験できる研修プログラム

■大学紹介

①　大学の特色および概要

　青森中央学院大学は青森市内にあり、時代のニーズを先取りした日本で唯一の「経営法学部」を設置している他、大学院地域マネジメント研究科や地域マネジメント研究所を設置する大学です。

　また、2014年には看護学部が開設され、看護師や保健師などの人材育成にも取り組み始めました。

　青森中央学院大学は、1998年に開学した当初から、専門的職業人の養成、国際交流、地域貢献を教育および様々な体験プログラムにより実践しています。特に国際交流活動や地域貢献活動を国際交流センター・国際交流課を中心に積極的に行っており、高い評価を得ています。

　その他、ラーニングコモンズやアクティブラーニング室、学生ラウンジ、フリースペース等を設置し、学生が学びやすい環境を整えています。



②　国際交流の実績

海外機関との協定校数：３４校・１機関

うち大学間交流協定数：２０校

③　過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数：131人

　　日本語・日本文化研修留学生：1人

2014年：留学生数：124人

　　日本語・日本文化研修留学生：2人

2013年：留学生数：111人

　　日本語・日本文化研修留学生：1人

④　地域の特色

　青森市は本州最北端の青森県にあり人口約30万人で、コンパクトシティを目指している中核都市です。

　青森空港（国内線や韓国仁川との国際線が就航）や「青森－東京」間を結ぶ新幹線の新青森駅もあり、アクセスが便利です。

　また自然が豊かで四季があり、農林水産業も盛んで、特に「青森のりんご」は世界でも有名です。人々は優しく親切で、物価も非常に安い都市であるため、留学生活がしやすい環境となっています。

■コースの概要

①　コースの特色

（１）日本語の学習等

　日研生は、経営法学部に所属し、留学生の日本語コースで授業を受けることができます。日本語コースは、初級から上級までレベル別で編成され、日研生は自分の能力に応じたクラスで学習する方式です。

　日本語以外にも経営法学部で開講されている専門科目を受講することができ、研究テーマに応じて経営系や法学系の学習をすることもできます。

　また、日本語担当教員が指導教員として指導にあたるため、きめ細かな指導を受けることができます。

（２）日本文化・体験研修等

　年間約50回の国際交流活動・日本文化体験活動・農林水産業体験活動・ホームステイ等のプログラムを用意しており、地域の人々と様々な交流活動をすることができます。





②　受入定員

　４名（大使館推薦２名、大学推薦２名）

③　受講希望者の資格、条件等

日本以外の大学の学部に所属し、日本語あるいは日本文化に関する分野を専攻している者。

日本語能力試験Ｎ３程度のレベル日常会話ができ、簡単な文章の読み書きができる者が望ましい。

④　達成目標

日本語において、入学時のレベル(プレイスメントテストでレベルを決めます)より一段階上のレベルに達すること(例えばＮ２レベルに達すること)。

文法力、会話表現、言葉遣い、ヒアリング等が適切に使えること。

日本文化・体験研修等の結果をまとめ、発表できること。

⑤　研修期間

2016年10月1日　～　2017年9月30日

修了式は9月を予定（2015年は9月）

⑥　研修科目の概要

留学生の日本語コースで2科目(使用言語は日本語)。授業時間は、レベルにより週2回(180分)から4回(360分)まであります。



1）必須科目

授業科目	時間数	内容
日本語Ⅱ	週360分	中級前半
日本語Ⅲ	週360分	中級後半
学術日本語Ⅰ	週360分	上級前半
学術日本語Ⅱ	週180分	上級後半

「暮らしと地域」「暮らしと経済」、「日本の政治と経済」、「日本の歴史と文化」の4科目。

2)　見学、地域交流等の参加型科目

インターンシップや地域密着型の課題探求科目があります。

3)　その他の講義、選択科目等

ビジネス日本語や経営系や法学系、これらに関連する経済学や政治学などの講義も選択し、履修することができます。



⑦　年間行事

10月　入学式、農林業体験研修、高校生との英語交流、県内留学生との小旅行、紅葉狩り

11月　りんご収穫体験

日本語スピーチコンテスト

12月　クリスマスパーティー

１月　地域との交流会

２月　小学生との交流会、雛飾り体験

３月　小学生との交流会

４月　日本人学生との交流会

弘前公園観桜会

５月　学内・地域との交流会

６月　高校生との交流会

７月　バーベキュー大会

高校生と交流会、ボランティア

８月　ねぶた祭り参加、ボランティア

９月　学園祭

日本語スピーチコンテスト

修了式



⑧　指導体制

日本語担当教員：

　田中　真寿美　講師(日本語教育学)

日本語教育スタッフ：

　佐藤　香織(言語学)

日本文化・体験研修等担当教職員：

　大泉　常長　国際交流センター長・准教授

　三浦　浩　　国際交流課長

　金川　利江子　国際交流課職員

　野呂　香織　国際交流課職員

留学生チューター：

　同国の先輩留学生が日常生活上の指導・助言等を行います。

日本人学生チューター：

　日本人学生との交流やイベントなどを通して有意義な留学生活になるように支援します。

⑨　コースの修了要件

必須科目を履修し合格することおよび研究テーマに関するレポートを作成し発表を行い合格すること。修了者には修了証書を発行します。



■宿　舎

　キャンパス内にある国際交流会館と学術交流会館の二つの学生寮のいずれかを宿舎とし、日研生は全員、学生寮に入寮することができます。

　また、学生寮は日本人学生との共同学生寮となっているので、日本人学生との交流も深まります。

　国際交流会館：一人部屋104室

　学術交流会館：一人部屋70室、二人部屋35室





■修了生へのフォローアップ

卒業生、修了生にはFacebookなどを利用し、大学の情報を提供、双方向の交流を継続しています。



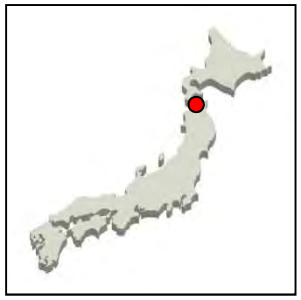
■問合せ先

（担当部署）
青森中央学院大学国際交流課
　住所　〒030-0131
　　青森県青森市横内字神田１２番地
　TEL　＋８１－１７－７２８－０１３１(代表)
　FAX　＋８１－１７－７３８－８３３３
　E-mail　internatinal@aomoricgu.ac.jp

青森中央学院大学ホームページ
　　http://www.aomoricgu.ac.jp/
青森中央学院大学国際交流センター公式Facebook
　　https://www.facebook.com/acguiec







Aomori Chuo Gakuin University (Aomori)

Japanese Study, Culture and Local Community Exchange Programme

■University's Overview



1. Outline

Aomori Chuo Gakuin University located in Aomori city is the first and only university in Japan to establish the Faculty of Management and Law in 1998. The Graduate School of Regional Management and Research Institute of Regional Management are also established that caters to the social needs.

Also, the Faculty of Nursing was established in April, 2014 to implement human resources development of nurses and public health nurses.

Since its establishment, we implement suitable education programme or variety of experience programme to educate students as highly ethical professionals with a broad interdisciplinary knowledge of law and business administration, international exchange and regional contribution.

Specifically International Exchange Center and International Exchange Division attain a reputation as the main role in various international and regional contribution activities.

Learning Commons, Active Learning Room, Student Lounge, Free Space were newly installed in 2014 to provide an environment suitable for studying.

2. International Exchange

Partner Institutions :
34 schools, 1 organization
of which inter-university exchange agreement: 20 universities

3. Numbers of International students and Japanese Studies students during the past 3 years

International Students : 131(2015), 124 (2014) , 111 (2013)
Japanese Studies students : 1(2015), 2(2014), 1(2013)

4. Location Characteristics of Aomori

Aomori prefecture is located at the northernmost tip of Honshu, the main island of Japan, and is bordered on three sides by the sea.

Aomori city is a capital of Aomori Prefecture with a population of more than 300,000 and aims to create a compact city. The airport for domestic/ international direct flights to Seoul, Korea and the station of Tohoku Shinkansen Line make the city accessible for visitors.

Aomori's abundant nature, rich history, and four beautiful distinct seasons make it a fascinating place.

Its diverse landscape changes dramatically in each season. Aomori is also an important region for the agriculture, forestry and fisheries industry in Japan.

The prices are low that Aomori is an ideal place to live and study for international students with kindhearted local people.

■Contents of the Course

1.Course Profile

(1)Japanese Language Education

Students shall register in Faculty of Management and Law, and take simultaneously Japanese language course, which are offered to International students. We open 7 levels of Japanese courses from basic to advanced. All are designed to meet students' aptitudes and interests.

Students can attend classes of special subjects which Faculty of Management and Law offers for more than Japanese language class, so that students are able to continue their research.

Japanese instructors are also assigned as academic advisors, those who give support to Students as foreign language learner.

(2)Japanese Cultural Experience

International students have numerous opportunities to meet and interact with local people in Aomori through activities more than 50 times in a year: Japanese culture experiences, Farm work experience and home stay.



2. Number of Students to be Accepted

4 students in total :
2 students (nominated by Japanese Embassies)
2 students (nominated by Universities)

3. Qualifications and Conditions of Applicants

– Applicants should be undergraduate at an overseas university with a major in Japanese Language, Japanese culture and Japanese Studies.

– Applicants are expected to have the ability to understand everyday conversation and read and write simple sentences, an equivalent of Level N3 of the Japanese Language Proficiency Test.

4. Goal

– Improvement to more advanced level than students' entry level. Course and subjects will be decided after a Placement Test which students will take on enrollment to determine their level in Japanese language skills.

– The acquisition of ability of grammatical competence, conversation expression, phrasing and listening comprehension.

– Students are required to write an essay about their research and make a presentation.

5. Duration of the Programme

1 October, 2016 – 30 September, 2017
The Completion Ceremony will be conducted in September.

6. Subject Outline

(1) Compulsory subjects

– 2 subjects from Japanese Language subjects conducted in Japanese.
The lesson hours depend on the courses, and it will be twice a week (180min.) to 4 times a week (360min.)

– 3 subjects from Liberal Arts,
"Living and Community", "Living and Economy" "Japanese Politics and Economy" and "Japanese History and Culture".

(2) Participatory subjects such as Field trip or Regional Community Interaction Activities
–Internship programme, Community-based research subjects and local exchange events.

Subjects	Lesson Hours	Contents
Japanese Ⅱ	360 min/week	Pre-Intermediate Level
Japanese Ⅲ	360 min/week	Intermediate-High Level
Academic Japanese Ⅰ	360 min/week	Pre-Advanced Level
Academic Japanese Ⅱ	180 min/week	Advanced-High Level

(3)Elective subjects and others

In addition to the compulsory courses, students are able to take Business Japanese or courses related to Management and Law, Economics and Politics regularly offered to Japanese and international students.

7 .Events

October	Entrance Ceremony, Farm work Experience, English workshop with high school students, Excursion with international students from other universities Seeing foliage
November	Apple Picking Experience, Japanese- language speech contest
December	Christmas Party
January	Exchange event with people in the local community
February	Activities with elementary school pupils
March	Activities with elementary school pupils
April	Cherry Blossom Viewing at Hirosaki Park, Welcome event organized by Japanese students
May	Exchange event with students enrolled in university and local people
June	Exchange event with high schools students
July	BBQ Party, Exchange event with high school students, Volunteer activities
August	*Nebuta* Festival, Volunteer activities,
September	Campus Festival, Japanese-language speech Contest, Completion ceremony

*and many other extracurricular activities will be planned.



8. Support System

–Course Advisor

Masumi TANAKA,
Lecturer of Faculty of Management and Law
(Teaching Japanese as a Foreign language)

Kaori SATO,
Japanese language educational staff
(linguistics)

–Supervisor and Administrators of Japanese Studies Programme

Tsunenaga OIZUMI, Associate Professor
(Head of International Exchange Center)

Hiroshi MIURA,
(Manager of International Exchange Division)

Rieko KANAGAWA,
(Staff of International Exchange Division)

Kaori NORO,
(Same as above)

–International student Tutors

As senior international students will be assigned as tutors, and students are able to receive academic and personal guidance.

–Japanese student Tutors

Japanese Tutors set up exchange events and support international students to make their campus life in Aomori more meaningful.

9. Course Completion Requirements

In order to complete the programme, students must pass all compulsory subjects, make a report, give a public oral presentation at the end of the programme on their research themes.
On completion of the course, students will receive the certificate.

■Housing

University provides two dormitories on-campus. All international students are able to live in either dormitory.
Japanese students also live in the dormitories, so that international students can make a friendship with Japanese students.

International Exchange Hall
(104 single rooms)
Academic Exchange Hall
(70 single rooms, 35 shared rooms for 2 person)

International Exchange Hall



Academic Exchange Hall



■Follow-up Service for Alumni

Sending Campus Newsletters "Kobushi-no-Hana" by post to all alumni and providing university information to establish communications through Facebook.

■Contact

INTERNATIONAL EXCHANGE DIVISION,
AOMORI CHUO GAKUIN UNIVERSITY

Address : 12, Kanda, Aomori-shi, Aomori, 030-0132, Japan
TEL : +81-177-728-0131
FAX : +81-177-738-8333
E-mail : **international@aomoricgu.ac.jp**

Website of Aomori Chuo Gakuin University
http://www.aomoricgu.ac.jp/

Official Facebook of International Exchange Center of Aomori Chuo Gakuin University
https://www.facebook.com/acguiec





■Spring Cherry-blossom



■Summer Nebuta Festival











千葉科学大学(千葉県銚子市)

CIS 千葉科学大学 CHIBA INSTITUTE OF SCIENCE

2016年人を助けたい、という人の大学:日本語・日本文化研修留学生コース

■大学紹介

① 大学の特色および概要

2004年4月　開学（薬学部・危機管理学部）
2010年4月　留学生別科を増設
2014年4月　看護学部の増設(3学部体制)

本学を運営する加計学園は、岡山理科大学(1964年開設)、倉敷芸術科学大学(1995年開設)、付属高校、中学などをもつ総合的な学校法人である。法人の建学の理念は、次の通り。

ひとりひとりの若人が
持つ能力を　最大限に引き出し
技術者として　社会人として
社会に貢献できる　人材を養成する

このもとで、本学の教育目標は、次の通り。

健康で安全・安心な
社会の構築に寄与できる人材の養成



② 国際交流の実績（2015年）　人数（受入／派遣）

米国	フィンドリー大学 (8/ 1)	ライト州立大学 (7 / 1)
ブラジル	パラナカトリカ大学 (7 / 1)	パラナ連邦大学 (3 / 1)
ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ	ポリテック (12 / 0)	

③ 受入れ留学生数（日研生を含む）

年度	留学生数	（別科生数）	[日研生]	備考
2015	96	(23)	[0]	10月1日
2014	110	(27)	[2]	
2013	138	(18)	−	
2012	178	(15)	−	
2011	202	(24)	−	

※学生の出身国(2015年度)　中国・スリランカ・ベトナム・パキスタン・ネパール・ミャンマー・マレーシア・韓国・イスラエル・台湾

④ 地域の特色

銚子市は東京から約100km、成田空港から約50km。東方と南方は太平洋に囲まれ、北方は利根川が流れている。

気候は海洋性で、夏は涼しく、冬は暖かい。霧が多く発生し、湿度が高い。雪はめったに積もらない。海風が強く、風力発電の風車がたくさん回っている。漁業や醤油のまちとして知られる。銚子港の水揚げ高は全国一。農業も盛んで、食糧自給率は250%を超える。　空気は澄み、地形は変化に富む。水郷筑波国定公園(1959)、銚子ジオパーク(2012)、国指定名勝／天然記念物指定答申(2015)と、自然が豊かな地域である。





銚子ジオパークジオっち

■コースの概要

① コースの特色

日本語・日本文化研修コースは留学生別科が運営している。教育理念は次の通り。

a) 太平洋の向こう岸はアメリカ、世界へ繋がる岬のまちの大学で学ぼう
b) 日本の自然と文化が豊かなまちで、美味しい楽しい日本語を学ぼう

銚子市は外国人の住民登録で5%以上を占め、研修生（漁業／農業）も多い。まち全体をキャンパスと見立て、地域住民(外国人や小中高も含む)との日常的な交流を通じて、生きた日本語・日常の日本文化を学ぶ機会をできるだけ増やす努力をしている。

なお、東日本大震災を教訓にして、避難訓練を行うとともに、復興活動へのボランティアに協力している。

② 受入定員(実績2014年各1名、2015年各0名)
定員8名（大使館推薦5名、大学推薦3名）



銚子市内の小学校運動会へ出場

③　受講希望者の資格、条件等

「日本語レベル」日本語能力試験
漢 字 圏：N4以上
非漢字圏：N5以上

※日本文化に関心があり、日本語学習に意欲があること。

《聞》・約束する時間や場所を聞き取り、その内容を守ることができる。
《話》・自分の自己紹介に対して、簡単な質問がされたとき応答ができる。
《読》・予定表（日時・曜日・場所）を読み取り行動ができる。
《書》・ひらがな・カタカナが自由に書け、所定用紙に氏名などが記入ができる。

④　達成目標

「日本語レベル」日本語能力試験
漢 字 圏：N2以上
非漢字圏：N3以上

※修了試験（記述・会話を含む）に合格すること。

《聞》・標準的な話し方のＴＶや映画がだいたい理解できる。
《話》・学業やアルバイトの面接で希望や経験を話すことができる。
《読》・新聞や雑誌において、関心のある話題の記事が読むことができる。
《書》・感謝や謝罪を伝える手紙やメールを書くことができる。

⑤　研修期間（日研生も含む）

2016年10月～2017年8月
2016年9月下旬（入国受入れ・生活指導）
入学式　2016年9月下旬
修了式　2017年8月下旬

⑥　研修科目の概要

	科目	領域	単位	週当たり授業時間
1）必須科目教室内での通常型(ｾﾒｽﾀ)の授業 840時間	日本語Ⅰ	文型・文法	8	6
	日本語Ⅱ	聴解	4	3
	日本語Ⅲ	会話	4	3
	日本語Ⅳ	漢字・語彙	4	3
	日本語Ⅴ	作文	4	3
	日本語Ⅵ	読解	4	3
2）地域交流等の参加型科目	総合学習		4	集中 90時間
3）その他の講義、選択科目等	情報科学		4	不定期開講
	日本語Ⅶ	試験対策	8	集中 120時間
	HR	ホームルーム		毎週3コマ相当

・開講科目40単位以上（秋学期20単位以上、春学期20単位以上）
・不認定科目は、選択科目として次学期に補講・再試験
・年間行事はＨＲ（単位認定・評価せず）で事前事後指導。



銚子市内の中学校における交流会

⑦　年間行事（9月～9月）

月	学校関係	市民交流
9	秋入学式	歓迎会 小学校運動会
10	個別面談(進路) 別科ｽﾋﾟｰﾁ予選	中学生交流会 一泊研修旅行
11	試験対策講座	高校生交流会
12	研修旅行（宿泊） 日本語能力試験	銚子ｽﾋﾟｰﾁ大会
1	書き初め 定期試験	初詣（社寺）
2	書き初め展示	旧正月休み
3	春入学者修了式 謝恩会	ボランティア 日本文化体験
4	春入学式 交通マナー講習	歓迎会 お花見
5	まち歩き遠足 津波避難訓練	小学生交流会 （給食体験）
6	試験対策講座	社会科見学
7	日本語能力試験 ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ	七夕　夏祭り プラネタリウム
8	定期試験 秋修了式	大相撲地方巡業 （東庄町笹川）
9	…．	ｶﾞｰﾃﾞﾝﾊﾟｰﾃｨ（出身国の料理）

研修旅行
箱根の温泉
ゆかたで夕食



⑧　指導体制（2015年度現在）

●日本語教育　（担当スタッフ）

《専任》

船倉武夫(留学生別科長)、高橋道恵(講師)♭

《非常勤講師》

鏑木 正、鈴木美貴子♭、小濱知子♭、滝口晶子♭
佐藤真紀♭、鎌田久美子♭、西山智恵子♭
床枝書玲(中国籍)#♭、他

※　日本語教員は「銚子日本語教育の会」を結成、その活動は2012年度銚子賞として表彰された。

※　教室内の授業は、プレースメントの結果で能力別クラス編成、クラスごとチームティーチングする。ホームルームや学外活動などは、合同で実施する。

※　ＳＡ（スチューデントアシスタント）は、学部生(別科修了生の留学生及び日本人生)を活用することで修了生のフォローアップの機会を増やし、若い日本人と交流する機会の増加が目的である。

●生活面　サポートスタッフ(学務部国際交流課)

畑 茂穂(学務部長)
ビクター＝ヘイゼン(英語)#
張 秋月(中国語)#　木下 匡善♭

#：ネイティブスピーカーの教職員
♭：日本語教育指導講習760時間以上

⑨コースの修了要件

□在籍期間	12ヶ月以上
□出席率	80%以上
□修得単位数	40単位以上
□日本語能力試験	Ｎ3以上に合格
□修了試験	合格
□公序良俗を遵守していること	

■宿　舎

●宿舎（民間アパートの借り上げ）
●３ＬＤＫ
原則として３人でルームシェア
●費用
家賃総額　30万円　（原則として一括前納）
雑費：ガス・鍵の保証料、火災保険料　約3万円
公共料金（光熱水費）は月払い　約1万円
●備品
冷蔵庫、洗濯機、照明器具、机、椅子など
●インターネット
ワイヤレス回線セキュリティ完備ＷｉＦｉ接続



男子寮
・愛宕町パークランド浅間台
（せんげんだい）



女子寮
・清川町マリクレール

■修了生へのフォローアップ

・修了生で本学への進学者をＳＡとして雇う。
・適性に応じ進路指導を行う。
・就労希望者がキャリアセンターを通じて情報提供する。
・海外支局長を通じて帰国時もサポートする。

■問合せ先

（担当部署）
千葉科学大学
住所　〒288－0025
千葉県銚子市潮見町3番地

●入試広報室
TEL　+81-(0)479-30-4545
FAX　+81-(0)479-30-4546
e-mail　koho@cis.ac.jp
http://www.cis.ac.jp/examinee/

●学務部国際交流課
TEL　+81-(0)479-30-4649
FAX　+81-(0)479-30-4650
e-mail　intl@ml.cis.ac.jp
http://www.cis.ac.jp/~kouryu/

●キャリアセンター
TEL　+81-(0)479-30-4552
FAX　+81-(0)479-30-4557
e-mail　career1@ml.cis.ac.jp
http://www.cis.ac.jp/~career

●留学生別科　（日研生）
TEL　+08-(0)479-30-4649
FAX　+08-(0)479-30-4650
e-mail　bekka@ml.cis.ac.jp
http://www.cis.ac.jp/infomation/bekka/

●海外支局長
※　対象となる国は次の通り

中国・韓国・ベトナム・ミャンマー・
ネパール・スリランカ・パキスタン
マレーシア・オーストラリア



Chiba Institute of Science

(Choshi City, Chiba)

2016 A University for people who want to help people: Japanese Language and Culture Course for International Students

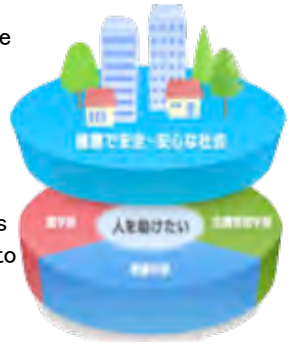
University Introduction

① Overview and Features

April 2004 University Established
(Faculties : Pharmacy ・Risk and Crisis Management)
April 2010 Intensive Japanese Language Program Established
April 2014 Faculty of Nursing Established

Our parent organization, the Kake Educational Institution, also operates two other universities, the Okayama University of Science (est. 1964) and the Kurashiki University of Science and the Arts (est. 1995), as well as a Vocational School and Junior and Senior High Schools. It is a multifaceted Educational Institution.
Our Institutional Philosophy is:

"To draw out the talents and abilities of the youth to their maximum potential and foster individuals who contribute to society as professionals in their fields and as responsible members of society"



② International Exchanges (2015)

Country	Sister University
Cultural Exchange Programs (host / sending)	
USA	University of Findlay (8/ 1)
	Wright State University (7 / 1)
Brazil	Parana Federal University (3 / 1)
	Parana Catholic University (7 / 1)
Singapore	Singapore Polytechnic (12 / 0)

③ International Students from:

China, Korea, Sri Lanka, Vietnam, Pakistan, Malaysia, Taiwan, Myanmar, Nepal, Malaysia, Israel

Year	Undergraduate	Intensive Japanese Language Course	Japanese Language and Culture Course
2015	96	23	
2014	110	27	2
2013	138	18	
2012	178	15	
2011	202	24	

④Local Area : The city of Choshi is located approximately 100 km from Tokyo and 50 km East of Narita Airport. It is surrounded on the East and South by the Pacific Ocean as well as the Tonegawa River on the North creating a mild climate that is relatively cool in the summer and warm in the winter, which also causes fog and high humidity. Snow rarely accumulates and there is always a strong ocean breeze. Many windmills can be seen in the area. It is known for its fishing ports, having the largest catch in Japan, its soy sauce production, and its abundant agriculture, allowing food self-sufficiency rate of 250%. The air is clean and the the landscape is rich and varied. The area was designated as the Suigo-Tsukuba Semi-national Park in 1959 and as a Geo-Park in 2015.
http://www.choushi.geopark.jp

Course Synopsis

① Course Characteristics

Japanese Language and Culture Course is administered by the Intensive Japanese Language Program with the following Educational philosophy:
a)Come study at a university on the shores across the Pacific Ocean from America in a city on a peninsula that faces the world
b)Come to a place rich in Japanese nature and culture to learn fun and delicious Japanese Language.
Choshi City has an international population of over 5% as there are numerous foreign trainees in the agricultural and fishing industries. As the campus extends into the community there are many opportunities to interact with, and learn Japanese from the local citizens (including primary and secondary students) on a daily basic. It is an environment where one can relax both the mind and body while studying.





Geo Park Mascot "Geochi"

② Positions Available 8

5 (Embassy Recommendations)
3 (University Recommendations)
2014 1 student 2015 0 students



Participating at a local Choshi Elementary School Sports Day

③ Requirements for Application

Japanese Language Proficiency Test
N 4 or above for students from kanji based countries
N 5 or above for non-kanji based countries
Individuals with a desire to study the Japanese language and culture

listening: ability to determine time, location and substance of appointment conversation

speaking: ability to give self introduction and answer simple questions

reading: ability to read time schedules time, date and location

writing: ability to freely write in hiragana and katakana; ability to correctly write name on forms

④ Goal

Japanese Language Proficiency Test
N 2 or above for students from kanji based countries
N 3 or above for non-kanji based countries
Pass a written and oral completion examination.

listening: normal understanding of TV or movie dialogue

speaking: in the classroom or at a part-time job interview, ability to express desires and experience

reading: ability to read articles on subjects of interest in newspapers or magazines

writing: ability to write letters or emails expressing appreciation or an apology

⑤ Japanese Language and Culture Course Period of Study

September 2016 – September 2017
Entrance Ceremony September 2016
Completion Ceremony September 2017
September will be used to acclimate students to life in Japan and a period of time is provided to make preparations to depart Japan

⑥ Subject Summary

	Subject	Area of Study	Units	Class Hr. per Week
1) No. of Required Class Hours 840 hr	Japanese I	Grammar Sentence Patterns	8	6
	Japanese II	Listening Comprehension	4	3
	Japanese III	Conversation	4	3
	Japanese IV	Kanji Vocabulary	4	3
	Japanese V	Composition	4	3
	Japanese VI	Reading Comprehension	4	3
2) Excursions, exchanges with community	Integrated Study		2	90 hr total
	Information Sciences		2	15
3) Other Lectures & Elective Classes	Japanese VII	Test Taking Strategies	8	120 hr total
	HR	Home Room One Class a Week		

Course consists of 40 unites (20 during Fall Semester and 20 during Spring Semester). Students are expected to enroll in all units. In order for students to successfully continue studying; required classes and examinations for which students are unable to obtain credit, will be offered again the following semester to be taken instead of elective classes. Annual events will be announced in Home Room (there is no credit or evaluation for HR)



Exchange with Jr. High School Student in Choshi

⑦ Subject Summary

Month	University Events	Community Events
Sept.	JLCC Entrance Ceremony Open Campus	Welcome Reception Elementary School Sports Day
Oct.	Interviews Class Placement	Exchange with Jr. High School Overnight Excursion
Nov.	Speech Contest Selection Test Strategy Lecture	Exchange with High School
Dec.	Japanese Proficiency Test	Speech Contest
Jan.	New Year's Writing Examination	New Year's Shrine Visit Abacus Training
Feb.	New Year's Writing Display	Lunar New Year Vacation
Mar.	Completion for Spring Students	Japanese Culture Experience Volunteer
Apr.	Spring Entrance Ceremony Traffic Safety	Welcome Reception Flower Viewing
May	Walking Excursion Tsunami Fire Drill	Exchange with Elementary School (School Lunch)
June	Test Strategy Lecture	Social Study Tour
July	Japanese Proficiency Test Open Campus	Tanabata Festival Planetarium
Aug	JLCC Completion	Garden Party Dishes from Each Country
Sept.		Garden Party (students serve traditional food from their home countries)

Dinner in Yukata on the November 7 Hakone Onsen overnight excursion



⑧ Instruction Method

◉Japanese Language Instructors

Takeo Funekura (Course Director)
Michie Takahashi (Head Instructor)
Adjunct Instructors
Tadashi Kaburaki, Mikiko Suzuki,
Ami Hashizume, Tomoko Kohama,
Shurin Tokoeda,
Hiroko Wada, Maki Sato, Akiko Takiguchi Kumiko Kamada, Chieko Nishiyama
The Japanese language faculty was recognized with the Choshi City Award in 2012 for establishing the Choshi Japanese Language Association.
As 5 of the faculty reside in Choshi and 2 in Kamisu (across the Tonegawa River in Ibaraki) students are able to receive guidance outside
of the classroom as well.
Contact is frequently made by mobile phone mail

◉Daily Live Support (Educational Affairs Division, International Affairs Office)

Shigeho Hata (Manager, Educational Affairs Division)
Victor Hazen (English) #
Chiu Yueh Chang (Chinese) #
Tadayoshi Kinoshita (Japanese) ♭
: Native Speaker
♭ : Certified Japanese Language Teacher
SA (Student Assistant)
Undergraduate (JLCC Alumni) work as student leaders

Dormitory

Private apartments are leased for use of International students (normally 3 students will share an apartment)
Apartments consist of 3 Bedrooms and a Dining Kitchen

Rent : Dormitory rent 300,000 yen (to be paid prior to enrollment)

Other fees : Gas & key deposits, Insurance approx. 30,000 yen

Utilities : Gas, water and electric are approx. 10,000 yen per month

Furnishings : Refrigerator, washing machine, stove, lighting, desk and chair

Internet : Each room is able to connect to wireless internet access



Male Dormitory (Atago Cho Parkland Sengendai)



Female Dormitory (Kiokawa Cho Marie Claire)

Contact

Chiba Institute of Science
Admissions Office
Chiba Institute of Science
3 Shiomi Cho
Choshi, Chiba
288-0025
Tel +81 (0) 479-30-4500
e-mail koho@cis.ac.jp
http://www.cis.ac.jp/examinee/index.html

Chiba Institute of Science
International Affairs Office
Tel +81 (0) 479-30-4649
e-mail intl@ml.cis.ac.jp
http://www.cis.ac.jp/~kouryu/

Chiba Institute of Science
Career Planing Office
e-mail career1@ml.cis.ac.jp
http://www.cis.ac.jp/~career/

Chiba Institute of Science
Intensive Japanese Language Course
e-mail bekka@cis.ac.jp
http://www.cis.ac.jp/information/bekka/

⑨ Conditions for Completion

- ☐ Enrollment of 12 months
- ☐ Attendance of 80% or more
- ☐ Completions of 40 Unites or more
- ☐ Acquirement of N3 or above on the Japanese Language Proficiency Test
- ☐ Pass the Final Examination
- ☐ Follow the university code of conduct

After Completion

Work as Student Assistants at Chiba Institute of Science
Guidance to bring out each individuals ability
Information for those seeking employment in Japan from our Career Center
Support from our Overseas Liaison Officers

Overseas Liaison Officers
In the following :
China, Korea, Vietnam, Myanmar, Nepal, Sri Lanka, Pakistan, Malaysia, Australia



慶應義塾大学 (東京都)

○特色
日本語研修課程では、初期の段階から、受講者が将来専門分野において研究を行う際に有用な日本語の運用能力を養成することを重視している。また、受講者の留学目的に合わせて、多様な学習段階・科目を用意している。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

慶應義塾は、啓蒙思想家として歴史上名高い福澤諭吉によって1858年に創設された日本で最も古い歴史を誇る私学である。私学として最初の大学部が1890年に設けられ現在に至っている。1898年には幼稚舎が設置され、以来、小学校から大学までの一貫教育制度を拡充、発展させてきた。

慶應義塾は、大学とその他関連校により構成されており、伝統的に塾長が大学長を兼ねる。

学部名：
文学部, 経済学部, 法学部, 商学部, 医学部,
理工学部, 総合政策学部, 環境情報学部,
看護医療学部, 薬学部

大学院名：
文学研究科, 経済学研究科, 法学研究科,
社会学研究科, 商学研究科, 医学研究科,
理工学研究科, 経営管理研究科,
政策・メディア研究科, 法務研究科,
健康マネジメント研究科, 薬学研究科,
メディアデザイン研究科,
システムデザイン・マネジメント研究科

2) 学生数（2015年10月1日現在）
学部生：28,616名、大学院生：4,775名

3) 教員数（非常勤含む）（2015年5月1日現在）
5,602名（外国人教員100名含む）

② 国際交流の実績(2015年5月1日現在)

1)受入
外国人留学生在籍数 1,418名

2)派遣
学生国外留学生数 307名

③ 過去３年間の日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

	受入れ実績
2013年度	14名（EJ10名、DJ4名）
2014年度	13名（EJ10名、DJ3名）
2015年度	13名（EJ10名、DJ3名）

EJ:大使館推薦
DJ:大学推薦

■コースの概要

（日研生も一般の別科生と同じ授業を受講する。）

① コースの特色

日本語研修課程では、直接教授法による日本語教育を行なっており、初級から上級まで多様な学習段階・コースが設けられているため、各学習者の必要や興味に応じてプログラムを組むことが可能である。また専門分野との連繋を重視しており、将来学習者が専門分野で研究を行う際に有用な日本語力を初期の段階から養成するよう配慮している。その他、上級学習者向けには、日本文化に関する知識を深めるための日本文化科目を設け、各学部・研究科の科目等履修も一部認めている。このほか、自由科目として、国際センター設置の英語による講座も履修することができる。

② 受入定員

180人（内、日研生定員は、EJ10名程度、DJ3名程度）

③ 受講希望者の資格、条件等

高等学校卒業生ならびにこれと同等以上の資格があると認められる者。大学で専門分野の教育を受けている者、あるいは既に受けた者が望ましい。

④ コース期間（秋学期入学）
秋学期2016年9月22日～2017年9月21日
（授業期間は春学期：7月末終了、秋学期：1月末終了）

⑤ コース形態

基幹コースと特化コースに分かれている。
＜基幹コース＞
別科・日本語研修課程の中心となるコース。
＜特化コース＞
書きことばを中心とする専門的な日本語の習得を目標として設けられたコース。

⑥ 授業科目の概要

日研生も一般の別科生と同じ授業を受講する。
1)履修科目
履修する科目は、技能別科目、総合日本語科目、日本文化科目、特化コースセット科目、自由科目に分かれている。そのうち、技能別科目、総合日本語科目、日本文化科目、特化コースセット科目の単位は修了単位に含まれる。
＜技能別科目＞
「話す・聞く・読む・書く」の四技能をそれぞれに特化して身につける科目。
＜総合日本語科目＞
「読む・書く・聞く・話す」の四技能を総合的な活動を通して身に付ける科目。
＜日本文化科目＞
日本の文化や社会に関する知識を深めるための科目。上級学習者を対象とする。
＜特化コースセット科目＞
特化コース専用の科目。
＜自由科目他＞
日本語による授業のほかに、自由科目として、国際センターに設置されている英語で行われる科目を履修することもできる。また、JLPT N2相当以上の学生には、学部・大学院開講の通常の授業科目の一部を1学期に2科目4単位まで履修することが認められる。

2)学習段階と達成目標
　本課程では、幅広い学習者に対応できるカリキュラムを提供しているので、大学における専門分野の能力が高く、日本語学習に対する強い動機を持つ学生であれば、入学時の日本語能力のレベル、過去の日本語学習経験の如何は問わない。
　学習段階は１から9までに分かれている。学期の初めに実施される学習段階分けテストの結果によって、学習段階が決定する。それぞれの学習段階の対象者と目標は下記のとおりである。

＜学習段階1～4＞
初級学習者を対象とし、日常生活に必要な会話と読み書きができるような日本語力の獲得を目標とする。

＜学習段階5～6＞
中級学習者を対象とし、話し言葉・書き言葉の両面において一般的な日本語の表現・理解ができるような日本語力の獲得を目標とする。

＜学習段階7～8＞
一般的な日本語能力の表現・理解に十分な日本語力を有する者を対象とし、大学の講義の聴講、教科書・参考書の読解、レポート・答案の作成等に必要な能力の獲得を目標とする。

＜学習段階9＞
高度な日本語力を有する者を対象とし、専門分野の講義の理解、口頭発表や討論、専門書の読解、論文作成等に必要とされる専門的な能力の獲得を目標とする。

3)1学期に必要な履修科目数
各自の学習段階に合った技能別科目、総合日本語科目、日本文化科目、特化コースセット科目を組み合わせて、1週間に7科目以上を履修する。
（1科目は、1週間に90分の授業１回とする。）

⑦　指導体制
指導体制（関係教員）の状況（2015年11月1日現在）
1)責任教員
　日本語・日本文化教育センター所長　　友岡 賛
　日本語・日本文化教育センター副所長　田中 妙子
　学習指導主任　　大場 美穂子
2)協力教員
　専任教員　　10名
　兼担教員・非常勤講師　　39名
3)事務責任者
　学生部事務長　渡辺 秀人
4)個別指導の実施
各レベルにレベルコーディネーターを置き、個々の学生の学習指導・生活相談等 に常に対応できるようにしている。また、学習指導主任1名と学習指導副主任2名による学生への指導・支援体制も整えられている。

⑧　行事等
留学生支援団体による各種活動（カンバセーションパートナー制度、日本語クラブ、スピーチコンテスト、交流会、見学会、伝統文化紹介、バザー等）

⑨　コースの修了要件、修了証書の発行
修了要件は、1年以上在学して、異なる二つの学習段階に合格することである。各学習段階を合格するためには、「3）1学期に必要な履修科目数」に示された科目数を満たす必要がある。修了要件を満たした者には修了証が発行される。

⑩　単位認定、単位互換等
JLPT N2相当以上の学生については、学部・大学院開講科目の一部を1学期に2科目4単位まで日本語研修課程の修了単位として認定する。
単位互換については、各学生の出身大学の制度による。

■宿　舎
慶應義塾大学では、留学生のための宿舎を一部用意している。ただし、部屋数に限りがあり、希望者多数の場合は抽選となる。
家賃56,000円～78,000万円程度、通学時間60分程度。
＜過去３年間の日研生の宿舎入居状況＞
日研生は全員、慶應義塾大学の宿舎または国際交流会館（公的宿舎）に入居している。

■修了生へのフォローアップ
毎学期終了後、別科事務局から修了生にアンケートを行い、進路状況の把握に努めている。多様な進路があるが、もっとも多いのは「母国で就職」、「日本で大学院進学」、「日本で就職」の３つである。多くの別科修了生がそれぞれの出身分野で更なるキャリアアップを果たしている。

■問い合わせ先

（担当部署）
慶應義塾大学学生部国際交流支援グループ
（文部科学省（国費）奨学金留学生担当）
住所　　〒108－8345　東京都港区三田2-25-45
TEL　　＋81－3－5427－1612（直通）
FAX　　＋81－3－5427－1638
E-mail　ic-mext@adst.keio.ac.jp

慶應義塾大学国際センターホームページ
URL:
http://www.ic.keio.ac.jp/

慶應義塾大学ホームページ
URL:
http://www.keio.ac.jp/index-jp.html

日本語・日本文化教育センターホームページ
URL:
http://www.cjs.keio.ac.jp/index.php?page=home



Keio University（Tokyo）

○ **Program summary**
The Japanese Language Program (JLP) is designed at each level to help students attain the Japanese language skills necessary for future research in specialized fields. The program also offers a range of levels and subjects to meet the needs of students studying at Keio University on exchange.

■ Overview of Keio University

① History

Originally established in 1858 as Keio Gijuku, a school of Dutch learning by Yukichi Fukuzawa, a highly respected intellectual leader, Keio University is the oldest and one of the most renowned private institutions of higher education in Japan. Keio's first university departments were established in 1890 and were followed by the establishment of Keio Yochisha Elementary School in 1898. Since then, Keio University has expanded into a comprehensive educational system comprising primary, secondary and tertiary levels.

② Organization

Undergraduate faculties: Letters, Economics, Law, Business & Commerce, Medicine, Science & Technology, Policy Management, Environmental & Information Studies, Nursing & Medical Care, Pharmacy.

・No. of students: 28,616 (as of October 1, 2015)

Graduate Schools: Letters, Economics, Law, Human Relations, Business & Commerce, Medicine, Science & Technology, Business Administration, Media & Governance, Law School, Health Management, System Design & Management, Media Design, Pharmaceutical Sciences.

・ No. of students: 4,775 (as of October 1, 2015)

・ No. of International exchange students: 1,418
・ No. of students studying overseas: 307
(as of May 1, 2015)

・ No. of academic staff: 5,602 (international staff): 100
(as of May 1, 2015)

③ No.of Monbukagakusho JLP Students in the past 3 years

※Embassy Nominated Students: EJ
※University Nominated Students: DJ

2013	14 (EJ 10、DJ 4)
2014	13 (EJ 10、DJ 3)
2015	13 (EJ 10、DJ 3)

■ Program Outline (for Monbukagakusho and regular students)

① Program features

The JLP is taught using the direct method of teaching and offers a range of course levels and subjects allowing students to find a program of study that matches their needs and interests. The curriculum is designed at every level to help students to build the language skills necessary for future research in specialized disciplines. Students in advanced levels are also able to deepen their cultural knowledge by taking subjects from Japanese Studies on Society and Culture. Students who meet the registration requirements may also take a limited number of credit- bearing undergraduate or graduate subjects. In addition, students may take optional subjects conducted in English offered by International Center.

② Quota: 180 students

(including around 10 of EJ and 3 of DJ for Monbukagakusho students)

③ Prerequisites

Applicants must have graduated from senior high school or the equivalent. Preference is given to applicants who are studying or have studied in a specialized discipline in their undergraduate programs.

④ Program dates

Fall Admission: September 22, 2016- September 21, 2017
End of the Course
Spring Semester: end of July
Fall Semester: end of January

⑤ Study paths

The JLP is comprised of "Main Course" and "Pre-designed Course."
<Main Course>
The Main Course is the core part of the Japanese Language Program.
<Pre-designed Course>
The purpose of this course is to enable students to learn Japanese with a focus on writing skill for use in a specialized area.

⑥ Summary of course content

(for Monbukagakusho students and regular students)
1) Compulsory subjects
Subjects are divided into Subjects with a specific focus, Comprehensive Subjects, Japanese Studies on Society and Culture, Compulsory Subjects for Pre-designed Courses and Optional Subjects. For successful program completion subjects must be taken from all categories except "Optional Subjects".
<Subjects with a Specific Focus>
Especially designed for acquiring the four skills: Reading, writing, listening, and speaking.
<Comprehensive Subjects>
Acquiring the four skills: Reading, writing, listening, and speaking through the comprehensive activities.
<Japanese Studies on Society and Culture>
Acquiring the knowledge of the Japanese society and culture. They are suitable for students at advanced levels.

<Compulsory Subjects for Pre-designed Course>
Subjects offered only for Pre-designed Courses.
<Other Subjects>
Students also have the option of taking subjects conducted in English offered by International Center. Students with the Japanese language proficiency equivalent to N2 level of Japanese-Language Proficiency Test(JLPT) may also take a maximum of two subjects (four credits) from among the courses offered in the university departments or graduate schools.

2) Levels
The program curriculum is designed for students at every level and accepts students regardless of their Japanese ability or previous marks as long as they have advanced skills in a specialized field and a strong motivation to learn the Japanese language.
There are 9 language levels in the JLP. Student levels are determined by a placement test given at the beginning of semester. The levels are described below.
<Levels 1-4>
Suitable for beginners. To acquire the ability to speak, read and write Japanese to a level sufficient for everyday life.
<Levels 5-6>
Suitable for students who have mastered the fundamental Japanese skills. To acquire the ability to express oneself in and understand Japanese at a basic level in both oral and written contexts.
<Levels 7-8>
Suitable for students who have sufficient knowledge of Japanese to express themselves and understand most Japanese used in daily life. To acquire the ability to understand university lectures, read text and reference books, write papers and take examinations.
<Levels 9>
Suitable for students who have attained a high level of Japanese proficiency. To acquire a command of specialist language required to understand lectures in specialized disciplines, participate in discussions, present papers at seminars, read specialized texts and write a thesis.

3) Compulsory courses and credits
Students must register for seven or more subjects per a week from Subjects with a Specific Focus, Comprehensive Subjects, Japanese Studies on Society and Culture and Compulsory Subjects for Pre-designed Courses. Students must choose subjects appropriate to their level.
Note: Each subject is 90 minutes duration (once a week)

⑦ Faculty members and academic guidance (as of November1, 2015):
1) Professors in charge
Director: Susumu TOMOOKA
Vice Director: Taeko TANAKA
Academic Advisor: Mihoko OHBA
2) Collaborating faculties
-Full-time professors (Center for Japanese Studies): 10
-Full-time professors (undergraduate programs and part-time lecturers): 39
3) Chief Executive
-Administrative staff: Hideto WATANABE
4) Student guidance
Level coordinators provide individual counseling to students regarding their studies and daily life. Further study guidance support is available from a team of three academic advisors.

⑧ Activities
International student organizations arrange activities such as conversation partners, Japanese Club, speech contests, cultural exchanges, excursions, Japanese cultural activities, and bazaars.

⑨ Completing the Course of Study
To successfully complete the program, students must be enrolled for one year and pass two different levels. To pass each level, students must meet the requirements regarding subjects and credits (Ref. see 3)) Compulsory Courses and credits). Those who have completed the program will be awarded a Certificate of Completion.

⑩ Recognition of credits; transferring credits
Students with the Japanese language proficiency equivalent to N2 level of Japanese-Language Proficiency Test(JLPT) may take undergraduate and graduate subjects. In the JLP, students are able to receive credits for a maximum of two subjects (four credits). The rules of students' home institution apply regarding the transferring of credits.

■ Housing
Keio University has a limited number of off-campus rooms. Arrangements will be on a first-come, first-served basis. The monthly rent is about 56,000-78,000 yen, with most rooms about an hour away from Mita Campus.

■ Follow-up to JLP graduates
Each semester, the JLP office send out questionnaire to those students who just completed JLP study to ask their courses after JLP. Among the various courses they take, three most frequent choices are "Return to home country to work", "Advance to graduate school in Japan", "Work in Japan". Most JLP graduates continue to pursue their successful career in their own field.

■**Contact**

MEXT Scholarship Coordinator
Office of Student Services
(International Exchange Services Group)
Address: 2-15-45 Mita, Minato-ku, Tokyo 108-8345
Tel: +81-3-5427-1612　　Fax: +81-3-5427-1638
Email: ic-mext@adst.keio.ac.jp

・International Center
URL:
http://www.ic.keio.ac.jp/en/

・Keio University
URL:
http://www.keio.ac.jp/index-en.html

・Center for Japanese Studies
URL:
http://www.cjs.keio.ac.jp/index.php?page=home&lang=en



上智大学 （東京都）

上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

東京の中心地、多種多様なバックグラウンドの教員・学生が集うキャンパスで学ぶ

★日本語科目は習熟度レベル別の少人数クラス　　★日本語以外の科目は英語で履修可能

■大学紹介

① 大学の特色および概要

「叡智（ソフィア）が世界をつなぐ」

上智大学の創立は約460年前の1549年、聖フランシスコ・ザビエルが日本を訪れたことに遡ります。聖ザビエルがローマ教皇に日本に大学を設立することを提言したことを受けて、1913年にカトリックのイエズス会によって上智大学が創立されました。
創立以来、イエズス会の教育理念でもある「Men and Women for Others, with Others（他者のために、他者とともに生きる ）」を教育精神として掲げ、自分自身の利益のためだけでなく、地球的な視野に立って人類が直面する困難な問題に積極的に貢献する人材を育成しています。

教育プログラム・統計

学部：	9学部　29学科
研究科：	10研究科　25専攻
学生数：	13,815名 ※約1,300名が外国人学生（世界60カ国以上）
教員数：	1,427名
職員数：	289名

② 国際交流の実績

上智大学には世界中に200校を超える個性豊かな交換留学協定校・学術交流協定校があります。
（交換留学協定校：50カ国　251大学）

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び
日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2014年：	留学生数	1,540人
	日本語・日本文化研修留学生	6人
2013年：	日本語・日本文化研修留学生	5人
2012年：	日本語・日本文化研修留学生	6人

④ 地域の特色

上智大学は、東京の中心部、千代田区にあり交通の便もよく、皇居・迎賓館も近いことから、周辺は比較的静かで、勉学する環境が整っています。



■コースの概要

① コースの特色

★完全セメスター制を採用

科目はセメスターごとに開講されているため日本語・日本研究ともに柔軟な科目履修が可能です。

★国際教養学部の授業はすべて英語で開講

英語で開講される科目を履修することで、学際的な日本研究に取り組むことができます。

開講科目の分野：
比較文化学、経済・経営学、社会科学

★日本語科目は習熟度別による少人数クラス

授業開始前に日本語プレイスメントテストを実施し、その結果に応じて、クラスのレベルを決定します。

---

② 受入定員

年平均：　10名
（大使館推薦9名、大学推薦1名）

③　受講希望者の資格、条件等

通常の大学入学資格を有すること。

英語能力：
日本語科目以外の授業はすべて英語で行われるため、英語を母国語としない学生は、以下の英語の能力が要求される。
TOEFL　Internet-based　79点以上

---

④　達成目標

日本語科目：
言語教育研究センターが開講する多種多様な日本語科目を履修することで、日本語能力を向上させる。

専門科目：
比較文化学、経済・経営学、社会科学
国際教養学部で英語にて開講される各専門分野を専攻しながら、学際的に日本を研究する。

---

⑤　研修期間

２０１６年１０月～２０１７年８月



⑥　日本語科目の概要

日本語非母国語話者向け

初級（日本語Ⅰ/Ⅱ/M1）：初級文法と漢字400字を学ぶ。「話す・聞く・読む・書く」の4技能を養う。

中級（日本語Ⅲ/Ⅳ/M2/M3）：中級レベルの文法と漢字800字を学ぶ。初級と同様に4技能の養成に力を入れる。

上級（日本語上級Ⅰ/Ⅱ）：新聞・雑誌・論説など生教材が用いられ、各段階に応じて量的、質的難易度が異なる。

日本語集中講座：日本語学習のみを目的とするものが対象。日本語初級後半から上級までを4学期間で学習する。

専門日本語：上級の学習者は、ビジネス日本語、アカデミック日本語、英和翻訳のコースを取ることができる。

日本語母語話者向け

日本語特別講座：バイリンガルの学生の読み書き能力の速成を目指し、常用漢字すべてを慣用句や新聞用語読解教材などで学習する。

日本語表現法Ⅰ・Ⅱ：各種文体に触れ、これにならって作文法を学ぶ。

翻訳科目：英和翻訳が2コースと、和英翻訳が1コース開講され、原文と訳文との比較などによって研究し、実地に翻訳を試み、理論も学習する。

授業時間

日本語Ⅰ、M1、Ⅱ、M2、Ⅲ：　週5日、1日90分
日本語M3、Ⅳ / 日本語上級Ⅰ・Ⅱ：週4日、1日90分
日本語集中講座：週5日、1日180分
その他の科目：週2日、1日90分

⑦　その他の講義、選択科目の概要

比較文化分野

日本美術論入門、日本美術概論Ⅰ・Ⅱ、越境日本美術論、視覚文化とジェンダー、日本美術史演習、比較美術史特講Ⅰ・Ⅱ、日本美術史特講、日本文学入門、日本文学概論Ⅰ、比較文学研究、日本文学研究Ⅰ、アジア文学研究 、日本文学特講、日本演劇特講、日本の宗教、哲学･宗教学研究Ⅰ･Ⅱ、仏教学概論、比較宗教学Ⅱ、宗教と象徴、哲学演習、宗教学特講Ⅰ･Ⅱ　等

社会科学分野

日本社会入門、日本研究概論、現代日本社会、政治と社会、日本文化史Ⅰ・Ⅱ、日本女性史、日本近代史、日本外交史概論、日本史演習Ⅰ、日本の政治、日本の政治演習Ⅰ･Ⅱ　等

経済・経営学分野

現代日本経済論、日本経営論、日本の人事労務管理論、経営学概論、国際金融論、金融論、比較経営学特講、国際マーケティング論、国際貿易論　等

※日本語で授業を受けられるレベルの学生は、外国語学部開講の日本語言語学や日本語教育に関する科目を履修することができます。

---

⑧　年間行事

１０月	秋学期授業開始
	音楽祭
１１月	ソフィア祭
	SOFEX（西江大学との交流会）
１２月	クリスマス行事
４月	春学期授業開始
６月	上智大学・南山大学競技大会（上南戦）



---

⑨　指導体制

責任教員：

国際教養学部長　林 道郎　教授　（美術史）

協力教員：　３１名

事務責任者：　グローバル教育推進室長　佐藤　和美

指導体制：

入学時にアドバイザーを決め、本学での勉学が効果的にできるよう履修計画等を指導する。

---

⑩　コースの修了要件

単位と成績評価				
単位	種類	単位付与		
	専門科目	45分間×15回相当の授業を完了した者に対して1単位が付与されます		
	日本語科目	45分間×30回相当の授業を完了した者に対して1単位が付与されます。		
評価基準	成績			GPA
	A B C D W F	100 - 90 89 - 80 79 - 70 69 - 60	Excellent Good Satisfactory Passing Withdrawal Failure	4.0 3.0 2.0 1.0

■宿　舎

上智大学祖師谷国際交流会館

外国人留学生と日本人学生が共住する上智大学専用学生寮です。

所在地：

東京都世田谷区上祖師谷４－２４－１

交通：小田急線「成城学園前」駅からバス

（上智大学までの所要時間：約50分）

月額寮費：４０，０００円

希望者は渡日前に上智大学グローバル教育推進室にご連絡ください。





■問合せ先

＜コース・カリキュラムに関する問合せ＞

国際教養学部事務室

電話：　＋８１－３－３２３８－４００４

ＦＡＸ：　＋８１－３－３２３８－４０７６

ホームページ：

http://www.fla.sophia.ac.jp

＜国費・事務手続に関する問合せ＞

グローバル教育推進室　国費留学生担当

住所：

〒１０２－８５５４

東京都千代田区紀尾井町７－１

電話：　＋８１－３－３２３８－３５２１

ＦＡＸ：　＋８１－３－３２３８－３５５４

E-Mail: overseas@cl.sophia.ac.jp

大学ホームページ：

http://www.sophia.ac.jp/



Sophia University (Tokyo)

上智大学 SOPHIA UNIVERSITY

Truly Global Education provided at our campus in the heart of Tokyo city

★Japanese Language Program in Small-Class Size from Basic to Advanced level

★ Lecture Courses Offered in English (Comparative Culture, International Business and Economics, Social Studies)

■Overview of the University:

「Sophia – Bringing the World Together」

The origin of Sophia University can be traced back over 460 years, to the visit to Japan by the Jesuit missionary St. Francis Xavier. In letters to Rome, St. Xavier wrote about his hopes to found a university in the Japanese capital. In 1913, charged with the mission of fulfilling his vision, Sophia University was established by the Jesuits.

At Sophia we celebrate the Jesuit principle of education "Men and Women for Others, with Others," by encouraging students to grow intellectually and acquire the wisdom to face challenges in life, and apply a global outlook to contributing to the betterment of humanity.

Facts & Figures

* 9 undergraduate faculties
  with 29 departments
* 10 graduate schools with 25 programs
* Total full-time Student Enrollment: 13,815
  (approx. 1,300 international students
  from more than 60 countries in total)
* Faculty Staff: 1,427
* Administrative Staff: 289

Overseas Partner Institutions

Sophia University has entered into student and academic exchange agreements with more than 200 unique institutions around the world.
(251 institutions in 50 countries and regions)

Number of Japanese Studies Students Accepted

2014: 6 students (Total International Students 1,540)
2013: 5 students
2012: 6 students

Location

The university is located in the center of Tokyo, and close to the Imperial Palace and National Guest House, etc., it is a quiet neighborhood where students can easily concentrate on their studies.



■An Overview of the Course:

① Distinction of the course

★Semester System

All courses are offered on semester-basis. Students can choose courses flexibly in both Japanese language course and Japanese studies.

★Lecture Courses Offered in English at the Faculty of Liberal Arts

Areas of Study:
Comparative Culture,
International Business and Economics,
Social Studies

★Japanese Language Program

Students will be placed in the appropriate track and class level based on the results of the Japanese Placement Test.

---

② Number of Japanese Studies Students Accepted: Annual Average 10
Embassy recommendation: 9
University recommendation: 1

③ Application Requirements

The applicants must have met regular entrance qualifications for Universities.

English Proficiency

Non-native speakers of English who wish to take lecture courses offered at the Faculty of Liberal are required to have a minimum TOEFL IBT score of 79.

---

④ Aim of Courses

Japanese Language Program

The Center for Education and Research offers multiple tracks and levels of Japanese language courses. Students are expected to improve their Japanese ability by taking these courses.

Lecture Courses

Comparative Culture, International Business and Economics, Social Studies

Faculty of Liberal Arts emphasizes a comparative and interdisciplinary approach to the study of Japan. All courses are given in English,

---

⑤ Period of Study at Sophia

October 2016 – August 2017



⑥ Japanese Language Courses

(1) Regular Track:

・Basic Japanese: Japanese 1, 2, M1
Fundamental skills of speaking, listening, reading, and writing 400 cumulative kanji.
・Intermediate Japanese: Japanese 3, 4, M2, M3
Grammar and 800 cumulative kanji for production and recognition
・Advanced Japanese : Advanced Japanese 1, 2
Newspaper articles, literary works, and academic writings

(2) Intensive Track:

・Intensive Japanese: Three levels covering the second half of the introductory level and the advanced level.

(3) Native Speaker's track:

・Japanese for Reading and Writing: For students who possess native fluency in the spoken language.
Composition courses: Writing methods and styles.
・Translation: Japanese to English translation. Theory and practice of translation. Comparison of source text and target language translation.

Length of Courses

All courses are completed in one semester. Except for Japanese language courses*, classes are 90 minutes each and meet twice a week. One semester consists of 15 weeks.

*Japanese language courses
・Japanese 1, M1, 2, M2, 3: Five 90-minute classes a week.
・Japanese M3, 4, Advanced Japanese 1, 2: Four 90-minute classes a week.
・Intensive Japanese: Ten 90-minute classes a week.

⑦ Other Lecture Courses

(A) Comparative Culture:

Art History

Introduction to Art History/Visual Culture 2, Survey of Japanese Art 1 and 2, Japanese Art in Cross-Cultural Context, Gender in Japanese Visual Culture, Studies in East Asian Visual Culture, Seminar in Japanese Art History etc.

Literature

Introduction to Japanese Literature, Survey of Japanese Literature 1, Writing about Love: Past and Present, Topics in Modern Literature, Asian Literature, War and Postwar in Japanese Literature, Contemporary Japanese Theater etc.

Religion

Japanese Religions, Religion and the Arts, Japanese Religion and the Arts, Buddhist Traditions, Religion And The Body, Symbol and Religion, Philosophical Approaches to Buddhism, Sacred Space and Time, Christianity and Japanese Culture etc.

(B) Social Studies :

Anthropology and Sociology

Introduction to Japanese Society, Anthropology of Japan, Japan Research, Society and Politics etc.

History

Development of Japanese Civilization 1 and 2, Women in Japanese History, Modern Japan, History of Japanese Foreign Relations, Religion and Society in Japan etc.

Political Science

Japanese Government and Politics, Nationalism Citizenship and Democracy in Japan, Comparative Politics of Advanced Industrial Democracies etc.

(C) International Business and Economics:

Economic Survey of Contemporary Japan, Management in Japan, Human Resource Management in Japan, Principles of Management, International Finance, Money and Banking, International Business, International Marketing, International Trade etc.

⑧ Annual Events at Sophia

October	Classes begin
	Music Festival
November	Sophia Festival
	SOFEX (Sophia-Sogang Festival)
December	Christmas Event
April	Beginning of new semester
June	Jochi-Nanzan Sports Festival



---

⑨ Advising Members

Faculty of Liberal Arts

Dean: Prof. Michio Hayashi (Art History)
Faculty members: 31 instructors

Office of Global Education and Collaboration

Director: Kazumi Sato

Individual Advising

Individual advising will be offered at the beginning of each semester.

---

⑩ Requirements for completion of courses

Credits & Grading System				
Credits	Type of course	Credits awarded		
	Lecture courses	one credit is awarded for one semester-hour (equivalent to fifteen 45-minutes periods of instruction) successfully completed.		
	Language courses	one credit is awarded for two semester-hours (equivalent to thirty 45-minute periods of instruction) successfully completed.		
Grading System	A student's work is graded according to the following table:			
	Grade	Scale		Quality Point Index
	A	100 – 90	Excellent	4.0
	B	89 – 80	Good	3.0
	C	79 – 70	Satisfactory	2.0
	D	69 – 60	Passing	1.0
	W		Withdrawal	
	F		Failure	

■Housing Information

Sophia Soshigaya International House

Sophia Soshigaya International House is a home away home for overseas students as well as Japanese students.



Sophia Soshigaya International House

Address:

4-24-1 Kami-Soshigaya, Setagaya-ku, Tokyo

Access:

Buses are available from Seijogakuen-mae Station on Odakyu Line

Commuting time to Sophia is approximately 50 minutes

Monthly rent: ¥40,000

Please contact us before July in case you are considering of applying for a dormitory.

■Contact:

Contact Office for Courses and Curriculum Information

Faculty of Liberal Arts Dean's Office

Phone: +81-3-3238-4004

Fax: +81-3-3238-4076

http://www.fla.sophia.ac.jp

Contact Office for Application Procedures

Office of Global Education and Collaboration

Address: Sophia University, Yotsuya Campus, 7-1 Kioi-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 102-8554

Phone: +81-3-3238-3521

Fax: +81-3-3238-3554

E-mail: overseas@cl.sophia.ac.jp

Website : http://www.sophia.ac.jp/



大東文化大学 （東京都）

DAITO BUNKA UNIVERSITY

創立90周年を迎え、新しいキャンパスで日本語・日本文化を学ぶことができます。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

（１）特色と歴史

大東文化大学は、中国古典の研究と漢学振興の機関として、当時の帝国議会の決議を経て1923年に開学しました。その後、アジア文化に軸足をおいた研究に注力し、今日では世界中の人や文化が国境を越えて交差する大学でありたいと、新時代の「東西文化の融合」に取り組んできました。幾多の苦難を経て、2013年、大東文化大学は創立90周年を迎えました。さらに新時代を切り開くために、老朽化した東松山キャンパス（埼玉県東松山市）を一新するキャンパス整備事業（2015年完成）に取り組んでいます。

（２）学部・研究科

学部：文学部、経済学部、外国語学部、法学部、国際関係学部、経営学部、環境創造学部、スポーツ・健康科学部

大学院：文学研究科、経済学研究科、法学研究科、外国語学研究科、アジア地域研究科、経営学研究科、スポーツ・健康科学研究科

（３）学生数等 （2015年5月1日現在）

学部生：11,679名、大学院生：226名

② 国際交流の実績（2015年5月1日現在）

大学間協定校数：22カ国　90大学

外国人留学生数：399名

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績 （2015年5月1日現在）

2015年：留学生数 399人・日本語・日本文化研修留学生 5人
2014年：留学生数 384人・日本語・日本文化研修留学生 4人
2013年：留学生数 491人

※日本語・日本文化研修留学生の受入れは2014年度から。

④ 地域の特色

板橋キャンパスは都心に位置し、モダンなデザインと快適な学びの環境が両立しています。明るく開放的な雰囲気が学生に人気です。カフェテリア・グリーンスポットなど落ち着ける場所をはじめ、パソコン116台を常設した図書館など、理想的な学習環境が整っています。

東松山キャンパスは、緑豊かな大自然に囲まれているところが魅力です。東京ドーム約6個分の広大な敷地に最新の施設や設備が整っています。緑あふれるキャンパスで落ち着いて学び、充実した学生生活を過ごすことができます。



■コースの概要

① コースの特色

日本語特別クラスでは、文法・読解・作文・会話・文化事情を学びます。来日後にプレイスメントテストと面接を実施し日本語能力を調べ、集中日本語クラスレベル1～3、学部授業レベルの4つのレベルに分けます。
集中日本語クラスは、レベル1（初級）・レベル2（中級）・レベル3（上級）に分かれ、それぞれレベルごとに「集中日本語基礎演習」の授業を1週間に8コマ受講します。
学部の授業に十分ついていける日本語力がある学部授業レベルと判断された場合は、日本語特別クラスだけではなく学部の授業も履修することができます。

② 受入定員

10名（大使館推薦5名、大学推薦5名）



③　受講希望者の資格、条件等

外国（日本以外）の大学に在籍し、日本語・日本文化に関する分野を専攻している者。

④　達成目標

１、文法・読解・作文・会話などの総合的な日本語能力を身につける。

２、日本語の習得だけでなく、日本の文化・社会について理解を深める。

⑤　研修期間

2016年9月～2017年8月

⑥　研修科目の概要

■言語コース（集中基礎コース）

・集中日本語基礎演習1A1～1A8 / 1B1～1B8（レベル１）
・集中日本語基礎演習2A1～2A8 / 2B1～2B8（レベル２）
・集中日本語基礎演習3A1～3A8 / 3B1～3B8（レベル３）

■活動コース

・フィールドワークA / B

■内容コース

・日本の政治・経済・社会A / B
・日本の文化・芸術A / B
・日本の歴史A / B
・現代日本の諸相A / B

■言語コース（発展コース）

・理解とコミュニケーションA / B
・日本語文章表現A / B
・資料・文献読解A / B

1）必須科目

（集中日本語クラスレベル）
集中日本語基礎演習　8コマ
フィールドワークA / B

（学部授業レベル）
フィールドワークA / B

2）　見学、地域交流等の参加型科目

・近隣の小学校、中学校、高等学校における交流授業
・文化体験教室（書道）
・地域国際交流協会主催行事への参加
・各種日本語スピーチコンテストへの参加
・一般家庭へのホームステイ（ワンナイト）

3）　その他の講義、選択科目等

日本語能力が基準のレベル（N２程度）を超えている場合には学部留学生向けの留学生科目をはじめとした、正規科目を受講することができます。

＜留学生科目例＞
・日本の政治・経済・社会A / B
・日本の文化・芸術A / B
・日本の歴史A / B
・現代日本の諸相A / B

⑦　年間行事

9月	秋学期開始
	ウェルカムパーティー
	オリエンテーション
	プレイスメントテスト
	留学生国内研修旅行
10月	Walk
11月	大学祭
	近隣諸学校との交流授業
	文化体験教室（書道）
1月	秋学期終了
2月	留学生と日本人チューターとの研修旅行
4月	春学期開始
6月	近隣諸学校との交流授業
	文化体験教室（書道）
7月	留学報告会、春学期終了
	修了式



⑧　指導体制

責任者：

国際交流センター所長

指導体制：

-特任教員（准教授）

大河原 尚

-非常勤講師9名

-国際交流センター職員　9名

⑨　コースの修了要件

一週間に7コマ以上履修し合格した者には、修了証書が授与されます。また、履修した「授業科目」「成績評価」を記載した成績証明書を発行します。





■宿　舎

留学中は大学寮に滞在することができます。寮は3タイプあり、どの寮になるかは大学側で決定します。

【タイプA(個室)】
定員:16名
設備:キッチン、バストイレ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ
机、椅子、ベッド、テレビ、エアコン、インターネット
費用:42,500円/月
※光熱費別(1万円程度)

【タイプB(シェアハウス)】
定員:16名
設備(共用):キッチン、バストイレ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ
設備(個室):机、椅子、ベッド、テレビ、エアコン、インターネット
費用:52,500円/月
※光熱費込み

【タイプC(一般アパート)】
定員:ー
設備:キッチン、バストイレ、冷蔵庫、洗濯機、机、椅子、ベッド、
テレビ、エアコン
費用:38,000円/月
※光熱費別(13,000円程度)

■修了生へのフォローアップ

日本の大学・大学院への入学希望者や、企業への就職を希望している留学生に対しては個別に相談・アドバイスを実施します。



■問合せ先

（担当部署）
大東文化大学国際交流センター（板橋）
住所　〒175－8571
東京都板橋区高島平1-9-1
TEL　＋81-3-5399-7323
FAX　＋81-3-5399-7823

大東文化大学国際交流センター（東松山）
住所　〒355-8501
埼玉県東松山市岩殿560
TEL　＋81-493-31-1536
FAX　＋81-493-31-1535

E-mail　dbuinter@jm.daito.ac.jp

大東文化大学国際交流センターホームページ
http://www.daito.ac.jp/international_exchange/index.html

英語版（English）
http://www.daito.ac.jp/english/index.html

大東文化大学大学ホームページ
http://www.daito.ac.jp/index.html





Daito Bunka University (Tokyo)

Daito Bunka University (DBU) has just marked its 90th anniversary, and all the International Students can study here at the new campus!

■The Overview of DBU

① The outline of Daito Bunka University

(1)History

In 1923, Daito Bunka Univ. was established by the 44th Diet's proposal as an Institute of Chinese classical studies and Sinology's promotion. After that, DBU has aimed at contributing to the promotion of this field, ensuring the establishment of moral principal based on Confucianism, absorbing elements of Western culture while maintaining its foundations in Eastern culture, and achieving a fusion of Eastern and Western approaches to create a new, open culture that is open to the international community. In 2013, DBU marked its 90th anniversary after lots of hardship. At present, DBU is undertaking the campus improvement project in order to rebuild the dilapidated Higashi-Matsuyama campus. This project will end in 2015.

(2) Undergraduate Faculties and Graduate Schools

Undergraduate Faculties:
Literatures, Economics, Foreign Languages, Law, International Relations, Business, Environment, Sports & Health Science
Graduate Schools:
Literatures, Economics, Foreign Languages, Law, Asian Area Studies, Business, Sports & Health Science

(3)Number of Students as of May 1, 2015
Undergraduate student: 11,679
Graduate student: 226

② Agreements with Overseas Institutions (as of May 1, 2015)

University-levels Agreements: 90
Number of International Students: 399

③ The Data for Acceptance of International Students and the MEXT Program Students for Last 3 Years

2015: International Students 399 MEXT Program Students 5
2014: International Students 384 MEXT Program Students 4
2013: International Students 491
Note: The MEXT Program Students accepted from 2014 .

④ The Features of DBU campuses

The Itabashi campus is located in the center of Tokyo, having a well-designed and modern facilities. The campus provides the students with the open-air cafeteria, the student stores, the library with 116 PCs and more.

The Higashi-Matsuyama campus is nestled in lush natural surroundings, creating an environment where students can easily participate in athletic activities while pursuing their studies. This campus is some 6 times as large as the Tokyo Dome.



■The Outline of the Course

① Features of Courses

The Japanese Language Special Program, offered by the Int'l Center of DBU, is a one-year program to study Japanese language intensively, including Grammar, Comprehension, Writing, and Speaking skills and Japanese cultures. The class is divided by the Japanese language levels. The students can attend the so-called regular class in undergraduate course after achieving a certain standards.

② Number of Students to be Accepted

10 students
(5 students nominated by the University)
(5 students nominated by the Japanese Embassy)



③ Qualifications for Applicants

Students who major in the field for Japanese language and cultures, enrolling at the overseas institutions.

④ Goals of the Participants

1 Achieving Japanese competence required Grammar, Comprehension, Writing and Speaking skills.

2 Comprehending Japanese cultures and affairs, apart from learning Japanese language.

⑤ Course Period

September 2016 – August 2017

⑥ Subjects

■Language Course (Intensive Basic level)

Basic Japanese 1 <Level 1>
Basic Japanese 2 <Level 2>
Basic Japanese 3 <Level 3>

■Activity Course

Field work A/B

■Contents Course

Japanese Politics Economy & Society A/B
Japanese Culture & Art A/B
Japanese History A/B
Current Issues in Japan A/B

■Language Course (Advanced level)

Academic Japanese Communication A/B
Academic Japanese Writing A/B
Academic Japanese Reading A/B

1) Compulsory Subjects

Language Course (Intensive Basic level)
Basic Japanese
Field work A/B

Regular Course (Undergraduate level)
Field work A/B

2) Activities such as study tours and exchanges with local communities

- Visit to a local school of Primary, Junior or High
- Attending Japanese Culture Seminar such as calligraphy more
- Participating in events of local international associations
- Participating in a Japanese speech contest
- One-night home-stay experience to Japanese family

3) Other classes, optional subjects, etc.

International students taking the Japanese Intensive course of this program can, depending on their Japanese language ability (such as N2), take classes at each Faculty of Daito Bunka University during the semester with the permission of the Faculty.

＜International Student Subjects＞
Japanese Politics Economy & Society A/B
Japanese Culture & Art A/B
Japanese History A/B
Current Issues in Japan A/B

⑦ Annual Events

September	Start of Fall Semester
	Welcome party, Orientation,
	Placement test, Excursion
October	Walk
November	University Festival
	Visit to a local school of Primary,
	Junior or High
	Attending Japanese Culture Seminar
	such as calligraphy more
January	End of Fall Semester
February	Excursion with Japanese tutors
April	Start of Spring Semester
June	Visit to a local school of Primary,
	Junior or High,
	Attending Japanese Culture Seminar
	such as calligraphy more
July	Japanese presentation
	Course completion ceremony



⑧ Advisory System

Person in Charge
Director of Int'l Center, Daito Bunka University

Advisory System
- Full-time teaching staff
  Hisashi Okawara (Project Associate Professor)
- Number of Part-time Lecturers 9
- Number of Staff (Center for International Exchange) 9

⑨ Administration System

Students need to take seven or more classes per week.
After completion of the course, an academic transcript specifying each subject's name, grade and credits acquired will be issued.





■ Accommodation (Dormitory)

The dormitory surrounding Higashi-Matsuyama Campus is available to the students of this program. DBU will provide the students with one of 3-type rooms.

【Type A (Single room)】
Room: 16 rooms
Furniture/Fixtures:
Kitchen, Bathroom, refrigerator, washing machine, range, desk, chair, bed, TV, Air-control, internet
Room fee: 42,500 JPY a Month
Others: Utility bills (Electric, Water, Gas)
are approximately 10,000 JPY a month

【Type B (Shared room) 】
Furniture/Fixtures (Shared use):
Kitchen, Bathroom, refrigerator, washing machine, range
Each room: desk, chair, bed, TV, Air-control, internet
Room fee: 52,500 JPY a Month including utility bills

【 Type C (Apartment house) 】
Furniture/Fixtures:
Kitchen, Bathroom, refrigerator, washing machine, desk, chair, bed, TV, Air-control
Room fee: 38,000 JPY a Month
Others: Utility bills are approximately 13,000 JPY a month

■ Student follow-ups

We will give support to students who wish to enroll in undergraduate/graduate courses at Daito Bunka University after completing their studies in this program.



■ Contact

Itabashi Campus:
Office for International Center
Daito Bunka University
1-9-1 Takashimadaira, Itabashi-ku, Tokyo
175-8571 Japan
Tel: +81-3-5399-7323 Fax: +81-3-5399-7823

Higashi-Matsuyama Campus:
Office for International Center
Daito Bunka University
560 Takasaka, Higashi-Matsuyama-shi, Saitama
355-8501 Japan
Tel: +81-493-31-1536 Fax: +81-493-31-1535

E-mail dbuinter@jm.daito.ac.jp

Int'l Center, Daito Bunka University
http://www.daito.ac.jp/international_exchange/index.html

English version
http://www.daito.ac.jp/english/index.html

Daito Bunka University
http://www.daito.ac.jp/index.html





法政大学 （東京都）

日本語授業の他にも、英語で行われる日本文化・歴史・経済・経営等の授業も履修可能。

日本語能力の高い学生は、日本語で行われる正規学生向けの授業も履修可能。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

法政大学は、1880年東京法学社として設立され、133年の歴史を持つ日本で最も歴史と伝統のある私立大学の1つです。現在は15学部14大学院研究科1インスティテュート2専門職大学院を擁し、学生数は約38,000人、教職員数は約1,200人、3キャンパス（市ヶ谷、多摩、小金井）を有する、日本屈指の総合大学です。本制度での留学生は、東京の中心に位置する市ヶ谷キャンパスで学びます。

学部：法、文、経済、社会、経営、国際文化、人間環境、現代福祉、キャリアデザイン、グローバル教養、スポーツ健康、情報科学、デザインエ、理工、生命科学

大学院：人文科学、国際文化、経済学、法学、政治学、社会学、経営学、人間社会、情報科学、政策創造、デザイン工学、公共政策、キャリアデザイン学、理工学、連帯社会インスティテュート

専門職大学院：法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科



② 国際交流の実績

・海外交流協定大学　：30ヶ国・地域、164大学・機関
・交換留学生の受入れ：毎年約80名（16ヶ国・地域）
※15ヶ国・地域：アメリカ、イギリス、ドイツ、スイス、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、チェコ、ロシア、ウズベキスタン、オーストラリア、中国、台湾、韓国、タイ

③ 過去3年間の受入れ留学生数

2015年：639名、2014年：542名、 2013年:543名
※2015年は国費外国人留学生（日本語・日本文化研修留学生）を7名（アメリカ、チリ、イタリア、オーストリア、スウェーデン、イスラエル、ロシアから各1名）受入れました。

④ 地域の特色

法政大学市ヶ谷キャンパスは、東京の中心の千代田区に位置し、交通の便が非常に良い場所にあります。新宿や渋谷などの主要エリアへも電車で15分で行くことが出来ます。近くには、神楽坂という、江戸時代から続く歴史ある観光スポットがあり、大学から徒歩でアクセスすることが出来、大都会の雰囲気とは異なる日本の伝統的な雰囲気に触れることが出来ます。

■コースの概要

① コースの特色

法政大学では、海外交流協定大学からの留学生を受け入れることを目的に1997年に設立された「交換留学生受入れプログラム」(Exchange Students from Overseas Program(ESOP))において、交換留学生や私費の短期留学生を受入れて授業を行っています。国費留学生についても、本コースに所属し、海外からの交換留学生と共に学ぶ形となります。

ESOPは、①日本語授業（レベル1（初級）～レベル6（上級））と、②英語で行われる日本文化・歴史・経済・経営等の授業とで構成されています。①日本語授業に関しては、各レベルで週に3～5コマ（1コマ90分）の授業をほぼ毎日履修することで、日本語運用能力を高めていくことを目的としています。

②英語で行われる日本文化・歴史・経済・経営等の授業については少人数規模の授業を行っており、留学生だけではなく、本学で英語力を持った日本人を中心とした正規学生も積極的に履修していますので、そういった学生とクラスメートになることで学生同士の交流も盛んに行われています。

他にも、グローバル教養学部(GIS)においては、ほぼ全ての授業が英語で行われていることから、それらの授業についても履修が可能となっています。

さらに、各セメスター開始時に行われる日本語プレースメントテストにおいて、日本語能力検定2級(N2)レベル相当と判断される学生については、正規学生向けに行われている日本語での専門科目に関する授業も履修することが出来ますので、より深く専門的な勉強も可能です。

その他、「ディスカバー・ジャパン」という、日本人学生と留学生とが協働してフィールドワークを行って成果発表を行う体験型授業や、授業以外においても、東京六大学野球観戦、茶道体験、料理教室、神楽坂散歩ツアー、歌舞伎鑑賞教室など、数多くの日本文化体験の機会を設けており、それらのイベントについても留学生だけではなく、留学生との交流に関心が高い日本人学生も多く参加しています。

② 受入定員

8名（大使館推薦6名、大学推薦2名）

③　受講希望者の資格、条件等

1. 在籍大学において、日本語・日本文化に関する分野を主専攻として専攻とし、日本語を少なくとも1年以上学んでいること。
2. 英語での授業の履修を希望する場合で英語が母語ではない学生はIELTS6.0、TOEFL-iBT76点または同等レベルの英語力を持っていることが望ましい。

④　達成目標

日本文化について日本語もしくは英語での授業や文化体験を通じて深く理解するとともに、日本語で資料を読み、レポートを書き、プレゼンテーションできるように日本語運用能力を高めることを目標としています。

⑤　研修期間

2016年9月10日　～　2017年8月5日(予定)

⑥　研修科目の概要

1）必須科目

レベル1～レベル6の日本語科目の中で、学生自身のレベルに所属する全ての日本語科目。（各学期3～5科目程度）なお、1),2),3)を合計して、各学期9科目以上の履修を必須としています。

2)　見学、地域交流等の参加型科目

ディスカバー・ジャパン（日本人学生と外国人留学生とが協働して日本文化を深く知るために合宿形式で行う体験型授業）



3)　その他の講義、選択科目等

a. ESOPで開講の英語での授業

（2015年度開設科目）

以下をご覧ください。

http://www.global.hosei.ac.jp/en/programs/exchange/coursedescriptions/

b. GIS（グローバル教養学部）で開講の英語での授業

以下をご覧ください。

http://www.hosei.ac.jp/gis/en/curriculum/pdf/curriculum.pdf

c. 日本語で行われる各学部で開講の正規学生向けの授業

以下をご覧ください。（日本語のみ）

https://syllabus.hosei.ac.jp/





⑦　年間行事（変更の可能性があります）

9月　秋学期開始
　　オリエンテーション実施
　　交換留学生歓迎パーティー
　　Language Buddy募集
10月　東京六大学野球観戦
11月　大学祭
12月　国際交流懇親会
　　冬季休暇
1月　秋学期定期試験
　　学期末パーティー
2月　春季休暇
4月　春学期開始
　　オリエンテーション実施
　　交換留学生歓迎パーティー
　　Language Buddy募集
5月　東京六大学野球観戦
6月　日本語スピーチコンテスト
7月　春学期定期試験
　　学期末パーティー
8月　夏季休暇



⑧　指導体制

1.責任教員
　ESOPディレクター
　　Mark E. Field（国際文化学部教授）
　日本語プログラムコーディネーター
　　村田　晶子（グローバル教育センター准教授）
2.事務責任者
　　松井　哲也（グローバル教育センター事務部長）

海外経験が豊富な教員・事務職員が連携し、学生の教学面・生活面でのサポートを英語と日本語にて行っています。

⑨　コースの修了要件

1年間で18科目以上の単位を修得した学生に対して、修了証を授与します。同時に、成績証明書も発行しますので、在籍大学での単位認定に活用することができます。



■宿　舎

大学から最寄りとなる飯田橋駅から地下鉄東西線で約22分離れた江戸川区内に宿舎があり、本プログラムによる留学生は日曜・祝日を除く月曜日から土曜日まで朝食と夕食付で1ヶ月31,250円（2015年11月現在）で入居することが可能です。部屋はエアコン・ベッド・机・電気スタンド付の個室で、バス・トイレは共同です。洗濯機、アイロン、掃除機は無料で使用することが出来ます。



■修了生へのフォローアップ

法政大学では2014年に初めて日本語・日本文化研修留学生の受入れを行いましたが、 ESOPでの交換留学生の受入れ実績は18年以上の歴史があり、過去に在籍した交換留学生にはその後、本学の大学院に進学したり、また母国の外交官になった人もいます。

そのため、帰国後にも進学についての相談や、必要となる証明書の発行などのサポートも充実しています。

■問合せ先

（担当部署）
法政大学グローバル教育センター事務部
　住所　〒102-8160
　　東京都千代田区富士見2-17-1
　TEL　＋81-3-3264-9402
　FAX　＋81-3-3264-4624
　E-mail　ic@hosei.ac.jp
法政大学ホームページ
 http://www.hosei.ac.jp/
法政大学グローバル教育センターホームページ
 http://www.global.hosei.ac.jp/
法政大学ESOPホームページ
http://www.global.hosei.ac.jp/en/programs/







Hosei University (Tokyo)

In addition to regular courses held in Japanese, it is also possible to take courses conducted in English, such as Japanese culture, history, economics and business. Students with a high Japanese Language proficiency may also enroll in classes for regular Japanese students.

■University Overview

① Features and overview

Hosei University has a long history and tradition; originally founded in 1880 as the Tokyo School of Law, it is one of the oldest private universities. At present the University, one of Japan's most comprehensive institutions of higher learning, comprises 15 faculties, 14 graduate schools, 1 institute, 2 professional schools and is home to 38,000 students and 1200 academics on its 3 campuses--Ichigaya, Tama and Koganei. International students in this program enroll in courses at the Ichigaya Campus situated in the middle of the metropolis.

Undergraduate faculties: Law, Letters, Economics, Social Science, Business Administration, Intercultural Communications, Humanity and Environment, Social Policy and Administration, Lifelong Learning and Career Studies, Global Interdisciplinary Studies, Sports and Health Studies, Computer and Information Sciences, Engineering and Design, Science and Engineering, Bioscience and Applied Chemistry

Graduate schools : Humanities, Intercultural Communications, Economics, Law, Politics, Sociology, Business Administration, Social Well-being Studies, Computer and Information Sciences , Regional policy Design, Engineering and Design, Social Governance , Career Studies, Science and Engineering, Institute for Solidarity-based Society

Professional schools : Law School, Business school of Innovation Management

② International Cooperation and Exchange

・Number of International Partners:
30 countries and area , 164 universities and institutions

・Exchange students(Inbound) : about 80 students/year from 16 countries and areas – United States, United Kingdom, Germany, Switzerland, France, Italy, Spain, Austria, Czech, Russia, Uzbekistan, Australia, China, Taiwan, South Korea, Thailand

③ Number of International Students of the Last 3 years

2015 : 639 students, 2014 : 542 students, 2013 : 543 students,
We accepted in 2015 7 MEXT program students from overseas(USA-1, Chile-1, Italy-1, Austria-1, Sweden-1, Israel-1, Russia-1).

④ Location Information

Hosei University Ichigaya Campus is conveniently located in the heart of Tokyo in Chiyoda Ward, accessible within 15 minutes by train from 2 major stations—Shinjuku and/or Shibuya. Within walking distance is Kagurazaka, a tourist spot famed as a historic area since the Edo Period. The Campus is at once a representative of the modern metropolis Tokyo is as well as a place where one can come in contact with tradition.

■Outline of the Program

① Features

The Exchange Students from Overseas Program (ESOP) was established with the aim of accepting students from overseas,. Courses in the Program cater primarily to exchange students or privately funded short term international students. Government sponsored international students are also accepted into this program and study alongside exchange students.

The Program comprises 1) Japanese Language classes—from Level 1 (Beginners) to Level 6 (Advanced) and 2) classes on Japanese Culture, History, Economics and Management conducted in English. Japanese Language courses meet almost daily--3-5 times a week (each session lasting 90 minutes)—with the aim of helping students achieve as high a level of proficiency as possible.

Courses conducted in English such as Japanese Culture, History, Economics and Management meet in small classes and enrolment is not limited only to international students but is also open to regular Hosei University students with competent English Language ability. Those individuals studying alongside classmates from other countries greatly enhance interaction among students.

It is also possible, in addition, to enroll in courses in the Faculty of Global Interdisciplinary Studies as most of the courses are conducted in English.

A Japanese Language placement test is given at the beginning of each semester. Those who have attained Level 2 (N2) of the Japanese Language Proficiency Test may enroll in regular classes conducted in Japanese for Japanese students, for more in-depth studies.

In addition, students may participate in the class "Discover Japan" which comprise field work and presentations on what has been assimilated; here, Japanese students and international students work alongside each other, doing field work and presentations on their activities.
Other events include taking part as spectators in the Tokyo Big-6 University Baseball Games, Cooking Lesson, a Kagurazaka Walking Tour, as well as other Japanese cultural activities. Many international students as well as

like-minded Japanese students who are deeply interested in social interaction with each other take part in this program.

② Number of students to be accepted
8 students
Embassy recommendation: 6 students
University recommendation: 2 students

③ Qualification and conditions for the participants
1. Students who are majoring in Japanese Language or Japanese Culture at their home institutions and who have taken more than one year of Japanese Language classes.
2. Students wishing to enroll in classes conducted in English, whose mother tongue is not English should have attained either an IELTS 6.0 or a TOEFL-iBT76 score or the equivalent level of English proficiency.

④ The final objectives
The ultimate aim is not only the deepening of one's understanding of Japanese culture through Japanese Language classes and related courses conducted in English, but the improvement of their command of the Japanese Language by reading Japanese reference material, writing papers and doing presentations in the language.

⑤ Program Length
From Sep.10th, 2016 to Aug.5th, 2017(Tentative)

⑥ Program outline
1) Mandatory subjects
All of the subjects listed at the student's level of Japanese proficiency (Levels 1-6); each semester will have 3 to 5 courses per level. In addition, enrollment in subjects in 1) 2) and 3) add up to the number of mandatory subjects (i.e., more than 9) a student is required to enroll in.

2) Field trip and participation-based class
Discover Japan (Japanese students and international students work together in the field to gain a deeper knowledge of Japanese culture)

3) Other subjects
a. Courses held at ESOP in English(courses provided in 2014)
http://www.global.hosei.ac.jp/en/programs/exchange/coursedescriptions/

b. Courses held at GIS in English
Please refer to the webpage as below:
http://www.hosei.ac.jp/gis/en/curriculum/pdf/curriculum.pdf

c. Regular courses held at each faculties in Japanese
Please refer to the webpage as below(Japanese only):
https://syllabus.hosei.ac.jp/





⑦ Anuual events(Subject to change)
Sep. Beginning of the Fall Semester
Orientation
Welcome party for exchange students
Call for Language Buddies
Oct. Tokyo Big-6 University Baseball Games
Nov. University festival
Dec. International Get-together
Winter vacation
Jan. Final exams for Fall semester
Farewell Party
Feb. Spring vacation
Apr. Beginning of the Spring Semester
Orientation
Welcome party for exchange students
Call for Language Buddies
May. Tokyo Big-6 University Baseball Games
Jun. Japanese Language Speech Contest
Jul. Final exams for Spring semester
Farewell Party
Aug. Summer vacation



⑧ Teaching and Supporting Staff

1.Professors in charge
Director of ESOP
Professor Mark E. Field

Academic Coordinator of Japanese language program
Associate Professor Akiko Murata

2.Administrative staff in charge
Director of Global Education Center
Tetsuya Matsui

Instructors and office personnel with experience working and/or living abroad coordinate efforts to provide support to students on an academic level as well as in their student life, in both English and Japanese.

⑨Course Completion Requirements

Completion certificates will be issued to those students enrolled in over 18 courses per year. At the same time, transcripts will also be issued so that credits can be transferred toward graduation at the home institution.



■Accomodations

Accommodations are available in Edogawa Ward approximately 25 minutes by the Tozai Subway Line from Iidabashi, the station nearest to the University. International students in this Program are offered breakfast and dinner daily from Monday through Saturday—except on Sundays and holidays—at a cost of ¥31,250 per month (as of November 2015). Each single room is equipped with air conditioning, bed, pillow and light stand. Bath and toilets are communal. Use of laundry facilities, iron and/or vacuum cleaner is free of charge.



■Follow-up on graduates

2014 is the first year for Hosei University to accept MEXT program students, but of the exchange students from overseas accepted in the past (from over 18+ years ago), some of the graduates have gone on to graduate school., and some become diplomats of their own countries.

After returning home, Hosei University provides the necessary support, such as counseling and issuing of certificates, for students in continuing their education at the home institution.

■ Contact

(Section in charge)
Hosei University Global Education Center
Address 2-17-1, Fujimi, Chiyoda-ku,
Tokyo 102-8160, JAPAN
TEL +81-3-3264-9402
FAX +81-3-3264-4624
E-mail ic@hosei.ac.jp

Hosei University
Japanese: http://www.hosei.ac.jp/
English: http://www.hosei.ac.jp/english/
Hosei University Global Education Center
Japanese: http://www.global.hosei.ac.jp/
English: http://www.global.hosei.ac.jp/en/
Hosei University ESOP
http://www.global.hosei.ac.jp/en/programs/exchange/







立正大学（東京都）

日本語による日本語･日本文化に関する科目を受講するプログラムです。秋期セメスターは、全員が埼玉県熊谷市の立正大学熊谷キャンパスで日本語･日本事情科目を受講し、春期セメスターは熊谷キャンパスまたは東京都品川区の品川キャンパスで所定のコース別に選択受講します。

■大学紹介

①大学の特色および概要
　立正大学の校名の「立正」とは、鎌倉時代に活躍した宗教家日蓮聖人が39歳のときに執筆した「立正安国論」に由来しています。
　本学は、1580年に設立された日蓮宗僧侶の教育機関を淵源とし、430年という長い伝統を誇る大学です。1872（明治5）年に近代教育機関として開学し、今日では、学校法人立正大学学園の運営のもとに大学院7研究科と8学部と15学科を擁する総合大学として発展しています。

【品川キャンパス】
[学部]
　仏教学部・文学部・経済学部・経営学部・心理学部・法学部
[大学院]
　文学研究科・経済学研究科・経営学研究科・心理学研究科・法学研究科

【熊谷キャンパス】
[学部]
　社会福祉学部・地球環境科学部
[大学院]
　社会福祉学研究科・地球環境科学研究科

②国際交流の実績（2015年11月1日現在）
　大学間交流協定数　34
　学部間交流協定数　30
　他の交流大学数　　3

③過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数 138人
　　日本語・日本文化研修留学生　35人
2014年：留学生数 162人
　　日本語・日本文化研修留学生　15人
2013年：留学生数 198人
　　日本語・日本文化研修留学生　13人

④地域の特色
　品川キャンパスは、新都心の大崎と庶民的な五反田という異なる顔を持つ街に育まれ、交通の便利さ、充実した設備、環境のよさ、どれをも兼ね備えているのがキャンパスの魅力です。のびのびと、いきいきとキャンパスライフを送るための設備が整いました。
　熊谷キャンパスの敷地は約35万㎡。豊かな自然の中に多彩な学びの環境を整えたスケールの大きなキャンパスです。各種スポーツ施設や学生寮等、広さを生かした施設も充実。地域社会と連携しながら独自の研究・教育を展開し、新たな学びのステージへと進化しつつあります。

■コースの概要

①コースの特色
＊協定校から派遣された短期留学生、および外国の大学から推薦を受けた短期留学生（いずれも１年以内）を受け入れる。

＊秋期セメスターは、全員が熊谷キャンパスで、日本語による日本語・日本事情に関する科目を受講する。

＊春期セメスターは、全８コース（次のa.～h.）から１つのコースを選択受講する。

１）秋期セメスター（9月20日～翌年3月31日）

※受講生全員が熊谷キャンパスで受講する。

日本語・日本文化研修
日本語（5科目）、日本事情（2科目）

２）春期セメスター（4月1日～8月31日）

●熊谷キャンパスにて、より一層の日本語能力向上を目指して、秋期セメスターから引き続いて日本語・日本事情科目を受講する日本語・日本文化研修コース（a.）。

●熊谷キャンパス（b.,c.）または品川キャンパス（d.～h.）で、日本語による日本文化に関する科目（立正大学学部開講科目）を受講する日本文化研修。

次のコース（a.～h.）から選択

熊谷キャンパスで受講
a. 日本語コース（日本語・日本文化研修）
b. 社会福祉学コース（日本文化研修）
c. 地球環境科学コース（日本文化研修）

品川キャンパスで受講
d. 仏教学コース（日本文化研修）
e. 文学コース　（　〃　）
f. 経済学コース（　〃　）
g. 経営学コース（　〃　）
h. 心理学コース（　〃　）

②受入定員

5名（大使館推薦4名、大学推薦1名）

③受講希望者の資格、条件等

【資格】
日本語能力検定試験Ｎ２合格程度の日本語能力を有すること。

【条件】
在籍する外国の大学の長等から推薦がある者。

④達成目標
10,000字程度の修了レポート作成とそのプレゼンテーション発表を実施する。
日本語能力検定試験Ｎ１に高得点レベルでの合格を目指す。
日本語科目以外の日本事情科目や本学の学部が日本人学生用に開講する授業や体験的授業を通して日本の文化・習慣等の理解を深める。

⑤研修期間
1年間
１）秋期セメスター(9月20日～翌年3月31日)
２）春期セメスター（4月1日～8月31日）
修了式は8月を予定（2017年は8月）



⑥研修科目の概要
１）必須科目
●秋セメスター：受講生全員が１クラスで受講する
日本語・日本文化研修（熊谷キャンパス）
授業時間合計＝270時間
日本事情Ⅲ（現代日本文化）22.5時間
日本事情Ⅳ（日本の業界・仕事研究）22.5時間
日本語Ⅵ（文法・他）45.0時間
日本語Ⅶ（聴解・他）45.0時間
日本語Ⅷ（漢字・語彙・他）45.0時間
日本語Ⅸ（会話・他）45.0時間
日本語Ⅹ（読解・他）45.0時間

●春セメスター：次のコースから選択受講する。
a. 日本語コース：日本語・日本文化研修
（熊谷キャンパス）
授業時間合計＝270時間
日本事情Ⅰ（暮らしの中の日本文化）　22.5時間
日本事情Ⅱ（日本の子育てと社会的背景）22.5時間
日本語Ⅰ（文法・他）45.0時間
日本語Ⅱ（聴解・他）45.0時間
日本語Ⅲ（漢字・語彙・他）45.0時間
日本語Ⅳ（会話・他）45.0時間
日本語Ⅴ（読解・他）45.0時間
b. 社会福祉学コース：日本文化研修
学部開講７科目　157.5時間（熊谷キャンパス）
c. 地球環境科学コース：日本文化研修
学部開講７科目　157.5時間（熊谷キャンパス）
d. 仏教学コース：日本文化研修
学部開講７科目　157.5時間（品川キャンパス）
e. 文学コース：日本文化研修
学部開講７科目　157.5時間（品川キャンパス）
f. 経済学コース：日本文化研修
学部開講７科目　157.5時間（品川キャンパス）
g. 経営学コース：日本文化研修
学部開講７科目　157.5時間（品川キャンパス）
h. 心理学コース：日本文化研修
学部開講７科目　157.5時間（品川キャンパス）

２）見学、地域交流等の参加型科目

伝統工芸会館見学・実技体験
神社仏閣見学
地域国際交流協会主催行事参加
日本語スピーチコンテスト参加
一般家庭ホームステイ体験

３）その他の講義、選択科目等
留学生の日本語能力や学習・研究実績に応じ、他にも学部が開講する科目を選択受講することができます

⑦年間行事
9月　秋セメスター開講式
オリエンテーション
10月　課外授業
茶道・華道教室
11月　学園祭
国際交流バスハイク
12月　秩父の夜祭
1月　初詣
2月　修了プレゼンテーション
秋セメスター修了式

4月　春セメスター開講式
オリエンテーション
5月　茶道・華道教室
課外授業
7月　うちわ祭り
日本人学生との交流旅行
8月　修了プレゼンテーション
春セメスター修了式



⑧　指導体制
＊責任者： 学長
＊専任教員（教授）
　川眞田嘉壽子
＊非常勤講師 8名
＊国際交流センタースタッフ 7名
＊留学生の所属：国際交流センター
＊管理体制：
　国際交流センターが中心となり、以下のサポート等を行なう。

1. 日本語科目の受講等にあたっての日本語能力向上サポート
2. 宿泊施設（本学学生寮等）の紹介
3. 入国管理局や役所等への各種申請サポート
4. 日本文化研修（課外授業）へのサポート
5. 留学生交流会の学生による交流サポート
6. 学内サークル活動の紹介。

⑨　コースの修了要件、修了証書の発行

　研修修了後、履修した「授業科目」「成績評価」「単位数」を記載した成績証明書を発行します。単位互換は当該留学生の派遣元大学の判断となります。また、１年間で24単位以上を修得した留学生には修了証書を授与します。



■宿舎

【熊谷キャンパス】

留学期間中は、希望すれば立正大学熊谷キャンパス内の学生寮（ユニデンス）に優先的に居住できます。
（アパート等を希望する場合は、紹介します。）

＊熊谷キャンパス学生寮の案内
1.居室タイプ
バス・シャワー・トイレおよびエアコン付個室
2.室内備品
机、椅子、ベッド、冷蔵庫、クローゼット、下駄箱
3.共用備品　　洗濯機、乾燥機
4.居室使用料（損害保険料含む）
秋学期（9月～翌年3月）　35,000円
春学期（4月～8月）　　35,000円
5.必要経費
退去時寝具クリーニング代　7,560円
退去時室内クリーニング代　14,250円
6.電気料金
　部屋ごとに使用したメーター計量による

【品川キャンパス】

品川キャンパスには、学生寮がありませんので、アパート等への入居を希望する場合は紹介します。





■修了生へのフォローアップ

派遣校卒業後、日本での正規留学サポートや就職活動に対するアドバイスをしています

■問合せ先

品川キャンパス（担当部署）
立正大学国際交流センター品川国際交流課
〒141-8602
東京都品川区大崎4-2-16
TEL:+81-3-3492-0377
FAX:+81-3-5487-3346

熊谷キャンパス（担当部署）
立正大学国際交流センター熊谷国際交流課
〒360-0194
埼玉県熊谷市万吉1700
℡：+81-48-536-6011
FAX:+81-48-536-7431

立正大学国際交流センターホームページ
http://www.ris.ac.jp/inter/
立正大学国際交流センターFacebook
https://www.facebook.com/risinter/
立正大学ホームページ
http://www.ris.ac.jp/



RISSHO UNIVERSITY（TOKYO）

In this course, students will take Japanese language classes and Japanese current affairs classes on Kumagaya Campus (Kumagaya City, Saitama) during the Autumn Semester and will take classes at each faculty on Kumagaya Campus or Shinagawa Campus (Shinagawa, Tokyo) during the Spring Semester. All classes are held in Japanese.

■Overview of RISSHO UNIVERSITY

① Features and Facts

The University's name comes from *Rissho Ankoku Ron*, which was written by Nichiren Shonin (the founder of the Nichiren sect of Buddhism) when he was 39 years old.
The university, established in 1580 as an educational institution for priests of Nichiren Buddhism, is proud of its 430-year history. In 1872, it was transformed into a modern educational institution. Today, the university has eight undergraduate faculties with 15 departments and seven graduate school research departments.

Shinagawa Campus
【Faculties】 Buddhist Studies / Letters / Economics / Business Administration / Psychology / Law
【Graduate Schools】 Humanities and Sociology / Economics / Business Administration / Psychology / Law

Kumagaya Campus
【Faculties】
Social Welfare / Geo-Environmental Science
【Graduate Schools】
Social Welfare / Geo-Environmental Science

② International Exchanges (As of Nov 1, 2015)

Interuniversity Exchanges 34
Inter-faculty Exchanges 30
Partner universities 3

③Number of International Students and Japanese Studies Students in the Previous 3 Years

2015: International students 138
Japanese studies students 35
2014: International students 162
Japanese studies students 15
2013: International students 198
Japanese studies students 13

④ Characteristics of the campuses

The Shinagawa Campus is located in the area of Tokyo composed of the urban and bustling districts of Osaki and Gotanda. In addition to having easy access to transportation, the Shinagawa Campus offers fully-appointed facilities for an ideal learning environment and students' active campus life.

The lush green Kumagaya Campus is located in the suburban area of Saitama. The expansive campus offers sports facilities, athletic fields, a dormitory, and lecture buildings equipped with the latest facilities. The Kumagaya Campus thrives in becoming an active area of research in cooperation with the local communities.

■Overview of the Program

① Characteristics of the Course

* This course is for students who are studying for no longer than one year at Rissho University. Students must either be enrolled at partner universities / institutions of Rissho University, or are students recommended by the heads of their home universities / institutions.

1) Autumn Semester (Sep 20 - Mar 31)

* All students must take Japanese language classes and Japanese current affairs classes on Kumagaya Campus.

Japanese Language / Japanese Culture Studies
Japanese (5 subjects)
Japanese Current Affairs (2 subjects)

2) Spring Semester (Apr 1 - Aug 31)

* Each student will select one of the following courses:

Kumagaya Campus
a. Japanese (Japanese Language / Japanese Culture Studies) - Aiming for further advancement of Japanese skills
b. Social Welfare (Japanese Culture Studies)
c. Geo-Environmental Science (Japanese Culture Studies)

Shinagawa Campus
d. Buddhist Studies (Japanese Culture Studies)
e. Letters (Japanese Culture Studies)
f. Economics (Japanese Culture Studies)
g. Business Administration (Japanese Culture Studies)
h. Psychology (Japanese Culture Studies)

② Number of Students to be Accepted

5 (Students nominated by the Japanese Embassy 4, Students nominated by Rissho University 1)

③ Qualification and Requirement for Applicants

【Qualification】
Preferable to have Japanese language ability of JLPT (Japanese Language Proficiency Test) "Level N2"

【Requirement】
Must be recommended by the heads of their home universities / institutions

④ Program Goals

- Make a Japanese presentation based on a written report
- Obtain adequate Japanese ability to pass JLPT "Level N1" with a high grade
- Deepen the understanding of Japanese culture and customs through Japanese affairs classes and subjects for international students at each faculties

⑤ Course Period
one year

1. Autumn Semester (Sep 20 - Mar 31)
2. Spring Semester (Apr 1 - Aug 31)

Course completion ceremony will be held in August (2017).

⑥ Subjects
1. Compulsory Subjects

●Autumn Semester: All students will be placed in one class regardless of their Japanese levels.

Japanese Language / Japanese Culture Studies (Kumagaya Campus) 270 hours of study

- Japanese Current Affairs III (Modern Japanese Culture) 22.5 hours
- Japanese Current Affairs IV (Research on Japanese Industry and Business) 22.5 hours
- Japanese VI (Grammar, etc.) 45.0 hours
- Japanese VII (Listening, etc.) 45.0 hours
- Japanese VIII (Kanji and Vocabulary, etc.) 45.0 hours
- Japanese IX (Speaking, etc.) 45.0 hours
- Japanese X (Reading, etc.) 45.0 hours

●Spring Semester: Each student will select and take classes from the following courses.

a. Japanese Course : Japanese Language / Japanese Culture Studies (Kumagaya Campus)
270 hours of study
- Japanese Current Affairs I (Japanese Culture in Daily Life) 22.5 hours
- Japanese Current Affairs II (Childcare in Japan and its Social Background) 22.5 hours
- Japanese I (Grammar, etc.) 45.0 hours
- Japanese II (Listening, etc.) 45.0 hours
- Japanese III (Kanji and Vocabulary, etc.) 45.0 hours
- Japanese IV (Speaking, etc.) 45.0 hours
- Japanese V (Reading, etc.) 45.0 hours

b. Social Welfare : Japanese Culture Studies
7 subjects at the Faculty of Social Welfare
157.5 hours (Kumagaya Campus)

c. Geo-Environmental Science : Japanese Culture Studies
7 subjects at the Faculty of Geo-Environmental Science
157.5 hours (Kumagaya Campus)

d. Buddhist Studies : Japanese Culture Studies
7 subjects at the Faculty of Buddhist Studies
157.5 hours (Shinagawa Campus)

e. Letters : Japanese Culture Studies
7 subjects at the Faculty of Letters
157.5 hours (Shinagawa Campus)

f. Economics : Japanese Culture Studies
7 subjects at the Faculty of Economics
157.5 hours (Shinagawa Campus)

g. Business Administration : Japanese Culture Studies
7 subjects at the Faculty of Business Administration
157.5 hours (Shinagawa Campus)

h. Psychology : Japanese Culture Studies
7 subjects at the Faculty of Psychology
157.5 hours (Shinagawa Campus)

2. Study Tours and Exchanges with Local Communities
- Visiting a traditional craft center and experience craftwork
- Visiting temples and shrines
- Participating in events held by local international associations
- Participating in Japanese speech contests
- Experiencing homestay with a Japanese family

3. Other Classes, Optional Subjects, etc.
Students are able to take other classes at each faculties of Rissho University according to their Japanese-language abilities.

⑦Annual Events
Sep: Opening ceremony of Autumn Semester / Orientation
Oct: Excursion
Tea ceremony and flower arrangement
Nov: University festival / One day bus tour
Dec: Night festival of Chichibu
Jan: New Year's visit to a shrine
Feb: Japanese presentation
Semester completion ceremony
Apr: Opening ceremony of Spring Semester / Orientation
May: Excursion
Tea ceremony and flower arrangement
Jul: Uchiwa Festival / Over night trip with Japanese students
Aug: Japanese presentation
Semester completion ceremony



⑧ Advisory System

Person in Charge:
President of Rissho University

Advisory System:
- Full-time teaching staff
  Kazuko Kawamata (Professor)
- Number of part-time lecturers 8
- Number of staff (Center for International Exchange) 7

Enrollment of Students:
Students will be enrolled in the Center for International Exchange, Rissho University

Administration System:
The Center for International Exchange will support students in the following cases;

1. having problems in class concerning Japanese abilities
2. looking for housing
3. going through immigration and visa applications
4. participating in Japanese culture studies (study tours)
5. participating in international exchange events
6. participating in on-campus club activities

⑨ Evaluation and Certificate of Completion

After completion of the course, an academic transcript with names of subjects, grades and credits will be issued. Recognition of credits will be judged by each home university / institution.

Students who have acquired 24 credits or more in an academic year will receive a Certificate of Completion.

■Accommodation

【Kumagaya Campus】
The dormitory on Kumagaya Campus is available to students of this program. (Students will be given assistance to find accommodation if they prefer to live off campus.)

Details of the dormitory
(1) Room Type
single room with bathtub, shower, toilet and air conditioning

(2) Furniture and Fixtures
desk, chair, bed, refrigerator, cabinet and shoe box

(3) Common Utilities
washing machines and drying machines

(4) Fees (including damage insurance)
Autumn Semester (Sep - Mar) JPY 35,000
Spring Semester (Apr - Aug) JPY 35,000

(5) Bedding Cleaning Fee when leaving JPY 7,560
Room cleaning cost when leaving JPY 14,250

(6) Electricity
Charged by the electricity meter of each room

【Shinagawa Campus】
Students will be given assistance to find accommodation. (There are no dormitories on Shinagawa Campus.)



■Student Follow-up

We will support students after completing their studies in this course who wish to enroll in undergraduate / graduate courses at Rissho University or who wish to find a job in Japan.

■Contact Details

Center for International Exchange

Shinagawa International Exchange Office
2-16 Osaki 4-Chome, Shinagawa-Ku
Tokyo 141-8602
TEL +81-3-3492-0377
FAX +81-3-5487-3346

Kumagaya International Exchange Office
1700 Magechi, Kumagaya
Saitama 360-0194
TEL +81-48-536-6011
FAX +81-48-536-7431

URL (Center for International Exchange)
http://www.ris.ac.jp/inter/
https://www.facebook.com/risinter/

URL (Rissho University)
http://www.ris.ac.jp/





早稲田大学 （東京都）

自分の興味・関心、レベルに合わせて総合的に日本語を学ぶことができます

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

早稲田大学は、大隈重信侯によって、近代日本の人材育成を目的として1882年に創立されました。創立当時は東京専門学校と称し、1902年に早稲田大学となりました。

早稲田大学は創立以来、「学問の独立」「実用の教育」「模範的国民の養成」を教育方針とし、その教育方針は現在も早稲田大学の教育と研究の根本をなしています。2012年10月に創立130周年を迎えた早稲田大学は、現在、13学部、大学院22研究科、附属機関等から成り立っています。専任教職員約2,700人(2015年4月時点)、学生約56,200人（2015年5月時点）が所属しており、その歴史と伝統、教育・研究の水準の高さ、卒業生の活躍などから、日本で有数の私立大学として評価されています。留学生の受け入れについても、古くから積極的に推進し、毎年、多くの留学生を受け入れており、現在では4,900人（2015年5月時点）の外国人学生が学んでいます。

2)学部・研究科

学部：
政治経済学部、法学部、文化構想学部、文学部、教育学部、商学部、基幹理工学部、創造理工学部、先進理工学部、社会科学部、人間科学部、スポーツ科学部、国際教養学部

大学院：
政治学研究科、 経済学研究科、 法学研究科、 文学研究科、教育学研究科、商学研究科、 基幹理工学研究科、創造理工学研究科、 先進理工学研究科、環境・エネルギー研究科、情報生産システム研究科、社会科学研究科、人間科学研究科、 スポーツ科学研究科、国際コミュニケーション研究科、アジア太平洋研究科、日本語教育研究科、法務研究科（法科大学院）、ファイナンス研究科、会計研究科（会計大学院）、教職研究科（教職大学院）、経営管理研究科

② 国際交流の実績

大学間協定数 415（2015年8月時点）

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数4,917人
日本語・日本文化研修留学生（大使館推薦）10人（大学推薦）12人
2014年：留学生数4,766人
日本語・日本文化研修留学生（大使館推薦）10人（大学推薦）11人
2013年：留学生数4,389人
日本語・日本文化研修留学生（大使館推薦）6人（大学推薦）11人

④ 地域の特色

駅周辺や早稲田通り沿道は商業の拠点であり、活力のある街です。また、古くから学生の街としての歴史があり、若者が多く集まります。

■コースの概要

① コースの特色

日本語教育プログラムは、早稲田大学日本語教育研究センターによって設置・運営されている1年間または半年間の日本語集中学習プログラムです。

様々なニーズを持つ個々の学生の自己実現を可能とするために、ゼロスターターから超上級レベルまでの日本語科目をそろえ（1レベル～8レベル）、総合的に「日本語」の基礎的な能力向上を目指す科目や「日本文化」や「日本社会」等に関する科目、本学学部で提供される教養科目等の中から、学生が自らの学習目的や目標に応じて自由にカリキュラムをデザインできるようになっています。

本プログラムでは「日本語学習ポートフォリオ」を導入して、学生自身が自分自身の日本語学習を管理し、振り返りも行います。

また、留学生一人ひとりの日本語学習の目的に応じて個人ごとの学習計画の立案・実施・検証を支援する「わせだ日本語サポート」と連携した支援体制を整えています。

② 受入定員

年度により異なるが、例年20名程度
（大使館推薦10名、大学推薦10名）

③　受講希望者の資格、条件等

1. 早稲田大学と協定のある大学・大学院に在籍している者で、留学終了まで本属大学に在籍すること。（大学推薦のみ）

2. 成績優秀な者。日本語学習への意欲が高い者。日本語科目だけでなく、他科目の成績も選考の際に考慮される。

3. 日本語学習への意欲が高い者。

④　達成目標

修了単位である26単位を修得すること。

⑤　研修期間

2016年9月21日　～　2017年9月15日（在籍期間）
●修了パーティは7月下旬予定
●授業終了は7月下旬（補講期間を除く）
●奨学金支給期間：研修コース修了に必要な期間
2016年9月～2017年7月（予定）

⑥　研修科目の概要

日本語教育研究センターの日本語授業には、総合日本語、テーマ科目、オープン科目があります。また、科目は初級の１レベルから超上級の８レベルまであり、自分の興味やレベルに合わせて日本語を学ぶことができます。

・年間26単位（半期13単位）修得できるように自分で時間割を組みます。
・各科目は週あたりの授業回数によって与えられる単位数が異なります。なお、授業は各学期１５週行われます。
・日本語教育研究センター設置科目は、原則として週１回９０分の授業で１単位が与えられます。
・授業は全て日本語で行われます。

1）必須科目

必須科目はありません。必要単位数を修得できるように自分で時間割を組みます。

2）　見学、地域交流等の参加型科目

日本社会や文化についての理解を深めるため、文楽を見たり、着付けや華道をしたり、地域の方や職人さん達と交流をする科目も提供します。また、本学の学生が日本語授業ボランティアとして活躍しているクラスも多数あり、授業の中でも本学学生と交流することができます。

3）　その他の講義、選択科目等

希望者は、日本人学生を対象としている他学部で開講されている授業を履修することもできます。（制限あり）

詳細は、当センターホームページを参照。
http://www.waseda.jp/cjl/regist.html

【参考：2015年度】

カテゴリ	レベル	概要	単位数
総合日本語	1～6	教科書を使って総合的に勉強します。	3または５
漢字科目	1～5	漢字の読み書きを練習し、知識を学習します。	1
集中日本語	1－2	日本語の基礎を総合的に集中して学習します。	10
テーマ科目	1～8	日本語や日本文化・社会に関するテーマを設けて日本語を学びます。	1、3、または５
全学オープン科目	*上級者向け	「日本語教育学（日本語を教えること）」を学習します。	2

⑦　年間行事

授業以外にも、もちつき大会や各種イベントに参加することで、日本の社会や文化についての理解を深めることができます。
本学の学生交流プログラムを企画・運営しているＩＣＣ（国際コミュニティセンター）の主催する活動に参加したり、早稲田大学の学生サークル等に参加して、日本人学生や地域の人々と交流し、日本での学生生活を満喫してください。

９月　オリエンテーション

１１月　体育祭
早稲田祭（文化祭）

１２月　もちつき大会

７月　修了パーティー

（行事内容、時期は変更される場合があります。）

ＩＣＣ（国際コミュニティセンター）
http://www.waseda-icc.jp/

⑧　指導体制　（2015年11月時点）

【所長】
池上　摩希子　　教授
【教務主任】
舘岡　洋子　　教授
木下　直子　　准教授

教授	10名
准教授	9名
常勤インストラクター	12名
非常勤講師	70名
非常勤インストラクター	89名

⑨　コースの修了要件

年間26単位（原則として各学期13単位）以上の科目を履修し、合格の成績を取得した者を修了者とみなし、修了証書を授与します。

単位認定が必要な場合は、予めご自身で所属大学に確認してください。



■宿　舎

（大使館推薦）
大学を通じ寮を案内します。

（大学推薦）
早稲田大学留学生寮を案内します。

■修了生へのフォローアップ

日本語教育プログラム修了後の進路

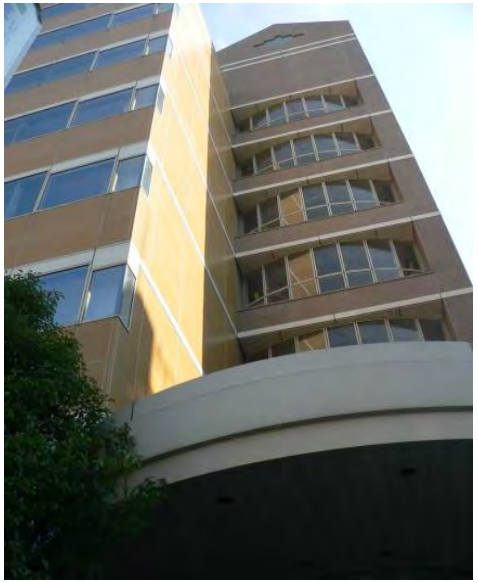
・母国等（日本以外の国）の在籍大学に戻る
・母国等（日本以外の国）で就職
・日本の大学・大学院に進学
・日本で就職



■問合せ先

早稲田大学　日本語教育研究センター
住所：〒169-8050
　　東京都新宿区西早稲田１－７－１４
TEL: 03-3208-0477
FAX: 03-3203-7672
E-mail: cjl-ao@list.waseda.jp
URL: http://www.waseda.jp/cjl/

早稲田大学留学センターホームページ
URL:http://www.waseda.jp/inst/cie/





WASEDA University (Tokyo)

You can study Japanese language through various courses provided in different levels and themes.

■University's Overview

①The Outline of Waseda University

1) History

In 1882, Shigenobu Okuma, one of the leading political figures of the Meiji Era, founded Tokyo College for Technical Studies (Tokyo-senmon- gakko), with the aim of upholding independence of learning, promoting the practical utilization of knowledge and fostering good citizenship. In 1902, this institution became Waseda University.

Waseda University now consists of 13 undergraduate schools, 22 graduate schools and various affiliated research institutes. It has about 2,700 full-time faculty members and administrators (as of April 2015), and about 56,200 students (as of May 2015). Its history and tradition, the number of graduates and their achievements and the high level of teaching and research quality make it as one of the most prestigious and most respected private universities in Japan. Traditionally Waseda university performs a leading role for the international education. Every year Waseda University accepts large number of international students. (4,900 students, as of May 2015)

2) Undergraduate Schools and Graduate Schools

Undergraduate Schools

Political Science and Economics/ Law/ Culture, Media and Society/ Humanities and Social Sciences/ Education/ Commerce/ Fundamental Science and Engineering/ Creative Science and Engineering/ Advanced Science and Engineering/ Social Sciences/ Human Science/ Sport Sciences/ International Liberal Studies

Graduate Schools

Political Science/ Economics/ Law/ Letters, Arts and Sciences/ Education/ Commerce/ Fundamental Science and Engineering/ Creative Science and Engineering/ Advanced Science and Engineering/ Education/ Environment and Energy Engineering/ Information, Production and Systems/ Social Sciences/ Human Sciences/ Sport Sciences/ International Culture and Communication Studies/ Asia- Pacific Studies/ Japanese Applied Linguistics/ Law School / Finance, Accounting and Law /Accountancy / Teacher Education/ Waseda business school

② Agreements with Overseas Institutions

University-wide Agreements 415 (as of August 2015)

③ The Data for the Acceptance of International Students and the MEXT program Students for Last 3 Years

2015 : International students 4,917
MEXT program students
(Embassy recommended) 10
(University recommended) 12
2014 : International students4,766
MEXT program students
(Embassy recommended) 10
(University recommended) 11 2013 : International students 4,389MEXT program students
(Embassy recommended) 6
(University recommended) 11

④ The Features of the Town "Waseda"

The shopping districts developed around the university area brings prosperity to the town of Waseda. There is a long history as a college town attracting many young people.

■The Outline of the Program

① Features of the Courses

The Japanese Language Program, offered by the Center for Japanese Language at Waseda University, is a one-year or half-year program to study Japanese language intensively.

Through various courses provided in different levels, from zero starter to super Advanced Level (level 1～8) and themes which are related to Japanese culture or society etc, students can design their own program according to their own abilities and goals.

Students also take liberal arts classes offered by the undergraduate schools while they mainly study Japanese language.

Students are required to "proactively" learn Japanese while self-managing your own study with Japanese language learning portfolios.

WASEDA NIHONGO SUPPORT is offered to help learners develop their own learning plan-do- check-action.

② Number of Students to be Accepted

It depends on the entrance year but approximately 20 in total.
(Embassy recommended) 10
(University recommended) 10

③ Qualifications and Conditions of Applicants

1, At the time of application, students must be enrolled at the undergraduate or graduate school at the universities with Waseda University exchange agreements. Students must be continuously enrolled at Waseda University until the end of the exchange study period. (Only for the university recommended students)

2, Students must demonstrate excellent academic and personal records at their universities.
Academic records of all courses, as well as interest for Japanese language, will be taken into consideration in the selection for Waseda University entrance.

3, Students must have strong motivation to learn Japanese.

④ Goals

To earn 26 credits.

⑤ Duration of Courses

From September 21, 2016 to September 15, 2017 (Enrollment period)

●The end of the year party will be held in late July
●The classes will ends in late July
(This is excluded for make-up classes)
●The period of scholarship : Required period for completion of the program
From September, 2016 to July, 2017 (Scheduled)

⑥ Outline of the Course

Courses of the Japanese Language Program offer Comprehensive Japanese, Japanese Theme Subject, and Open Subject. They are divided into eight different levels, each of which offers comprehensive learning of Japanese language.

・Students can arrange the time table by themselves to earn 26 credits in 1 year (13 credits per semester)
・ Credits given to each subject are based on the number of classes offered in a week. The class is held 15 weeks per semester.

・For the subjects offered by Center for Japanese Language, students obtain 1 credit for a 90 minute class/week in principle.
・All classes are held in Japanese.

1) Compulsory Subjects
There is no Compulsory Subjects. Students are required to earn 26 credits in 1 year (13 credits per semester) .

2) Classes outside classroom
Students can go out and try their in-class acquired Japanese and expose themselves to Japanese society and culture by watching bunraku play, dressing kimono, study flower arranging or communicating with local people or artisan. Also Waseda students join to the Japanese language classes as native partners to support learners' studies through conversation practice etc.

3) Other Lectures, classes
Students may take classes offered by other faculties and centers (except for graduate schools) designed for the regular Japanese students at Waseda University. (Limited)

For further information ; http://www.waseda.jp/cjl/en/regist.html

【Reference: 2015 Academic year】

Category	Level	Outlines	Credits
Comprehensive Japanese	1-6	Study overall Japanese with textbooks	3 or 5
Kanji Subjects	1-5	Study the knowledge concerning Kanji and practice reading and writing Kanji	1
Intensive Japanese	1&2	Study basic Japanese intensively	10
Theme Subjects	1-8	Study Japanese with its culture and society	1,3or 5
University-wide Open Courses	*Advanced level	Study Japanese Applied Linguistics (How to teach Japanese)	2

⑦ Activities

Extracurricular activities and many events such as Rice-cake making are offered for students to touch real Japanese and to complement their knowledge of Japanese society and culture acquired in the classroom.
In addition, the students will have opportunities to exchange with Japanese students by joining activities hosted by International Community Center (ICC) and by various student activity groups. Such wide range of activities allow all students to fully enjoy university life in Japan.

September	Orientation
November	Athletic Festival
	Waseda Festival（Cultural Festival）
December	Rice Cake Making
July	The End of the Year Party

（The events and schedules are subject to change without notice.）

ＩＣＣ（International Community Center）

http://www.waseda-icc.jp/eng/

⑧ Faculty Members (as of November 2015)

【 Director 】
Prof. IKEGAMI, Makiko
【Associate Director 】
Prof. TATEOKA, Yoko
Associate Prof. KINOSHITA, Naoko

Professor	10
Associate Professor	9
Full-time Instructor	12
Part-time Lecturer	70
Part-time Instructor	89

⑨ Completion of Program

Students who have passed the prescribed examinations and earned 26 credits;13 credits per semester in principle, are deemed to have completed the program and receive a Certificate of Completion. For credits transfer, please contact your home university in advance.



■Housing

(MEXT program Students Embassy recommended)
Accommodation will be offered through Waseda university.
(MEXT program Students University recommended) Waseda University International will be Students House offered.

■Follow-Up for Students

Career options after completion of the Japanese Language Program

・Continue your study in your country or other countries
・Find a job at your country or other countries
・Go onto a higher education in Japan
・ Find a job in Japan



■Contact

CENTER FOR JAPANESE LANGUAGE,
WASEDA UNIVERSITY

Address : 1-7-14, Nishiwaseda, Shinjuku-ku,
Tokyo 169-8050 Japan
TEL: +81-3-3208-0477
FAX: +81-3-3203-7672
E-mail: cjl-ao@list.waseda.jp
URL: http://www.waseda.jp/cjl/en/index.html

CENTER FOR INTERNATIONAL EDUCATION
URL: http://www.waseda.jp/cie/





創価大学 （東京都）

Discover your potential -

創価大学で「自分力」を発見し、世界平和と新しき文化の創造の担い手として、巣立ちゆくことを心から願っています！

■大学紹介

① 大学の特色および概要

創価大学は、世界の平和と人類の幸福を実現するために活動する池田大作博士によって、
「人間教育の最高学府たれ」
「新しき大文化建設の揺籃たれ」
「人類の平和を守るフォートレスたれ」
との建学の精神を掲げ、1971年に創立された。

以来、創価大学は「学生第一の大学」を基本理念として、充実した教育課程とサポート体制を整えている。特に国際交流を重視し、留学生用の奨学金や宿舎は充実しており、44カ国・地域から多数の留学生が集っている。

学部では経済学部、経営学部、法学部、文学部、教育学部、工学部、看護学部に加え、2014年度には新たに国際教養学部が開設された。また大学院では、経済学研究科、法学研究科、文学研究科、工学研究科、法科大学院、教職大学院を擁する総合大学として国際性も豊かに最高レベルの教育を提供している。平和のために貢献できる人材の輩出を目指してきた創価大学は、既に多くの卒業生が世界各国で活躍している。

学部生　：7582 名
大学院生：　391 名
専任教員：　346 名
学部数　：８学部
（経済、経営、法、文、教育、
工、看護、国際教養）
大学院　：４研究科（経済、法、文、工）
専門職大学院：法科大学院、教職大学院
※統計は2015年５月１日現在

② 国際交流の実績

交流協定大学数：49カ国・地域、171大学
（2015年10月現在）
留学生数：274名（2015年５月１日現在）

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2014年：留学生数274人、日本語・日本文化研修留学生３人
2013年：留学生数251人、日本語・日本文化研修留学生５人
2012年：留学生数262人、日本語・日本文化研修留学生２人

④ 地域の特色

八王子市は20以上の大学等が集まる学園都市である。自然が豊かな街としても有名で、市内の「高尾山」はミシュランガイドにも紹介され、世界中から多くの観光客が訪れている。歴史的にも古くから発展した八王子は、戦国時代には「滝山城」「八王子城」などを舞台に多くの合戦が行われた。

■コースの概要

① コースの特色

※日研生は、本学の特別履修課程の学生として、交流大学等からの交換留学生と同じ授業を受講します。

特別履修課程は日本語の学習を主な目的としており、学生が自身の日本語レベルにあった日本語科目を選択できるよう６つのレベルに分けて科目を提供している。

また、既に相当な日本語能力を有する学生は各学部で行っている専門科目を履修することができる。

② 受入定員

交換留学生（年間）　約80名
一般募集：４月入学　20名
：９月入学　20名
日研生　：９月入学　大使館推薦10名
大学推薦　10名

③ 受講希望者の資格、条件等

〇外国において大学等の高等教育課程に在籍した経験を持っている者
〇以下いずれかの資格を持っている者
・日本語能力試験Ｎ５レベル以上を持つ者
・iBT71点以上の英語能力を持つ者
・英語を母語として使用している者

※以下の目的をもった者に適した課程となっております。
- ある程度の日本語学習経験を持っている者で、更に日本語能力を高めることを目的とする者
- 創価大学の大学院への入学を目的とする者
- 既に相当な日本語能力のある者で、本学で開講している専門科目等の履修を目的とする者
- 英語を母語とするなど、高い英語能力を有している者で、英語で開講される専門科目等の履修を目的とする者

④ 達成目標

初級者：
日常生活で困らない日本語会話能力を身につける。

日本語初中級者：
日常会話に支障なくコミュニケーションをとれる能力を付ける。

日本語中級者：
中級レベルの文型、表現、語彙、慣用語句を理解し、読み・書き・聞き取りができる。

日本語上級者：
学部開講科目の履修等も通し、専門科目の知識を深めると共に、日本の大学院進学レベルの日本語力を身に付ける。

英語授業履修者：
専門科目の知識を深める。

⑤　研修期間

本課程は４月または９月に入学。
在籍期間は原則、１学期間または２学期間。
各学期は以下の通り。

前期　４月初旬から７月下旬
後期　９月中旬から１月下旬

修了式は、前期７月と後期１月となる。

⑥　研修科目の概要

各レベルごとに以下の日本語科目が設置されている。

クラス	科目	単位
ES	日本語基礎	3
E0	日本語総合入門	5
	日本語演習入門	1
	日本語聴解入門	1
	日本語口頭表現入門	1
	日本語文章表現入門	1
	初級漢字	1
E1	日本語総合Ⅰ	5
	日本語演習Ⅰ	1
	日本語聴解Ⅰ	1
	日本語口頭表現Ⅰ	1
	日本語文章表現Ⅰ	1
E2	日本語文法Ⅱ	1
	日本語文章表現Ⅱ	1
	日本語読解ⅡB	1
	日本語読解ⅡA	1
	日本語聴解ⅡB	1
	日本語聴解ⅡA	1
	日本語口頭表現ⅡB	1
	日本語口頭表現ⅡA	1
E3	日本語文法Ⅲ	1
	日本語文章表現Ⅲ	1
	日本語読解ⅢB	1
	日本語読解ⅢA	1
	日本語聴解ⅢB	1
	日本語聴解ⅢA	1
	日本語口頭表現ⅢB	1
	日本語口頭表現ⅢA	1
E4	日本語文法Ⅳ	1
	日本語文章表現Ⅳ	1
	日本語読解ⅣB	1
	日本語読解ⅣA	1
	日本語聴解ⅣB	1
	日本語聴解ⅣA	1
	日本語口頭表現ⅣB	1
	日本語口頭表現ⅣA	1
E5学部	日本語AⅠ・Ⅱ	2
	日本語BⅠ・Ⅱ	1
	日本語CⅠ・Ⅱ	1
	日本語DⅠ・Ⅱ	1
	日本語EⅠ・Ⅱ	1
	日本語FⅠ・Ⅱ	1
共通	日本伝統文化	2

1）必須科目

左記日本語科目（クラスにより異なる）

2）　見学、地域交流等の参加型科目

・日本伝統文化の授業では、茶道、華道、書道などを体験しながら学ぶことができる。（週１コマ）
・創価学園（小学校、中学校、高等学校）にて、交流授業を実施している。（各学期１回）

3）　その他の講義、選択科目等

その他、体育科目や英語で行う経営･経済学の授業、日本語力の高い者は学部科目を履修することができる。

⑦　年間行事

＜４月＞
前期・新入生歓迎会
オリエンテーション
前期ガイダンス
前期授業開始

＜７月＞
前期末イベント
前期末定期試験
前期修了式

＜８月＞
夏季休業

＜９月＞
後期・新入生歓迎会
オリエンテーション
後期ガイダンス
後期授業開始

＜１０月＞
創大祭

＜１２月＞
クリスマスイベント
冬季休業

＜１月＞
ニューイヤーイベント
後期定期試験
後期修了式
学年末休業



⑧　指導体制

日本語・日本文化教育センターの教員が担当する。

高木　功　教授（センター長）
伊東　美智留　准教授
岡松　龍一　准教授
倉光　雅己　准教授
日高　吉隆　准教授

⑨　コースの修了要件、修了証書の発行

創価大学の授業は、各学期とも15週間＋試験で単位を認定する。

日本語科目：週90分（１コマ）×15週　で１単位
講義・演習：週90分（１コマ）×15週　で２単位

一週間に７コマ以上履修し、単位が認定された学生には、受講証書と成績証明書を発行する。
成績証明書の発行時期は以下の通り。

前期の成績は、学期終了後９月上旬に発行予定
後期の成績は、学期終了後３月上旬に発行予定



■宿　舎

【男子寮】

宝友寮（留学生ブロック）
〇最大収容人数　64名
〇日本人混合寮、全室洋室、２人部屋
〇施設
大浴場、トイレ、食堂、台所（電子レンジ、冷蔵庫）、
集会室、ラウンジ、和室、洗濯機・乾燥機（有料）、冷暖房
〇居室備品
ベッド、寝具一式、洋服掛け、整理タンス、机、イス、本棚
〇大学まで徒歩20分以内

友光寮
〇最大収容人数　70名
〇日本人混合寮、全室洋室、２人部屋
〇施設
大浴場、トイレ、食堂、台所（電子レンジ、冷蔵庫）、
集会室、ラウンジ、和室、洗濯機・乾燥機（有料）、冷暖房
〇居室備品
ベッド、寝具一式、洋服掛け、整理タンス、机、イス、本棚
〇大学まで徒歩20分以内

【女子寮】

秋桜寮
〇最大収容人数　80名
〇留学生寮、全室洋室、１人部屋
〇施設
　大浴場、トイレ、食堂、台所（電子レンジ、冷蔵庫、共用炊飯器）、集会室、ラウンジ、和室、洗濯機・乾燥機（有料）、冷暖房
〇居室備品
　ベッド、寝具一式、洋服掛け、整理タンス、机、イス、本棚
〇大学まで徒歩20分以内

サンフラワーホール
〇最大収容人数　40名
〇留学生寮、全室洋室、１人部屋
〇施設
　大浴場、トイレ、食堂、台所（電子レンジ、冷蔵庫、共用炊飯器）、集会室、ラウンジ、和室、洗濯機・乾燥機（有料）、冷暖房
〇居室備品
　ベッド、寝具一式、洋服掛け、整理タンス、机、イス、本棚
〇大学構まで徒歩15分以内

創春寮
〇最大収容人数　98名
〇日本人混合寮、全室洋室、２人部屋
〇施設
　大浴場、トイレ、食堂、台所（電子レンジ、冷蔵庫、共用炊飯器）、集会室、ラウンジ、和室、冷暖房、洗濯機・乾燥機（有料）
〇居室備品
ベッド、寝具一式、洋服掛け、整理タンス、机、イス、本棚
〇大学まで徒歩5分以内





■修了生へのフォローアップ

各国の卒業生会に所属することができます。



■問合せ先

（担当部署）
創価大学　国際部国際課
住所　〒192-8577
　　東京都八王子市丹木町1-236
TEL　＋８１－４２－６９１－８２３０
FAX　＋８１－４２－６９１－９４５６
E-mail　intloff@soka.ac.jp

創価大学ホームページ
http://www.soka.ac.jp/index.html
創価大学　国際交流・留学のページ
http://www.soka.ac.jp/international/to-soka.html
日本語・日本文化教育センター
http://jsc.soka.ac.jp/japanese_index.html





SOKA University (Tokyo)

Discover your potential – We fervently hope that you will discover your potential at Soka University, to become a full-fledged individual who plays a role in achieving world peace and creating a new culture!

■University profile

[1] Characteristics and overview of the university

Soka University was established in 1971 by Dr. Daisaku Ikeda, who works for world peace and the welfare of mankind under the banner of the following founding principles:

-*Be the highest seat of learning for humanistic education.*
- *Be the cradle of a new culture.*
-*Be a fortress for the peace of humankind.*

Since its foundation, Soka University has organized an enriched education curriculum and support system in accordance with the basic philosophy of "Student Centered." In particular, the university places importance on international exchange, and with the support of excellent scholarships and housing facilities, a great number of international students from 44 countries and regions around the world are studying at the university.

Soka University provides undergraduate programs as follows: Faculty of Economics, Business Administration, Law, Letters, Education, Engineering, Nursing and in April 2014, Faculty of International Liberal Arts was established. As for graduate programs, there are Economics, Law, Letters, Engineering, Law School and Graduate School of Teacher Education. Soka University is a globalized comprehensive university which provides high quality education. Aiming to cultivate capable individuals contributing to world peace, there are many successful graduates around the globe.

Undergraduate students: 7582
Graduate students: 391
Full-time teachers: 346
Faculties: 8(Economics, Business Administration, Law, Letters, Education, Engineering, Nursing and International Liberal Arts)
Graduate schools: 4 (Economics, Law, Letters, and Engineering)
Professional graduate schools: Law School and Graduate School of Teacher Education
(as of May 1, 2015)

[2] Achievements of international exchanges
Concluded academic exchange agreements:
171 universities from 49 countries and territories
(as of October 1, 2015)
Number of international students: 274 (as of May 1, 2015)

[3] The data for the acceptance of international students

2014: 274 International students, 4 MEXT program students
2013: 251 International students, 5 MEXT program students
2012: 262 International students, 2 MEXT program students

[4] Local characteristics

Hachioji City is an academic city with more than 20 universities and schools. The area is well known for its abundance of nature, and in particular, the city contains Mt. Takao, which was introduced in the Michelin Guide and attracts many visitors from around the world. From a historical perspective, the area has flourished since ancient times, with many battles unfolding over "Takiyama Castle," "Hachioji Castle," and others during the *Sengoku* period of provincial wars.

■Course outline

[1] Characteristics of the course

- As a student in Undergraduate Non-degree Program of this university, the MEXT program students, attend the same classes as exchange students from partner institutions.

The Undergraduate Non-degree Program is divided into six classes based on the Japanese Language skill of each student, with the primary objective of Japanese language studies. Students who already have sufficient Japanese language proficiency may take specialized courses offered by each department.

[2] Enrollment capacity
Exchange students (per year): approx. 80
General applicants: April enrollment: 20
September enrollment: 20
The MEXT Program Students:
Embassy Nominees: 10
University Nominees: 10
＊For Spetember enrollment only

[3] Eligibility
This course is designed for those who have attended higher education such as a university abroad, and are designed to meet the needs of the following types of students:
- Those who have a certain amount of Japanese language learning experience and aim to enhance their Japanese language skills;
- Those who aim to enroll at a graduate school of Soka University;
-Those who already have sufficient Japanese language proficiency and aim to take specialized courses offered by the university; or
-- Those who have excellent English language proficiency iBT71, or are native speakers of English and aim to take specialized courses offered in English.
*Applicants are required to have one of the conditions below:

- Japanese Language Proficiency Test N5 or higher
- TOEFL iBT 71 or higher
- Native English speakers

[4] Aim

Beginner: Basic conversation skills

Intermediate: Intermediate level of expression, vocabulary, reading comprehension, writing and listening skills.

Advanced: Taking undergraduate classes and gain knowledge on specialized courses. Achieve sufficient Japanese fluency to enroll in Japanese graduate schools.

Those taking classes conducted in English:
Deepening knowledge on specialized courses.

[5] Study period
The course starts in April and September.
The period of study is one or two semesters.
The details of each semester are as follows:
[Spring semester] Beginning of April – end of July
[Fall semester] Mid September – end of January

[6] Outline of the subjects
Each level involves the following Japanese language subjects:

1) Mandatory Subjects

The list is from the table on the left (varies according to classes)

2) Participatory subjects: cultural experience and interaction with the local community

In Japanese traditional culture classes, students can experience tea ceremony, flower arrangement, and calligraphy (one class per week).

Interaction with local students. Classes are held at Soka Schools(elementary, junior high, and senior high schools) (one visit per semester).

3) Others

Physical education, Economics and Business classes conducted in English.

Course	Subject	Credits
Basic Beginner Level	Basic Japanese	3
Begginer Level	Basic General Japanese	5
	Basic Japanese Seminar	1
	Basic Japanese Listening Comprehension	1
	Basic Japanese Oral Expression	1
	Basic Japanese Writing Expression	1
	Beginner's Kanji	1
High Begginer Level	General Japanese Ⅰ	5
	Japanese Seminar Ⅰ	1
	Japanese Listening Comprehension Ⅰ	1
	Japanese Oral Expression Ⅰ	1
	Japanese Writing Expression Ⅰ	1
Pre-Intermediate Level	Japanese Grammer Ⅱ	1
	Japanese Writing Expression Ⅱ	1
	Japanese Reading Comprehension ⅡB	1
	Japanese Reading Comprehension ⅡA	1
	Japanese Listening Comprehension ⅡB	1
	Japanese Listening Comprehension ⅡA	1
	Japanese Oral Expression ⅡB	1
	Japanese Oral Expression ⅡA	1
Lower Intermediate Level	Japanese GrammerⅢ	1
	Japanese Writing ExpressionⅢ	1
	Japanese Reading ComprehensionⅢB	1
	Japanese Reading ComprehensionⅢA	1
	Japanese Listening ComprehensionⅢB	1
	Japanese Listening ComprehensionⅢA	1
	Japanese Oral ExpressionⅢB	1
	Japanese Oral ExpressionⅢA	1
Upper Intermediate Level	Japanese GrammerⅣ	1
	Japanese Writing ExpressionⅣ	1
	Japanese Reading ComprehensionⅣB	1
	Japanese Reading ComprehensionⅣA	1
	Japanese Listening ComprehensionⅣB	1
	Japanese Listening ComprehensionⅣA	1
	Japanese Oral ExpressionⅣB	1
	Japanese Oral ExpressionⅣA	1
Advanced Level	Japanese A Ⅰ・Ⅱ	2
	Japanese B Ⅰ・Ⅱ	1
	Japanese C Ⅰ・Ⅱ	1
	Japanese D Ⅰ・Ⅱ	1
	Japanese E Ⅰ・Ⅱ	1
	Japanese F Ⅰ・Ⅱ	1
All Level	Japanese Traditional Culture	2

[7] Annual events

April
・Welcoming events
・Orientation
・Spring semester classes begin

July
・Regular spring semester examination
・Spring semester closing ceremony

August
・Summer vacation

September
・ Welcoming events
・Orientation
・Fall semester classes begin

October
・Soka University Festival

December
・Christmas event
・Winter vacation

January
・New Year Event
・Regular fall semester examination
・Fall semester closing ceremony
・End-of-school year break

[8] Teaching staff
Classes are conducted by teaching staff from the Japan Studies Center.

Prof. Isao Takagi
(Director of Japan Studies Center)
Associate Prof. Michiru Ito
Associate Prof. Ryuichi Okamatsu
Associate Prof. Masami Kuramitsu
Associate Prof. Yoshitaka Hidaka



[9] Requirements for course completion and issuance of a completion certificate
Soka University awards credits based on assessments of 15-week classes and examinations for each semester.
Japanese language subjects:
one credit can be obtained by attending one 90 min. class per week × 15 weeks
Lectures/Seminars:
two credits can be obtained by attending one 90 min. class per week × 15 weeks

A certificate of attendance and transcript are awarded to students who earn credits from taking seven or more classes per week. Transcripts are issued according to the following schedules:
[Spring semester] beginning of September
[Fall semester] beginning of March

■Housing

Men's dormitory

•A block for international students at Hoyu Dormitory
(maximum capacity 64 students)

This dormitory houses a mixture of Japanese and international students. All rooms are Western-style with double occupancy. The following facilities are available: large communal bathing area, bathroom, dining room, kitchen (equipped with microwave oven and refrigerator), meeting room, lounge, Japanese-style room, washer and dryer (paid), and air conditioners (shared)

〇Room equipment
Bed, linen, clothes rack, chest of drawers, desk, chair, and bookshelf
〇Twenty minutes walk from the university

•Yuko Dormitory
(maximum capacity 70 students)

This dormitory houses a mixture of Japanese and international students. All rooms are Western-style with double occupancy. The following facilities are available: large communal bathing area, bathroom, dining room, kitchen (equipped with microwave oven and refrigerator), meeting room, lounge, Japanese-style room, washer and dryer (paid), and air conditioners (shared)

〇Room equipment
Bed, linen, clothes rack, chest of drawers, desk, chair, and bookshelf
〇Twenty minutes walk from the university

Women's dormitory

•Cosmos Dormitory
(maximum capacity 80 students)

This dormitory is for international students only. All rooms are Western-style with single occupancy. The following facilities are available: large communal bathing area, bathroom, dining room, kitchen (equipped with microwave oven, refrigerator, and shared rice cooker), meeting room, lounge, Japanese-style room, washer and dryer (paid), and air conditioners
〇Room equipment
Bed, linen, clothes rack, chest of drawers, desk, chair and bookshelf
〇 Twenty minutes walk from the university

•Sunflower Hall
(maximum capacity 40 students)

This dormitory is for international students only. All rooms are Western-style with single occupancy. The following facilities are available: large communal bathing area, bathroom, dining room, kitchen (equipped with microwave oven, refrigerator, and shared rice cooker), meeting room, lounge, Japanese-style room, washer and dryer (paid), and air conditioners

〇Room equipment
Bed, linen, clothes rack, chest of drawers, desk, chair and bookshelf
〇 Fifteen minutes walk from the university

•Soshun Dormitory
(maximum capacity 98 students)

This dormitory houses a mixture of Japanese and international students. All rooms are Western-style with double occupancy. The following facilities are available: large communal bathing area, bathroom, dining room, kitchen (equipped with microwave oven and refrigerator), meeting room, lounge, Japanese-style room, washer and dryer (paid), and air conditioners (shared)

〇Room equipment
Bed, linen, clothes rack, chest of drawers, desk, chair, and bookshelf
〇Five minutes walk from the university

■Follow-up for students completing the course

Students who have completed a course may join the graduates' association in their country.

■Contact information for inquiries

(Office in charge)
International Division,
International Affairs Office, Soka University
Address: 1-236 Tangi-machi, Hachioji City, Tokyo
Tel. +81-42-691-8230
Fax. +81-42-691-9456
E-mail intloff@soka.ac.jp
Soka University Website
http://www.soka.ac.jp/index.html
International Exchange page
on Soka University Website
http://www.soka.ac.jp/international/to-soka.html
Japan Studies Center
http://jsc.soka.ac.jp/japanese_index.html





南山大学 （愛知県）

南山大学

語学としての日本語を集中的に学ぶだけでなく、日本事情科目・芸術科目を通じて日本の社会や文化への理解を深める。また、学期を通じて行われるホームステイ・プログラムは、生きた日本語を習得し、日本文化を深く知るための効果的なプログラムである。毎年およそ25の国と地域から約130～150名の留学生がこのコースで学んでいる。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

1) 特色と歴史

南山大学は1949年に設立され、8学部17学科、大学院6研究科13専攻（うち、2専攻は専門職大学院）の他、3研究所、9研究センターをもつ総合大学である。

中部地方唯一の男女共学カトリック校であり、「人間の尊厳のために」を教育のモットーとし、世界から選ばれる大学、世界に人材を輩出できる大学を目指した教育を行っている。

（2015年5月1日現在）

2) 教員・学生数等

〇専任教員数 331名　　非常勤講師数 491名

〇学部･学生数等

学生数 9,963名

（内訳：学部生 9,675名　大学院生 288名）

うち、外国人留学生数 161名

（内訳：学部生 115名　大学院生 46名）

外国人留学生別科生 112名

〇名古屋キャンパス

学　部：人文学部・外国語学部・経済学部・経営学部・法学部、理工学部、短期大学部

大学院：人間文化研究科・国際地域文化研究科・社会科学研究科・ビジネス研究科・法務研究科・理工学研究科

〇瀬戸キャンパス

学　部：総合政策学部

※2017年4月、名古屋キャンパスへ移転します

② 国際交流の実績

海外協定校数　69校＋1団体

短期大学部海外協定校 5校

派遣交換留学生数　62名

受入交換留学生数　68名

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数161人、外国人留学生別科生数112人
日本語・日本文化研修留学生5人　（H27年度）

2014年：留学生数143人、外国人留学生別科生数111人
日本語・日本文化研修留学生6人　（H26年度）

2013年：留学生数152人、外国人留学生別科生数119人
日本語・日本文化研修留学生5人　（H25年度）



■コースの概要

① コースの特色

コース名：外国人留学生別科
（Center for Japanese Studies）

コースの特色：

集中日本語科目では、5段階(300-700)のレベル別コースを用意し、各学生の日本語能力にあった学習が可能で、読む･書く･聴く･話すの4技能の各習熟度の違いにも対応する。その他、将来のキャリア形成に役立つ各種日本語セミナー、日本の文化･社会・経済等について英語による科目を設置し、単に日本語を学ぶということに留まらず、将来、研究や仕事に必要とされる日本語能力の向上や日本に対する理解を深めることをねらいとする。

また、書道や華道等芸術科目を通じて、「日本」についての基礎的･専門的知識の習得を目指す。

学期を通じて日本人家庭でホームステイすることにより、生きた日本語や文化慣習に触れ、更には深く日本および日本人を理解する経験へと繋がる。また、フィールドトリップやコーヒーアワー等の活動や交流会館での宿舎生活を通じて、日本人学生との交流も図りながら、授業だけでなく大学生活の中で、日本を学ぶことも重視している。

② 受入定員

120名（大使館推薦5名、大学推薦1名）

③　受講希望者の資格、条件等
(i)　日本語･日本文化に関係する分野を専攻する者、または他の専攻分野でも日本語履修に意欲のある者。
(ii) 在籍する大学での成績がB(4ポイント方式で3.0)以上であること。

④　コース期間
2016年 9月5日 ～ 2017年 5月20日
秋学期 2016年 9月 5日～12月16日
春学期 2017年 1月13日～ 5月12日
修了式は 2017年5月27日を予定
(サマープログラム　2016年6月～7月)

⑤　コース担当教員
専任教員：22名　非常勤教員：19名

⑥　コース学生数
140名(25国･地域)　(2015年9月受入実績)

⑦　コース形態
日本語のレベルによるクラス分けに加え、少人数のセクションに分かれて日本語を集中的に学ぶ他、日本事情科目･芸術科目･オープン科目(学部授業)等の選択科目を提供する。



⑧　研修科目の概要
原則として、 1学期に、集中日本語総合5単位および読み書き3単位を含む14単位から18単位を履修する。

1) 選択必修科目 (各レベル総合5単位、読み書き3単位。各学期合計240時間)
集中日本語300：日本語の重要基礎文法を定着させる。4技能をバランスよく伸ばし、日常生活の諸場面でも対応できる力を身につける。
集中日本語400：日本語の基礎力を更に向上させ、長文読解も導入する。

集中日本語500：上級の日本語コースへの準備。生教材の読解･論理的な文章の作成･討論等も行う。
集中日本語600：語彙や表現力を伸ばし、更なる日本語4技能の充実を目指す。
集中日本語700：日本語4技能の完成に加え、目的別の高度な日本語を身につける。専門書の読解、小論文作成なども行う。
Academic Japanese Reading ：集中日本語700を終えた学生のためのクラス。学生の主専攻分野を含む様々な学術領域の読み物を教材とし討論を行う。

2) 選択科目
(i)　日本語プロジェクトワーク (5レベル、各1単位)
各レベルの日本語力に合わせて、プロジェクトを計画し、口頭発表、論文提出を行う。

(ii) 日本研究関連講義科目 (英語による講義、各3単位)
日本の経済* 、日本の経営* 、日本の政治、日本の宗教* 、日本の文学、日本の歴史、日本の文化* 、日本の外交* 、日本文化･芸術、フィールドワーク
　* 学部学生の乗り入れ登録可能科目

(iii) セミナー科目 (日本語に関するセミナー、各2単位)
講読(日本文学)、初級・中級翻訳、作文、創作作文、古文、学術日本語
作文、ビジネス日本語、旅行業日本語、外国語としての日本語教授法入門、ボランティアのための日本語、講読(社会科学) 、大学準備日本語

(iv) 芸術科目 (各2単位)
華道、書道、墨絵、版画、茶道

(v) オープン科目 (学部授業への別科学生乗り入れ登録可能科目、各2単位)
言語学､外国語教授法、日本語教育論､日本文化学､日本の社会､アメリカ外交と国際関係､
戦争と平和、日本国憲法論



⑨　指導体制
集中日本語クラスを担任制とする他、日本語科目・日本事情科目各担当教員、学生生活担当教員を配置する。更に全員に指導教員をつけ、学業および生活の両面から個別指導が可能な体制を採る。

⑩　インターンシッププログラム等の参加型科目
社会で通用する日本語を実践するため、2科目で履修者のうち数名を対象に職業体験プログラムを行う。また、フィールドワークリサーチやボランティアリングの授業も開講する。





⑪　フィールド･トリップ等
歌舞伎鑑賞、座禅研修、トヨタ自動車工場見学、学部学生との交流バス旅行等を実施する他、日本人学生が主体となり日本の伝統遊びやスポーツ等、月に1度程度交流行事を企画する。これら行事や種々活動を通じ、別科学生同士のみならず、学部や大学院の留学生、また、日本人学生との交流を深める機会となっている。



⑫　コースの修了要件
連続して在学する1学期目に700コースを履修する場合、1年間に選択必修科目11単位以上を含む28単位以上を取得した者、連続して在学する1学期目に700コースを履修しない場合、 1年間に選択必修科目16単位以上を含む28単位以上を取得した者に対し、修了証を授与する。

⑬　単位認定
履修科目について試験のうえ、成績を判定し、単位を与える。

⑭　ジャパンプラザ
留学生の日本語習熟および日本人学生との交流を目的に、日本語のみを使用するジャパンプラザを設置している。授業と連携して課題を課す取組等も行う。

■宿　舎

① ホームステイ
日本人家庭で「家族の一員」として生活することにより、日常生活で使われる生きた日本語を学ぶことができ、季節毎の日本の伝統行事等を体験することができる。日常の日本文化の実体験が可能であり、日本の社会や文化に対する真の理解を深めることができる。

② 交流会館(寮)
名古屋交流会館と山里交流会館の2つの寮があり、日本人学生と共同生活を行う寮である。共同生活を通じて、国際理解や協力を促進することを目的として設置されている。なお、名古屋交流会館までは大学正門から徒歩１分、山里交流会館までは徒歩5分。

〇過去3年間の日本語･日研生の宿舎入居状況

2015年度受入4名	：国際留学生会館(4名)
2014年度受入6名	：国際留学生会館(5名) 山里交流会館(1名)
2013年度受入5名	：名古屋交流会館(4名) 自己手配(1名)

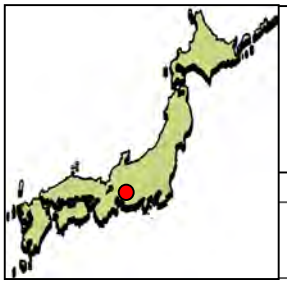


■修了生へのフォローアップ

留学生同窓会Facebookを立ち上げる他、修了生のメイリングリストを作成し、年に2回ニュースレターを送信する。また、年に数回各国にて帰国留学生の同窓会を企画する。

■問い合わせ先

（担当部署）
南山大学国際教育センター事務室
住所：〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
電話：052(832)3123
Fax　：052(832)5490
E-mail：cjs-office@ic.nanzan-u.ac.jp
Webページアドレス
http://nanzan-u.ac.jp/English/index.htm



Nanzan University (Aichi)

NANZAN UNIVERSITY

"Over thirty five years of experience in educating international leaders" –Since the founding in 1974, the Center for Japanese Studies has been a leader in Japanese language studies, with the goal of helping each student develop a better understanding of the Japanese people and language.

◆University Overview

○ Features and History
Nanzan University is located in the heart of Japan, in and around the city of Nagoya. It started as a college of foreign languages in 1946 and grew into a single Faculty of Arts and Letters in 1949. Established with the underlying philosophy of "For Human Dignity", it is the only Catholic coeducational university in the Chubu region.

(as of 1 May 2015)
○ Number of Faculty Staff members
Full-time : 331, Part-time : 491

○ Number of Students
Undergraduate: 9,675, Graduate: 288
Total: 9,963
Above includes International Students:
Undergraduate: 115, Graduate: 46
Total: 161
International Students in Center for Japanese Studies: 112

○ Graduate and Undergraduate Schools
Undergraduate Schools ;
Humanities, Foreign Studies, Economics, Business Administration, Law, Policy Studies, Information Science and Engineering, Junior College

○ Graduate Schools ;
Humanities, International Area Studies, Economics, Business Administration, Law, Policy Studies, Sciences and Engineering



○ Record in the field of international exchange
Number of foreign educational institutions with which exchange agreements are in place: Nanzan University – 69 schools and 1 group, Nanzan Junior College – 5 schools
Exchange students sent to the above schools: 62 students (excluding those who have put their studies at Nanzan on hold in order to go abroad to study)
Exchange students accepted from the above schools: 68 students

○ Numbers of foreign students, and foreign students studying the Japanese language or Japanese culture in the past three years.

2015: 161 foreign students with 112 students in the Center for Japanese Studies
Foreign research students studying the Japanese language or culture: 5

2014: 143 foreign students with 111 students in the Center for Japanese Studies
Foreign research students studying the Japanese language or culture: 6

2013: 152 foreign students with 119 students in the Center for Japanese Studies
Foreign research students studying the Japanese language or culture: 5



◆Course Features

○ Name of the Course
Center for Japanese Studies

○ Features of the Program:
The CJS has been a leader in Japanese language studies since its founding in 1974. Six different levels of intensive courses, from elementary to advanced Japanese, are offered by outstanding and experienced Japanese teaching professionals. All four language skills of speaking, listening, reading, and writing are stressed. Studying in the appropriate course level enables students to rapidly improve their Japanese language ability. Students not only learn Japanese language, but also expand their knowledge about Japan by taking area studies and culture classes, such as Japanese Economy or Flower Arrangement. The CJS also provides a home stay program through which students can learn Japanese culture first-hand by living with a Japanese family.

○ Number of Students Accepted:
120 students (including 6 Japanese Government Scholarship students)

○ Qualifications and criteria for people wishing to enroll

(i) People majoring in a field related to Japanese language or culture, or those strongly motivated to study Japanese despite their major being in another field.
(ii) Students who have achieved at least a B average (3.0 in the 4-point scale) in their studies in their own university.

○Period of the Program:
September 5, 2016 – May 20, 2017
Fall Sem.:
September 5, 2015 – December 16, 2015
Spring Sem.:
January 13, 2017 – May 12, 2016
(Summer Program: June – July, 2016)

○ Supporting Academic Staff:
Full-time Faculty 22, Part-time Lecturers 19

○ CJS students: 140, from 25 countries and areas (as of September 2015)

○Program Content:
Compulsory subjects
（1）Japanese Courses:
New Intensive Japanese 300:
Basic Japanese grammar is introduced. Classroom reading materials are chosen to enable students to read everyday materials and express themselves effectively .

New Intensive Japanese 400:
Skimming and scanning training is carried out, and intensive reading is introduced. Students are expected to master basic Japanese grammar and simple discourse structures.

New Intensive Japanese 500:
The main texts are materials chosen from various sources such as newspapers and novels. Students are expected to master most intermediate grammar and discourse structures.

New Intensive Japanese 600:
This course is designed mainly for those who wish to continue their language study in order to pursue an academic or professional career using the Japanese language.

New Intensive Japanese 700:
This course is designed for students who plan to deal with materials on specific topics in their future work.

Academic Japanese Reading:
This course is mainly designed for students who have completed NIJ700. In class, students read and discuss academic books and papers in various academic fields including their own majors.





Optional subjects
（2） Project Work: ;
Designed to enable students to conduct a project using various types of Japanese. Students learn how to give oral presentations on their project and organize the results of their project into a short paper.

（3） Lecture Classes: ;
Japanese Economy*, Japanese Business*, Japanese Politics, Japanese Religions*, Japanese Literature, Japanese History, Japanese Culture*, Japanese Foreign Policy*, Japanese Culture and Art, Fieldwork Research Methods for Japan
*Open to Japanese students

（4）Seminars ;
Readings in Japanese Literature, Elementary or Intermediate Translation, Japanese Writing, Creative Writing, Classical Japanese, Academic Japanese Writing, Business Japanese, Japanese in Tourism: Hotel Japanese, Teaching Japanese as a Foreign Language, Japanese in Volunteering University Preparatory Japanese, Introduction to Readings in Social Science

（5） Practical Courses in the Japanese Arts ;
Ikebana (Flower Arrangement), Shodo (Calligraphy), Hanga (Woodblock Painting), Sumie (Chinese Black Ink Painting), Sado(Japanese Culture and Tea Ceremony).

（6）Open Courses: ;
Japanese Linguistics, Studies in Japanese Language Pedagogy, Observation and Analysis of Japanese Language Activities, Seminar in American Foreign Relations:A view from Japan, Seminar in War and Peace:A Transnational Perspective, Approaches and Methods in Foreign Language Teaching, Principles of Language Education, Japanese Nationality Law

Open courses are offered by Undergraduate schools of Nanzan University and are open to cross registration by CJS students.





○ Credit and Evaluation
CJS requires all full-time students to carry a course load of 14 to 18 credit hours per semester. A certificate of completion will be awarded to all full-time students successfully completing 28 credits in a year.

○ Guidance system
To provide high-quality support, with New Intensive Japanese courses, one teacher is assigned to each group of students enrolled in a particular level class throughout the semester.
In addition, Deans are assigned to each of the three areas of study and student life: Japanese language courses, Japanese Area Studies, and Student Affairs. On top of that, all students are assigned a supervisor from among the academic staff members, making it possible to provide individual guidance both on academic issues and matters related to student life.

○Participatory courses such as the Internship Program
In order to develop a level of Japanese language ability that will be sufficient in a real-life working situation, we run a Work Experience Program for a limited number of students out of those enrolled in two particular courses. Further, courses in fieldwork research methods and in volunteering will also be offered.

○Field Trips etc.
About once a month there is some form of exchange activity with other students. In addition to going to watch kabuki, experiencing Zen mediation, and visiting the Toyota Motor Corporation automobile manufacture plant, there are bus trips to facilitate exchange with other foreign undergraduate students or opportunities to play traditional Japanese games or participate in sports with local Japanese students. These events and activities are designed to provide CJS students with an opportunity to deepen exchange with other foreign undergraduate and postgraduate students, as well as with local Japanese students.

○ The Japan Plaza
The Japan Plaza, where only the use of Japanese is allowed, is available for students to use for practicing their Japanese outside the classroom.

◆Accommodation

（1）Homestay
Nanzan's homestay program is one of the largest in Japan and has been extremely well received by numerous students at CJS. Through the experience of sharing daily life with a Japanese family, Japanese culture can be learned first hand. These live-in situations also give everyone a precious opportunity to communicate across cultures and to make life-long friendships.

（2）International Residences
Nanzan University runs two off campus facilities, the Nagoya Koryu Kaikan and the Yamazato Koryu Kaikan. Both were founded to promote international understanding and cooperation through a live-in experience.
It is a 1 min. walk from campus, and the Yamazato Koryu Kaikan is a 5 min.walk from campus.

○ Accommodation for Japanese Government students (for the last three years)

2015 (4 students):International Student Center(4)

2014 (6 students): International Student Center(5)
Yamazato Koryu Kaikan(1)
2013 (5 students): Nagoya Koryu Kaikan(4),
Self-Arrangement(1)

◆ Follow-up for alumni

The Nanzan International Student Alumni Network sends out an E-Newsletter to alumni biannually. Now alumni news is shared through its own facebook page.

◆ For further information please contact:

Office:
Center for International Education Office
Address:
18 Yamazato-cho, Showa-ku, Nagoya,
466-8673 Japan
Phone: +81-52-832-3123
Fax: +81-52-832-5490
E-mail: cjs-office@ic.nanzan-u.ac.jp

URL
http://www.nanzanu.ac.jp/English/index.htm







北陸大学 （石川県）

実績ある留学生教育

伝統と創造にあふれ、豊かな四季に恵まれた「古都」金沢で学ぶ日本語・日本文化

■大学紹介

① 大学の特色および概要

北陸大学について

北陸大学は「自然を愛し、生命を畏敬する」を建学の精神に掲げ1975年に開学しました。薬学部一学部からスタートし、国民の医療の向上に貢献する薬剤師を養成しています。文系学部の「未来創造学部」は、「国際マネジメント学科」「国際教養学科」を擁し、「Global Eyes」というもう一つの教育理念から、人間力・国際感覚を備えたグローバル人材の育成を行っています。

1993年「国際交流センター」の前身である「国際交流室」を開設しました。1994年「留学生別科」を設置し、世界各国から留学生を受け入れています。

2014年には「北陸大学の国際化ビジョン」を策定し、大学の国際化について一層の発展を推進しています。





国際交流センターについて

国際交流センターは世界の大学といろいろな交流を計画し、実施しています。現在、本学はアメリカ、イギリス、 スペイン、ロシア、モンゴル、タイ、インドネシア、中国、韓国の大学と協定を締結し、オーストラリア、ニュージーランド、ドイツの大学とは友好校として北陸大学の学生を派遣したり、姉妹校からの学生を受け入れたりしています。

また、国際交流センターでは外国人を含むスタッフが、語学を勉強するときのアドバイスをしたり、海外の文化や生活情報、海外旅行や留学といった実践的なことの相談にも応じています。海外留学に関しては北陸大学が主催するものや個人で行ける留学に関する情報を置いています。

② 国際交流の実績

海外姉妹校・友好校等：55

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数　451人、
　　日本語・日本文化研修留学生　1人
2014年：留学生数　480人、
　　日本語・日本文化研修留学生　1人
2013年：留学生数　574人

④ 地域の特色

金沢市は石川県の県庁所在地であり、人口約46万人の地方都市です。「小京都」とも呼ばれ、古い町並みが残り伝統と文化が息づいています。一方で北陸随一の繁華街を抱え、郊外には大型ショッピングセンターや大型映画館もあります。自然にも恵まれ、夏には海水浴、冬にはスキーができます。また、温泉地としても有名です。治安が良く物価も安いので生活しやすい都市です。





■コースの概要

①　コースの特色

留学生別科は国際社会に貢献できる日本語及び日本の文化知識を教授し、国際人としての教養を身に付けた人材の育成を行うことを目的に設立されました。日本の大学や大学院への進学を目標とする留学生、また日本語のブラッシュアップや日本体験を目的とする留学生を対象に日本語のレベル別クラスで日本語教育を行っています。

②　受入定員

大使館推薦　5名
大学推薦　　5名

③　受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験Ｎ4相当以上の能力があることが望ましい。

④　達成目標

入学時の語学力に応じて、N3～N1相当の学力を修得する。

⑤　研修期間

入学時期：2016年9月～2017年8月
修了式は8月を予定

⑥　研修科目の概要

一般の留学生別科生と同じ授業を受講します。授業はすべて日本語で行われ、入学時の日本語能力によってクラス分けをします。日本語レベルの高い学生は、学部の授業も聴講することができます。また、大学院進学を目指す人のために、研究計画書作成の指導も行います。

（1）日本語、日本事情科目

・日本語科目　900分/1週間

読む・書く・話す・聞くの4技能をバランスよく学びます。また各種の試験対策の授業もします。

・日本事情　60分/1週間

日本の文化について勉強します。茶道や金箔工芸など体験型の授業も行う他、研修旅行にも行きます。

・日本事情演習　60分/1週間

日本で生活するうえで必要な各種手続の方法を説明したり、生活上の相談や話し合いをします。

□参考	月	火	水	木	金
9:10～10:10	文型読解	文型読解	総合演習	作文	総合演習
10:20～11:20	総合演習	総合演習	文型読解	文型読解	会話聴解
11:30～12:30	会話聴解	作文	会話聴解	会話聴解	作文
13:20～14:20 13:20～14:50	日本事情演習	英語	論文作成	日本事情	研究計画
14:40～16:10	文字			資格日本語	



（2）見学、地域交流等の参加型科目

・日本事情　60分/1週間

（3）その他の選択科目

文字／英語／論文作成/研究計画書作成／資格日本語（N1試験対策）
各科目　90分／1週間

大学・大学院入学試験や留学試験にかかわる科目を勉強します。また興味に応じて、文字（特に漢字）や論文作成を勉強することもできます。

⑦年間スケジュール

４月	春学期入学式
	春学期開講
５月	日本文化体験活動（春季研修）
６月	研修旅行
７月	日本語能力試験
	日本語朗読コンテスト
	春学期末試験
	ビーチデー
８月	修了式
	夏休み
９月	秋学期入学式
	秋学期開講
１０月	学園祭

１１月　　日本文化体験活動（秋季研修）
　　日本留学試験
１２月　　日本語能力試験
　　日本語コンテスト
　　留学生別科学生交流会
　　冬休み
　１月　　秋学期末試験
　３月　　修了式

⑧　指導体制

日研生は、国際交流センター・留学生別科の所属となります。国際交流センター所属の教員が指導教員として履修や研究の指導、日本での生活のサポートをします。

笠原祥士郎　教授
佃志津　　准教授
佐々木技好准教授　ほか

⑨コースの修了要件

研修期間１年で30単位以上取得した留学生について、留学生別科修了証書を発行します。









■宿　舎

大学の寮または大学周辺のアパートを紹介します。また、石川県などが運営している留学生会館もあります。

大学紹介のアパートの家賃は約25,000～30,000円／月です。また、入居時には、手続費として家賃の1か月分、敷金として40,000円が必要です。アパートの保証人には大学がなります。生活費は、家賃込みで約70,000～80,000円／月かかります。

■修了生へのフォローアップ

Facebookにおいて Hokuriku University Study Abroad Facebook Pageを公開しています。本プログラム参加者が随時写真を載せながら近況を報告。本プログラム参加者は当サイトに登録できるようにし、本プログラム終了後の様子をリアルタイムで確認できます。

■問合せ先

北陸大学
国際交流センター・留学生別科
〒920-1180
石川県金沢市太陽が丘1丁目1番地

Tel 076-229-2626
Fax 076-229-0021
E-mail: iec@hokuriku-u.ac.jp
ホームページアドレス
http://www.hokuriku-u.ac.jp/department/jlc/index.html





Hokuriku University (Ishikawa)

Proven track record in educating international students

Learning Japanese language and culture in the historic and seasonally rich city of Kanazawa, a place where tradition meets creativity

University Overview

① History

Outline of Hokuriku University

Hokuriku University was founded in 1975 under the founding principle of “to love nature, respect life and seek the truth.” The Faculty of Pharmaceutical Sciences was established to train pharmacists able to contribute in improving the health of all citizens. In the humanities, the School of Future Learning, with departments in International Management and International Liberal Arts, was established to nurture students who are open and internationally minded.

The International Exchange Centre was established in 1993 and in the following year, the Japanese Language Course opened its doors welcoming students from around the world.

In 2014, we formulated the “International Vision of Hokuriku University” outlining the mid to long term plans for the further internationalisation and growth of the university.





International Exchange Centre (IEC)

The International Exchange Centre (IEC) carries out a wide variety of exchange programs with universities around the world. We have partner agreements with universities in England, USA, Spain, Russia, Mongolia, Thailand, Indonesia, Australia, China and Korea, as well as carrying out student exchange with universities in New Zealand and Germany.

IEC with its Japanese and international staff, are available for all students providing advice on foreign language learning, studying abroad or for simply planning an overseas trip. We also organize numerous long-term study abroad trips as well as short-term cultural trips for all students.

② International Exchange

Overseas sister and partner universities: 55

③ Below is the total number of international students who have studied at Hokuriku University over the past 3 years:

2015: 451

MEXT Japanese Studies Student: 1

2014: 480

2013: 574

④ City of Kanazawa

The city of Kanazawa (pop. 460,000) is the capital of Ishikawa Prefecture. Sometimes referred to as “Little Kyoto,” Kanazawa has preserved its old architecture and townscape, along with its traditions and culture. It also boasts the largest shopping and amusement area in the Hokuriku region, as well as many large shopping facilities and cinemas around town. Blessed with beautiful beaches and the Hakusan mountain range, people can enjoy a wide variety of activities all year round. The area is also famous for its hot springs. With the cost of living relatively low and high level of public safety, Kanazawa is an ideal place to live.





■ Course Outline

① Course Features

The Japanese Language Course at Hokuriku University was established with the purpose of teaching practical Japanese language and culture, and foster internationally minded scholars. It is an intensive course designed for those who wish to improve their Japanese language skills with the purpose of entering a Japanese university or graduate school, or who simply want to brush up on their Japanese and be able to experience life in Japan.

② Intake

Embassy recommendation: 5 students
University recommendation: 5 students

③ Applicant Requirements

Ideally, all applicants should have at least a Japanese language level equivalent to N4 of the Japanese Language Proficiency Test (JLPT).

④ Achievement Objectives

Depending on the language level at the start of the course, students should be able to complete with a language level equivalent to N3 ~ N1 on the JLPT.

⑤ Course Period

Admission: Sept. 2016 ~ Aug. 2017 Completion ceremony will be held in August.

⑥ Course Teaching Structure

You will be able to attend the same classes as students on the Japanese Language Course. All classes are held in Japanese and after taking a placement test, you will be placed in the appropriate class.

Advanced students can also attend faculty subjects as auditing students. In addition, we assist students who are in interested in studying at graduate school and need help preparing their research proposal or dissertation.

(1) Compulsory Subjects:

・ Japanese Language Subjects 900 min/week

Equal emphasis is placed on the four skills of reading, writing, speaking and listening. Preparatory lessons for various examinations are also offered.

・ Japanese Culture 60min/week

Students also participate in various cultural activities such as the tea ceremony, gold leaf craft and various study tours to help deepen their understanding of Japanese society and culture.

・ Japanese Issues Seminar 60min/week

Seminars explaining the procedures required to live in Japan and consultation sessions relating to life in Japan are provided.

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:10～10:10	Grammar・Reading	Grammar・Reading	Test Preparation	Writing	Test Preparation
10:20～11:20	Test Preparation	Test Preparation	Grammar・Reading	Grammar・Reading	Speaking・Listening
11:30～12:30	Speaking・Listening	Writing	Speaking・Listening	Speaking・Listening	Writing
13:20～14:20 13:20～14:50	Home Room	English	Thesis Preparation	Japanese Culture	Research Preparation
14:40～16:10	Kanji Writing			JLPT Preparation	



(2) Field Trips/Community Exchange Subjects・
・Japanese Issues 60min/week

(3) Elective Subjects

・Japanese writing, English, General studies (Geography, History and Civics), Mathematics, Information Processing, Thesis and Research Proposal preparation for Graduate studies as well as JLPT (N2) Test Preparation.

Students may also take various subjects to help prepare for the EJU university admission exam and other university and graduate school admission exams. Classes in Japanese writing (in particular kanji), information processing (computers) and thesis preparation are also offered.

⑦ Yearly Schedule

April	Entrance Ceremony
	Start of Spring Semester
May	Japanese Cultural Activity (Spring)
June	Study Field trip
July	Japanese Language Proficiency Test
	Japanese Language Recital Contest
	Spring Semester Final Examinations
	Beach Day
August	Completion Ceremony
	Summer Holidays September
Autumn	Semester Entrance Ceremony
October	Start of Autumn Semester
	School Festival Field Trip

November Japanese Cultural Activity (Autumn)
Examination for Japanese University
Admission for Int. Students (EJU)

December Japanese Language Proficiency Test
Japanese Speech Contest
End of year student party
Winter Holidays

January Autumn Semester Final Examinations

February Farewell Party

March Completion Ceremony

⑧ Teaching Faculty

All students will belong to the IEC and Japanese Language Course at Hokuriku University. Each student will have their own supervisor (who belong to IEC) where you will receive advice on study methods, research work as well as general life in Japan.

Shojiro Kasahara, Professor
Shizu Tsukuda, Associate Professor
Ayako Sasaki, Associate Professor
and other teaching staff

⑨ Completion Requirements

Students who have studied for at least one-year and obtained 30 credits will receive a Japanese Language Course for International Students Completion Certificate.









■ Housing

Students have the option of staying at the university dormitory or apartments located close by. There is also the Ishikawa International Students House managed by Ishikawa Prefecture available to international students.

Apartments introduced by the university cost between 25,000 to 30,000 yen per month. When renting such apartments, a charge of approximately 40,000 yen is required to pay for deposit and key money. The university will act as guarantor for the students. The average living costs including rent is around 70,000 ~ 80,000 yen/month.

■ Follow-up for graduates

Students can access the International Exchange Centre at Hokuriku University on Facebook to keep up with currents events and news from the university.
https://www.facebook.com/huiec

■ Inquiries

Hokuriku University

International Exchange Centre・
Japanese Language Course for International Students

1-1 Taiyogaoka, Kanazawa,
Ishikawa, Japan 920-1180

Tel: +81-76-229-2626
Fax: +81-76-229-0021
E-mail: iec@hokuriku-u.ac.jp
Web: http://www.hokuriku-u.ac.jp/department/jlc/index.html





愛知淑徳大学 （愛知県）

「どこでも使える堂々とした日本語」を学ぼう

■大学紹介

① 大学の特色および概要

愛知淑徳大学は1975年に女子大学として開学しました。大学創立20周年となる1995年には時代の変化・社会の多様性に応じるため男女共学に移行し、「違いを共に生きる」という理念のもと、男女の性差だけでなく、国籍の違いを越え、外国人留学生や、年齢や世代の異なる社会人を受け入れるようになりました。現在では、9学部・5研究科・留学生別科へと発展し、毎年9千人近い学生が共に学んでいます。

本学には星が丘キャンパス（名古屋市）と長久手キャンパス（長久手市）の2つのキャンパスがあります。長久手キャンパス内には外国人留学生の宿舎として、国際交流会館（通称：アイハウス）が設置されています。



長久手キャンパス

② 国際交流の実績（2015年11月25日現在）
【留学生在籍数】31人（5カ国）
【大学間交流協定数】16大学（9カ国）

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数 31人
　　日本語・日本文化研修留学生 1人
2014年：留学生数 35人
　　日本語・日本文化研修留学生 4人
2013年：留学生数 37人
　　日本語・日本文化研修留学生 3人

④ 地域の特色

名古屋は226万人を超える人口を擁し、大都市としての利便性を備えつつも東京や大阪ほど混んでおらず、住みやすい街です。日本の中央に位置しているため、東京、大阪、京都、奈良などへも短時間で行くことができます。

■コースの概要

① コースの特色
【コース名】
留学生別科日本語コース
【特色】
「どこでも使える堂々とした日本語」を学ぶための場として1992年に設立されました。少人数クラスで一人ひとりのニーズに可能な限り対応する授業を行っています。
授業にはレベルに応じた日本語を学ぶ日本語科目と、実践や体験を重視した日本文化科目、翻訳、国際文化論などの専門科目があります。

日本語科目には、「日本語Ⅰ（初級レベル）」から「日本語Ⅵ（最上級レベル）」まで6レベルのクラスがあります。
各クラスで「クリニック」と呼ばれる個人指導の時間があり、学生は週1回参加し、担当教員から自分の日本語の弱いところを丁寧に教えてもらい、直してもらうことができます。

② 受入定員
30名（大使館推薦3名、大学推薦1名）

③ 受講希望者の資格、条件等
（1）最低12年の正規の学校教育を修了し、大学資格をすべて満たしていること。または、これに準ずる資格を有することが必要です。

（2）最終学歴校での成績が100点満点中、平均75点以上であること。または、GPA4.00の2.75以上を取得していることが望まれます。

④ 達成目標
達成目標はどのレベルで学習をはじめたかによって違いますが、1学期が終わった時に必ず次のレベルに行ける日本語を身につけていることを目標としています。
【達成目標の目安】
・日本語Ⅱ修了時 JLPT4 合格
・日本語Ⅲ修了時 JLPT3 合格
・日本語Ⅳ修了時 JLPT2 合格
・日本語Ⅴ修了時 JLPT1 合格
・日本語Ⅵ修了時 大学学部・大学院授業を問題なく受講できるレベル

⑤　研修期間

【大使館推薦】

2016年8月30日～2017年5月12日

【大学推薦】

2016年8月30日～2017年8月4日

交流協定に基づき、適格と認められた場合に別科の二学期目から学部開設科目の履修を認めているため、研修期間が異なります。

修了式は2017年5月19日（予定）です。

⑥　研修科目の概要

1）必須科目

・月曜から金曜まで毎日行われます。

・各クラス、授業は原則として、1週間に午前中4時間の会話や視聴解等と、6時間の読解・作文の授業の合計10時間（日本語Ⅰ、日本語Ⅱは12時間）に加えて、午後に90分の日本語演習があります。演習では、午前中に学習した日本語を使った様々なクラス・アクティビティを行います。これに加えて、日本語ⅠからⅣのレベルでは、1週間に午前中2時間の聴解練習の授業があります。

・各クラス、1週間に1回「クリニック」と呼ばれる個人指導の時間があります。

2）見学、地域交流等の参加型科目

・日本文化（春学期開講・2単位）

日本の伝統文化の中から、年中行事、祭り、陶芸、神社・城、日本料理などを取り上げ、トピックについて調べたり、映像を見た後に、実際に見学、実習しながら学びます。

3）　その他の講義、選択科目等

・すべて午後に授業があります。

・各科目、1週間に1回90分の授業があります。

■　スペシャル漢字クラス（秋／春学期開講・2単位）
■　翻訳（秋／春学期開講・2単位）
■　日本語の文章表現（秋／春学期開講・2単位）
■　日本語文法論（春学期開講・2単位）
■　国際文化論（秋／春学期開講・2単位）
■　日本映画論（春学期開講・2単位）
■　日本文化（春学期開講・2単位）
■　華道（秋／春学期開講・2単位）
■　書道（秋／春学期開講・2単位）

【秋学期（日本語Ⅲクラス）の履修例】

日本語科目（必修）から14単位、その他科目から4単位を履修

時間／曜日	月	火	水	木	金
1時間目 9:30-10:20		日本語聴解Ⅲ			日本語聴解Ⅲ
2時間目 10:30-11:20	日本語Ⅲa（読解・作文）	日本語Ⅲa（読解・作文）	日本語Ⅲa（読解・作文）	日本語Ⅲb（会話）	日本語Ⅲb（会話）
3時間目 11:30-12:20	日本語Ⅲa（読解・作文）	日本語Ⅲa（読解・作文）	日本語Ⅲa（読解・作文）	日本語Ⅲb（会話）	日本語Ⅲb（会話）
昼休み					
4時間目 13:30-15:00	クリニックⅢ	華道	スペシャル漢字	日本語演習Ⅲ	書道
5時間目 15:10-16:40					

⑦　年間行事

【2016年】

8月　入国、オリエンテーション
　　プレイスメントテスト
　　ウェルカムパーティ
　　入学式（8/30）秋学期授業開始（8/31）

10月　フィードトリップ（京都）（10/26-27）

12月　秋学期授業終了（12/23）

【2017年】

1月　春学期授業開始（1/10）
　　春季休業（1/30-2/10）

5月　春学期授業終了（5/12）修了式（5/19）

⑧　指導体制

各クラス授業以外に週1回クリニックと呼ばれる時間があり、一人ひとりの学生の日本語の弱い部分を個人的に指導するようにしています。それ以外にもアポイントメントを取れば、いつでも学生の質問に答えられるようになっています。

【指導教員】

・留学生別科主任／教授　阿部美枝子

・その他　留学生別科教員　4人



クリニック

⑨　コースの修了要件

以下の3条件を満たすと修了証書が与えられます。

・留学生別科に2学期在籍すること
・各学期に14単位以上を修得し、合計28単位以上を修得すること
・各学期に修得する単位には、日本語科目を12～16単位（レベルによって異なる）含んでいること。

■宿　舎

【国際交流会館（通称：アイハウス）】

アイハウスは長久手キャンパス内に2013年秋に完成した3階建ての新しい多目的施設です。1階にはセミナー室、和室、茶室、多目的ラウンジ、調理室があり、2階、3階が留学生の生活する寮となっています。

1階は本学の全学生、教員、職員が様々な目的で利用することができます。2階、3階の寮は寮生活の安全を守るため1階部分とは常にドアで仕切られ、ドアの開閉は寮生各自のIDカードでしかできない仕組みになっています。また寮には管理人が住み、24時間寮生のサポートができるようになっています。

【居室】

留学生の居室はすべて単身室です。

[面積]　12.86㎡

[部屋数]　2階29室、3階24室

[設備]　ベッド、机・椅子、デスクランプ、冷蔵庫、エアコン、収納棚、インターネット回線（有線）、カーテン

【共同施設】

寮生の共同施設として、キッチン、リビング・ダイニング、スタディルーム（3階のみ）、ミニラウンジ、シャールーム、トイレ、ランドリー、自動販売機（1階寮エントランス）があります。各居室、スタディルームではインターネットの使用があります。

【周辺環境】

長久手キャンパス周辺には、スーパーマーケットや飲食店、衣料品店があり大変便利です。大学の正門からは名古屋市営バスが出ており、最寄りの地下鉄の駅まで15～20分、名古屋市中心部の栄までは地下鉄に乗り換えて30分で行くことができます。

【居室使用料】

居室使用料	保　証　金	居室清掃料	維持管理料	電気料
月額	入居時	退去時	月額	実費
20,000円	40,000円	5,000円	5,000円	



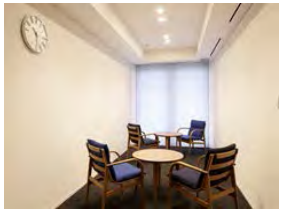
国際交流会館（外観）

■修了生へのフォローアップ

・国際交流センターで発行しているニュースレターを年2回送付しています。
・進学を希望する留学生に対して、教員、スタッフによる相談が受けられるようにしています。



キッチン



ミニラウンジ



居室

■問合せ先

愛知淑徳大学　国際交流センター
住所　〒480-1194　愛知県長久手市片平二丁目9
TEL　　+81-(0)561-63-7737（直通）
FAX　　+81-(0)561-63-7735
E-mail cjlc@asu.aasa.ac.jp

愛知淑徳大学国際交流センターホームページ
http://www.aasa.ac.jp/institution/international/index.html

愛知淑徳大学ホームページ
http://www.aasa.ac.jp/



Aichi Shukutoku University (Aichi)

Let's learn the Japanese Language that can be used with confidence

on various occasions and various purposes

■University Overview

① Features and History

Aichi Shukutoku University was established in 1975 as a women's university. In 1995, the 20th anniversary of the university, we became co-educational to respond to the demands of the changing times and diversification of society. By adapting a philosophy of "living with diversity, " we have ever since accepted students from a wide range of backgrounds irrespective of their gender, age, and nationality. There are over 9,000 students studying now. There are 9 faculties, 5 graduate schools and the Center for Japanese Language and Culture (CJLC).

The University has two campuses; Hoshigaoka Campus in Nagoya and Nagakute Campus in Nagakute. On Nagakute Campus, we have newly opened International House (I-House), residence hall for international students.



Nagakute Campus

② International Exchange (as of November 2015)
<International students> 31 (5 countries)
<Partner Universities> 16 (9 countries)

③ Numver of International students and scholarship resipients in the last years
<2015> 31 international students, 1 scholarship recipient
<2014> 35 international students, 4 scholarship recipient
<2013> 37 international students, 3 scholarship recipient

④ Unique Aspects of the Region

With a population of over 2.2 million, Nagoya offers the convenience of big cities, yet the urban area is not as congested as Tokyo or Osaka, which makes the city an ideal place to live. Nagoya is located in the heart of Japan. This geographical location o f the city provides its residents with great access to many other cities including Tokyo, Osaka, Kyoto and Nara.

■Course Outline

① Features of the Course
【Course Title】
Center for Japanese Language and Culture,
Japanese Language Course
【Features】
Founded in 1992 with a mission to provide students with knowledge of the Japanese language that can be used with confidence on various occasions and for various purposes, we keep our classes to maximum of ten students. Our teaching staff is always ready and enthusiastic to satisfy the need of each student.
We offer courses in Japanese language instruction to match students' individual levels, as well as courses in translation, international culture, and Japanese culture which places emphasis on practical experience.

We offer six levels of instruction, from Japanese Ⅰ(Beginner's level) to Japanese Ⅵ (Advanced level). There is a once-a-week language counseling hour called "language clinic" for every course, which is the time for students to get individual guidance from the instructor.

② Number of Students to be admitted
Up to 30 (3 for admission on embassy recommendation, 1 for admission on university recommendation)

③ Eligibility/Requirements
(1) The applicant must have completed twelve years of formal education and be eligible to enter university, or the equivalent.

(2) The applicant must have achieved grades of at least 75 points on a 100 point scale, or a 2.75 GPA on a 4.0 scale, at their last educational institution.

④ Course Objectives
Course objectives differ depending on the level of the class. Students are expected to acquire knowledge of Japanese and ability to use it properly during the study period, It is enough to advance to the next higher level by the end of each semester.
【Approximate level to reach】
・Japanese Ⅱ JLPT4 level
・Japanese Ⅲ JLPT3 level
・Japanese Ⅳ JLPT2 level
・Japanese Ⅴ JLPT1 level
・Japanese Ⅵ the level at which they can attend undergraduate/graduate classes without difficulty

⑤ Course Period

【Embassy Recommendation】
August 30, 2016 to May 12, 2017
【University Recommendation】
August 30, 2016 to August 4, 2017

・Course period differs from that of embassy recommendation because based on the agreement with our partner universities, students will be admitted to the undergraduate courses when qualified to be done so.
Closing Ceremony will be held on May 19, 2017.

⑥ Course Summary

1) Required Courses

・Classes of all levels meet every day from Monday through Friday.

・Classes of all levels meet in the morning for 10 (12 in case of Japanese I and Ⅱ) 50-minute periods a week; basically 4 periods for conversation and/or audio-visual comprehension and 6 periods for reading comprehension and writing, and one 90-minute period a week in the afternoon for Japanese workshop in which we try to put in use the knowledge gained in the morning classes. In addition, students from Japanese I to Ⅳ have two 50-minute periods a week for listening practices.

・There is a once-a-week language-counseling hour called “language clinic” for every course.

2) Participatory Course

Japanese Culture (Spring 2 credits)

The object of this course is to provide students with the opportunity to understand certain aspects of Japanese culture such as traditional events, matsuri (festivals), ceramic art, shrines and castles, Japanese cooking and so on.
The class will proceed by first researching and watching videos and then going out to visit places such as art museums and local festivals.

3) Elective Courses

・All classes meet in the afternoon.
・All classes meet once a week for 90 minutes.

■Special kanji Studies (Fall/Spring, 2credits)
■Translation (Fall/Spring, 2credits)
■Japanese Writing (Fall/Spring, 2credits)
■Theory of Japanese Grammar (Spring, 2credits)
■Studies of International Culture (Fall/Spring, 2credits)
■Japanese Movies (Spring, 2credits)
■Japanese Culture (Spring, 2credits)
■Shodo(Calligraphy) (Fall/Spring, 2credits)
■Kado (Flower Arrangement) (Fall/Spring, 2credits)

【Example: Fall semester (Japanese Ⅲ)】
14 Japanese language credits, 4 additional credits.

Time／Day	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1st Period 9:30-10:20		Japanese ListeningⅢ			Japanese ListeningⅢ
2nd Period 10:30-11:20	JapaneseⅢa (Reading & Writing)	JapaneseⅢa (Reading & Writing)	JapaneseⅢa (Reading & Writing)	JapaneseⅢb (Conversa-tion)	JapaneseⅢb (Conversa-tion)
3rd Period 11:30-12:20	JapaneseⅢa (Reading & Writing)	JapaneseⅢa (Reading & Writing)	JapaneseⅢa (Reading & Writing)	JapaneseⅢb (Conversa-tion)	JapaneseⅢb (Conversa-tion)
Lunch Break					
4th Period 13:30-15:00	ClinicⅢ	Flower Arrangement	Special Kanji	Japanese WorkshopⅢ	Calligraphy
5th Period 15:10-16:40					

⑦ Annual Schedule

【2016】

August Arrival in Japan, Orientation
Placement test, Welcome party
Entrance ceremony (8/30)
Fall semester start (8/31)

October Field Trip (2-day trip to Kyoto)
(10/26 to 10/27)

December Fall semester end (12/23)

【2017】

January Spring semester start (1/10)
Spring break (1/30 to 2/10)

May Spring semester end (5/12)
Closing ceremony (5/19)

⑧ Academic Guidance

As is indicated in the course outline, we provide additional individual counseling called language clinic for students once a week. Students benefit from having their own individual weaknesses assessed and improved by the instructor. In addition, students are always welcome to schedule an appointment with their instructors to ask questions.

【Academic Advisor】

Mieko ABE (Professor/ Director, Center for Japanese Language and Culture)

4 other CJLC instuctors

⑨ Requirements for Course Completion

Students receive a certificate of completion upon successfully fulfilling the requirements below.

・Completion of two semesters of study

・Earning a minimum of 28 credits with at least 14 credits earned each semester.

・Of these 14 credits mentioned above, 12-16 (depending on the student's level) per semester must be Japanese language credits.

■Housing

【International House (iHouse)】

iHouse, newly opened in 2013, is a three-story handsome looking building. Being multipurpose, iHouse contains dormitory rooms for international students on the 2nd and 3rd floors, and seminar rooms, tatami rooms, a tea ceremony room a multipurpose lounge, and a cooking studio on the 1st floor. The facilities on the 1st floor are available to all students and faculty members of the university for various purposes. The dormitory zone is separated completely for security purposes from the rest of the facilities by the door which can be opened only with the resident's ID card. To provide any necessary support for the residents there is a live-in dormitory manager staying on duty 24 hours.

【Rooms】All rooms are single rooms.

[Room size] 12.86㎡

[Number of Rooms] 29 rooms on the 2nd floor, 24 rooms on 3rd floor

[Room Facilities] Single bed frame and mattress, desk and chair, desk lamp, refrigerator, air conditioner, closet, internet connection, curtains

【Common Facilities】
iHouse's common facilities include kitchens, a living and dining room, a study room (on the 3rd floor only), mini lounges, shower rooms, toilets, a laundry room on each floor and a vending machine in the entrance hall. Internet is available in each room and study room.

【iHouse Surroundings】
iHouse is located in a convenient area with supermarkets, restaurants and clothing stores all within walking distance. When students go to Sakae, the center of Nagoya, they can take a city bus right at the front gate of Nagakute Campus. Within 15-20 minutes, it will take you to the nearest subway station. It takes another 30 minutes to Sake by subway.

【Costs】

Room Charge	Security Deposit	Cleaning Charge	Maintenance Fee	Electricity Charge
¥20,000 /month	¥40,000 When moving in	¥5,000 When moving out	¥5,000 /month	Actual cost



iHouse

■Follow-up services for former students

・The Center for International Programs sends out its newsletter to former students twice a year.
・We provide counseling for students who wish to continue their study at a higher educational institution in Japan.



iHouse kitchen



iHouse mini lounge



iHouse room

■Contact Information

Aichi Shukutoku University
Address 2—9 Katahira, Nagakute city, Aichi JAPAN 480-1197

TEL - +81-(0)561-63-7737
FAX +81-(0)561-63-7735
E-mail cjlc@asu.aasa.ac.jp

Center for International Programs
http://www.aasa.ac.jp/institution/international/index.html

Aichi Shukutoku University
http://www.aasa.ac.jp/



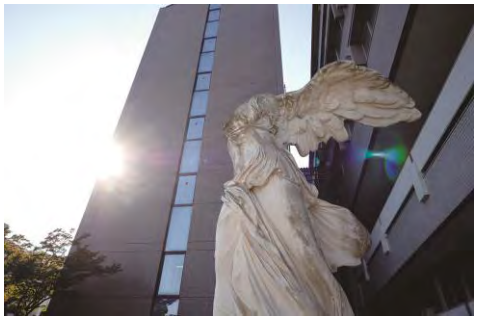
京都外国語大学 （京都府）

歴史都市・京都で日本語と日本文化を学ぶ留学生のためのコース

■大学紹介

① 大学の特色および概要

PAX MUNDI PER LINGUAS ー言語を通して世界の平和をー
本学が京都外国語学校として創立された1947年（昭和22年）5月、終戦後間もないこの当時に何よりも求められたものは世界の平和であり、その基盤としての国際的理解でした。そして、この国際的理解を図るための外国語をマスターし、その文化・経済・社会に熟知した人材の育成は急務でした。
本学の建学の精神である“PAX MUNDI PER LINGUAS”（言語を通して世界の平和を）とは、世界平和達成への創立者の強い願いが込められており、創立以来、「不撓不屈」を教育・研究の基本精神としているのは、外国語を専攻する者にとって不断の努力が何よりも重要だからです。





② 国際交流の実績

31カ国　224大学

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数129人　日本文化研修留学生：5人　大学推薦：1人
2014年：留学生数78人　日本文化研修留学生：5人　大学推薦：1人
2013年：留学生数93人　日本文化研修留学生：4人　大学推薦：1人

④ 地域の特色

京都は日本の文化・伝統の中心地であるだけでなく、常に多くの旅行者や外国人留学生を受け入れ、国際会議などが開かれる国際的な都市です。日本文化の伝統的かつ近代的な要素を取り入れ、世界各国と強い繋がりを持つかつて首都であった京都は、世界の言語、文化を学ぶには最適の環境と言えるでしょう。

■コースの概要　留学生別科

国費外国人留学生も、留学生別科の授業を受講します。

① コースの特色

世界の人々が憧れる京都で日本語と日本文化を学ぶ、留学生のためのコース。

世界各国から集まる留学生を対象に、5段階のレベルに応じたクラスできめ細やかな日本語指導を展開する留学生別科。
研修旅行や多彩なイベントのほか、学内外での日本人学生との交流や、留学生同士の多文化交流も盛んに行われ、留学生たちは全身で日本を感じて楽しみながら、日本語能力の向上に励んでいます。

② 受入定員
50名（大使館推薦5名・大学推薦1名を含む）

③　受講希望者の資格、条件等

外国籍を有し、18歳以上の者で、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者で、かつ、その教育機関所在国の大学入学資格を有する者

④　達成目標

本学または他の日本の大学に入学を希望する外国人、国際交流協定大学が本学に派遣する留学生を対象に設けられた1年の課程で、これらの学生に対して日本語を教授し、併せて日本事情に関する理解を深めさせることを目的としています。

⑤　研修期間
2016年9月20日　～　2017年9月19日
オリエンテーションは9月初旬
修了式は7月を予定（2015年は7月25日）



⑥　研修科目の概要

1）基礎日本語（必須科目）

基礎日本語のクラスは、プレースメントテストおよび面接（4月・9月）の結果によって、レベル１～５にクラス分けを行います。この指示されたクラスのもとに、春学期10単位、秋学期10単位、合計20単位を修得しなければなりません。

2）　見学、地域交流等の参加型科目

秋学期研修旅行（1日）・春学期研修旅行（1泊2日）
施設見学、フィールドワークをとおして日本文化研修を行います。

京都三大祭（葵祭、祇園祭、時代祭）
伝統を誇る京都の三大祭のうち、祇園祭と時代祭を授業の一環として見学します。

3）　その他の講義、選択科目等

選択科目
春学期・秋学期を通じて10単位以上を修得しなければなりません。修了後の進路や目的によって選択する科目が異なりますので、登録前にクラス担任の先生に相談して登録科目を決めます。

学部聴講
留学生別科の選択科目以外に京都外国語大学（学部聴講）のクラスを受講することができます。

プロジェクト科目
国際社会で活動するグローバルな人材の育成を目的とし、留学生と日本人学生と協働して実践する科目です。
「模擬国連コース」「日本の文化研究」「日本のモノづくり研究」など

⑦　年間行事

９月	オリエンテーション
	プレースメントテスト
	秋学期授業開始
10月	秋学期研修旅行
	時代祭見学
11月	外大祭
12月	冬季休暇開始
１月	冬季休暇終了
	秋学期授業終了
４月	オリエンテーション
	プレースメントテスト
	春学期授業開始
	新入生歓迎ｽﾎﾟｰﾂﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ
５月	春学期研修旅行
６月	六月祭
７月	祇園祭見学
	春学期授業終了
	修了式

⑧　指導体制

学業面の指導は、必修科目クラスのコーディネーターを務める専任教員(6名)が主になり、非常勤講師（23名）が全ての学生に対し行います。
また、生活面の指導は、留学生担当職員と専任教員が行います。

⑨　コースの修了要件、修了証書の発行

1年間に30単位以上（１学期に15単位以上）修得した者に対し、修了証書を授与します。



■宿　舎

京都外国語大学が寮またはワンルームマンションを手配します。（場所はKUFSが決めます。）すべての宿舎は家具付きのシングルルームです。ホームステイの手配はしていません。



■修了生へのフォローアップ

修了後のフォローアップとして、留学生担当職員と専任教員が、次のことを適宜行います。
１．修了後の進路指導
２．修了生に関する情報収集
３．就職希望者への情報提供



■問い合わせ先

京都外国語大学　国際部

〒615-8558
京都市右京区西院笠目町６

TEL: 075-322-6043
FAX: 075-322-6243
Email: oips@kufs.ac.jp
URL: http://www.kufs.ac.jp
日研生コースガイド：
http://www.kufs.ac.jp/view/data/japanese_os/courseguide.pdf#page=4



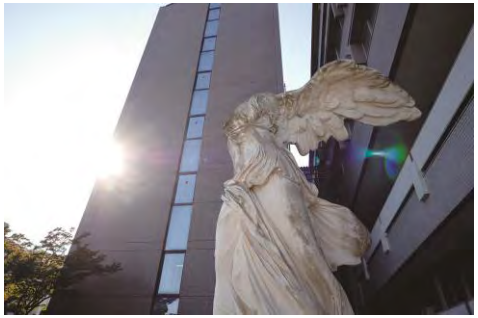
Kyoto University of Foreign Studies

Studying Japanese and Japanese Culture in Historical City, Kyoto

■Introduction

① PAX MUNDI PER LINGUAS
–World Peace through Languages–

Our university was originally established under the name Kyoto School of Foreign Languages in May of 1947. It was soon after World War Ⅱ, when a great demand had arisen for an international understanding which would lead to world peace. One of the urgent requirements to accomplish this goal was to develop young Japanese men and women who could not only master foreign languages, but understand cultures, economies and societies of the world.
The motto of our university, "PAX MUNDI PER LINGUAS (World Peace through Languages)" has represented the founders ' strong wish for achieving world peace. In addition to the Latin motto, the importance of "an indomitable spirit" has also been emphasized and valued as a primary basis for education and research, because that is what the founders believed to be an essential quality for students of foreign languages to possess.





② Number of Partner Universities

31 countries, 224 partner universities

③ Number of Overseas Students

2015: 129 Students, MEXT Scholarship through embassies:5 through university: 1
2014: 78 Students, MEXT Scholarship through embassies:5 through university: 1
2013: 93 Students, MEXT Scholarship through embassies: 4 through university: 1

④ The Feature of Kyoto

Kyoto is not only a center of the Japanese culture and tradition but also an international city which accepts a great many travelers, foreign students and international conferences. Having both traditional and modern aspects gleaned from the Japanese culture and maintaining close relations with the rest of the world, this former capital offers you a perfect environment in which to study languages and cultures of the world.

■Course in Japanese Studies for Overseas Student

Japanese Government (MEXT) Scholarship students register classes from this course.

① On the Course

This is a one–year training course in Japanese Studies for foreign students who are studying Japanese for the first time, or who do not have sufficient Japanese skill and knowledge. More than 70 overseas students including exchange students from partner universities, study in this course to master basic skills and gain knowledge about Japanese and Japan.

② Number of Students to be Admitted

50 students (including 5 MEXT Scholarship students through embassy and 1 through university)

③ Application Qualification

Those 18 years old or older with foreign nationality, who have completed 12 or more years of formal education in their country, and, who are qualified to enter university in the said country are eligible.

④ Aims

This is a one-year course designed for overseas students who wish to study at a Japanese university and for exchange students from our partner universities abroad. This course aims at improving the Japanese language skill and deepening the understanding of the country.

⑤ Course Period

September 20,2016 (Orientation is the beginning of September) – September 19,2017
(Completion Ceremony in the end of July , July 25,2015 for the 2015-16 ceremony)



⑥ Subjects

1) Required Subjects

Through a placement test and interview (implement in April and September), student will be placed into one of the five levels of Basic Japanese. In order to complete the course, the student is required to take 10 credits in Spring semester and 10 credits in Fall semester, altogether 20 credits in one year.

2) Study Tours and Field Trips

Autumn and Spring Semester Study Tour
Get to know more about Japanese Culture through field trips to local facilities and fieldwork.

Three Traditional Festivals in Kyoto (Aoi Matsuri, Gion Matsuri, Jidai Matsuri) Among these three famous Kyoto festivals, field trips to Gion Matsuri and Jidai Matsuri are part of the course.

3) Others

Elective Subjects
The student is required to take more than 10 credits throughout the Spring and Fall semester and is required to consult with class instructors before completing the registration.

Subjects of the faculty
Besides the subjects of the Course in Japanese Studies for Overseas Students, student can also take subjects of the faculty to complete the credits for Elective Subjects.

Project-Based Leaning Subjects
These subjects for both Japanese and international students. The aim of these subjects to develop the global human resources who can act in international environment.
e.g."Model United Nations Conference Course", "Exploring Japanese Culture and Experiencing Cross-Cultural Communication", "The Japanese traditional industries and the development of their products for non-Japanese customers"

⑦ Annual Schedule

September
Orientation
Placement test
Fall semester classes begin
October
Autumn field trip
Visit Jidai-matsuri Festival
November
Gaidai Festival
December
Winter vacation begins
January
Winter vacation ends
Fall semester classes end

April
Orientation
Placement test
Spring semester classes begin
Sports festival
May
Spring field trip
June
June Festival
July
Visit Gion-matsuri Festival
Spring semester classes end
Completion ceremony

⑧ Instruction and Counseling

Academic counseling is provided for all students by six full time teachers who coordinate the compulsory courses and 23 part time teachers. Non-academic counseling is provided mainly by stuff in charge of international students and full time teachers.

⑨ Requirements for Completion

A Certificate of completion will be awarded to all full-time students successfully completing 30 credits in a year (15 credits per semester).



■Accommodation Arrangement by KUFS

Kyoto University of Foreign Studies arranges every student a dormitory or apartment room. (The location will be decided by KUFS.) All rooms organized by KUFS are furnished single rooms. Please note that there is no Homestay arrangement via KUFS.



■Follow-up to Completion Students

Full time teachers and stuff in charge of international students take care of the following work for graduates.
1. Academic counseling
2. Gathering follow-up information about graduates
3. Career counseling



■Contact Detail

Division of International Affairs

Kyoto University of Foreign Studies
6 Kasame-cho Saiin Ukyo-ku KYOTO
615-8558 JAPAN
Phone: +81 75 322 6043
Fax: +81 75 322 6243
Email: oips@kufs.ac.jp
URL: http://www.kufs.ac.jp
MEXT Scholarship:
http://www.kufs.ac.jp/view/data/japanese_os/coursguide.pdf#page=4



同志社大学（京都府）

知の国際化拠点・同志社大学　－ 千年の都、京都で「志」を育む －

■大学紹介

①大学の特色および概要



同志社大学のある京都は日本列島のほぼ中心に位置しています。794年、京都は日本の首都に定められ、東京が首都になるまで、約1100年間、日本の政治の中心であり、歴史・文化の中心でした。古い史跡や町並み、文化などが数多く存在することから、日本で有数の国際観光文化都市として知られ国内外から多くの旅行者が訪れます。京都は伝統的な都市という魅力だけではなく、先端技術を持つ企業をはじめ、業界トップクラスの企業が集まるなど現在の日本の産業を支えている地域の一つでもあります。



［今出川キャンパス］



［京田辺キャンパス］

＜新島襄の教育理念＞

同志社大学の建学の精神は「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」の三つの柱からなっています。1875年、同志社は日本で最初のキリスト教主義の学校として、新島襄によって創設されました。新島は世界のあらゆる青年が真理を求めて自由に生き生きと学び、語り合い、友情の絆を作り上げる場として同志社を位置づけました。その精神は今日においても本学に脈々と受け継がれ、現在の国際交流ネットワークを築いています。

②国際交流の実績

同志社大学は、人文科学系、社会科学系、理工系、スポーツ・健康科学系まで幅広い分野の14学部16研究科及び、日本語・日本文化教育センターを有する総合大学となり、学生数約30000名のうち約1400名を世界各国からの留学生が占め、海外との交流もますます広がりをみせています。

＜大学間協定数＞

４２ヶ国　１７５大学　　（2015年11月現在）

③留学生数と日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

年度	2013	2014	2015
留学生	1292名	1370名	1436名
日研生	19名	29名	24名

日本語・日本文化教育センター（以下：日文センター）は、「外国人留学生」の受入れから、日本語及び日本事情や日本文化に関する充実した科目の設置・提供による教育支援や生活支援、短期プログラムの実施等、本学の「海外からの受入れ」に関わるあらゆる業務を担っています。

④古都・京都の特色を生かした科目

今出川キャンパスは、京都御所の目の前という京都の中心に位置しています。日本事情科目・国際事情科目では、生け花や茶の湯、書道、座禅、金箔工芸実習、祭りや寺社・博物館などへの学外見学など、体験型の授業が、多数提供されています。





1200年の歴史と伝統を誇る古都・京都の地の利を生かし、日本の伝統文化を本質的に理解することができる魅力的な科目を多数提供します。

■コースの概要

①コースの特色

◆充実した日本語科目群
受験対策から文化理解まで幅広い学びを実践

◆一人ひとりの実力に応じて学べる９段階別クラス編成

日本語・日本文化研修プログラムは、日本語・日本文化研修留学生（以下：日研生）が日本語能力を向上させ、併せて日本事情や日本文化に関する理解を深められることを目的として、日文センターの設置するカリキュラムを日研生に提供します。日研生は、日文センター提供の全てのカリキュラムの履修と本学施設の利用が可能です。

(1) 日研生は原則として日本語学習を主目的とする学生を対象とした《集中コース》で日本語（186科目）を学びます。入学者の日本語能力にはかなりの差があり、同じクラスで授業を行うと、学習に無理が生じるため一人ひとりの能力により9段階に分け、きめ細やかで丁寧な指導が可能となるよう配慮しています。さらに日本語能力試験と日本留学試験に主眼をおいた演習科目（9科目）も提供します。

(2) 日本語を中心とした多言語による日本の文化や社会に関する日本事情科目（31科目）は、日本の言語・芸術・思想・宗教・法・政治・歴史・社会・生活と文化ならびに、異文化コミュニケーションなどに関する科目を設置しています。さらに、国際的な観点による国際事情科目（7科目）を提供します。

(3) 授業や学外実習を通じて、習字や生け花、茶の湯や神社の祭礼など、歴史と文化の中心である京都の地の利を生かした様々な日本の伝統文化を学ぶ機会も提供します。

②受入定員　３０名
（大使館推薦 29名　大学推薦 1名）

③資格・条件　無し

④研修期間　2016年9月15日～2017年8月31日

CJLC 同志社大学 日本語・日本文化教育センター
Doshisha University Center for Japanese Language and Culture



⑤研修科目の概要と達成目標

1)必修科目
(1)日本語科目
2)選択科目
(2)日本語演習科目
(3)日本事情科目･･･体験、見学など参加型科目含む
(4)国際事情科目
(5)学部・研究科科目

(1)日本語科目　20単位（600時間）
（1科目1単位 30時間×10科目）×2ｾﾒｽﾀｰ）

各学習段階とも、「読む」・「聞く」・「話す」・「書く」の4技能を総合的に修得する科目と、『読解』・『語彙』・『文章表現』・『口頭表現』の技能別科目から構成されています。

＜文型・基礎語彙・基礎漢字の習得目標＞

レベル	学習段階	文型の定着	基礎語彙	基礎漢字
Ⅰ	初級前期	初級の基本的な文法	1500 語	300 字
Ⅱ	初級後期	初級前半の定着 初級後半～中級の文法	2000 語	500 字
Ⅲ	初中級	初級の文法事項の定着 中級の重要文型 約50	3000 語	600-750 字
Ⅳ	中級前期	中級の重要文型 約100	4000 語	800 字
Ⅴ	中級後期	中級の重要文型 約200	6000 語	1000-1200 字
Ⅵ	中上級	中級の重要文型 約200 上級の重要文型 約50	8000 語	1500 字
Ⅶ	上級前期	中級の重要文型 約200 上級の重要文型 約100	10000 語	2000 字
Ⅷ	上級後期	上級の重要文型 約100 高度な日本語の習得と運用力を養成する	10000 語	2000 字
Ⅸ	超上級	より高度な日本語の習得と運用力の養成を目指す。		

※学習段階は入学した学期始めに行うプレースメントテスト（筆記・面接）によって決定します。

(2)日本語演習科目　1科目 30時間（1単位）×選択数

主として日本語能力別に日本語能力試験や日本留学試験等に備えた演習を行います。

科目名	学習段階／目的	日本語レベル
日本語総合演習Ａ	日本語初級	Ⅰ-Ⅱ
日本語総合演習Ｂ	日本語能力試験3級	Ⅲ-Ⅴ
日本語総合演習Ｃ	日本語能力試験2級	Ⅳ-Ⅵ
日本語総合演習Ｄ	日本語能力試験1級	Ⅴ以上
日本語総合演習Ｅ	日本留学試験	Ⅴ以上
中級日本語文法概説Ａ/Ｂ	中級レベルの日本語文法	Ⅳ-Ⅵ
上級日本語文法概説Ａ/Ｂ	上級レベルの日本語文法	Ⅵ以上

(4)国際事情科目　1科目 30時間（2単位）×選択数

宗教・歴史・ビジネス・メディアなど多様な分野を国際的な観点からとらえた専門性の高い内容の科目です。

科目名	科目名
世界の歴史１/２	国際比較文化論
国際比較メディア論	国際ビジネスＡ/Ｂ/Ｃ

(5)学部・研究科科目

十分な日本語能力があると判断された場合には、学部・研究科の開講科目を履修することができます。

(3)日本事情科目　1科目 30時間（2単位）×選択数

芸術・哲学・宗教・法律・政治・経済・歴史など幅広く日本の生活や社会について学ぶことができます。茶道や華道の実習や能楽など古典芸能の見学を通して日本の伝統や文化を学ぶことは、日本を理解する上で大きく役立つ体験となります。

科目名	科目名
日本の文学Ａ/Ｂ	日本の思想･宗教１/２/Ａ
日本の法と政治	日本の企業と経営Ａ/Ｂ
日本の歴史1/2	日本の文化１/２
日本の社会1/2	日本の教育
日本の芸術１/２	日本の伝統と人間形成
比較文化論Ａ/Ｂ	日本とアジア１/２
日本の現代芸術 -マンガ･アニメの歴史と特質-	
異文化間コミュニケーションＡ/Ｂ/Ｃ/Ｄ	
日本の文化特講Ａ/Ｂ/Ｃ	
日本の伝統と美 -いけばなの語るもの-	
日本の伝統と文化 -日本人の見た花の美しさ-	
日本の伝統と芸能 -雅楽-	
日本の伝統と能楽 -能楽を通してみる日本の伝統文化-	
日本の伝統と芸術 -日本美の位相-	

(1)日本語科目および(3)日本事情科目「日本の伝統と芸術」「日本の伝統と美」の授業風景　↓





⑥年間行事・学年暦

【秋学期】　（9月15日～ 3月31日）

9月中旬	日本語プレースメントテスト
9月30日	入学式
10月 1日	講義開始
11月26～28日	学園祭
12月29日～1月5日	冬期休暇
1月下旬	期末試験
2月中旬～	春期休暇

【春学期】　（4月1日～8月31日）

4月7日	講義開始
7月下旬	期末試験
8月下旬	修了式



［同志社大学　今出川キャンパス］

⑦指導体制

日研生は、日本語・日本文化教育センターに所属します。
日本語指導にあたるのは、海外や他の教育機関において豊富な日本語教育の経験を持つ、日本語教育学・日本語学・言語学専門のエキスパートです。

＜指導教員＞
日本語・日本文化教育センター　専任教員　10名
嘱託講師　53名

⑧コースの修了要件

研修期間を終了した日研生には、修了時に期間修了書「学修証」を授与します。
修了要件は定めていません。

⑨日本人学生との交流



日研生は、学内の施設を利用することができます。「国際交流ラウンジ」や食堂では日本人学生と活発に交流がされています。日本語の勉強、スキルアップ、日本人の友達作りにもお勧めです。
自主的な学習施設「ラーニング・コモンズ」では、日本人学生と気軽にコミュニケーションができる環境を提供します。
http://www.doshisha.ac.jp/research/lc/lc.html

サークル活動も盛んで、参加可能なクラブやサークルがたくさんあります。
http://www.doshisha.ac.jp/student_life/s_support/club.html

また、さまざまな交流イベントも開催しています。
http://www.doshisha.ac.jp/international/communication/event.html



1.International Day
日本人学生と外国人学生との交流会です。

2.Culture Day
毎回一ヶ国を取り上げ、その国の文化をピックアップして紹介し、話し合い、各国の文化を通して交流するイベントです。

3. Christmas Gathering
各国のクリスマスを通して、日本人学生と留学生が交流し親睦を深めるイベントです。

4. SIED企画イベント
SIED:(シード＝Student Staff for Intercultural Events at Doshisha)とは学生が主体となり国際交流イベントを企画・実施する組織で日本人学生と外国人学生の国際交流イベントを多数、企画・開催しています。



■ 留学生宿舎



同志社大学には留学生のためにいくつかの宿舎があり、日研生はコース期間中、同志社大学の留学生用宿舎に入居できます。留学生用宿舎は、同じ留学生が一緒に暮らしているので、日本での生活の情報交換や助け合うことができ安心感もあります。また、一般的に日本で住宅を借りる場合に必要な、保証人・仲介手数料・敷金・礼金などが不要なので、初期費用は入寮費のみです。

■ フォローアップ



留学生の修学及び生活に関する助言・相談にあたるため、留学生ピアサポーター制度を置いています。学部・大学院の正規学生がサポーターとなり、修学や生活に関する助言・相談、母国と異なる社会制度理解の支援を行います。
また、本学のキャリアセンターでは、留学生への就職情報提供やサポート・アドバイスなどを行っています。
http://career-center.doshisha.ac.jp

■ 問い合わせ先

同志社大学　日本語・日本文化教育センター

ホームページ　http://cjlc.doshisha.ac.jp

住所：〒602-8580
京都市上京区今出川通烏丸東入
同志社大学　弘風館5階
【TEL】+81-75-251-3240
【FAX】+81-75-251-3242
【E-mail】 ji-nbn@mail.doshisha.ac.jp

開室時間：月曜日～金曜日
9：00～11：30／12：30～17：00

同志社大学ホームページ
http://www.doshisha.ac.jp



Doshisha University (Kyoto)

Doshisha University as an Attractive International Base of Knowledge
– in Kyoto, the Ancient Capital of 1000 Years –

■ University Overview

University Characteristics

Kyoto, where Doshisha University is located, is in the central part of the island of Honshu (500km from Tokyo). The beautiful city was the capital of Japan and the residence of the Emperor for over a thousand years, from 794 until the Meiji Restoration in 1868 when the capital was moved to Tokyo. Also known as "the cultural heart of Japan", with temples, shrines and traditional wooden houses, the cultural and historical heritages attract many tourists from all over the world. The city is also home to the headquarters of world famous companies leading Japanese industries, such as Nintendo and Kyocera.





[Imadegawa Campus]



[Kyotanabe Campus]

The Vision of Joseph Hardy Neesima

Doshisha's founding spirit consists of three main principles: Christianity, Liberalism and Internationalism. Doshisha was founded by Joseph Hardy Neesima in 1875 as the first Japanese school advocating the teaching of Christianity. He founded the school to make it a place for young people from all parts of the world to seek truth, pursue knowledge and independence, and nurture lifelong friendship. Doshisha highly values the presence of international students as they bring international viewpoints and diversity to the campus and thereby enrich the university culture. We are eager to welcome and support international students.

International Exchange & Number of Foreign Students

Doshisha University has grown to be one of the major universities in Japan, with 14 Faculties, 16 Graduate Schools, and Center for Japanese Language and Culture (CJLC). Doshisha currently enrols nearly 30,000 students, including over 1400 international students from around the world.

< Number of Overseas Partner Institutions >

42 countries, 175 universities (as of November 2015)

< Number of Foreign Students >

	2013	2014	2015
International students	1292	1370	1436
Japanese Studies students	19	29	24

CJLC is in charge of various affairs related to our "international inbound programs", from acceptance of international students to educational support with a rich variety of subjects, daily life support, and short-term programs.

Experiencing Japanese culture in the heart of Kyoto

The Center for Japanese Language and Culture is located on the Imadegawa Campus just to the north of the Kyoto Imperial Palace in the heart of Kyoto. Lecture courses in Japanese Studies and International Studies offer experience-based classes including Flower arrangement, Tea ceremony, Calligraphy, Zazen meditation, Gold leaf craftwork, and visits to festivals, temples and museums. These classes enable students to understand the nature of Japanese traditional culture by virtue of our great location in the ancient capital Kyoto, with a history and tradition of 1200 years.



■ Course Outline

1.Course Features

- **Well-developed Japanese Language Courses**
  A wide range of learning in practice from preparation for examinations to understanding of Japanese culture
- **Courses at nine different proficiency levels to meet each student's ability and need**

Our Japanese Studies program enables students to deepen their understanding of Japanese language and culture. They can take all courses offered by CJLC and also use the same facilities as regular students.

(1) Students usually take the Intensive Program which is designed for students learning the Japanese language (186 subjects). To provide specific advice for each student, Japanese courses are divided into nine different levels according to each student's Japanese ability. The program also enables students to prepare for the "Japanese Language Proficiency Test (JLPT)" and the "Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU)".

(2) CJLC offers over 30 courses in Japanese Studies to help students study and analyze Japan through the language, arts, philosophy, religion, law and politics, history, society, life and culture, and cross-cultural communication. In addition, courses in International Studies deal with studies related to the world outside Japan.

(3) We also offer hands on classes including Calligraphy, Flower arrangement, Tea ceremony, and visits to festivals, temples and shrines by virtue of our great location in Kyoto, the heart of Japanese history and culture.

2. Number of students to be accepted: 30

Embassy Recommendation: 29
University Recommendation: 1

3. Entrance Qualification: None

4. Duration of Course: Sep. 15, 2016 – Aug. 31, 2017

CJLC 同志社大学 日本語・日本文化教育センター
Doshisha University Center for Japanese Language and Culture



5. Course Descriptions

Compulsory subjects :

1) Japanese Language Courses

Elective subjects :

2) Japanese Seminars
3) Courses in Japanese Studies
4) Courses in International Studies
5) Undergraduate/Graduate Courses

1) Japanese Language Courses

20-credits (600-hours)
(30-hours (1-credit) /subject x 10-subjects x 2-semesters)

These courses are designed to develop students' four basic skills of listening, speaking, reading and writing comprehensively. CJLC also offers courses which specifically emphasize reading comprehension, vocabulary, written expressions and oral expressions.

＜ Learning goals＞

Level	Important Sentence Patterns	Basic Words	Chinese Characters
Ⅰ	Fundamental grammatical expressions	1500	300
Ⅱ	Upper Elementary – intermediate level sentence patterns	2000	500
Ⅲ	50 intermediate-level important sentence patterns	3000	600-750
Ⅳ	100 intermediate-level important sentence patterns	4000	800
Ⅴ	200 intermediate-level important sentence patterns	6000	1000-1200
Ⅵ	200 intermediate-level important sentence patterns 50 advanced-level important sentence patterns	8000	1500
Ⅶ	200 intermediate-level important sentence patterns 100 advanced-level important sentence patterns	10000	2000
Ⅷ	100 advanced-level important sentence patterns	10000	2000
Ⅸ	To acquire a high-level proficiency in Japanese. To be able to participate in discussions with Japanese native speakers.		

*Class allocations will be made on the basis of a placement test (written/oral) after arrival.

2) Japanese Seminars

30-hours (1-credit) /subject x number of subject

These are designed to help students to prepare for the "Japanese Language Proficiency Test (JLPT)" and the "Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU)".

Subject	Level/Goal	Japanese Level
Japanese Language Seminar A	Elementary Level	Ⅰ-Ⅱ
Japanese Language Seminar B	Japanese Language Proficiency Test (N3), Intermediate	Ⅲ-Ⅴ
Japanese Language Seminar C	Japanese Language Proficiency Test (N2), Upper Intermediate	Ⅳ-Ⅵ
Japanese Language Seminar D	Japanese Language Proficiency Test (N1), Advanced	Ⅴ or more
Japanese Language Seminar E	Examination for Japanese University Admission for International Students	Ⅴ or more
Intermediate Japanese Grammar Overview A/B	Intermediate Level	Ⅳ-Ⅵ
Advanced Japanese Grammar Overview A/B	Advanced Level	Ⅵ or more

4) Courses in International Studies

30-hours (2-credits) x number of subject

These courses cover a wide range of academic fields including religion, history, business and media from a global perspective.

Subject
History of the World 1/2
Comparative Studies of International Cultures
Comparative Studies of International Media
International Business A/B/C

5) Undergraduate / Graduate Courses

Students who have achieved an appropriate Japanese level defined according to the result of a placement test are allowed to register for undergraduate/graduate courses.

3) Courses in Japanese Studies

30-hours (2-credits) /subject x number of subject

These courses deal with a wide range of topics including Japanese life, society, arts, philosophy, religion, law, politics, economy, and history.
Experiencing traditional arts such as tea ceremony, flower arrangement, or Noh play allows students to have a greater understanding of Japan.

Subject	Subject
Introduction to Japanese Literature A/B	Japanese Philosophy and Religion 1/2/A
Law and Politics in Japan	Business and Management Studies in Japan A/B
Japanese History 1/2	Japanese Culture 1/2
Japanese Society 1/2	Education in Japan
Arts in Japan 1/2	The Tradition and Personality in Japan
Comparative Studies of Cultures A/B	Japan and Asia 1/2
Contemporary Arts in Japan – Manga and Anime in Japan –	
Intercultural Communication A/B/C/D	
Special Topics in Japanese Culture A/B/C	
The Tradition and Beauty of Japan – The Way of Ikebana –	
The Tradition and Culture of Japan – Japanese Traditional Culture–	
The Tradition and Performing Arts of Japan –Gagaku –	
The Japanese Tradition of Noh Play	
The Tradition and Art of Japan – The Topology of Japanese Beauty –	





6. Academic Calendar

＊Fall Semester (September 15 – March 31)

Mid September	Japanese Placement Test
September 30	Entrance Ceremony
October 1	Classes begin
November 26–28	University Festival
December 29– January 5	Winter Recess
Late January	Final Examinations
Mid February	Spring Recess

＊Spring Semester (April 1 – August 31)

April 7	Classes begin
Late July	Final Examinations
Late August	Closing Ceremony



7. Affiliation / Faculty

Students are registered at the Center for Japanese Language and Culture.
The faculty members of the CJLC are experts in teaching Japanese as a foreign language, Japanese linguistics and general linguistics, with a wealth of experience in teaching Japanese at domestic and foreign educational institutions.

Teaching Staff

(Center for Japanese Language and Culture)
The number of faculty members: 10
The number of instructors: 53

8. Certificate of Completion

Students who have successfully completed their study period are given a certificate of the completion.
We do not specify the requirements for completion.



9. Communication with Japanese Students

Students are entitled to use the same facilities as regular students. The "International Community Lounge" offers students excellent opportunities to deepen friendships with local students.



The "Learning Commons", the newly established self-learning Facility equipped with a Japanese/English writing center, provides a positive environment where international and local students can get to know each other.
http://www.doshisha.ac.jp/research/lc/lc.html

Getting involved with a club or student group is one of the best ways to meet local students with the same interests.
http://www.doshisha.ac.jp/student_life/s_support/club.html

Also, there are a variety of international exchange events on campus.
http://www.doshisha.ac.jp/en/international/communication/event.html

1. International Day

This informal event serves as an excellent medium for international exchange between students.

2. Culture Day



This event aims to give all students opportunities to casually discuss different cultures which they do not have much chance to experience and understand in everyday life, and develop links of international friendship.

3. Christmas Gathering

This party celebrates Christmas around the world, encouraging exchange among international and local students.

4. SIED



SIED (Student Staff for Intercultural Events at Doshisha) is a student organization. SIED has a mission to establish international exchanges between local students and international students at Doshisha University.

■ Accommodations

We will provide accommodations to the Japanese Studies students. In a dorm, students can easily make friends, exchange information on school life and Japanese life, and feel at home.
Entrance fee and monthly rent will be required, but neither guarantor nor other initial costs such as agent charge, security deposit, key money etc. are needed if living in a dorm.



■ Follow - up

Peer Supporters serve to give advice to and answer questions from international students. They are Doshisha's undergraduate/graduate students, and help international students.
The Career Center provides employment information, support and advice to international students.

http://career-center.doshisha.ac.jp



■ Contact

Doshisha University
Center for Japanese Language and Culture

URL http://cjlc.doshisha.ac.jp
TEL : +81-75-251-3240
FAX : +81-75-251-3242
E-mail: ji-nbn@mail.doshisha.ac.jp
Address: Doshisha University
5th Floor Kofukan
Karasuma-Higashi-iru Imadegawa-dori
Kamigyo-ku Kyoto, 602-8580 JAPAN
Office Hours:
9:00-11:30／12:30-17:00 (Monday - Friday)

Doshisha University URL http://www.doshisha.ac.jp



立命館大学 （京都府）

RITSUMEIKAN

Study in Kyoto Program (SKP)　古都京都で学ぶ日本語と日本伝統芸術文化

■ 大学紹介

①大学の特色および概要

立命館について

立命館は、近代日本の代表的な政治家で国際人であった学祖・西園寺公望が、1869年、20歳の若さで私塾「立命館」を京都御苑に創設したことに始まります。西園寺は、「自由主義」と「国際主義」を標榜し、日本が世界の一員として十全な役割を発揮することを生涯の課題としました。

1900年、この精神を引き継ぎ、文部大臣時代の西園寺の秘書であった中川小十郎が、勤労者のための夜学校「京都法政学校」を開きました。1913年には、西園寺の許諾を得て「私立立命館大学」と改称。戦後は、末川博を総長に迎え憲法と教育基本法に基づく「平和と民主主義」を教学理念として掲げました。

今日の立命館は、京都、滋賀、大阪、大分、北海道にキャンパスをもち、2大学、4附属高等学校、4附属中学校、1附属小学校、学生・生徒・児童総数約4万8千人を擁する、個性と国際性の豊かな総合学園となりました。立命館大学には創立以来の卒業生は、立命館大学約34万人、立命館アジア太平洋大学約1万人を数えます。

立命館は確かな学力の上に、豊かな創造性と個性を花開かせ、正義と倫理を持った地球市民として活躍できる優れた人材の養成に努めていきます。

②国際交流の実績

立命館学園では、大学教育の国際化を積極的に推進しています。2009年7月には文部科学省による国際化拠点整備事業（大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業）に、2014年9月にはスーパーグローバル大学創成支援事業に立命館大学が採択されました。また、立命館アジア太平洋大学(APU)の経験を活かしつつ、国際的に活躍できる人材を養成する国際化拠点を目指しています。2014年5月現在、世界62ヶ国･地域、421の大学･機関と協定しています。

③過去3年間の留学生受入数及び日本語･日本文化研修留学生の受入れ実績(大学院生含む)

(2014年5月現在)

2015年：留学生数 1,571人（61ヶ国･地域）
　　日本語･日本文化研修留学生 10人
2014年：留学生数 1,405人（51ヶ国･地域）
　　日本語･日本文化研修留学生 13人
2013年：留学生数 1,355人（55ヶ国･地域）
　　日本語･日本文化研修留学生 5人

④衣笠キャンパス（京都）の特色

京都市の北西部に位置し、世界遺産である金閣寺や龍安寺から徒歩圏内にある衣笠キャンパスは伝統と現代が調和した京都を学ぶのに最適な場所にあります。1万5千人以上の学生が学ぶ文科系キャンパスで、いつも活気にあふれています。



■ コースの概要

皆さんが学ぶ「Study in Kyoto Program (SKP)」は、日本語と日本の伝統芸術文化をバランスよく学べる半年間あるいは1年間のプログラムです。SKPにはで日本語を集中的に学ぶ「IJLトラック」と、英語で学ぶ2つのトラックがあります。3トラック合計で、毎年約200人の学生が学んでいます。

①コースの特色

京都で日本語を集中的に学ぶSKP「IJLトラック」

1988年から始まったIJL(Intensive Japanese Language)トラックは、長い歴史と高い教育の質に定評があります。SKP生の約8割の留学生がIJLトラックに所属しています。約15人の小規模クラスで、経験豊富な講師が学生個人のニーズに応えながら、日本語を集中的に指導します。各留学生の日本語レベルに合った少人数指導により、確実に日本語力をアップさせます。

日本の伝統芸術を体験できる「日本文化入門」

SKP参加生は誰でも、日本の伝統芸術を学べる「日本文化入門」という科目を選択受講できます。古都京都で、参加型授業により様々な文化伝統芸術を自分の手で体験することができます。まさに一生に一度の貴重な経験ができるでしょう。各分野の第一人者が、「陶芸」「書道」「茶道」「和菓子」「生け花」「三味線」などを楽しく親切に指導します。

文系理系13学部の幅広い分野の科目を受講可能

日本有数の総合大学である立命館大学には、文系と理系合わせて13学部・20研究科が設置されています。日本語能力試験（JLPT）のN1と同等レベル以上の留学生は、一般日本人学生と一緒に学部･研究科開講科目を受講することができます。（受講が認められない科目も一部あります。）

［衣笠キャンパス（京都市）］法･産業社会･国際関係･文･映像
［びわこ･くさつキャンパス(滋賀県草津市）］
　　経済･スポーツ健康科学･理工･情報理工･生命科学･薬
［大阪いばらきキャンパス（大阪府茨木市）］政策科学・経営

②受入定員

30名（大使館推薦25名、大学推薦5名）

③受講希望者の資格、条件等

下記の条件を満たす者

・プログラム開始時点で、大学で1年以上学修している者

・日本語を学んだことのない場合は、英語でコミュニケーションをとることができる者

④達成目標

日本語の授業はレベルごとに学習内容が異なるので、ひとりひとりに合った授業の中で日本語のレベルアップを目指します。1セメスターを修了すると、2セメスター目は1つレベルアップしたクラスで日本語を受講することになります。

⑤研修期間

[2016年秋セメスター]

2016年9月中旬～2017年1月下旬予定（修了式1月下旬）

[2017年春セメスター]

2017年3月下旬～2017年7月下旬または8月上旬予定（修了式7月下旬）

※1セメスター(半年)または2セメスター(1年)を選択

⑥研修科目の概要

必修科目として、日本語を集中的に学ぶ「SKP日本語科目」を週8コマ受講します。選択科目として、日本の伝統芸術についての体験型授業「日本文化入門」を受講することができます。

1） 必須科目

「SKP日本語科目」は、開講オリエンテーションの中でプレイスメントテストを実施し、学生の日本語レベルにより、下表のとおり６つのレベルに分かれます。

・集中的に日本語を学びます。
・聴解、口頭、読解、作文など総合的に学びます。
・1週間で12時間（8コマ）の授業があります。
・入門から上級まで幅広いレベルに応じたクラス。
・1クラス約15人の少人数授業。
・日本語未修の学生でも学べます。

レベル / 科目名	上級	中上級	中級	初中級	初級	入門
日本語総合	3	5	5	5	5	5
聴解・口頭	2	2	2	2	2	2
ライティング		1	1	1	1	1
日本研究（上級）	2	※選択は、「ﾋﾞｼﾞﾈｽ日本語」「新聞読解」「作文･文法」から2科目選択する。				
選択（上級）※	2					

※日本語能力試験N1（旧1級）取得者、あるいはプレイスメントテストで日本語能力試験N1相当と判定された学生は、「SKP日本語科目」に代わり正規留学生1回生向けの日本語科目や各学部・大学院で日本語により開講されている通常の正規科目を受講することができます。（学部・研究科の承認が必要）

2） 見学、地域交流等の参加型科目

受講科目によっては、遠足に行ったり地域の祭りに参加する等、見学や地域交流の機会がある場合があります。また、課外イベントとして様々な国際交流企画が実施されています。



3） その他の講義、選択科目等

「日本文化入門」

全SKP生を対象とした選択科目で、様々な日本伝統芸術を直接触れ合うことを通じて、日本文化への理解をより深めることを目的としています。京都は日本文化を学ぶのに最も適した古都であり、各分野の第一人者からなる講師陣による親切な指導により、大変貴重な体験をすることができます。

受講後は単位が付与され、受講料として1科目につき5,000円～24,000円が必要です。

[秋セメスター開講]陶芸、書道、茶道、三味線
[春セメスター開講]生け花、和菓子、三味線





⑥年間行事（予定）

2015年9月　秋セメスター開始
　　オリエンテーション
　10月　ハイキング・寺巡りツアー
　　時代祭
　　ハロウィンパーティー
　11月　学園祭
　12月　冬期休暇
2016年1月　秋セメスター修了式･定期試験
　2･3月　春期休暇

2016年4月　春セメスター開始
　　オリエンテーション
　　ハイキング
　5月　葵祭
　6月　国際交流バーベキューイベント
　7月　祇園祭
　　春セメスター修了式･定期試験
　8・9月　夏期休暇





⑦指導体制

プログラム実施：立命館大学国際教育センター

SKP日本語科目 ：立命館大学日本語教育センター

日本文化入門 ：各分野の第一線で活躍する指導者

学修・生活支援：SKPバディ（日本人学生）

⑧コースの修了要件、修了証書の発行

本プログラムを修了した学生には、修了証明書が発行されます。各科目の成績は、日本語科目は授業参加、レポート、小テスト、発表、出席、定期試験等から総合的に判定します。日本文化入門は出席や授業参加等により総合的に判定します。

また、成績証明書を春セメスター分9月下旬以降、秋セメスター分を4月1日以降に発行しています。

■ 宿　舎

立命館大学との協定校出身の学生や日研生は、「立命館大学インターナショナルハウス」（I-House)に入寮することができます。I-House３ヵ所にあり、いずれも衣笠キャンパスからアクセスが容易で、多くのSKP学生が入居してします。管理人が常駐し、留学生をサポートするレジデント・メンター（RM）と共に生活する中でさまざまな経験をしながら留学生活をおくることができます。部屋にはベッドや机なども備えられ、インターネットも接続可能です。また、コインランドリーやラウンジ、共用の台所もあります。インターナショナルハウスへの入居を希望しない学生は、個人で大学周辺のアパートを借りることになります。



■ 修了生へのフォローアップ

SKPのFacebookなどを通じて、修了生との日常的な交流を絶やさないように努めています。修了生が希望した場合、成績証明書や在籍証明書の送付しています。
また、SKPに参加中に大学院の案内も行っています。

■ 問い合わせ先

（担当部署）
立命館大学　国際教育センター（衣笠キャンパス）
　住所　〒603 - 8346
　　京都府京都市北区等持院北町56-1
　TEL　＋81-75-465-8230
　FAX　＋81-75-465-8160
　E-mail　skp@st.ritsumei.ac.jp

立命館大学SKPホームページ
http://www.ritsumei.ac.jp/eng/html/admissions/program_jp/skp/

立命館大学国際教育センターホームページ
http://www.ritsumei.ac.jp/international/

立命館大学ホームページ
http://www.ritsumei.jp/index_j.html



RITSUMEIKAN UNIVERSITY (KYOTO)

Study in Kyoto Program (SKP)

Language and Culture Studies in Japan's Ancient Capital

■About the University

①University Overview and Highlights

Ritsumeikan was founded in 1900 as the Kyoto School of Law and Politics, an evening law school open to working people. The school was founded by Nakagawa Kojuro, former secretary to Prince Saionji Kinmochi, liberal statesman of late 19th and early 20th Century Japan. With Saionji's blessing, the name was changed to Ritsumeikan Private University in 1913. Following the end of World War II, then university president Suekawa Hiroshi proposed Ritsumeikan's educational philosophy of Peace and Democracy, based on the Japanese Constitution and the Fundamental Law of Education.

Ritsumeikan has now become an integrated academy with a rich culture of individuality and international awareness accommodating a total of 48,000 students. The current Ritsumeikan Academy has campuses in Hokkaido, Shiga, Kyoto, Osaka, and Oita and encompasses two universities, four high schools, four junior high schools, and one primary school. Since Ritsumeikan's establishment, approximately 340,000 people have graduated from Ritsumeikan University and 10,000 from Ritsumeikan Asia Pacific University (APU). Ritsumeikan fosters learning and the development of individual talents in order to nuture just and ethical global citizens.

② International Exchange

Ritsumeikan's internationalization strategy emphasizes collaboration with overseas academic institutions and corporate, government, and non-government organizations in the fields of education, research, training, and administration. In July 2009, RU was selected by the Ministry of Education for the "Global 30" program which aims to develop international centers of education in Japan. In September 2014, Ritsumeikan was selected to be part of the "Super Global University Project". By mobilizing the total resources of the academy, Ritsumeikan is striving to make a contribution to the international community. Currently, since May 2014, Ritsumeikan University is in agreement with 62 countries and 421 universities all over the world.

③ Number of International Students and MEXT Japanese Studies Students (JSS) for the last 3 years (including graduate level students as of 1 May 2014)

2015: 1,571 International Students (61 countries), 10 MEXT JSS
2014: 1,405 International Students (51 countries),14 MEXT JSS
2013: 1,355 International Students (55 countries), 5 MEXT JSS

④ Kinugasa Campus (Kyoto) Highlights

Located in the northwest of Kyoto City and within walking distance of UNESCO World Heritage sites such as the Golden Pavilion and Ryoanji Temple, Kinugasa Campus is the perfect example of Kyoto's harmonization between the traditional and the modern. Consisting of over 17,000 students, it is RU's main campus and the university's center for liberal arts studies.



■Program Overview

Students are on exchange for a one or two semester program focusing on Japanese language and culture studies; there are approximately 200 participants per year. Students join one of three tracks: the Intensive Japanese Language Track (IJL), and two English based Tracks.

① Program Highlights

Intensive Japanese Language study in Kyoto (IJL Track)

Created in 1988, the IJL Track has a long history of providing high-quality, intensive Japanese language instruction to international students. About 80% of SKP students enroll in the IJL Track. Class sizes are kept small, around 15 students, allowing our experienced instructors to cater to the needs of each student individually based on their levels. Students greatly improve their Japanese language proficiency skills.

Japanese Traditional Arts

All SKP students are eligible to apply for Japanese Traditional Arts courses, which offer a hands-on experience with various traditional fine arts, many with their historical origins in Kyoto. It is a once in a lifetime chance that students can enjoy and study with experts highly regarded in their fields of practice in Japan's Ancient Capital. Ceramics, Calligraphy, Tea Ceremony, Japanese Confectionery, Flower Arrangement, Shamisen and Song are available for registration.

13 Humanities and Science Faculties

One of the foremost universities in Japan, Ritsumeikan University has 13 Humanities and Science faculties, and 20 Graduate level faculties in total. International students with JLPT N1 level or higher credentials (正規・免除レベル) can enroll in classes with other Japanese students and further their study in their respective fields of study. (There are classes that are not possible for registration.)

Kinugasa Campus Faculties (Kyoto City): Law, Social Sciences, International Relations, Letters, Image Arts and Sciences.
Biwako-Kusatsu Campus Faculties (Shiga, Kusatsu City): Economics, Sports Health Sciences, Science and Engineering, Information Science & Engineering, Life Sciences, Pharmaceutical Sciences.
Osaka Ibaraki Campus (Osaka, Ibaraki City): Policy Science, Business Administration

② Number of JSS Students to be Accepted

30 students (Embassy 25, University 4)

③ Admission Requirements

Meet requirement below

- Be enrolled in an institution of higher education for at least one year prior to the commencement of the program.
- Basic communication ability in English is required for students with no previous experience with the Japanese language.

④ Course Objectives

Students are placed in Japanese classes appropriate to their level and focus on developing the Japanese language proficiency skills. After one semester of course work, students move up a level to further increase their learning.

⑤ Semester Schedule

Fall: mid September, 2016 – late January, 2017 (tentative)
(Completion ceremony in January)
Spring: : late March, 2017 –
late July or early August, 2017 (tentative)
(Completion ceremony in July)
Note: Students may study for 1 semester or 1 year

⑥ Overview of Course Offerings

The SKP Japanese language course has 8 compulsory core classes. The Japanese Traditional Arts classes can be registered as elective classes.

1) Required Courses

Language courses in the IJL Track equip you with the skills needed for further study or Japan-related employment by developing balanced language skills in listening, speaking, reading, and writing, as well as socio-cultural awareness associated with the use of the Japanese language. The intensive coursework totals 12 hours per week, more than double that of most university programs abroad, and requires no previous knowledge of the language to apply.

IJL Language Courses	Total Credits
Advanced (A)	9
Upper Intermediate (B)	8
Intermediate (C)	8
Lower Intermediate (D)	8
Upper Elementary (E)	8
Introductory (F)	8

- Intensive Japanese language study
- Comprehensive content (listening, speaking, reading, and writing)
- 8 courses / 12 hours of study per week (3 courses / 4.5 hours for Seiki level students)
- Levels from Introductory(F) to Advanced(A)
- Level placement determined by placement test during orientation
- Small class sizes (10-15 students)
- No previous knowledge of Japanese required
- 8-9 RU credits, depending on level

Placement Test

A placement test is conducted at the beginning of each semester to determine the Japanese language proficiency and class placement of each student. Class placement is final and may not be changed.

Courses for Seiki (正規) Level Students

Students who demonstrate a high level of proficiency on the initial placement exam at RU will be designated as "Seiki Level " students (The same Japanese level as the full time international students in the Japanese based course at RU). Seiki Level students will be assigned to Japanese language courses designed for degree-seeking international students, which include Grammar and Writing Expression, Reading and Vocabulary, Listening and Speaking Expression, and other supplemental Japanese language courses depending on seat availability. In addition to Japanese language courses, Seiki students may also take Japanese Studies Courses (subject courses taught in slightly simplified Japanese).

Exemption (免除) Level Students

Seiki students in their second semester or students who score extremely high on the initial placement exam are classified as "Exemption(免除)" students. Exemption students are exempt from taking Japanese language courses required of Seiki students. Exemption students may also take Japanese Studies Courses, which are subject courses designed for degree-seeking international students and taught in slightly simplified Japanese.

2) Hands-on Learning in the Community

Opportunities for excursions, participation in local festivals, and interaction with local residents mean that learning is not limited to the classroom.

3) Elective Courses and other Coursework

JAPANESE TRADITIONAL ARTS

All SKP students are eligible to apply for Japanese Traditional Arts courses, which offer a hands-on experience with various traditional fine arts, many with their historical origins in Kyoto.

[Fall] Ceramics, Calligraphy, Tea Ceremony, Shamisen
[Spring] Confectionery, Flower Arrangement, Shamisen

- Taught by masters well respected in their field
- Taught in Japanese
- Mainly held off-campus
- Activity fees required (5,000 to 24,000 yen)
- 1 course / 1.5 hours of study per week



⑥ CALENDER

2015 September	Fall Semester Begins
	Orientation
October	Hiking & Temple Tour
	Jidai Festival
	Halloween Party
November	Annual School Festival
December	Winter Break
2016 January	Completion Ceremony
	Fall Semester Exams
February	Spring Break Begins
March	
2016 April	Spring Semester Begins
	Orientation
	Hiking Event
May	Aoi Festival
June	International BBQ Event
July	Gion Festival
	Completion Ceremony
	Spring Semester Exams
August	Summer Break





⑦ Instructors, Administrators, and Buddies

Program Operation:
RU International Center
SKP Japanese Classes:
RU Center for Japanese Language Education
Japanese Traditional Arts Classes:
Instructors well-known in their field
Student Life/Study Support:
SKP Buddies (Japanese students)

⑧ Completion Requirements and Certificate

Students who successfully complete the program are presented with a Completion Certificate. Grades for Japanese classes are assessed according to a combination of class attendance, research papers, quizzes, presentations, and midterm/final exams. Traditional Arts courses are assessed comprehensively according to factors such as attendance and participation.

Academic transcripts for the spring semester will be distributed in late September and for the fall semester in early April.

■Housing

MEXT students are eligible to live in one of RU's International House dormitories. The I-Houses are equipped with everything a college student would need: fully furnished rooms, Japanese managers and supporters (RM), coin laundry facilities, lounges, kitchens, and internet access. All locations are within easy access by bicycle and public transportation.

If you do not wish to stay in the dormitory, you will need to find other accommodation such as private apartments.



■After-Program Support

Through the SKP Facebook page, students can keep in touch daily with other students who have completed the program.

Academic transcripts will be sent to you even after completing the program if necessary.

We will have a guidance for RU graduate school during the program that any SKP students can attend.

■Contact Information

International Center at Kinugasa Campus
Ritsumeikan University

56-1 Toji-in Kitamachi, Kita-ku Kyoto Japan 603-8346

TEL +81-75-465-8230 FAX +81-75-465-8160
E-mail skp@st.ritsumei.ac.jp

SKP Homepage
http://www.ritsumei.ac.jp/eng/html/admissions/program_jp/skp/

International Center Homepage (Japanese language only)
http://www.ritsumei.ac.jp/international/

Ritsumeikan University English Homepage
http://www.ritsumei.ac.jp/eng/



大阪樟蔭女子大学（大阪府）

創立100周年を迎える名門女子大学で日本の生活文化を多角的に学ぶ

■大学紹介

①　大学の特色および概要

大阪樟蔭女子大学は、2017年に創立100周年を迎える我が国有数の女子高等教育機関です。1917年（大正6年）大正デモクラシーが花開くその時代、樟蔭学園は「現代女性のための理想的な学園の創造」を理念に誕生しました。樟蔭女学校では深緑色の袴が制服でした。袴は、明治期から女性の制服として採用され、大正期には競ってそれを身につけました。本学では今も「深緑色の袴」がシンボルとして捉えられ、入学式、卒業式などの行事には女子学生が袴を身につけることになっています。

「全国女子大学立地ランキング関西No.1」の抜群の立地条件の下、2015年4月にはキャンパスがリニューアルされ、最新鋭の教育施設、設備を備えた理想的な教育環境で学ぶことができます。

また、少人数を生かした、きめ細やかな学習指導とサポート体制が特徴です。留学生が少ないので、日本人学生との交流も活発です。



教員数：　99 名
学生数：　2316 名　(2015.5.1現在)

②　国際交流の実績

本学は4カ国5大学と大学間協定を結んでいます。これまでは、短期プログラムを中心に留学生を受け入れてきました。日本語研修、多彩な日本文化研修の他、奈良や京都の文化遺産を見学するプログラムも提供しています。2012年度より日本語日本文化研修留学生（日研生）を受け入れています。また、2014年から春には、カリフォルニア州立大学フレズノ校より学生を受け入れ、日研生、本学学生が一緒になって交流活動を行っています。

③　過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2013年:4名 (うち日研生4名)	2014年:6名 (うち日研生4名)	2015年:5名 (うち日研生2名)

④　地域の特色

本学の開学の地である小阪は大阪府東大阪市にあり、東大阪市には本学を含めて5つの大学・短大があります。東大阪市は、大阪市の東に隣接し、関西エリアの文化と経済の中心都市である大阪、奈良、京都、神戸にアクセスの良い中核都市です。大阪の中心地である難波や梅田へも電車で30分以内と便利です。歴史と観光の地で有名な京都、奈良へも電車で1時間足らずで行くことができます。世界品質を誇る中小のメーカーが密集する日本のものづくりの拠点でもあります。

■コースの概要

①　コースの特色

このコースでは、近代から現在に至るまでの日本の生活の文化の特徴を座学と実学の両面から学びます。

日本語、日本文化について体系的に学ぶことができます。留学生1人ずつに本学学生チューターを配置し、生活面、学習面のサポートを行います。

1)　コースは、日研生用の日本語と日本事情の科目と、日本人学生と共通の多彩な選択科目から構成されています。

2)　共通科目は、日本の「生活文化に関する科目群」と、日本の伝統文化からサブカルチャーまでの多彩な「日本文化科目群」から構成され、興味に合わせて受講できます。本学の特色となる共通科目を受講する際に、それぞれの分野の専門家に相談することができます。

3) 生活文化に関する科目群には、ファッションと化粧文化に関する多彩な授業があり、日本の 身装文化をトータルに学ぶことができ ます。

服飾文化だけでなく化粧文化について理論と実践の両面からアプローチします。

化粧学を体系的に学べるのは樟蔭だけです。

4) 日本文化科目群には日本の伝統文化に加え、アニメ、漫画などのサブカルチャーを理論と 実践の両面から学べる科目が用意されています。

②　受入定員

７名（大使館推薦５名、大学推薦２名）

③　受講希望者の資格、条件等

このコースの受講を希望する学生は、以下の要件を満たしているものとします。

1)　女子学生であること。

2)　日本語・日本文化に関連する分野を専攻していること。

3)　授業を理解するのに十分な日本語能力を有すること。



④ 達成目標
近代から現在に至るまでの日本の生活文化の特徴ついて理解を深め、そのテーマに関して日本語で研究発表をし、レポートを書くことができるようになることを目標としています。

⑤ **研修期間**
2016年10月3日 ～ 2017年9月29日
修了式は9月を予定(2015年は9月)

※学生は2016年9月20日から25日の間に日本に到着していなければならない。オリエンテーションは9月26日から開始する。

⑥ **研修科目の概要**
日研生用日本語科目は、日研生のための専用プログラムですので、学生のレベルに合わせてカスタマイズできます。また選択科目は日本人学生と同じクラスで学びます。
1科目は15回(30時間)の授業からなります。
1科目履修することにより、2単位または1単位が与えられます。

1) 必修科目

	秋期	春期
日本語 A, B	30hrs	30hrs
日本語 C, D	30hrs	30hrs
日本語･日本文化研究A, B	30hrs	30hrs
日本事情A,B	30hrs	30hrs

◎ 「日本事情 A, B」の概要:日本の近代以降の文化の諸相について、各分野の専門家がオムニバス形式で講義及び実習を行います。樟蔭の開学を含む日本の近現代史、日本料理の調理実習、 メイクの実習、日本の大手企業の見学など、多彩な内容です。

◇参考 : 前年度日本事情A

・ガイダンス	2hrs
・近現代日本の子ども文化･その1～郷土玩具とおまけ	2hrs
・近現代日本の子ども文化･その2～手作りおもちゃ（実習有り）	2hrs
・書写 書道入門･1、2、3、4 （実習有り）	6hrs
・現代日本の美容と化粧･1、2（実習有り）	4hrs
・日本の子育て事情	2hrs
・日本の教育問題	2hrs
・近現代の日本の食文化･1、2 料理編（実習有り）	4hrs
・近現代の日本の食文化･3お菓子編（実習有り）	4hrs
・まとめ	2hrs

2) 見学、地域交流等の参加型科目
さまざまな学外実習に参加できます。寺院、神社、能、狂言、歌舞伎、文楽などの日本の伝統的な文化財や文化施設だけでなく、神戸ファッションミュージアムや京都マンガミュージアムのような施設で、日本の現代文化を体験することができます。

3) その他の講義、選択科目等
（学部学生と共通の選択科目）

a 生活文化関連分野の主な科目 （各30時間）
◎「化粧の歴史」(30時間)の概要:日本における化粧の歴史を学びます。化粧の変遷を見ることを通して、社会と人間の関係がわかります。
◎ その他の科目例: 「ファッションの歴史」、「服飾文化論」、「美粧と社会」、「被服学概論」、「化粧文化論」、「顔学概論」、「食生活概論」「日本の食と文化」「食の伝統と文化」 など



b 日本文化分野の主な科目(各30時間)
◎「芸術と鑑賞」(30時間)の概要:音楽･美術を中心にして、プロのアーティストを招いて、演奏の披露と、創作活動についての想いを述べてもらう。
◎その他の科目例:「日本文化論」、「現代女性論」「書写」、「サブカルチャー研究」、「日本の歴史と文化」、「日本語教育学概論」など。
また日本語教員養成科目も選択できます。



⑦ **年間行事**(変更の可能性あり)

9月	オリエンテーション
10月	大学祭
11月	秋の宿泊見学旅行
12月	クリスマスパーティ
	ホームステイ体験
1月	学外研修
5月	春の宿泊見学旅行、フレズノ州立大学学生との交流･合同パーティ
6月	学外研修
7月	研究発表会
8月	ホームステイ体験
9月	修了式



⑧　**指導体制**

学生は、学芸学部に所属します。

日本語・日本文化研修プログラムの履修方法等の指導は、日本語教育の専門家が行います。

興味のあるテーマに合わせてその分野の専門の教員が研究の助言を行います。

日本語学習のサポートは日本語教育の専門家が責任を持って行います。日本語能力試験対策の補講も実施しています。(2015年N1に2名中2名合格)

本学学生によるチューターが日本語学習や日常生活のサポートを行います。また、学内で友人の輪を広げる手伝いもします。.

学生生活一般については、国際交流室のスタッフがサポートします。

⑨　**コースの修了要件**

本コースは以下の要件を満たした者に修了認定を行います。

1) 日本語・日本文化研修留学生用必修科目については、本プログラムコーディネータと相談の上、必要があればレベルに合った科目を履修していること。
2) 1)と他の共通科目を合わせて20単位以上履修していること。
3) 関心のあるテーマに関して研究発表(公開)を行い、その内容をレポートとして提出していること。





■宿　舎

大学が借り上げた民間のアパートに住むことができます。(月30,000円から50,000円程度)

国際交流室で、ホストファミリーを紹介します。夏季休暇やお正月を利用して日本の家庭に短期間滞在することができます。

■ その他

学内の英語研修施設でアルバイトが可能です。

(職務内容:英会話講師　・事前に、英語レベルチェックと面接有り、最長10時間/週, 資格外活動届けの手続きが必要です。)



■修了生へのフォローアップ

日本語・日本文化研修留学生が自国の大学に戻ってからも、日本についての研究を継続してできるよう、プログラム修了後も相談できるような体制を整えています。またFacebookページやEメールによって、過去の修了生と自由にコンタクトがとれます。必要に応じて国際交流室といつでもメールを通じてやり取りができるようにしています。



■問合せ先

(担当部署)
大阪樟蔭女子大学国際交流室

住所　〒577-8550
大阪府東大阪市菱屋西4-2-26
TEL　＋81－6－6723－8279 (内線3404)
FAX　＋81－6－6723－8348 (大学事務局)
E-mail　kokusai@osaka-shoin.ac.jp

大阪樟蔭女子大学国際交流ホームページ
http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/international/(日本語)
http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/english/students/index.html
(英語)

日研生ホームページ
http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/international/accept/#kokuhiryugaku

大阪樟蔭女子大学ホームページ
http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/(日本語)
http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/english/
(英語)





Osaka Shoin Women's University (OSAKA)

Learn about Japanese Culture from different perspectives at a famous women's university that is about to reach 100 years of education.

■ University's Overview

① Characteristics and Overview :

Osaka Shoin Women's University, tracing its beginnings back to the Taisho Era – an era, which saw the dawning in of democracy in Japan– was founded in 1917 as one of the nation's leading women's education institutions, based on the principle of "the creation of the ideal school for educating the modern woman".

The *hakama* synonymous with women's education from the Meiji Era, and in the Taisho Era, saw young women competing with each other to wear it. Even to this day, "the dark green *hakama*" is still a symbol of education at this institution and can be seen at the university's entrance, graduation and other official university ceremonies. Furthermore, in April 2015, campus renewal construction was completed giving rise to a state-of-the-art education facility equipped to providing an ideal education-learning environment in a top-ranking women's university in the Kansai region, in an outstanding location. We have in place a program that gives our international Japanese Studies students not only personalized tuition but also meticulous guidance and support. In addition, because the number of exchange students is few, you will get ample opportunity to mix with regular Japanese university students at this institution.

Student body : 2316

Faculty members:99

as of May 1,2014



② International Exchange:

Since academic year 2012, we have been accepting international Japanese Studies students. Also since spring semester in 2014, we have been accepting students from the Japanese Language Department of California State University (Fresno), and these students, as well as other international Japanese Studies students have an opportunity to interact with regular Osaka Shoin Women 's University students.

③ Number of International Students for the past three years:

2013: 4 (involving JSS: 4)	2014: 4 (involving JSS: 6)	2015: 5 (involving JSS: 2)

④ Characteristics of the Area:

This university is located in Kosaka, Higashi-Osaka City, Osaka Prefecture. Within the boundaries of Higashi-Osaka City, there are four other universities and junior colleges. Higashi-Osaka City is conveniently located about 15 minutes away by train from downtown Osaka, and within an hour train journey to the historical, cultural, and tourist sites of Nara, Kyoto, and Kobe. Higashi-Osaka City has also achieved world fame as having the highest clustering of small and medium-sized manufacturers of high quality precision products in Japan.

■Course Outline

① Characteristics of the Japanese Cultural Studies Program:

In this course students will study the features and history of the Japanese life-style and culture from modern times to the present. We can offer students a systematic program in Japanese language and culture, coupled with individual tutoring and excellent pastoral care.

1. The course will consist of subjects in 'Japanese language' and 'Japanese cultural background' for international students, as well as diverse array of elective subjects taken along with Japanese students.
2. Common subjects will consist of Daily Living Cultural Studies and Japanese Cultural Studies. Students may focus on areas where they have an expressed interest, and can consult with experts in each of the above fields.
3. Cultural Studies for Daily Living:
Students can study through a total approach, including not only studying the culture of clothing, but also the culture of makeup from both theoretical and practical viewpoints. A systematic approach to the study of makeup is unique to Osaka Shoin Women's University.
4. Amongst various Japanese cultural subjects, including studying traditional Japanese culture, students can also learn Japanese subculture including cartoon films (anime) and comics (manga) both theoretically and practically.

② Number of students to be accepted:

7 students (5 with embassy recommendation and 2 with university recommendation)



③ Qualifications and Requirements of Applicants:
Applicants must meet the following requirements:
1. Application is open only to women students.
2. Applicants must be majoring in fields related to the Japanese language or Japanese culture.
3. Applicants must be proficient enough in Japanese to understand lectures.

④ Program Goals:
The aim of the program is to deepen students' understanding of Japanese life and the special features of Japanese culture. The ultimate aim being to get our students to be able to present and write a report in Japanese.

⑤ Period of Program:
From October 3, 2015 to September 29, 2017
The completion ceremony will be in September, 2017.
※Successful applicants must arrive in Japan between September 20th and September 25th 2016.
Orientation will be held from September 26th.
Graduation will be in September 2017.

⑥ General Outline of Subjects Offered:
One subject consists of 15 classes (30 hours).
Upon successful completion, students obtain one credit for seminars or two for lectures.
1. The compulsory subjects:

	Spring	Fall
Japanese Language A, B	30hrs	30hrs
Japanese Language C, D	30hrs	30hrs
Japanese Cultural Background A, B	30hrs	30hrs
Japanese Affairs	30hrs	30hrs





Japanese language subjects will be tailored to the individual level of each International Japanese Studies student. In addition, students may take mainstream elective courses along with their Japanese counterparts.

Japanese Cultural Background A, B: Lectures and practicum on various aspects of Japanese modern culture and society will be offered by field-related specialists in omnibus style. Planned topics: Japanese modern history and the foundation of Shoin, Japanese-style cuisine with cooking practice, makeup techniques, working women in Japan (including visiting a leading Japanese company), etc.

Japanese Affairs A

Guidance	2hrs
Modern Japanese children's culture: I toys and gifts	2hrs
Modern Japanese children's culture: II hand-made toys (practicum possible)	2hrs
Introduction to Calligraphy (I,II,III,IV) (practicum possible)	6hrs
Modern Japanese Beauty Care and Cosmetics (practicum possible)	4hrs
The State of Japanese Parental Care	2hrs
Japanese Education Problems	2hrs
Japanese Cuisine Culture I, II Cooking (practicum possible)	4hrs
Japanese Cuisine Culture III, IV Sweets (practicum possible)	4hrs
Review	2hrs

2) Off Campus/ Extra-curricular Activities:
A variety of off campus/ extra-curricular activities such as field trips to temples, shrines, museums (including Kobe Fashion Museum and Kyoto *Manga* Museum), Japanese traditional and modern houses, and *Noh, Kyogen, Kabuki, and Bunraku* theater performances are offered.
3) Lectures and seminars (Subjects taken in common with regular students).
a Subjects related to the field of Life-style Culture(30 hours for each subject)
History of Beauty: Students will acquire a basic knowledge of the history of beauty in Japan. The study of the transition of beauty through the ages leads to an understanding of the relationship between people and society.
Other subjects: History of Fashion, Clothing and Culture, Introduction to Clothing and Textiles Studies, Dressing and Culture, Introduction to Facial Studies, Early Childhood Care (includes home-care), Food Co-coordinator Theory, Japanese food and culture, Food Tradition and Culture, Introduction to eating habits etc.
b Main subject titles in the field of Japanese Culture (30 hours for each subject)
Art and Appreciation: Through the performance of various kinds of arts of specially invited professional artists, students will gain an understanding and appreciation of the essence of the artists and their creative artworks.
Other subjects: Theory of Japanese Culture, Japanese Linguistics, Japanese History and Culture, Studies on Japanese Subculture, Modern Feminism, Calligraphy, Introduction to Japanese Education etc.
You can also choose do take the subject Japanese Language Teacher Training.

⑦ Event Calendar (tentative):

September : Orientation
October : Campus festival
November : Autumn Overnight Study Tour
December : X'mas Party
January : One-day excursion
May : Spring Overnight Study Tour
Walking tour of Kosaka & party
with Fresno State Univ. students
June : One-day excursion
July : Presentation
August : Homestay
September : Completion ceremony

⑧ Guidance System:

Students will belong to the Faculty of Liberal Arts.
We will provide specialist guidance and support with any field of study you are interested in and wish to pursue. Of course we will provide qualified Japanese language teachers who will be responsible for supporting your study of Japanese. We will also put on additional classes to help you to pass the Japanese Language Proficiency Test. Japanese language instruction and daily life support will be given by Shoin tutors, and support and guidance regarding student life at Shoin will be provided by the staff of the International Exchange Programs Desk.
In addition, we will offer support and assistance in helping you find friends at university.

⑨ Those students who have completed all course requirements to a satisfactory standard will be issued with a Certificate of Completion.

1) Japanese language classes: students must take appropriate classes according to their ability in Japanese. Class levels will be decided after consultation with the coordinator of this program.

2) Students must get more than 20 credits in classes in 1) and other designated subjects.

3) Students must select a theme in an area of study they are interested in and must give a presentation on this theme and submit a written paper.

■Accommodation

The university Student Affairs Section will assist students in finding a suitable apartment for rent in the range of 30,000 to 50,000 yen per month.

If students so desire they may request a short-term homestay with a Japanese family. The university International Exchange Programs Desk will introduce students to a suitable family.

■ Other

It is also possible for students to work part-time in the university's English Language Teaching Center. (An English level check and interview is required, and successful candidates may work up to a maximum of 10 hours a week. A certificate to prove you are permitted to engage in work activities is required).

■Course completion follow-up support

A system is in place by which students who have successfully completed this course and have returned to their home countries, may still receive support and advice on Japanese Studies.
Furthermore, you can freely contact past graduates of the Japanese Culture program for international students via Facebook. When the need arises, you are free to contact any of the staff of the International Programs Desk anytime.





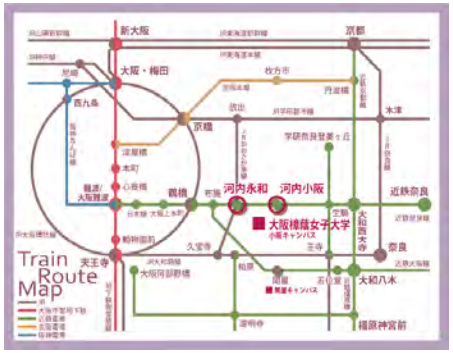
■Inquiries

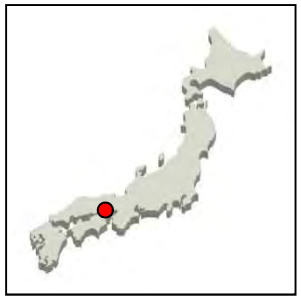
Osaka Shoin Women's University International Exchange Programs Desk:
Address: 4-2-26, Hishiya-nishi, Higashi-Osaka-shi, Osaka 577-8550, Japan
Tel: +81-6-6723-8348
Fax: +81-6-6723-8348
(University General Office)
E-mail: kokusai@osaka-shoin.ac.jp

Homepage of International Exchange Programs Desk:
http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/international/
(Japanese)
http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/english/students/index.html
(English)

Homepage of JSS:
http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/international/accept/#kokuhiryugaku

Osaka Shoin Women's University's Homepage:
http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/
(Japanese)
http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/english/
(English)





神戸女子大学 （兵庫県）

KOBE WOMEN'S UNIVERSITY

KWU Program　国際都市神戸で学ぶ日本語、日本文化、古典芸能

■大学紹介

①　大学の特色および概要

1)　特色と歴史

　神戸女子大学は、国際的な港町神戸市内に三つのキャンパスを持つ女子大学です。須磨キャンパス、ポートアイランドキャンパス、三宮キャンパスです。
　三つのキャンパスには、文学部、家政学部、健康福祉学部、看護学部と大学院を備えています。

　設立時から、世界平和と人類の福祉に貢献しようとする女性の育成を目指し、自立心、対話力、創造性の豊かな女性への教育を進めています。

　留学生は、主に須磨キャンパスで、日本語・日本文化研修を行います。

2)　学生数

　学部・大学院に約３千人の学生が学んでいます。



②　国際交流の実績

　アメリカ、中国、インドネシア、ニュージーランド、ドイツ、タイなどの大学と提携を結び、交換留学や留学制度を実施しています。

③　過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数　3人、日本語・日本文化研修留学生　1人
2014年：留学生数　4人、日本語・日本文化研究留学生　1人
2013年：留学生数　4人、日本語・日本文化研究留学生　0人

④　地域の特色

　神戸市は、国際的な港町で、兵庫県にあります。さまざまな国籍の外国人が多く住んでいるため、留学生には住みやすい町です。

■コースの概要

　本学のコースでは、主として日本語と日本文化、および古典芸能について学ぶことができます。

①　コースの特色
　コースは、留学生のための日本語クラスと、日本人学生との共通の科目から成り立っています。日本語は少人数クラスで集中して学ぶことができ、高いレベルの日本語力を身につけることができます。

また、古典芸能研究センターや古典芸能に関する授業で、歌舞伎、能、文楽などの古典芸能に触れることができます。

②　受入定員

　3名（大使館推薦1名、大学推薦2名）

③　受講希望者の資格、条件等

・コースの授業に参加できる十分な日本語力を備えていること。
・女子であること。

④　達成目標

　日本語力の向上と日本文化、古典芸能への興味と親しみを増すことを目標とします。未取得者は、N1試験の合格を目標とします。

⑤　研修期間

　後期　2016年9月23日～2017年2月上旬
　前期　2017年4月1日～8月上旬

　後期受講開始から半年間、または1年間とします。修了式は、2月又は8月を予定しています。

⑥　研修科目の概要

・日本語日本文化研修生のための科目

1)　必須科目

日本語Ⅰ、Ⅱ（前後期）
　大学生に必要な日本語の読み・書きを学びます。レポートが書ける日本語力を身につけることを目標とします。

日本語Ⅲ、Ⅳ（前後期）
　大学生に必要な日本語の聞く・話すカを高め、発表に必要なプレゼンテーション力を高めることを目標とします。

・日本人学生との共通科目選択科目

　文学部、家政学部を中心にした、全学部の科目から選択できます。

2)　見学、地域交流等の参加型科目

　須磨地区で地域交流に参加したり、大学内でフィールドワークやワークショップなどの参加型の授業を受講したりします。

3)　その他の講義、選択科目等

　日本語力に応じて、文学部、家政学部を中心に、全学部の科目が受講できます。

⑦　年間行事

4月	入学式　オリエンテーション
5月	スポーツ大会
7月	すいか祭り
8月	上旬から夏休み　修了式
9月	後期授業開始
11月	創立記念日、コスモス際
12月	下旬から約2週間冬休み
2月	修了式

⑧　指導体制

　留学生には、それぞれ希望研究分野の指導教員をつけます。また、生活面は、国際交流推進事務室と日本人学生チューターがフォローします。

⑨　コースの修了要件

　必修科目と選択科目を合わせて、半期または1年間で規定の単位を取得した研修生に、修了証書を与えます。

■宿　舎

本学学生寮、または下宿先を紹介します。

■修了生へのフォローアップ

　プログラム修了後も、メール等で指導教員や国際交流推進事務室と連絡・交流を継続します。

■問合せ先

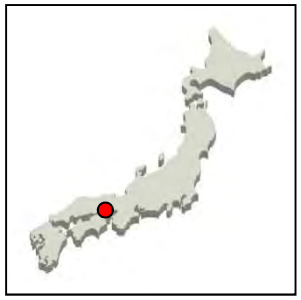
（担当部署）
神戸女子大学　国際交流推進事務室
須磨キャンパス

住所　〒654-8585
兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2-1

電話　+81-78-737-2095（直通）
FAX　+81-78-732-5161
e-mail kokusai@yg.kobe-wu.ac.jp
URL　http://www.kobe-wu.ac.jp







Kobe Women's University
(Hyogo Prefecture)

KOBE WOMEN'S UNIVERSITY

KWU Program Study Japanese, Japanese Culture and Classic Performing Arts in the cosmopolitan city of Kobe

■University's Overview

① Characteristics and overview of Kobe Women's University

1) History and special features

Kobe Women's University has three campuses in the cosmopolitan city of Kobe: Suma, Port Island and Sannomiya. These three campus locations house the Faculty of Literature, Faculty of Home Economics, Faculty of Health and Welfare, and Faculty of Nursing as well as a graduate school division of Letters and Home Economics.

From its founding, our university has aimed to cultivate women who will contribute to the peace of the world and to the welfare of humanity. Our teaching aims to foster independence, communicative ability and creativity in our students.

Foreign students will be studying Japanese language and culture for the most part at the Suma campus.

2) Student population

In total around 3,000 students are enrolled in the undergraduate and graduate levels.



② International exchange

Through our agreements with universities in the United States, the United Kingdom, China, Indonesia, New Zealand, Germany and Thailand. KWU conducts exchange and overseas studies programs. Recent years' foreign student numbers are as follows:

2015	3 students	Japanese Studies Student 1
2014	4 students	Japanese Studies Student 1
2013	4 students	Japanese Studies Student 0

③ Special features of the city of Kobe

Kobe is a cosmopolitan port city in Hyogo Prefecture. Kobe has been and is populated by various foreign communities making it a comfortable and friendly city for students from abroad.

■Overview of the Course

Our university offers classes in Japanese language and culture; students can learn about Japanese classic performing arts as well.

① Features of the course

Foreign students can enroll in both Japanese language classes designed for students from abroad as well as classes for regular Japanese students. Small Japanese language classes where students can concentrate on their language learning will ensure the acquisition of a higher level of Japanese.

Classes introducing classic performing arts or special programs offered by the Research Center of Classic Performing Arts will enable students to see and learn about Kabuki, Noh and Bunraku.

② Number of students to be accepted

3 (1 recommended by the embassy of Japan, 2 recommended by their university)

③ Qualifications and conditions for application

- Students must have sufficient Japanese language ability to participate in classes.
- Applicants must be women.

④ Goals and aims

The goal of this program is for students to deepen their Japanese language communicative ability and to gain interest and familiarity with classic performing arts. Students who have not yet passed the N1 exam will aim to do so.

⑤ Period of study

Semester 1 (corresponding to the 2nd semester of 2016 according to the KWU academic calendar): 23 September 2016 to early February 2017

Semester 2 (corresponding to the 1st semester of 2017 according to the KWU academic calendar): 1 April to early August 2017

Students may opt to study for one semester or for one year. Completion ceremony will be scheduled in February or August.

⑥ Overview of classes

・Courses for Japanese Studies Students

1) Required classes

Japanese Language I, III (First/ Second semester)
Reading and writing of Japanese needed for university level study. Aim is to acquire Japanese ability sufficient for writing essays and papers.

Japanese Language II, IV (First/Second semester)
Listening and speaking of Japanese needed for university level study as well as developing competence in making presentations in Japanese.

・Regular courses available to Japanese Studies Students as electives

Elective classes can be taken from all departments across the university's curriculum.

2) Experiential study

Japanese Studies Students can visit cultural and historic points of interest in the Suma area and participate in community programs. Students may also enroll in university classes taught through fieldwork and workshops.

3) Other lecture classes and electives

All course offerings in the Faculty of Literature and Faculty of Home Economics are open to Japanese Studies Students in accordance with their Japanese language ability.

⑦ Calendar

April	: Entrance ceremony and orientation week
May	: Sports Day
July	: Watermelon Day
August	: Start of summer vacation / Completion Ceremony
September	: Start of second/fall semester classes
November	: Founder's Day, Cosmos Festival (school festival)
December	: Winter vacation of around 2 weeks starting end of the month
February	: Completion Ceremony

⑧ Guidance and supervision

Japanese Studies Students will be assigned a supervising faculty member whose field is in line with the student's chosen area of study. As for general guidance while at KWU, International Programs staff and a Japanese student tutor will be available to help the student for her best well-being.

⑨ Requirements for completion of study and issuance of certificate

A completion certificate will be issued to students who have acquired the required number of credits through the completion of both compulsory and elective courses over one semester or one full year.

■Housing

Students will be introduced appropriate housing. University dormitory, when space is available, may be an option.

■Follow-up services

Contact with students who have completed the course will be possible through e-mail and other avenues with the support staff of the International Programs Office and supervising faculty.

■Contact Information

International Programs Office, Suma Campus
Kobe Women's University
2-1 Aoyama, Higashisuma
Suma-ku, Kobe
Japan 654-8585

Telephone +81-78-737-2095
FAX +81-78-732-5161

e-mail kokusai@yg.kobe-wu.ac.jp
URL http://www.kobe-wu.ac.jp







山陽学園大学 （岡山県）

講義を受講するだけでなく、企業訪問・ホームステイ等の体験を盛り込んだプログラムです。

■大学紹介

① 大学の特色および概要

明治19年、山陽英和女学校として誕生した山陽学園は、現在、大学、短期大学、高校、中学校、短期大学附属幼稚園の５つから構成される総合学園になりました。

大学は1994年に開学し、看護学部と総合人間学部の２学部、３学科で、同じ敷地内に食物栄養学科と幼児教育学科を持つ短期大学、そして短期大学附属幼稚園があります。

大学、短期大学併せて1000人程度の小さな大学ですが、それだけアットホームな雰囲気で教員と学生の距離が近く、教員が親身になって相談に乗ってくれるという利点があります。

クラブ活動も盛んで、バレーボール部、卓球部、バドミントン部、弓道部、軽音楽部、茶道部、児童文化部、日本語ボランティア部、ウラジャ部などが熱心に活動しています。

大学の総合人間学部・言語文化学科には、中国、韓国、ベトナム、カンボジアから留学生が来ており、和気藹々とした雰囲気で勉強に励んでいます。常勤・非常勤教員としては、アイスランド人、韓国人、中国人のスタッフがいます。

また、毎年大学間協定校から短期研修生・中長期留学生が来て、日本人学生と交流もしています。一緒に祭りに参加したり、ゼミ旅行に行ったり、多言語カフェで話をしたりと、多文化が楽しめる大学と言えるでしょう。

② 国際交流の実績

受け入れに関しては、韓国の大学間協定校から日本語・日本文化短期研修生、中長期留学生を、台湾の大学間協定校からはインターンシップ生、日本語・日本文化短期研修生、中長期留学生を毎年受け入れ、日本語・日本文化研修留学生については、韓国、オーストラリアから受け入れを行いました。

・ 送り出しに関しては、アメリカ、オーストラリア、韓国、台湾、中国、ニュージーランド、ポーランドの協定校、協力校に中長期留学、語学研修、日本語教育実習などで訪問しています。

③ 過去３年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2015年：留学生数　約100人、日本語・日本文化研修留学生１人
2014年：留学生数　約120人、日本語・日本文化研修留学生１人
2013年：留学生数　約160人、日本語・日本文化研修留学生１人

④ 地域の特色

岡山県は、「晴れの国　岡山」と言われるほど、全国で「晴れの日」が最も多く、瀬戸内海の温暖な気候に恵まれた県です。フルーツ王国として昔から桃やぶどうが有名でしたが、近年は津山ホルモンうどん、蒜山焼きそば、日生のかきのお好み焼きなど、Ｂ級グルメ王国としても注目されています。

その岡山県の南部にある人口70万人の県庁所在地・岡山市は中国地方の交通の要で、四国・九州・山陰・関西のいずれの地方に行くにも便利なだけでなく、日本三大庭園の一つである後楽園など、歴史的な見所も多いです。また、２月には、奇祭「西大寺裸祭り」、８月には桃太郎にちなんだ「うらじゃ祭り」も行われます。

■コースの概要

① コースの特色

日本語・日本文化の両方が学べます。

小規模大学の特色を生かし、学部生と同じ授業に出席することで、日本人及び留学生との交流を図ります。

また、講義の受講に留まらず、演習科目に参加したり、企業を訪問したり、さらにホームステイを行ったりすることで、日本での体験を増やし、理論と体験を組み合わせたプログラムを組んでいることが特色です。

② 受入定員

2名（大使館推薦1名、大学推薦1名）



③　受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験Ｎ１またはＮ２を取得した者。またはＮ１、Ｎ２相当の日本語力があり、学部の授業についていける者。

④　達成目標

・日本語の能力向上。
・日本への理解を深める。
・日本を知ることで自国への理解を深める。

⑤　研修期間

2016年９月末～2017年８月上旬
修了式：８月上旬を予定
（2015年は８月上旬）

⑥　研修科目の概要

以下の３種類を主として実施する。

（１）日本語能力向上のための必修科目
（２）日本に触れるアクティビティ系の科目
（３）就職に関連する科目

合計28単位以上とする。

1）必須科目

①日本語関連科目　８科目８単位
②日本事情関連科目　２科目２単位

2）　見学、地域交流等の参加型科目

①異文化理解演習　２科目４単位
②日本語交流体験
・日本語ボランティア部部員、バディとの日本語会話、交流
・ホームステイ体験
・幼稚園見学、園児との交流
・中学校・高校見学、生徒との交流
・うらじゃ祭り、裸祭り見学
・うらじゃ祭り参加
・日本語弁論大会参加または見学または応募　他
③就職活動体験
・就職説明会への参加
・企業訪問または工場見学
・就職懇談会への参加
④部活動、華道、茶道体験

②～④で４～６単位

3）　その他の講義、選択科目等

以下の①～③から選択　４科目８～10単位以上

①日本を知る科目
日本の歴史、日本文学、古文書、日本文化など
②日本と諸外国の交流について知る
日中交流史、韓国の歴史と文化など
③その他
心理系、ビジネス系、情報系、英語・英語圏文化関係の科目

⑦　年間行事

１月	県内または近隣県の日本文化施設見学、ホームステイ
２月	裸祭り見学　工場見学 中長期留学生お別れ会参加
３月	卒業式見学
４月	入学式見学　留学生歓迎会参加 大学新入生歓迎１日旅行参加
５月	幼稚園見学、園児と交流
７月	中学校・高校見学、生徒と交流 大学間協定校の学生来学、交流 日本語弁論大会参加
８月	うらじゃ祭り参加(写真　下)
９月	県内、県外旅行
10月	中長期留学生歓迎会参加 大学祭参加
11月	留学生１日旅行参加 就職懇談会参加
12月	学内クリスマス会参加



⑧　指導体制

・共生・グローバル推進センター次長および委員、日本語担当教員が主になって指導する。

・日本語ボランティア部の部員やバディとなった学生（主に総合人間学部言語文化学科の学生）が交流の計画を立てたりサポートしたりする。

⑨　コースの修了要件

28単位以上取得

修了証書

大学から発行



留学生1日旅行で日本遺産・閑谷学校へ

■宿　舎

留学生向けの寮はありませんが、大学の近くにはアパートが多くあり、大学で紹介することが可能です。

家賃は30,000円前後からあります。この場合、入居時に敷金、礼金が各１か月分程度必要です。（敷金は退出時にほぼ全額返金されます。）

また、後期から中長期留学生が来る場合は、その学生と民間のアパートをシェアしています。インターネット代、光熱費代込みで約40,000円です。

■修了生へのフォローアップ

研修留学生は、在学中から日本人・本学在学の留学生とのネットワークを各自で作っています。大学としては、これまでは協定校からの研修留学生だったので、協定校の教員を通して、または修了生と本学教員が連絡を取り、フォローアップを行っています。

■問合せ先

（担当部署）
共生・グローバル推進センター
住所　〒703-8501
岡山県岡山市平井1-14-1
TEL　＋81－86－272－6254（代表）
FAX　＋81－86－273－3226（代表）
E-mail　chie@sguc.ac.jp　（担当者）

大学ホームページ
http://www.sguc.ac.jp/

英語、中国語、韓国語、ベトナム語の簡易バージョンがあります。





Sanyo Gakuen University

・(Okayama Prefecture)

Our teaching is inspired by love and service.

■Introduction

・① About us

The origin of Sanyo Gakuen lies in Sanyo Eiwa Women's School, established in 1886 by dedicated members of the Okayama Christian Society. Currently, Sanyo Gakuen is comprised of five educational institutions: Sanyo Girls' Junior High School, Sanyo Girls' High School, Sanyo Gakuen College, Sanyo Gakuen University, and its affiliated Kindergarten.

Sanyo Gakuen College was established in 1969, producing about 17,000 graduates, while Sanyo Gakuen University was founded in 1994 with about 1,600 graduates. Both Institutions have been playing an important role in higher education for women and their graduates have become successful members of society.

In 2009, these institutions became coeducational. Additionally, in the same year, the University has expanded to include two departments: the Faculty of Nursing and the Faculty of Human Sciences.

"Love and Service" is the guiding principle that underpins the excellence of education in all the institutions and it will continue to guide us to future success.

② International exchange

There are 13 sister universities in Australia, China, Korea, New Zealand, Poland, Taiwan and U.S.A. Students visit those countries for English training and practice teaching Japanese and understanding their cultures.

From sister universities in Korea and Taiwan, students visit us for the internship program, exchange program and the program of understanding Japanese culture.

③ Number of foreign students

Year 2015 Number of foreign students 100 students
Nikkensei 1 student from Australia
Year 2014 Number of foreign students 120 students
Nikkensei 1 student from Korea
Year 2013 Number of foreign students 160 students
Nikkensei 1 student from Korea

④ Characteristics of Okayama

Thanks to the Inland Sea, Okayama Prefecture has a notably mild climate compared to the rest of Japan. The population of Okayama city is approximately 700,000 people. It is the center of Okayama and a convenient place to access Shikoku, Kyushu, Sanin, Hiroshima and the Kansai District, including such places as Osaka and Kyoto. A Shinkansen journey to either Hiroshima or Osaka takes less than one hour.

In Okayama there are many places of historical interest or for their spectacular scenery, such as Korakuen garden, Okayama castle, Kurashiki, Kibiji and the Seto Ohashi Bridge. Traditionally, Okayama has been famous for fruit, especially peaches and grapes. Also, special noodles and pancakes with oysters have also become famous more recently as cheap and tasty local dishes.

The famous Hadaka and Uraja festivals can be seen in February and August.

■Outline of the program

① Characteristics

The students who join this program can learn both Japanese and Japanese culture.

・Undergraduate students can exchange to join the same class.

・This involves not only class attendance, but also participation in activities such as visiting companies or doing home stays.

・Through such experiences, you know about Japan and Japanese culture not only intellectually, but also your physically and emotionally.

Our joint program includes both theory and practice.

② Numbers accepted

2 persons
(Embassy recommendation 1 person
University recommendation 1 person)



③ Qualifications of candidates

・students passing N1 or N2 or equivalent
・students who are able to understand undergraduate lectures

④ Aim of this course

・to improve Japanese skills
・to deepen understanding of Japan and Japanese culture
・to deepen understanding of one's own country and culture by contrast with Japanese society and culture

⑤ Term of course

・From the end of September, 2016 to the beginning of August, 2017
・Farewell ceremony
the beginning of August

⑥Outline of syllabus of Japanese language and cultural studies program

Three kinds of classes:

(1) Required

subjects for improving Japanese

(2) Required

subjects for experience of Okayama & Japan

(3) Elective

subjects for future employment

＊28 credits in total

1) Subjects (Required)

①Japanese C, D, E, F, G, H 1 credit each 6 credits in total

Japanese A, B or Introduction to Japanese 2 credits in total

Japanese culture A, B 2 credits in total

Understanding cross-cultural communication

Ⅰ, Ⅱ 4 credits in total

Exchange with Japanese people and visiting Japanese companies, homestay, visiting kindergarten etc. 4-6 credits

2)Subjects (Elective)

At least 8-10 credits

①Subjects for understanding Japan

Japanese history, Japanese literature etc.

②Subjects for the history of exchange between Japan and Asian countries

history of exchange between Japan and China

history of exchange between Japan and Korea

③Others

psychology, business, English and computer science subjects



Shizutani school established in Edo period

⑦ Schedule for annual activities

Jan. Excursion to institutions of Japanese cultures, homestay experience

Feb. Observation of Hadaka Festival
Visiting factory in Okayama
Farewell party for foreign students

Mar. Observation of graduation ceremony

Apr. Observation of entrance ceremony
Welcome party for foreign students
Excursion for freshman

May Visiting the Kindergarten

July Visiting junior and senior high schools
Exchange with students from sister universities

Aug. Participation of Uraja Festival

Sep. Trip in Japan

Oct. Experience of University Festival
Welcome party for foreign students

Nov. Excursion for foreign students
Attendance at explanation of employment for students and parents

Dec. Christmas party

⑧ Student assistance

・Members of International exchange committee and professors or lecturers in charge of Japanese take care of the students.

・Students belonging to the club activity of Japanese volunteers help foreign students and make plans for exchange.

・There is buddy system.

⑨ Requirements of completion

At least one term 14 credits

Issuing certificate

Certificate will be issued by Sanyo Gakuen University.



We enjoyed Uraja Festival !!

■Accommodation

We do not have a dormitory.

However we can introduce cheap apartments near the university.

One month payment is approximately 30,000 yen. However, real estate agent requires one month remuneration and one month deposit in advance.

Deposit is returned if the apartment is in a clean condition and there are no other problems on expiry of lease.

Nikkensei (Monbusho scholarship student) often share the room with exchange students from Korea or Taiwan. It costs about 40,000 yen per month including electricity and internet.

■Follow-up for students

There is no alumnus network for Nikkensei(Mobusho scholarship student) as yet, but we are planning to create one.

Students make their own network now and several professors make a good relationship with Nikkensei and professors of sister university related to Nikkensei.

■Contact

Sanyo Gakuen International Committee

Address 703-8501
1-14-1 Hirai Okayama-shi
Naka-ku
Okayama Prefecture

TEL ＋81－86－272－6254
FAX ＋81－86－273－3226
E-mail chie@sguc.ac.jp

University Home Page
http://www.sguc.ac.jp/

You can access Chinese, English, Korean, and Vietnamese language versions from our homepage.

